P-03D

ISSUE DATE: '11.11

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書〈詳細版〉

docomo STYLE series

はじめに

「P-03D」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- P-03Dは、W-CDMA方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。
  しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSL/TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL/TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL/TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.、Go Daddy, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ、伝言メモ、音声メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

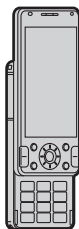
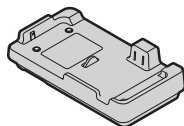
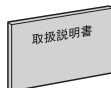
■SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本体付属品および主なオプション品

＜本体付属品＞

●P-03D本体 （リアカバー P55、保証書含む）	●卓上ホルダ P49
●電池パック P23	●取扱説明書

＜主なオプション品＞

●FOMA ACアダプタ 01/02（保証書、取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.479

本書の見かた

本書ではFOMA端末を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書の手順や画面は、主に本体色「Black」のお買い上げ時の設定（P.450参照）で記載しています。ただし、下記の設定を変更しています。
  - ･「待受画面設定」→「待受画面」：OFF
  - ･「カラーテーマ設定」：Gray
  - ･「マチキャラ設定」→「表示設定」：OFF
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しております。
- 本書では、「P-03D」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の操作説明では、ボタンを押す操作を簡略なボタンイラストで表現しています。
- 本書ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要となります。microSDカードについてはP.352参照。

本書のご使用にあたって

きせかえツールを利用してメインメニューやメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
･「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

目次

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて〈共通〉

危険

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはP.15「防水性能」をご参照ください。

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック･アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

フォトライト／インカメライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてフォトライト／インカメライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質についてはP.11「材質一覧」参照。

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V･24V
（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：
AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

注意

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
アウトカメラレンズ部パネル、インカメラレンズ部パネル、インカメラレンズ部横パネル		PMMA／ハードコート
開始ボタン、電源／終了ボタン、マルチボタン、クリアボタン／ｉチャネルボタン、スピードセレクター、メニューボタン、メールボタン、カメラボタン／ワンセグボタン、ｉモードボタン／ｉアプリボタン		PC／UV塗装
外装ケース	ダイヤルボタン側の側面、ディスプレイ側の側面	PC／UV塗装
	スライド面	ABS
	電池面	ABS／UV塗装
外部接続端子	樹脂部分	PA
	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ＋スズメッキ
	カバー	PC／UV塗装
	屈曲部	エラストマ
	パッキン	シリコンゴム
充電端子		黄銅／ニッケルメッキ＋ニッケルパラジウムメッキ＋金メッキ
スライド面（上側）	キャップ	PET
	レール部	ステンレス鋼
スライド面（下側）	パッド	ポリエチレン
	シート	PET
ダイヤルボタン面のボタン部、シート部		アクリルウレタン
着信／充電ランプ		PC
ディスプレイパネル		PMMA／ハードコート
電池収納面		ステンレス鋼／ニッケルメッキ
電池ストッパー（電池収納部）		POM
電池端子	樹脂部分	PA
	端子部	チタン銅／ニッケルメッキ＋金メッキ

使用箇所		材質／表面処理
電池パック	樹脂部分	PC
	ラベル	PET
	端子部	ガラスエポキシ基板／ニッケルメッキ＋金メッキ
ドコモminiUIMカード挿入部		ガラスエポキシ基板銅箔／金メッキ
ドコモminiUIMカードトレイ	樹脂部分	LCP
	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ＋金メッキ
ラベル（電池収納部）		ポリエステル
リアカバー	本体	PC／UV塗装
	パッド	PC
	パッキン	シリコンゴム
ワンセグアンテナ	樹脂部分	ABS
	ワイヤ部分	ニッケルチタン合金
	根元ヒンジ部（ワイヤ結合部）	黄銅／ニッケルメッキ＋スズコバルトメッキ
	根元ヒンジ部（リフトアップ部）	ステンレス鋼／ニッケルメッキ＋スズコバルトメッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■P-03Dは防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。
電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■通常は外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障、破損、誤動作の原因となります。

■FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールなどを貼らないでください。
FOMA端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損の原因となります。

■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
・フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
・電池残量なしの状態(本体の電源が入らない程消費している状態)での保管
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタ、卓上ホルダについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

■卓上ホルダのスタンドを収める場合は、指やアダプタのコードなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

■ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

■お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

FeliCa リーダー／ライターについてのお願い

■FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
■使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
■FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水性能

P-03Dは、外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けて隙間や浮きがない状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽にP-03Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

(注) 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。浸水や異物混入を防ぎ、安全にお使いいただくために、本書をよくお読みになってからご使用ください。

雨の中やキッチン、風呂場、プールサイドなどの水際でもご使用できます。

雨の中

- 雨の中で傘をささずに濡れた手で通話できます。(1時間の雨量が20mm未満、地面からの跳ね返りで足元が濡れる程度)

※手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子カバーの開閉は行わないでください。

洗う

- FOMA端末が汚れた場合は、洗面器などに張った真水・常温の水道水につけて静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水に当てながら手で洗うことができます。
- リアカバーをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子カバーを押さえたまま洗ってください。

石けん・洗剤

- 洗うときは、ブラシやスポンジ、石けん、洗剤などを使用しないでください。

- 洗い流したあとは表面を乾いた布でよく拭いて、水抜き(P.18参照)を行ったのち、自然乾燥させてください。

レジャー

- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水や海水がかかった場合は所定の方法(P.15参照)で洗ってください。

海水・プール

風呂場

- 浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- 石けん、洗剤、入浴剤の入った水、温泉には浸けないでください。
- 規定(P.15参照)以上の強い水流(例:蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流)を直接当てないでください。

温泉・入浴剤

- 風呂場での長時間のご使用はお避けください。
- 寒いところから暖かい風呂場などにFOMA端末を持ち込むと、急激な温度変化による結露の原因となります。FOMA端末が常温になってから持ち込んでください。

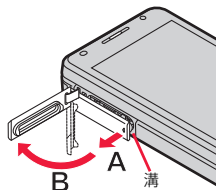
キッチン

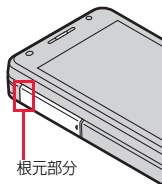
- 常温の真水や水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- お湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。

ご使用にあたっての重要事項

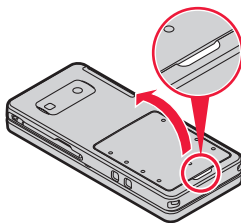
- ご使用前に、外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けている状態にしてください。微細なゴミ(微細な繊維、髪の毛、砂など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。外部接続端子カバーを閉じるときやリアカバーを取り付けるときは、カバー周辺(特にパッキン)にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- 外部接続端子カバーやリアカバーが浮いていないようにしっかりと閉じていることを確認してください。確実に閉じていないと浸水の恐れがあります。
- 防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

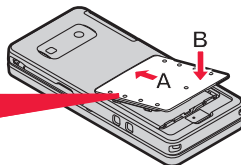
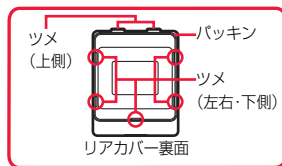
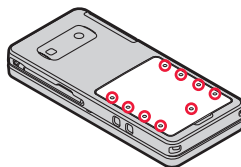
外部接続端子カバーの開けかた

①溝に指をかけてAの方向に引っ張り出したあと、Bの方向に開ける

外部接続端子カバーの閉じかた

①FOMA端末と平行に揃えて外部接続端子カバーの根元部分をしっかり押さえながら押し込む
②外部接続端子カバー全体に浮きがないことを確認する

リアカバーの取り外しかた

①FOMA端末の「▭」部分を利用して矢印方向に持ち上げてリアカバーを取り外す

- リアカバーを外す際に音がする場合があります。
- リアカバーは防水性能を維持するため、しっかりと閉じる構造になっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

リアカバーの取り付けかた

①リアカバーの上側のツメをFOMA端末に確実に合わせ(A)、リアカバーの左右と下側のツメをはめて押し込む(B)

②リアカバーのシール上の○印部分(9箇所)を押してリアカバー全体に浮きがないことを確認する

③リアカバーとFOMA端末に隙間がないことを確認する

注意事項

■FOMA端末について

- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。
  - ･外部接続端子がショートする恐れがあります。
  - ･ボタンやスライド部などの隙間から水分が入り込む場合があります。また、寒冷地では、FOMA端末に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。

  水で濡れた場合は、リアカバーを取り付けた状態で外部接続端子カバーを閉じたまま水抜き(P.18参照)を行い、FOMA端末から出た水分を乾いたきれいな布で直ちに拭き取ってください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  破損により防水性能の劣化を招くことがあります。
- お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 規定(P.15参照)以上の強い水流に当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
  - ･送話口、受話口、スピーカー部の穴などに砂などが入り、音が小さくなる恐れがあります。
  - ･水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合があります。
  - ･外部接続端子カバー、リアカバーに砂などがわずかでも挟まると浸水の原因となります。

■外部接続端子カバーやリアカバーについて

- 手袋などをしたまま開閉しないでください。
  パッキンの接着面に微細なゴミが付着する場合があります。
- 乾いたきれいな布で水分を拭き取る際は、パッキンに繊維が付着しないようにご注意ください。
- パッキンをはがさないでください。また、外部接続端子カバーやリアカバーの隙間に先の尖ったものを差し込まないでください。
  パッキンが傷つき、浸水の原因となります。
- 外部接続端子カバー、リアカバーのパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。
  破損箇所から内部に水などの液体が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子カバーまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

■送話口、受話口、スピーカー部について

- 送話口、受話口、スピーカー部の穴を尖ったものでつつかないでください。
- 水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。

■その他

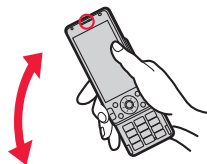
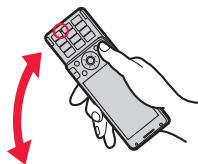
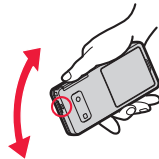
- 付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。付属の卓上ホルダにFOMA端末を取り付けた状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続しない状態でも、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

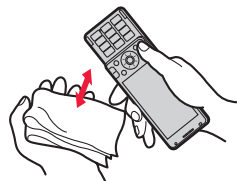
水に濡れたときの水抜きについて

- FOMA端末に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、音質が変化する場合があります。
- ボタンやスライド部などの隙間から水分が入り込んでいる場合があります。

下記の手順でFOMA端末の水分を取り除いてください。

①FOMA端末表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る

②FOMA端末を確実に持って、各面を少なくとも20回程度、水滴が飛ばなくなるまでしっかり振る

＜スピーカーの水抜き＞

③乾いたきれいな布にFOMA端末を軽く押し当て、送話口、受話口、スピーカー、ボタン、スライド部などの隙間に入った水分を拭き取る

- 隙間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

④十分に水分を取り除いてからご使用ください。

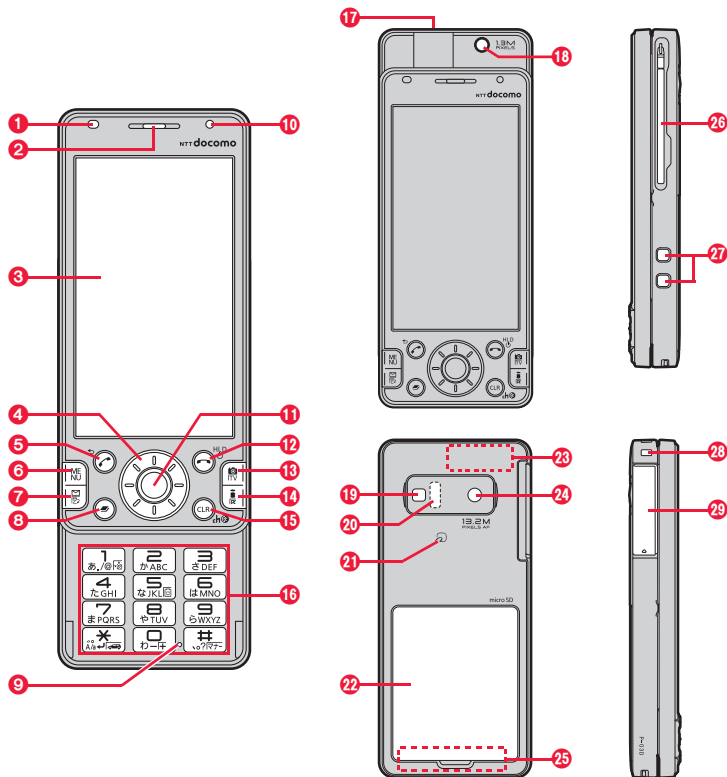
- 上記の手順を行っても、FOMA端末に水分が残っている場合がありますので、しばらく自然乾燥させてからご使用ください。また、水が染み出ることがありますので濡れては困るものをそばに置かないようにご注意ください。

充電のときには

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点を確認してください。

- FOMA端末が濡れた状態では絶対に充電しないでください。FOMA端末が濡れたときはよく水抜きをして乾いたきれいな布で拭き取ってから充電してください。
- 外部接続端子カバーを開けて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子カバーを閉じてください。外部接続端子からの浸水を防ぐため、付属の卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りで使用しないでください。

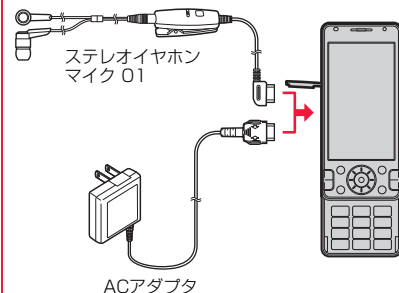
ご使用前の確認

各部の名称と機能

■イヤホンのご利用について

別売りの外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

- 変換アダプタを抜き差しするときは、本体側プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。また、抜くときは、外部接続端子カバーと本体側プラグを一緒に持たないようにご注意ください。
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01(別売)は3極のミニプラグのみ接続することができます。詳しくは外部接続端子用イヤホン変換アダプタ01の取扱説明書をご覧ください。

外部接続端子用
ステレオイヤホンマイク 01(別売)接続例

ACアダプタ(充電)およびステレオイヤホンマイク01(イヤホンマイク端子)の差込口が共通になっております。

❶光センサー
・明るさを感知する(P.104参照)
●光センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。

❷受話口
・相手の声をここから聞く

❸ディスプレイ(表示部)
・ディスプレイを表示する(P.27参照)

❹スピードセレクター
・機能操作やメニュー操作を行う(P.24参照)

❺開始ボタン
・電話をかける/受ける(P.52、P.66参照)

❻メニューボタン

❼メールボタン

❽マルチボタン

❾送話口
・自分の声をここから相手に送る

❿インカメライト
・暗いところなどでの撮影に使用する(P.234参照)

⓫着信/充電ランプ
・電話の着信時/通話中/メールの受信時などに光る(P.110参照)
・充電中に赤色に点灯する
・インカメラ撮影時に点灯/点滅する
●ご使用のFOMA端末や設定によっては、着信/充電ランプの光の見えかた、色味、点灯/点滅パターンが異なる場合があります。

⓬電源/終了ボタン
・通話を終了する
・各機能を終了する
・電源を入れる(1秒以上)/切る(2秒以上)(P.47参照)

⓭カメラボタン/ワンセグボタン

⓮ｉモードボタン/ｉアプリボタン

⓯クリアボタン/ｉチャネルボタン
・操作を1つ前の状態に戻す
・入力した文字や電話番号を消す

⓰ダイヤルボタン
・電話番号や文字を入力する

⓱スピーカー
・着信音が鳴る
・ハンズフリー設定中に相手の声をここから聞く(P.56参照)

⓲インカメラ
・クイックミラーを利用する(P.400参照)
・自分を撮影する(P.216参照)
・テレビ電話時に自分の顔を写す

⓳フォトライト
・アウトカメラ撮影時に点灯/点滅する
・暗いところなどでの撮影に使用する(P.234参照)

⓴赤外線ポート
・赤外線通信や赤外線リモコンに使用する(P.368、P.371参照)

㉑マーク
●ICカードを搭載しています。
このマークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用ください。なお、ICカードは取り外しできません。(P.293参照)

㉒リアカバー
・電池パック、ドコモminiUIMカード、microSDカードの付け外しをするときに取り外す(P.41、P.43、P.353参照)

㉓GPSアンテナ※

㉔アウトカメラ
・人や風景を撮影する(P.216参照)
・テレビ電話時に人や風景を写す

㉕FOMAアンテナ※

㉖ワンセグアンテナ
・ワンセグ放送を受信する(P.241参照)

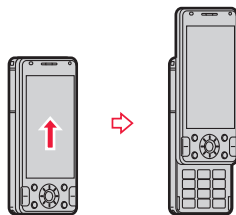
㉗充電端子

㉘ストラップ取り付け穴

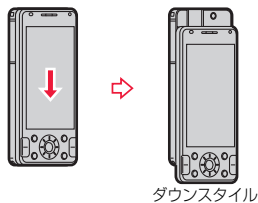
㉙外部接続端子
・ACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)、ステレオイヤホンマイク 01(別売)などを接続する
●充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。

※アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

FOMA端末の開きかた／閉じかた

FOMA端末を両手で持ち、上／下にスライドさせてください。
開くときや閉じるときはボタンに指が触れないようご注意ください。誤動作の原因となります。

ダウンスタイルについて

FOMA端末のディスプレイ側を下にスライドさせて開くと、インカメラの機能を使用できるダウンスタイルになります。

- ダウンスタイルでは主に以下の機能を利用できます。
  ・カメラ　・クイックミラー　・テレビ電話

ダウンスタイル

お知らせ

- 確認画面やサブメニューなどがポップアップ表示されているときにFOMA端末を開閉すると、ポップアップ表示が消える場合があります。

ダウンスライド設定

待受画面表示中にダウンスタイルに切り替えたときの動作を設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**その他設定**▶**ダウンスライド設定**▶**項目を選択**

クイックミラー．．．クイックミラーを起動します。(P.400参照)
カメラ．．．．．．．．．．デジカメモードでインカメラを起動します。(P.220参照)
OFF．．．．．．．．．．．．待受画面を継続して表示します。

- 「ダウンスライド設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- 「クイックミラー」に設定していても、ダウンスタイル→閉じる→ダウンスタイルと素早く切り替えるとクイックミラーは起動しない場合があります。
- 「クイックミラー」や「カメラ」に設定すると、ダウンスタイルに切り替わるときは常にクイックミラーやカメラが起動します。意図せずダウンスタイルに切り替わっても起動しますので、それらを起動させたくない場合は「OFF」に設定してください。

モーションコントロール

P-03Dには、FOMA端末の動きを感知するモーションセンサーが搭載されています。モーションコントロール設定を有効にし、FOMA端末を傾けるだけで画面の表示方向を自動で切り替えることができます。

- モーションコントロールに対応している主な機能は以下のとおりです。
  ・ピクチャビューア※1　・ピクチャアルバム※1
  ・Music&Videoチャネル※2　・ｉモーションプレーヤー※2
  ・ムービープレーヤー※2　・フルブラウザ※2
  ・ワンセグ※2　・ビデオプレーヤー※2

  また、カメラのデジカメモード、フォトモードで撮影した静止画については、「モーションコントロール設定」の設定に関わらず、撮影した際のFOMA端末の向きによって天地の情報が保存されます。

  ※1 左右に90度傾けるか、180度回転すると端末の向きに合った天地で画像が表示されます。
  ※2 左に90度傾けると、横画面で表示されます。

お知らせ

- 確認画面やサブメニューなどがポップアップ表示されているときにFOMA端末を傾けると、ポップアップ表示が消える場合があります。

モーションコントロール設定

モーションコントロールを有効にするかどうかを設定します。また、機能ごとに有効にするかどうかを設定することもできます。

1 MENU ▶**本体設定**▶**その他設定**▶**モーションコントロール設定**▶**項目を選択**

すべてON . . . . . .利用できるすべての機能でモーションコントロールを有効にします。

すべてOFF . . . . .利用できるすべての機能でモーションコントロールを無効にします。

カスタマイズ. . . .モーションコントロールの有効／無効を機能ごとに設定します。📷(編集)を押して機能ごとに「ON」または「OFF」を選択し、📷(完了)を押します。「Music&Videoチャネル」と「ｉモーション／ムービー」の場合、「ON」の代わりに「横再生」または「ワイド再生」を選択します。

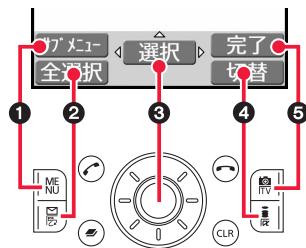
- 「ガイド」が表示されているときに📷またはiαを押すと、項目の説明などを確認できます。
- 「モーションコントロール設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- モーションコントロールを有効にしていると、サブメニューやボタン操作での表示方向の切り替えはできません。ただし、静止画表示中の✉(回転)のみ操作できます。
- 「すべてON」に設定した場合、「Music&Videoチャネル」と「ｉモーション／ムービー」は「横再生」に設定されます。
- 「カスタマイズ」の「ワンセグ」の設定は、ビデオ再生中の画面も含まれます。

ナビゲーション表示とボタン操作

ディスプレイに表示されている操作を行うには、表示に対応するボタンを押します。

■ボタン割り当てと主な表示例

❶	MENUボタンで行う操作を表示	ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ　閉
❷	✉ボタンで行う操作を表示	全選択　▲ページ
❸	●ボタンで行う操作を表示	選択　確定
	◎ボタンで行うスクロールや項目の選択が可能な方向を表示	△ ◁ ▷ ▽
❹	iαボタンで行う操作を表示	切替　▼ページ
❺	📷ボタンで行う操作を表示	完了　送信

お知らせ

- MENU、✉、iα、📷を押すときは、誤操作防止のため、「◌」部分を押してください。

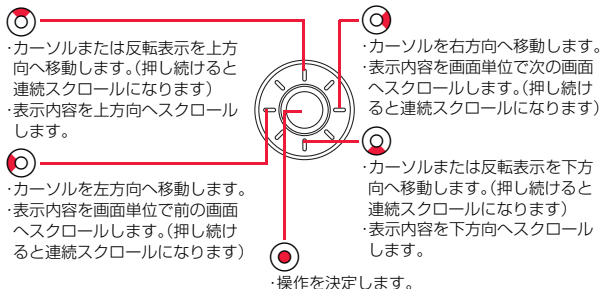
スピードセレクターの操作

・カーソルまたは反転表示を上方向へ移動します。(押し続けると連続スクロールになります)
・表示内容を上方向へスクロールします。

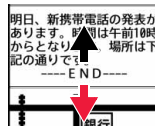
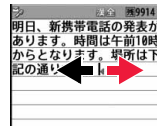
・カーソルを左方向へ移動します。
・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールします。(押し続けると連続スクロールになります)

・カーソルを右方向へ移動します。
・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールします。(押し続けると連続スクロールになります)

・カーソルまたは反転表示を下方向へ移動します。(押し続けると連続スクロールになります)
・表示内容を下方向へスクロールします。

・操作を決定します。

スピードセレクターの回転操作

表示している画面によっては、スピードセレクターを回転させることで、[決定ボタン]を押したときと同じように項目の選択や、カーソルの移動などを行うことができます。

回転の方向	操作例	
	 項目の選択	 絵文字などの選択
	 ページのスクロール	 カーソルの移動

●以下のような操作も可能です。
・受話音量、着信音量などの調節(P.69、P.95参照)
・カメラ撮影時のズーム倍率調節(P.217、P.227参照)
・ミュージック再生中などの音量調節(P.268参照)
・表示中の静止画の切り替え(P.321参照)
・ｉモーション再生中、ムービー再生中などの音量調節(P.327参照)

お知らせ

●省電力モードになっている場合、回転による操作はできません。
●機能によっては、回転による操作ができない場合があります。

スピードセレクター設定

1 MENU▶**本体設定**▶**その他設定**▶**スピードセレクター設定**▶**以下の操作を行う**

- 「スピードセレクター設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

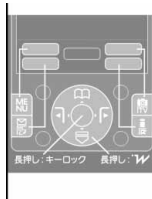
スピードセレクター	回転による操作を有効にするかどうかを設定します。
待受起動設定	待受画面表示中にスピードセレクターを時計回りまたは反時計回りに回転させたときに起動する機能を設定します。

お知らせ

<スピードセレクター>
- ｉアプリによっては、「ON」に設定していても操作できない場合があります。

<待受起動設定>
- 「スピードセレクター」の設定が「ON」の場合のみ、設定した機能が起動します。

「待受起動設定」を「キーガイダンス表示」に設定したときは

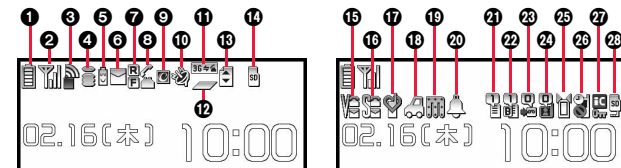
待受画面表示中にスピードセレクターを設定した方向に回転させると、◎、◎、◎、◎などを押したときの動作を表示します。(P.25参照)

待受画面での主なボタン操作

待受画面で各ボタンを操作すると以下のような動作になります。

ボタン操作	短く押す	1秒以上押す
◉	待受画面のアイコンなどの選択画面を表示(P.29、P.71、P.102参照)	キーロックの設定／解除(P.123参照)
◎(上)	電話帳検索画面を表示(P.86参照)	電話帳の登録画面を表示(P.83参照)
◎(下)	待受ショートカットを選択(P.38参照)	ｉウィジェットを起動(P.287参照)
◎(左)	発着信一覧を表示(P.57参照)	MyFACE画面を連続表示(P.36参照)
	着信履歴を表示(P.58参照)	受信アドレス一覧を表示(P.163参照)
◎(右)	MyFACE画面を表示(P.36参照)	MyFACE画面を連続表示(P.36参照)
	リダイヤルを表示(P.58参照)	送信アドレス一覧を表示(P.163参照)
MENU	メインメニューを表示(P.32参照)	－
カメラ/TV	カメラボタン設定で設定した機能を起動(P.395参照)	ワンセグを起動(P.244参照)
メール	メールメニューを表示(P.154参照)	メール／メッセージ問合せを実行(P.149参照)
iα	ｉMenuを表示(P.178参照)	ソフト一覧画面を表示(P.277参照)
	ｉモードメニューを表示(P.178参照)	
通話	直デン画面を表示(P.91参照)	音声クイック起動を実行(P.382参照)

ボタン操作	短く押す	1秒以上押す
	待受画面に設定したアニメーション·Flash画像·ｉモーションの停止／再生(P.102参照)	電源を切る(2秒以上押す)(P.48参照)
CLR	チャネル一覧画面を表示(P.211参照) ｉアプリ待受画面と通常のｉアプリを切り替え(P.285参照)	デスクトップのお知らせアイコンを削除(P.29参照)
0	「0」を入力	「+」を入力
1	「1」を入力	現在地を測位してGPS機能を実行(P.303参照)
2	「2」を入力	2in1をONに設定(P.425参照)
3	「3」を入力	ICカードロックの設定／解除(P.294参照)
4	「4」を入力	シークレットモードの設定／解除(P.124参照)
5	「5」を入力	ecoモードの設定／解除(P.105参照)
6	「6」を入力	フェムトセルの画面を表示(P.404参照)
7	「7」を入力	フォント設定の画面を表示(P.111参照)
8	「8」を入力	ビューブラインドのON／OFF(P.105参照)
9	「9」を入力	メニュー画面リセットを実行(P.109参照)
*	「*」を入力	公共モード(ドライブモード)の設定／解除(P.70参照)
#	「#」を入力	マナーモードの設定／解除(P.98参照)

ボタン操作	短く押す	1秒以上押す
	タスクメニューを表示(P.386参照)	画面の切り替え(P.386参照)

ディスプレイの見かた

❶		電池残量(目安)(P.46参照)
❷		電波の受信レベル(目安) 強 ←→ 弱
	圏外	FOMAサービスエリア外や電波の届いていないところにいるとき
	self	セルフモード中(P.118参照)
	TML	使用できないドコモminiUIMカードを挿入中(P.42参照)
❸		フェムトセル利用可能(P.404参照)
❹		ｉモード中(P.178参照)
		ｉモード通信中(P.178参照)
		パケット通信中(通信状態によって表示は異なります。)
		ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定中に圏外になったとき(P.437参照)
❺		ecoモード中(P.105参照)
	(グレー)	ecoモード自動起動設定を「ON」に設定中(P.106参照)
		SSL/TLS通信中(P.179参照)

❻		未読ｉモードメール･SMSあり(P.147、P.174参照)
	(橙色)	FOMA端末内のｉモードメール･SMSが一杯(P.147、P.174参照)
		ドコモminiUIMカード内のSMSが一杯
		ｉモードセンターにｉモードメールあり(P.149参照)
	(橙色)	ｉモードセンターのｉモードメールが一杯(P.147参照)
		メール選択受信設定を「ON」に設定中にｉモードセンターにｉモードメールあり(P.148参照)
		未読エリアメールあり(P.171参照)
❼		未読メッセージR/Fあり(P.168参照)
	(橙色)	FOMA端末内のメッセージR/Fが一杯(P.168参照)
		ｉモードセンターにメッセージR/Fあり(P.169参照)
	(橙色)	ｉモードセンターのメッセージR/Fが一杯(P.169参照)

❽		音声電話中
		テレビ電話中
		音声電話／テレビ電話切り替え中(P.55参照)
		64Kデータ通信中
		ダイヤルロック中(P.117参照)
		オリジナルロック中(P.119参照)
		シークレットモード、シークレット専用モード中(P.124参照)
		オリジナルロック中･シークレットモード、シークレット専用モード中
		赤外線通信中(P.368参照)
		赤外線リモコン操作中(P.371参照)
		iC通信中(P.372参照)
❾		ｉコンシェルの新着インフォメーションあり(P.213参照)
		未返信のｉアプリコールあり(P.284参照)

No.	アイコン	説明
❿		現在地測位中(P.303参照)
		位置提供設定を「位置提供OFF」以外に設定中で許可期間内(P.310参照)
	(グレー)	位置提供設定を「位置提供OFF」以外に設定中で許可期間外(P.310参照)
		オートGPS機能動作中(P.307参照)
		オートGPS機能動作中、位置提供設定を「位置提供OFF」以外に設定中で許可期間内
	(グレー)	オートGPS機能動作中、位置提供設定を「位置提供OFF」以外に設定中で許可期間外
⓫		海外利用時のネットワークの種類(P.435参照)
	OFFICEED	OFFICEEDエリア内にいるとき(P.431参照)
⓬		1つの機能が起動中(P.386参照)
		複数の機能が起動中(P.386参照)
		ワンセグ視聴中(P.244参照)
		ワンセグ録画中(P.249参照)
		ワンセグ予約録画中(P.253参照)
		ワンセグ録画一時停止中(P.250参照)
		ミュージック、Music&Videoチャネル再生中(P.260、P.267参照)
		ミュージック、Music&Videoチャネル一時停止中(P.260、P.267参照)
⓭		ページモードでサイト表示中(P.182参照)
⓮		microSDカードを装着中(P.353参照)
		microSDカードのデータを読み込み／書き込み中
		ライトプロテクトがかかったmicroSDカードを装着中(P.353参照)
		装着しているmicroSDカードが使用不可(P.353参照)
		microSDカードを装着し、microSDモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)接続中(P.363参照)
		microSDカードを装着し、MTPモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)接続中(P.363参照)
⓯		バイブレータ設定を「OFF」以外に設定中(P.96参照)
⓰		着信音量を「消去」に設定中またはメール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中(P.95、P.98参照)
⓱		マナーモード中(P.98参照)
		マナー解除時間設定を「ON」に設定中(P.99参照)
	(グレー)	マナー起動時間設定を「ON」に設定中(P.99参照)
⓲		公共モード(ドライブモード)中(P.70参照)
⓳		Music&Videoチャネル番組予約中(P.258参照)
⓴		アラーム設定中(P.253、P.388参照)
㉑	～ ・	留守番電話サービスの伝言メッセージあり(P.416参照)
㉒	～ ・	2in1のモードがデュアルモードの場合で、Bナンバーへ留守番電話サービスの伝言メッセージあり(P.430参照)
㉓	～	伝言メモの録音件数(P.71参照)
	～	自動音声メモの録音件数(P.397参照)
㉔	～	テレビ電話伝言メモの録画件数(P.71参照)
㉕		ビューブラインドを「ON」に設定中(P.105参照)
㉖		自動キーロック設定中(P.123参照)
		閉じタイマーロック設定中(P.122参照)
㉗		ICカードロック中(P.294参照)
㉘		USBモード(microSDモード／MTPモード)(P.363参照)
		FOMA 充電機能付USB接続ケーブル02(別売)接続中のUSBモード(通信モード／microSDモード／MTPモード)(P.363参照)
		USBハンズフリー対応機器接続中のUSBモード(通信モード／microSDモード／MTPモード)(P.66参照)
		FOMA 充電機能付USB接続ケーブル02(別売)とUSBハンズフリー対応機器接続中のUSBモード

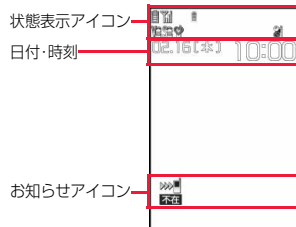
お知らせ

- 各アイコンは、FOMA端末の状態や設定により、縮小･変形して組み合わされた状態で表示されることがあります。
- 横画面表示の場合、アイコンの表示位置が異なることがあります。
- ディスプレイに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。
- カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境の変化などで点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。

デスクトップアイコンの利用

1 ◉を押す

- お知らせアイコンがなく待受ショートカットがある場合は、待受ショートカットが選択されます。(P.38参照)

状態表示アイコン
日付･時刻
お知らせアイコン

2 ◎でアイコンを選んで◉(選択)を押す

- 「お知らせアイコン」は5件まで表示されます。6件以上ある場合は✉(▲ページ)／i α(▼ページ)を押すと表示できます。
- 「お知らせアイコン」はそれぞれの機能を実行すると削除されます。すべての「お知らせアイコン」を削除するには、待受画面でCLRを1秒以上押します。(一部削除されないアイコンもあります。)
- 📷(設定)を押すと、待受画面に関する以下の機能を設定できます。
  ･待受画面設定(P.101参照)
  ･きせかえツール設定(P.349参照)
  ･カメラボタン設定(P.395参照)
  ･時計設定(P.112参照)

お知らせ

- 海外で「留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり」のお知らせアイコン(留守)が表示された場合、お知らせアイコンからの操作では留守番電話機能を使用できません。P.441「海外留守番電話サービス(有料)」の手順に従って操作してください。

表示アイコン設定

状態表示アイコンや日付･時刻を選択できるように設定します。

1 MENU▶本体設定▶画面･ディスプレイ▶表示アイコン設定▶ON･OFF

- 「表示アイコン設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- 「ON」に設定すると、アイコンや日付･時刻を選んだときに説明などが表示されます。

■状態表示アイコンや日付･時刻を選択したときの動作

アイコン	動作
(電池)	電池アイコンの選択画面を表示(P.102参照)
(アンテナ) 圏外	アンテナアイコンの選択画面を表示(P.102参照)
self	セルフモードを解除(P.118参照)
(eco)	ecoモードの画面を表示(P.105参照)
(eco)(グレー)	ecoモード自動起動設定の画面を表示(P.106参照)
(メール)	未読メールの一覧画面を表示(P.152参照)
(メール)(橙色)	未読メールの一覧画面、受信フォルダ一覧画面を表示(P.152参照)
(受信フォルダ)	受信フォルダ一覧画面を表示(P.152参照)
(メール)(橙色)	メールメニューを表示(P.154参照)
(メール選択受信)	メール選択受信画面を表示(P.148参照)
(未読メール)	未読メールの一覧画面を表示(P.152参照)
R F R F(橙色)	メッセージR/F一覧画面を表示(P.169参照)
R F R F(橙色)	メールメニューを表示(P.154参照)
(ロック)	ロック機能の画面を表示(P.117、P.119参照)
(シークレット)	シークレットモード／シークレット専用モードを解除(P.124参照)

ご使用前の確認

	ロック機能の画面を表示、シークレットモード／シークレット専用モードを解除(P.117、P.119、P.124参照)
	インフォメーション一覧を表示(P.213参照)
	iアプリコール履歴を表示(P.284参照)
(グレー)	位置提供設定の画面を表示(P.310参照)
	オートGPS動作設定の画面を表示(P.307参照)
(グレー)	位置提供設定、オートGPS動作設定の画面を表示(P.307、P.310参照)
	海外ネットワークサーチの画面を表示(P.437、P.438参照)
	エリア表示設定の画面を表示(P.431参照)
	タスクメニューを表示(P.386参照)
	視聴画面を表示(P.244参照)
	ミュージック、Music&Videoチャネルの再生画面を表示(P.260、P.268参照)
	バイブレータ設定、メール／メッセージ鳴動の画面を表示、マナーモードを解除(P.96、P.98参照)
	着信音量、メール／メッセージ鳴動の画面を表示、マナーモードを解除(P.95、P.98参照)
	マナーモードを解除、マナーモード選択の画面を表示(P.98、P.101参照)
	マナーモードを解除、マナー解除時間設定の画面を表示(P.98、P.99参照)
(グレー)	マナー起動時間設定の画面を表示(P.99参照)
	公共モード(ドライブモード)を解除(P.70参照)
	Music&Videoチャネル画面を表示(P.260参照)
	アラーム、メモ、視聴予約、録画予約の一覧画面を表示(P.251、P.387、P.394参照)
～・ ～・	留守番メッセージ再生の画面を表示(P.417参照)
～	伝言メモを解除、メモ一覧画面を表示(P.71、P.73参照)
～	メモ一覧画面を表示(P.73参照)
～	伝言メモを解除、テレビ電話伝言メモ一覧画面を表示(P.71、P.73参照)
	ビューブラインドの画面を表示(P.105参照)
	キーロックの画面を表示(P.123、P.124参照)
	閉じタイマーロック設定の画面を表示(P.122、P.123参照)
	ICカードロックの解除画面を表示(P.294参照)
	USBモードの画面を表示(P.363参照)
日付	カレンダーを表示(P.391参照) 時計未設定時はメイン時計設定の画面を表示(P.49参照)
時刻	アラームの一覧画面を表示(P.387参照) 時計未設定時はメイン時計設定の画面を表示(P.49参照)
サブ時計	サブ時計設定の画面を表示(P.49参照)

■お知らせアイコンを選択したときの動作

不在	**不在着信あり** 着信履歴を表示(P.57参照)
伝言	**伝言メモあり** メモ一覧画面を表示(P.73参照)
伝言	**テレビ電話伝言メモあり** テレビ電話伝言メモ一覧画面を表示(P.73参照)
メール	**新着メールあり** 受信メール詳細画面を表示(P.152参照)
R/F メッセージ	**新着メッセージR/Fあり** メッセージR/F詳細画面を表示(P.169参照)
送信結果	**送信予約メールの送信結果あり** 送信結果を表示(P.136参照)

保存メール	**保存メールあり** メール作成画面、デコメアニメ®作成画面、SMS作成画面を表示(P.134、P.140、P.172参照)
ソフト	**ｉアプリの自動起動ができなかったとき** ｉアプリの自動起動情報を表示(P.283参照)
ソフト	**未返信のｉアプリコールあり** ｉアプリコール履歴を表示(P.284参照)
トルカ	**読み取り機からトルカを取得** トルカ一覧画面を表示(P.297参照)
アプリ	**ｉアプリ待受画面でセキュリティエラーが発生** セキュリティエラー履歴を表示(P.279参照)
更新	**Music&Videoチャネルのダウンロードが成功** Music&Videoチャネルを起動(P.258参照)
失敗	**Music&Videoチャネルのダウンロードが失敗** Music&Videoチャネルを起動(P.259参照)
更新	**マチキャラのアップデートが可能になったとき** アップデートの確認画面を表示(P.109参照)
アラーム	**未通知アラームあり** 通知できなかったアラームの内容を表示(P.389参照)
アラーム	**未視聴予約あり** 通知できなかった視聴予約の内容を表示(P.254参照)
終了	**予約録画が完了したとき** 録画予約の内容と結果を表示(P.254参照)
ワンセグOFF	**ワンセグが自動的に終了したとき(エコナビ)** お知らせアイコンを消去
ecoモード	**自動的にecoモードに切り替わったとき(エコナビ)** 電池の画面を表示(P.47、P.105、P.106参照)
上限	**通話料金通知の上限料金を超えたとき** 通話料金の情報を表示(P.399参照)
留守	**留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり** 留守番メッセージ再生の画面を表示(P.417参照)
更新	**ケータイデータお預かりサービスの更新あり** ケータイデータお預かりサービスの更新画面を表示(P.128参照)
成功	**自動で位置提供したとき** 位置履歴を表示(P.306参照)
失敗	**自動で位置提供できなかったとき** 位置履歴を表示(P.306参照)
不在	**位置提供の要求に応えなかったとき** 位置履歴を表示(P.306参照)
再検索	**ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定中に圏外になったとき** 通信事業者の一覧を表示(P.437参照)
更新	**ソフトウェア更新が必要になったとき** ソフトウェア更新を起動(P.494参照)
	ソフトウェア更新を行ったとき 更新完了画面または完了しなかった理由を表示(P.496参照)
	ソフトウェアの書き換えが可能になったとき 書き換えの確認画面を表示(P.494参照)
更新	**パターンデータの自動更新を行ったとき** 更新結果を表示(P.498参照)
接続中	**FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続** USBモードの画面を表示(P.363参照)
充電停止	**充電が途中で停止したとき** 充電が自動的に停止した旨のメッセージを表示(P.45参照)

表示アイコン説明

画面に表示されるマーク(✉ など)をアイコンといいます。アイコンの説明を画面上で確認できます。

1 **MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶表示アイコン説明▶◎でアイコンを選ぶ**

- 「表示アイコン説明」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

メニューの選択

FOMA端末ではMENUを押してメインメニューを表示し、各種機能を実行、設定、確認します。本書では、メインメニューから機能を呼び出す方法を基準に説明しています。

メニューは機能ごとに分類されています。(P.450参照)

- MENUを押す以外の操作でも機能を選択できるものがあります。このような場合は、簡単に選択できる方法で記載しています。
- きせかえツールを利用してメインメニューやメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。
  また、メニュー項目に割り当てられている番号(項目番号)が適用されないものがあります。

■スクロール選択

メインメニューは、機能をイメージした12個の大項目アイコンで構成されています。

- 大項目アイコンを選択すると中項目の選択画面、さらに選択すると小項目の選択画面が表示されます。
- 選択を繰り返して設定、確認を行います。

■マルチタスクに対応

- メインメニューの中には、同時に使用することができる機能もあります。(P.386参照)

スクロール選択

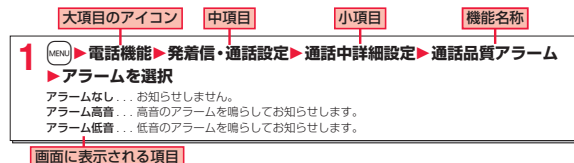
本書では、スピードセレクターの操作(上下左右の選択と機能項目を選択、入力したあとの●)を省略して記載しています。ここでは、以下の記載例に基づき、「通話品質アラーム」の機能を選択する方法を例にしてスクロール選択を説明します。

手順の記載例

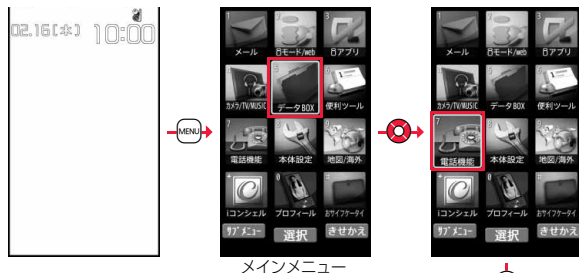
大項目のアイコン　中項目　小項目　機能名称

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**通話品質アラーム**▶**アラームを選択**

アラームなし. . . お知らせしません。
アラーム高音. . . 高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音. . . 低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

画面に表示される項目

ステップ1 メニュー機能の大項目アイコンを選択します

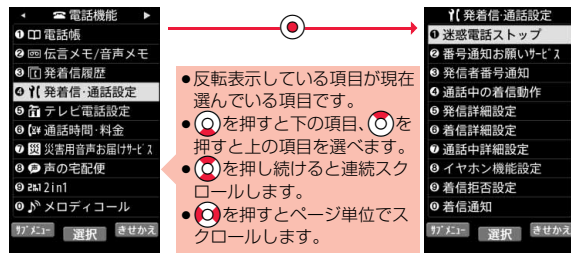
メインメニューから「電話機能」のメニューアイコンを選択します。お買い上げ時のメインメニューやメニュー画面は本体色によって異なります。

メインメニュー

- ◎を押してメニューアイコンを選択します。◎を押し続けると連続スクロールします。
- 30秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

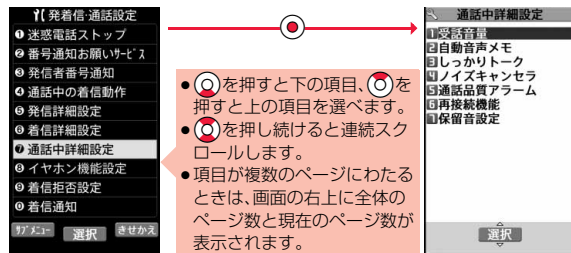
メニュー画面

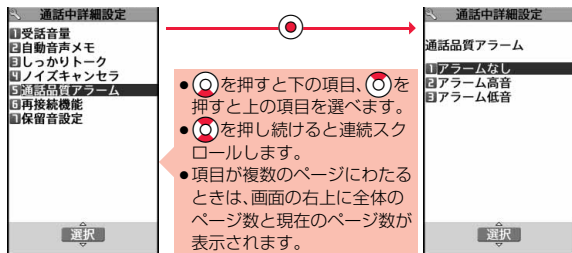
ステップ2 メニュー機能の中項目を選択します

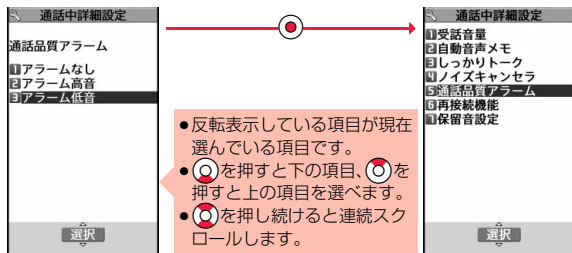
「電話機能」から「発着信･通話設定」を選択します。

- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- ◎を押すと下の項目、◎を押すと上の項目を選べます。
- ◎を押し続けると連続スクロールします。
- ◎を押すとページ単位でスクロールします。

ステップ3 メニュー機能の小項目を選択します

「発着信･通話設定」から「通話中詳細設定」を選択します。

- ◎を押すと下の項目、◎を押すと上の項目を選べます。
- ◎を押し続けると連続スクロールします。
- 項目が複数のページにわたるときは、画面の右上に全体のページ数と現在のページ数が表示されます。

ステップ 4 機能を選択します

「通話中詳細設定」から「通話品質アラーム」を選択します。

ステップ 5 機能の設定や確認をします

「通話品質アラーム」を「アラーム低音」に設定します。

シンプルメニュー

シンプルメニューとは、基本機能に絞って使いやすくしたメニューです。きせかえツールで「シンプルメニュー」に設定し、待受画面でMENUを押すと、シンプルメニューが表示されます。

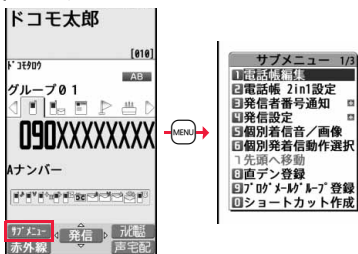
●シンプルメニューでの操作手順や画面に表示される項目は、本書に記載しているものとは一部異なります。

●シンプルメニューの内容については、P.470「シンプルメニュー機能一覧表」を参照してください。

サブメニュー

画面の左下に「ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ」が表示されているときにMENUを押すと、それぞれの操作において、登録や編集、削除など操作可能な項目を含んだサブメニューが表示されます。サブメニューを表示させたときの画面によって、サブメニューの内容は異なります。

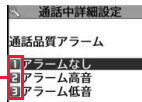
●項目が複数のページにわたるときは、サブメニュー画面の右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。

●項目の配下にさらに項目がある場合は、「＋」が表示されます。

素早く項目を選択するには＜ダイレクト選択＞

表示されている項目番号と同じダイヤルボタンを押します。

●メインメニューやメニュー画面でダイヤルボタンを押しても大項目アイコンを選択できます。

項目番号

通話中詳細設定
通話品質アラーム
1アラームなし
2アラーム高音
3アラーム低音

項目のスクロールについて

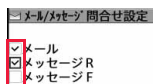
メニュー項目などが複数のページにわたるときは、画面の一番上、下の項目から○を押すと前、次のページが表示できます。○を押すとページ単位でスクロールします。▲ページ／▼ページなどが画面に表示されているときは、✉（▲ページ）／iα（▼ページ）を押してもページ単位でスクロールできます。

チェックボックスについて

複数の項目を選択できる機能では、チェックボックスにチェックを付けて項目を選択します。

●（選択）を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

機能によっては✉（全選択／全解除）を押すか、サブメニューから「全選択／全選択解除（全解除）」を選択しても一括でチェックを付けたり外したりできる場合があります。

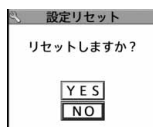
- 機能によっては選択した項目に「☑」が表示されます。

操作を終えたあとは

機能の選択画面が表示されます。⌒を押すと待受画面に戻ります（マルチタスク中を除く）。機能によっては自動的に待受画面や元の画面に戻るものもあります。

操作を途中でやめるには

⌒を押します。設定中の内容が破棄されて待受画面や元の画面に戻ります。機能によっては設定中の内容を破棄するかしないかの確認画面が表示される場合があります。CLRを押すと操作を1つ前の状態に戻せます。

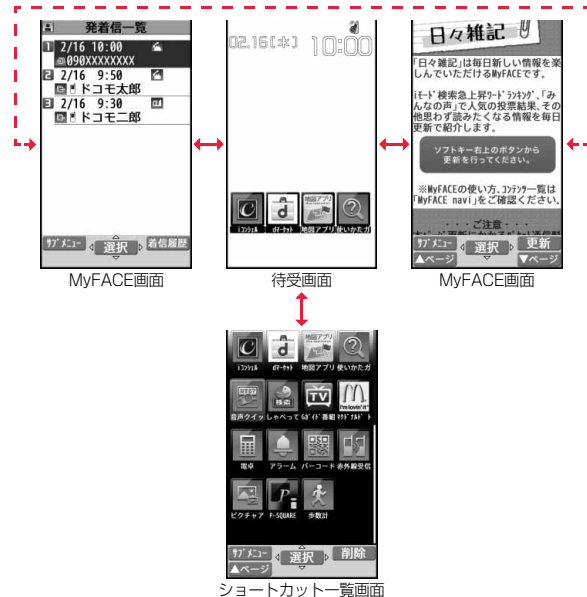
「YES／NO」を選択する画面では

○を押して項目を選び、●（選択）を押します。

docomo Palette UI

docomo Palette UIとは、待受画面を中心にさまざまな機能やサービスへ簡単にアクセスできるユーザーインターフェースで、お客様が自由にカスタマイズすることができます。

待受画面の左右にはMyFACE、下にはショートカットが表示されます。

MyFACE画面　　待受画面　　MyFACE画面

ショートカット一覧画面

MyFACEの利用

MyFACE機能とは、MyFACEコンテンツをサイトからダウンロードして待受画面の左右に登録することにより、待受画面で を押すとすぐに表示できる便利な機能です。

- MyFACEコンテンツによっては自動で情報が更新されるものがあり、最大で1時間に1回自動的に通信を行います。更新時にはパケット通信料がかかります。(お買い上げ時に登録されているMyFACEコンテンツの更新にはパケット通信料はかかりません。)
- お買い上げ時は以下のMyFACEコンテンツが登録されています。
  ･発着信一覧　･MyFACE navi　･日々雑記

1 を押す

MyFACE画面が表示されます。を押すごとにMyFACE画面が切り替わり、1巡すると待受画面に戻ります。

- MyFACE画面でまたはCLRを押しても待受画面に戻ります。
- MyFACEコンテンツが更新されている場合は、更新通知として待受画面に「F NEW」、MyFACE画面に「NEW」が表示されます。更新されたMyFACE画面を表示すると「NEW」が消え、更新されたすべてのMyFACE画面を表示すると「F NEW」が消えます。

2 MyFACEコンテンツを操作する

- で画面をスクロールしたり、リンクやコンテンツなどを選択したりできます。リンクやコンテンツなどを選んで(選択)を押すと、それらを実行できます。
- (▲ページ)／(▼ページ)を押すとページ単位で画面をスクロールできます。
- 「更新」が表示されている場合は、(更新)を押すと情報などを更新できます。

お知らせ

- 「MyFACE利用設定」が「利用しない」に設定されている場合にを押すと、MyFACE画面は表示されずに「リダイヤル」または「着信履歴」が表示されます。
- お買い上げ時に登録されているMyFACEコンテンツでも、国際ローミング中やｉモードの「接続先設定」を変更すると、更新時にパケット通信料がかかります。

お知らせ

- MyFACEコンテンツの更新時にすべてのファイルが取得できなかった場合、次回の更新時にすべてのファイルを再取得するため、再度パケット通信料がかかります。

MyFACEコンテンツのダウンロード

サイトからMyFACEコンテンツをダウンロードして、待受画面の左右に登録します。

- お買い上げ時に登録されているMyFACEコンテンツを含めて12件まで登録できます。
- 1件あたり500KバイトまでのMyFACEコンテンツをダウンロードできます。

1 ダウンロード可能なサイトを表示 ▶MyFACEコンテンツを選択

MyFACEコンテンツをダウンロードします。ダウンロードが完了すると登録する位置を選択する画面が表示されます。

2 で登録する位置を選んで(選択)を押す

MyFACEコンテンツを自動で更新するかどうかの確認画面が表示されます。

3 YES･NO

MyFACE画面が表示されます。またはCLRを押すとサイト画面に戻ります。

- を押すとｉモードブラウザを終了してMyFACE画面を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- 「MyFACE利用設定」が「利用しない」に設定されている場合は、「利用する」に変更するかどうかの確認画面が表示されます。

MyFACE画面がいっぱいのときは

すでにMyFACEコンテンツが最大件数登録されている場合は、ダウンロード後に不要なMyFACEコンテンツを削除してから登録できます。

1. 削除するかどうかの確認画面▶YES
2. ⓞで削除したいMyFACEコンテンツを選んで◉(選択)▶YES
   以降、P.36「MyFACEコンテンツのダウンロード」手順2へ進みます。

MyFACE画面のサブメニュー

●「発着信一覧」のサブメニューについてはP.58参照。

並び替え	MyFACE画面の位置を変更します。
削除	MyFACEコンテンツを削除します。
自動更新設定	MyFACEコンテンツを自動で更新するかどうかを設定します。
メールでURL送信	MyFACE紹介用のURLが本文に入力されたｉモードメールを作成します。 ●MyFACEコンテンツによっては、題名も入力されます。
外部送信	
赤外線送信	MyFACE紹介用のURLをBookmarkとして赤外線通信で送信します。
iC送信	MyFACE紹介用のURLをBookmarkとしてiC通信で送信します。
microSD	
microSDへ移動	MyFACEコンテンツを待受画面の左右から削除してmicroSDカードに移動します。
microSD内一覧	P.37参照
テキストコピー	MyFACE画面内の文字をコピーします。
画像保存	MyFACE画面内の画像を「マイピクチャ」に保存します。「スクリーンショット」を選択するとMyFACE画面全体を画像として保存します。
表示・設定	
MyFACE利用設定	MyFACE機能を利用するかどうかを設定します。
情報表示	タイトル、説明、作成者、バージョン、紹介用URLなどの情報を表示します。
文字サイズ変更	文字サイズを設定します。
証明書参照	MyFACEコンテンツが持っている証明書を表示します。
文字コード変換	文字コードが切り替わります。
リトライ	アニメーションやFlash画像などを最初から再生します。

お知らせ

<並び替え>

●「発着信一覧」の位置は変更できません。

<削除>

●「発着信一覧」「MyFACE navi」は削除できません。

<メールでURL送信><赤外線送信><iC送信>

●送信したURLがすでに利用できなくなっている場合もありますので、ご注意ください。

<microSDへ移動>

●お買い上げ時に登録されているMyFACEコンテンツは移動できません。また、MyFACEコンテンツによっては移動できない場合があります。

microSD内一覧

microSDカードに保存されているMyFACEコンテンツを表示し、MyFACEコンテンツを待受画面の左右に登録します。

●お買い上げ時に登録されているMyFACEコンテンツを含めて12件まで登録できます。

1 MyFACE画面▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶microSD▶microSD内一覧▶移行可能コンテンツ

MyFACEコンテンツ一覧画面が表示されます。

2 MyFACEコンテンツを選んでMENU(サブメニュー)▶本体へ移動▶YES

以降、P.36「MyFACEコンテンツのダウンロード」手順2へ進みます。
- TV(移動)を押しても本体へ移動できます。

MyFACEコンテンツ一覧画面のサブメニュー

本体へ移動	P.38手順2参照
情報表示	タイトル、説明、作成者、バージョン、紹介用URLなどの情報を表示します。 ●●(選択)を押しても情報を表示できます。
削除	削除します。

ショートカットの利用

待受画面の下にはショートカットの一覧画面があり、よく利用する機能やコンテンツなどのショートカットを作成しておくと、すぐに機能を利用できます。また、ショートカットのグループを作成して管理することもできます。

- メインメニューやメニュー画面の各機能や、電話帳の電話番号やメールアドレス、Bookmark、画面メモ、iアプリ、静止画、動画などの各データのショートカットが作成できます。
- ショートカットは244個まで、ショートカットグループは24個まで作成できます。

ショートカットの起動

1 ◯を押す

待受ショートカットが選択されます。◯でショートカットを選択して●(選択)を押すとショートカットを実行できます。

- お知らせアイコンがない場合は、●を押しても待受ショートカットを選択できます。
- TV(削除)を押すとショートカットを削除できます。
- 待受ショートカットが1件もない場合は、ショートカット一覧画面が表示されます。手順3へ進みます。

2 ◎または(▼ページ)を押す

ショートカット一覧画面が表示されます。

- ショートカット一覧画面で最上部の4つのショートカットが待受ショートカットとなります。
- ショートカットグループを選んで◉(選択)を押すと、グループ内のショートカットの表示／非表示を切り替えることができます。
- ✉(▲ページ)／(▼ページ)を押すとページ単位で画面をスクロールできます。
- 待受画面に戻るには、⌒またはCLRを押します。一定時間何も操作しなかった場合も待受画面に戻ります。

ショートカット一覧画面

3 ◎でショートカットを選んで◉(選択)を押す

ショートカットが実行されます。

■お買い上げ時に作成されているショートカット

	ｉコンシェル		電卓
	dマーケット		アラーム
	地図アプリ		バーコードリーダー
	使いかたガイド		赤外線受信
	音声クイック起動		ピクチャアルバム
	しゃべって検索		P-SQUARE
	Gガイド番組表リモコン		歩数計
	マクドナルド トクするアプリ		

お知らせ

- 作成元のデータが削除された場合は、ショートカットも削除されます。
- サイトからｉアプリをダウンロードすると、そのｉアプリのショートカットが自動的に作成されます。
- シークレット登録されている電話番号やメールアドレスのショートカットは、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」でのみ表示されます。
- 作成したショートカットの件数が多いときは、ショートカットの画像が代替画像になる場合があります。

ショートカット選択中のサブメニュー

移動	移動します。ショートカットグループに移動することもできます。また、画面下部に表示される新規のショートカットグループに移動することで、ショートカットグループを作成することもできます。 ●◉(選択)を1秒以上押しても移動できます。
1件削除	削除します。
選択削除	
名称変更	ショートカット名を変更します。
新規追加	新しくショートカットを追加します。追加したい機能を選択します。
新規グループ作成	グループ名を入力してグループを作成します。
待受ショートカット設定	待受ショートカットを常に表示するか、待受画面で◎または◉を押したときに表示するかを設定します。

ショートカットグループ選択中のサブメニュー

グループの移動	移動します。
グループ削除	削除します。グループ内のショートカットも削除されます。
グループ名称変更	ショートカットグループ名を変更します。
グループ色変更	色を変更します。

新規グループ作成	P.39参照
待受ショートカット設定	P.39参照

ショートカット作成

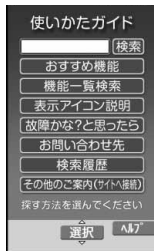
利用中の機能や選択している項目のショートカットを作成します。

1 ショートカットを作成したい画面▶MENU(サブメニュー)▶ショートカット作成

使いかたガイド

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法などを確認します。機能によっては「使いかたガイド」から実行できるものもあります。

1 MENU▶便利ツール▶使いかたガイド▶以下の操作を行う

- 各項目を選んで📷(ヘルプ)を押すと詳しい説明が表示されます。
- お買い上げ時に待受ショートカットに設定されている使いかたガイドのアイコン「?」を選択しても、使いかたガイドの画面を表示させることができます。

キーワード入力欄を選択	キーワードを入力して検索します。 ●検索結果は50件まで表示されます。
おすすめ機能	各カテゴリの中から検索します。
機能一覧検索	
表示アイコン説明	P.31参照
故障かな？と思ったら	気になる症状を各カテゴリの中から検索します。
お問い合わせ先	
ドコモへのお問い合わせ	P.423参照
おまかせロックの設定／解除	おまかせロックの設定／解除や、紛失などによる緊急利用中断･再開などができるフリーダイヤルを表示します。
検索履歴	検索履歴から検索します。 ●検索履歴は30件まで記憶されます。類似機能を検索した場合は、検索履歴一覧画面に30件表示されない場合があります。 ●検索履歴一覧画面のサブメニューから検索履歴を削除できます。
その他のご案内（サイトへ接続）	サイトに接続してドコモのサービスや機能などを確認できます。

お知らせ

<キーワード入力欄を選択><おすすめ機能><機能一覧検索><検索履歴>

- 機能によっては●(選択)を数回押して選択します。
- 機能を選んで📷(説明)を押しても機能の説明が表示されます。

ドコモminiUIMカード

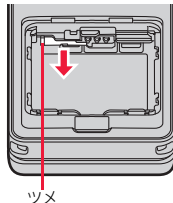
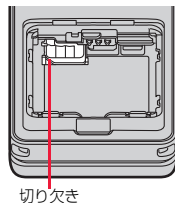
ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモminiUIMカードには、電話帳やSMSなどのデータも保存できます。ドコモminiUIMカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。
ドコモminiUIMカードを差し込まないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、i モード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用できません。
ドコモminiUIMカードの詳しい取り扱いにつきましては、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。
ドコモminiUIMカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

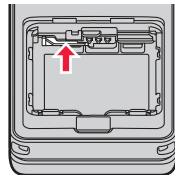
取り付け／取り外し

ドコモminiUIMカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り付けます。(P.43参照)

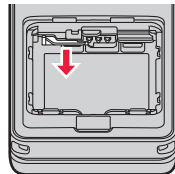
取り付けかた

1 トレイのツメ部分を引き、止まるまでまっすぐ、ゆっくりトレイを引き出す

- トレイは外れませんので、停止位置を越えて引き出さないでください。トレイやツメが破損する場合があります。

2 ドコモminiUIMカードの金色のIC面を上にし、切り欠きが左側になっていることを確認してトレイにのせる

3 ドコモminiUIMカードを奥に押し込む

- 固定されるまで確実に押し込んでください。

取り外しかた

1 「取り付けかた」の手順1に従ってトレイを引き出し、ドコモminiUIMカードをスライドさせながら、ゆっくりと引き抜く

- ドコモminiUIMカードが半分程度見える位置までトレイを引き出したあと、ドコモminiUIMカードをスライドさせて引き抜いてください。

お知らせ

- ドコモminiUIMカードの付け外しは、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
- ドコモminiUIMカードを無理に付けようとするとドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 外したドコモminiUIMカードはなくさないようご注意ください。

お知らせ

- ドコモminiUIMカードを差し替えたときは、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。端末暗証番号を正しく入力し、エラー情報が送信される旨の確認画面と設定はリセットされない旨の確認画面で「OK」を選択すると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)
- 本FOMA端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

暗証番号

ドコモminiUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。(P.115参照)

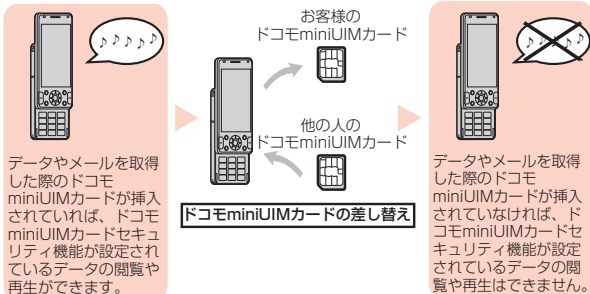
ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能(ドコモminiUIMカード動作制限機能)が搭載されています。
ドコモminiUIMカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されます。
・サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどをダウンロードしたとき
・ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき

ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたドコモminiUIMカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などを実行できます。データやファイルの取得時に挿入していたドコモminiUIMカードを挿入していなかったり、別のドコモminiUIMカードに差し替えると、これらの操作ができなくなります。

- このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたドコモminiUIMカードを「お客様のドコモminiUIMカード」、それ以外のドコモminiUIMカードを「他の人のドコモminiUIMカード」として説明しています。

データやメールを取得した際のドコモminiUIMカードが挿入されていれば、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されているデータの閲覧や再生ができます。

データやメールを取得した際のドコモminiUIMカードが挿入されていなければ、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されているデータの閲覧や再生はできません。

- ドコモminiUIMカードを挿入していなかったり、他の人のドコモminiUIMカードを挿入すると次のようなデータやファイルでは、制限を示す「 」が表示されます。
  - ･テレビ電話伝言メモ　･テンプレート　･ｉアプリ　･画像
  - ･ｉモーション　･キャラ電　･マチキャラ　･メロディ
  - ･きせかえツール　･コンテンツパッケージ　･フォント
  - ･PDFデータ　･Music&Videoチャネル
  - ･データやファイルを含んだ画面メモ　･着うた®／着うたフル®
  - ･ダウンロード辞書　･MyFACEコンテンツ
  - ･受信BOX内のｉモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル
  - ･送信BOX／保存BOX内のｉモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル(ただし、FOMA端末で撮影／編集したデータは除く)
  - ･ファイル(メロディ／画像)が添付されている、または貼り付けられているメッセージR/F
  - ･デコメール®本文中に挿入されている画像

  ※あらかじめ登録されているｉアプリ／キャラ電／デコメ絵文字®などは、サイトから再びインストール(バージョンアップ)すると本機能の対象になります。

  ※「着うた」「着うたフル」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されているデータのプレビュー画像は右のように表示されます。

お知らせ

- ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されると、他の人のドコモminiUIMカードに差し替えたときは、本機能が設定されたデータやファイルを「待受画面設定」や「着信音選択」などに設定できません。
- ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルを「待受画面設定」や「着信音選択」などに設定した場合、ドコモminiUIMカードを抜いたり、他の人のドコモminiUIMカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のドコモminiUIMカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。

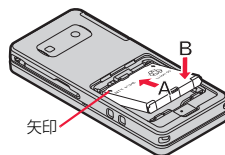
お知らせ

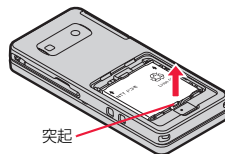
- 赤外線通信機能やデータの送受信(OBEX™通信)機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影／編集した静止画／動画には、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されません。
- 他の人のドコモminiUIMカードを挿入した状態でも、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの移動／削除は可能です。
- 下記の機能は設定内容がドコモminiUIMカードに保存されます。
  - ･有効期間設定　･センター設定　･Select language
  - ･優先ネットワーク設定　･PIN1コード、PIN2コード　･PIN1コード入力設定
  - ･ドコモ証明書1、ユーザ証明書の有効／無効の設定

電池パックの取り付け／取り外し

FOMA端末専用の電池パック P23を使用してください。
電池パックは、リアカバーを取り外してから取り付けます。(P.16参照)

取り付けかた

1 電池パックの矢印面を上にして、矢印側をFOMA端末に合わせて差し込み、Aの方向に押し付けながら、Bの方向に押し込む

取り外しかた

1 電池パックの突起を利用して上方向に持ち上げる

お知らせ

- 電池パックの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
- 電池パックを無理に付けようとするとFOMA端末の端子部やドコモminiUIMカードが壊れることがあります。

充電

FOMA端末専用の電池パック P23を使用してください。

電池パックの寿命は？

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01/02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01/02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。また、開いた状態で充電すると、待受時間や通話時間などが短くなる場合があります。
- 充電中に、テレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。
- 充電中はカメラを起動できない場合があります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。
- 使用状況によっては電池残量が100%になる前に充電が停止することがあります。このようなときは、使用しているすべての機能を終了してから再度充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または付属の卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

- 充電中にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

電池パックの使用時間の目安（電池パックの使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります。）

連続待受時間（FOMA/3G）	静止時：約580時間
連続通話時間（FOMA/3G）	音声電話時　：約200分 テレビ電話時：約100分
ワンセグ視聴時間	約260分

※連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。

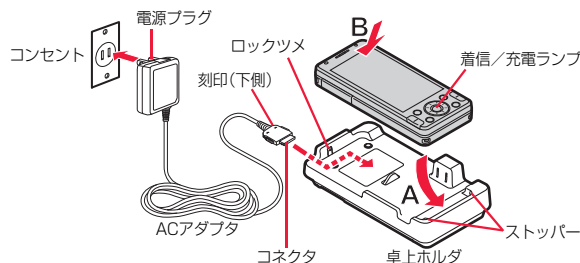
※連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、メールやアプリ、ワンセグなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。

※滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。
※静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

電池パックの充電時間の目安

ACアダプタ	約120分	DCアダプタ	約120分

※充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

卓上ホルダでの充電

1 ACアダプタ（別売）のコネクタの刻印面を下にして、付属の卓上ホルダのコネクタ端子へ水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込む

3 卓上ホルダのストッパーにFOMA端末の底部を押し込み（A）、そのままFOMA端末の頭部をロックツメに合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む（B）

着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。
着信／充電ランプが点滅した場合は、FOMA端末から電池パックを一旦外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。
再び同じ動作をする場合はACアダプタ、卓上ホルダや電池パックの異常や故障が考えられますのでドコモショップなど窓口までご相談ください。

- 充電開始、終了時に「充電確認音」（P.97参照）が鳴ります。ただし、電源を切っているときや、待受画面以外を表示中、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は鳴りません。
- FOMA端末は、卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。

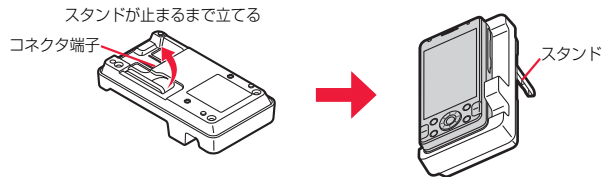
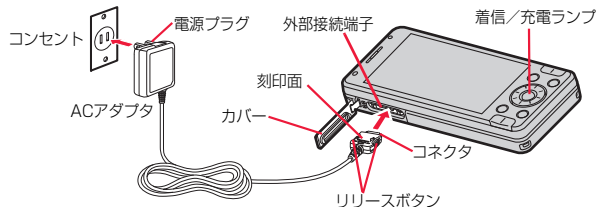
4 充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の頭部をつかんで持ち上げ、取り外す

- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

■充電中・充電完了時の表示について

	着信／充電ランプ	電池アイコン
充電中	赤く点灯	点滅
充電完了	消灯	点灯

- FOMA端末の電源を切っているときは、電池アイコンは表示されません。
電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。
- FOMA端末を使用しながら充電した場合や自動的に充電が停止した場合、デスクトップに「 」が表示されることがあります。

■卓上ホルダのスタンドについて
卓上ホルダのスタンドを立てて、斜めに立てた状態にすると、ワンセグなどを視聴しやすくなります。FOMA端末を操作するときは、卓上ホルダから外れたり、倒れたりしないように、手でしっかりと押さえながら行ってください。
※上から押したりしてスタンドに過度な力を加えると、破損する場合がありますのでご注意ください。

ACアダプタでの充電

1 ACアダプタ(別売)のコネクタの刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで外部接続端子へ水平に差し込む

- 充電するときは、外部接続端子のカバーをイラストの位置にしてください。外部接続端子のカバーを開けたままFOMA端末を開閉する場合は、外部接続端子のカバーをFOMA端末に挟まないようにご注意ください。
- 外部接続端子カバーの開けかたについてはP.16参照。

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込む

3 充電が完了したら、コネクタのリリースボタンを押しながら、外部接続端子から引き抜く

※ ACアダプタの抜き差しは、向き(表裏)を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると故障の原因となります。

■DCアダプタ(別売)
DCアダプタは、FOMA端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライターソケット(12V／24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。詳しくはFOMA DCアダプタ 01/02の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
- DCアダプタで充電中、ヒューズが切れたときは、必ず2Aのヒューズをご使用ください。ヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量

FOMA端末の電源を入れると、電池残量の目安が表示されます。

電池残量	アイコン表示
十分残っているとき(80～100%)	
すこし少なくなっているとき(60～79%)	
少なくなっているとき(40～59%)	
かなり少なくなっているとき(20～39%)	
ほとんど残っていないとき(0～19%)	

お知らせ
- 電池の残量がほとんど残っていないときは、充電してください。
- 使用状況によっては電池残量の表示が大きく変動することがあります。

音と表示で確認

電池残量の目安が音と画面で確認できます。

1 MENU▶**本体設定**▶**電池**▶**電池残量**

十分残っているとき ピッピッピッピッピッ
すこし少なくなっているとき ピッピッピッピッ
少なくなっているとき ピッピッピッ

かなり少なくなっているとき ピッピッ
ほとんど残っていないとき ピッ

※電池残量がほとんどありません。
充電してください。

- 絵表示の上には、電池残量の目安がパーセントで表示されます。
- 絵表示は約5秒後に消えます。
- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定しているときは、電池残量確認音は鳴りません。
- 「電池残量」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

電池が切れるときは

電池残量がなくなると右のような画面が表示され、電池切れアラームが約10秒間鳴ります。電池切れアラームを止めるにはいずれかのボタンを押してください。約1分後に電源が切れます。

電池切れ画面

- 通話中は、画面とともに受話口からの「ピピピ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れます。
- 電池切れアラームは、電池残量が約10%以下でも鳴ることがあります。

電源ON／OFF

電源ON

1 ⌒**を1秒以上押す**

防水についての確認事項とウェイクアップ画面(P.102参照)が表示されたあと、待受画面が表示されます。

- 防水についての確認事項が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- メイン時計設定が設定されていれば現在の日付時刻が表示されます。
- 「圏外」が表示されているときはFOMAサービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。「圏外」が消えるところまで移動してください。

待受画面

ドコモminiUIMカードを差し替えたときは

電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力します。端末暗証番号を正しく入力し、エラー情報が送信される旨の確認画面と設定はリセットされない旨の確認画面で「OK」を選択すると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

「UIM(FOMA)カード設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しているときは

電源を入れたあと4～8桁のPIN1コードを入力します。PIN1コードを正しく入力すると待受画面が表示されます。PIN1コードについてはP.115参照。

「積算料金自動リセット」を「ON」に設定しているときは

電源を入れたあと4～8桁のPIN2コードを入力します。PIN2コードを正しく入力すると待受画面が表示されます。PIN2コードを正しく入力せずにCLRを押すと「積算料金自動リセット」が「OFF」に設定され、待受画面が表示されます。PIN2コードについてはP.115参照。

Welcomeメールを確認する

お買い上げ時は、「50メガ対応 i モーション」「Welcome! P-03D」のメールが保存されています。P.152手順1の操作を行うと、受信メール一覧画面が表示されます。

お知らせ

- 各入力画面は、「PIN1コード」→「端末暗証番号」→「PIN2コード」の順に表示されます。

電源OFF

1 **(2秒以上)▶YES**

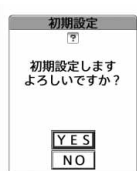
終了画面が表示され、電源が切れます。

- 操作している画面によっては、確認画面が表示されない場合があります。
- 電源を切った直後に電源を入れることはできません。数秒お待ちください。

初期設定

日付時刻、端末暗証番号、文字サイズ、位置提供設定、ボタン確認音、スピードセレクター音が設定されていない場合は、電源を入れると初期設定の画面が表示されます。各機能はメニュー機能からも個別に設定できます。

1 **電源を入れる▶YES**

- 端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コードの入力画面が表示された場合はP.47の操作を行います。

2 **日付時刻を設定する**

日付時刻を設定します。自動で日付時刻を補正することもできます。(P.49参照)

3 **端末暗証番号を設定する**

各種機能の設定に必要な端末暗証番号を設定します。(P.116参照)

4 **文字サイズを設定する**

画面に表示される文字の大きさを設定します。(P.111参照)

5 **位置提供設定を設定する**

GPSの位置提供要求があったとき、現在地を知らせるかどうかを設定します。(P.310参照)

6 **ボタン確認音を設定する**

ボタン確認音を鳴らすかどうかを設定します。(P.97参照)

7 **スピードセレクター音を設定する**

スピードセレクターを回転させたときの音を設定します。(P.97参照)

お知らせ

- 未設定の機能がある場合は、電源を入れるたびに未設定の初期設定の画面が表示されます。
- 設定中に電話がかかってきたり、またはCLRを押すなどして初期設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
- アラーム通知により自動的に電源がONになった場合、未設定の機能があっても初期設定の画面は表示されません。
- 初期設定を終了すると、ソフトウェア更新を自動で行う旨の確認画面とエラー情報が送信される旨の確認画面が表示されます。この画面は初回のみ表示され、以降設定リセットまたは端末初期化を行うまで表示されません。

メイン時計設定

日付･時刻を自動で補正するか､手動で設定するかを切り替えることができます｡また､時差の補正方法も設定します｡時刻は24時間制で設定／表示します｡

1 MENU▶**本体設定**▶**時計**▶**メイン時計設定**▶**以下の操作を行う**

●「メイン時計設定」のショートカットを作成できます｡(P.40参照)

自動時刻時差補正		
	自動	日付･時刻を自動で補正します｡また､時差を自動で補正するか､タイムゾーンを選択して手動で補正するかを設定します｡
	手動時刻設定	日付･時刻をタイムゾーンを選択して手動で設定します｡
サマータイム		時刻を1時間進めて表示します｡

日付･時刻の補正機能について

電源を入れたときにネットワークから取得した時刻情報と時差補正の情報をもとに､FOMA端末の時刻を補正する機能です｡
「自動時刻時差補正」や時差の補正方法を「自動」に設定している状態で待受画面を表示中に時刻が補正されます｡
電源を入れてもしばらく補正されない場合は､電源を入れ直してください｡

- 数秒程度の誤差が生じる場合があります｡また､電波状況やｉアプリ待受画面に設定したｉアプリによっては補正できない場合があります｡
- 海外で時刻情報を受信した際､時差補正の情報が前回受信した情報と異なる場合､「時差を補正しました　アラームなどは現地時間で起動します」と表示され､自動的に時差が補正されます｡「OK」を選択すると時刻が更新されて発着信一覧､リダイヤル､発信履歴､着信履歴､メールの送受信などの表示時間も現地時間になります｡
- 海外通信事業者のネットワークによっては､時差補正が正しく行われない場合があります｡その場合は､手動でタイムゾーンを設定してください｡

お知らせ

- メイン時計設定を行わないと､スケジュールなど時計を利用する機能が正しく利用できません｡また､発着信一覧などの日時が記録されません｡
- 設定した時刻は､電池パックを交換するときでも保持されますが､長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります｡その際は､FOMA端末を充電してから､もう一度メイン時計設定を行ってください｡
- 本機能で設定できるのは､2004年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです｡(「タイムゾーン」を「UTC+9」に設定している場合)

サブ時計設定

1 MENU▶**本体設定**▶**時計**▶**サブ時計設定**

●「MENU▶地図／海外▶海外設定▶サブ時計設定」の操作を行っても「サブ時計設定」を設定できます｡
●「サブ時計設定」のショートカットを作成できます｡(P.40参照)

2 **以下の操作を行う**

表示方法	国際ローミング中に自動で表示させるか､タイムゾーンを選択して常時表示させるかを設定します｡
サマータイム	時刻を1時間進めて表示します｡

お知らせ

- 「待受時計表示」の「表示サイズ」を「上に小さく表示」に設定している場合､サブ時計は表示されません｡
- 「表示方法」を「自動(ローミング時自動表示)」に設定した場合､「メイン時計設定」のタイムゾーンが「UTC+9」以外の場合は､サブ時計に日本の時計が表示されます｡ただし､日本国内ではサブ時計は表示されません｡

発信者番号通知

FOMA端末は、発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせできます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
この機能は、相手の電話機が発信者番号表示可能なときだけ利用できます。

ネットワークへの設定

発信者番号を通知するかどうかをネットワークに設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信･通話設定**▶**発信者番号通知**▶**以下の操作を行う**

設定	通知するかどうかを設定します。
設定確認	設定内容を確認します。

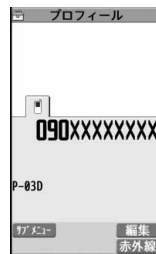
お知らせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス(P.421参照)が聞こえたときは、発信者番号通知を設定するか、｢186｣を付けてからおかけ直しください。
- ｢圏外｣が表示されているときは設定できません。

電話番号表示

自分の電話番号(自局番号)や機種名などを確認できます。
- 自局番号はドコモminiUIMカードに登録されています。

1 MENU▶**プロフィール**

- 個人データの登録／表示についてはP.395参照。

プロフィール画面

お知らせ

- 2in1のモードがデュアルモードの場合はプロフィール画面で◎を押すと、AナンバーまたはBナンバーに切り替えることができます。Bナンバーには｢ B ｣が表示されます。
- 2in1利用中にドコモminiUIMカードの差し替えを行う場合、正しいBナンバーを取得するには｢2in1機能OFF｣(P.426参照)を行ってから再度2in1をONにするか、プロフィール画面のサブメニューから｢2in1｣(P.396参照)を選択してください。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話の設定

テレビ電話

ドコモのテレビ電話対応端末どうしで、送受信する映像を見ながら通話できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

- 3GPP(3rd Generation Partnership Project)：
  第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
- 3G-324M：
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
- P-03Dは通信速度64kbpsのテレビ電話にのみ対応しています。32kbpsでの通話はできません。

■テレビ電話中の画面について

❶… 受信映像(相手側のカメラ映像または代替画像)
❷… 送信映像(代替画像または自分側のカメラ映像)
❸… 通話時間
❹… 状態表示

- A：音声送信／受信中
- A：音声送信／受信失敗※1
- V：映像送信／受信中
- V：映像送信／受信失敗※2
- ：カメラ映像送信中
- ：静止画送信中
- ：キャラ電通話中
- ：ハンズフリーON
- (グレー)：ハンズフリーOFF
- ：人物
- ：風景
- ：接写
- ：キャラ電全体アクションモード
- ：キャラ電パーツアクションモード
- ：DTMF送信モード

※1 音声の送信に失敗すると、自分の音声が相手に流れません。
音声の受信に失敗すると、相手の音声が流れません。
※2 映像の送信に失敗すると、送信映像は相手に表示されません。
映像の受信に失敗すると、受信映像は表示されません。

音声、映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。

電話／テレビ電話のかけかた

1 相手の市外局番から電話番号を入力する

- 同一市内への通話でも、必ず市外局番から電話番号を入力してください。
- 27桁以上入力した場合は、下26桁のみが表示されます。
- 入力した電話番号を電話帳に登録する場合は、●(登録)を押します。P.85手順2へ進みます。
- 声の宅配便を発信する場合は、✉(声宅配)を押します。(P.60参照)

2 音声電話をかける場合

📞を押す

- 発信中は「」が点滅し、通話中は点灯します。

テレビ電話をかける場合

TV(テレビ電話)を押す

- 発信中は「[icon]」が点滅し、通話中は点灯します。
- ダウンスタイルでテレビ電話をかけると、インカメラの映像を送信できます。

この画面からデジタル通信料課金が始まります。

3 お話が終わったら⌒で通話を終了する

お知らせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス(P.421参照)が聞こえたときは、「発信者番号通知」を「通知する」に設定するか、「186」を付けてからおかけ直しください。
- イヤホンマイク(別売)を接続すると、相手の声をイヤホンから聞けます。(P.402参照)
- 通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送信できます。キャラ電通話中は、DTMF送信モードに切り替えてください。(P.76参照)

<テレビ電話の場合>

- お買い上げ時は「ハンズフリー切替」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.77参照)ただし、マナーモード中は「ハンズフリー切替」の設定に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 代替画像を送信してテレビ電話をかけたときも音声電話料金ではなくデジタル通信料がかかりますのでご注意ください。
- ドコモの国際電話サービスWORLD CALLを利用して国際テレビ電話を利用できます。(P.62参照)

発信中の表示について

電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、相手の名前とアイコンが表示されます。ただし、電話帳に画像が登録されていても、画像は表示されません。

- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.87参照)で先に表示される名前が表示されます。
- 「オリジナルロック」で「電話帳／直デン」をロックしたときや、通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)でシークレット登録した相手に発信したときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。

電話番号を押し間違えたときは

■番号を挿入する

Oを押して挿入したい位置の左にカーソルを移動し、番号を入力します。

■番号を削除する

Oを押して削除したい番号にカーソルを合わせ、CLRを押します。

CLRを1秒以上押すと、カーソル上にある数字とカーソルから左にある数字がすべて消えます。

テレビ電話がかからなかったときは

接続できなかった理由が表示されます。（通話する相手の電話機種別やネットワークサービスの契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。）

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手が話し中（相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。）
パケット通信中です	相手がパケット通信中
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が圏外にいる、または、電源を切っている
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合（ビジュアルネットなどへの発信時）
転送致しますのでお待ちください	転送中
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
電話番号を通知しておかけ直しください	相手が番号通知お願いサービスを設定している場合
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付料金プランの上限額を超えている場合
接続できませんでした	発信者番号非通知で接続した場合（ビジュアルネットなどへの発信時） 「発信者番号通知」を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 ●上記以外の場合にも表示されることがあります。

自動再発信について

「音声自動再発信」を「ON」に設定している場合、テレビ電話がつながらなかったときは自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。「音声自動再発信」を「ON」にしているときは、テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64Kの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2011年10月現在）、間違い電話をした場合などは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もありますので、ご注意ください。

電話番号入力中のサブメニュー

発信者番号通知	P.60参照
プレフィックス	P.65参照
国際電話発信	P.63参照
マルチナンバー	P.425参照
電話帳登録	電話帳に登録します。
メール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。
テレビ電話画像選択	P.78参照

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。
- FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

電話／テレビ電話の切り替え

発信者が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。音声電話／テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。

- 着信側から切り替えることはできません。

音声電話からテレビ電話への切り替え

相手側が切り替え可能な端末の場合、「テレビ電話」が表示され、音声電話からテレビ電話への切り替えができます。

1 音声電話中▶◉（テレビ電話）▶YES

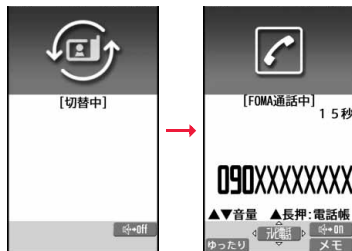
- 「NO」を選択した場合、切り替えを中止し、音声電話に戻ります。
- 切り替え中は「⏱」が表示され、音声ガイダンスが流れます。

→

テレビ電話から音声電話への切り替え

相手側が切り替え可能な端末の場合、サブメニューの「音声電話切替」を選択してテレビ電話から音声電話への切り替えができます。

1 **テレビ電話中▶MENU(サブメニュー)▶音声電話切替**

●切り替え中は「」が表示され、音声ガイダンスが流れます。

お知らせ

- 音声電話／テレビ電話の切り替えは、繰り返し行えます。
- ｉモード通信中、パケット通信中の場合は通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中の場合は切り替えできない旨のメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声電話を継続します。
- キャッチホンを契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。
- 切り替えには5秒程度の時間がかかります。電波状況によりさらに時間がかかる場合があります。
- 相手側の利用状況や電波状況によっては音声電話とテレビ電話を切り替えることができず、接続が切れてしまう場合があります。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、「通話時間・料金」の「通話時間」には音声電話とテレビ電話の合計が表示され、「通話料金」には音声電話とテレビ電話の料金が個別に表示されます。「切替中」が表示されている間は料金は課金されません。

お知らせ

- 相手がP.78「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定していない場合は、テレビ電話と音声電話の切り替えはできません。
- テレビ電話から音声電話に切り替えた場合、ハンズフリーはOFFになります。

ハンズフリー

ハンズフリーに設定すると、通話中の相手の音声などがスピーカーから流れます。

1 **通話中▶TV(ON)**

ハンズフリー設定中は、「」が表示されます。

- テレビ電話の場合、発信中や接続中もハンズフリーのON／OFFを切り替えることができます。
- TV(OFF)を押すと、ハンズフリーはOFFになります。
- ハンズフリー通話時の音量は、「受話音量」の設定に従います。
- マナーモード設定中でもハンズフリーに切り替えることができます。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、音声はスピーカーから流れます。

お知らせ

- イヤホンマイク(別売)を接続しているときは、ハンズフリーに切り替えても音声はスピーカーから流れません。
- ハンズフリーに設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に障害を与えたりする可能性があります。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。

発着信一覧／リダイヤル／発信履歴／着信履歴

発着信した相手の電話番号や日時を記憶し、相手にかけ直したりできます。

■発着信一覧

音声電話･テレビ電話の発信が合わせて30件まで記憶されます。また、音声電話･テレビ電話の着信が合わせて30件、64Kデータ通信･パケット通信の着信が合わせて30件まで記憶されます。発着信一覧の画面では、発着信それぞれにおいて同じ番号の古いデータは削除されます。

■リダイヤル

音声電話･テレビ電話の発信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータは削除されます。ただし､「発信者番号通知」の設定が異なる場合は、別のリダイヤルとして記憶されます。

■発信履歴

音声電話･テレビ電話の発信が合わせて30件、64Kデータ通信･パケット通信の発信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータも残ります。

■着信履歴

音声電話･テレビ電話の着信が合わせて30件、64Kデータ通信･パケット通信の着信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータも残ります。

- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合、最初に発着信した種類の電話が履歴に記憶されます。
- 30件を超えると古いデータは自動的に削除されます。なお、電源を切っても削除されません。

■発着信一覧･リダイヤル･発信履歴･着信履歴のアイコン

一覧画面	詳細画面	説明
	－	発信した履歴（発着信一覧のみ）
	－	着信した履歴（発着信一覧のみ）
／※	電話／不在	音声電話の発着信／不在着信
／※	電話／不在	テレビ電話の発着信／不在着信
	伝言	伝言メモに用件を録音
	伝言	テレビ電話伝言メモに用件を録画
／※	／	国際電話の発着信／不在着信
／※	／	国際テレビ電話の発着信／不在着信
	64K	64Kデータ通信の発信
／※	64K／不在	64Kデータ通信の着信／不在着信
	パケット	パケット通信の発信
／※	パケット／不在	パケット通信の着信／不在着信
接続ナシ	接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けた64Kデータ通信･パケット通信の着信
声	声	声の宅配便の発信
	フェムトセル	フェムトセルでの発信
		時刻が時差補正された履歴
B		Bナンバーの履歴（2in1のモードがデュアルモードの場合のみ）

※確認済みの不在着信の場合は一覧画面のアイコンにチェックが付きます。

発着信一覧

1 **Oを押す**

発着信一覧が表示されます。

- 📷を押すごとに、着信履歴、リダイヤル、受信アドレス一覧、送信アドレス一覧、発着信一覧に切り替わります。
- ✉（▲ページ）／iα（▼ページ）を押すとページ単位で画面をスクロールできます。

2 **履歴を選択**

履歴の詳細画面が表示されます。

リダイヤル・発信履歴

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信履歴**▶**リダイヤル・発信履歴**

リダイヤルの場合

リダイヤルまたは発信履歴の一覧画面が表示されます。

- 「MyFACE利用設定」を「利用しない」に設定している場合は、待受画面で◯を押してもリダイヤルを表示できます。
- ⅰα(表示切替)を押すごとに、送信アドレス一覧とリダイヤル・発信履歴が切り替わります。

2 **履歴を選択**

履歴の詳細画面が表示されます。

リダイヤルの場合

着信履歴

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信履歴**▶**着信履歴**▶**全着信・不在着信**

全着信. . . . . . .不在着信を含むすべての履歴
不在着信 . . . . .不在着信の履歴
(未確認の不在着信がある場合は、未確認件数も表示されます。)

着信履歴の一覧画面が表示されます。

- 「MyFACE利用設定」を「利用しない」に設定している場合は、待受画面で◯を押しても着信履歴を表示できます。
- ⅰα(表示切替)を押すごとに、受信アドレス一覧と着信履歴が切り替わります。

2 **着信履歴を選択**

履歴の詳細画面が表示されます。

表示中の履歴に電話をかけるには

☎を押して音声電話発信します。詳細画面では●(発信)を押しても音声電話発信できます。また、📷(ﾃﾚﾋﾞ電話)を押すとテレビ電話発信になります。✉(声宅配)を押すと声の宅配便を発信することができます。(P.60参照)

お知らせ

- 相手が発信者番号を通知してきたときは、着信履歴に相手の電話番号が表示されます。電話帳に登録しておらず、リダイヤルに音声電話の履歴が残っている電話番号の場合は、「折り返し着信」と表示されます。相手の電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。パケット通信の着信があったときは、発信元の接続先(APN)が表示されます。
- テレビ電話着信の場合は「折り返し着信」は表示されません。
- 不在着信の詳細画面では、着信日付・時刻の右に呼出時間が表示されます。
- 電話をかけた相手が電話帳に登録されているときや、発信者番号を通知してきた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.87参照)で先に表示される名前、アイコンが表示されます。
- マルチナンバーの付加番号で発着信した場合は、履歴の詳細画面で電話番号の下に付加番号の登録名と電話番号が表示されます。ただし、リダイヤル・発信履歴に付加番号が表示されるのは、発信時にサブメニューから付加番号を選択したときのみです。
- ダイヤルインを利用の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。

発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴表示中のサブメニュー

声の宅配便利用 [発着信一覧のみ]	声の宅配便を発信します。

テレビ電話発信 [発着信一覧のみ]	テレビ電話で発信します。
メール作成	iモードメールを作成します。
SMS作成	電話番号を宛先としたSMSを作成します。
発信者番号通知	P.60参照
プレフィックス	P.65参照
国際電話発信	P.63参照
2in1／マルチナンバー	P.425、P.427参照
呼出時間表示 [発着信一覧・着信履歴のみ]	不在着信の呼出時間を表示します。「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定していても、無音時間内の不在着信と呼出時間が表示されます。
電話帳登録	電話帳に登録します。
電話帳参照	電話帳詳細画面を表示します。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
居場所を確認	「イマドコかんたんサーチ」のサイトに接続します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。
着信履歴表示・リダイヤル表示・受信アドレス一覧・送信アドレス一覧・発着信一覧表示	着信履歴、リダイヤル、受信アドレス一覧、送信アドレス一覧、発着信一覧を表示します。
テレビ電話画像選択	P.78参照
拡大表示・標準表示	発着信一覧、リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧の文字サイズを切り替えます。
microSD内一覧 [発着信一覧のみ]	P.37参照
MyFACE利用設定 [発着信一覧のみ]	MyFACE機能を利用するかどうかを設定します。
削除	削除します。

お知らせ

<メール作成>

- 相手の電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、メールアドレスを宛先としたiモードメールを作成します。複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスが宛先に設定されます。

<削除>

- リダイヤル・発信履歴のサブメニューから「削除」→「全削除」を選択すると、リダイヤル・発信履歴の両方がすべて削除されます。

声の宅配便

お客様に代わって音声メッセージをお預かりするサービスです。

- メッセージは1件あたり最長15分間、最大500件まで録音でき、720時間保存されます。また、最大5件までのメッセージを保護できます。(保護を解除して720時間経過すると、自動消去されます。)
- 海外からはご利用できません。
- 声の宅配便はお申し込み／月額使用料の不要なサービスです。ただし、メッセージの録音・再生などには通話料金がかかります。
- 詳細はドコモのホームページをご覧ください。

声の宅配便の基本的な流れ

ステップ1:声の宅配便で相手を指定し、発信する
ステップ2:音声ガイダンスに従い、メッセージを録音する
ステップ3:相手に録音通知SMS※1※2で通知される
ステップ4:相手が録音通知SMSからPhone To 機能でメッセージを再生する
ステップ5:メッセージが再生されたことを伝える再生通知SMS※1※3が届く

※1 声の宅配便のSMSは、SMSの受信者がSMS拒否設定を設定していても受信されます。
※2 発信者がメッセージを録音したあと、特定のボタンを押すか通話を終了した際に、受信者に対して録音通知SMSが送信されます。

※3 受信者がメッセージを再生した際に、メッセージの発信者に対して再生通知SMSが送信されます。受信者が同一のメッセージを複数回再生した場合でも、初回の再生時のみ再生通知SMSが送信されます。
再生したことをメッセージの発信者に知らせたくない場合は、再生通知機能を停止してください。初期設定では再生通知機能は開始に設定されています。

メッセージの録音

声の宅配便で相手に発信すると、メッセージを録音できます。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 **✉(声宅配)▶音声ガイダンスに従って操作**
- 電話帳一覧画面では📷(声宅配)を、電話帳詳細画面ではiα(声宅配)を押します。

お知らせ
- 「186／184」を付加しても発信できます。ただし、非通知設定で録音されたメッセージを再生しても再生通知SMSは送信されません。また、受信者が番号通知お願いサービスを「開始」に設定している場合は、非通知設定では録音できません。
- 受信者が迷惑電話ストップサービスで拒否登録している場合は録音できません。

メッセージの再生

声の宅配便に録音されたメッセージを再生します。音声ガイダンスに従って操作すると、再生後に消去したり、保護したりできます。

1 **録音通知SMSの詳細画面▶再生▶YES▶音声ガイダンスに従って操作**
- 「設定」を選択すると設定内容を変更できます。
- メッセージを保護した場合は、「発信」を選択するとメッセージを選択して再生できます。
- 以下の操作を行ってもメッセージを再生したり、設定内容を変更したりできます。
  - ・MENU▶電話機能▶声の宅配便▶メッセージ確認・設定(サイト)
  - ・MENU▶電話機能▶声の宅配便▶メッセージ確認(音声)
  - ・MENU▶電話機能▶声の宅配便▶設定(音声)

発信者番号通知／非通知

電話をかけるときの設定

発信者番号を通知するかどうかを1回の通話のたびに設定します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶発信者番号通知▶通知しない・通知する**
- 「発信者番号通知」を解除するには、「設定消去」を選択します。このとき、通知／非通知はネットワークの設定(P.50参照)に従って動作します。

「186」／「184」での設定

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けて電話番号を入力することにより、お客様の電話番号を相手に「通知する」／「通知しない」を選択することもできます。

発信者番号を通知する場合

1 186→相手先の電話番号の順に入力▶

- ●(TV)(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

発信者番号を通知しない場合

1 184→相手先の電話番号の順に入力▶

- ●(TV)(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

お知らせ

- 電話をかけたときに、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス(P.421参照)が聞こえたときは、「発信者番号通知」を「通知する」に設定するか、「186」を付けてからおかけ直しください。

プッシュ信号

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ポーズダイヤル登録

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ(p)を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

1 MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶発信詳細設定▶ポーズダイヤル▶(TV)(編集)

- すでにダイヤルデータが登録されているときは、登録されているダイヤルデータが表示されます。
- 登録したポーズダイヤルを削除するには、サブメニューから「削除」を選択します。

2 ダイヤルデータを入力

- ポーズ(p)は*を1秒以上押して入力します。
- 入力できる文字は、0～9、*、#およびポーズ(p)のみです。
- ポーズダイヤルの先頭と最後にポーズ(p)を入力したり、連続して入力したりできません。

ポーズダイヤル送信

1 MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶発信詳細設定▶ポーズダイヤル▶●(送信)▶電話番号を入力▶または●(発信)

相手に音声電話がかかり、呼び出し中になるとポーズダイヤルに登録されているダイヤルデータの最初のポーズ(p)までが表示されます。

- 相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、を押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。
- を押して着信履歴、を押してリダイヤルから検索することもできます。

2 相手が応じたことを確認▶ または (送信)

最初のポーズ(p)までのダイヤルデータが送出され、次のポーズ(p)までのダイヤルデータが表示されます。
または(送信)を押すごとに、ポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。
最後の番号を送り終えると通話画面になります。
- ダイヤルデータをまとめて送出するときは、を1秒以上押して「一括送出」を選択します。

お知らせ

- 通話中にポーズダイヤル画面のサブメニューを表示させても、ダイヤルデータを送信できます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- テレビ電話では、ポーズダイヤルを送信できません。

国際電話(WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモのFOMA端末からご利用いただける国際電話(音声電話・テレビ電話)サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

- 音声電話は世界約240の国・地域にかけられます。
  海外の一般電話や携帯電話と音声電話がご利用できます。
- 国際テレビ電話は世界約50の国・地域にかけられます。
  テレビ電話に対応した海外通信事業者の携帯電話や一般電話と国際テレビ電話をご利用できます。
- 接続可能な国および海外通信事業者などの情報については、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- WORLD CALLの料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLの詳細については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときには、各国際電話サービス会社にお問い合わせください。
- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。
- 国際テレビ電話は接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

「＋」を利用した国際電話発信

発信時や電話帳登録時などで電話番号を入力しているときに[0]を1秒以上押すと「＋」が入力できます。「＋」を利用すれば、国際電話アクセス番号を入力することなく、国際電話をかけることができます。

●「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能」を「ON」に設定していると、「国際プレフィックス」の国際電話アクセス番号が自動的に入力されます。

1 **[0]（1秒以上）▶国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順に入力▶[発信キー]▶発信**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- [TV]（[ﾃﾚﾋﾞ電話]）を押すと国際テレビ電話発信になります。
- 「元の番号で発信」を選択した場合は、端末に入力した番号のままで国際電話発信を行います。

電話番号入力による国際電話発信

1 **010→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順に入力▶[発信キー]**

- 「009130→010→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号」でも国際電話をかけることができます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- [TV]（[ﾃﾚﾋﾞ電話]）を押すと国際テレビ電話発信になります。

サブメニューによる国際電話発信

電話番号に国番号や国際電話アクセス番号を付加して発信します。（一部の国・地域を除き、電話番号が「0」で始まる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。）

1 **電話番号を入力**

または

電話帳・発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **[MENU]（[ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ]）▶国際電話発信▶国名称を選択▶国際電話アクセス番号の名称を選択▶[発信キー]**

- 電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「国際電話発信」を選択します。
- 電話帳・発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面では[●]（[発信]）を押しても発信できます。
- [TV]（[ﾃﾚﾋﾞ電話]）を押すとテレビ電話発信になります。
- 電話番号の先頭が「＋」のときは、国名称を選択する画面は表示されません。
- 国名称に「日本」を選択した場合、国際電話アクセス番号の名称を選択する画面は表示されません。

国際ダイヤルアシスト

自動変換機能

日本から国際電話をかけるときに、電話番号の先頭の「+」を国際電話アクセス番号に置き換えて発信するかどうかを設定します。

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶国際ダイヤルアシスト▶自動変換機能▶ON･OFF▶国名称を選択▶国際電話アクセス番号の名称を選択

- 現在設定されている国番号、国際電話アクセス番号には「★」マークが付いています。
- 国番号や国際電話アクセス番号が登録されていないときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、国番号の場合はP.64「国番号」手順2、国際電話アクセス番号の場合はP.64「国際プレフィックス」手順2へ進みます。

国番号

海外から国際電話をかけるときに付加される国番号を22件まで登録できます。

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶国際ダイヤルアシスト▶国番号▶国名称を選んで📷(編集)

- 「自動変換機能」で設定されている国名称には「★」マークが付いています。
- 登録済みの国名称を選択すると、登録内容を確認できます。

2 国名称を入力▶国番号を入力

- 国番号には「＊」、「＃」、「＋」は使用できません。

国番号表示中のサブメニュー

編集	編集します。 ●📷(編集)を押しても編集できます。
削除	削除します。 ●「自動変換機能」で設定されている国番号は削除できません。

国際プレフィックス

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加される国際電話アクセス番号を3件まで登録できます。

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶国際ダイヤルアシスト▶国際プレフィックス▶<未登録>を選んで📷(編集)

- 「自動変換機能」で設定されている国際電話アクセス番号には「★」マークが付いています。
- 登録済みの項目を選択すると、登録内容を確認できます。

2 名称を入力▶国際電話アクセス番号を入力

国際プレフィックス表示中のサブメニュー

編集	編集します。 ●📷(編集)を押しても編集できます。
1件削除 全削除	削除します。 ●「自動変換機能」で設定されている国際電話アクセス番号は削除できません。

プレフィックス設定

国際電話アクセス番号や「186」「184」など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。7件まで登録できます。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**発信詳細設定**▶**プレフィックス設定**▶**<未登録>を選んで**TV(編集)

- 登録済みのプレフィックスを選択すると、登録内容を確認できます。
- サブメニューから登録済みのプレフィックスを削除できます。

2 **登録名を入力**▶**プレフィックス番号を入力**

- プレフィックス番号に使用できるボタンは、0〜9、*、#のみです。

プレフィックス

電話番号の先頭にプレフィックス番号を付けて発信します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶**プレフィックス**▶**登録名を選択**▶発信

- 電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「プレフィックス」を選択します。
- 電話帳・発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面では●(発信)を押しても発信できます。
- TV(ﾃﾚﾋﾞ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

サブアドレス設定

※本FOMA端末ではサブアドレス発信はできません。

電話番号の「*」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出すかどうかを設定します。

- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**発信詳細設定**▶**サブアドレス設定**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 「サブアドレス設定」を「ON」にしていても、電話番号の先頭の「*」、プレフィックス番号や「186／184」の直後の「*」はサブアドレス区切記号とは認識されません。

再接続機能

電波の状態が悪くなって通話が途切れた場合に、再接続するまでのアラームを設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**再接続機能**▶**アラームを選択**

お知らせ

- 利用状態、電波の状態により再接続が可能な時間は異なります。目安としては約10秒間で、その間も通話料金はかかります。
- 電波が途切れている間、相手には無音状態となります。

しっかりトーク

周囲の騒音に合わせて、電話中の相手の声が大きくなります。相手の声が受話口から流れている場合のみ有効です。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**しっかりトーク**▶**ON・OFF**

ノイズキャンセラ

周囲の騒音に合わせて、電話中の相手に送るノイズを抑えます。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信･通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**ノイズキャンセラ**▶**ON･OFF**

ゆったりトーク

通話中の相手の音声速度をゆっくりにします。

1 **音声電話中**▶✉(ゆったり)

ゆったりトーク設定中は、「ゆったりトーク　ON」が表示されます。

●もう一度✉(元の速さ)を押すと、通常速度に戻ります。

お知らせ

●ゆったりトークの設定は音声通話の通話中にのみ有効です。通話終了後やマルチ接続中に通話相手を切り替えたり、音声電話からテレビ電話に切り替えた場合は通常速度に戻ります。

●ゆったりトークを設定すると、相手の声質、音楽や時報などが変化する場合があります。その場合はゆったりトークを解除してください。

ハンズフリー対応機器の利用

FOMA端末をカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

FOMA端末は、ケーブル接続(USB接続)でハンズフリー対応機器と接続できます。

※ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

●ケーブル接続(USB接続)で使用する場合には、「USBモード」を「通信モード」に設定してください。

お知らせ

●USBハンズフリー対応機器で通話･通信中は「」などが表示されます。

●着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。

●ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。

●公共モード(ドライブモード)中の着信動作は、公共モード(ドライブモード)の設定に従います。

●伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ設定」の設定に従います。

電話／テレビ電話の受けかた

1 **電話がかかってくると着信音が鳴り、着信／充電ランプが光る**

●着信時に振動させるには、「バイブレータ設定」の「電話」または「テレビ電話」を「OFF」以外に設定します。

●音声電話着信中は「FOMA着信中」、テレビ電話着信中は「FOMA テレビ電話着信中」と表示されます。

●国際電話がかかってきたときは、電話番号の右上に「」(音声電話)または「」(テレビ電話)が表示されます。

2 音声電話に出る場合

（電話）または●（通話）で電話に出る

テレビ電話に出る場合

（電話）、●（代替画像）または（TV）（テレビ電話）でテレビ電話に出る

代替画像が相手に送信されます。

- ダウンスタイルで（電話）または（TV）（テレビ電話）を押すと、インカメラの映像が送信されます。

3 お話が終わったら（終話）で通話を終了する

お知らせ

- お話し中に「ププ…ププ…」という音「通話中着信音」が聞こえることがあります。
  留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約し、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。
  留守番電話サービス . . . 留守番電話サービスセンターへ転送できます。(P.417参照)
  キャッチホン . . . . 通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。(P.418参照)
  転送でんわサービス . . . 登録した転送先へ転送できます。(P.420参照)
- 「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」で電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。

<テレビ電話の場合>

- お買い上げ時は「ハンズフリー切替」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.77参照)ただし、マナーモード中は「ハンズフリー切替」の設定に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機(P.52参照)に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめ確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。(相手のFOMA端末によっては、転送する旨のメッセージが画面に表示されます。)
- 迷惑電話ストップサービスで拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示され、切断されます。

着信中の表示について

相手の電話番号が通知されたとき

電話番号が表示されます。電話帳に登録しておらず、リダイヤルに履歴が残っている電話番号の場合は、「折り返し着信」と表示されます。
電話帳に相手の名前、電話番号および画像を登録している場合は、相手の名前、電話番号とアイコン、画像が表示されます。

- テレビ電話着信の場合は「折り返し着信」は表示されません。
- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録している場合、検索順（P.87参照）で先に表示される名前が表示されます。
- 「オリジナルロック」で「電話帳／直デン」をロック中は、名前が表示されずに電話番号が表示されます。
- 転送されてきた電話の場合は、発信元の下に転送元の電話番号が表示されます。（転送元によっては表示されないことがあります。）
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、発信元の下に付加番号の登録名が表示されます。（転送されてきた電話の場合は、サブメニューから「表示切替」を選択して転送元の表示と切り替えることができます。）

相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。（P.126参照）

着信中のサブメニュー

着信拒否	電話に出ないで着信をそのまま切ります。
転送でんわ	P.420参照
留守番電話	P.417参照
表示切替	P.68参照

着信アンサー設定

電話がかかってきたときに、、（テレビ電話の場合）以外のボタンで通話を開始したり（エニーキーアンサー）、着信音を止める（クイックサイレント）ように設定できます。

1 MENU ▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**着信詳細設定**▶**着信アンサー設定**▶**ボタン動作を選択**

エニーキーアンサー

以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	、、、0～9、＊、CLR、※、、

- テレビ電話がかかってきた場合、、、で通話を開始できます。

クイックサイレント

以下のボタン操作で着信音、バイブレータを止められます。FOMA端末を開いても音声電話の着信音、バイブレータを止められます。着信音、バイブレータを止めても相手には呼び出し音が鳴っています。

音声電話	、0～9、＊、CLR、※、、
テレビ電話	、0～9、＊、CLR、、

- 着信音、バイブレータを止めたあとに、、、（テレビ電話の場合）を押すと通話を開始できます。

OFF

以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	、
テレビ電話	、、

※「切替」が表示されているときは、を押してもエニーキーアンサーやクイックサイレントの動作になりません。

お知らせ

- 「クイックサイレント」に設定していても、マナーモード中は「エニーキーアンサー」の動作になります。

お知らせ

- イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、「着信アンサー設定」に関わらず、イヤホンマイクのスイッチを押しても通話を開始できます。（P.402参照）

受話音量

1 **MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶通話中詳細設定▶受話音量▶○で受話音量を調節**

レベル1（最小）～レベル6（最大）の6段階で調節します。

- 電話番号入力中、音声電話呼び出し中、音声電話中、テレビ電話中は○を押して受話音量を調節します。2秒以内に○を押して受話音量を調節してください。

お知らせ

- 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。
- 受話音量を調節すると、ハンズフリー通話時の音量も調節されます。

応答保留

1 **着信中▶⌒**

「ピッピッピッ」という確認音が鳴り、応答保留の状態になります。

- マナーモード中や「着信音量」を「消去」に設定しているときは確認音は鳴りません。
- 相手には「保留音設定」の「応答保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「応答保留選択」で設定した静止画が表示されます。

2 **電話に出られるようになったら✆または●で保留を解除する**

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、✉、⌒以外のボタンを押すと音声電話の保留を解除できます。

お知らせ

- 応答保留中でも、相手に通話料金はかかります。
- 応答保留中に⌒を押すと、通話が終了します。

通話中保留

1 **通話中▶CLR**

- 相手には「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が表示されます。

2 **電話に出られるようになったら✆、CLRまたは●で保留を解除する**

- FOMA端末を開いても保留を解除できます。
- テレビ電話を保留していた場合、●（代替画像）または📷（テレビ電話）を押して保留を解除すると、代替画像またはカメラ映像が相手に送信されます。

お知らせ

- 通話を保留している間も、通話料金はかかります。
- 通話を保留している間に新しく着信があると、通話中保留は解除されます。

保留音設定

保留中に相手側に流れるガイダンスを設定します。

1 **MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶通話中詳細設定▶保留音設定▶応答保留音・通話中保留音▶保留音を選択**

応答保留音1・2. . . FOMA端末にあらかじめ登録されているガイダンスが流れます。
通話中保留音. . . . . FOMA端末にあらかじめ登録されているメロディが流れます。
おしゃべり1・2. . .「おしゃべり機能」で録音した音が流れます。録音されていないときは表示されません。

●TV(デモ)を押すと保留音が再生されます。CLRを押すとデモ再生が終了します。

公共モード

公共モード(ドライブモード／電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

●公共モードとネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。
※1 呼出時間が0秒以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスのあとにサービスが動作します。
※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
●迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。
●番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます(公共モードのガイダンスは流れません)。

公共モード(ドライブモード)

公共モード(ドライブモード)を設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控えるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 **＊を1秒以上押す**

公共モード(ドライブモード)が設定され、「🚗」が表示されます。
●公共モード(ドライブモード)を解除するには、同様の操作を行います。公共モード(ドライブモード)が解除され、「🚗」が消えます。

公共モード(ドライブモード)を設定すると

・お客様のFOMA端末に音声電話、テレビ電話の着信があっても着信音は鳴りません。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴として記憶されます。
・音声電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手には、公共モード(ドライブモード)の映像ガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。ただし、電源が入っていないときや電波が届かないところにいるときは、公共モード(ドライブモード)のガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
・メールを受信したときには着信音は鳴らずに「新着メールあり」のアイコンが待受画面に表示されます。
・64Kデータ通信の着信音、アラーム音、充電確認音、iアプリ実行中のメロディ、iアプリコールの受信音、iウィジェット起動時の効果音も鳴りません。
・iチャネルのテロップは表示されません。

お知らせ

●公共モードの設定／解除ができるのは待受中のみです。「圏外」表示のときも、設定／解除はできます。
●公共モードを設定していても通常どおり電話をかけることができます。
●緊急通報110番／119番／118番に電話をかけると公共モードは解除されます。
●公共モードとマナーモードや伝言メモを同時に設定しているときは、公共モードが優先されます。

公共モード(電源OFF)

公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 「※25251」を入力▶

公共モード(電源OFF)が設定されます。(待受画面上の変化はありません)

- 公共モード(電源OFF)を解除するには、「※25250」に発信します。
- 公共モード(電源OFF)の設定を確認するには、「※25259」に発信します。

公共モード(電源OFF)を設定すると

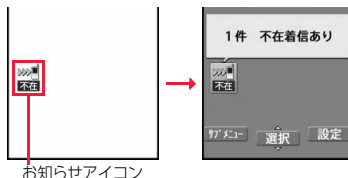
「※25250」に発信して公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
サービスエリア外または電波が届かないところにいるときも、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。

不在着信

かかってきた電話に出られなかったとき(不在着信)は、待受画面に「お知らせアイコン」が表示されます。アイコンを選択して着信履歴を確認します。

1 ▶(選択)

- またはCLRを押すと元の状態に戻ります。
- アイコンが複数あるときはでアイコンを選べます。

お知らせアイコン

伝言メモ/テレビ電話伝言メモ

伝言メモを設定しておくと、留守番電話サービスを契約されていなくても、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音・録画できます。
1件につき約20秒間で、音声電話は5件、テレビ電話は2件まで録音・録画できます。

伝言メモ設定

1 MENU▶電話機能▶伝言メモ/音声メモ▶伝言メモ設定▶ON▶電話・テレビ電話▶応答メッセージを選択

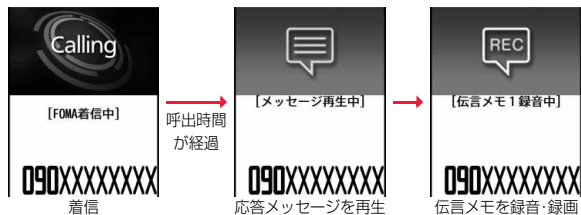
- 伝言メモ設定を解除する場合は「OFF」を選択します。
- (デモ)を押すと応答メッセージが再生されます。CLRを押すとデモ再生が終了します。
- 「標準」「プライベート」「英語」に設定した場合、相手に応答メッセージが流れたあと、「ピーッ」という音が鳴ります。「おしゃべり1･2」に設定した場合、音は鳴りません。

2 呼出時間(秒)を入力

- オート着信設定、伝言メモ設定の呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。
- 伝言メモ設定中は「」～「」(音声電話の録音件数)、「」～「」(テレビ電話の録画件数)が表示されます。

伝言メモ設定を「ON」に設定中に電話がかかってきたときは

着信　呼出時間が経過　応答メッセージを再生　伝言メモを録音・録画

デスクトップにアイコンを表示(P.29参照)

テレビ電話の場合、応答メッセージ再生中は相手に「画像選択」の「伝言メモ準備選択」で設定した静止画が表示され、録画中は「画像選択」の「伝言メモ選択」で設定した静止画が表示されます。

- 録音・録画中は相手の声が受話口から流れます。ただし、マナーモード中は流れません。
- 応答メッセージ再生中や録音・録画中に電話に出るときは、、(テレビ電話の場合)を押します。テレビ電話の場合、相手には代替画像が送信されます。ダウンスタイルでまたは()を押すとインカメラの映像が送信されます。
  イヤホンマイク(別売)のスイッチを押しても電話に出ることができます。

お知らせ

- 「圏外」が表示されているときは動作しません。
- 公共モード(ドライブモード)と伝言メモを同時に設定しているときは公共モード(ドライブモード)が優先され、伝言メモは動作しません。
- 応答メッセージの優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「伝言メモ設定」の順になります。
- 応答メッセージを「おしゃべり1･2」に設定しているときに、「おしゃべり1･2」を消去した場合、応答メッセージは「標準」になります。

お知らせ

- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモ設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。この場合でも、伝言メモがいっぱいのときは、留守番電話または転送でんわとなります。
- 録音･録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。

クイック伝言メモ

伝言メモが設定されていないときに電話がかかってきても、その着信に限り用件を録音･録画できます。

1 着信中▶#

マナーモードも設定されます。
相手には応答メッセージが再生され、伝言メモの録音･録画が開始されます。

- すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音･録画されている場合は、伝言メモは動作せず、マナーモードのみ設定されます。

メモの再生／消去・テレビ電話メモの再生／消去

伝言メモ・音声メモの再生／消去

1 MENU▶**電話機能**▶**伝言メモ／音声メモ**▶**メモの再生／消去**▶**メモを選択**

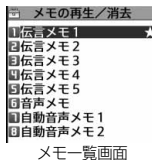
「ピッ」という音が鳴って再生が始まります。

- メモ一覧画面では録音されている項目に「★」マークが付きます。
- 「受話音量」で設定した音量で再生されます。
- 再生中はメモが録音された日付・時刻が表示されます。
- 相手が電話番号を通知してきたときは、伝言メモの再生中に相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されていると名前も表示されます。
  ただし、シークレット登録された相手からの伝言メモを通常モードで再生した場合は、名前の表示は行わず、電話番号だけが表示されます。
- 伝言メモの再生中に相手の電話番号が表示されているときは、iα(発信)を押して発信キーを押すと相手の電話番号に音声電話をかけることができます。また、カメラ/TVキー(TV電話)を押すとテレビ電話発信できます。メールキー(声宅配)を押して発信キーを押すと声の宅配便を発信することができます。(P.60参照)
- 再生が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。

メモの再生／消去
1伝言メモ1 ★
2伝言メモ2
3伝言メモ3
4伝言メモ4
5伝言メモ5
6音声メモ
7自動音声メモ1
8自動音声メモ2

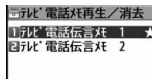
メモ一覧画面

再生を途中で止めるには

●(停止)またはCLRを押します。

テレビ電話伝言メモの再生／消去

1 MENU▶**電話機能**▶**伝言メモ／音声メモ**▶**テレビ電話メモの再生／消去**▶**テレビ電話伝言メモを選択**

- テレビ電話伝言メモ一覧画面では録画されている項目に「★」マークが付きます。
- ｉモーションの再生音と同じ音量で再生されます。
- 再生中はメモが録画された日付・時刻が表示されます。

テレビ電話メモ再生／消去
1テレビ電話伝言メモ 1 ★
2テレビ電話伝言メモ 2

テレビ電話伝言メモ一覧画面

再生を途中で止めるには

●(■)またはCLRを押します。

メモ一覧画面・テレビ電話伝言メモ一覧画面のサブメニュー

再生	再生します。
1件消去	消去します。 ●再生中にサブメニューから「消去」を選択しても消去できます。テレビ電話伝言メモの場合は、カメラ/TVキー(消去)を押しても消去できます。
伝言メモ全消去	メモ一覧画面で伝言メモをすべて消去します。
全消去	メモ一覧画面では伝言メモ、音声メモ、自動音声メモを、テレビ電話伝言メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモをすべて消去します。

キャラ電の送信

キャラ電を相手に送信するための設定を行います。
●キャラ電についてはP.343参照。

通話ごとの設定

キャラ電を相手に送信する画像に設定してテレビ電話をかけます。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶キャラ電発信

相手の電話番号を入力し、TV(テレビ電話)を押してテレビ電話をかけます。
- キャラ電一覧画面でTV(テレビ電話)を押してもテレビ電話をかけることができます。
- 相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、○を1秒以上押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。
- ○を押して着信履歴、○を押してリダイヤルから検索することもできます。

お知らせ
- 相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「電話帳に登録したキャラ電」→「画像選択」の順になります。

代替画像設定

キャラ電を「画像選択」の「代替画像選択」に設定します。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面・キャラ電撮影画面▶MENU(サブメニュー)▶代替画像設定

キャラ電設定

キャラ電通話の設定をします。通話中のテレビ電話にのみ有効です。

1 キャラ電通話中▶MENU(サブメニュー)▶キャラ電設定▶以下の操作を行う

キャラ電切替	キャラ電を切り替えます。 ●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●TV(詳細)を押すとアクションの詳細を確認できます。 ●＊を押してもアクション一覧を表示できます。
アクション切替 テレビ電話起動時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード(■)またはパーツアクションモード(■)に切り替えます。
静止画切替	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「自作」の静止画に切り替えます。

テレビ電話に関する便利な機能

カメラの切り替え

ダウンスタイルでテレビ電話中に相手に送信するカメラ映像を切り替えます。

1 テレビ電話中▶●(切替)

- ●(切替)を押すごとにインカメラとアウトカメラが切り替わります。
- サブメニューから「インカメラ･アウトカメラ」を選択しても操作できます。
- ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。
- ダウンスタイル以外では操作できない場合があります。

代替映像の送信

テレビ電話中に相手に送信する映像を、カメラ映像から代替画像に設定した静止画またはキャラ電に切り替えます。
キャラ電についてはP.343参照。

1 テレビ電話中▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶代替画像切替

相手には代替画像が送信されます。

- 「カメラ画像切替」を選択すると、代替画像からカメラ映像に切り替わります。ダウンスタイルの場合は●(切替)を押してもカメラ映像に切り替わります。(ダウンスタイル以外では操作できない場合があります。)
- インカメラの映像を送信中にダウンスタイル以外に切り替えた場合は、一時的に代替画像が送信されます。再度ダウンスタイルに変更するとインカメラの映像を送信します。

お知らせ

- 相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「電話帳に登録したキャラ電」→「画像選択」の順になります。
  テレビ電話がかかってきた場合、相手が発信者番号を通知してこないときは「個別着信音／画像」「グループ着信音／画像」「電話帳に登録したキャラ電」は無効になりますのでご注意ください。

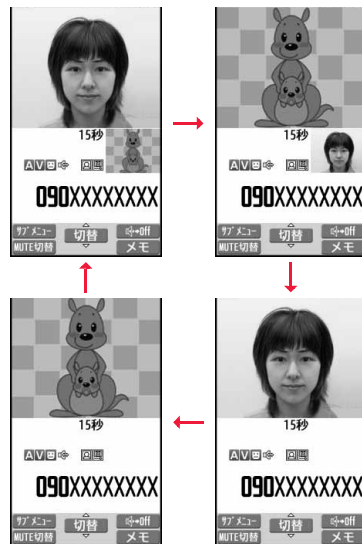
お知らせ

- 代替画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。
- FOMA端末内部の温度が上昇している場合、カメラ映像に切り替えることができなかったり、カメラ映像から代替画像に切り替わることがあります。

映像表示位置の切り替え

受信映像と送信映像の表示位置を切り替えます。

1 テレビ電話中▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶親画面表示切替

- 「親画面表示切替」を選択するごとに表示が切り替わります。

ズーム

テレビ電話起動時	広角

相手に送信するカメラ映像のズームを調節します。テレビ電話中のインカメラの最大倍率は約2.6倍、アウトカメラの最大倍率は約4.1倍です。

1 テレビ電話中▶◎でズーム倍率を調節

●テレビ電話を終了した場合は、ズームの設定は元に戻ります。

ミュート

テレビ電話起動時	ミュート解除

相手に送信する音声をミュート(消音)します。

1 テレビ電話中に✉(MUTE切替)を押す

ミュート中は「MUTE」が表示されます。

●ミュートを解除するには同様の操作を行います。

テレビ電話中のサブメニュー

項目	説明
代替画像切替・カメラ画像切替	P.75参照
アウトカメラ・インカメラ	P.75参照
親画面表示切替	P.75参照
テレビ電話設定	
受信画質設定	P.77参照
明るさ調節 テレビ電話起動時 0	相手に送るカメラ映像の明るさを−2(暗い)〜+2(明るい)で調節します。
ホワイトバランス設定 テレビ電話起動時 オート	相手に送るカメラ映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。
色調切替 テレビ電話起動時 通常	相手に送るカメラ映像の色調を切り替えます。
撮影モード選択 テレビ電話起動時 人物	テレビ電話中のカメラの撮影モードを設定します。
キャラ電設定	P.74参照
照明設定	画面の照明を常時点灯させるか、P.104「照明設定」の点灯時間に従うかを設定します。
液晶AI	P.107参照
インカメラ鏡像	インカメラ映像を正像表示または鏡像表示に切り替えます。
自局番号	自分の電話番号を表示します。
DTMF送信・DTMF解除	キャラ電通話中にダイヤルデータを入力してDTMF(プッシュ信号)を送ることができるDTMF送信モードに切り替えます。キャラ電通話中のみ操作できます。 ●現在DTMF送信モードでない場合は「DTMF送信」、DTMF送信モードの場合は「DTMF解除」と表示されます。 ●DTMF送信モード中は、キャラ電のアクション操作はできません。 ●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
音声電話切替	P.56参照
現在地通知	P.306参照

ハンズフリー切替

テレビ電話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**テレビ電話設定**▶**ハンズフリー切替**▶**ON・OFF**

- ハンズフリー設定中の動作、ハンズフリー切替についてはP.56参照。
- 「ハンズフリー切替」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

受信画質設定

テレビ電話中の画面に表示される受信映像の画質を設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**テレビ電話設定**▶**受信画質設定**▶**画質を選択**

- 「動き優先」は映像に動きがある場合に有効です。動きが少ない場合は「画質優先」に設定すると画質が向上します。
- テレビ電話中のサブメニューから操作した場合、設定は通話中のテレビ電話にのみ有効です。
- 「受信画質設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、映像がモザイク状になるときがあります。

画像選択

テレビ電話中の相手に送信する画像を設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**テレビ電話設定**▶**画像選択**▶**項目を選択**

応答保留選択．．．．．．．応答保留中の画像を設定します。
通話保留選択．．．．．．．通話保留中の画像を設定します。
代替画像選択．．．．．．．カメラOFF時の代替画像(静止画またはキャラ電)を設定します。
伝言メモ選択．．．．．．．伝言メモ録画中の画像を設定します。
伝言メモ準備選択．．．．伝言メモ応答メッセージ再生中の画像を設定します。
音声メモ選択．．．．．．．音声メモ録音中の画像を設定します。

- 「画像選択」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 **画像を選択**

内蔵．．．．．．．．FOMA端末にあらかじめ保存されている静止画を相手に送信します。
自作．．．．．．．．状態に応じたメッセージと「ピクチャ貼付」で登録した静止画を合成したものを相手に送信します。
キャラ電．．．．「代替画像設定」で選択したキャラ電を相手に送信します。(P.74参照)
(手順1で「代替画像選択」を選択した場合のみ表示されます。)

- 📷(デモ)を押すとデモ再生され、静止画またはキャラ電を確認できます。
- 「自作」または「キャラ電」の設定を変更するには、サブメニューから「設定内容変更」を選択し、静止画またはキャラ電を選択します。「自作」を選択していた場合はフォルダを選択してから静止画を選択します。

お知らせ

- 「自作」で選択した静止画を削除した場合、「内蔵」の画像を相手に送信します。

通話ごとの設定

テレビ電話をかけるときに相手に送信する画像を設定します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳詳細画面・発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 MENU（サブメニュー）▶**テレビ電話画像選択**▶**自画像・キャラ電**

- 電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「テレビ電話画像選択」を選択します。
- 「自画像」を選択した場合は、設定が終了します。
- 「自画像」を設定していても、ダウンスタイル以外でテレビ電話をかけると、キャラ電が送信されます。
- 通話ごとの設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。設定が終了します。

3 **キャラ電を選択**

音声自動再発信

テレビ電話をかけてつながらなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

1 MENU▶**電話機能**▶**テレビ電話設定**▶**音声自動再発信**▶**ON・OFF**

- 「音声自動再発信」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

お知らせ

- 音声電話の発信動作に切り替わった場合、音声電話料金になります。
- 相手が話し中や公共モード（ドライブモード）中などのためにテレビ電話がつながらなかった場合は、音声自動再発信は行いません。ただし、テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合は、音声自動再発信を行います。

テレビ電話切替機能通知

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを相手に通知する機能です。
ご契約時は「開始」に設定されています。「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手がテレビ電話と音声電話を切り替えることができます。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所、または通話中は「テレビ電話切替機能通知」の操作はできません。

1 MENU▶**電話機能**▶**テレビ電話設定**▶**テレビ電話切替機能通知**▶**以下の操作を行う**

- 「テレビ電話切替機能通知」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

切替機能通知開始	開始します。
切替機能通知停止	停止します。
切替機能通知設定確認	設定内容を確認します。

パケット通信中着信設定

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**テレビ電話設定**▶**パケット通信中着信設定**▶**項目を選択**

テレビ電話優先 . . . . テレビ電話の着信画面を表示します。テレビ電話に応答するとパケット通信が切断されます。
パケット通信優先 . . . テレビ電話着信を拒否し、通信を継続します。
留守番電話 . . . . かかってきたテレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ . . . . かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。

- 「パケット通信中着信設定」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

お知らせ

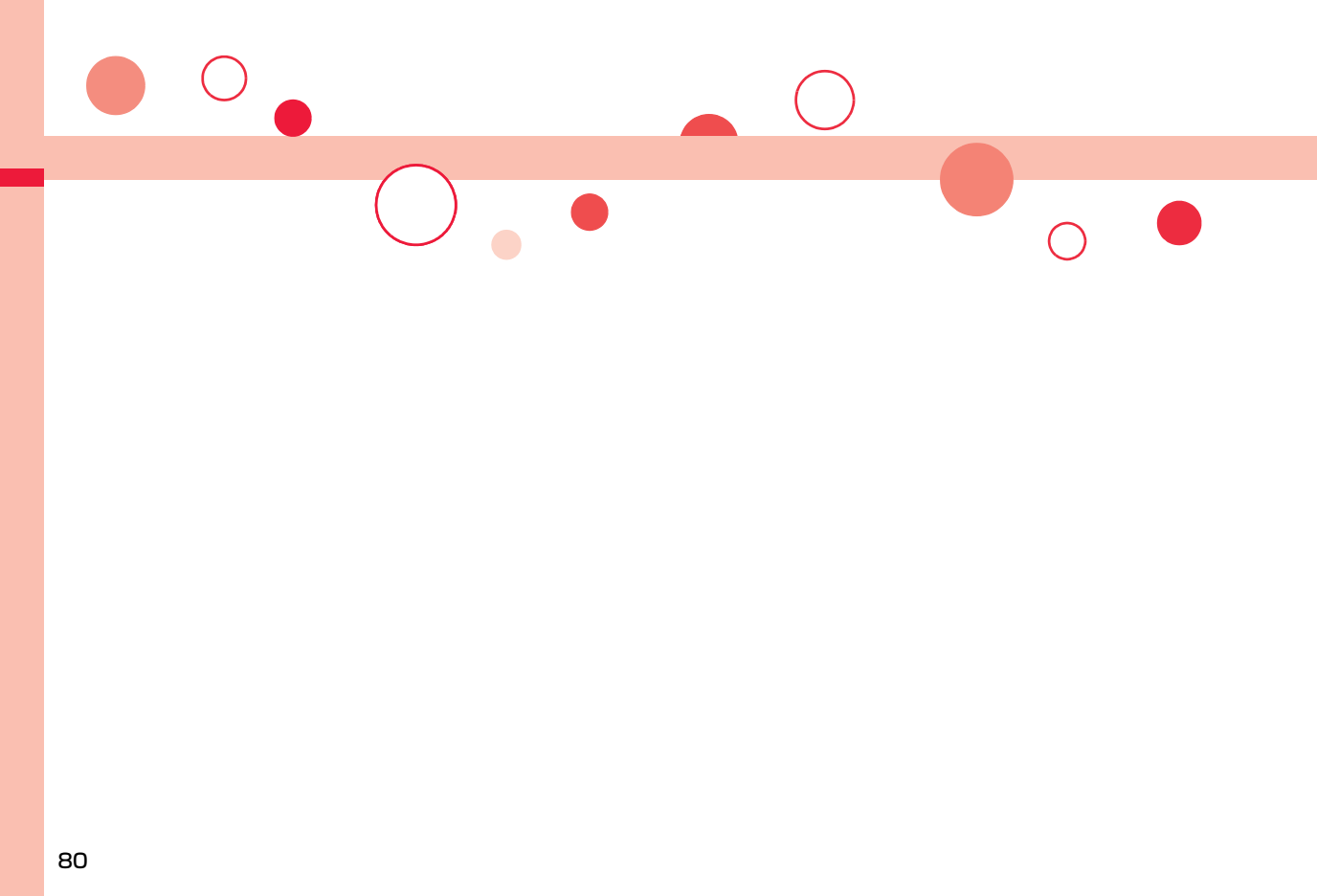
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスが未契約の場合は、「留守番電話」「転送でんわ」に設定していても「パケット通信優先」の動作になります。

テレビ電話使用機器設定

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器(市販品)を用意する必要があります。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定･操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトはドコモのホームページからダウンロードしてご利用ください。

お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンを契約していると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、現在の通話を終了してから着信に応答することができます。外部機器からのテレビ電話中に音声電話･テレビ電話･64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

FOMA端末では、FOMA端末(本体)の電話帳と、ドコモminiUIMカードの電話帳の2種類の電話帳が利用できます。

			FOMA端末(本体)	ドコモminiUIMカード
件数			1000件	50件
電話帳の登録項目		名前(フリガナ)	○	○
		グループ	20グループ(「グループなし」を含む)	11グループ(「グループなし」を含む)
		電話番号	4件	1件
		電話番号アイコン	○	×
		メールアドレス	3件	1件
		メールアドレスアイコン	○	×
		住所	○	×
		位置情報	○	×
		誕生日	○	×
		メモ	○	×
		静止画	100件	×
		キャラ電	100件	×
		メモリ番号	000～999	×
	個別着信音／画像	着信音設定	○	×
		着信画面設定	○	×
		着信結果画面設定	○	×
		キャラ電設定	○	×
		着信イルミネーション設定	○	×
		不在イルミネーション設定	○	×
		未読イルミネーション設定	○	×
		バイブレーション設定	○	×
		応答メッセージ設定	○	×

			FOMA端末(本体)	ドコモminiUIMカード
電話帳の登録項目	個別発着信動作選択	指定発信制限	20件	×
		指定着信拒否	20件	×
		指定着信許可	20件	×
		指定転送でんわ	20件	×
		指定留守番電話	20件	×
		シークレットコード	○	×
		シークレットモード、シークレット専用モードでの登録	○	×

			FOMA端末(本体)	ドコモminiUIMカード
グループの登録項目		グループ名	○	○
	グループ着信音／画像	着信音設定	○	×
		着信画面設定	○	×
		着信結果画面設定	○	×
		キャラ電設定	○	×
		着信イルミネーション設定	○	×
		不在イルミネーション設定	○	×
		未読イルミネーション設定	○	×
		バイブレーション設定	○	×
		応答メッセージ設定	○	×

○：登録できます。　×：登録できません。

- お客様のドコモminiUIMカードを他のFOMA端末にセットしても、ドコモminiUIMカード内の電話帳データを利用できます。

電話帳登録

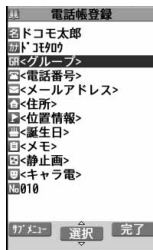
FOMA端末(本体)またはドコモminiUIMカードの電話帳に登録します。

1 **◎(1秒以上)▶本体・UIM(FOMA)カード**

名前の入力画面が表示されます。手順2へ進んで名前を入力します。

2 **以下の操作を行う**

▶📷TV(完了)

●名前を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。

FOMA端末(本体)の場合

ドコモminiUIMカードの場合

項目	説明
名 名前	名前や会社名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。 ●ドコモminiUIMカードの場合、半角カタカナは入力できません。
ｶﾅ フリガナ	フリガナをカタカナ、英字、数字で入力します。 ●ドコモminiUIMカードの場合、半角カタカナは入力できません。 ●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありませんが、名前に入力した文字や入力方法によっては、フリガナに反映されないことがあります。 ●名前に「ゎ(小文字)」、「ヮ(小文字)」を入力すると、フリガナには「ワ(半角大文字)」(FOMA端末(本体)の場合)、「ワ(大文字)」(ドコモminiUIMカードの場合)として表示されます。
GR グループ	グループを選択します。 ●グループを選択していない状態で登録を完了した場合、「グループなし」に登録されます。
☎ 電話番号	FOMA端末(本体)の場合、それぞれの電話番号に「携帯電話の番号」「会社の電話番号」などを区別するためのアイコンを設定できます。 ●電話番号は市外局番から入力します。 ●26桁まで入力できます。 ●(＊)を1秒以上押して、登録する電話番号にポーズ(p)を入力できます。ただし、電話番号の先頭にポーズ(p)を入力したり、連続しての入力はできません。また、電話番号の最後に入力したポーズ(p)は登録されません。 ●「＊」を電話番号の途中に入力した場合は、電話がかかりません。ただし、発着信一覧・リダイヤル・発信履歴は残ります。 ●情報ダイヤルなどの「＃」を使用した番号も登録できます。 ●FOMA端末(本体)に電話番号を登録すると電話帳新規登録画面に「☎＜電話番号＞」が1つ増えます。別の電話番号を登録するときは、「☎＜電話番号＞」を選択します。
✉ メールアドレス	FOMA端末(本体)の場合、それぞれのメールアドレスに「携帯電話のアドレス」「自宅のアドレス」などを区別するためのアイコンを設定できます。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。 ●FOMA端末(本体)にはシークレットコードも設定できます。(P.89参照) ●FOMA端末(本体)にメールアドレスを登録すると電話帳新規登録画面に「✉＜メールアドレス＞」が1つ増えます。別のメールアドレスを登録するときは、「✉＜メールアドレス＞」を選択します。
🏠 住所	郵便番号と住所を入力します。 ●郵便番号に「〒」や「-」(ハイフン)は入力できません。
▶ 位置情報	P.313参照

項目	説明
誕生日	誕生日を入力します。 ●1800年1月1日から2099年12月31日まで入力できます。 ●(クリア)を押すと登録済みの誕生日を削除できます。 ●登録した誕生日はスケジュールにも表示されます。スケジュールに表示しない場合は、サブメニューから「スケジュール表示」→「スケジュール表示しない」を選択してください。 電話帳の登録画面では、スケジュールに表示する場合は「 」が、スケジュールに表示しない場合は「 」が表示されます。
メモ	メモを入力します。
静止画	カメラを起動して撮影した静止画を登録するか、データBOX内の静止画を登録します。登録した静止画は、電話帳を呼び出したときに表示されます。 ●登録済みの静止画を解除する場合は、「静止画解除」を選択します。 ●設定できる画像はJPEG画像、GIF画像です。ただし、待受(480×854)を超える画像サイズまたは300Kバイトを超えるファイルサイズの画像は電話帳に設定できません。 ●256×192ドットより大きい静止画を登録した場合、電話帳詳細画面には縮小されて表示されます。 ●480×360ドットより大きい静止画を登録した場合、着信画面には縮小されて表示されます。 ●「電話帳画像着信設定」を「ON」にしていると、登録した静止画が着信時に表示されます。ただし、「個別着信音/画像」や「グループ着信音/画像」にも画像を登録している場合、着信時にはそれらの設定が優先されます。
キャラ電	キャラ電を登録します。登録したキャラ電は、電話帳の相手とのテレビ電話時に代替画像として表示されます。 ●登録済みのキャラ電を解除する場合は、「キャラ電解除」を選択します。 ●「個別着信音/画像」や「グループ着信音/画像」にもキャラ電を登録している場合、着信時にはそれらの設定が優先されます。
メモリ番号	メモリ番号を入力します。 ●あらかじめ「010」～「999」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。 「010」～「999」がすべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。

編集中の電話帳について

電池切れアラームが鳴ったときは

編集中の電話帳が自動的に保存されます。充電して電話帳の編集を続けるか、充電済みの電池パックと交換したあとに、P.83手順1の操作を行って編集を中断した登録先を選択すると、再編集するかどうかの確認画面が表示されます。

再編集. . . .電話帳編集の続きを行うことができます。

新規. . . . . .新しく他の電話帳を編集できます。この場合、編集中データは消去されません。新しい電話帳の登録終了後に電話帳登録を行うと、確認画面が再度表示されます。

●編集中データとして登録されているのは一番新しい1件のみです。

●編集中データを呼び出して電話帳の編集の続きを行っているときに、登録しないで編集を中止すると編集中データは消去されます。一度呼び出したら、最後まで登録を行ってください。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

マルチタスク機能が働くため、編集中の電話帳のデータはそのままで応対できます。()を押してタスクメニューを表示し、編集中の機能を選択すると電話帳の編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、電話帳の編集画面に戻ります。

表示している電話番号やメールアドレスを登録

表示／選択している電話番号やメールアドレス、静止画をFOMA端末(本体)やドコモminiUIMカードの電話帳に登録します。

操作	登録可能な項目
電話番号を入力中	電話番号
発着信一覧表示中･リダイヤル表示中･発信履歴表示中･着信履歴表示中	電話番号
送信アドレス一覧表示中･受信アドレス一覧表示中	電話番号･メールアドレス
サイト表示中･画面メモ表示中	電話番号･メールアドレス
メッセージR/Fの本文表示中･メールの本文表示中	電話番号･メールアドレス
バーコードリーダーで読み取ったデータを表示中	電話番号･メールアドレス
トルカ表示中	電話番号･メールアドレス
現在地表示中	位置情報
位置履歴表示中	位置情報
現在地通知先表示中	名前･電話番号
静止画一覧表示中･静止画表示中	静止画

1 登録したい項目のサブメニュー ▶電話帳登録･電話帳･アドレス／番号登録

- メール詳細画面のサブメニューから操作した場合、送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、メール詳細画面で選んだメールアドレスや電話番号が登録されます。
- バーコードリーダーのコード読取結果画面で「電話帳登録」と表示されている場合、「電話帳登録」を選択すると読み取ったコードに付加されている電話番号やメールアドレス以外の情報も電話帳に入力されます。

2 本体･UIM(FOMA)カード▶登録方法を選択

新規登録. . . P.83手順2へ進みます。
追加登録. . . すでにある電話帳に追加登録します。ドコモminiUIMカードの電話帳に登録するときは「上書き登録」と表示されます。

3 検索方法を選択▶電話帳を検索 ▶登録する電話帳を選択▶◉(選択)

電話番号やメールアドレスなどが自動的に入力されます。

- 電話帳の他の項目を編集する場合は、P.83手順2参照。
- サイト表示中のサブメニューから操作した場合、検索方法の選択画面に「自動検索」が表示される場合があります。「自動検索」を選択すると、同じ名前、フリガナの電話帳を検索できます。
- FOMA端末(本体)の電話帳に登録する場合、メモリ番号を変更すると、登録前の電話帳を元の内容のまま残し、登録後の内容を別のメモリ番号で登録できます。

4 📷(完了)▶YES

- ドコモminiUIMカードの電話帳に登録する場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。

お知らせ

- 発着信一覧、リダイヤル、発信履歴の「発信者番号通知」の情報は、電話帳に登録されません。発信者番号通知を設定するときは、電話番号に「186／184」を付けて登録してください。
- 登録できない文字はスペースに変換されたり削除されたりして登録されることがあります。
- サイトによっては電話帳登録できない場合があります。

グループ設定

「会社」や「友達」などのグループや、「野球」や「陶芸」などの趣味ごとに、電話帳を分類して活用できます。「グループ着信音／画像」でグループごとに着信音やバイブレータ、イルミネーションなどを設定できます。

1 MENU▶電話機能▶電話帳▶電話帳設定･確認 ▶グループ設定

- ドコモminiUIMカードのグループには「▦」が表示されます。

2 グループを選択▶グループ名を入力

- ドコモminiUIMカードのグループ名に全角／半角が混在しているグループ名を入力した場合は、全角／半角問わず最大10文字まで登録されます。

グループ設定表示中のサブメニュー

グループ名編集	グループ名を編集します。
グループ着信音／画像	グループごとに着信音などを設定します。 P.90「個別着信音／画像」手順1へ進みます。
グループ並び替え	グループを並べ替えます。
グループ名初期化	グループ名をお買い上げ時のグループ名に戻します。

お知らせ

＜グループ着信音／画像＞
- 「グループなし」には設定できません。

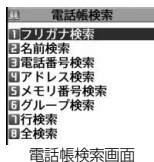
電話帳検索

登録した電話帳を8つの検索方法で呼び出して電話をかけます。

1 ◎を押す

- 電話帳検索画面で優先したい検索方法を選んで📷(優先)を押すと、優先検索方法を設定できます。優先検索方法を設定すると、電話帳検索画面を表示することなく設定した検索方法の画面を表示できます。各検索方法の画面でCLRを押して電話帳検索画面を表示し、📷(解除)を押すと設定を解除できます。優先検索方法に設定した項目には「★」マークが付きます。
- 「MENU▶電話機能▶電話帳▶電話帳検索」の操作を行うと、優先検索方法の設定に関わらず電話帳検索画面が表示されます。また、優先検索方法の設定と解除はできません。

電話帳検索
1フリガナ検索
2名前検索
3電話番号検索
4アドレス検索
5メモリ番号検索
6グループ検索
7行検索
8全検索

電話帳検索画面

2 以下の操作を行う▶電話帳を選択▶☎または◉(発信)

- 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合や、「アドレス検索」を行った場合は、詳細画面で◎を押して電話番号を選択します。
- 📷(TV電話)を押すとテレビ電話発信になります。iα(声宅配)を押すと声の宅配便を発信することができます。(P.60参照)

フリガナ検索	フリガナを先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。
名前検索	名前を先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。
電話番号検索	電話番号の一部を入力して検索します。電話番号の途中だけでも検索できます。 ●待受画面または通話中画面で電話番号の一部を入力し、◎を1秒以上押しても電話帳一覧画面が表示されます。
アドレス検索	メールアドレスの一部を入力して検索します。メールアドレスの途中だけでも検索できます。
メモリ番号検索［FOMA端末(本体)のみ］	メモリ番号を入力して検索します。
グループ検索	指定したグループに登録されている電話帳を表示します。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.87参照) ●グループの一覧画面でMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押すと、「グループ設定」のサブメニューが表示されます。 ただし、「MENU▶電話機能▶電話帳▶電話帳検索▶グループ検索」の操作でグループの一覧画面を表示した場合は、「ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ」は表示されません。
行検索	フリガナの行に対応したダイヤルボタンを押して検索します。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.87参照) ●音声電話の通話中画面で◎を1秒以上押しても行検索の画面が表示されます。
全検索	すべての電話帳を表示します。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.87参照)

お知らせ

- 「グループ検索」以外の検索方法で何も入力せずに◎を押すと、すべての電話帳が表示されます。

検索順について

電話帳を登録するときに入力したフリガナによって次のような順で検索されます。
「フリガナの頭文字がスペースのもの」→「50音(ア、イ、ウ、エ、オ、･･･ン)」→「英字(A、a、B、b、･･･Z、z)」→「数字(0～9)」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」
※メモリ番号で検索した場合はメモリ番号順で検索されます。

一覧画面について

「グループ検索」「行検索」「全検索」を行ったときは、一覧画面の上部にタブが表示されます。「グループ検索」の場合はグループごとに、「行検索」「全検索」の場合はフリガナの行ごとに分類されます。
◎を押すと左右のタブ内の電話帳が表示されます。

電話帳一覧画面

- タブ表示中にフリガナを入力すると、入力した文字に最も近い電話帳を選ぶことができます。1文字入力するごとに最も近い電話帳を表示します。
- 「メモリ番号検索」で該当する電話帳がなかったときや、メモリ番号検索の画面で◎を押してすべての電話帳を表示したときは、一覧画面の上部にメモリ番号の50番ごとに分類されたタブが表示されます。メモリ番号タブ表示画面ではフリガナを入力して電話帳を選ぶことはできません。
- 一覧画面で発信キーを押すと、反転している名前に登録されている電話番号へ音声電話をかけることができます。複数の電話番号が登録されているときは、電話番号の中で1番目に登録されている電話番号に発信します。TVキー(声宅配)を押すと声の宅配便を発信することができます。(P.60参照)
- ドコモminiUIMカードに登録した電話帳には「▦」が表示されます。
- iコンシェルの情報が登録されている電話帳には「☑」が表示されます。
- 電話帳2in1設定がAの電話帳には「A」、Bの電話帳には「B」、共通設定の電話帳には「AB」が表示されます。(デュアルモード時のみ)

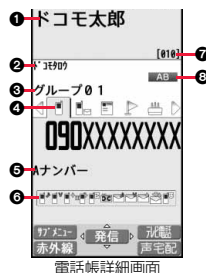
詳細画面について

電話帳詳細画面

❶名前　❷フリガナ　❸グループ名
❹登録内容
- ◎でタブを選ぶと登録内容の詳細が表示されます。
- 電話番号を選択すると電話をかけることができます。(P.86「電話帳検索」手順2参照)
- メールアドレスを選択すると宛先欄にメールアドレスが入力されたiモードメールが作成されます。
- 住所･iコンシェル住所を選択すると、「地図設定」の「地図選択」で設定されているGPS対応iアプリを起動して地図を表示します。
- メモ･iコンシェルメモを選択すると全画面表示になります。
- キャラ電を選択するとキャラ電が表示されます。
- iコンシェルURLを選択するとサイトを表示します。
- iコンシェルで登録された情報のタブには「☑」が付きます。ケータイデータお預かりサービスのサーバで登録データが更新されると情報が自動的に表示されます。
- iコンシェル住所、iコンシェルメモ、iコンシェルURLは、iコンシェルをご契約されていない場合は表示されません。

❺2in1／マルチナンバーの設定
❻個別着信音／画像の設定･発信者番号通知
／:着信音(音声電話･テレビ電話／iモードメール･SMS)
:着信画面(音声電話･テレビ電話)
:着信結果画面(iモードメール)
／:イルミネーション(音声電話･テレビ電話／iモードメール･SMS)
:不在イルミネーション(音声電話･テレビ電話)
:未読イルミネーション(iモードメール･SMS)
／:バイブレーション(音声電話･テレビ電話／iモードメール･SMS)
:応答メッセージ　:キャラ電
[通知]／[非通知]:発信者番号の通知／非通知
❼メモリ番号
- ドコモminiUIMカードの電話帳の場合は「▦」を表示します。

❽電話帳2in1設定(デュアルモード時のみ)
A:A設定の電話帳　B:B設定の電話帳　AB:共通設定の電話帳

電話帳

電話帳一覧画面のサブメニュー

電話帳登録	電話帳を新規登録します。
電話帳2in1設定	P.426参照
ソート	表示される順番を変更します。 ●「昇順」または「降順」を選択すると逆順に並べ替えます。 ●一覧画面にタブが表示されているときは、ソートできません。
タブ表示切替	一覧画面の表示方法をタブ表示に切り替えます。
個別発着信動作選択	P.125参照
グループ設定	P.85参照
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
iC送信	iC通信で送信します。
iC全送信	
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
赤外線全送信	
電話帳登録件数	電話帳の登録件数を表示します。
居場所を確認	「イマドコかんたんサーチ」のサイトに接続します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。
メール添付	電話帳をｉモードメールに添付して送信します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
拡大表示・標準表示	電話帳・プロフィールの文字サイズを切り替えます。
microSD参照・本体参照	microSDカードに保存している電話帳を参照します。
お預かりサービス利用	P.128参照
電話帳削除	P.90参照

電話帳詳細画面のサブメニュー

電話帳編集		P.90参照
電話帳2in1設定		FOMA端末(本体)に登録した電話帳の電話帳2in1設定を変更します。
発信者番号通知		P.60参照
発信設定		
	プレフィックス	P.65参照
	国際電話発信	P.63参照
	2in1／マルチナンバー	P.425、P.427参照
	テレビ電話画像選択	P.78参照
個別着信音／画像		P.90参照
個別発着信動作選択		P.125参照
先頭へ移動		詳細画面で選んだ電話番号／メールアドレスを1番目に移動します。
直デン登録		直デンに登録します。 ●直デンに登録するとサブメニューの「直デン登録」に「★」マークが付きます。
ブログメールグループ登録		メールアドレスや電話番号をブログ・メールグループに登録します。
ショートカット作成		ショートカットを作成します。
メール作成		メールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。
メール添付		電話帳をｉモードメールに添付して送信します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
SMS作成		電話番号を宛先としたSMSを作成します。
iC送信		iC通信で送信します。
iC全送信		

赤外線送信 赤外線全送信	赤外線通信で送信します。 ●電話帳詳細画面で✉(赤外線)を押しても赤外線送信できます。
microSDへコピー	microSDカードにコピーします。
コピー	
名前	名前をコピーします。
電話番号・メールアドレス・住所・位置情報・誕生日・メモ・iコンシェル 住所・iコンシェル URL・iコンシェル メモ	各項目をコピーします。 ●詳細画面で◎を押してコピーする項目を選びます。選んだ項目によって選択できるサブメニュー項目は異なります。
シークレットコード	シークレットコード登録をしている相手にiモードメールを送るときには、相手のシークレットコードをメールアドレスに追加する必要があります。電話帳のメールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に追加されます。 ▶端末暗証番号を入力▶コード設定 ●詳細画面で◎を押してシークレットコードを設定する電話番号またはメールアドレスを選びます。 ●シークレットコードを確認する場合は、「コード参照」を選択します。 ●シークレットコードを解除する場合は、「設定解除」を選択します。 ▶4桁のシークレットコードを入力▶YES ●シークレットコードを設定するとサブメニューの「シークレットコード」に「★」マークが付きます。 ●シークレットコードは数字4桁で入力してください。「0000」は設定できません。
シークレット設定・シークレット解除	電話帳をシークレットに設定／解除します。
UIM(FOMA)カードコピー	ドコモminiUIMカードへコピーします。
本体へコピー	FOMA端末へコピーします。
居場所を確認	「イマドコかんたんサーチ」のサイトに接続します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。
GPSアプリ一覧	P.304参照
地図を見る	P.304参照
メール貼り付け	P.304参照
画像に付加	P.304参照
拡大表示・標準表示	電話帳・プロフィールの文字サイズを切り替えます。
電話帳削除	P.90参照

お知らせ

<シークレットコード>

●送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときのみシークレットコードが追加されます。他のメールアドレスにはシークレットコードは追加されません。

●メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手からのメールに返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

電話帳編集

1 電話帳詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶電話帳編集▶編集したい項目を選択▶内容を編集

- 電話帳の編集方法についてはP.83手順2参照。
- FOMA端末(本体)の電話帳を編集した場合、メモリ番号を変更すると、編集前の電話帳を元の内容のまま残し、編集後の内容を別のメモリ番号で登録できます。
- 複数の電話番号、メールアドレスが登録されている場合、サブメニューから「先頭へ移動」を選択すると電話番号、メールアドレスの登録順を変更できます。

2 TV(完了)▶YES

- ドコモminiUIMカードの電話帳を編集した場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。

電話帳削除

電話帳詳細画面からの削除

1 電話帳詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶電話帳削除▶以下の操作を行う

電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・位置情報削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除・キャラ電削除	各項目を削除します。 ●詳細画面で◎を押して削除する項目を選びます。選んだ項目によって選択できるサブメニューは異なります。 ●ｉコンシェルで取得した情報は削除できません。
1件削除	表示中の電話帳を削除します。

電話帳一覧画面からの削除

1 電話帳一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶電話帳削除▶以下の操作を行う

1件削除	1件削除します。
選択削除	選択して削除します。
全削除	シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を削除します。 ●FOMA端末内のグループ名とグループの並び順もお買い上げ時の状態に戻ります。

個別着信音／画像

FOMA端末(本体)の電話帳の電話番号ごと、メールアドレスごとに着信音などを設定します。

1 電話帳詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶個別着信音／画像▶項目を選択

音声着信設定 . . . . 音声電話着信時の動作を設定します。
テレビ電話着信設定 . . . テレビ電話着信時の動作を設定します。
SMS着信設定 . . . . SMS受信時の動作を設定します。
メール着信設定 . . . . . . ｉモードメール受信時の動作を設定します。

2 以下の操作を行う

- 登録済みの設定を解除するには、解除したい項目を選んでTV(解除)を押すか、サブメニューから「設定解除」を選択します。

着信音設定	電話着信時、メール受信時の着信音を設定します。
着信画面設定	電話着信時に表示する画像を設定します。
着信結果画面設定	ｉモードメールの受信結果画面に表示する画像を設定します。
キャラ電設定	テレビ電話時に代替画像として表示するキャラ電を設定します。

着信イルミネーション設定	電話着信時、メール受信時のイルミネーションを設定します。
不在イルミネーション設定	不在着信があるときのイルミネーションを設定します。
未読イルミネーション設定	未読メールがあるときのイルミネーションを設定します。
バイブレーション設定	電話着信時、メール受信時のバイブレータを設定します。
応答メッセージ設定	伝言メモの応答メッセージを設定します。

お知らせ

- シークレット登録されている電話帳には「個別着信音／画像」を設定できません。また、シークレット登録されている電話帳を含むグループに「グループ着信音／画像」を設定することはできますが、シークレット登録されている電話帳には設定は無効です。

電話帳登録件数

1 MENU▶電話機能▶電話帳▶電話帳設定・確認▶電話帳登録件数

本体
電話帳. . . . . FOMA端末(本体)に登録されている電話帳の件数
シークレット. . . . . シークレット登録されている電話帳の件数(シークレットモード／シークレット専用モード中に表示)
静止画. . . . . 静止画が登録されている電話帳の件数
キャラ電 . . . . キャラ電が登録されている電話帳の件数
UIM(FOMA)カード
電話帳. . . . . ドコモminiUIMカードに登録されている電話帳の件数

直デン

よく使う電話帳を直デンに登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたりメールを送信したりできます。

直デンの登録

電話帳を選択して直デンに登録します。直デンは5件まで登録でき、1件の直デンには電話番号とメールアドレスを1件ずつ登録できます。

1 ▶登録先を選んで TV (登録)

- 直デン画面で 1 ～ 5 を押しても登録先を選択できます。
- 登録済みの直デンを編集するには TV (編集)を押します。

直デン画面

2 電話帳参照▶電話帳を検索▶電話帳を選択▶登録したい項目にチェック▶ TV (完了)

- 「直接入力」を選択した場合、電話帳の新規登録を行ってから直デンを登録します。電話帳の登録方法についてはP.83参照。

電話発信／メール送信

1 ▶直デンを選んで発信方法を選択

- 直デン画面で 1 ～ 5 を押しても発信する直デンを選択できます。
- 直デンを選んで を押すと音声電話発信できます。

直デン画面のサブメニュー

登録・編集	登録・編集します。
画像変更	画像を変更します。 ●設定できる画像はJPEG画像、GIF画像です。ただし、待受（480×854）を超える画像サイズまたは300Kバイトを超えるファイルサイズの画像は直デンに設定できません。
画像解除	「画像変更」で登録した画像を解除します。
メール一斉送信	登録されているメールアドレスにメールを一斉送信します。
1件解除	解除します。
全解除	

お知らせ

- 「画像変更」で直デンの画像を変更しても、登録元電話帳の静止画は変更されません。また、登録元電話帳の静止画を変更しても、直デンの画像は変更されません。
- シークレットデータとして登録した電話帳を直デンに登録することはできません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、直デン画面に電話帳2in1設定の設定内容が表示されます。

ツータッチダイヤル

FOMA端末（本体）の電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録した相手には、メモリ番号の下1桁を押すだけで電話をかけることができます。

1 **ダイヤルボタン（0～9）▶ 発信**

- 📷（ TV電話 ）を押すとテレビ電話発信になります。✉（ 声宅配 ）を押すと声の宅配便を発信することができます。（P.60参照）

お知らせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に発信します。
- メモリ番号000～009の電話帳に「指定発信制限」を設定するときは、1番目の電話番号を設定してください。
- メモリ番号000～009の電話帳をシークレット登録したときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードで操作してください。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明設定

着信音選択

着信音を着信の種類ごとに設定します。
ｉモーションを選択すると、着信時にｉモーションが再生され、音声が流れます。(着モーション)

- 着信音は、PCM音源　128和音　ADPCM対応です。
- 着信音を電話帳ごとに設定するにはP.90「個別着信音／画像」、グループごとに設定するにはP.86「グループ着信音／画像」参照。

■着信音一覧(プリインストール)

表示	曲名	作詞者名･作曲者名
着信音1	－	－
着信音2	－	－
着信音3	－	－
着信音4	－	－
着信音5	－	－
ワルキューレの騎行	ワルキューレの騎行	作曲:WAGNER RICHARD WILHELM
Minimal Techno	Minimal Techno	－
ハイ･ホオ	ハイ･ホオ	作曲:CHURCHILL FRANK E
ワルツ 第1番 変ホ長調 華	ワルツ 第1番 変ホ長調 華麗なる大ワルツ	作曲:CHOPIN FREDERIC FRANCOIS
おもちゃの兵隊の行進	おもちゃの兵隊の行進	作曲:JESSEL LEON
Wall Street	Wall Street	－
SOMEDAY MY PRINCE WI	SOMEDAY MY PRINCE WILL COME	作曲:CHURCHILL FRANK E
ペール･ギュント 第1組曲 朝	ペール･ギュント 第1組曲 朝	作曲:GRIEG EDVARD HAGERUP
黒電話	－	－
キラキラ	－	－
Simple	－	－
Jingle	－	－
Electron Flow	－	－
ウクレレ	－	－
ウォータードロップ	－	－
メール(無線風)	－	－
まちへ行くのうた	まちへ行くのうた	－

(注) 作詞者名･作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。曲名が長い場合、画面サイズの関係で曲名をすべて表示できないことがあります。

■ｉモーション(プリインストール)

表示	曲名	作詞者名･作曲者名
Tokyo Night Flight	Tokyo Night Flight	－
ドコモダケまちへ行く	ドコモダケまちへ行く	－

- プリインストールｉモーション「ドコモダケまちへ行く」は着信音に設定できません。

1 MENU▶本体設定▶音／バイブ／マナー▶着信音選択▶着信の種類を選択

- 📷(デモ)を押すと、実際に再生／表示される内容を確認できます。
- 「着信音選択」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 着信音▶着信音の種類を選択

メロディ . . . . . . メロディを着信音に設定します。
ｉモーション . . . ｉモーションを着信音に設定します。(着モーション／着うた®)
ミュージック . . . 着うたフル®を着信音に設定します。
おしゃべり . . . . . 「おしゃべり機能」で録音した音を着信音に設定します。「おしゃべり1」または「おしゃべり2」を選択すると設定が終了します。
OFF . . . . 着信音をOFFにします。設定が終了します。

3 フォルダを選択▶着信音を選択

- 手順2で「ミュージック」を選択した場合は、「まるごと着信音設定」または「オススメ着信音設定」を選択します。(P.271参照)
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.196参照。

お知らせ

- 「電話」「テレビ電話」を選択し、「着信画面」を選択すると、着信画面を設定できます。「メール」「メッセージR」「メッセージF」を選択し、「メール着信画面」を選択すると、メール着信画面を設定できます。P.103手順2へ進みます。
- 着信音の優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「マルチナンバー」の「着信音設定」→「着信音選択」の順になります。
- 映像と音を含んだｉモーションをメール着信音に設定した場合、CLRなどを押すと着信音を停止できます。
- 着信音と着信画面の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の設定で動作することがあります。
- 着信音に設定可能なｉモーションかどうかを確認するには「ｉモーション情報」参照。
- 映像のあるｉモーションは、「ｉコンシェル」には設定できません。
- 異なる種類のｉモードメール･SMS、メッセージR/Fを同時に受信した場合の着信音の優先順位は、「ｉモードメール･SMS」→「メッセージR」→「メッセージF」の順になります。同じ種類のメールを同時に受信した場合は、最後に受信したメールに対応した着信音が鳴ります。
- ダウンロードしたメロディやメールに添付されているメロディ、メールへの添付･FOMA端末外への出力が禁止されているメロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。再生部分が指定されたメロディを着信音などに設定したときは指定された箇所のみが再生されます。

着信音量

電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに鳴る着信音の大きさを調節します。

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**着信音量**▶**着信の種類を選択**▶◎**で音量を調節**

- 「着信音量」を「消去」に設定中は、待受画面に以下のアイコンが表示されます。
  - ：「電話」「テレビ電話」のいずれかを設定
  - ：「メール」「メッセージR」「メッセージF」「ｉコンシェル」のいずれかを設定
  - ：「電話」「テレビ電話」のいずれかと、「メール」「メッセージR」「メッセージF」「ｉコンシェル」のいずれかを設定
- 「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
- 「着信音量」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

バイブレータ設定

電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**
▶**バイブレータ設定**▶**着信の種類を選択**
▶**バイブレータのパターンを選択**

- ●「メロディ連動」に設定すると、メロディに登録されている振動パターンに合わせて振動します。
- ●選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。ただし、「メロディ連動」を選択した場合は、振動しません。
- ●「バイブレータ設定」を「OFF」以外に設定中は待受画面に以下のアイコンが表示されます。
  - ：「電話」「テレビ電話」のいずれかを設定
  - ：「メール」「メッセージR」「メッセージF」「ｉコンシェル」のいずれかを設定
  - ：「電話」「テレビ電話」のいずれかと、「メール」「メッセージR」「メッセージF」「ｉコンシェル」のいずれかを設定
- ●「バイブレータ設定」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

お知らせ

- ●バイブレータ鳴動パターンの優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」の順になります。
- ●「メロディ連動」に設定しても、振動パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合は「パターン2」で振動します。
- ●バイブレータに設定して机などの上に置くと、電話がかかってきたとき振動で落下する恐れがありますのでご注意ください。

おしゃべり機能

FOMA端末で録音した音を各種着信音、応答／通話中保留音、「アラーム」「スケジュール」「視聴予約」「通話料金通知」のアラーム音、伝言メモの応答メッセージに設定できます。
1件につき約15秒間、2件まで録音できます。

1 MENU▶**便利ツール**▶**おしゃべり機能**
▶**おしゃべり1・おしゃべり2**▶**YES**

録音された項目に「★」マークが付きます。

- ●サブメニューから「録音」を選択しても録音できます。
- ●録音を途中で止めるときは●（停止）、CLRまたは⌒を押します。それまでの録音内容は保存されます。
- ●録音時間（約15秒間）が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。
- ●録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「視聴予約」「録画予約」「通話料金通知」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音を停止します。（それまでの録音内容は保存されます。）
- ●録音した音を再生するには録音済みの項目を選択するか、サブメニューから「再生」を選択します。再生を途中で止めるときは●（停止）またはCLRを押します。
- ●録音した音を消去するにはサブメニューから「消去」を選択します。

メロディコール

メロディコールとは、音声電話をかけてきた相手に流れる「プルルル」という呼び出し音をお好みの楽曲などに変更できるサービスです。
詳しくは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。
●メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 MENU▶**電話機能**▶**メロディコール**▶**YES**▶**画面の表示に従って操作**

お知らせ
- テレビ電話からの発信にはメロディコールは流れません。
- サイトへ接続するかどうかの確認画面で「YES」を選択するとｉモードサイトに接続されます。設定サイトはパケット通信料無料ですが、IPサイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。

ボタン確認音

ボタンを押したときに「ピッ」と確認音を鳴らします。

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**その他音設定**▶**ボタン確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ
- ボタン確認音の音量は変更できません。
- 本機能を「OFF」に設定したときは、電池残量確認音(P.47参照)や各種警告音も鳴りません。
- 着信中、ｉモーション再生中、ムービー再生中などは、ボタン確認音は鳴りません。

スピードセレクター音

スピードセレクターを回転させたときに音を鳴らします。

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**その他音設定**▶**スピードセレクター音**▶**パターンを選択**

●選択中は、確認のため選択している音が鳴ります。

お知らせ
- スピードセレクター音の音量は変更できません。
- 着信中、通話中、ｉモーション再生中、ムービー再生中などは、スピードセレクター音は鳴りません。

充電確認音

充電開始、終了時に「ピピッ」と確認音を鳴らします。

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**その他音設定**▶**充電確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ
- 充電確認音の音量は変更できません。
- 電源を切っているときや、待受画面以外を表示中、マナーモード中、公共モード(ドライブモード)中は、充電確認音は鳴りません。

通話品質アラーム

電波の状態が悪く、途中で通話が切れそうなとき、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**通話品質アラーム**▶**アラームを選択**

アラームなし . . . .お知らせしません。
アラーム高音 . . . .高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音 . . . .低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

お知らせ

- 急に電波の状態が悪くなったときは、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

メール／メッセージ鳴動

ｉモードメール、SMS、メッセージR/F、ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音が鳴る時間を設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**その他音設定**▶**メール／メッセージ鳴動**▶**メールやメッセージの種類を選択**▶**ON・OFF**▶**鳴動時間(秒)を入力**

イヤホン切替設定

イヤホンマイク(別売)を接続したとき、着信音やアラームの鳴る場所を設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**イヤホン機能設定**▶**イヤホン切替設定**▶**イヤホンとスピーカー・イヤホンのみ**

お知らせ

- 「イヤホンのみ」に設定していても、着信中は着信音が鳴って約20秒後にイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。ただし、電話やメールなどの着信時やアラーム通知時以外の操作で着信音を鳴らしている場合は、約20秒たってもスピーカーから音は鳴らずにイヤホンのみから音が鳴ります。
- 「イヤホンのみ」に設定していても、イヤホンマイクを接続していないときや、カメラでの撮影開始時は、スピーカーから音が鳴ります。

お知らせ

- 以下の場合は本機能の設定に関わらず、イヤホンマイクを接続しているときはイヤホンから、接続していないときはスピーカーから音が鳴ります。
  ･ワンセグ視聴中　･ビデオ再生中　･ｉモーション再生中
  ･ムービー再生中　･メロディ再生中　･ｉアプリ起動中
  ･ミュージックプレーヤーで音楽を再生中
  ･Music&Videoチャネルで番組を再生中
- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。
- 通話中にイヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

マナーモード設定

着信音やボタン確認音、アラーム音などの音がFOMA端末から鳴らないようにボタン1つで設定できます。
マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選べます。
「マナーモード」、「スーパーサイレント」設定中、または「オリジナルマナー」で「通話中マイク感度」を「アップ」に設定中は、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。

1 #**を1秒以上押す**

「マナーモード選択」で選択したマナーモードに設定されます。

- 通話中、音声電話の呼び出し中に#を1秒以上押してもマナーモードに設定できます。「ピピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定した旨のメッセージが表示されます。ただし、「マナーモード選択」を「スーパーサイレント」に設定中またはオリジナルマナーで「メモ確認音」を「OFF」に設定している場合、確認音は鳴りません。
- マナーモードに設定中は「 」が表示されます。また、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。
  ：「バイブレータ」でお知らせ
  ・ ・ ：「着信音量」を「消去」に設定

お知らせ

- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音・フォーカスロック音や、ボイスレコーダーの録音開始音・終了音は鳴ります。

お知らせ

- マナーモード設定中にメロディを再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「着信音量」の「電話」で設定した音量でメロディが鳴ります。「消去」、「ステップ」に設定したときはレベル2で鳴ります。
- マナーモード設定中に以下の操作を行うと、音声や音楽を再生するかどうかの確認画面が表示されます。
  ·デコメアニメ®の再生　·ワンセグの視聴　·ビデオの再生
  ·サイト表示中のFlash画像再生　·iモーションの再生　·ムービーの再生
  ·ミュージックプレーヤーでの音楽再生
  ·Music&Videoチャネルでの番組再生
  「YES」を選択すると各プレーヤーで設定した音量で再生されます。音量を変更した場合、次回も設定した音量で再生されます。
- イヤホンマイク(別売)を接続しているときはイヤホンから音が鳴ります。マナーモード設定中に音声や音楽を再生する際の確認画面は表示されません。また、各プレーヤーで音声や音楽などを再生中にイヤホンマイクを外しても、スピーカーから音は鳴りません。

マナーモードを解除するには

#を1秒以上押します。

- 通話中、音声電話の呼び出し中に#を1秒以上押してもマナーモードを解除できます。「ピピッ」という音が鳴り、解除した旨のメッセージが表示されます。

着信中にマナーモードにするには

#を押します。

マナーモードになり、同時に「伝言メモ」へ移り、相手の用件が録音·録画されます。

- すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音·録画されている場合は、伝言メモは動作しません。
- 通話が終わってもマナーモードに設定されたままです。

マナー起動時間設定·マナー解除時間設定

設定した時刻にマナーモードを自動的に設定／解除できます。マナーモードの起動時間、解除時間をそれぞれ2件まで登録できます。

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**マナーモード設定**▶**マナー起動時間設定·マナー解除時間設定**▶**登録したい項目を選んで**TV(編集)

2 **以下の操作を行う**▶TV(完了)

- 他の設定が同じ時刻で登録されている場合は、設定OFFで登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
  D:毎日繰り返し
  W:曜日指定繰り返し

時刻	起動時刻または解除時刻を入力します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。

お知らせ

- 電源を切っているときや、他の機能が起動中は、起動時間·解除時間になってもマナーモードの起動·解除は行われません。起動時間·解除時間に他の機能が起動中だった場合、機能の終了後にマナーモードの起動·解除が行われます。

マナー起動時間設定·マナー解除時間設定のサブメニュー

編集	P.99手順2へ進みます。
詳細表示	登録内容を表示します。 ●◉(選択)を押しても表示できます。
完了(1件ON)	登録済みの設定をONにします。 ●iα(ON/OFF)を押してもON／OFFできます。
1件OFF	登録済みの設定をOFFにします。 ●iα(ON/OFF)を押してもON／OFFできます。
全件OFF	登録済みの設定をすべてOFFにします。

マナーモード選択

マナーモード設定中の動作を3種類から選択します。

■マナーモード設定中の動作

	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー
伝言メモ	伝言メモ設定値		ONまたはOFF
バイブレータ※1	ON		ONまたはOFF
電話着信音量	消去		消去～レベル6・ステップ①
メール着信音量	消去		消去～レベル6・ステップ②
アラーム音量	消去※2		消去～レベル6・ステップ
ｉアプリ音量	消去		消去～レベル6
メモ確認音	ON	OFF	ONまたはOFF③
ボタン確認音	OFF		ONまたはOFF④
スピードセレクター音	OFF		パターン1～3・OFF
通話中マイク感度	アップ		標準またはアップ
低電圧アラーム（電池切れアラーム）	OFF		ONまたはOFF ONのときは①と同じ設定値で動作※3
着信音選択中の確認音	消去		①・②と同じ設定値で動作
応答保留音	消去		①と同じ設定値で動作※4
通話中保留音	消去		①と同じ設定値で動作※5
トルカ取得音・取得失敗音	消去		①と同じ設定値で動作※5
おしゃべり録音時の確認音	ON	OFF	③と同じ設定値で動作
電池残量確認音	消去		④と同じ設定値で動作
添付メロディの鳴動音	消去		消去
デコメアニメ®の効果音	消去		消去
各種警告音	消去		④と同じ設定値で動作
スケジュールアラーム	消去		①と同じ設定値で動作
視聴予約アラーム	消去※6		①と同じ設定値で動作
録画予約アラーム	消去		①と同じ設定値で動作
カメラのシャッター音・フォーカスロック音 ボイスレコーダーの録音開始音・終了音	鳴る		鳴る
シャッター音選択中の確認音	OFF		①と同じ設定値で動作※4
「ハンズフリー切替」によるハンズフリー切替	OFF		OFF
サイト表示中のFlash画像の効果音	消去		消去
ピクチャビューアで表示したFlash画像の効果音	消去		①と同じ設定値で動作※4
ｉウィジェット起動時の効果音	消去		①と同じ設定値で動作※4

※1 着信音・「アラーム」「スケジュール」「視聴予約」「録画予約」のアラーム音を振動でお知らせします。
バイブレータのパターンはP.96「バイブレータ設定」での設定と同じになります。ただし、P.96「バイブレータ設定」の設定を「OFF」にした場合は、「パターン2」で振動します。
※2 P.388「アラーム音優先」を「アラーム優先する」に設定しているときは、アラームで設定した音量で鳴ります。
※3 ①が「消去」のときはレベル1で鳴ります。
※4 ①が「ステップ」のときはレベル2で鳴ります。
※5 ①が「消去」以外のときはレベル4で鳴ります。
※6 P.251「アラーム音優先設定」を「アラーム優先する」に設定しているときは、視聴予約で設定した音量で鳴ります。

電話やメールの着信をバイブレータでお知らせする標準的な「マナーモード」、受話口から鳴る確認音なども消去する「スーパーサイレント」、動作をお好みで設定できる「オリジナルマナー」から選択できます。

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**マナーモード設定**▶**マナーモード選択**▶**マナーモード・スーパーサイレント・オリジナルマナー**

2 **オリジナルマナー設定時は以下の操作を行う**▶📷TV（完了）

伝言メモ	伝言メモを設定します。 ●呼出時間は「伝言メモ設定」で設定した時間になります。「伝言メモ設定」を「OFF」に設定している場合は約13秒になります。 ●伝言メモ設定についてはP.71参照。
バイブレータ	電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせするかどうかを設定します。 ●バイブレータについてはP.96参照。
電話着信音量	音声電話、テレビ電話の着信音量を設定します。 ●着信音量についてはP.95参照。
メール着信音量	ｉモードメール、SMS、メッセージR/F、ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音量を設定します。 ●着信音量についてはP.95参照。
アラーム音量	アラーム音量を設定します。 ●アラームについてはP.387参照。
ｉアプリ音量	ｉアプリの音量を設定します。
メモ確認音	伝言メモの再生時、音声メモの録音･再生時の確認音を鳴らすかどうかを設定します。
ボタン確認音	ボタン確認音を鳴らすかどうかを設定します。 ●ボタン確認音についてはP.97参照。
スピードセレクター音	スピードセレクター音を設定します。 ●スピードセレクター音についてはP.97参照。
通話中マイク感度	通話中のマイク感度を設定します。
低電圧アラーム	低電圧アラームを鳴らすかどうかを設定します。 ●低電圧アラーム（電池切れアラーム）についてはP.47参照。

待受画面設定

待受画面に表示する画像を設定します。待受画面を表示するたびに指定したフォルダの画像をランダムに表示したり、FOMA端末で撮影した動画やサイトから取得したｉモーションなどを待受画面に設定したりできます。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**待受画面設定**▶**待受画面**▶**画像の種類を選択**

●「カレンダー」を選択した場合は、「背景画像あり」または「背景画像なし」を選択します。「背景画像なし」を選択すると設定が終了します。
●「ｉアプリ待受画面」を選択した場合は、ｉアプリを選択します。設定が終了します。
●「待受画面設定」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

2 **フォルダを選択**▶**画像を選択**▶**表示方法を選択**

センタリング表示. . . . . 画面の中央に表示します。
画面サイズで表示. . . . . 画面サイズに合わせて表示します。
並べて表示. . . . . 画面の左上から並べて表示します。
全画面表示. . . . . 全画面で表示します。

●手順1で選択した項目によっては、画像や表示方法を選択できない場合があります。
●選択した画像によっては、設定可能な画像サイズ、ファイルサイズに変換した画像が新規保存され、待受画面に設定されます。
●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.196参照。

カレンダーを設定したときは

簡単な操作でカレンダーを確認したり、スケジュールを登録(P.390参照)できます。
待受画面で◉を押すと、カレンダーを選択できるようになります。
カレンダーを選択し、◎を押すと前後のカレンダーを表示できます。
◉(選択)を押すとスケジュールを登録できます。

自作アニメ、アニメーションGIFを設定したときは

待受画面を表示したとき、待受画面表示中に⌒を押したとき、FOMA端末を開いたときにアニメーションで表示され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

Flash画像を設定したときは

待受画面を表示したとき、待受画面表示中に⌒を押したとき、FOMA端末を開いたときに再生され、画像が停止したときの画面が待受画面として表示されます。

- プログレッシブ型のFlash® Videoを含んだFlash画像を設定した場合、Flash® Videoは再生されません。

ｉモーションを設定したときは

待受画面表示中に⌒を押したとき、FOMA端末を開いたときに再生され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

- 再生中に◎を押すと、音量を調節できます。
  ◉、◎、MENU、TV、✉、iα、CLR、✆、⌒を押すと、再生が終了します。
- マナーモード中に再生すると音声は再生されません。

お知らせ

- ｉモーションによっては、正しく表示されない場合があります。
- 設定できる画像はJPEG画像、GIF画像、SWF画像です。ただし、SWF画像で待受(480×854)を超える画像サイズまたは500Kバイトを超えるファイルサイズの場合や、GIF画像、著作権のあるJPEG画像で待受(480×854)を超える画像サイズまたは2Mバイトを超えるファイルサイズの場合、待受画面に設定できません。
- 「カレンダー」を選択した場合、背景にきせかえツールやFlashの画像を設定することはできません。
- 「ｉアプリ待受画面」を選択した場合、マチキャラは解除されます。

お知らせ

- 画像やｉモーションによっては、待受画面に設定できない場合や「ランダム待受画面」で表示できない場合があります。また、画像によっては正しい表示方向で表示されない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

電池アイコンやアンテナアイコンの設定

電池アイコンやアンテナアイコンの表示を設定します。

1 **MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶待受画面設定▶アイコンパターン▶電池アイコン・アンテナアイコン▶パターンを選択**

各種画面設定

ウェイクアップ画面の設定

電源を入れたときに表示する画像やメッセージを設定します。

1 **MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶各種画面設定▶ウェイクアップ表示▶画像の種類を選択▶フォルダを選択▶画像を選択**

- 「メッセージ」を選択した場合は、メッセージを入力します。
- 選択した画像によっては、設定可能な画像サイズ、ファイルサイズに変換した画像が新規保存され、ウェイクアップ画面に設定されます。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.196参照。

発着信時などの画面の設定

発着信、メール送受信、問い合わせ中に表示する画像を設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**各種画面設定**▶**画面の種類を選択**

- 「電話着信」「テレビ電話着信」を選択した場合は、「着信画面」を選択します。
- 「メール受信」を選択した場合は、「メール着信画面」を選択します。
- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択して📷(デモ)を押すと、実際に再生／表示される内容を確認できます。

2 **画像の種類を選択**▶**フォルダを選択**▶**画像を選択**

- 手順1で選択した項目によっては、画像の種類を選択できない場合があります。
- 選択した画像によっては、設定可能な画像サイズ、ファイルサイズに変換した画像が新規保存され、それぞれの画面に設定されます。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.196参照。

お知らせ

- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択し、「着信音」を選択すると、着信音を設定できます。P.94手順2へ進みます。
- 着信画面の優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「電話帳画像着信設定」→「各種画面設定」の順になります。
- ｉモードメールの受信結果画面の優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「各種画面設定」の順になります。
- 着信音と着信画面の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の設定で動作することがあります。
- 画像やｉモーションによっては各種画面に設定できない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

電話帳画像着信設定

相手が通知してきた発信者番号と電話帳に登録した電話番号が同じである場合、電話帳に登録してある静止画を表示します。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**着信詳細設定**▶**電話帳画像着信設定**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 着信画面の優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「電話帳画像着信設定」→「各種画面設定」の順になります。

MyFACE設定

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**MyFACE設定**▶**以下の操作を行う**

- 「MyFACE設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

項目	説明
MyFACE利用設定	MyFACE機能を利用するかどうかを設定します。
更新通知表示設定	更新通知を表示するかどうかを設定します。
ローミング時自動更新設定	国際ローミング中にMyFACEコンテンツを自動で更新するかどうかを設定します。「個別設定に従う」を選択した場合は、各MyFACEコンテンツの「自動更新設定」に従って動作します。
低電力時動作設定	電池残量が少ないときにMyFACEコンテンツを自動で更新するかどうかを設定します。
MyFACEビューア設定	
サウンド設定	MyFACE画面で鳴る音を鳴らすかどうかを設定します。
ページ内データ取得設定	MyFACE画面の動画や音楽などを再生する際、データを取得するかどうかを設定します。 ●「取得する」に設定していると、確認画面は表示されず、自動で取得します。

Script動作設定	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。 ●JavaScriptについてはP.200参照。
端末情報利用設定	MyFACE画面によってはFOMA端末の情報を利用する場合があります。その場合に、情報を利用するかどうかを設定します。
文字サイズ設定	MyFACE画面の文字サイズを設定します。
Cookie設定	Cookieを有効にするかどうかを設定します。確認する設定を選択した場合は、Cookieを送受信するたびに確認画面が表示されます。 ●CookieについてはP.203参照。
Cookie削除	FOMA端末内に保存されているCookieを削除します。
通信継続確認設定	MyFACE画面でのデータ通信量が最大サイズを超える場合に確認画面を表示するかどうかを設定します。

お知らせ

<ローミング時自動更新設定>

●海外へ移動した際は、自動的に「自動更新しない」に設定され確認画面が表示されます。

照明設定

ディスプレイとボタンの照明を設定します。

1 **MENU▶本体設定▶照明・イルミネーション▶照明設定▶以下の操作を行う**

●「照明設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

通常時	通常時にディスプレイを明るく点灯させるかどうかを設定します。また、省電力モードに切り替わるまでの時間も設定します。
充電時	充電中に省電力モードに切り替わるまでの時間を通常時と同様にするか、長時間(約3時間)にするかを設定します。 ●ACアダプタ(別売)などを接続しているときは、充電完了後も本機能の設定に従って点灯します。
スライドクローズ動作時	FOMA端末を閉じたあと、省電力モードに切り替わるまでの時間を設定します。
範囲	点灯させる範囲を設定します。
明るさ	ディスプレイの明るさを自動調整するかどうかを設定します。また、明るさをレベル1(暗い)～レベル6(明るい)で調節します。 ●「自動調整ON」に設定していると、「範囲」で設定した箇所が、光センサーで感知した周囲の明るさに合わせて自動調整されます。

お知らせ

●「通常時」を「ON」に設定すると、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときなどに、ディスプレイが「点灯時間」で設定した秒数点灯します。ただし、着信中、カメラ起動中、ｉモーション再生中、ムービー再生中は点灯したままとなります。

●「通常時」を「OFF」に設定したときでも、動画撮影中はディスプレイが常時点灯します。

お知らせ

- 「範囲」を「液晶+ボタン」「ボタン」に設定すると、ボタン操作を行ったときやFOMA端末を開いたときなどに、ボタンが「通常時」の「点灯時間」で設定した秒数点灯します。ただし、「明るさ」を「自動調整ON」に設定していた場合、自動調整の結果、ボタンが点灯しないこともあります。電源ON時と充電中は自動調整されません。
- テレビ電話中のディスプレイの照明設定についてはP.76参照。
- ワンセグ視聴中のディスプレイの照明設定についてはP.254参照。
- ｉモードメールやメッセージR/Fの本文を表示させたときは、本文の長さによりディスプレイの点灯時間が異なります。
- 何も操作しないで設定した時間が経過すると省電力モードに切り替わり、ディスプレイの表示が消え、ボタンが消灯します。ただし、起動中の機能によっては省電力モードに切り替わらない場合があります。
- 待受画面にｉモーションを設定している場合は、再生終了後に省電力移行時間が経過すると省電力モードに切り替わります。
- 省電力モード中に、FOMA端末を操作したときや電話がかかってきたときなどにはディスプレイが表示されます。ただし、公共モード(ドライブモード)中に電話がかかってきたときは表示されません。
- 省電力モード中にイヤホンマイク(別売)のスイッチを押すと、省電力モードが解除されます。

ビューブラインド

コントラスト(濃淡)を調整して、斜めの角度からディスプレイを見えにくくします。

1 **MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶ビューブラインド▶ON・OFF**

- 「ON」に設定したときは待受画面に「 」が表示されます。
- 「ビューブラインド」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

ビューブラインドのON／OFFをワンタッチで切り替えるには

8を1秒以上押します。

- ｉアプリ起動中、文字入力中は8を1秒以上押してもビューブラインドのON／OFFを切り替えられません。また、デコメアニメ®やFlash画像によっては、表示中にON／OFFを切り替えられない場合があります。

ecoモード

電池の消費を抑えるecoモードにボタン1つで設定できます。

1 **5を1秒以上押す**

「 」が表示され、ecoモードに設定されます。

- ecoモードを解除するには、同様の操作を行います。
- ｉアプリ起動中、文字入力中は、5を1秒以上押してもecoモードの設定／解除はできません。

ecoモード設定

ecoモードに切り替えたときに電池の消費を抑える項目を設定します。

1 **MENU▶本体設定▶電池▶ecoモード設定**

- 「ecoモード設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 **設定したい項目にチェック▶TV(完了)**

- MENU(オススメ)を押すとFOMA端末の使用状況に基づいて、オススメ診断を行います。オススメと判断された項目に「 」が付きます。

項目	内容
確認音	「ボタン確認音」「スピードセレクター音」を「OFF」に設定したときの動作になります。
バイブレータ	「バイブレータ設定」を「パターン3」に設定したときの動作になります。
照明設定(液晶)	ディスプレイが「照明設定」の「通常時」を「OFF」に設定したときの動作になります。
照明設定(ボタン)	ボタンが「照明設定」の「範囲」を「液晶」に設定したときの動作になります。
明るさ	「照明設定」の「明るさ」をレベル1に設定したときの動作になります。
待受画面	「待受画面設定」の「待受画面」で設定した内容をecoモード専用の設定に変更します。

イルミネーション	「着信イルミネーション」「時報イルミネーション」「不在未読イルミネーション」以外を光らせません。
iチャネルテロップ	iチャネルテロップを表示しません。
マチキャラ	「マチキャラ設定」の「表示設定」を「OFF」に設定したときの動作になります。
ワンセグ省電力	ワンセグecoモードを設定したときの動作になります。
通話中お知らせ	音声電話中に自動でecoモードに切り替わった場合、通知音が鳴ります。

お知らせ

- ecoモード中は「照明設定」の「通常時」を「ON」に設定していると、「点灯時間」は10秒になり、省電力移行時間は5秒になります。「OFF」に設定していると、省電力移行時間は15秒になります。

ecoモード自動起動設定

電池残量が設定した数値以下になったときに、自動でecoモードに切り替わるように設定します。また、「設定アシスト機能」を利用してecoモードに切り替わるように設定したり、お知らせアイコンを表示するかどうかも設定できます。

1 MENU▶本体設定▶電池▶ecoモード自動起動設定▶ON・OFF▶以下の操作を行う▶TV(完了)

- 「ON」にすると「(グレー)」が表示されます。自動でecoモードに切り替わると「」が表示されます。
- 「ecoモード自動起動設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

電池残量	電池残量の数値を「20%」「40%」「60%」「80%」から選択します。 ●充電を行い電池残量が設定した数値を超えると、ecoモードは自動で解除されます。
設定アシスト機能	自動でecoモードに切り替わった場合に、5を1秒以上押して解除したときの動作を設定します。「ON」に設定すると、一度ecoモードを解除しても、ディスプレイが消灯すると再度ecoモードに切り替わります。
お知らせアイコン	自動でecoモードに切り替わった場合に、デスクトップに「」を表示します。

お知らせ

- デスクトップの「」を選択すると、電池の画面を表示するかどうかの確認画面が表示されます。「NO(以後通知しない)」を選択すると「お知らせアイコン」が「OFF」に設定されます。
- 初めて自動でecoモードに切り替わったとき、今後もecoモード自動起動設定を利用するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択すると、ecoモードが解除され、ecoモード自動起動設定は「OFF」になります。「詳細設定」を選択すると、ecoモード自動起動設定の画面が表示されます。

使用履歴

メールの使用時間やFOMA端末を開いた回数など、前日から1週間前までの履歴(目安)を確認できます。

1 MENU▶本体設定▶電池▶使用履歴

- MENU(前日)、TV(翌日)を押すと、前後の日の使用履歴が表示されます。
- 各項目を選んで●(説明)を押すと、詳しい説明が表示されます。
- 「使用履歴」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

液晶AI

ｉモーション･ムービー･Music&Videoチャネル･ビデオの再生中や、テレビ電話中、ワンセグ視聴中にディスプレイの明るさを自動的に調整し、その明るさに合わせて画質補正をするかどうかを設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面･ディスプレイ**▶**液晶AI**▶**ON･OFF**

●テレビ電話中やワンセグ視聴中のサブメニューから操作した場合、設定は通話中のテレビ電話や視聴中のワンセグにのみ有効です。
●「液晶AI」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

●「ON」に設定した場合、「照明設定」の「明るさ」で設定したレベル内で明るさを調整します。メニューを選択中も調整されます。
●バックグラウンド再生中は、本機能は無効になります。

表示画質モード設定

1 MENU▶**本体設定**▶**画面･ディスプレイ**▶**表示画質モード設定**▶**項目を選択**

ノーマル. . . . . . . 標準的な画質
ビビッド. . . . . . . 色調の鮮やかな画質
ダイナミック. . . . 動きを強調したダイナミックな画質

●選択中は、確認のためプレビュー画像が表示されます。
●「表示画質モード設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

カラーテーマ設定

文字や背景など、画面の配色を設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面･ディスプレイ**▶**カラーテーマ設定**▶**カラーテーマを選択**

●選択中は、確認のため選択しているカラーテーマで画面が表示されます。
●カラーテーマを変更すると、「ソフトキー」の設定もあわせて変更されます。
●「カラーテーマ設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

●複数の色で表示されているアイコンや画像、ドコモの絵文字、ｉモード対応のインターネットホームページ(サイト)の色は変わりません。

ソフトキー

ナビゲーション表示の背景を設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面･ディスプレイ**▶**ソフトキー**▶**パターンを選択**

●選択中は、確認のため選択しているパターンでナビゲーション表示が表示されます。
●「ソフトキー」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

メニューテーマ

メインメニューに表示されるアイコンや背景の画像を変更します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面･ディスプレイ**▶**メニューテーマ**▶**メニュー･オリジナルテーマ**

●「メニュー」に設定すると、きせかえツールで「ノーマル」に設定したときと同じメインメニューが表示されます。
●「メニューテーマ」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 手順1で「オリジナルテーマ」を選択した場合は、変更したいメニューアイコンまたは背景を選択
▶フォルダを選択▶画像を選択

手順2を繰り返してメニューアイコンまたは背景の画像を設定します。

- メニューアイコンまたは背景選択中に📷(デモ)を押すと、現在設定されている画像を確認できます。
- 「オリジナルテーマ」に設定したメニューアイコンと背景を「プリインストール」フォルダ内の「スタンダード」に戻すには、サブメニューから「1件リセット」または「全リセット」を選択します。
- 「iモードで探す」を選択した場合はP.196参照。

お知らせ

- 「オリジナルテーマ」で設定できる画像はJPEG画像、GIF画像です。ただし、GIF画像で待受(480×854)を超える画像サイズまたは500Kバイトを超えるファイルサイズの場合や、著作権のあるJPEG画像で待受(480×854)を超える画像サイズまたは2Mバイトを超えるファイルサイズの場合、「オリジナルテーマ」に設定できません。
- 選択した画像によっては、設定可能な画像サイズ、ファイルサイズに変換した画像が新規保存され、「オリジナルテーマ」に設定されます。
- 「オリジナルテーマ」で設定した画像を削除した場合は、「プリインストール」フォルダ内の「スタンダード」に戻ります。
- 「オリジナルテーマ」に設定し、プリインストールデータ以外の画像を選択した場合、「オリジナルロック」で「マイピクチャ」をロック中はお買い上げ時の画像が表示されます。
- 「オリジナルテーマ」に設定すると、「Select language」の設定を切り替えても、メインメニューのアイコンは切り替わりません。

きせかえツール設定

きせかえツールを利用すると、着信音や待受画面、メニューアイコンなどをまとめて変更できます。

- きせかえツールのダウンロードについてはP.195参照。
- データBOXからの操作についてはP.349参照。

■きせかえツールで設定できる機能

・着信音選択
・待受画面設定
・各種画面設定
・カラーテーマ設定
・メニューテーマ
・フォント設定
・「待受時計表示」の「表示方法」「表示サイズ」「文字色」
・テロップ文字サイズ設定
・テロップ色設定
・iアプリコール音
・アラーム音

- 設定できる機能はきせかえツールによって異なります。
- 2in1のモードにより個別の設定ができる機能の変更は、変更時のモードに関わらずAモードにのみ反映されます。その他の機能の変更はすべてのモードに反映されます。

1 MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶きせかえツール設定▶フォルダを選択▶きせかえツールを選んで📷(一括設定)▶YES

- 現在一括設定されているきせかえツールには、「★」マークが付いています。
- 選んだきせかえツールによっては、文字のサイズを変更するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「NO」を選択すると、きせかえツールが正しく設定できない場合があります。
- きせかえツール一覧画面でiα(切替)を押すと、表示方法を変更します。
- 「きせかえツール設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- きせかえツールを利用してメインメニューやメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号(項目番号)が適用されないものがあります。

メインメニュー･メニュー画面のサブメニュー

入替え機能	メインメニューの項目を手動で入れ替えます。
基本構造メニュー呼出	きせかえツールで「ノーマル」に設定したときと同じメインメニューを一時的に表示します。
画面／音設定初期化	P.108「■きせかえツールで設定できる機能」をすべてお買い上げ時の状態に戻します。
メニュー画面リセット	きせかえツールで変更されたメインメニューやメニュー画面をお買い上げ時の状態に戻します。 ●待受画面で9を1秒以上押しても操作できます。
メニュー操作履歴リセット	メインメニューやメニュー画面の操作履歴をリセットします。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。

お知らせ

●「画面／音設定初期化」「メニュー画面リセット」を行っても、「文字サイズ」はリセットされません。
●「メニュー画面リセット」を行っても、「入替え機能」で手動で入れ替えたメインメニューの項目はリセットされません。

マチキャラ設定

マチキャラを設定すると、待受画面で不在着信や新着メール、ｉコンシェルの新着インフォメーションなどの情報をマチキャラがお知らせします。

●マチキャラのダウンロードについてはP.195参照。
●データBOXからの操作についてはP.346参照。

1 **MENU▶本体設定▶画面･ディスプレイ▶マチキャラ設定▶以下の操作を行う**

●「マチキャラ設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

表示設定	待受画面に表示するマチキャラを選択します。 ●マチキャラを解除するには「OFF」を選択します。 ●現在設定されているマチキャラには、「★」マークが付いています。
自動アップデート設定	マチキャラを自動でアップデートするかどうかを設定します。
アップデート通知設定	マチキャラを自動アップデートする際に通知するかどうかを設定します。 ●「ON」に設定していると、自動アップデートの際にデスクトップに「 」が表示されます。「 」を選択するとアップデートできます。

お知らせ

●以下の場合はマチキャラは表示されません。
･ダイヤルロック中　　･おまかせロック中
･待受画面のアイコンなどを選択中
ただし、待受画面にｉコンシェルのインフォメーションを表示している場合は、アイコンなどを選択中にマチキャラが表示されることもあります。
●「待受画面設定」の「待受画面」に「ｉアプリ待受画面」を設定している場合は、マチキャラを設定できません。
●マチキャラによっては、設定後の経過時間、積算時間、メール送受信数により、表示が変化するものがあります。これらのマチキャラをmicroSDカードに移動したり、「一括情報リセット」を行うと、最初の表示に戻ります。

イルミネーション設定

1 MENU▶**本体設定**▶**照明・イルミネーション**▶**イルミネーション設定**▶**以下の操作を行う**

●「イルミネーション設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

項目		説明
着信イルミネーション		P.110参照
通話中イルミネーション		通話中のイルミネーションを設定します。 ●伝言メモの動作中、応答保留中なども通話中と同じ色で光ります。
不在未読イルミネーション		
	不在イルミネーション選択	不在着信がある場合のイルミネーションを設定します。
	未読イルミネーション選択	新着メール、新着メッセージR/Fがある場合のイルミネーションを設定します。
	お知らせ設定	不在イルミネーションや未読イルミネーションを光らせるかどうかを設定します。 ●「OFF」以外に設定すると、イルミネーションが約5秒間隔(省電力モード時は約10秒間隔)で光ります。
Music&Video Ch イルミネーション		Music&Videoチャネルの番組取得が完了すると約5秒間隔で約30分間光ります。
スライドイルミネーション		FOMA端末を開いたとき(スライドオープン)や閉じたとき(スライドクローズ)のイルミネーションを設定します。
時報イルミネーション		音と着信／充電ランプで定時刻(毎時0分)をお知らせします。 ●「パターン1」に設定していると、固定の音が鳴り、着信／充電ランプが固定の色で光ります。「パターン2」に設定していると、時刻ごとに、音や着信／充電ランプのパターンが変化します。 ●待受画面以外を表示中やダイヤルロック、おまかせロック中は動作しません。 ●時報は「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。
ミュージックイルミネーション		ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネルの再生開始時に光ります。
スピードセレクターイルミネーション		スピードセレクターを回転させたときのイルミネーションを設定します。

お知らせ

<不在未読イルミネーション>

●不在イルミネーション、未読イルミネーションの優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「不在未読イルミネーション」の順になります。

着信イルミネーション

1 MENU▶**本体設定**▶**照明・イルミネーション**▶**イルミネーション設定**▶**着信イルミネーション**▶**以下の操作を行う**

項目	説明
着信イルミネーション選択	着信の種類ごとにイルミネーションを設定します。 ●色1～12を順番に光らせる場合は「グラデーション」を選択します。
パターン設定	着信イルミネーションが光るパターンを設定します。 ●「メロディ連動」に設定していると、着信音に合わせて光ります。

お知らせ

<着信イルミネーション選択>
- 着信イルミネーションの優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「着信イルミネーション選択」の順になります。

<パターン設定>
- 「着信イルミネーション選択」を「色1～12」、「グラデーション」以外に設定した場合は、各イルミネーション固有のパターンで光ります。
- パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合は、「固定パターン」で光ります。

フォント設定

画面に表示される文字のフォントやサイズを変更できます。サイトからフォントをダウンロードすることもできます。

- フォントのダウンロードについてはP.195参照。
- データBOXからの操作についてはP.352参照。

1 ⑦(1秒以上)▶以下の操作を行う

項目	説明
フォント選択	文字のフォントを変更します。 ●現在設定されているフォントには、「★」マークが付いています。
太さ	文字の太さを変更します。
文字サイズ	
中	文字サイズなど変更可能な項目を一括で「中」に設定します。
特大	文字サイズなど変更可能な項目を一括で「特大」に設定します。 ●ｉチャネルの「テロップ表示設定」内の「テロップ文字サイズ設定」は「大」に設定されます。
個別設定	
文字入力	文字入力中やメール作成画面、SMS作成画面の文字サイズを設定します。
メール	メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面や「メール設定」内などの文字サイズを設定します。 ●メール詳細画面表示中はⓞを1秒以上押しても文字サイズを変更できます。 ●デコメアニメ®の本文の文字サイズは変わりません。
ｉモード	ｉモード表示時の文字サイズを設定します。
フルブラウザ	フルブラウザ表示時の文字サイズを設定します。
電話帳	電話帳・プロフィールの文字サイズを設定します。
発着信履歴	発着信一覧、リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧の文字サイズを設定します。
ｉチャネルテロップ	ｉチャネルのテロップの文字サイズを設定します。
MyFACE	MyFACE画面の文字サイズを設定します。

お知らせ

- 電話番号入力や時計表示などの文字は変更できません。
- 文字や機能によっては、設定したフォントや文字サイズで表示されない場合があります。

発着信番号表示設定

以下の画面に表示される電話番号や名前などの文字色を設定します。

・発信中／着信中／通話中画面　　・発着信一覧
・発信履歴／着信履歴／リダイヤル　　・送受信アドレス一覧

1 MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶着信詳細設定▶発着信番号表示設定▶色を選択

- iα(切替)を押して16色・256色を切り替えることができます。
- 📷(リセット)を押すと設定した色をリセットできます。

お知らせ

- 「カラーテーマ設定」「きせかえツール」で背景色を変更すると、文字色も自動的に変更されます。
- 絵文字の色は変更できません。

待受時計表示

待受画面に表示される時計の表示方法などを設定します。

1 MENU▶本体設定▶時計▶待受時計表示

- 「MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶待受画面設定▶待受時計表示」の操作を行っても「待受時計表示」を設定できます。
- 「待受時計表示」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 以下の操作を行う

- 各機能の設定やFOMA端末の状態によっては、本機能の設定が反映されないことがあります。

表示方法	時計の表示方法を設定します。
表示サイズ	表示サイズを設定します。
文字色	文字色を設定します。

Select language

1 MENU▶本体設定▶文字表示／入力▶Select language▶日本語・English

- 英語表示から日本語表示に戻すには「MENU▶Setting▶Text display/input▶バイリンガル▶日本語」の操作を行います。
- 「Select language」のショートカットを作成できます。(P.40参照)
- 日本語(日本語表示)とEnglish(英語表示)では、以下の機能の項目が異なります。

機能	日本語	English
待受時計表示の「表示方法」	日本語 英語 OFF	選択不可 ON OFF
音声クイック起動	操作可能	操作不可
使いかたガイド	操作可能	操作不可

お知らせ

- ドコモminiUIMカードを挿入している場合、「Select language」の設定はドコモminiUIMカードに保存されます。

あんしん設定

暗証番号

操作・機能の制限

発着信・送受信の制限

その他の「あんしん設定」

FOMA端末で利用する暗証番号

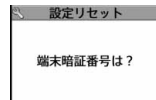
FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

■各種暗証番号に関するご注意
- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.116参照）
端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、◉（確定）を押します。

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「＊」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してからもう一度操作してください。

設定リセット
端末暗証番号は？

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、「ｉMenu」→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ネットワーク暗証番号変更」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）

ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.180参照）

ｉモードから変更される場合は、「ｉMenu」→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ｉモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード／PIN2コード

ドコモminiUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.116参照）

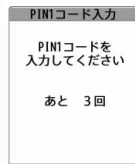
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コード／PIN2コード入力の画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、◉（確定）を押します。

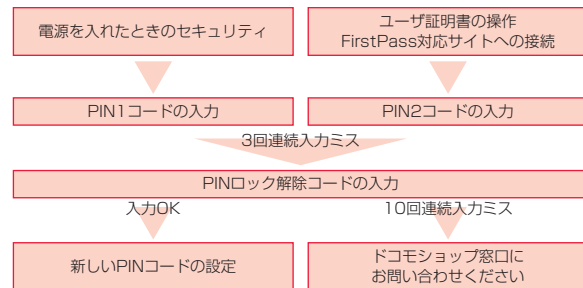
- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「＊」で表示されます。
- 3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。（入力可能な残りの回数は画面に表示されます）
  正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると、入力可能な残りの回数が3回に戻ります。

PIN1コード入力
PIN1コードを
入力してください
あと　3回

PIN1コードの場合

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、ドコモminiUIMカードがロックされます。

電源を入れたときのセキュリティ → PIN1コードの入力
ユーザ証明書の操作／FirstPass対応サイトへの接続 → PIN2コードの入力
3回連続入力ミス → PINロック解除コードの入力
入力OK → 新しいPINコードの設定
10回連続入力ミス → ドコモショップ窓口にお問い合わせください

端末暗証番号変更

FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の各種機能用の端末暗証番号(4～8桁)に変更しておきましょう。変更した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**端末暗証番号変更**▶**現在設定されている端末暗証番号を入力**

- お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。
- 「端末暗証番号変更」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 **新しい端末暗証番号(4～8桁)を入力**▶**YES**

UIM(FOMA)カード設定

PIN1コード入力設定

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力しないと使用できないように設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**UIM(FOMA)カード設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**PIN1コード入力設定**▶**ON・OFF**▶**PIN1コードを入力**

- PIN1コードについてはP.115参照。

PIN1コード変更・PIN2コード変更

PIN1コードを変更するには、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**UIM(FOMA)カード設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**PIN1コード変更・PIN2コード変更**▶**現在設定されているPIN1コード／PIN2コードを入力**

- PIN1コード／PIN2コードについてはP.115参照。

2 **新しいPIN1コード／PIN2コード(4～8桁)を入力**

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「＊」で表示されます。

3 **新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力**

PINロック解除

PIN1コード／PIN2コードの入力が必要な画面で、3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。その場合は、いったんPIN1コード／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

1 **PINロック解除コード(8桁)を入力**

- 入力した解除コードは「＊」で表示されます。

PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞ入力
PIN1コードが
ロックされました
PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞを
入力してください
あと10回

2 新しいPIN1コード／PIN2コード(4〜8桁)を入力

●入力したPIN1コード／PIN2コードは「＊」で表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力

ダイヤルロック

ダイヤルロックをかけると電話の応答、電源のON／OFF以外の操作ができなくなります。また、ダイヤルロック中はICカードロックがかかります。

1 MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶ロック▶端末暗証番号を入力▶ダイヤルロック

「 」と「ダイヤルロック」が表示され、ダイヤルロックが設定されます。

●ダイヤルロックを解除するには、待受画面で端末暗証番号を入力します。電源を切ってもダイヤルロックは解除されません。

お知らせ

●ダイヤルロック中は電話をかけることができません。ただし、緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると発信できます。
●電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている名前、画像などは表示されず、電話番号だけが表示されます。
●「指定着信拒否」、「指定着信許可」、「登録外着信拒否」を設定中に「ダイヤルロック」を設定すると、すべての着信を許可します。
●着信画面や着信音にプリインストールデータ以外の画像や音が設定されている場合は、お買い上げ時の設定で動作します。
●ダイヤルロック中でもGPSの位置提供は可能です。
●ダイヤルロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度の電源ONは可能です。
●ダイヤルロック中は、メールやメッセージR/Fの受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージR/F受信中、受信結果の画面は表示されず、テロップも表示されません。ダイヤルロック解除後に「 」「 」「 」などのアイコンが表示されます。

お知らせ

●ダイヤルロック中は、「 」「 」「 」を除きデスクトップのお知らせアイコンやショートカットは表示されません。ダイヤルロック解除後に再表示されます。
●ダイヤルロック中は、ｉチャネルのテロップは表示されません。

おまかせロック

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからなくても、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、解約・電話番号変更を行った場合や紛失時などで新しいドコモminiUIMカードの発行(番号を指定してロックした場合のみ)を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかかりません。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります(ただしご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります)。
※おまかせロック中も「位置提供設定」を許可する設定にしていれば、ケータイお探しサービスなどのGPS機能の位置提供要求に対応します。

■おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間 24時間(年中無休)
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
●パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

●おまかせロックの詳細については「ご利用ガイドブック(基本編)」をご覧ください。

あんしん設定

おまかせロックを設定すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- おまかせロック中は、音声電話／テレビ電話の着信に対する応答･応答保留、電源ON／OFF、通話中の受話音量調節の操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能(ICカード機能を含む)を使用することができなくなります。
- 音声電話、テレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録されている相手の名前や画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。また、着信画面や着信音にプリインストールデータ以外の画像や音を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- おまかせロック中に受信したメールは、i モードセンターに保存されます。
- 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- ドコモminiUIMカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 他の機能が起動中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用できます。ただし、おまかせロックをかける前に公共モード(ドライブモード)を設定していた場合は、音声電話、テレビ電話の着信もできなくなります。
- FOMA端末の圏外･電源OFF時･海外での使用時はロックおよびロック解除はできません。その他お客様の利用方法などにより、ロックおよび解除ができない場合があります。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のドコモminiUIMカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード

すべての通話、通信機能が使用できないように設定します。
セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスを利用できます。

1 MENU▶**本体設定**▶**その他設定**▶**セルフモード**▶**YES**

「self」が表示され、セルフモードが設定されます。

- セルフモードを解除するには、同様の操作を行います。
- 「セルフモード」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- セルフモード中でも緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると、セルフモードを解除して発信します。
- セルフモード中は、メール、エリアメール、メッセージR/Fは受信できません。
- セルフモード中に電話がかかってきても、セルフモード解除後「不在着信あり」や留守番電話サービスのメッセージがあることをお知らせするアイコンなどは表示されません。

オリジナルロック

個人情報を利用する機能などを利用できないように設定し、他の人にそれらの情報を見られたり操作されたりすることを防ぎます。
お買い上げ時にはオリジナルロック(高)・(中)・(低)それぞれにロックの対象となる機能が設定されていますが、変更することもできます。

オリジナルロックの設定／解除

1 **MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶ロック▶端末暗証番号を入力▶オリジナルロックのレベルを選択**

「 」が表示され、オリジナルロックが設定されます。

- オリジナルロックを解除するには、「OFF」を選択します。「開きロック解除設定」を有効にしている場合は、FOMA端末を開いてもオリジナルロック解除の画面が表示されます。
- オリジナルロックのタイトルを変更する場合は、サブメニューから「タイトル編集」を選択します。

オリジナルロックを一時解除するには

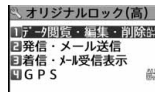
オリジナルロック中にロックの対象となっている機能を操作すると、機能によっては、端末暗証番号入力の画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると「 」が消え、機能を一時的に使用できます。

- 他のメニュー機能が起動していない状態で待受画面を表示したときは、再度、オリジナルロックが設定されます。

お知らせ

- オリジナルロック中は、ロックの対象となっている機能によって表示されないお知らせアイコンがありますが、オリジナルロック解除後に再表示されます。
- オリジナルロック中に「ダイヤルロック」を設定すると「 」が消え、「 」が表示されます。
- オリジナルロック中は、「設定リセット」や「端末初期化」は行えません。また、ロックの対象となっている機能のデータ転送も行えません。

オリジナルロック対象機能の設定

1 **MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶ロック▶端末暗証番号を入力▶オリジナルロックのレベルを選んで TV(詳細)**

オリジナルロック
詳細設定画面

2 **カテゴリを選択▶機能グループを選択**

- 「着信・メール受信表示」、「GPS」のカテゴリを選択した場合は、機能グループを選択する操作は不要です。
- 機能に一括でチェックを付けたり外したりするには、サブメニューから「グループ選択／グループ解除」や「全グループ選択／全グループ解除」を選択します。「グループ選択／グループ解除」を選択した場合は選んでいるカテゴリまたは機能グループ内の機能、「全グループ選択／全グループ解除」を選択した場合は全カテゴリまたは全機能グループ内の機能にチェックを付けたり外したりできます。
- いずれかの機能にチェックが付いているカテゴリや機能グループには「 」、すべての機能にチェックが付いているカテゴリや機能グループには「 」が表示されます。

3 **ロックしたい機能にチェック▶ TV(完了)**

- 機能によってはもう一度 TV(完了)を押します。

4 **オリジナルロック詳細設定画面で TV(完了)を押す**

■ロックの対象となる機能と動作、およびオリジナルロック(高)・(中)・(低)のお買い上げ時の状態

カテゴリ／機能グループ／機能	動作・補足	高	中	低
データ閲覧・編集・削除				
メール				
メール	メールの作成、送信、受信メールの表示などができません。 ●エリアメール受信時の内容の表示はできます。	○	○	○
ブログ・メールグループ	ブログ・メールグループを利用できません。	○	○	○
iモード				
iモード	iモードやフルブラウザ、iチャネルを利用できません。 ●メールの送受信や、iアプリの通信はできます。 ●iチャネルのテロップも表示されません。 ●「iモード」にチェックを付けると、Bookmarkも利用できません。	○	ー	ー
Bookmark	Bookmarkを利用できません。	○	ー	ー
MyFACE	MyFACEコンテンツを利用できません。	○	ー	ー
iアプリ				
iアプリ	iアプリやiウィジェットの起動、ICカード一覧の表示ができません。 ●iアプリを待受画面に設定している場合は、お買い上げ時の設定になります。	○	ー	ー
トルカ				
トルカ	トルカを起動できません。 ●読み取り機にかざしてトルカを利用することはできます。	○	ー	ー
iコンシェル				
iコンシェル	iコンシェルを利用できません。	○	ー	ー
データBOX・ツール類				
マイピクチャ※1※2	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
ミュージック※1	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
Music&Videoチャネル※3	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
iモーション／ムービー※1	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
メロディ※1	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
ワンセグ録画データ	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
きせかえツール	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
コンテンツパッケージ	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
マチキャラ※4	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
マイドキュメント	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
キャラ電※2	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
ドキュメントビューア	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
SDその他ファイル	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	ー
カメラ	カメラを起動できません。	○	○	ー
バーコードリーダー	バーコードリーダーの起動や、読み取ったデータの表示ができません。	○	○	ー
歩数計	歩数計を利用できません。	○	○	ー
おしゃべり機能※1	おしゃべり機能を利用できません。	○	○	ー

カテゴリ／機能グループ／機能	動作・補足	高	中	低
スケジュール				
スケジュール／メモ	スケジュールやメモを利用できません。 ●スケジュールのアラーム通知もしません。	○	－	－
アラーム	アラームを利用できません。 ●アラーム通知もしません。	○	－	－
メモ				
メモの再生／消去	伝言メモ・音声メモの再生／消去ができません。	○	－	－
テレビ電話メモの再生／消去	テレビ電話伝言メモの再生／消去ができません。	○	－	－
待受中音声メモ	待受中に音声メモの録音ができません。	○	－	－
通話中音声メモ	通話中に音声メモの録音ができません。	○	－	－
電話帳				
電話帳／直デン	電話帳／直デンを利用できません。 ●他の機能で電話帳を呼び出し／参照することもできません。 ●「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」を「拒否」に設定中はロックできません。 ●電話やメールの着信時は、電話番号やメールアドレスのみが表示され、画像や着信音はお買い上げ時の設定で動作します。	○	○	－
プロフィール	プロフィールを利用できません。	○	○	－
発信履歴	発着信一覧、発信履歴、リダイヤル、送信アドレス一覧を利用できません。	○	○	－
着信履歴	発着信一覧、着信履歴、受信アドレス一覧を利用できません。	○	○	－

カテゴリ／機能グループ／機能	動作・補足	高	中	低
その他				
通話料金通知	通話料金の上限値を超過したときの通知を行いません。	○	－	－
ショートカット	ショートカットを利用できません。	○	－	－
使用履歴	使用履歴を利用できません。	○	－	－
発信・メール送信				
ダイヤル発信				
ダイヤル発信	直接ダイヤル入力した電話などの発信ができません。 ●電話帳の登録、編集、削除もできません。 ●相手の電話番号が電話帳に登録されている場合、電話帳、発着信一覧、リダイヤル、発信履歴、着信履歴から発信することはできます。 ●緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。	－	－	－
メール送信				
メールアドレス直接入力	宛先を直接入力したメールなどの作成ができません。 ●電話帳の登録、編集、削除もできません。 ●相手のメールアドレスや電話番号が電話帳に登録されている場合、電話帳、発着信一覧、リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から宛先を入力したメールの作成はできます。	－	－	－
メール送信	メールの送信ができません。	－	－	－

カテゴリ／機能グループ／機能		動作・補足	高	中	低
着信・メール受信表示					
	着信	電話やパケット通信の着信ができません。 ●着信があった場合、オリジナルロック解除後に「不在着信あり」のアイコンが表示されます。	－	－	－
	メール／メッセージ受信表示	メールやメッセージR/Fを受信しても、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信動作を行わず、受信をお知らせしません。また、テロップも表示されません。 ●ｉコンシェルのインフォメーションも表示されません。 ●メールやメッセージR/Fを受信した場合、オリジナルロック解除後に「✉」「R」「F」などのアイコンが表示されます。 ●エリアメールを受信した場合は、受信画面や内容の表示を行います。	－	－	－
GPS					
	GPS	現在地確認や現在地通知などのGPS機能を利用できません。 ●位置提供は可能です。	○	－	－

○:チェックあり　　－:チェックなし

※1 「各種画面設定」や「着信音選択」などにプリインストールデータ以外の画像や音を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。ただし、待受画面は設定している画像が表示されます。

※2 テレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。

※3 Music&Videoチャネルの起動もできません。

※4 待受画面にマチキャラは表示されます。

閉じタイマーロック設定

ロック項目設定

FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過すると、オリジナルロックやICカードロックをかけることができます。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**閉じタイマーロック設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**ロック項目設定**

2 **オリジナルロック・ICカードロック**

「オリジナルロック」を選択した場合は、オリジナルロックのレベルを選択します。サブメニューからオリジナルロックのタイトルを変更できます。
📷(詳細)を押すとオリジナルロック詳細設定画面が表示されます。

3 **経過時間を選択**

「OFF」以外に設定すると、「🕘」が表示され、閉じタイマーロックが設定されます。また、「開きロック解除設定」を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- 待受画面が表示されていない場合や、待受画面が表示されていても、他の機能が起動している場合は、設定した時間が経過してもロックはかかりません。ただし、FOMA端末を閉じたあとに他の機能が終了した場合は、設定した時間が経過するとロックがかかります。
- FOMA端末を閉じてから電話の着信やメールの受信などがあったり、FOMA端末を開いたりすると、経過時間は0秒に戻ります。
- 本機能を設定しているときにロックの解除操作をすると、一時的にロックは解除されますが、FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過すると、再びロックがかかります。
- 閉じタイマーロック設定中に自動キーロックを設定すると「🕘」が消え、「🔒」が表示されます。

開きロック解除設定

オリジナルロック中・ICカードロック中にFOMA端末を開いたときに、ロックの解除画面を表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**閉じタイマーロック設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**開きロック解除設定**▶**オリジナルロック・ICカードロック**▶**ON・OFF**

キーロック

ボタンの操作ができなくなるように設定します。

1 ◉**を1秒以上押す**

キーロックを設定すると「キーロック」が表示されます。
- ●キーロックを解除するには、同様の操作を行うかFOMA端末を開きます。
- ●FOMA端末を閉じていると、省電力モードになり画面の表示が消えます。画面を表示させるには⌒を押します。画面表示後、一定時間ボタン操作を行わないと、再び省電力モードになります。

キーロックがかかっているときは

- ●電源を切ることはできません。
- ●着信には応答できます。FOMA端末を閉じている場合はキーロックを解除してください。
- ●音声電話やテレビ電話の着信に対する応答や、「アラーム」「スケジュール」「視聴予約」「録画予約」のアラーム停止の操作はできます。
- ●「端末暗証番号入力設定」が「ON」の場合、緊急通報110番/119番/118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると発信できます。
- ●メールやメッセージR/Fの受信はできますが、内容の表示はできません。
- ●緊急速報エリアメールを受信したときは、受信結果画面から内容を表示できます。
- ●「イヤホンスイッチ発信設定」を「音声発信」に設定していても、イヤホンマイク(別売)のスイッチを押して発信することはできません。
- ●GPSの位置提供は可能です。

自動キーロック

FOMA端末を閉じたときや、何も操作しないで設定した時間が経過したときに、キーロックがかかるように設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**キーロック**▶**端末暗証番号を入力**▶**自動キーロック**

2 **以下の操作を行う**

自動キーロックを設定すると「」が表示されます。

クローズロック設定	FOMA端末を閉じたときにロックがかかります。 ●FOMA端末を閉じた状態で省電力モードになったときにもキーロックがかかります。
無操作ロック設定	FOMA端末を何も操作しないで設定した時間が経過したときにロックがかかります。

お知らせ

- ●iアプリ起動中に自動でキーロックがかかった場合は、画面が表示されたままロックがかかります。
- ●ワンセグ視聴中・iモーション再生中・ミュージックプレーヤー利用中など、他の機能が起動しているときは、機能によっては自動でロックがかからないことがあります。その場合は、他の機能が終了したあとにロックがかかります。

端末暗証番号入力設定

キーロックを解除するときに、端末暗証番号の入力を必要とするかどうかを設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**キーロック**▶**端末暗証番号を入力**▶**端末暗証番号入力設定**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 「クローズロック設定」や「無操作ロック設定」を「OFF」以外に設定していて、「端末暗証番号入力設定」が「ON」の場合、FOMA端末の電源を入れ直したときにもキーロックがかかります。

シークレットモード・シークレット専用モード

シークレットデータとして登録した電話帳やスケジュールなどは、通常のモードでは呼び出し／参照できません。シークレットモード、シークレット専用モードで登録／編集した電話帳やスケジュールなどはシークレットデータとして登録されます。

シークレットモードではすべてのデータ、シークレット専用モードではシークレットデータだけを呼び出し／参照できます。メールの場合、シークレットモード、シークレット専用モードでは送信／受信フォルダ一覧に「シークレット」フォルダが表示され、シークレットメールを参照できます。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**シークレットモード・シークレット専用モード**▶**端末暗証番号を入力**

「シークレットモード」を選択したときは、「 」が表示され、シークレットモードになります。

「シークレット専用モード」を選択したときは、「 」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されたあと、シークレット専用モードになります。

- 待受画面で4を1秒以上押してもシークレットモードにできます。
- シークレットモードで電話帳やスケジュールなどを呼び出したとき、通常データの場合は「 」が点灯したままとなり、シークレットデータの場合は「 」が点滅します。
- シークレットモード、シークレット専用モードを解除するには、同様の操作を行うか待受画面で4（1秒以上）または を押します。
- 「シークレットモード」「シークレット専用モード」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

シークレットデータを通常データに変更するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードで、解除するデータのサブメニューから「シークレット解除」を選択します。

お知らせ

- 通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)でシークレット登録した相手に電話をかけたときは、発信中や通話中の画面には名前は表示されずに電話番号が表示されます。
- シークレットデータを呼び出して電話をかけたり、メールを送信したときは、「発着信一覧」「リダイヤル」「発信履歴」「送信アドレス一覧」には記憶されません。
- シークレット登録した相手からメールを受信したときは、「受信アドレス一覧」には記憶されません。
- 「ダイヤルロック」や「おまかせロック」と、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合、「ダイヤルロック」や「おまかせロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。

BOXロック

メールメニューの受信・送信・保存BOXにロックを設定します。
ロックを設定したBOX内を表示するときは、端末暗証番号の入力が必要になります。

1 **▶メール設定▶BOXロック▶端末暗証番号を入力▶設定したいBOXにチェック▶(完了)**

- ロックを設定すると、メールメニューの設定したBOXに「」が付きます。(「メニューテーマ」や「きせかえツール」の設定によっては、表示されるマークが異なったり、表示されない場合があります。)
- 「BOXロック」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- 送信BOXまたは受信BOXにロックを設定すると、送受信BOX内を表示するときにも端末暗証番号の入力が必要になります。
- 送信BOX、受信BOXにロックを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

個別発着信動作選択

指定発信制限

指定した電話番号以外へ電話をかけられないようにします。FOMA端末を業務用としてお使いになるときは、私用電話の防止に有効です。音声電話をかけるときは、指定した電話帳を呼び出してまたは(発信)を押します。(テレビ電話をかけるときは(TV電話)を押します。)

指定着信拒否

指定した電話番号からの電話がつながらないようにします。「電話を受けたくない相手」からの電話だけがつながらないように設定できます。発信者側には話中音が流れます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。番号通知お願いサービスと「着信拒否設定」もあわせて設定することをおすすめします。

指定着信許可

指定した電話番号からの電話だけがつながるようにします。「電話を受けたい相手」からの電話だけがつながるように設定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。番号通知お願いサービスもあわせて設定することをおすすめします。

指定発信制限・指定着信拒否・指定着信許可

1 **電話帳詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶個別発着信動作選択▶端末暗証番号を入力▶項目を選択**

指定発信制限……指定した番号にだけ発信できます。
指定着信拒否……指定した番号からの電話は受けません。
指定着信許可……指定した番号からの電話だけを受けます。
指定転送でんわ….P.420参照
指定留守番電話….P.417参照

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面でOを押して個別発着信動作選択を設定する電話番号を選びます。
- 複数の電話番号に指定発信制限を設定したいときは、指定発信制限を設定したあとにCLRを押して電話帳の詳細画面に戻り、Oで設定したい電話番号を選んで操作を行ってください。
  終話キーを押して待受画面に戻ると追加設定ができなくなります。追加設定をするときは、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含め、指定発信制限を設定し直してください。
- 個別発着信動作選択を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレット登録した電話帳やドコモminiUIMカードの電話帳には設定できません。
- 「指定着信拒否」、「指定着信許可」を設定中に「ダイヤルロック」を設定したり「オリジナルロック」で「電話帳/直デン」をロックしたりすると、すべての着信を許可します。
- 「指定発信制限」を設定すると、発着信一覧の発信履歴、リダイヤル/発信履歴、送信アドレス一覧は削除されます。
- 「指定発信制限」を設定すると、以下の操作はできません。
  ・指定した電話番号以外の呼び出し、参照
  ・ダイヤル発信
  ・発着信一覧の着信履歴、着信履歴、受信アドレス一覧からの発信
  ・電話帳の登録、編集、削除、microSDカードからのコピー、microSDカードによるバックアップ/復元、ドコモminiUIMカードへのコピー
  ・直デンの登録、編集、解除
- 「指定発信制限」を設定していても、緊急通報110番/119番/118番に電話をかけることはできます。

お知らせ

- 「指定着信拒否」に設定した電話番号から電話がかかってきたときや、「指定着信許可」に設定した電話番号以外から電話がかかってきたときは、「不在着信履歴」として着信履歴に記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、留守番電話サービスや転送でんわサービスを「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスになります。
- SMSやｉモードメールは、「指定着信拒否」、「指定着信許可」に関係なく受信されます。

個別発着信動作選択の確認/解除

1 **電話帳一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶個別発着信動作選択▶端末暗証番号を入力▶項目を選択**

- それぞれの個別発着信動作選択に設定されている電話帳をすべて解除するには、サブメニューから「設定解除」を選択します。

2 **電話帳を選択**

個別発着信動作選択が設定されている電話番号が表示されます。

- 電話番号ごとに個別発着信動作選択を解除するには、解除したい電話番号を選択します。

着信拒否設定

電話帳に登録されていない相手からの着信や、電話番号が通知されない着信の発信者番号非通知理由によって、電話を受ける(許可)か受けない(拒否)かを設定します。発信者番号非通知理由には「非通知設定」、「公衆電話」、「通知不可能」の3つがあります。

1 **MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶着信拒否設定**

- 「MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶着信拒否設定」の操作を行っても「着信拒否設定」を設定できます。
- 「着信拒否設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 端末暗証番号を入力▶項目を選択

登録外着信拒否....電話帳に電話番号が登録されていない相手から、発信者番号を通知して発信した場合
非通知設定.......発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話.........公衆電話などから発信した場合
通知不可能.......海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合
（ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。）

3 許可・拒否

- 「非通知設定」、「公衆電話」、「通知不可能」の場合、「許可」を選択すると、着信音や着信画面を設定できます。着信音を設定する場合は「着信音」を選択し、P.94手順2へ進みます。
  着信画面を設定する場合は「着信画面」を選択し、P.103手順2へ進みます。

お知らせ

- 「拒否」に設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らず、「不在着信履歴」として着信履歴に記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、留守番電話サービスや転送でんわサービスを「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスになります。
- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- 「登録外着信拒否」を「拒否」に設定していても、シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合や「ダイヤルロック」を設定していると、着信は拒否されません。
- 「登録外着信拒否」と「個別発着信動作選択」の「指定着信許可」を同時に設定している場合は、「指定着信許可」が優先されます。
- 「オリジナルロック」で「電話帳／直デン」をロックしている場合や、「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を「ON」に設定している場合は、「登録外着信拒否」を「拒否」に設定できません。

呼出時間表示設定

1 MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶着信詳細設定▶呼出時間表示設定▶以下の操作を行う

無音時間設定	電話帳に電話番号が登録されていない相手から電話がかかってきたときに呼出動作をすぐに開始しないように設定します。ワン切りなどの迷惑電話対策に利用できます。
時間内不在着信表示	「無音時間設定」で設定した時間内に切れた着信を発着信一覧や着信履歴に表示するかどうかを設定します。

お知らせ

- 電話帳に電話番号が登録されている相手から着信があった場合は、「186／184」を付加して登録されていても、着信と同時に呼出動作を開始します。ただし、「オリジナルロック」で「電話帳／直デン」をロックしている場合は本機能の設定に従って動作します。
- 無音時間が伝言メモ設定の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモ設定の呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信設定の呼出時間でも同様です。
- 「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」を「拒否」に設定中は、「無音時間設定」を設定できません。

ケータイデータお預かりサービス

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・動画・メール・Bookmark・メモ・スケジュール・トルカ・現在地通知先・メロディ・メール自動振分け設定などの設定情報(以下「端末データ」といいます)を、ドコモのお預かりセンターにバックアップでき、万が一の紛失時や誤って削除した際などに復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。パソコン(My docomo)があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳、画像(「自動お預かり」フォルダ内)、Bookmark、メモ、スケジュール、トルカ、メール自動振分け設定などの設定情報は、自動更新機能※により、定期的に自動でバックアップできます。
  ※端末データにより、自動更新の初期設定状態(自動更新する/しない)が異なりますので、「MENU▶便利ツール▶ケータイデータお預かりサービス▶詳細設定/通信履歴▶自動更新設定」よりご確認・変更ください。
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になる恐れがありますのでご注意ください。
- WORLD WINGご契約の場合、海外でも利用することができます。ただし、パケット通信料が日本国内よりも高額になる恐れがありますのでご注意ください(お客様がｉモードパケット定額サービスをご契約されていても、国際ローミング利用中におけるFOMAパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの対象外となります)。
- ケータイデータお預かりサービスの詳細については「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです(お申し込みにはｉモード契約が必要です)。

お知らせ

- 自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。
- 更新がある場合、デスクトップに「更新」が表示されます。「更新」を選択すると更新画面が表示されます。
- お預かりセンターから、FOMA端末へデータを復元中に処理が中断した場合、再度復元処理を行うと同じデータが複数件登録されることがあります。

お預かりセンターへのバックアップ

電話帳の場合

- FOMA端末内の電話帳をバックアップすると、お預かりセンターに保存されている電話帳がすべて上書きされます。ただし、FOMA端末に1件も保存されていない場合はバックアップされません。

1 電話帳一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶お預かりサービス利用▶YES▶ｉモードパスワードを入力▶決定

画面に従って操作を行います。

その他のデータの場合

1 バックアップしたいデータのサブメニュー▶お預かりセンターに接続・お預かりセンター接続・お預かりセンターに保存▶端末暗証番号を入力▶YES

- データを選択する画面が表示された場合は、バックアップしたいデータにチェックを付けて📷(完了)を押します。30件まで選択できます。

お知らせ

- 以下のデータはバックアップできません。
  ・ドコモminiUIMカードやmicroSDカード内のデータ
  ・メールに添付されたデータ
  ・FOMA端末外への出力が禁止されているデータ
  ・ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されているデータ
  ・JPEG形式、GIF形式以外の画像
  ・MP4形式以外の動画
  ・10Mバイトを超える画像や動画
  ・部分保存した動画

FOMA端末への復元

FOMA端末のデータを削除したあと、お預かりセンターで更新を行うとお預かりセンターのデータも削除されますのでご注意ください。お預かりセンターのデータをFOMA端末に復元する場合、以下の操作を行ってください。

●お預かりセンターの電話帳を復元すると、FOMA端末内の電話帳はすべて上書きされます。ただし、お預かりセンターに1件も保存されていない場合は復元されません。

1 **iα▶マイページ▶マイメニュー／マイボックス▶ケータイデータお預かり※▶お預かりデータ確認▶ｉモードパスワードを入力▶決定**

画面に従って操作を行います。

※ｉコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり／ｉコンシェル」と表示されます。

お知らせ

●電話帳･Bookmark･メモ･スケジュール･トルカを復元した際、お預かりセンターにバックアップされているデータが、FOMA端末に登録できる件数を超えた場合、超えている部分のデータは復元されません。

●P-03D以外のFOMA端末に復元した場合、すべてのバックアップデータ、設定内容･情報が復元されないことがあります。

ケータイデータお預かりサービスの設定

1 **MENU▶便利ツール▶ケータイデータお預かりサービス▶以下の操作を行う**

●選択している項目のショートカットを作成できます。(P.40参照)

項目	説明
データ確認／ダウンロード	お預かりセンターに接続し、バックアップされているデータの確認などを行います。
電話帳を更新	お預かりセンターとFOMA端末の電話帳を更新します。
スケジュール等を更新	お預かりセンターとFOMA端末のメモ(スケジュール)、Bookmark、トルカを更新します。
画像を更新	「マイピクチャ」内の「自動お預かり」フォルダ内の画像をお預かりセンターにバックアップします。 ●「自動お預かり」フォルダ内の画像は、自動更新設定に従い定期的にお預かりセンターに自動バックアップすることもできます。 ●「お預かり済アイコンクリア」(P.322参照)で自動バックアップ未完了に変更された画像は再度お預かりセンターにバックアップされます。また、自動更新が行われた場合も、自動バックアップ未完了に変更された画像は再度お預かりセンターにバックアップされます。
設定情報を更新	メール自動振分け設定などの設定情報をお預かりセンターにバックアップまたはお預かりセンターから復元します。
詳細設定／通信履歴	
自動更新設定	お預かりセンターに接続し、電話帳などを定期的に自動で預けるかどうかを設定します。
電話帳画像送信設定	電話帳に設定している画像をお預かりセンターにバックアップするかどうかを設定します。
メモ添付画像送信設定	メモに添付している画像をお預かりセンターにバックアップするかどうかを設定します。
その他設定	お預かりセンターに接続し、その他の設定を行います。
通信履歴確認	各項目のお預かりセンターとの通信記録を表示します。お預かりセンターへのバックアップ結果やFOMA端末への復元結果を確認できます。 ●通信履歴の一覧画面で通信完了時刻を選択すると詳細画面に変わります。 ●設定情報を復元した際の詳細画面では、復元に成功した項目のみが表示されます。また、一部の設定情報が復元できなかった項目は、件数の前に「※」が表示されます。 ●各項目ごとに最大30件まで保存されます。30件を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

お知らせ

＜設定情報を更新＞

●以下の設定がお預かりセンターにバックアップされます。

・リダイヤル　・着信履歴
・伝言メモ設定　・フォント設定の「メール」
・個別発着信動作選択の「指定着信拒否」「指定着信許可」
・着信拒否設定　・メール選択受信設定
・送信アドレス一覧　・受信アドレス一覧
・自動振分け設定※　・ブログ･メールグループ
・メール／メッセージ問合せ設定　・受信時動作設定
・添付ファイル優先受信設定　・添付ファイル自動再生設定
・署名　・メッセージ自動表示設定
・緊急速報「エリアメール」設定の「受信設定」「ブザー鳴動時間」「マナー／公共モード時設定」
・アラーム　・単語登録
・学習履歴

※バックアップされる振分け条件は、アドレス（差出人）、題名、電話帳グループ、ブログ･メールグループです。

ｉコンシェルでのケータイデータお預かりサービスの利用

ｉコンシェルのメニューからもFOMA端末内に保存されている電話帳、トルカ、メモ（スケジュール）、Bookmarkをお預かりセンターにバックアップできます。

1 MENU▶ｉコンシェル▶設定▶お預かりデータ確認／設定／更新

画面に従って操作を行います。

設定リセット

「機能一覧表」の ［　］ の項目をお買い上げ時の状態に戻します。（P.450参照）

1 MENU▶本体設定▶その他設定▶設定リセット▶端末暗証番号を入力▶YES

●「設定リセット」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

端末初期化

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
お買い上げ時の状態についてはP.450「機能一覧表」を参照してください。

●お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
●「iD 設定アプリ」以外のおサイフケータイ対応ｉアプリは削除されます。ただし、使用状況によっては削除されないことがあります。
●お買い上げ時に登録されているｉアプリに保存されたデータは削除されます。ただし、削除されなかったおサイフケータイ対応ｉアプリに保存されたデータは削除されません。
●保護しているデータも削除されます。
●2in1のモードに関わらず、すべての登録データが削除されます。
●お買い上げ時に登録されているデータを削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は元に戻りません。
●端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
●端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。
●端末初期化を行っているときは、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信などもできません。

1 **MENU▶本体設定▶その他設定▶端末初期化▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES**

初期化が完了すると、自動的に電源が切れたあと、再度電源が入り、「初期設定」の画面が表示されます。
●「端末初期化」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

●ドコモminiUIMカードやmicroSDカードに保存･登録されているデータは削除されません。
●ドコモminiUIMカードに保存されている設定は初期化されない場合があります。
●パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。

お知らせ

●ｉアプリを元に戻したいときは、「P-SQUARE」のサイトからダウンロードしてください。ダウンロードには別途通信料がかかります。
●端末初期化を行った場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、CLRを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
●端末初期化を行った場合、Music&Videoチャネルの番組は自動取得されなくなりますので、Music&Videoチャネルメニューから設定確認画面へ接続し、番組設定を反映させてください。
●削除するデータが多いときなどは端末初期化に時間がかかる場合があります。

遠隔初期化

本機能の利用契約(ビジネスmoperaあんしんマネージャー)をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ(本体／microSDカード／ドコモminiUIMカード内のメモリ)を初期化することができます。

■お問い合わせ先
ドコモの法人向けサイト
docomo Business Online　パソコンから　http://www.docomo.biz/
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

遠隔初期化が起動すると

操作ができなくなる旨の画面が表示され、初期化が開始されます。
●遠隔初期化が起動すると、音声電話の着信に対する応答･応答保留を除いてすべてのボタン操作がロックされ、各機能を使用することができなくなります。初期化が開始されると、すべての機能を使用することができなくなります。
●着信中、通話中に遠隔初期化が起動した場合、(発信)と(終話)を除いてすべてのボタン操作がロックされます。初期化が開始されると、自動で着信や通話を終了します。

お知らせ

●「メイン時計設定」は初期化されません。

お知らせ

- パソコンとFOMA端末を接続しているときはmicroSDカードを初期化できない場合があります。

その他の「あんしん設定」

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがございますのでご活用ください。

機能／サービス名称	目的	参照先
ICカードロック	ICカード機能の不正使用を防止したい	294
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	421
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	421
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※ FirstPass対応サイトに限ります	204
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	492
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	497
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	148

機能／サービス名称	目的	参照先
「災害用伝言板」サービス	「ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）」をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 （URL付きメール拒否設定） （受信／拒否設定） （かんたん設定） （ｉモード／spモードメール大量送信者からのメール受信制限） （SMS拒否設定） （未承諾広告※メール拒否） （メール設定確認）		
メール機能停止／再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

お知らせ

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は、「迷惑電話ストップサービス」→「指定着信拒否」→「着信拒否設定」→「呼出時間表示設定」の順になります。

メール

iモードメール

iモードメール受信・操作

メールBOXの操作

メール送受信履歴

メール設定

メッセージR/F受信

緊急速報「エリアメール」

SMS

iモードメール

iモードを契約するだけで、iモード対応端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル(写真や動画ファイルなど)を10個まで添付できます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、デコメ絵文字®も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。さらにメッセージや画像を挿入したFlash画像のデコメアニメ®にも対応しております。

- iモードメールの詳細については、「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

iモードメール作成・送信

iモードメールを作成して送信します。
デコメール®を作成するにはP.137を参照してください。

▶()

メール作成画面

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳 . . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。
送信アドレス一覧 . . . . 電話番号またはメールアドレスを選択します。
受信アドレス一覧 . . . . 電話番号またはメールアドレスを選択します。
ブログ・メールグループ . . . ブログ・メールグループを選択します。
直接編集 . . . . メールアドレスや電話番号を入力します。

- 送信する相手がiモード対応端末の場合は、メールアドレスの@より前の部分だけを入力しても送信できます。
- 宛先欄を選んでⓄを押すと送信アドレス一覧を、Ⓞを押すと受信アドレス一覧を表示できます。
- 宛先を追加するにはP.135参照。

3 題名欄を選択▶題名を入力

4 本文欄を選択▶本文を入力

- 本文を入力すると、入力したバイト数がメール作成画面の本文欄に表示されます。
- 冒頭文／署名を貼り付けるときはP.136参照。
- 文字入力(編集)画面のサブメニューについてはP.409参照。

メール本文入力画面

5 (送信)を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

- 送信を途中で中止する場合は、(中止)またはCLR(1秒以上)を押します。ただし、タイミングにより送信されることがあります。

宛先を追加するには

一度に50件の相手に送信できます。
メール作成画面で宛先欄を選択して「宛先追加」を選択します。また、メール作成画面で[✉](宛先追加)を押しても宛先を追加できます。

- 宛先を編集する場合は、宛先を選択して「宛先上書き」または「直接編集」を選択します。
- 宛先を削除する場合は、削除したい宛先を選択し[iα](宛先削除)を押すか、サブメニューから「宛先削除」を選択します。
- 宛先のタイプを変更する場合は、変更したい宛先を選択し[✉](ﾀｲﾌﾟ変更)を押すか、サブメニューから「宛先タイプ変更」を選択します。

「To」. . . . .直接の宛先です。宛先は受信側に表示されます。※
「Cc」. . . . .直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。宛先は受信側に表示されます。※
「Bcc」. . . .他の送信相手に知られたくないときに指定します。宛先は受信側に表示されません。
※受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 圏外で送信できなかった場合は、送信予約するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると圏内自動送信予約メールとして保存BOXに保存されます。「NO」を選択すると、通常の保存メールとして保存BOXに保存されます。
- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または＝に変換されることがあります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- 保存メールが最大保存件数／最大保存容量まで保存されている場合は、ｉモードメールを作成できません。
保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 電話番号入力中などのサブメニューから「メール作成」を選択した場合は、電話番号が宛先に入力されます。

お知らせ

- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合はそのまま送信できません。発信者番号通知の設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「184」または「186」が削除されて送信されます。
- 宛先の電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が宛先欄に表示されます。
- 宛先に「,（カンマ）」やスペースが入力されている場合は送信できません。
- 宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信できます。
- 宛先に「To」設定がないｉモードメールは送信できません。
- シークレットコードを設定して登録した電話帳を宛先に入力した場合、送信するときにシークレットコードが自動的に追加されます。ただし、宛先が電話番号以外、または「電話番号@docomo.ne.jp」以外の場合は、電話帳にシークレットコードを設定していても、シークレットコードは追加されず、通常のｉモードメールとして送信されます。
- 複数の宛先を入力すると、メール作成画面の宛先欄に件数が表示されます。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 受信側の端末によっては、題名がすべて受信できない場合があります。
- movaサービスのｉモード対応端末へは、本文は全角2000文字まで送信できます。
- 改行は全角1文字、スペースは全角または半角1文字分としてカウントされます。
- デコメ絵文字®を入力するとデコメール®になります。

送信予約メールについて

作成したメールを送信予約メールとして保存すると、自動的にメールを送信できます。送信予約メールには、以下の2種類があります。

日時指定送信予約メール
．．．．．．．日時を指定して送信予約します。（P.136、P.159参照）
指定した日時になると自動的に送信されます。

圏内自動送信予約メール
．．．．．．．圏外で送信できなかったときに送信予約できます。
圏内に移動したときに自動的に送信されます。

- 200件まで予約できます。
- シークレットモード／シークレット専用モードに関わらず送信されます。
- 「受信時動作設定」に従って、送信中や送信結果画面が表示されます。
- 自動送信に失敗した日時指定送信予約メールは、自動送信失敗メールとして保存BOXに保存されます。
- 圏内自動送信予約メールを自動送信する際、圏外により送信が失敗した場合は、再度圏内自動送信予約メールとして保存BOXに保存されます。自動送信に3回失敗すると、自動送信失敗メールとして保存BOXに保存されます。
- 自動送信に成功／失敗した場合、デスクトップに「送信結果」が表示されます。「送信結果」を選択すると送信結果が表示されます。

メール作成画面のサブメニュー

項目	説明
送信	送信します。
かんたんデコメ	
デコレーション	メール本文の内容と選択した感情に合わせて自動的にデコレーションを設定します。 ●[メール]（感情変更）を押すと感情を変更できます。 ●[MENU]（前候補）、[カメラ/TV]（次候補）を押すと前後の候補を表示できます。[MENU]（前候補）で表示できるのは2つ前の候補までです。 ●「かんたんデコメ設定」でデコレーションする項目を設定できます。（P.167参照）
フォント変換	メール本文に入力した文字のフォントを別のフォントに変換し、内容を1枚の画像としてメール本文に挿入します。変換後の画像は再度フォントを変換したり、内容を編集したりすることはできません。
デコメアニメ切替	作成中のｉモードメールの内容を引用してデコメアニメ®を作成します。 ●添付済みの添付ファイルや入力済みの本文が引用できない場合は、内容を破棄するかどうかの確認画面が表示されます。 ●デコメアニメ®の作成についてはP.140参照。
送信予約	送信したい日時を指定して、日時指定送信予約メールとして保存BOXに保存します。
保存	作成中や編集中のメールを保存BOXに保存します。
カメラ起動	静止画や動画を撮影して添付します。 ●画像に位置情報が付いている場合は、本文に位置情報のURLを貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。
デコメール	
デコメール読込み	デコメール®テンプレートを読み込んでデコメール®を作成します。 ●すでに本文が入力されている場合は、内容を破棄するかどうかの確認画面が表示されます。 ●デコメール®の作成についてはP.137参照。
デコメール保存	デコメール®をテンプレートとして保存します。 ●保存しているテンプレートがいっぱいのときはP.196参照。 ●保存したテンプレートの確認方法についてはP.142参照。
冒頭文／署名貼付	
冒頭文貼付	冒頭文をｉモードメールの本文の先頭に貼り付けます。 ●あらかじめ冒頭文を登録しておく必要があります。（P.167参照）

署名貼付	署名をｉモードメールの本文の最後に貼り付けます。 ●あらかじめ署名を登録しておく必要があります。（P.167参照）
送信アドレス切替A/B	P.427参照
本文消去	本文に入力されている文章や挿入されている画像をすべて削除します。宛先や題名、添付ファイルなどは削除されません。
メール削除	編集中のｉモードメールを削除します。

お知らせ

<かんたんデコメ>

- メール作成画面でかんたんデコメ欄を選択しても操作できます。
- 「フォント変換」を行うと、メール本文のデコレーションが解除される場合があります。

<デコメール保存>

- メールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。
（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）

<冒頭文／署名貼付>

- 冒頭文と本文または署名と本文の合計が全角5000文字/半角10000文字を超える場合は貼り付けできません。
- 冒頭文や署名を装飾していなくても、本文の先頭や文末に文字色や文字サイズのデコレーションが設定されている場合は、冒頭文や署名もあわせてデコレーションされます。

デコメール®作成・送信

ｉモードメール本文編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を挿入することによって自分のオリジナルメールを作成して送信できます。
また、テンプレート（ひな形）を使用して作成できます。（P.142参照）

本文入力中　　プレビュー表示中

1 P.134手順1～手順3の操作を行う

2 本文欄を選択▶本文をデコレーションする

- デコレーションの方法についてはP.138参照。

デコレーションを選択してから本文を入力する場合

パレットからデコレーションを選択▶本文を入力

本文を入力してからデコレーションを設定する場合

本文を入力▶パレットから［変更 デコメ変更］を選択

P.139「［変更 デコメ変更］」へ進みます。

- メール本文をデコレーションすると、「［デコメアイコン］」が表示されます。

3 ◉(確定)を押す

メール作成画面が表示されます。
P.134手順5へ進みます。

お知らせ

- デコレーションした文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押して文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。
- 受信したデコメール®を引用返信、転送した場合、デコレーションや挿入した画像はそのままの状態で本文に入力されます。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除されます。
- 送信先のｉモード対応端末によっては、10000バイトを超えるデコメール®を送信した場合、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、機種によっては、本文のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。
- パソコンなどとデコメール®送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。
- テロップ･スウィングの動作や点滅、アニメーションは、一定の時間が経過すると停止します。

デコレーション

パレットを使って、ｉモードメールの本文をデコレーションします。1箇所に複数のデコレーションを設定できます。

- 文字位置･テロップ･スウィングを1箇所に組み合わせることはできません。
- ラインは文字色で指定している色で挿入されます。
- 画像挿入は文字位置･テロップ･スウィングで指定している状態で挿入されます。
- デコメ絵文字®は「画像挿入」で入力できますが、iα(絵/ピクチャ)を押しても入力できます。

■パレットについて

メール本文入力画面で✆を押すとパレットが表示されます。

- 予測変換候補や関係候補が表示されている場合は、それらを閉じてから✆を押します。
- パレット表示中にメール本文のカーソルを移動させるには「←」「↑」「↓」「→」を選択します。
- メール本文のデコレーションを確認するには「🔍」を選択します。

■デコレーションの種類

文字色	文字の色、ラインの色を変更します。 ●📷(切替)を押して25色･256色を切り替えることができます。
文字サイズ	文字のサイズを変更します。
画像挿入	「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。
点滅	文字を点滅表示させます。 ▶ 開始 ▶文字を入力▶ 点滅 ▶ 終了
テロップ	文字、挿入する画像をテロップ表示（右から左へ流れる表示）させます。 ▶ 開始 ▶文字を入力▶ テロップ ▶ 終了 ●テロップ表示する範囲が「 」「 」で表示されます。
スウィング	文字、挿入する画像をスウィング表示（左右を往復する表示）させます。 ▶ 開始 ▶文字を入力▶ スウィング ▶ 終了 ●スウィング表示する範囲が「 」「 」で表示されます。
文字位置	文字、挿入する画像の位置を変更します。
ライン	メール本文にライン（水平線）を挿入します。

	メール本文の背景色を変更します。 ●[TV]([切替])を押して25色･256色を切り替えることができます。
[Undo]	設定したデコレーションなどを元の状態に戻します。5回まで戻せます。
[変更 デコメ変更]	入力済みの文字を選択して文字色、点滅、文字サイズ、文字位置、テロップ、スウィングを設定します。また、設定済みのデコレーションを変更、追加、解除できます。 **▶始点を選択▶終点を選択** 各アイコンを選択してデコレーションを設定、変更、追加、解除します。 ●点滅、テロップ、スウィングを設定する場合は、それぞれのアイコンを選択して[設定]を押します。 ●デコレーションを解除する場合は[解除]を押します。点滅、テロップ、スウィングを個別に解除する場合は、それぞれのアイコンを選択して[解除]を押します。
[全解除 デコメ全解除]	すべてのデコレーションを解除します。

お知らせ

＜文字色＞

●別の色が設定されている文字にカーソルを移動させると、その文字色に設定が変わります。

●絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したいときは「指定なし」に設定してください。

●デコメ絵文字®の色は変更できません。

＜文字サイズ＞

●別の文字サイズが設定されている文字にカーソルを移動させると、移動先の文字サイズに設定が変わります。

●デコメ絵文字®のサイズは変更できません。

お知らせ

＜画像挿入＞

●画像は20種類まで、合計90Kバイトまで挿入できます。ただし、Flash画像は2種類までです。操作によっては20種類以下でも画像の数がオーバーするため再編集する旨の確認画面が表示されます。

●同一の画像を複数挿入した場合、挿入数は1種類として扱われます。既に挿入されている画像をコピー／ペーストした場合も同一画像の挿入と見なされ合わせて1種類として扱われます。ただし、Flash画像の場合は、同一の画像を挿入すると2種類目として扱われます。

●画像に位置情報が付いている場合は、本文に位置情報のURLを貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。

●挿入した画像にもテロップ、スウィング、文字位置を設定できますが、Flash画像の場合は設定できません。

＜点滅＞

●デコメ絵文字®は点滅させることはできません。

＜背景色＞

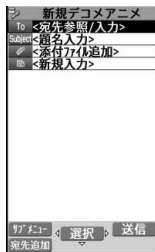
●冒頭文や署名の編集時は背景色を変更できません。

デコメアニメ®作成・送信

デコメアニメ®は、デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。お買い上げ時に登録されているテンプレートやIP(情報サービス提供者)のサイトから購入したテンプレートを利用して作成できます。

デコメアニメ®編集画面　プレビュー表示中

© 2011 Peanuts Worldwide LLC

1 ✉▶**新規デコメアニメ作成**

デコメアニメ®作成画面

2 **P.134手順2～手順3の操作を行う**

3 **本文欄を選択**
▶デコメアニメ®テンプレートを選んで📷(確定)

- すでにデコメアニメ®テンプレートを選択している場合は、デコメアニメ®編集画面が表示されます。手順4へ進みます。
- デコメアニメ®テンプレートを選択すると、プレビューが表示されます。
- デコメアニメ®テンプレートによっては、内容を編集できないものもあります。
- デコメアニメ®テンプレートの内容のまま送信する場合は、手順5へ進みます。
- 保存BOX、送信BOXから再編集する場合や、受信BOXから転送する場合は、デコメアニメ®の本文は編集できません。

4 **編集したい内容欄を選択**

文字を編集する場合

文字入力欄を選択▶文字を編集

画像を変更する場合

画像挿入欄を選択▶画像・カメラ起動

画像. . . . . フォルダを選択し、画像を選択します。
カメラ起動. . . 静止画を撮影します。撮影方法についてはP.223参照。

- デコメアニメ®編集画面で(ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ)を押すとプレビューが表示されます。
- 文字を入力する際に、文字入力欄ごとにデコレーションすることやデコメ絵文字®を入力することができるものもあります。また、冒頭文や署名は貼り付けられません。
- 文字入力行の途中で改行した場合、入力できる文字数が少なくなります。
- デコメアニメ®テンプレート、文字、画像の合計が90Kバイトを超える場合は、デコメアニメ®を作成できません。
- デコメアニメ®テンプレートによっては合計が90Kバイト以下でも画像を挿入できない場合があります。
- 画像や文字の表示位置やフォントは固定されていて編集できません。
- 文字入力欄によっては、文字入力(編集)画面に改行位置を示す」(赤色)や文字入力不可能範囲を示す▶(橙色)が表示される場合があります。

5 [TV](完了)を押す

デコメアニメ®の編集を終了します。
P.134手順5へ進みます。

お知らせ

- 保存メールが最大保存件数／最大保存容量まで保存されている場合は、デコメアニメ®作成できません。
- デコメアニメ®に挿入できる画像は、GIFファイル(アニメーションGIFを含む)、JPEGファイル、SWFファイルです。
- アニメーションGIFファイルやSWFファイルを挿入すると、送信時にサイズオーバーになることがあります。
- 送信に失敗した場合でも、再編集はできません。
- デコメアニメ®によっては、文字入力欄に「使い方」などが入力されていることがあります。それらを削除してから送信してください。
- 送信先のｉモード対応端末によっては、デコメアニメ®を送信した場合、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、機種によっては、デコメアニメ®の文字部分のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。
- 受信したデコメアニメ®をテンプレートとして利用することはできません。

デコメアニメ®作成画面のサブメニュー

送信	デコメアニメ®を送信します。
送信予約	P.136参照
プレビュー	送信する前にデコメアニメ®を再生して確認します。 ●デコメアニメ®再生時の動作についてはP.143参照。 ●[TV](閉)を押すと元の画面に戻ります。
保存	作成中のデコメアニメ®を保存BOXに保存します。保存すると、デコメアニメ®本文は再編集できません。
カメラ起動	P.136参照
テンプレート選択	デコメアニメ®テンプレートを読み込んでデコメアニメ®を作成します。 ●すでにデコメアニメ®テンプレートを選択している場合は、内容を破棄して読み込むかどうかの確認画面が表示されます。
送信アドレス切替A/B	P.427参照
本文消去	P.137参照
メール削除	編集中のｉモードメールを削除します。

デコメアニメ®編集画面のサブメニュー

テンプレート選択	P.141参照
プレビュー	P.141参照
文字色選択	選択している文字入力欄の文字色を変更します。 ●[TV](切替)を押して25色･256色を切り替えることができます。
画像削除	削除します。

デコメ®テンプレート

テンプレートは文字や画像で作られたひな形データです。デコメール®テンプレートとデコメアニメ®テンプレートの2種類があります。
お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードもできます。(P.195参照)また、デコメール®テンプレートでは送受信したデコメール®や作成中のデコメール®をデコメール®テンプレートとして保存できます。(P.136参照)保存したデコメール®テンプレートはパレットで編集できます。デコメアニメ®テンプレートは編集できません。

- お買い上げ時に保存されているテンプレートは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.196参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるドコモminiUIMカードを使用中は、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。

デコメール®テンプレート

1 ✉▶デコメテンプレート▶デコメール▶テンプレートを選択

- 📷(✉MAIL)を押すと、テンプレートの内容でデコメール®の作成になります。P.134手順2へ進みます。
- 「iモードで探す」を選択した場合はP.196参照。
- 「デコメール」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

デコメール®
テンプレート一覧画面

デコメール®
テンプレート詳細画面

デコメール®テンプレート一覧画面のサブメニュー

メール作成	テンプレートの内容でデコメール®を作成します。
ソート	表示される順番を変更します。
タイトル編集	タイトルを編集します。
情報表示	情報を表示します。
保存件数確認	保存件数を表示します。
削除	削除します。

デコメール®テンプレート詳細画面のサブメニュー

メール作成	テンプレートの内容でデコメール®を作成します。
編集	編集して保存します。 ●確認画面で「YES」を選択すると、上書きして保存します。「NO」を選択すると、別データとして保存します。 ●本文の編集方法についてはP.137手順2～手順3参照。 ●保存しているテンプレートがいっぱいのときはP.196参照。
挿入画像保存	テンプレートやデコメール®の本文に挿入された画像を保存して、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。

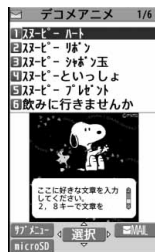
お知らせ

<編集>
- 別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

<挿入画像保存>
- デコメ絵文字®の場合は「デコメ絵文字」フォルダの「お気に入り」フォルダに保存されます。

デコメアニメ®テンプレート

1 **✉▶デコメテンプレート▶デコメアニメ▶テンプレートを選択**

- 📷(MAIL)を押すと、テンプレートの内容でデコメアニメ®の作成になります。P.140手順2へ進みます。
- デコメアニメ®テンプレート一覧画面で✉(microSD)を押すと、microSDカード内のデコメアニメ®テンプレートフォルダ一覧画面を表示します。フォルダを選択し、テンプレートを選択します。
  ✉(本体)を押すと戻ります。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.196参照。
- 「デコメアニメ」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

デコメアニメ®テンプレート一覧画面

→

プレビュー

デコメアニメ®の再生画面やプレビューを表示したときは

自動的にアニメーションが再生されます。デコメアニメ®には効果音が鳴るものやFOMA端末を振動させるものがあります。また、デコメアニメ®によっては、再生画面やプレビュー表示中に●、◎、0～9、*、#で操作できるものもあります。

- アニメーションや効果音の再生中にiα(停止)を押すと、一時停止します。再度、iα(再生)を押すと再開されます。
- バックグラウンド再生中は、効果音は鳴りません。
- FOMA端末が振動する場合は、「バイブレータ設定」や「マナーモード選択」の設定に関わらず振動します。
- デコメアニメ®によってはお客様のFOMA端末の端末情報を利用するものがあります。端末情報を利用するには、「ｉモード／web設定」の「ｉモードブラウザ設定」内の「端末情報利用設定」を「利用する」に設定してください。(お買い上げ時は「利用する」に設定されています。)
- Flash画像に含まれているFlash® Videoは再生されません。

デコメアニメ®テンプレートフォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダタイトル編集	タイトルを編集します。
フォルダ作成	新規フォルダを作成します。
フォルダ削除	削除します。

デコメアニメ®テンプレート一覧画面・プレビュー表示中のサブメニュー

デコメアニメ作成		テンプレートの内容でデコメアニメ®を作成します。
タイトル編集		タイトルを編集します。
情報表示		情報を表示します。
保存件数確認		保存件数を表示します。
外部送信		
	赤外線送信	赤外線通信で送信します。
	赤外線全送信	
	iC送信	iC通信で送信します。
microSDへコピー		microSDカードへコピーします。
本体へコピー		FOMA端末へコピーします。
削除		削除します。

ブログ･メールグループ

メールアドレスをグループごとに登録します。決まった複数の相手にメールを送信できます。
1グループには50件までのメールアドレスが登録できます。グループは20件まで作成できます。

1 MENU▶**電話機能**▶**電話帳**▶**電話帳設定･確認**▶**ブログ･メールグループ**▶**登録したいブログ･メールグループを選択**

ブログ･メールグループ一覧画面

- メールアドレスが登録されているブログ･メールグループには「MAIL」が表示されます。(MAIL)を押すと、選択しているブログ･メールグループを宛先としたｉモードメールを作成します。
P.134手順3へ進みます。
- メールアドレスが登録されているブログ･メールグループには「設定」が表示されます。
(設定)を押すごとに「ブログ投稿」の投稿先→「フォトパネル」の送信先→設定なしの順に切り替わります。「ブログ投稿」の投稿先に設定したブログ･メールグループには「」が、「フォトパネル」の送信先に設定したブログ･メールグループには「」が付きます。

2 **<未登録>を選択**▶**項目を選択**

電話帳. . . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。
送信アドレス一覧 . . . . 電話番号またはメールアドレスを選択します。
受信アドレス一覧 . . . . 電話番号またはメールアドレスを選択します。

ブログ･メールグループ詳細画面

- 登録済みのメールアドレスを選択すると、ブログ･メールグループアドレス確認画面が表示されます。
- 複数のメールアドレスを登録する場合は、手順2を繰り返します。
- (編集)を押してメールアドレスを直接入力することもできます。

お知らせ

- 「ブログ投稿」「フォトパネル」の投稿先はそれぞれ1件ずつ設定できます。「ブログ投稿」と「フォトパネル」の投稿先を設定するときは、「フォトパネル」→「ブログ投稿」の順に設定を行ってください。

ブログ･メールグループ一覧画面のサブメニュー

メール作成	ブログ･メールグループ宛のｉモードメールを作成します。
グループ名編集	ブログ･メールグループ名を編集します。
グループ名初期化	ブログ･メールグループ名をお買い上げ時の名前に戻します。

ブログ･メールグループ詳細画面･ブログ･メールグループアドレス確認画面のサブメニュー

アドレス編集	アドレスを編集します。 ●(編集)を押してもアドレス編集できます。
アドレス参照入力	P.144手順2へ進みます。
1件削除	削除します。
全削除	

添付ファイル

ｉモードメールにファイルやデータを添付して送信します。
以下のファイルを添付できます。

・静止画　・メロディ　・ｉモーション　・トルカ　・PDF
・電話帳（プロフィール含む）　・スケジュール※1　・メモ
・Bookmark　・Word　・Excel　・PowerPoint
・Text　・SDその他ファイル　・ムービー※2

最大10件まで、合計2Mバイトまで添付できます。

※1 ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールは、通常のスケジュールとして添付されます。
※2ムービーが添付された受信メールを転送するときのみ添付されます。

1 メール作成画面▶添付ファイル欄を選択▶以下の操作を行う

●すでにファイルが添付されているメールにファイルを追加する場合は、添付ファイル欄を選択したあと「添付ファイル追加」を選びます。

イメージ	静止画を添付します。 ●画像に位置情報が付いている場合は、本文に位置情報のURLを貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。 ●添付した画像を選択すると、画像を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
メロディ	メロディを添付します。 ●添付したメロディを選択すると、メロディを再生できます。いずれかのボタンを押すと再生は停止します。
ｉモーション	ｉモーションを添付します。 ●添付したｉモーションを選択すると、ｉモーションを再生できます。元の画面に戻るには再生中にCLRを押すか、再生を停止します。
トルカ	トルカを添付します。 ●添付したトルカを選択すると、プレビューが表示されます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
PDF	PDFを添付します。 ●添付したPDFを選択すると、PDFを表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
電話帳	電話帳を添付します。 ●添付した電話帳を選択すると、電話帳の詳細を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
プロフィール	プロフィールを添付します。 ●添付したプロフィールを選択すると、詳細を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
スケジュール	スケジュールを添付します。 ●添付したスケジュールを選択すると、スケジュールの詳細を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
メモ	メモを添付します。 ●添付したメモを選択すると、メモの詳細を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
Bookmark	Bookmarkを添付します。 ●添付したBookmarkを選択すると、Bookmarkのタイトルやアドレスを表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
ドキュメント	Word、Excel、PowerPoint、Textのファイルを添付します。 ●添付したドキュメントを選択すると、ドキュメントの詳細を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
その他	「SDその他ファイル」に保存しているファイルを添付します。

2 P.134手順2へ進む

●ファイルを添付するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES（以後非表示）」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。「NO」を選択すると100Kバイト以上の添付ファイルが削除されます。

メールに添付する際のファイルについて

●メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
●自端末で撮影した静止画や動画、赤外線で受信したファイルは、「ファイル制限」の設定に関わらず添付できます。
●ファイルを添付すると、メール作成画面の添付ファイル欄に添付したファイルの件数が表示されます。
●送信先のｉモード対応端末によっては、その端末のメール受信容量内で、対応しているファイルのみ受信します。
●添付ファイルのサイズによっては、送信に時間がかかる場合があります。
●添付ファイルのサイズによっては、送信済みメールが複数件削除される場合があります。

静止画の場合

●movaサービスのｉモード対応端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選ぶことで画像を取得できます。movaサービスのｉモード対応端末へ送れるメール本文は最大全角184文字(369バイト)です。(受信するmova端末の受信文字数が「全角250文字」の場合)
複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。
●GIF画像はmovaサービスのｉモード対応端末では受信できません。
●Flash画像も添付できます。
●画像サイズがQVGA(320×240)を超えるJPEG画像の場合は、画像サイズを変更するかどうかの確認画面が表示されます。「そのまま添付」を選択するとそのままの画像サイズで添付します。「サイズ中(640×480)」を選択するとVGA(640×480)以下に縮小して添付します。「サイズ小(320×240)」を選択するとQVGA(320×240)以下に縮小して添付します。
●ファイルサイズが2Mバイトより大きいJPEG画像(Progressive形式のファイルを除く)の場合は、2Mバイト以下に変換します。
●「ブログ投稿」「フォトパネル」の場合、画像によってはFOMA端末で表示されている向きから回転してアップロードされることがあります。
●画像によってはｉモードメール作成できない場合やアップロードできない場合があります。
●受信側の機種によっては、静止画が正しく受信できなかったり、受信した画像が表示できない場合や粗く表示される場合があります。

メロディの場合

●取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のメロディ、100Kバイトを超えるメロディは添付できません。
●microSDカードに保存しているメロディは添付できません。メロディをFOMA端末にコピーしてください。(P.358参照)
●受信側の端末によっては、送信したメロディが正しく再生されないことや添付削除されることがあります。
●添付されたメロディはmovaサービスのｉモード対応端末では受信できません。

ｉモーションの場合

●ファイルサイズが2Mバイトより大きいときはメールサイズに切り出すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとｉモーションの先頭から約2Mバイトまでを切り出します。
●ｉモーション編集画面から2Mバイトを超えるｉモーションは添付できません。ｉモードメールに添付できるサイズに切り出すにはP.334「メールサイズ切り出し」参照。
●ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減したり、メールに添付できない場合があります。
●受信側の端末によっては、正しく受信、表示ができない場合や、画質が粗くなったり連続静止画に変換される場合があります。
2Mバイト対応機種以外のｉモード対応端末に送信する場合には、以下の設定で撮影した動画がおすすめです。
動画容量：メール制限(小)
クオリティ：スタンダード

トルカの場合

●FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとして添付されます。
●トルカのサイズによっては、ｉモードメール添付できない場合があります。

Bookmarkの場合

●microSDカードに保存しているBookmarkは添付できません。BookmarkをFOMA端末にコピーしてください。(P.355参照)

添付ファイル削除

添付ファイルを削除／全削除します。

1 メール作成画面▶添付ファイル欄を選択▶MENU(サブメニュー)▶添付ファイル削除▶以下の操作を行う

- ●メール作成画面で添付ファイル欄を選択し、削除したい添付ファイルを選んでiα(添付削除)を押しても添付ファイル削除の操作を行えます。

1件削除	1件削除します。
選択削除	選択して削除します。
全削除	すべての添付ファイルを削除します。

メール自動受信

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にｉモードメールが送られてきます。(メール選択受信はP.148参照。)
メールが届くと画面の上部に「✉」が表示されます。

1 ｉモードメールを受信すると「✉」が点滅し、受信中のメッセージが表示される

受信が終わると、受信したｉモードメールの件数が表示され、画面の上部にテロップが表示されます。

メールを受信しました
受信結果
Received
メール 1
メッセージR 0
メッセージF 0

受信結果画面

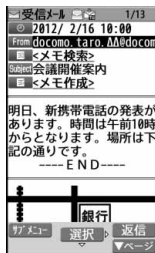
- ●「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。
- ●受信を途中で中止する場合は、「メール受信中･･･」と表示されている間にTV(中止)を押すかCLRを1秒以上押します。ただし、タイミングによっては受信されます。
- ●何も操作しなかった場合はデスクトップに「メール」(P.29参照)が表示され、元の画面に戻ります。
  ●を押し、「メール」を選択すると、受信メール詳細画面が表示されます。

お知らせ

- ●ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。(P.150参照)
- ●受信メールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い受信メールから順に削除されます。ただし、未読または保護している受信メールは削除されません。
- ●FOMA端末に保存している、未読または保護している受信メールの合計が最大保存件数／最大保存容量になった場合は、新しいメールを受信できず、「✉(橙色)」が表示されます。ｉモードメールを受信するには、「✉(橙色)」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「メール／メッセージ問合せ」を行ってください。
- ●ｉモードメールではメロディや静止画などを添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルは受信は可能ですが表示はできません。
- ●To、Cc、Bccを設定できる端末からメールが送信された場合、自分がTo、Cc、Bccのどれにあてはまるか受信メール詳細画面で確認できます。
- ●以下のような場合にメールを受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
  - ･電源OFFのとき
  - ･テレビ電話中
  - ･セルフモード設定中
  - ･圏外のとき
  - ･赤外線通信中
  - ･FirstPassセンター接続中
  - ･おまかせロック中
  - ･iC通信中
  - ･お預かりセンターに接続中
  - ･保護または未読メールにより、受信BOXの容量が満杯のとき
  - ･お預かりセンターからメールデータダウンロード後のメールデータ保存中
- ●ｉモードセンターにｉモードメールが保存されているときは「📥」が、ｉモードセンターのｉモードメールが一杯のときは「📥(橙色)」が表示されます。

新着ｉモードメールの表示

1 **受信結果画面▶メール▶表示したいｉモードメールを選択**

- デコメアニメ®の場合は、デコメアニメ®の再生画面が表示されます。📷(閉)を押すと、詳細画面が表示されます。
- ｉモードメールの詳細画面で◎を1秒以上押すと文字の大きさが変わります。(P.111「メール」参照)

お知らせ

- 正しく表示できない文字はスペースや「･」などで表示されます。
- ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- メール表示時に自動的に表示される静止画は正しく表示できない場合があります。また、画像サイズがディスプレイより大きい場合は、縦横比を保ったまま縮小して表示されます。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメール(HTMLメール)を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。
メール選択受信を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。
なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。メールがｉモードセンターに届くと、ｉモードセンターにメールがある旨のメッセージと「📄」が表示されます。いずれかのボタンを押すと、メッセージと「📄」が消えます。

メール選択受信設定

ｉモードメールを選択受信するかどうかを設定します。

1 **✉▶メール設定▶受信設定▶メール選択受信設定▶ON･OFF**

メールの選択受信

1 **✉▶メール選択受信▶「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」の手順に従って操作**

- 「iα▶メニューリスト▶メール選択受信」の操作を行ってもメール選択受信画面が表示されます。
- 「メール選択受信設定」が「OFF」の場合は、「ON」に設定する旨の画面が表示されます。
  ●(選択)を押すと「メール選択受信設定」を設定できます。

お知らせ

- メール選択受信設定を「ON」に設定していても「メール／メッセージ問合せ」を行うとすべてのメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目から「メール」を外してください。(P.166参照)
- 電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「📄」のアイコンは消灯します。
- SMSは選択して受信できません。

メール／メッセージ問合せ

ｉモードセンターに届いたｉモードメールやメッセージR/Fは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定が「ON」のときは、ｉモードセンターに保管されます。
「 」が表示された場合は、ｉモードセンターへ問い合わせを行い、それらを受信します。
「 」が表示された場合は、「メール選択受信」参照。

1 を1秒以上押す

「 」と「R・F」が点滅して「問い合わせ中」と表示され、ｉモードメールやメッセージR/Fを受信します。
問い合わせ結果には、新しく受信したｉモードメールとメッセージR/Fの件数を表示します。

- 受信を途中で中止する場合は、(中止)を押すかCLRを1秒以上押します。ただし、タイミングにより受信されることがあります。

お知らせ

- 「 (橙色)」「R(橙色)・F(橙色)」が表示されたときは、FOMA端末はこれ以上ｉモードメールやメッセージR/Fを受信できません。不要なメールやメッセージを削除するか、未読のメールやメッセージを読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールやメッセージは、古いものから順に自動的に削除されます。)
- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、そのことを示すアイコン「 」や、ｉモードセンターのｉモードメールが一杯になっていることを示すアイコン「 (橙色)」が表示されないことがあります。(FOMA端末の電源が入っていないときにセンターに届いた場合など)
- 問い合わせをする項目を「メール／メッセージ問合せ設定」で選択できます。
- 本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問合せ」で受信してください。

ｉモードメール返信・引用返信

「ｉモードメール返信」では通常のｉモードメールとして、「デコメアニメ返信」ではデコメアニメ®を作成して返信できます。また、「引用返信」では受信したｉモードメールの本文を引用して返信できます。デコメアニメ®、SMSは引用返信できません。

1 受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶返信・返信／転送▶ｉモードメール返信・デコメアニメ返信・引用返信・SMS返信

- (返信)を押すと、ｉモードメール・SMSとして返信できます。
- 自分以外に同報先があるときは、送信元のみに返信するか、すべての宛先に返信するかを選択できます。
  「送信元へ」または「すべてへ」を選択します。
- 引用符(P.167参照)は、引用返信するｉモードメールの本文の先頭に1つだけ付きます。

2 題名、本文を入力して送信する

ｉモードメールで返信する場合はP.134手順3へ進みます。
デコメアニメ®で返信する場合はP.140手順2へ進みます。
SMSを返信する場合はP.173手順3へ進みます。
送信すると「 」が「 」に変わります。

お知らせ

- 返信できない送信元(メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど)には「Fm」が表示されます。
- 返信または引用返信する際は題名に「Re:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で100文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。(すでに「Re:」が付いているときは「Re2:」となり、「Re99:」まで付きます。)
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、引用返信をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.156参照。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメール®の本文に挿入されている場合、画像が削除されて返信されます。

ｉモードメール転送

ｉモードメールやデコメアニメ®、SMSを他の人に転送できます。

1 受信メール詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶返信／転送▶転送▶宛先、題名を入力して送信する

ｉモードメール、デコメアニメ®を転送する場合はP.134手順2へ進みます。
SMSを転送する場合はP.173手順2へ進みます。
送信すると「」が「」に変わります。

お知らせ

- 転送する際は題名に「Fw:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で100文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。（すでに「Fw:」が付いているときは「Fw2:」となり、「Fw99:」まで付きます。）
- 取得されていないファイルがあるｉモードメールを転送すると、ファイルの情報は削除されます。
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、転送をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.156参照。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ（詳細）が添付されているメールを転送する場合、添付ファイルは詳細を取得する前のトルカになります。
- microSDカード内に保存されているメールを転送する場合は、添付ファイルは削除されます。

添付ファイルの確認・保存

FOMA端末では、2Mバイトまでの添付ファイルを受信できます。ただし、添付ファイルの合計が100Kバイトを超える場合は、一部またはすべての添付ファイルは情報だけが受信されますので、改めてｉモードセンターから取得する必要があります。
FOMA端末が対応しているのは以下のファイルです。

- 静止画
- メロディ
- ｉモーション
- ムービー
- トルカ
- PDF
- 電話帳
- スケジュール
- メモ
- Bookmark
- Word
- Excel
- PowerPoint
- Text

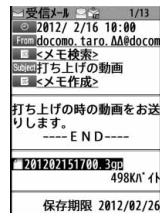
上記以外のファイルはFOMA端末で再生・表示できません。「SDその他ファイル」内の任意のフォルダに保存するか、またはｉモードメールで転送できます。
「添付ファイル優先受信設定」で受信するファイルを選択できます。

- 複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。
- 添付ファイルのサイズによっては、受信メールが複数件削除される場合があります。

選択受信添付ファイルの取得

ｉモードセンターに保管されている選択受信添付ファイルを取得します。

1 受信メール詳細画面▶取得前の添付ファイルを選択

取得完了後、ファイルが再生／表示されます。

ファイルの再生／表示

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを再生または表示できます。

1 送信メール詳細画面･受信メール詳細画面▶添付ファイルを選択

ファイルが再生または表示されます。

- ムービーの場合は、再生できない旨の確認画面が表示されます。ムービーを保存してから再生してください。
- 1ファイルが複数のデータを含んでいる電話帳、スケジュール、Bookmarkが添付されている場合、1件目のみが表示できます。

お知らせ

- 送信元の端末によっては、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
- 添付ファイルの1件目が取得済みの静止画の場合は、メール表示時にその静止画のみ自動的に表示されます。自動的に表示される静止画のサイズは13M(3120×4160)までです。ただし、メール本文に画像が挿入されているメールでは表示されません。
- 画像のサイズがディスプレイより大きいときは、縮小して表示されます。
- 100Kバイトを超えるメロディの場合は再生できません。
- 500Kバイトを超えるFlash画像の場合は再生できません。
- Flash画像に含まれているFlash® Videoは再生されません。
- トルカの場合1Kバイト、トルカ(詳細)の場合100Kバイトを超えていると表示できません。

ファイルの保存

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを保存できます。ファイルによっては着信音に設定できたり、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。

1 送信メール詳細画面･受信メール詳細画面･メッセージR/F詳細画面▶添付ファイルを選んでMENU(サブメニュー)▶ファイル操作▶データ保存▶YES

- ムービーの場合は、microSDカード内の「SDムービー」フォルダ内の保存先フォルダに保存されます。
- ドキュメントファイルの場合は、「ドキュメントビューア」内の保存先フォルダに保存されます。
- FOMA端末では対応していないファイルの場合は、「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。
- FOMA端末に対応しているファイルでも、サイズが大きすぎたり無効なデータのファイルなど、ファイルによってはFOMA端末に保存できないものがあります。この場合microSDカードに保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。
- 添付ファイルによっては、一部登録できない旨の確認画面が表示される場合があります。

2 保存したい保存先またはフォルダを選択

メロディの場合はP.195手順3へ進みます。
静止画の場合はP.194手順3へ進みます。

- 保存しているデータがいっぱいのときは、削除して保存するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択して削除したいデータを選択するか、P.196の操作を行います。

お知らせ

- 100Kバイトを超えるメロディの場合、FOMA端末には保存できません。
- 500Kバイトを超えるFlash画像の場合、FOMA端末には保存できません。
- トルカの場合1Kバイト、トルカ(詳細)の場合100Kバイトを超えていると、FOMA端末には保存できません。

受信BOX／送信BOX／保存BOX

受信BOXの表示

受信したｉモードメールやSMS、エリアメールを確認できます。

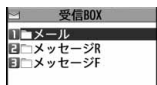
●お買い上げ時は、Welcomeメールが保存されています。

1 ✉▶受信BOX▶フォルダを選択

●メッセージR、メッセージFを表示する場合はP.169参照。

●ｉアプリメール用フォルダを選択すると、対応するメール連動型ｉアプリが起動します。

●「シークレットモード」「シークレット専用モード」に設定すると、「シークレット」フォルダが表示されます。

●未読のｉモードメールやSMS、エリアメールがあるときは、📷(未読ﾒｰﾙ)を押すと未読メールの一覧画面が表示されます。

受信フォルダ一覧画面

2 メールを選択

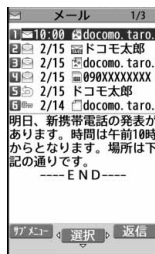
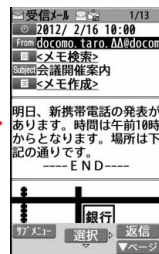
●未読のメールを選択した場合は「✉」が「✉」に変わります。

●デコメアニメ®の場合は、デコメアニメ®の再生画面が表示されます。また、デコメアニメ®によっては繰り返し再生されるものもあります。📷(閉)を押すと、受信メール詳細画面が表示されます。再度、デコメアニメ®を再生するには✉(表示)を押します。デコメアニメ®再生時の動作についてはP.143参照。

●◎で他のメールを確認できます。受信メール詳細画面で◎でデコメアニメ®を表示した場合は、デコメアニメ®の再生画面は表示されません。

●メールの本文が長い場合は◎で画面をスクロールして確認できます。ただし、デコメアニメ®再生中の場合はスクロールできません。

●送信元を選択すると、新規メール作成、電話帳登録、ブログメールグループ登録、アドレスコピーが行えます。

●同報メールの場合は同報先を選択すると、宛先一覧画面が表示されます。宛先一覧画面のサブメニューについてはP.162参照。

受信メール一覧画面

受信メール詳細画面

お知らせ

●Welcomeメールには通信料はかかっていません。

●Welcomeメールには返信できません。

●添付メロディ、メール本文中のFlash画像の効果音、デコメアニメ®本文の効果音は、「添付ファイル自動再生設定」の設定に従って鳴ります。ただし、メロディが添付されているメールで、メール本文中のFlash画像の効果音やデコメアニメ®本文の効果音がある場合は、メロディが優先され、効果音は鳴りません。

●バックグラウンド再生中は、メロディや効果音は鳴りません。

●Flash画像に含まれているFlash® Videoは再生されません。

送信BOXの表示

送信したｉモードメールやSMSを確認できます。

1 ✉▶**送信BOX**▶**フォルダを選択**

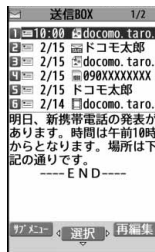
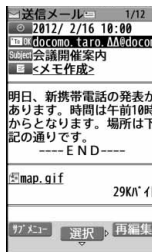
送信フォルダ一覧画面

- ｉアプリメール用フォルダを選択すると、対応するメール連動型ｉアプリが起動します。
- 「シークレットモード」「シークレット専用モード」に設定すると、「シークレット」フォルダが表示されます。

2 **メールを選択**

送信メール一覧画面

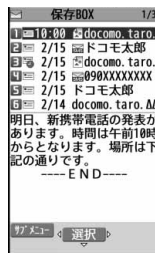
送信メール詳細画面

- デコメアニメ®の場合は、デコメアニメ®の再生画面が表示されます。📷(閉)を押すと、送信メール詳細画面が表示されます。再度、デコメアニメ®を再生するには✉(表示)を押します。デコメアニメ®再生時の動作についてはP.143参照。
- ◎で他のメールを確認できます。送信メール詳細画面で◎でデコメアニメ®を表示した場合は、デコメアニメ®の再生画面は表示されません。
- メールの本文が長い場合は◎で画面をスクロールして確認できます。ただし、デコメアニメ®再生中の場合はスクロールできません。
- 送信先を選択すると、新規メール作成、電話帳登録、ブログメールグループ登録、アドレスコピーが行えます。
- 同報メールの場合は送信先を選択すると、宛先一覧画面が表示されます。宛先一覧画面のサブメニューについてはP.162参照。

お知らせ

- 添付メロディ、メール本文中のFlash画像の効果音、デコメアニメ®本文の効果音は、「添付ファイル自動再生設定」の設定に従って鳴ります。ただし、メロディが添付されているメールで、メール本文中のFlash画像の効果音やデコメアニメ®本文の効果音がある場合は、メロディが優先され、効果音は鳴りません。
- バックグラウンド再生中は、メロディや効果音は鳴りません。

保存BOXの表示

送信せずに保存してあるｉモードメールやSMSを編集して送信できます。また、送信予約メールを設定／解除／確認できます。

1 ✉▶**保存BOX**

保存メール一覧画面

2 **メールを選択**

ｉモードメールを選択していた場合はP.134手順2へ進みます。デコメアニメ®を選択していた場合はP.140手順2へ進みます。SMSを選択していた場合はP.173手順2へ進みます。

- 送信予約メールを選択した場合、送信予約は解除されます。

お知らせ

- メールを保存するときにデスクトップに貼り付けるかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択するとデスクトップに「 」が表示されます。
  ◎を押し、「 」を選択すると、メール作成画面・デコメアニメ®作成画面・SMS作成画面が表示されます。

送受信BOX

1つのフォルダに特定のアドレスを登録することで、その相手と送受信したメールをまとめて表示できます。

- 送受信BOXには10個のフォルダが用意されています。（追加することはできません。）
- 1つのフォルダに1件のアドレスを登録できます。

アドレスの登録

フォルダに電話番号またはメールアドレスを登録します。

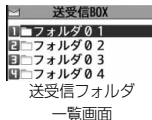
- フォルダ名は登録した電話番号またはメールアドレスとなります。電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。（先頭から表示可能な文字数分まで。）
- すでに他のフォルダに登録されているアドレスは登録できません。

1 **✉▶送受信BOX ▶フォルダを選んで📷(登録) ▶項目を選択**

送受信BOX
1 フォルダ０１
2 フォルダ０２
3 フォルダ０３
4 フォルダ０４

送受信フォルダ一覧画面

電話帳............電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。
送信アドレス一覧...電話番号またはメールアドレスを選択します。
受信アドレス一覧...電話番号またはメールアドレスを選択します。
直接編集..........メールアドレスや電話番号を入力します。

送受信フォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。
登録解除	登録されているアドレスを解除し、フォルダ名をお買い上げ時の状態に戻します。
フォルダ内メール全削除	フォルダ内のメールをすべて削除します。削除したメールは、「受信BOX」「送信BOX」からも削除されます。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。

送受信メールの表示

登録した相手と送受信したメールを表示します。

1 **✉▶送受信BOX▶フォルダを選択▶メールを選択**

- メールの一覧画面や詳細画面の操作は、「受信BOX」「送信BOX」と同様です。

メール一覧画面／メール詳細画面の見かた

■メールメニュー

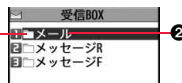
受信BOX、送信BOX、保存BOXには以下のマークが付きます。（「メニューテーマ」や「きせかえツール」の設定によっては、表示されるマークが異なることがあります。）

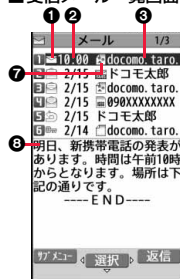
NEW	受信BOXに未読メール、メッセージあり
!	送信BOXに送信に失敗したメールあり 保存BOXに保存メールあり
🔑	BOXロック設定中

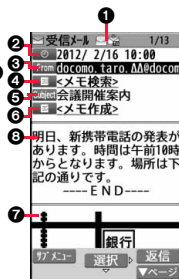
■受信フォルダ一覧画面

❶フォルダの状態

未読のメールがあるときは「」、フォルダロックを設定すると「」、自動振り分けを設定すると「」が表示されます。

	通常のフォルダ
	ｉアプリメール用フォルダ
	シークレットフォルダ

❷フォルダ名

■受信メール一覧画面と受信メール詳細画面

受信メール一覧画面
1行＋本文表示／
名前表示の場合

受信メール一覧画面
2行表示／名前表示の場合

受信メール詳細画面

❶メールの状態やタイプ

保護設定すると「」が表示されます。

	未読メール
	既読メール
	転送済みメール
	返信済みメール
	迷惑メール報告済メール
To　Cc　Bcc	受信したメールのタイプ（詳細画面のみ）

❷受信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日受信したメールは時刻が表示され、前日までに受信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。日付･時刻はセンターから受信した日本時間が表示されます。海外から送信されたSMSの場合は「」が表示されることがあります。

❸送信元･同報先の電話番号またはメールアドレス

電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されている場合、電話帳に登録されているアイコンも表示されます。（詳細画面のみ）

宛先が2件以上の同報メールの場合は件数が表示されます。（詳細画面のみ）

From	送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
Fm	返信できない送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
To　Cc	同報メールアドレス（詳細画面のみ）
To　Cc	返信できない同報メールアドレス（詳細画面のみ）

❹メモ検索ボタン

送信元メールアドレスに関連するメモを検索できます。

- ｉコンシェル未契約のときは利用できません。
- ドコモminiUIMカード内のSMSでは表示されません。

❺題名

一覧画面で表示可能な文字数は「メール一覧表示設定」や文字サイズの設定により異なります。また、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。

SMSの場合は、一覧画面のみ「SMS」または「SMS送達通知」と表示されます。

エリアメールの場合は、本文の最初の部分が表示されます。（詳細画面では「エリアメール」と表示されます。）

SMS	FOMA端末内のSMS
	ドコモminiUIMカード内のSMS
	エリアメール

❻メモ作成ボタン

表示中のメールを元にメモ作成ができます。

- ドコモminiUIMカード内のSMSでは表示されません。

❼添付／貼付データ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。
添付ファイルが削除されているとアイコンに「🗑」が付きます。

アイコン	内容
	メロディデータ
	貼付メロディデータ（詳細画面のみ）
	画像データ
	不正な挿入画像データ（詳細画面のみ）
	ｉモーション･ムービーデータ
	トルカデータ
PDF	PDFデータ
	ドキュメントデータ
	電話帳、スケジュール、メモ、Bookmarkデータ
	その他ファイルデータ
	取得前の添付データ
	取得途中で中断された添付データ
	取得に失敗した添付データ
	ｉアプリ起動情報（一覧画面のみ）
	ｉアプリメール（一覧画面のみ）
	複数のデータ（一覧画面のみ）データの一部が削除されていると「 」が、全部削除されていると「 」が表示されます。
	複数の貼付データ
	ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されているデータ

❽本文

本文に続きがある場合は「»」が表示されます。（一覧画面のみ）

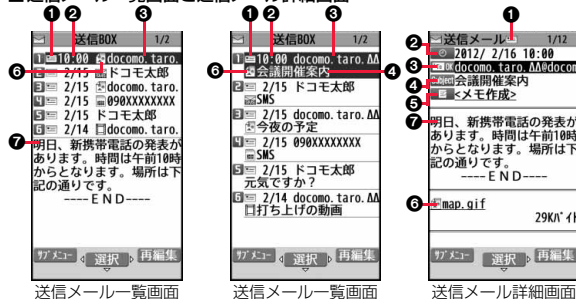
■送信フォルダ一覧画面

❶フォルダの状態

フォルダロックを設定すると「🔒」、自動振り分けを設定すると「 」が表示されます。

アイコン	内容
	通常のフォルダ
	ｉアプリメール用フォルダ
	シークレットフォルダ

❷フォルダ名

■送信メール一覧画面と送信メール詳細画面

送信メール一覧画面 1行＋本文表示／名前表示の場合

送信メール一覧画面 2行表示／名前表示の場合

送信メール詳細画面

❶メールの状態

保護設定すると「🔑」が表示されます。

アイコン	内容
	送信に成功したメール
	送信に失敗したメール
	すべての宛先に送信できた同報メール
	一部の宛先に送信できた同報メール
	すべての宛先に送信できなかった同報メール

❷送信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日送信したメールは時刻が表示され、前日までに送信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、送信した日時が表示されます。
日付･時刻が補正されている場合は「🕘」が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス
同報メールの場合は件数が表示されます。(詳細画面のみ)

To OK　Cc OK　Bcc OK	送信に成功したメールアドレス(詳細画面のみ)
To ×　Cc ×　Bcc ×	送信に失敗したメールアドレス(詳細画面のみ)

❹題名
一覧画面で表示可能な文字数は「メール一覧表示設定」や文字サイズの設定により異なります。また、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。
SMSの場合は、一覧画面のみ「SMS」と表示されます。

SMS	FOMA端末内のSMS
	ドコモminiUIMカード内のSMS
	SMS送達通知受信済み(2行表示のみ)

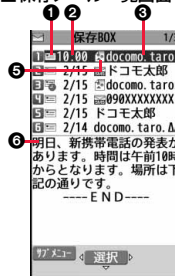
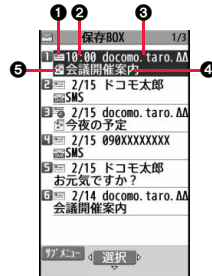
❺メモ作成ボタン
表示中のメールを元にメモ作成ができます。
●ドコモminiUIMカード内のSMSでは表示されません。

❻添付データ
詳細画面ではデータの容量も表示されます。
添付ファイルが削除されているとアイコンに「🗑」が付きます。

	メロディデータ
	画像データ
	不正な挿入画像データ(詳細画面のみ)
	iモーション･ムービーデータ
	トルカデータ
PDF	PDFデータ
	ドキュメントデータ
	電話帳、スケジュール、メモ、Bookmarkデータ

	その他ファイルデータ
	iアプリメール(一覧画面のみ)
	複数のデータ(一覧画面のみ)データの一部が削除されていると「 」が、全部削除されていると「 」が表示されます。
	ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されているデータ

❼本文
本文に続きがある場合は「 」が表示されます。(一覧画面のみ)

■保存メール一覧画面

1行+本文表示／名前表示の場合

2行表示／名前表示の場合

❶メールの状態
迷惑メール報告メールには「⊘」が表示されます。

	通常のメール
	同報メール

	日時指定送信予約メール
	圏内自動送信予約メール
	自動送信失敗メール

❷保存した時刻や日付
メール一覧画面では、当日保存／送信予約／自動送信失敗したメールは時刻が表示され、前日までに保存／送信予約／自動送信失敗したメールは日付が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

❹題名
一覧画面で表示可能な文字数は「メール一覧表示設定」や文字サイズの設定により異なります。また、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。
SMSの場合は、「SMS」と表示されます。

SMS	SMS

❺添付データ

	メロディデータ
	画像データ
	ｉモーション･ムービーデータ
	トルカデータ
	PDFデータ
	ドキュメントデータ
	電話帳、スケジュール、メモ、Bookmarkデータ
	その他ファイルデータ
	複数のデータ
	ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されているデータ

❻本文
本文に続きがある場合は「 」が表示されます。

お知らせ
- 受信メール／送信メール／保存メール一覧画面の表示を変更するには、P.166「メール一覧表示設定」をご覧ください。
- 「メール一覧表示設定」で「名前表示」を選択していると、送信元や送信先は電話帳に登録されている名前が表示されます。また、送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録された電話帳と一致したメールは表示されません。シークレットモードもしくはシークレット専用モードに設定すると表示されます。
送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録されていない電話帳と一致しても、シークレット専用モードに設定していると表示されません。シークレットモードに設定するかシークレット専用モードを解除すると表示されます。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、Bアドレス／Bナンバー宛の受信メール、送信者アドレスがBアドレスの送信メール･保存メールには、「B」が表示されます。

メールの管理

受信フォルダ一覧画面･送信フォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ操作		
	フォルダ追加	新規フォルダを追加します。また、追加したフォルダに自動振り分けを設定したり、受信BOXと送信BOXに同じフォルダを追加したりできます。 ●自動振り分けを設定していた場合、同じ振り分け条件でフォルダが追加されます。(「返信不可振分け」「送信失敗振分け」「電話帳登録なし」に設定していた場合を除く)
	フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。
	フォルダ並び替え	フォルダを並べ替えます。
	フォルダ削除	削除します。 ●シークレット登録した相手から受信したメールを含めてフォルダ内のメールもすべて削除されます。
	フォルダロック	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
フォルダ内表示		メール連動型ｉアプリを起動することなくｉアプリ用メールフォルダ内のメールを表示できます。
自動振分け設定		P.164参照
ショートカット作成		ショートカットを作成します。
外部送信		
	赤外線全送信	赤外線通信で全件送信します。
	iC全送信	iC通信で全件送信します。
microSDへ全コピー		microSDカードへ全件コピーします。
保存件数確認		受信メール、送信メールの保存件数を表示します。
削除		

	既読メール全削除 [受信フォルダのみ]	全受信フォルダ内の既読メールをすべて削除します。ドコモminiUIMカード内の既読SMSもすべて削除されます。
	受信メール全削除 [受信フォルダのみ]	全受信フォルダ内のメールをシークレット登録した相手から受信したメールも含めてすべて削除します。ドコモminiUIMカード内の受信SMSもすべて削除されます。
送信メール全削除 [送信フォルダのみ]		全送信フォルダ内のメールをシークレット登録した相手から受信したメールも含めてすべて削除します。ドコモminiUIMカード内の送信SMSもすべて削除されます。

お知らせ

<フォルダ削除>
- 2in1のモードに関わらず、Aモード･Bモードのすべてのｉモードメール･SMSが削除されます。
- 対応するメール連動型ｉアプリがある場合、ｉアプリメール用フォルダは削除できません。
  ソフトがない場合はｉアプリメール用フォルダを削除できますが、送信フォルダ一覧画面、受信フォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。

<フォルダロック>
- フォルダロックが設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名編集できません。
- 送受信時にフォルダロックが設定されたフォルダに保存されたメールは、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

<受信メール全削除><送信メール全削除>
- 2in1のモードに関わらず、Aモード･Bモードのすべてのｉモードメール･SMSが削除されます。
- シークレットフォルダ内のメールは削除されません。

受信メール一覧画面･送信メール一覧画面･保存メール一覧画面のサブメニュー

返信 [受信メールのみ]		メールに返信します。
再編集 [送信メールのみ]		送信したメールを再編集して送信します。 ●(TV)(再編集)を押しても再編集できます。
送信予約		
	設定 [保存メールのみ]	送信したい日時を指定して、日時指定送信予約メールとして設定します。
	解除 [保存メールのみ]	送信予約メールや自動送信失敗メールを通常の保存メールに変更します。
	予約確認 [保存メールのみ]	日時指定送信予約メールの送信日時を表示します。
	送信失敗確認 [保存メールのみ]	自動送信に失敗した理由を表示します。
保護 [受信メール･送信メール]		メールを上書き･削除されないように保護します。また、保護しているメールを解除できます。 保護すると「On」が表示されます。
移動／コピー		
	フォルダ移動 [受信メール･送信メール]	フォルダ内のメールを別のフォルダに移動します。
	UIMカード操作 [受信メール･送信メール]	P.401参照
	microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
	お預かりセンターに保存	P.128参照
検索／並び替え		
	メール検索 [受信メール･送信メール]	フォルダ内のすべてのメールから検索条件を指定して検索します。
	ソート [受信メール･送信メール]	表示される順番を変更します。

	フィルタ [受信メール･送信メール]	条件に合うメールのみを表示します。
	全表示 [受信メール･送信メール]	メール検索･ソート機能･フィルタ機能を行ったあと、すべてのメールを「新しい順」で表示します。
表示設定		
	色分け [受信メール･送信メール]	受信メール一覧画面や送信メール一覧画面の文字に色を付け分別できます。「指定なし」を選択すると通常の文字色になります。 ●(＊)を1秒以上押すごとに色を変えることもできます。
	一覧表示切替	一覧画面で表示する内容を選択します。送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを選択できます。 「メール一覧表示設定」の設定によっては題名で表示するように設定できます。 ●(#)を1秒以上押すごとに切り替えることもできます。
すべて既読 [受信メールのみ]		フォルダ内の未読メールをすべて既読にします。メール検索機能やフィルタ機能利用中は、表示されているメールのみ既読になります。
外部送信		
	赤外線送信	赤外線通信で送信します。
	赤外線全送信 [保存メールのみ]	
	iC送信	iC通信で送信します。
	iC全送信 [保存メールのみ]	
メール情報 [受信メールのみ]		送信元のメールアドレスや電話番号、受信日時、題名を表示します。

保存件数確認	受信メール、送信メール、保存メールの保存件数を表示します。
受信／拒否設定 [受信メールのみ]	送信元のアドレスに対して、受信の許可、拒否の設定をサイトで登録します。 ●受信／拒否設定の詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。
迷惑メール報告 [受信メールのみ]	簡単な操作で、受信したメールから法令に違反して送信された広告宣伝を目的とした迷惑メールや迷惑SMSをドコモに転送したりすることができます。 ※ドコモでは法令に違反した迷惑メール/SMSの送信者への措置などの対策を講じるため、お客様からの情報提供をお願いしております。 ●宛先には迷惑メール情報提供用のアドレスが入力されます。そのまま送信してください。 ●迷惑メール報告済みのメールには「⊘」が表示されます。
削除	削除します。
シークレットに保管 [受信メール･送信メール]	メールを「シークレット」フォルダに移動して、シークレットメールとして登録します。
シークレットから出す [受信メール･送信メール]	「シークレット」フォルダに登録されているシークレットメールを別のフォルダに移動して、シークレットを解除します。

お知らせ

<送信予約>

●すでに送信予約を設定しているメールや自動送信失敗メールを再度送信予約設定しようとすると、送信予約が一度解除されます。

<メール検索>

●「題名検索」で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

お知らせ

＜色分け＞

- microSDカードへコピーした場合や、ドコモminiUIMカードへコピー･移動、ドコモminiUIMカードからコピー･移動した場合、または赤外線送信、iC送信した場合は、色分けは解除されます。
- ドコモminiUIMカード内のSMSには色分けを設定できません。

＜一覧表示切替＞

- 保存メール一覧画面では、「表示設定」は表示されずに「一覧表示切替」を選択する操作となります。

＜迷惑メール報告＞

- 迷惑メール/SMSの情報をドコモに転送いただく際、お客様による受信時には削除されている対象迷惑メール/SMSの送信経路情報などを、システムまたはFOMA端末の機能により自動的に付加させていただいた上で情報提供いただく場合があります。

＜削除＞

- シークレットモードまたはシークレット専用モードで表示されていないｉモードメール･SMSは削除されません。

＜シークレットに保管＞＜シークレットから出す＞

- 通常のモード（「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外）では表示されません。

受信メール詳細画面･送信メール詳細画面のサブメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">返信／転送
［受信メールのみ］</td><td>メールを返信または転送します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再編集
［送信メールのみ］</td><td>P.159参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">再送信
［送信メールのみ］</td><td>送信したメールを再送信します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモ作成</td><td>表示中のメールを元にメモ作成ができます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモ検索
［受信メールのみ］</td><td>送信元メールアドレスに関連するメモを検索できます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">保護／保護解除</td><td>P.159参照</td></tr>
<tr><td colspan="3">移動／コピー</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>コピー</td><td>コピーします。
●コピーの方法についてはP.411参照。
●送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、コピーしたいメールアドレスや電話番号を選択します。</td></tr>
<tr><td>フォルダ移動</td><td>フォルダ内のメールを別のフォルダに移動します。</td></tr>
<tr><td>UIMカード操作</td><td>P.401参照</td></tr>
<tr><td>microSDへコピー</td><td>microSDカードへコピーします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">クイック検索
［受信メールのみ］</td><td>P.188参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">辞典検索
［送信メールのみ］</td><td>P.400参照</td></tr>
<tr><td colspan="3">ファイル操作</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>データ保存</td><td>P.151参照</td></tr>
<tr><td>挿入画像保存</td><td>P.142参照</td></tr>
</table>

デコメ絵文字保存 [受信メールのみ]	メール本文中にあるデコメ絵文字®を保存します。最大20個のデコメ絵文字®から選択できます。 ●「選択保存」「全保存」でデコメ絵文字®を保存すると、デコメ絵文字®を編集するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとデコメ絵文字®編集画面が表示されます。P.414手順2へ進みます。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。 ●保存したデコメ絵文字®の確認方法についてはP.320参照。
デコメール保存	P.136参照
プロパティ	本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。
添付ファイル削除	削除します。
添付ファイル全削除	
受信／拒否設定 (迷惑メール対策) [受信メールのみ]	選択しているアドレス(送信元や同報先またはメール本文に記載されているアドレス)に対して、受信の許可、拒否の設定をサイトで登録します。 ●迷惑メール対策の詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
登録	
アドレス／番号登録	
電話帳	P.85参照
ブログ･メールグループ	メールアドレスや電話番号をブログ･メールグループに登録します。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
表示設定	
スクロール設定	P.166参照
文字サイズ設定	P.111「メール」参照
SMS送達通知表示 [送信メールのみ]	SMSの送信結果や相手に届いた日時などを確認します。SMS送達通知を受信するには、「送達通知設定」を「要求する」に設定してください。
外部送信	
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
iC送信	iC通信で送信します。
迷惑メール報告 [受信メールのみ]	P.160参照
削除	削除します。
シークレットに保管	P.160参照
シークレットから出す	P.160参照

お知らせ

<再送信>

●送信に失敗したメールは、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。すべての宛先に送信失敗している同報メールも、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。

宛先一覧画面のサブメニュー

アドレスコピー	コピーします。
受信／拒否設定 [受信メールのみ]	選択しているアドレスに対して、受信の許可、拒否の設定をサイトで登録します。
登録	
アドレス／番号登録	
電話帳	P.85参照
ブログ･メールグループ	メールアドレスや電話番号をブログ･メールグループに登録します。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。

送信アドレス一覧／受信アドレス一覧

ｉモードメールやSMSを送受信すると、送信アドレス一覧と受信アドレス一覧にそれぞれ50件まで記憶され、相手のメールアドレスや電話番号を確認できます。同じメールアドレスまたは電話番号との送受信があった場合、古いデータは削除されます。

■送信アドレス一覧･受信アドレス一覧のアイコン

一覧画面	詳細画面	説明
／	／	送受信したｉモードメール／送信に失敗したｉモードメール
／	SMS／SMS	送受信したSMS／送信に失敗したSMS
	フェムトセル	フェムトセルでの受信
		時刻が時差補正された履歴
B		Bアドレスで送受信したｉモードメール、Bナンバーで受信したSMS（2in1のモードがデュアルモードの場合のみ）

1 発着信一覧から表示する場合

○▶📷を3回または4回押す

受信アドレス一覧または送信アドレス一覧が表示されます。

- 📷を押すごとに、発着信一覧、着信履歴、リダイヤル、受信アドレス一覧、送信アドレス一覧が切り替わります。
- ✉（▲ページ）／iα（▼ページ）を押すとページ単位で画面をスクロールできます。

受信アドレス一覧
1 2/16 10:00
docomo.taro.ΔΔ@docomo.
2 2/15 12:00
090XXXXXXXX
3 2/14 10:50
ドコモ太郎

受信アドレス一覧の場合

リダイヤル･発信履歴から表示する場合

MENU▶電話機能▶発着信履歴▶リダイヤル･発信履歴▶iα（表示切替）

送信アドレス一覧が表示されます。

- 「MyFACE利用設定」を「利用しない」に設定している場合は、待受画面で○を1秒以上押しても送信アドレス一覧を表示できます。
- iα（表示切替）を押すごとに、リダイヤル･発信履歴と送信アドレス一覧が切り替わります。

着信履歴から表示する場合

MENU▶電話機能▶発着信履歴▶着信履歴▶全着信･不在着信▶iα（表示切替）

受信アドレス一覧が表示されます。

- 「MyFACE利用設定」を「利用しない」に設定している場合は、待受画面で○を1秒以上押しても受信アドレス一覧を表示できます。
- iα（表示切替）を押すごとに、着信履歴と受信アドレス一覧が切り替わります。

2 **表示したい履歴を選択**

アドレス一覧の詳細画面が表示されます。

- 相手の電話番号が通知されなかったSMSの場合は、非通知理由が表示されます。

送信アドレス一覧･受信アドレス一覧表示中のサブメニュー

メール作成	ｉモードメールを作成します。宛先欄にメールアドレスが入力されます。 ● ｉモードメールのアドレス一覧の詳細画面で●（✉MAIL）を押してもｉモードメールを作成できます。
SMS作成	SMSを作成します。宛先欄に電話番号が入力されます。 ●SMSのアドレス一覧の詳細画面で●（✉MAIL）を押してもSMSを作成できます。

電話発信	メールアドレスが電話帳に登録されているとき、電話帳の電話番号に電話をかけます。
電話帳登録	電話帳に登録します。 ●アドレス一覧の詳細画面で[TV]（登録）を押しても電話帳に登録できます。
電話帳参照	電話帳詳細画面を表示します。
ブログメールグループ登録	メールアドレスをブログ･メールグループに登録します。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
送信アドレス一覧･発着信一覧表示 ［発着信一覧から表示した場合のみ］	送信アドレス一覧または発着信一覧を表示します。
リダイヤル表示･発信履歴表示 ［リダイヤル･発信履歴から表示した場合のみ］	リダイヤルまたは発信履歴を表示します。
着信履歴表示 ［着信履歴から表示した場合］	着信履歴（全着信）を表示します。
拡大表示･標準表示	発着信一覧、リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧の文字サイズを切り替えます。
microSD内一覧 ［発着信一覧から表示した場合のみ］	P.37参照
MyFACE利用設定 ［発着信一覧から表示した場合のみ］	MyFACE機能を利用するかどうかを設定します。
削除	削除します。

自動振分け設定

設定した条件に合うメールを、自動的に指定のフォルダに保存します。追加したフォルダ、iアプリメール用フォルダにのみ設定できます。

1 受信フォルダ一覧画面･送信フォルダ一覧画面▶[MENU]（サブメニュー）▶自動振分け設定

P.165「自動振分け設定画面のサブメニュー」の操作を行って自動振り分けを設定します。
すでに振り分け条件を設定しているフォルダを選択した場合は、自動振分け設定画面が表示されます。

条件を変更するときは

再設定するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると以前に設定されていた条件が解除され、新たに再設定されます。

同じ条件が他のフォルダに設定されているときは

変更するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると他のフォルダに設定されていた条件は解除され、選択しているフォルダに設定を変更します。
●フォルダロックがかかっているフォルダに設定されている場合は、設定を変更できません。

お知らせ

●各フォルダに登録したアドレスの合計が700件まで登録できます。
●複数の条件にあてはまる場合、以下の優先順位で自動振り分けをします。
①すべて振分け
②題名振分け
③返信不可振分け･送信失敗振分け
④アドレス振分け（アドレス参照入力、直接入力）
⑤アドレス振分け（ブログ･メールグループ）
⑥アドレス振分け（電話帳グループ）
⑦A／Bモード振分け
⑧電話帳登録なし
●エリアメールは「すべて振分け」でのみ振り分けできます。

お知らせ

- 振り分け条件にあてはまらないメールは「メール」フォルダまたは「送信BOX」フォルダに振り分けられます。

自動振分け設定画面のサブメニュー

項目		説明
アドレス振分け		
	アドレス参照入力	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を電話帳や受信・送信アドレス一覧から設定します。
	電話帳グループ	フォルダに振り分けるグループを設定します。
	ブログ・メールグループ	フォルダに振り分けるブログ・メールグループを設定します。
	直接入力	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を、直接入力します。 ● メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。電話番号のみを入力するとSMSも振り分けることができます。
題名振分け		フォルダに振り分けるｉモードメールの題名を入力します。1つのフォルダに設定できる題名は1件です。
返信不可振分け［受信フォルダのみ］		返信不可のメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
送信失敗振分け［送信フォルダのみ］		送信に失敗したメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
すべて振分け		すべてのメールをｉアプリメール用フォルダに振り分けるよう設定します。受信と送信それぞれ1つのｉアプリメール用フォルダにのみ設定できます。 「すべて振分け」を設定すると、他の振り分け設定は無効となります。
A／Bモード振分け		2in1のAアドレス／Bアドレスを振り分けるように設定します。受信と送信それぞれ1つのフォルダにのみ設定できます。デュアルモード中に設定・確認できます。
電話帳登録なし		送信元／宛先が電話帳に登録されていないメールを振り分けるように設定します。受信と送信それぞれ1つのフォルダにのみ設定できます。
アドレス／題名編集		フォルダに設定したメールアドレス、電話番号、題名を編集・登録します。
一覧表示切替		メールの宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ● #を1秒以上押しても切り替えることができます。
解除		解除します。

お知らせ

<電話帳グループ>
- 自動振分け設定画面では、グループ名の前に「GR」が表示されます。
- ドコモminiUIMカード内のグループは設定できません。
- 通常のモード（「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外）でシークレット登録した相手からメールを受信した場合は、フォルダに振り分けられません。

<ブログ・メールグループ>
- 自動振分け設定画面では、ブログ・メールグループ名の前に「BM」が表示されます。

<題名振分け>
- 題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、「メール」フォルダや「送信BOX」フォルダに最も近いフォルダに振り分けられます。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けできません。
- SMSは題名振り分けできません。

<すべて振分け>
- SMS送達通知やドコモminiUIMカードに直接受信したSMSは振り分けされません。

メール設定

1 ✉▶**メール設定**▶**以下の操作を行う**

●選択している項目のショートカットを作成できます。(P.40参照)

項目		内容
受信設定		
	メール選択受信設定	P.148参照
	添付ファイル優先受信設定	iモードメール受信時に添付ファイルも受信するかどうかを設定します。チェックを外している添付ファイルはiモードセンターに保管されます。(チェックを付けていても、添付ファイルの合計が100Kバイトを超える場合は一部またはすべての添付ファイルがiモードセンターに保管されます。) ●「ツールデータ」にチェックを付けると電話帳、スケジュール、Bookmarkを受信します。 ●「その他」にチェックを付けるとムービー、ドキュメントファイル、FOMA端末では対応していないファイルを受信します。
	添付ファイル自動再生設定	メールの本文を表示時またはメッセージR/F表示時に、添付または貼り付けられているメロディや効果音を自動再生するかどうかを設定します。
	メール着信音	メール、メッセージR/Fの着信音や鳴動時間を設定します。
表示設定		
	メモ検索ボタン表示設定	受信メール詳細画面にメモ検索ボタンを表示するかどうかを設定します。
	受信時動作設定	他の機能を操作中でもメール受信中やメール受信結果の画面を表示するかどうかを設定します。 ●「通知優先」に設定していると、FOMA端末を操作しているときや通話中も受信中や受信結果の画面を表示します。「操作優先」に設定していると、待受画面表示中にのみ受信中や受信結果の画面を表示します。
	メッセージ自動表示設定	P.169参照
	スクロール設定	メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面・メール作成画面・プレビュー表示の画面などで◎を押したときにスクロールする行数を設定します。
	文字サイズ設定	P.111「メール」参照
	メール一覧表示設定	メール一覧画面の表示方法を設定します。
	メッセージ一覧表示設定	メッセージR/F一覧画面の表示方法を設定します。
	メール本文表示設定	受信メールを通常表示(先頭から表示)するか、本文から表示するか設定します。
本文入力時予測		
	時季参照予測	季節(春夏秋冬)や時間帯(朝昼夜)に合わせて予測変換候補の内容を変更するかどうかを設定します。
	文章入力表現	予測変換候補の内容を、かたい表現(文語的な表現)を優先して表示したり、やわらかい表現(口語的な表現)を優先して表示したりできます。
冒頭文／署名設定		P.167参照
定型文／単語登録		
	定型文	P.410参照
	単語登録	P.412参照
BOXロック		P.125参照
メール／メッセージ問合せ設定		「メール／メッセージ問合せ」をするときに問い合わせる項目をiモードメール、メッセージR、メッセージFの中から設定します。
ブログ・メールグループ		メールアドレスや電話番号をブログ・メールグループに登録します。
アドレス・迷惑メール設定		メール設定のサイトに接続し、メールアドレスや迷惑メール対策の設定や確認を行います。

編集時自動保存設定		メール作成時に⌒を連続で押して終了してしまった場合、編集中のメールを自動で保存するかどうかを設定します。
SMS設定		
	送達通知設定	P.175参照
	有効期間設定	P.175参照
	本文入力設定	P.175参照
	センター設定	P.175参照
緊急速報「エリアメール」設定		
	受信設定	P.172参照
	ブザー鳴動時間	P.172参照
	マナー／公共モード時設定	P.172参照
	着信音確認	P.172参照
	その他	P.172参照
かんたんデコメ設定		
	絵文字挿入量	「かんたんデコメ」で挿入するデコメ絵文字®の量を設定します。
	文字色更新	「かんたんデコメ」で文字色を変更するかどうかを設定します。
	文字サイズ更新	「かんたんデコメ」で文字サイズを変更するかどうかを設定します。
	背景色更新	「かんたんデコメ」で背景色を変更するかどうかを設定します。
メール設定確認		「メール設定」の各設定内容を確認します。
メール設定リセット		「メール設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。リセットされる項目についてはP.450「機能一覧表」を参照してください。

お知らせ

<添付ファイル自動再生設定>
- バックグラウンド再生中は、「添付ファイル自動再生設定」を「自動再生する」に設定していても、添付または貼り付けられているメロディや効果音は再生されません。

<受信時動作設定>
- 以下の場合は「通知優先」に設定していても受信結果画面が表示されません。
  ･通話中　･カメラ起動中　･ワンセグ視聴中
  ･ｉアプリ待受画面に設定したｉアプリを通常のｉアプリとして実行中

<メール／メッセージ問合せ設定>
- メッセージRやメッセージFをメール／メッセージ問合せで受信したくない場合は、「□」にしてください。

<編集時自動保存設定>
- 「ON」に設定した場合、宛先や題名、本文を入力中に⌒を連続で押して終了したときは、確定済みの文字が入力された状態で保存BOXに保存されます。

冒頭文／署名設定

冒頭文･署名･引用符を登録します。また、冒頭文や署名を自動的に貼り付けるかどうかも設定します。

1 ✉▶メール設定▶冒頭文／署名設定▶以下の操作を行う
- 「冒頭文／署名設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

冒頭文編集	冒頭文を編集します。冒頭文とは、本文の最初に書く挨拶文のことです。
署名編集	署名を編集します。署名とは、本文の最後に書く自分の名前などのことです。
引用符編集	引用符を編集します。引用符とは、引用返信するときなどに受信メールから引用したことを表す記号です。
自動貼付設定	冒頭文／署名を自動で貼り付けるかどうかを設定します。 ● 1通ごとの冒頭文貼付、署名貼付についてはP.136参照。

お知らせ
- 冒頭文や署名にもデコレーションを設定できます。

お知らせ

- ●「自動貼付設定」でチェックを付けていても、テンプレートからｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。また、ｉアプリから作成するときは貼り付けられない場合があります。
- ●デコメアニメ®、SMSには冒頭文、署名、引用符を貼り付けることはできません。

メールテロップ表示設定

ｉモードメール･SMS･メッセージR/Fを受信したとき、画面の上部にテロップでお知らせするかどうかを設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面･ディスプレイ**▶**メールテロップ表示設定**▶**項目を選択**

送信元のみ表示. . . . . . .送信元を表示します。
送信元と題名を表示 . . .送信元と題名を表示します。
表示しない . . . . .メールテロップを表示しません。

- ●電話帳に登録している相手からのメールを受信した場合、送信元の名前が表示されます。
- ●「メールテロップ表示設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- ●以下の場合はメールテロップを表示する設定にしていてもメールテロップが表示されません。
  ･ｉモーションを全画面で再生中　　･ムービーを全画面で再生中
  ･Music&Videoチャネルを全画面で再生中

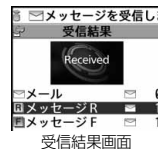
メッセージR/F受信

メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
FOMA端末が圏内にあるときには、ｉモードセンターから自動的にメッセージR/Fが送られてきます。
メッセージR/Fが届くと画面の上部に「R」や「F」が表示されます。

1 **メッセージR/Fを受信すると「R」または「F」が点滅し、受信中のメッセージが表示される**

受信結果画面

受信が終わると、受信したメッセージR/Fの件数が表示され、画面の上部にテロップが表示されます。

- ●「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージR/F一覧画面が表示されます。
- ●「メッセージ自動表示設定」が「自動表示しない」以外に設定されていると、受信したメッセージR/Fの内容が自動で表示されます。自動表示は約15秒間行われます。
- ●何も操作しなかった場合はデスクトップに「R/F メッセージ」(P.29参照)が表示され、元の画面に戻ります。
  ●を押し、「R/F メッセージ」を選択すると、メッセージR/F詳細画面が表示されます。

お知らせ

- ●ｉアプリ起動中、公共モード(ドライブモード)中、ダイヤルロック中、「オリジナルロック」で「メール」「メール／メッセージ受信表示」をロック中は、メッセージR/Fを受信しても自動表示しません。
- ●最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古いメッセージR/Fから順に削除されます。ただし、未読または保護しているメッセージR/Fは削除されません。
- ●FOMA端末がこれ以上メッセージR/Fを受信できない場合は、「R(橙色)」または「F(橙色)」が表示されます。不要なメッセージR/Fを削除するか、未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除してください。

お知らせ

- 「R」または「F」のアイコンが表示されたときは、i モードセンターにメッセージR/Fが保管されています。「R(橙色)」または「F(橙色)」のアイコンが表示されたときは、i モードセンターにメッセージR/Fがいっぱいです。「メール／メッセージ問合せ」を行ってメッセージR/Fを受信してください。
- 自動表示後も、メッセージR/F一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中にスクロールなどの操作を行ったときは既読となります。
- 以下のような場合にメッセージR/Fを受信したときは、i モードセンターに保管されます。
  ･電源OFFのとき　･テレビ電話中　･セルフモード設定中
  ･圏外のとき　･赤外線通信中　･FirstPassセンター接続中
  ･おまかせロック中　･iC通信中　･お預かりセンターに接続中
  ･保護または未読のメッセージにより、メッセージR/Fの容量が満杯のとき
  ･お預かりセンターからメールデータダウンロード後のメールデータ保存中

メッセージ自動表示設定

待受中、音声電話中にメッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 **[メール]▶メール設定▶表示設定▶メッセージ自動表示設定▶項目を選択**

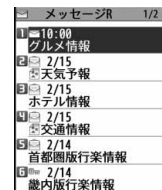
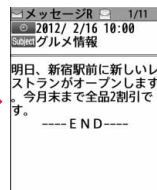
メッセージR優先. . . メッセージRを自動表示します。メッセージRがないときはメッセージFを表示します。
メッセージF優先. . . メッセージFを自動表示します。メッセージFがないときはメッセージRを表示します。
メッセージRのみ. . . メッセージRのみを自動表示します。
メッセージFのみ. . . メッセージFのみを自動表示します。
自動表示しない. . . . 自動表示しません。

お知らせ

- 音声電話中にメッセージR/Fを受信した場合、自動表示は通話終了後に行われます。
- 「受信BOX」に「BOXロック」が設定されている場合は、自動表示されません。

メッセージR/F表示

1 **[メール]▶受信BOX▶メッセージR･メッセージF▶表示したいメッセージR/Fを選択**

- 未読のメッセージR/Fを選択した場合は「[未読]」が「[既読]」に変わります。
- [上下]で他のメッセージR/Fを確認できます。
- メッセージR/Fの本文が長い場合は[上下]で画面をスクロールして確認できます。

メッセージR/F一覧画面

メッセージR/F詳細画面

■メッセージR/F一覧画面とメッセージR/F詳細画面について

メッセージR/F一覧画面
2行表示の場合
メッセージR/F詳細画面

❶**メッセージR/Fの状態**

保護設定すると「[保護]」が表示されます。

アイコン	説明
[未読]	未読のメッセージR/F
[既読]	既読のメッセージR/F

❷**受信した時刻や日付**

一覧画面では、当日受信したメッセージR/Fは時刻が表示され、前日までに受信したメッセージR/Fは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。

❸題名

❹添付または貼り付けられているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

	正常なメロディデータ
	正常な画像データ
	正常なトルカデータ
	複数の添付データ
	ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されているデータ

❺本文

電話帳に登録されている電話番号は、電話帳に登録されている名前で表示されます。

メッセージR/F一覧画面のサブメニュー

保護		メッセージR/Fを上書き･削除されないように保護します。また、保護しているメッセージR/Fを解除できます。保護すると「」が表示されます。
検索／並び替え		
	ソート	表示される順番を変更します。
	フィルタ	条件に合うメッセージR/Fのみを表示します。
	全表示	ソート機能やフィルタ機能を行ったあとに、それらを解除してすべてのメッセージR/Fを「新しい順」で表示します。
保存件数確認		FOMA端末に保存しているメッセージR/Fの総件数、未読件数、保護件数を表示します。
削除		削除します。

メッセージR/F詳細画面のサブメニュー

保護／保護解除		P.170参照
クイック検索		P.188参照
ファイル操作		
	データ保存	P.151参照
	挿入画像保存	P.142参照
	背景画像保存	背景として表示されている画像を保存します。
文字サイズ設定		P.111「メール」参照
アドレス／番号登録		P.85参照
削除		削除します。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 下記のような場合は受信できません。※1
  - ・おまかせロック中
  - ・セルフモード設定中
  - ・国際ローミング中
  - ・音声電話中
  - ・テレビ電話中
  - ・赤外線通信中
  - ・iC通信中
  - ・圏外のとき
  - ・電源OFFのとき
- 下記のような場合は受信できないことがあります。※1※2
  - ・ｉモード通信中
  - ・データ通信中
  - ・お預かりセンターに接続中
  - ・ソフトウェア更新中
  - ・パターンデータ更新中
  - ・USB接続で通信中

※1 受信できなかったメッセージを再度受信することはできません。

※2 受信できた場合でも、内容は自動表示されません。

- 下記のような場合などは受信しても内容は自動表示されません。
  - ・公共モード（ドライブモード）中（「マナー／公共モード時設定」を「各モードに従う」に設定している場合）
  - ・microSDカード操作中
  - ・ｉモーション、ムービーのストリーミング再生中

緊急速報「エリアメール」受信

エリアメールを受信すると、エリアメール専用の着信音が鳴ります。「着信音量」や「鳴動時間」「バイブレータ設定」は「メール」の設定に従います。

緊急地震速報を受信した場合は、専用のブザー（警報音）が鳴り、バイブレータでお知らせします。また、内容が自動的に表示されます。「着信音量」は「レベル6」、「バイブレータ設定」は「メロディ連動」に固定されており、変更できません。「鳴動時間」については、「緊急速報「エリアメール」設定」で設定できます。

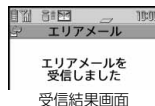
受信したエリアメールは受信BOXに保存されます。

- お買い上げ時は「マナー／公共モード時設定」が「マナー／公共モード時でも鳴動」に設定されているため、マナーモード、公共モード（ドライブモード）の設定に関わらず、ブザーや着信音、バイブレータが鳴動します。

1 エリアメールを受信すると「 」が点灯し、受信した旨のメッセージが表示され、着信／充電ランプが光る

エリアメール
エリアメールを受信しました

受信結果画面

- いずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。
- エリアメールによっては、受信時に内容が画面に自動表示されるものがあります。表示を消すには「OK」を選択するかCLRまたは終話ボタンを押します。
- エリアメールを表示するにはP.152参照。

お知らせ

- エリアメールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、既読の古いエリアメールから順に削除されます。すべてのエリアメールが未読の場合は、古いものから順に削除されます。
- 受信時に内容が表示されるかどうかについては、エリアメールの提供者側の設定によります。
- 電波状況により、エリアメールを受信できない場合があります。

緊急速報「エリアメール」設定

1 ✉▶**メール設定**▶**緊急速報「エリアメール」設定**▶**以下の操作を行う**

●「緊急速報「エリアメール」設定」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

項目	説明
受信設定	エリアメールを利用するかどうかを設定します。
ブザー鳴動時間	ブザーが鳴る時間を設定します。
マナー／公共モード時設定	マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中にエリアメールを受信したときの動作を設定します。 ●「マナー／公共モード時でも鳴動」に設定していると、マナーモード、公共モード（ドライブモード）の設定に関わらず、ブザーや着信音、バイブレータが鳴動します。「各モードに従う」に設定していると、マナーモード、公共モード（ドライブモード）の設定に従います。
着信音確認	「緊急地震速報」「災害・避難情報」を受信したときのブザー、着信音、バイブレータ、着信／充電ランプの動作を確認できます。
その他	
受信登録	緊急地震速報、災害・避難情報の他に受信したい情報のMessage IDを登録します。20件まで登録できます。 ●緊急地震速報、災害・避難情報のみを受信する場合には受信登録の必要はありません。 ▶**<未登録>**▶**端末暗証番号を入力**▶**名称を選択**▶**登録名を入力**▶**Message IDを選択**▶**Message IDを入力**▶📷（完了） ●登録名は任意の名称を入力します。Message IDはサービス提供者から連絡を受けたMessage IDを入力します。 ●登録済みの設定を選択すると編集できます。 ●登録済みの設定を選んで📷（削除）を押すと、設定を削除できます。 ●「緊急地震速報」「災害・避難情報」は編集／削除できません。

お知らせ

<マナー／公共モード時設定>

●「各モードに従う」に設定し、「マナーモード」、「スーパーサイレント」で設定したマナー設定の場合に緊急地震速報を受信したときは、ブザーは鳴りません。ただし、「オリジナルマナー」で以下のいずれかの音が鳴るマナー設定の場合は、ブザーが鳴ります。すべて鳴らない設定の場合には、ブザー音は鳴りません。
・電話着信音量　・メール着信音量　・アラーム音量　・ｉアプリ音量
・メモ確認音　・ボタン確認音　・低電圧アラーム（電池切れアラーム）

●「各モードに従う」に設定し、「オリジナルマナー」で「バイブレータ」を「OFF」に設定していても、緊急地震速報を受信した場合は、バイブレータは振動します。

SMS作成・送信

SMSを作成して送信します。

●海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●送信したSMSはドコモminiUIMカードへ移動・コピーできます。（P.401参照）

1 ✉▶**新規SMS作成**

SMS作成画面

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳. . . . . 電話帳を呼び出して電話番号を選択します。
送信アドレス一覧 . . . 電話番号を選択します。
受信アドレス一覧 . . . 電話番号を選択します。
直接編集 . . . . 電話番号を入力します。

- 宛先は1件のみ指定できます。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「＋」（Oを1秒以上押す）、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。）
- 宛先欄を選んでOを押すと送信アドレス一覧を、Oを押すと受信アドレス一覧を表示できます。

3 本文欄を選択▶本文を入力

- 入力できる文字数は「本文入力設定」または「SMS本文入力設定」により異なります。

4 TV（送信）を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- 保存メールが最大保存件数／最大保存容量まで保存されている場合は、SMSを作成できません。
保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 「発信者番号通知」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。また、宛先の先頭に「184」または「186」が入力されている場合はそのまま送信できません。発信者番号通知の設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「184」または「186」が削除されて送信されます。
- 「送達通知設定」を「要求する」にしている場合は、movaサービスのｉモード対応端末へ送ることができません。

お知らせ

- 「＋」は宛先の先頭でのみ有効です。
- 宛先に数字、「＊」、「＃」、「＋」以外の文字が含まれている場合は送信できません。
- 本文に特殊記号を入力した場合、半角スペースに置き換えられることがあります。
- スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。

SMS作成画面のサブメニュー

送信	SMSを送信します。
送信プレビュー	送信する前に宛先、本文の内容を確認します。 ●TV（送信）を押すとSMSを送信できます。
保存	作成中や編集中のSMSを保存BOXに保存します。 ●宛先と本文が未入力の場合は保存できません。
SMS送達通知設定	P.175参照
SMS有効期間設定	P.175参照
SMS本文入力設定	P.175参照
本文消去	本文に入力されている文章をすべて削除します。宛先は削除されません。
SMS削除	編集中のSMSを削除します。

SMS受信

●受信したSMSはドコモminiUIMカードへ移動･コピーできます。(P.401参照)

1 SMSを受信すると「✉」が点灯し、受信中のメッセージが表示される

受信が終わると、受信したSMSの件数が表示され、画面の上部にテロップが表示されます。

●「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。

●何も操作しなかった場合はデスクトップに「 」(P.29参照)が表示され、元の画面に戻ります。
◉を押し、「 」を選択すると、受信メール詳細画面が表示されます。

受信結果画面

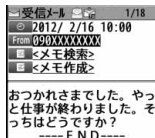
お知らせ

●FOMA端末に保存している、未読または保護している受信メールの合計が最大保存件数／最大保存容量になった場合は、新しいメールを受信できず、「✉(橙色)」が表示されます。SMSを受信するには、「✉(橙色)」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「SMS問合せ」を行ってください。

●連結SMSを受信した場合、受信メール一覧画面では連結SMSの順に従って表示されます。

新着SMSの表示

1 受信結果画面▶メール▶表示したいSMSを選択

●SMSの詳細画面で◎を1秒以上押すと文字の大きさが変わります。(P.111「メール」参照)

お知らせ

●受信したSMSに入力されている文字によっては、「･」で表示されることがあります。

お知らせ

●表示したSMSの送信元(電話番号)を選択すると、表示されている電話番号に電話をかけることができます。(Phone To／AV Phone To 機能)
また、送信元の電話番号を電話帳に登録しているときは、登録している「名前」が反転表示されます。この場合も同様の操作で電話をかけることができます。

●FOMA端末では、ショートメールをSMSとして受信します。相手の電話番号が通知されない場合は、その理由が送信元欄に表示されます。

SMS問合せ

**SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないときはSMSセンターに保管されます。
SMSセンターへ問い合わせを行い、それらを受信してください。**

1 ✉▶SMS問合せ

センターにSMSが保管されていれば受信されます。

2 戻る

お知らせ

●問い合わせを行っても、すぐにSMSが届かない場合があります。

●「✉(橙色)」が表示されたときは、これ以上SMSを受信できません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールは、古いものから順に自動的に削除されます。)

●本機能でｉモードメールやメッセージR/Fは受信できません。ｉモードメールやメッセージR/Fは「メール／メッセージ問合せ」で受信してください。

SMS設定

送達通知設定

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。
SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするメールです。
受信したSMS送達通知は「メール」フォルダで確認できます。

1 ▶メール設定▶SMS設定▶送達通知設定▶要求する・要求しない

- SMS作成画面のサブメニューから操作した場合は、「SMS送達通知設定」を選択します。設定は作成中のSMSにのみ有効です。

お知らせ

- 他社の携帯電話にSMSを送信した場合は、SMS送達通知が届かないことがあります。

有効期間設定

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保存される期間を設定します。

1 ▶メール設定▶SMS設定▶有効期間設定▶保存期間を選択

- 「0日」に設定すると、一定時間経過後に再送され、SMSセンターから削除されます。
- SMS作成画面のサブメニューから操作した場合は、「SMS有効期間設定」を選択します。設定は作成中のSMSにのみ有効です。

お知らせ

- 本機能の設定はドコモminiUIMカードに保存されます。

本文入力設定

SMSの本文に入力できる文字を設定します。半角英数字、半角記号のみ入力できるように設定できます。

1 ▶メール設定▶SMS設定▶本文入力設定▶項目を選択

日本語入力(70文字)
. . . . . 全角文字、半角文字が入力できます。「 」「 」(P.473参照)を除く絵文字は入力できません。本文は70文字まで入力できます。
半角英数入力(160文字)
. . . . . 半角英数字、半角記号のみ入力できます。本文は160文字まで入力できます。

- SMS作成画面のサブメニューから操作した場合は、「SMS本文入力設定」を選択します。設定は作成中のSMSにのみ有効です。

センター設定

※通常は、設定を変更する必要はありません。

SMSセンターの接続先アドレスと「Type of number」の設定をします。
現在利用しているSMSサービスとは別のサービスを受けるときに設定します。

1 ▶メール設定▶SMS設定▶センター設定▶ユーザ設定▶アドレスを入力▶International・Unknown

- アドレスに「＊」や「＃」が含まれている場合は「International」に設定できません。
- 接続先をドコモに戻すには「ドコモ」を選択します。
- ユーザ設定をリセットするには「リセット」を選択します。リセットすると接続先はドコモになります。

お知らせ

- 本機能の設定はドコモminiUIMカードに保存されます。

ｉモード／フルブラウザ

ｉモード

フルブラウザ

サイトの見かたと操作

データのダウンロード

データのアップロード

ブラウザの便利な機能

ｉモードブラウザ／フルブラウザ設定

ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

■ ｉモードのご利用にあたって

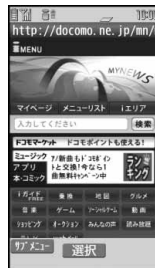
- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからｉモード対応端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のドコモminiUIMカードを差し替えたり、ドコモminiUIMカードを未挿入のまま電源ONにした場合、サイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディなど）、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- ドコモminiUIMカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のドコモminiUIMカードを差し替えたり、ドコモminiUIMカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

ｉMenuの表示

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスを利用します。FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。（IPによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。）

1 [iα]を押す

通信中は「[通信中アイコン]」が点滅します。

- ｉモードのサービスを受けているとき（ｉモード待機中）は「[ｉモードアイコン]」が点滅します。
- ｉモードを終了するにはサイト表示中に[終話]または[CLR]を押します。「[ｉモードアイコン]」が消灯し、ｉモードが終了します。ｉモード終了までに時間がかかる場合があります。
- 「ｉモード／web設定」の「共通設定」内の「ｉモードボタン設定」を「ｉモードメニュー表示」に設定すると、待受画面で[iα]を押したあとｉモードメニューが表示されます。

2 項目（リンク先）を選択

項目（リンク先）の選択を繰り返して目的のサイトを表示します。

- 表示したサイトの画面などで下線が表示されているときは、その項目を選択できます。項目を選ぶと反転表示されます。
- リンク先を示す項目の前に番号が表示されているときは、その番号と同じダイヤルボタンを押して直接リンク先に接続できます。（サイトによっては接続できない場合があります。）

SSL/TLSに対応したサイト(SSL/TLSページ)を取得するときは

認証中の画面が表示されます。取得が完了するとSSL/TLSページが表示され、「🔒」が表示されます。

- ｉモード、フルブラウザでSSL/TLS※対応のページを表示できます。

※SSL/TLSは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL/TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、書き換えを防止できます。また、サーバ認証によりなりすましを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL/TLSに対応していないサイトに戻るときは

SSL/TLSページを終了するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると通常のサイトが表示されます。

お知らせ

- サイトによっては、利用する前に別途書面などで申し込みが必要なものや、利用するために情報料が必要なものがあります。
- サイトで表示される画像の最大表示サイズは480×1324ドットです。480×1324ドットを超える場合、縦横比を固定して縮小して表示されます。
- サイトによっては、画像を正しく表示できず、「☒」が表示される場合があります。
- サイトやデータによっては、メロディやPDFデータ、ソフトなどのダウンロードや保存ができない場合があります。
- ｉモード対応のインターネットホームページ(サイト)によっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。
- ｉモードの場合、受信したページのデータが規定のサイズを超えたときは、受信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、取得可能なサイズまでのデータが表示される場合もあります。フルブラウザの場合、「ｉモード／web設定」の「フルブラウザ設定」内の「自動通信サイズ設定」の設定に従って動作します。
- サイトから、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求されたときは、楽曲情報の送信に関する確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報(タイトル名、アーティスト名、再生日時)が送信されます。送信される楽曲情報は、IP(情報サービス提供者)がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

マイメニュー

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。
最大45件まで登録できます。

マイメニュー登録

1 登録したいサイトのページを表示▶マイメニュー登録

- 各サイトによりページ構成が異なります。

2 ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶ｉモードパスワードを入力▶登録する

- 入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
- ｉモードパスワードについてはP.115参照。

お知らせ

- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- メニューリスト内の有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからのサイト表示

1 [iα]▶マイページ▶マイメニュー／マイボックス▶接続したいサイトを選択

お知らせ

- デュアルネットワークサービスを利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末で利用できない場合があります。

ｉモードパスワード変更

メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは「ｉモードパスワード」(4桁)が必要になります。
なお、ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。

1 **[iα]▶お客様サポート▶各種設定(確認・変更・利用)▶ｉモードパスワード変更▶「現在のパスワード」のテキストボックスを選択▶ｉモードパスワード(4桁)を入力**

- 初回は契約時にｉモードパスワードとして設定されている「0000」(数字のゼロ4つ)を入力します。
- 入力した数字は「＊」で表示されます。

2 **「新パスワード」のテキストボックスを選択▶新しいｉモードパスワード(4桁)を入力**

- お客様独自のｉモードパスワードを入力してください。

3 **「新パスワード確認」のテキストボックスを選択▶新しいｉモードパスワード(4桁)を入力▶決定**

- 手順2で入力した数字と同じものを入力します。

お知らせ

- ｉモードパスワードを万が一お忘れになったときは、契約された本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

フルブラウザ

パソコン向けに作成されたインターネットホームページを、フルブラウザの機能を利用して閲覧できます。ｉモードでは正しく表示できないインターネットホームページでも、表示が可能です。ただし、インターネットホームページによっては表示できない場合や、正しく表示できない場合があります。

- フルブラウザで登録したホームURL、Bookmarkなどのデータはｉモードで利用することはできません。また、フルブラウザで設定した内容はｉモードには反映されません。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

1 **[MENU]▶ｉモード／web▶フルブラウザホーム**

ホームURLに設定したインターネットホームページを表示します。

- 「フルブラウザ利用設定」を「利用しない」に設定している場合、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「利用する」を選んで「OK」を選択すると「フルブラウザ利用設定」の設定が切り替わり、フルブラウザが起動します。
  また、「定額サービスのお申し込みはこちら」を選択すると、サービス申し込みのサイトへｉモードで接続できます。
- フルブラウザを終了するにはインターネットホームページを表示中に[終話]または[CLR]を押します。

お知らせ

- インターネットホームページによっては表示に時間がかかる場合があります。
- フルブラウザではｉアプリ To 機能は利用できません。

表示モードの切り替え

フルブラウザの画面には「PCレイアウトモード」と「ケータイモード」の2つのモードがあります。

1 **MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶フルブラウザ設定▶表示モード設定▶PCレイアウトモード・ケータイモード**

PCレイアウトモード
. . . .パソコン上で横1024×縦600ドットの表示をしたときと同じようにインターネットホームページを表示します。上下左右にスクロールしてインターネットホームページを閲覧できます。

ケータイモード
. . . .FOMA端末の画面幅でインターネットホームページを表示します。横スクロールは不要で、上下のスクロール操作だけでインターネットホームページを閲覧できます。

ブラウザの切り替え

ｉモードで正しく表示できなかったインターネットホームページをフルブラウザに切り替えて表示します。

1 **ｉモードでページを表示中▶MENU（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）▶フルブラウザ▶フルブラウザ切替▶YES**

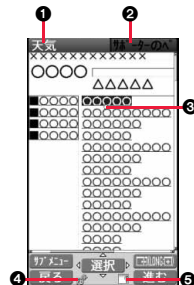
お知らせ

- フルブラウザを利用する場合、ｉモードとは別の料金体系となりますのでご注意ください。
- 複数のタブを開いた状態で切り替えた場合、別タブのページは閉じられ、✉（戻る）で戻ることもできません。
- インターネットホームページによっては、正しく表示できない場合があります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

サイト表示中の画面

❶…複数のサイトを起動中で表示中のタブ
❷…複数のサイトを起動中で裏で起動中のタブ
❸…（矢印）:通常のポインタ
（指差し）:リンクを選択中
（手）:ドラッグモード中
（握り）:ドラッグ中
❹…FB:フルブラウザのPCレイアウトモードで接続中
FB:フルブラウザのケータイモードで接続中
❺…:フレーム拡大表示中
:フレーム拡大表示中に別フレーム通信中

■サイト表示中の操作(お買い上げ時)

操作	ボタン操作		
	iモード	フルブラウザ	
		ケータイモード	PCレイアウトモード
画面のスクロール／反転表示の移動／ポインタの移動	○		
ドラッグモードに切替(ポインタ表示中のみ)	●(1秒以上)	―	●(1秒以上)
前のページへ戻る	✉(戻る)	✉(戻る)または7	
次のページへ進む	iα(進む)	iα(進む)または9	
Bookmarkフォルダ一覧の表示	―	0	
画面の拡大･縮小	―	1で縮小、3で拡大	
上下方向へページ単位に画面のスクロール	―	2／8	
左右方向へページ単位に画面のスクロール	―		4／6
PagePilotに移行	―	5	
タブ切替	📷TV	📷TVまたは＊／＃	
リンクを新しいタブで開く	📷TV(1秒以上)		
ページモード切替	☎		

ページモードへの切り替え

サイト表示中に☎を押すと、ページモードに切り替わります。ページモードでは下記のボタン操作で上下方向にページ単位で画面をスクロールできます。再度☎を押すと元のボタン操作に戻ります。

✉(ページ▲):上方向へページ単位に画面をスクロール

iα(ページ▼):下方向へページ単位に画面をスクロール

- ページモードで表示中は「⇕」が表示されます。

キャッシュを利用したページ移動

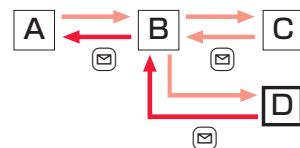
表示したインターネットホームページなどのデータは、キャッシュと呼ばれる一時的な記憶領域に記憶されます。✉(戻る)またはiα(進む)を押すことで、通信を行わずにキャッシュに記憶されたページを表示できます。

iモード、フルブラウザ間でも移動できます。

- FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしているページや、必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたページを表示する場合は、通信を行います。
- iモード、フルブラウザを終了するとキャッシュはクリアされます。

1 前のページを表示させるときは✉(戻る)を押す
次のページを表示させるときはiα(進む)を押す

ページを移動するには

✉(戻る)を続けて押すことにより、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、前のページ(「B」)から他のページ(「D」)を表示させたときは、「D」から✉(戻る)を2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページが表示されます。

お知らせ

- キャッシュに記憶されたページを表示する際、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。

複数サイトの表示

新しいウィンドウ(タブ)を開いて、サイトやPDFデータを同時に開くことができます。(マルチウィンドウ)
同時に開くことができるタブは、最大5つまでです。ただし、PDFデータを複数開くことはできません。また、5つのタブとは別のタブとしてチャネル一覧画面も開くことができます。

- 同時に開いたサイトは1つずつ切り替えて表示します。

1 サイト表示中・PDFデータ表示中▶MENU(サブメニュー)▶タブ操作▶新しいタブで開く▶項目を選択

リンク …………… 反転したリンクを新しいタブで開きます。チャネル一覧画面のサブメニューでは表示されません。
Bookmark一覧 …… Bookmarkに登録したサイトを新しいタブで開きます。(P.190参照)
サイト閲覧履歴 …… サイト閲覧履歴から選択して新しいタブで開きます。(P.189参照)
iMenu・検索 ……… iMenuをiモードで開きます。
フルブラウザホーム … ホームURLに設定したインターネットホームページをフルブラウザで開きます。
URL入力 ………… URLを新規入力して新しいタブで開きます。(P.189参照)
URL入力履歴 ……… URL入力履歴から選択して新しいタブで開きます。(P.189参照)

- タブの切り替えかた、閉じかたについてはP.186、P.377参照。

お知らせ

- サイトによっては、新しいウィンドウで開くように設定されたリンクがある場合があります。そのリンクを開いたときは、上記の操作を行わなくても新しいタブが開きます。

ポインタでの操作

「ポインタ表示設定」を「表示する」に設定していると、画面にポインタが表示され、ポインタによって画面のスクロールやコンテンツの選択などの操作ができます。「ポインタ表示設定」は、iモード、フルブラウザそれぞれ設定できます。

- サイトによっては、ポインタによる操作ができない場合があります。ポインタによる操作ができない場合は、P.200「ポインタ表示設定」を「表示しない」に設定することで、や による操作ができるようになることがあります。

ドラッグモードへの切り替え

ポインタ表示中に を1秒以上押すと、ドラッグモードに切り替わります。ドラッグモードに切り替えると、ドラッグモードに対応したコンテンツを操作できます。ドラッグモード中はポインタが「 」になります。

1 **ポインタ表示中に (1秒以上)▶操作したいコンテンツを選んで**

ポインタが「 」に切り替わります。

2 **でコンテンツを移動▶**

ポインタが「 」に戻りコンテンツが離れます。

- ドラッグモードを解除するには を1秒以上押すか、CLRを押します。

お知らせ

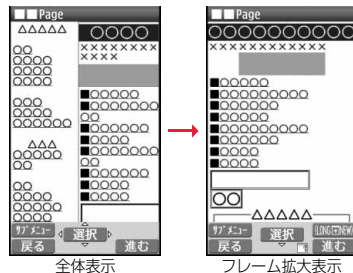
- コンテンツによって、可能な操作は異なります。
- フルブラウザのケータイモードでは操作できません。また、コンテンツによってはiモードで操作できない場合があります。
- ドラッグモード中は、コンテンツの操作以外の操作はできません。ただし、入力ボックスを選択した場合や、ファイルをアップロードする場合はドラッグモードが解除されて操作できます。

フレーム対応サイトの表示

フレームで構成されたサイトを表示します。フレームを選択し、フレームごとに拡大して表示できます。

1 **フレームのあるサイト表示中▶ でフレームを選んで (****)**

- 全体表示に戻るには、CLRを押すかサブメニューから「表示」→「フレーム全体表示」を選択します。

全体表示　フレーム拡大表示

お知らせ

- フレームでの分割数が多いサイトでは、すべてのフレームを表示できない場合があります。表示できなかったフレームには「 」が表示されます。

サイトでの選択・入力

サイトでは、ラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニューが表示されることがあります。

名称	表示例	操作・補足
ラジオボタン	○:非選択状態 ●:選択状態	選択肢の中から1つだけ選択できます。
チェックボックス	□:非選択状態 ☑:選択状態	選択肢の中から複数の項目を選択できます。
テキストボックス	乗換駅から 下車駅へ 0. 検索	文字を入力できます。テキストボックスを選択すると、文字入力(編集)画面が表示されます。 ●「プロフィール引用」が表示されている場合は、選択することによってプロフィールを引用して文字を入力できる場合があります。
プルダウンメニュー	東京 0. 検索 ↓ 東京 神奈川 千葉 埼玉 群馬 茨城 静岡	選択肢の一覧から項目を選択できます。プルダウンメニューを選択すると、選択肢一覧が表示されます。 ●プルダウンメニューによっては、複数の項目を選択できる場合があります。 ●(選択)を押すごとに項目の選択/選択解除を繰り返します。項目を選択し終わったらCLRを押します。

お知らせ

●サイトによってはUser IDやPasswordなどの認証画面が表示される場合があります。
User IDとPasswordを入力して「OK」を選択します。

携帯電話/ドコモminiUIMカード(FOMAカード)の製造番号

項目を選択すると、携帯電話/ドコモminiUIMカード(FOMAカード)の製造番号を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。

●送信される「携帯電話/ドコモminiUIMカード(FOMAカード)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
●送信するお客様の「携帯電話/ドコモminiUIMカード(FOMAカード)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

サイト表示中のサブメニュー

Bookmark		
	Bookmark一覧	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。
	Bookmark登録	P.190参照
画面メモ		
	画面メモ一覧	画面メモ一覧画面を表示します。
	画面メモ保存	P.191参照
サイト閲覧履歴		P.189参照
i Menu・検索		i Menuに戻ります。
フルブラウザホーム		ホームURLに設定したインターネットホームページをフルブラウザで開きます。
フルブラウザ		
	フルブラウザホーム	ホームURLに設定したインターネットホームページをフルブラウザで開きます。
	フルブラウザ切替	P.181参照
再読み込み		サイトの内容が最新の情報に更新されます。

項目		説明
URL入力・情報		
	URL入力	URLを入力してインターネットホームページを表示します。 ●URL入力履歴がある場合は、あらかじめ一番新しい履歴のURLが入力されています。
	URL入力履歴	P.189参照
	URL表示	表示中のサイトのURLを表示します。 ●URL表示中に[iα]（コピー）を押すか、サブメニューから「コピー」を選択するとURLをコピーします。
iモードブラウザ		
	i Menu・検索	i Menuをiモードで開きます。
	iモードブラウザ切替	フルブラウザで表示中のサイトをiモードに切り替えて表示します。
表示履歴		すべてのウィンドウ（タブ）で表示したページの履歴をサムネイルで表示します。 ●iモードで接続したページには「i」、フルブラウザで接続したページには「FB」のブラウザ種別アイコンが表示されます。
画像保存		P.194参照
表示		
	ズームイン	フルブラウザで表示中の画面の表示サイズを1段階拡大します。複数のタブを開いている場合でも、表示中のタブのみ拡大します。
	ズームアウト	フルブラウザで表示中の画面の表示サイズを1段階縮小します。複数のタブを開いている場合でも、表示中のタブのみ縮小します。
	ポインタ位置でズーム	フルブラウザで表示中のポインタの位置を中心にして画面の表示サイズを拡大します。
	拡大縮小表示	P.201参照
	文字サイズ変更	iモードやフルブラウザ表示時の文字サイズを設定します。
	表示モード設定	P.181参照
	PagePilot	表示中のサイトを画面内に収まるまで縮小し、選択枠を移動させることによってサイト内を素早く移動できます。
	フレーム全体表示	フレーム拡大表示画面から、すべてのフレームの表示画面へ戻ります。
	タブ表示切替	タブの表示／非表示を切り替えます。
タブ操作		
	新しいタブで開く	P.183参照
	リンクを新規タブ起動	P.183「複数サイトの表示」の「リンク」参照
	タブを閉じる	複数のタブを開いているときにタブを閉じます。
	タブ切替	複数のタブを開いているときに、表示するタブを切り替えます。
ドラッグモード		P.184参照
テキスト範囲選択		サイトに表示されている文字を利用してテキストコピーをしたり、地図を表示したりします。
ページ内検索		指定した文字列を含む箇所を、サイト内で表示します。指定した文字と一致した箇所は反転表示されます。 ●[✉]（前検索）や[iα]（次検索）を押すと、同じ条件で続けて検索できます。 ●[📷TV]（編集）を押すと検索文字を編集できます。
メール作成		表示中のサイトや画面メモのURLをiモードメールの本文に貼り付けて作成します。
文字コード変換		文字が正しく表示されないときに、正しい文字に変換します。 ●表示中のサイト、インターネットホームページにのみ有効です。
リトライ		アニメーションやFlash画像を最初から再生します。 ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。

クイック検索		P.188参照
タイトル表示		表示中のサイトのタイトルを表示します。
証明書参照		SSL/TLS通信で使用している証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を確認します。最大5枚まで表示されます。
設定		
	Cookie設定	P.203参照
	Referer設定	P.203参照
	画像表示設定	P.199参照
	PagePilot表示	P.201参照
	ポインタ表示設定	P.200参照
	ポインタ移動距離セット	P.202参照
	ポインタ加速度設定	P.202参照
	Bookmark表示設定	P.202参照
	タブ自動起動設定	P.200参照
	Script動作設定	P.200参照
	サウンド設定	P.200参照
	端末情報利用設定	P.200参照
	動画自動再生設定	P.210参照
	ページ内データ取得	P.200参照
	自動通信サイズ設定	P.201参照
ページ先頭に移動		ページの先頭に移動します。
ページ末尾に移動		ページの末尾に移動します。

電話帳登録	サイト上で表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。 ●複数の電話番号やメールアドレスがある場合は、登録したい電話番号やメールアドレスを選択します。
ｉチャネル	チャネル一覧画面を表示します。
ホーム登録	表示中のインターネットホームページをホームURLに登録します。
ショートカット一覧	フルブラウザの画面でのボタン操作で行える機能を表示します。機能を変更することもできます。(P.201参照)
横画面モード切替／横画面モード解除	横画面と縦画面を切り替えます。
ページモード切替／ページモード解除	P.182参照

お知らせ

<テキスト範囲選択>
- 選択できる文字数は全角5000文字/半角10000文字までです。
- サイトによってはコピーできない場合があります。

<メール作成>
- URLが半角256文字(フルブラウザの場合は半角512文字)を超える場合は貼り付けできません。

<文字コード変換>
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。

<タイトル表示>
- タイトルは全角64文字/半角128文字まで表示されます。

クイック検索

各機能からクイック検索画面を表示し､知りたいキーワードをｉモードやGoogleなどの検索サイトですばやく検索できます｡また､辞典や地図､電話帳､使いかたガイドからも検索することができます｡

1 各機能起動中のサブメニュー▶クイック検索

クイック検索画面

- ｢クイック検索｣のショートカットを作成できます｡(P.40参照)
- サブメニューから｢ｉMenu･検索｣を選択すると､クイック検索を終了し､ｉMenuを表示します｡

2 ◎で検索項目を選択

ｉモード	ｉモードから検索します｡ ●｢ ｣を選択するかｉα(入力方法)を押して｢音声入力｣を選択すると､音声で検索できます｡(P.382参照)
フルブラウザ	フルブラウザから検索します｡ ●検索方法を｢Google検索｣｢Google画像検索｣｢Googleニュース検索｣から選択できます｡
辞典検索	辞典から検索します｡(P.400参照)
地図を見る	地図を表示します｡(P.304参照)
電話帳名前カナ検索	電話帳から｢フリガナ検索｣または｢名前検索｣します｡
使いかたガイド	使いかたガイドから検索します｡

3 キーワード入力欄を選択▶キーワードを入力▶TV(検索)

- ｉα(入力方法)を押して｢範囲選択｣を選択すると､キーワードを起動元の画面からコピーできます｡メールやスケジュールから起動している場合は､コピーしたい項目を選択できます｡全角128文字/半角256文字までコピーできます｡
- ｉα(入力方法)を押して｢検索履歴｣を選択すると､キーワードを検索履歴から選択できます｡検索履歴は10件まで記憶されます｡検索履歴はサブメニューから削除できます｡

お知らせ

- ｢辞典検索｣の場合は全角32文字/半角64文字､｢地図を見る｣の場合は全角27文字/半角55文字､｢電話帳名前カナ検索｣の場合は全角16文字/半角32文字､｢使いかたガイド｣の場合は全角24文字/半角48文字を超えると文字数がオーバーする旨の確認画面が表示されます｡
- 文字のコピーが禁止されているページでは､範囲選択でコピーできない場合があります｡
- 検索履歴が10件を超えたときは､古いものから順に自動的に上書きされます｡

クイック検索接続先設定

クイック検索の際にフルブラウザで接続する検索先(URL)を設定します｡検索先が登録されているサイトから検索先をｉモードでダウンロードします｡最大6件まで登録できます｡

1 MENU▶本体設定▶その他設定▶クイック検索接続先設定▶<未登録>▶YES

検索先が登録されているサイトに接続します｡
- 登録済みの検索先を選択すると､検索先を上書きします｡
- サブメニューから登録済みの検索先を削除できます｡
- ｢クイック検索接続先設定｣のショートカットを作成できます｡(P.40参照)

2 ダウンロードしたい検索先を選択

サイト閲覧履歴

ｉモードやフルブラウザでサイトを表示するたびに、表示していたページのURLが「サイト閲覧履歴」に記憶されます。ｉモード、フルブラウザ合わせて50件まで記憶されます。
「サイト閲覧履歴」を選択すると、過去に見たページの一覧を表示します。

1 MENU▶ｉモード／web▶サイト閲覧履歴▶表示したいページを選択

- ｉモードで接続したURLには「 」、フルブラウザで接続したURLには「FB」のブラウザ種別アイコンが表示されます。

お知らせ

- ページによっては「サイト閲覧履歴」に記憶されない場合があります。
- 50件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- 同じURLのサイトを表示した場合は、最後に表示したサイトのURLが記憶されます。ただし、異なるブラウザでの接続の場合は、別のURLとして記憶されます。

サイト閲覧履歴表示中のサブメニュー

接続	ホームページやサイトを表示します。
URL表示	URLを表示します。 ●URL表示中に TV （接続）を押すか、サブメニューから「接続」を選択するとURLに接続します。 ●URL表示中に iα （コピー）を押すか、サブメニューから「コピー」を選択するとURLをコピーします。
メール作成	URLをｉモードメールの本文に貼り付けて作成します。
削除	削除します。

URL入力

1 MENU▶ｉモード／web▶URL入力▶URL入力

- 「URL入力」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

2 URLのテキストボックスを選択▶URLを入力▶ｉモードで接続・フルブラウザで接続

お知らせ

- ｉモードの場合、ｉモードに対応していないインターネットホームページや接続するインターネットホームページによっては、正しく表示されないことがあります。

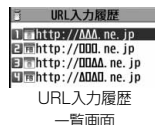
URL入力履歴

入力したURLはURL入力履歴として50件まで記憶されます。

1 MENU▶ｉモード／web▶URL入力▶URL入力履歴▶表示したいURLを選択▶ｉモードで接続・フルブラウザで接続

URL入力履歴
1 http://ΔΔΔ.ne.jp
2 FB http://□□□.ne.jp
3 http://□□ΔΔ.ne.jp
4 FB http://Δ□Δ□.ne.jp

URL入力履歴一覧画面

- ｉモードで接続したURLには「 」、フルブラウザで接続したURLには「FB」のブラウザ種別アイコンが表示されます。
- URLのテキストボックスを選択するとURLを編集できます。
- 「URL入力履歴」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

お知らせ

- 履歴が50件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- URLを新規入力して接続した場合は、同じURLでも別の履歴として記憶されます。ただし、URLを編集せずにブラウザのみを変更して接続した場合は、ブラウザ種別アイコンのみ変更して記憶されます。

URL入力履歴一覧画面のサブメニュー

接続	ホームページやサイトを表示します。

URL表示	P.189参照
メール作成	選択中のURLをｉモードメールの本文に貼り付けて作成します。
削除	削除します。

Bookmark

Bookmark登録

よく見るサイトのURLをBookmarkに登録しておくと、直接目的のページを表示できます。

1 登録したいページを表示中▶MENU(サブメニュー)▶Bookmark▶Bookmark登録▶OK▶登録したいフォルダを選択

- 「OK＋ショートカット」を選択すると、Bookmarkを保存しショートカットを作成します。
- 保存しているBookmarkがいっぱいのときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択して削除したいBookmarkを選択すると保存できます。

お知らせ

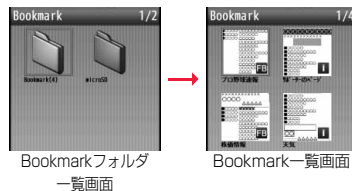
- 1件あたりのURLが半角256文字(フルブラウザの場合は半角512文字)を超える場合は登録できません。
- タイトルが全角12文字/半角24文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、Bookmark一覧画面ではURLが表示されます。タイトルを編集する場合は、タイトル欄を選択してタイトルを入力します。
- 同じURLでも、ブラウザ種別が異なる場合は、別のBookmarkとして登録できます。
- ページによっては、Bookmarkに登録できないことがあります。

Bookmarkからのサイト表示

1 MENU▶ｉモード／web▶Bookmark▶フォルダを選択▶表示したいBookmarkを選択

Bookmarkフォルダ一覧画面

Bookmark一覧画面

- Bookmarkフォルダ一覧画面で「microSD」を選択すると、microSDカード内のBookmarkフォルダ一覧画面を表示します。
- ｉモードのBookmarkには「i」、フルブラウザのBookmarkには「FB」が表示され、選択するとそれぞれに対応したブラウザで接続されます。

Bookmarkフォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ管理		
	フォルダ追加	新規フォルダを追加します。
	フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。
	フォルダ並べ替え	フォルダを並べ替えます。追加したフォルダのみ並べ替えできます。
	フォルダセキュリティ	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
赤外線全送信		赤外線通信で全件送信します。
iC全送信		iC通信で全件送信します。
microSDへ全コピー		microSDカードへ全件コピーします。
お預かりセンター接続		P.128参照
件数確認		全フォルダに登録されているBookmarkの件数を表示します。

Bookmark表示切替		Bookmarkフォルダ一覧画面の表示方法を一時的に変更します。別の画面などを表示したあとに、再度Bookmarkフォルダ一覧画面を表示すると、変更前の表示方法に戻ります。
ショートカット作成		ショートカットを作成します。
Bookmark削除		
	フォルダ削除	フォルダとフォルダ内のすべてのBookmarkを削除します。「Bookmark」フォルダは削除できません。
	Bookmark全削除	フォルダ内のすべてのBookmarkを削除します。フォルダは削除されません。

Bookmark一覧画面のサブメニュー

接続	ホームページやサイトを表示します。
編集	BookmarkのタイトルやURLを編集します。
URL表示	P.189参照
フォルダ移動	フォルダ内のBookmarkを別のフォルダに移動します。
メール作成	Bookmarkをｉモードメールに添付して送信します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
iC送信	iC通信で送信します。
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
件数確認	表示しているフォルダ内に登録されているBookmarkの件数を表示します。
Bookmark表示切替	P.191参照
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
削除	削除します。

Bookmark情報表示	microSDカード内に登録されているBookmarkのタイトルやURLを表示します。

画面メモ

画面メモ保存

一度表示したページを画面メモとして保存できます。

1 保存したいページを表示中▶MENU(サブメニュー)▶画面メモ▶画面メモ保存▶本体･microSD▶YES

画面メモを保存すると、同時にプレビュー表示用の画像(キャプチャ画像)も保存されます。

- 「YES＋ショートカット」を選択すると、画面メモを保存しショートカットを作成します。
  「表示」を選択すると、キャプチャ画像のみを保存します。
  「表示＋ショートカット」を選択すると、キャプチャ画像を保存しショートカットを作成します。
- 保存している画面メモがいっぱいのときで、キャプチャ画像のみ保存できる場合は、キャプチャ画像のみ保存するかどうかの確認画面が表示されます。キャプチャ画像もいっぱいで保存できないときは、P.196参照。

お知らせ

- タイトルが全角12文字/半角24文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。また、microSDカードに保存した場合は、タイトルが正しく表示されない場合があります。
- SSL/TLS対応のページの画面を保存すると、画面とともにそのページのSSL/TLS証明書も保存されます。
- テキストボックスに入力した内容や、プルダウンメニュー、チェックボックス、ラジオボタンで選択した内容は保存されません。
- 1件あたりｉモードでは最大500Kバイトまで、フルブラウザでは1524Kバイトまでのページを保存できます。
- サイト側で画面メモを保存できないように設定している場合など、サイトによっては画面メモを正しく保存できないことがあります。

お知らせ

- Flashを利用したページをmicroSDカードに保存する際、ページ上で変更された内容(ゲームスコアやお客様が更新された記録など)はmicroSDカードには保存できず削除されます。
- 画面メモをmicroSDカードへ保存／移動する際、ページサイズが取得時より大きくなります。そのため、本体へ画面メモを戻す際、容量不足になる場合があります。

画面メモ表示

1 MENU ▶ｉモード／web ▶画面メモ ▶本体･microSD

画面メモ一覧画面

- 画面メモ一覧画面で[メール]を押すごとに、FOMA端末の画面メモと、microSDカードの画面メモが切り替わります。
- ｉモードの画面メモには「i」、フルブラウザの画面メモには「FB」が表示されます。
- 「本体」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 画面メモを選択

画面メモ詳細画面

- 「ｉモード／web設定」の「フルブラウザ設定」内の「フルブラウザ利用設定」を「利用しない」に設定している場合、フルブラウザの画面メモを選択すると、キャプチャ画像が表示されます。
- [メール](前へ)または[iα](次へ)を押すと、他の画面メモを確認できます。
- 画面メモ内のリンクを選択すると、ｉモード、フルブラウザそれぞれに自動で接続します。ただし、microSDカードに保存している画面メモの場合、リンク先によっては接続できない場合があります。

お知らせ

- 画面メモに保存したページは保存したときの情報です。最新のページの情報と異なる場合があります。

画面メモ一覧画面のサブメニュー

表示	画面メモを表示します。
タイトル編集	タイトルを編集します。
URL表示	P.189参照
保護／保護解除	画面メモを上書き･削除されないように保護します。また、保護している画面メモを解除できます。 保護すると「[鍵]」が表示されます。
件数確認	保存している画面メモの件数を表示します。
microSDへ移動	microSDカードへ移動します。
本体へ移動	FOMA端末へ移動します。
microSD参照	microSDカード内の画面メモ一覧画面を表示します。
本体参照	FOMA端末内の画面メモ一覧画面に戻ります。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
削除	削除します。

画面メモ詳細画面･キャプチャ画像表示中のサブメニュー

タイトル編集		タイトルを編集します。
保護／保護解除		P.192参照
キャプチャ表示		キャプチャ画像を表示します。
画面メモ表示		画面メモを表示します。
取得元URL接続		キャプチャ画像の取得元となるサイトに接続します。
画像保存		P.194参照
表示		
	ズームイン	P.186参照
	ズームアウト	P.186参照

	ポインタ位置でズーム	P.186参照
	拡大縮小表示	P.201参照
	文字サイズ変更	ｉモードやフルブラウザ表示時の文字サイズを設定します。
	表示モード設定	P.181参照
	PagePilot	P.186参照
	フレーム全体表示	フレーム拡大表示画面から、すべてのフレームの表示画面へ戻ります。
	タブ表示切替	タブの表示／非表示を切り替えます。
ドラッグモード		P.184参照
テキスト範囲選択		P.186参照
ページ内検索		P.186参照
メール作成		P.186参照
文字コード変換		P.186参照
リトライ		アニメーションやFlash画像を最初から再生します。 ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。
クイック検索		P.188参照
タイトル表示		表示中の画面メモのサイトのタイトルを表示します。
URL表示		P.189参照
証明書参照		P.187参照
設定		
	Cookie設定	P.203参照
	Referer設定	P.203参照
	画像表示設定	P.199参照
	PagePilot表示	P.201参照
	ポインタ表示設定	P.200参照
	ポインタ移動距離セット	P.202参照
	ポインタ加速度設定	P.202参照
	Bookmark表示設定	P.202参照
	タブ自動起動設定	P.200参照
	Script動作設定	P.200参照
	サウンド設定	P.200参照
	端末情報利用設定	P.200参照
	動画自動再生設定	P.210参照
	ページ内データ取得	P.200参照
	自動通信サイズ設定	P.201参照
ページ先頭に移動		ページの先頭に移動します。
ページ末尾に移動		ページの末尾に移動します。
電話帳登録		P.187参照
削除		削除します。
ページモード切替／ページモード解除		P.182参照

画像保存

サイト、画面メモに表示されている画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。
JPEG形式、GIF形式の他に、SWF形式、BMP形式、PNG形式などの画像を保存できます。また、デコメール®用の画像やフレーム、スタンプ画像なども保存できます。

1 サイト表示中・画面メモ詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶画像保存▶項目を選択

画像1件保存……画像を1件保存します。「OK」を選択し、保存したい画像を選択します。
画像複数保存……画像を複数件保存します。保存したい画像を複数選択し、TV(完了)を押します。
画像一括保存……サイトに表示されている画像のうち、保存できる画像を一括ですべて保存します。
選択中画像……ポインタで選択中の画像を保存します。
背景画像1件保存……背景として表示されている画像を1件保存します。「OK」を選択し、保存したい画像を選択します。
背景画像複数保存……背景として表示されている画像を複数件保存します。保存したい画像を複数選択し、TV(完了)を押します。
背景画像一括保存……背景として表示されている画像のうち、保存できる画像を一括ですべて保存します。

2 YES▶保存したいフォルダを選択

●手順1で「選択中画像」を選択した場合は、「YES」を選択する操作は不要です。
●デコメ絵文字®は「デコメ絵文字」フォルダに、フレーム画像やスタンプ画像は「フレーム／スタンプ」フォルダに保存されます。
●複数保存や一括保存で複数の画像を保存する場合は、「本体」か「microSD」を選択します。「本体」を選択すると「ｉモード」フォルダやそれぞれに対応したフォルダに保存されます。
保存する画像にBMP形式、PNG形式の画像が含まれている場合は「microSD」のみ選択できます。
●「microSD」を選択した場合の保存先についてはP.367参照。
●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。

3 ピクチャ貼付するかどうかの確認画面が表示された場合、ピクチャ貼付するには「YES」を選択

P.321「ピクチャ貼付」へ進みます。

お知らせ

●ファイル名は半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合には、ダウンロードしたURLの一部または「imageXXX」(XXXは数字)で保存されます。
●サイト上では表示されていても、FOMA端末に保存してピクチャビューアで表示すると、表示されない場合があります。
●以下の条件を満たす画像は、デコメ絵文字®として保存されます。
・GIFまたはJPEGの画像　・20ドット×20ドットの画像
・ファイル制限なしの画像　・6Kバイト以下の画像
●拡張子が「ifm」で透過GIF(アニメーションGIFを除く)の画像は、フレームまたはスタンプ画像として保存されます。
●1件あたりｉモードでは最大500Kバイトまで、フルブラウザでは最大1524Kバイトまでの画像を保存できます。
●画像によっては保存できない場合があります。また、BMP形式、PNG形式の画像はmicroSDカードにのみ保存できます。

データのダウンロード

サイトからファイルやデータをダウンロードしてFOMA端末に保存できます。ファイルによってはmicroSDカードに直接保存できるものもあります。
メロディ、PDFデータ、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、フォント、テンプレート、トルカ、スケジュール、辞書などを保存できます。また、複数種類のコンテンツをまとめてダウンロードできるコンテンツパッケージもダウンロードできます。

- MyFACEコンテンツのダウンロードについてはP.36参照。
- ｉモーション・ムービーの取得についてはP.209参照。
- 着うた®フルのダウンロードについてはP.263参照。

■ダウンロード可能な最大サイズ

種類	最大サイズ
メロディ	100Kバイト
PDFデータ	2Mバイト
きせかえツール	2Mバイト
マチキャラ	5Mバイト
キャラ電	100Kバイト
フォント	10Mバイト
テンプレート(デコメール®)	200Kバイト
テンプレート(デコメアニメ®)	100Kバイト
トルカ	100Kバイト
スケジュール	1Mバイト
辞書	20Kバイト
コンテンツパッケージ	60Mバイト

1 データのダウンロードが可能なサイトを表示 ▶データを選択

データをダウンロードします。ダウンロードが完了すると、データ取得完了の画面が表示されます。

- PDFデータの場合は、ダウンロードが完了すると、PDFデータが表示されます。PDFデータ表示中の操作についてはP.375参照。

2 保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

ファイルによっては保存先を選択する画面が表示されます。
コンテンツパッケージの場合は、続けてそれぞれのコンテンツをダウンロードします。ダウンロードしたコンテンツは、それぞれのフォルダに自動で保存されます。

- トルカの場合は、[✉]を押すごとにFOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- 「情報表示」を選択するとデータの情報が表示されます。
- 「microSD」を選択した場合の保存先についてはP.367参照。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。

3 ダウンロードしたデータをそれぞれの機能に設定する場合は「YES」を選択

- メロディを着信音に設定する場合は着信の種類を選択します。
- テンプレートでデコメール®作成やデコメアニメ®作成する場合はP.137、P.140参照。

お知らせ

- ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。
- ファイルによっては、フルブラウザからはダウンロードできない場合があります。
- コンテンツパッケージをダウンロードする際に、ダウンロードできなかったコンテンツがあるときは、取得完了の画面から再度すべてのコンテンツをダウンロードできます。再ダウンロードを行わなかった場合、「データBOX」の「コンテンツパッケージ」から再ダウンロードできます。

コンテンツパッケージ、きせかえツール、マチキャラ、フォントのダウンロードが中断したときは

「Cancel」や「中止」を選択してダウンロードを中断したり、通信の切断などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択するとデータ取得完了の画面が表示されます。コンテンツパッケージ、きせかえツール、マチキャラの場合、データ取得完了の画面で「部分保存」を選択すると保存できます。「部分保存」の場合は「本体」にのみ保存できます。
部分保存した残りのデータは「データBOX」の「コンテンツパッケージ」、「きせかえツール」、「マチキャラ」から再ダウンロードできます。

ｉモードで探す

サイトから好みのデータを探してダウンロードします。保存できる件数はそれぞれダウンロードするデータによって異なります。サイトの変更はできません。

1 各種選択画面▶ｉモードで探す▶YES▶データを選択

- ダウンロードの方法はデータによって異なります。
- ｉスケジュール一覧画面では「ｉスケジュールリストへ」を選択します。

お知らせ

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

「P-SQUARE」について

お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字®、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、テンプレート、辞書、コンテンツパッケージは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。

ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

保存しているデータがいっぱいのときは

データを保存するときに、すでに最大保存件数まで保存している場合や、メモリの空きが不足している場合は、不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

1. YES▶削除したいデータにチェック▶📷(削除)▶YES

データによっては同じ保存領域に保存されているため、データを削除する際に、別のデータを選択できます。フォルダを選択して削除したいデータにチェックを付けます。チェックの付いたデータがあるフォルダには「＊」が表示されます。不足している容量分にチェックを付けると「完了」が表示されます。

- サブメニューから「ページ内全選択／ページ内選択解除」または「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
- MENU(容量)を押すか、サブメニューから「表示モード切替」を選択するごとに、フォルダ容量やデータ容量の表示／非表示が切り替わります。
- サブメニューから「再生」を選択すると内容を確認できるデータもあります。
- フォルダに階層があるファイルを選択する場合、📷(フォルダ)を押して下の階層のフォルダを表示できます。CLRを押すごとに上の階層に戻ります。
- データ量が多いファイルの場合、他のデータを削除するときは多くのデータを削除する必要があります。
- 番組で「番組移動」を行ったときや、ｉアプリ･トルカを保存したときに、最大保存件数まで保存されていた場合は、同じ種類のデータを1件以上削除する必要があります。
- 他の機能で設定しているデータには「★」マークが付いている場合があります。
- microSDカード内のｉアプリをFOMA端末に移動する際に、本操作を行う場合、ICカード内にデータがあるｉアプリは削除できません。

Flash機能

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。Flash画像を利用した画像をFOMA端末にダウンロードして再生したり、待受画面に設定したりできます。

■Flash® Videoとは

Flash® Videoとは、Adobe Flash Player で再生できる映像です。
Flash® Videoはｉモード（ｉチャネルを除く）、フルブラウザ、画面メモ※、マイピクチャ※で再生できます。
※埋め込み型のFlash® Videoのみ

- 再生可能なFlash® Videoは以下の2種類です。

種類	説明
プログレッシブ型再生	Flash画像とは別に作成されたビデオデータを、配信サーバからダウンロードしながら再生するタイプの方法です。
埋め込み型再生	Flash画像の中に、要素の1つとしてビデオデータを埋め込むタイプの方法です。

- サイトによっては再生できないことがあります。
- プログレッシブ型のFlash® Videoは最大約10Mバイトまでのファイル再生に対応しており、大容量データを受信する可能性があります。データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますのでご注意ください。
- プログレッシブ型のFlash® VideoはデータBOXに保存したり、画面メモに保存したりできません。

■Flash® Video再生の仕様について

	FLV	F4V
コーデック	ビデオ：Sorenson Spark／On2VP6 オーディオ：MP3	ビデオ：H.264 オーディオ：AAC
最大ビットレート	ビデオ：400kbps オーディオ：96kbps	ビデオとオーディオを合わせたビットレート：700kbps
ビデオサイズ	QVGA（320×240）以下のファイル	VGA（640×480）以下のファイル
最大フレームレート	15fps	15fps

- 本FOMA端末はAdobe Flashテクノロジーを採用しています。
- Flash画像によっては、本FOMA端末で正しく動作しない場合があります。

お知らせ

- サイトで表示されるFlash画像の表示サイズは最大480×662ドットです。480×662ドットを超える場合は縦横比を固定して縮小して表示されます。
- Flash画像によってはお客様のFOMA端末の端末情報を利用するものがあります。端末情報を利用するには、「端末情報利用設定」を「利用する」に設定してください。（お買い上げ時は「利用する」に設定されています。）
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合には、「サウンド設定」を「OFF」に設定してください。
- 待受画面に設定されたFlash画像の効果音やバイブレータは動作しません。
- バックグラウンド再生中は、Flash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像によっては再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。「バイブレータ設定」の設定に関わらず振動します。
- Flash画像をデータBOXやmicroSDカード、画面メモなどに保存して再生すると、保存した場所によって見えかたが異なる場合があります。
- Flash画像によっては、正しく動作しない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によってはやで操作できることがあります。「」が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができることがあります。フルブラウザで表示している場合は、ポインタ表示中のみ操作できます。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。

データのアップロード

FOMA端末に保存しているJPEGまたはGIF形式の画像やｉモーションをサイトにアップロードします。

1 ファイルのアップロードが可能なサイトを表示▶参照▶マイピクチャ・ｉモーション▶アップロードしたいファイルを選択

- サイトによってはアップロード方法が異なる場合があります。

お知らせ

- 合計2Mバイトまでのファイルをアップロードできます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているファイルはアップロードできません。

反転した情報の操作

サイトのページやメールなどで反転表示された情報(電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像など)を利用して簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したり、ワンセグの起動や視聴予約・録画予約を登録したりできます。

- パソコンなどから送信されたメールや、サイトによっては、Web To、Phone To／AV Phone To、Mail To、ｉアプリ To、Media To、住所リンク機能が使用できない場合があります。
- 電話番号、メールアドレス、URL以外の反転表示された情報を使ってWeb To、Phone To／AV Phone To、Mail To、ｉアプリ To 機能を利用できる場合もあります。
- デコメアニメ®では反転表示されません。

Phone To／AV Phone To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている電話番号などの情報を使って、音声電話やテレビ電話をかけます。

- テレビ電話でのPhone To 機能のことをAV Phone To 機能と呼びます。

1 電話番号などの情報を選択▶発信方法を選択

- 「音声発信」を選択して[メール](声宅配)を押すと、声の宅配便を発信することができます。(P.60参照)「声の宅配便」が表示されている場合は、「声の宅配便」を選択しても発信できます。
- 「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。
- 「SMS作成」を選択すると電話番号を宛先としたSMSを作成します。P.173手順3へ進みます。
- 電話番号の前に「tel:」または「tel-av:」があった場合などは、発信方法の選択肢が表示されないことがあります。手順2へ進みます。

2 [発信]を押す

- テレビ電話発信の場合は「発信」を選択します。
- 国際電話をかける場合はサブメニューまたは発信確認の画面で「国際電話発信」を選択します。(P.63参照)
- 発信者番号通知を設定する場合はサブメニューまたは発信確認の画面で「発信者番号通知」を選択します。(P.60「電話をかけるときの設定」手順2参照)

Mail To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているメールアドレスなどの情報を使って、メールを送ります。

1 メールアドレスなどの情報を選択

宛先にはメールアドレスなどがすでに入力されています。
P.134手順3へ進みます。

iモード／フルブラウザ

Web To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURLなどの情報から、ｉモードまたはフルブラウザを使って、インターネットホームページに接続します。

1 URLなどの情報を選択 ▶ｉモードで接続・フルブラウザで接続

- URLなどの情報が、それぞれｉモード、フルブラウザの情報を含んでいる場合は、「YES」を選択すると情報に対応した機能で接続します。

ｉアプリ To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURL(リンク)からｉアプリを起動します。

1 ｉアプリの情報を選択▶YES

ｉアプリが起動します。

お知らせ

- ｉモードメール本文にｉアプリを起動させるリンクがある場合、返信や転送をするとｉアプリを起動させるリンクは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時もｉアプリを起動させるリンクは引用できません。

Media To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている情報(リンク)からワンセグを起動したり、視聴予約・録画予約を行います。

1 ワンセグの情報を選択▶YES

ワンセグや視聴予約・録画予約が起動します。

- 予約機能が起動したときは📷(完了)を押して視聴予約・録画予約を登録します。
  予約したい内容を変更する場合はP.251「視聴予約リスト」手順1、P.251「録画予約リスト」手順1へ進みます。

お知らせ

- 反転表示されていてもMedia To 機能が利用できない場合があります。

住所リンク機能

サイトなどの中に表示されている住所などから地図を表示したり、GPS対応ｉアプリで位置情報を利用したりできます。また、位置情報をｉモードメールで送信することもできます。

1 住所などの位置情報を選択▶項目を選択

地図を見る……選択した位置情報から地図を表示します。(P.304参照)

対応ｉアプリ……GPS対応ｉアプリを選択して起動します。(P.304参照)

メール貼り付け……位置情報をURL化し、本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。(P.304参照)

位置情報確認……選択した位置情報の内容を表示します。

ｉモード／web設定

ｉモード、フルブラウザ利用時の設定や共通の設定を行います。ｉモードの設定、フルブラウザの設定はそれぞれ個別に設定でき、設定は共有されません。

- サイト表示中のサブメニューから設定を変更できる項目は、ｉモードで接続中は「ｉモードブラウザ設定」の設定が、フルブラウザで接続中は「フルブラウザ設定」の設定が変更されます。

ｉモードブラウザ設定

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定 ▶ｉモードブラウザ設定▶以下の操作を行う

- 「ｉモードブラウザ設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

画像表示設定	サイトや画面メモなどに含まれる画像やFlash画像を表示するかどうかを設定します。

サウンド設定	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際の効果音の音量を設定します。
動画自動再生設定	P.210参照
ページ内データ取得設定	サイト表示中に動画や音楽などを再生する際、データを取得するかどうかを設定します。 ●「取得する」に設定していると、確認画面は表示されず、自動で取得します。
Script動作設定	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。 JavaScriptとは、ブラウザ上で動作する簡易なプログラミング言語です。お客様の操作に合わせて、インターネットホームページの表示を動的に変更するなどダイナミックな表現を行うことができます。例えば、ページ全体を再読み込みすることなく、お客様の操作に応じて地図部分のみをスクロールさせて表示するようなことができるのはJavaScriptによるものです。 JavaScriptを有効にすることによって、お客様がインターネットホームページに入力した情報やインターネットホームページの訪問履歴などが第三者に知られる可能性もありますので、十分にご注意ください。
端末情報利用設定	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、FOMA端末の情報を利用する場合があります。その場合に、情報を利用するかどうかを設定します。
文字サイズ設定	ｉモード表示時の文字サイズを設定します。
Cookie設定	P.203参照
Cookie削除	P.203参照
Referer設定	P.203参照
タブ自動起動設定	JavaScriptで新規タブを自動で開かないようにするかどうかを設定します。
ポインタ表示設定	ポインタ表示するかどうかを設定します。

お知らせ

<画像表示設定>

●「表示する」に設定していても、正しく表示されない場合があります。その場合、「 」が表示されます。

●「表示しない」に設定すると、「 」で表示され、データの受信を行いません。

●「ｉモードブラウザ設定」の「画像表示設定」の設定を変更した場合は、ワンセグの「ユーザ設定」の「画像表示設定」も変更されます。ただし、ワンセグ起動中に「ｉモードブラウザ設定」の「画像表示設定」を変更しても、ワンセグの「ユーザ設定」は変更されず、次回ワンセグ起動時に変更が反映されます。

<サウンド設定>

●効果音を鳴らす設定にしていても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<Script動作設定>

●インターネットホームページによっては、「有効」に設定しないと正常に表示できない場合があります。

●「有効」に設定してもJavaScriptによっては動作しない場合があります。

<端末情報利用設定>

●利用できる情報は以下のとおりです。

・「メイン時計設定」で設定した日付時刻
・「着信音量」の「電話」で設定した音量
・「Select language」で設定した言語
・電波の受信レベル
・電池残量
・FOMA端末の機種や製造番号

フルブラウザ設定

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶フルブラウザ設定▶以下の操作を行う

●「フルブラウザ設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

画像表示設定	P.199参照
サウンド設定	P.200参照
動画自動再生設定	P.210参照
ページ内データ取得設定	P.200参照
Script動作設定	P.200参照

端末情報利用設定	P.200参照
文字サイズ設定	フルブラウザ表示時の文字サイズを設定します。
Cookie設定	P.203参照
Cookie削除	P.203参照
Referer設定	P.203参照
タブ自動起動設定	P.200参照
ポインタ表示設定	P.200参照
フルブラウザホーム設定	ホームURLを設定します。
表示モード設定	P.181参照
フルブラウザ確認表示	フルブラウザを起動する際に、接続するかどうかの確認画面を表示するかどうかを設定します。 ●「毎回表示」に設定していても、確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択すると「表示しない」に設定されます。
自動通信サイズ設定	フルブラウザで受信したページのデータが規定のサイズを超えたときの動作を設定します。 ●「制限なし」に設定していると、確認画面は表示せずにそのまま受信します。「毎回確認」に設定していると、規定のサイズを超えるたびに受信するかどうかの確認画面を表示します。「制限あり」に設定していると、確認画面は表示せずに受信を中止します。 ●「毎回確認」に設定していても、確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択すると「制限なし」に設定されます。
フルブラウザ利用設定	フルブラウザの起動時に注意事項を表示します。注意事項を確認し、フルブラウザを利用するかどうかを設定します。
拡大縮小表示	インターネットホームページの画面の表示サイズを設定します。サイト表示中のサブメニューでは、タブごとに拡大／縮小できます。
ショートカット	サイト表示中にボタン操作で起動できる機能を一覧表示します。ボタンに割り当てられた機能は変更することもできます。 ●機能を選択すると、別の機能に変更できます。 ●[カメラ]([完了])を押すと変更が反映されます。 ●[iα]([リセット])を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

お知らせ

<自動通信サイズ設定>
- 「毎回確認」に設定していても、大容量のファイル(ムービー、Flashなど)をダウンロードする際は、確認画面は表示されません。

<フルブラウザ利用設定>
- 「利用する」に設定しているときに別のドコモminiUIMカードに差し替えると、「利用しない」に設定が変更されます。

共通設定

1 **[MENU]▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶共通設定▶以下の操作を行う**

- 「共通設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

証明書設定		P.204参照
接続先設定		P.202参照
セキュア通信サービス設定		
	ユーザ証明書操作	P.205参照
	センター接続先設定	P.206参照
ｉモードボタン設定		待受画面で[iα]を押したときにｉMenuに接続するかｉモードメニューを表示するかを設定します。
スクロール設定		サイト表示中の画面で[O]を押したときにスクロールする行数を設定します。
PagePilot表示設定		大きいページのサイトをポインタで移動する際に、PagePilotの画面を表示するかどうかを設定します。

ポインタ移動距離設定	◎でポインタを移動させるときの、ポインタが最初に動く移動距離を設定します。
ポインタ加速度設定	ポインタの移動速度を設定します。
Bookmark表示設定	Bookmarkフォルダ一覧画面やBookmark一覧画面の表示方法を設定します。

お知らせ

<ｉモードボタン設定>
- 海外では設定に関わらず、ｉモードメニューが表示されます。

<Bookmark表示設定>
- microSDカード内のBookmark一覧画面では、サムネイル表示できません。

ｉモード設定確認

「ｉモード／web設定」の各設定内容を一覧で表示します。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶ｉモード設定確認

- 「ｉモード設定確認」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

ｉモード設定リセット

「ｉモード／web設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。リセットされる項目についてはP.450「機能一覧表」を参照してください。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶ｉモード設定リセット▶端末暗証番号を入力▶YES

- 「ｉモード設定リセット」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

接続先設定(ISP接続通信)

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ｉモード(ドコモ)以外のサービスを受けるときに使う接続先(APN)の設定をします。
登録した接続先に変更したときはｉモードを利用できなくなります。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶共通設定▶接続先設定▶<未登録>を選んで📷(編集)▶端末暗証番号を入力

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- サブメニューから登録済みの接続先を削除できます。

2 以下の操作を行う▶📷(完了)

接続先名称	接続先名称を入力します。
接続先番号	接続先番号を入力します。
接続先アドレス	接続先アドレスを入力します。
接続先アドレス2	接続先アドレス2を入力します。

Cookie設定

Cookieを利用すると、一度接続したインターネットホームページに効率よく接続できます。
Cookieとは、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数など、お客様に関する情報を一時的に保存しておく仕組みです。サーバからFOMA端末に書き込まれて一時的に保存され、コンテンツサービスなどに利用されます。

- Cookieを送信した場合、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数などの情報がサイト側に送信されます。Cookieを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。ただし、インターネットホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieの設定を有効にしていないと正常に表示／利用できない場合があります。

Cookie設定

Cookieを有効にするかどうかを設定します。i モード、フルブラウザそれぞれ設定できます。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶ｉモードブラウザ設定・フルブラウザ設定▶Cookie設定▶項目を選択

有効 . . . . Cookieを常に有効にします。Cookieの送受信時に確認画面は表示されません。
毎回確認（送信時のみ）. . . Cookieの送受信ともに有効にしますが、Cookieの送信のたびに許可するかどうかの確認画面が表示されます。
毎回確認（受信時のみ）. . . Cookieの送受信ともに有効にしますが、Cookieの受信のたびに許可するかどうかの確認画面が表示されます。
毎回確認（送受信時）. . . . . Cookieの送受信のたびに許可するかどうかの確認画面が表示されます。
無効 . . . . Cookieを常に無効にします。

- 別のドコモminiUIMカードに差し替えると、「無効」に設定されます。別のドコモminiUIMカードのまま設定を変更すると、端末暗証番号の入力画面が表示される場合があります。

お知らせ

- 「毎回確認」に設定すると、インターネットホームページによってはCookieを送受信（更新）するかどうかの確認画面が連続して表示される場合があります。

Cookie削除

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶ｉモードブラウザ設定・フルブラウザ設定▶Cookie削除▶端末暗証番号を入力▶YES

Referer設定

Refererを送信するかしないかを設定します。i モード、フルブラウザそれぞれ設定できます。
Refererとは、リンク元情報のことです。Refererを送信すると、自分がどのページから接続しているかの情報がサイトに送信されます。Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶ｉモードブラウザ設定・フルブラウザ設定▶Referer設定▶有効・無効

有効 . . . Refererを送信します。
無効 . . . Refererを送信しません。

証明書操作

証明書設定

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶共通設定▶証明書設定▶証明書を選んでMENU(サブメニュー)▶以下の操作を行う

証明書表示	証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を表示します。 ●証明書を選択しても内容を確認できます。
有効／無効設定	無効に設定され、「」が「」になります。 ●すでに無効に設定されている証明書を選択した場合は、有効に設定されます。 ●無効に設定すると、そのSSL/TLS証明書を持っているサイトは表示できなくなります。 ●「ドコモ証明書2」は無効に設定できません。

SSL/TLS通信で使用する証明書について

証明書 . . . 認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

ドコモ証明書
. . . . FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、ドコモminiUIMカード内に保存されています。

ユーザ証明書
. . . . 「ｉモード／web設定」の「共通設定」内の「セキュア通信サービス設定」から「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書です。ドコモminiUIMカード内に保存されます。

FirstPass設定

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスと契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はドコモminiUIMカードに保存され、FirstPass対応サイトでご利用になれます。
ドコモminiUIMカードに保存されているユーザ証明書が有効期限切れであったり、または必要なユーザ証明書がドコモminiUIMカードに保存されていないために、FirstPass対応サイトが表示できない場合、FirstPassセンターに更新申請を行い、そのユーザ証明書をダウンロードできます。

●FirstPassセンターへユーザ証明書の発行を要求し、ダウンロードができます。
●FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
●FirstPass対応サイトはフルブラウザでもご利用になれます。
●FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
●FirstPassセンターに接続する際は、あらかじめ「メイン時計設定」で日付･時刻を設定しておいてください。
●オートGPS機能を設定中はご利用になれません。
●海外ではご利用になれません。

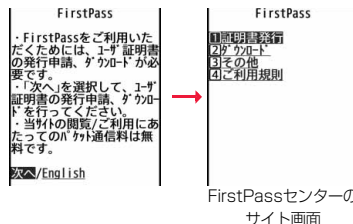
クライアント認証について

●FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。
●クライアント認証は、FOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためにはFirstPass PCソフトが必要です。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

FirstPassセンターへの接続

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターのサイトから行います。

1 **MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶共通設定▶セキュア通信サービス設定▶ユーザ証明書操作▶次へ**

FirstPassセンターのサイト画面

お知らせ

- FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。

ユーザ証明書の発行申請・ダウンロード

ユーザ証明書のダウンロードを行う前には、必ずユーザ証明書の発行を申請します。発行申請が完了したら、ユーザ証明書をダウンロードします。ダウンロードが完了すると、ユーザ証明書はドコモminiUIMカードに保存され、FirstPass対応サイトが表示できるようになります。

1 **FirstPassセンターのサイト画面▶証明書発行▶実行**

「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。
実行/メニュー

- 更新の場合、「証明書の更新発行申請を行います。」と表示されます。
- ユーザ証明書の発行を申請済みの場合は、FirstPassセンターのサイト画面で「ダウンロード」を選択し、手順3へ進みます。

2 **PIN2コードを入力**

FirstPass
証明書の発行申請が完了しました。
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ操作を行ってください。
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ/ﾒﾆｭｰ

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
- PIN2コードについてはP.115参照。

3 **ダウンロード▶実行**

- すぐにユーザ証明書をダウンロードしない場合は、「メニュー」を選択します。SSL/TLSページを終了するかどうかの確認画面で「YES」を選択し、FirstPassセンターのサイト画面に戻ります。

お知らせ

- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

ユーザ証明書でのサイト接続

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応サイトに接続します。

1 **FirstPass対応サイトを表示▶項目を選択▶YES**

2 **PIN2コードを入力**

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
- PIN2コードについてはP.115参照。

お知らせ

- ユーザ証明書がない状態や、ユーザ証明書の有効期限が切れている状態でFirstPass対応サイトに接続しようとした場合、継続するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択すると元のページに戻りますので、FirstPassセンターのサイトでユーザ証明書をダウンロード／更新してから再度接続してください。
- FirstPass対応サイトへの接続に発生するパケット通信料はｉモードパケット定額サービスの料金に含まれます。

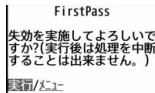
ユーザ証明書の失効申請

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 FirstPassセンターのサイト画面▶その他▶証明書失効▶YES▶PIN2コードを入力

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
- PIN2コードについてはP.115参照。

2 実行▶次へ▶実行

FirstPass
失効を実施してよろしいですか?(実行後は処理を中断することは出来ません。)
実行/メニュー

お知らせ

- 失効が完了したあとにFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を見る場合はP.204参照。

センター接続先設定

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶共通設定▶セキュア通信サービス設定▶センター接続先設定▶<未登録>を選んで TV（編集）▶端末暗証番号を入力

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- サブメニューから登録済みの接続先を削除できます。

2 以下の操作を行う▶ TV（完了）

初期画面URL	初期画面URLを入力します。
接続先番号	接続先番号を入力します。

■FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものと見なされますので、ドコモminiUIMカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- ドコモminiUIMカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSL/TLSのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

ｉモーション・ムービー／ｉチャネル／ｉコンシェル

iモーション・ムービー

iモーションは、映像や音声、音楽のデータで、iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み再生できます。また、iモーションを着信音に設定することもできます。
また、高速通信を利用して、インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されている様々なムービーを、滑らかに高画質で再生できます。
iモーション、ムービーには、それぞれ大きく分けて2つのタイプがあります。取得したiモーション、ムービーがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。
1件あたりiモーションはiモードで50Mバイト、フルブラウザで10Mバイトまで、ムービーはiモード、フルブラウザ共に10Mバイトまで取得できます。ただし、ストリーミングタイプのムービーを再生する場合は、容量の制限がありませんのでご注意ください。

- ムービープレーヤーはWindows Media VideoやWindows Media Audioの再生に対応しています。
- iモーション･ムービーのダウンロード、ストリーミング時には大容量データを受信する可能性があります。容量制限のないストリーミングタイプのムービーなど、送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、「ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）」をご覧ください。

■ iモーションのタイプ

種類	説明
ストリーミングタイプ（保存不可）	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったiモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存したりできません。
標準タイプ（保存可）	iモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	iモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、データ取得後の再生と同様に再生できます。

■ムービーのタイプ

種類	説明
ストリーミングタイプ（保存不可）	受信しながら同時に再生を行います。再生が終わったムービーデータは消去され、繰り返し再生したり、保存したりできません。
ダウンロードタイプ（保存可）	ムービーのデータをすべて取得してから再生します。
	受信しながら同時に再生を行います。ダウンロードが完了したあとに、FOMA端末やmicroSDカードに保存することで通信せずに再生できます。1件あたり10Mバイトまでダウンロードできます。
	FOMA端末で取得したデータだけでなく、パソコンで取得したり、作成したムービーをFOMA端末やmicroSDカードに保存して、映像を再生できます。1件あたりの容量は、FOMA端末、microSDカードの容量内なら無制限に保存できます。

- ストリーミングタイプの配信サーバはWindows Media Services 4.1、Windows Media Services 9に対応しています。Windows Media Services 4.1、Windows Media Services 9以外から配信されるストリーミングタイプのムービーの再生はできません。
  配信方式には、リアルタイムに配信されるライブ配信やあらかじめ用意されたムービーが配信されるオンデマンド配信があります。
- サイトによっては動作環境（ブラウザ種別、OS種別など）を確認する場合があり、ムービーの再生ができないことがあります。
- 対応するムービーのファイル形式についてはP.328参照。

iモーション・ムービーの取得

iモーション・ムービーの取得・再生

1 iモーション・ムービーの取得が可能なサイトでiモーション・ムービーを選択

データの取得を開始します。
- ストリーミングタイプのムービーの場合は取得するかどうかの確認画面が表示されます。
- ストリーミングタイプのiモーション・ムービーの場合は、取得中にiモーション・ムービーが再生されます。
「動画自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていると、取得しながら再生できるiモーションやダウンロードタイプのムービーの場合も、取得中にiモーション・ムービーが再生されます。
- データをすべて取得してから再生できるiモーションの場合は、「動画自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていると、取得したあとに自動的にiモーションが再生されます。

2 データ取得完了の画面で「再生」を選択

再生中の操作についてはP.327参照。
- 「情報表示」を選択するとiモーション・ムービーの情報が表示されます。（P.329「iモーション情報」、P.329「コンテンツ情報」参照）

ライセンス（Windows Media DRM）について

- ライセンスにより保護されたムービーで再生できるのはストリーミングタイプのみです。ライセンスに保護されたダウンロードタイプのムービーは再生できません。
- ムービーのライセンス設定によってはムービーの再生ができない場合があります。
- ライセンスを取得してFOMA端末に保存する際、データがいっぱいのときはすでに保存されているライセンスを削除して保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとすでに保存されているライセンスをすべて削除して保存します。ライセンスを削除してしまったムービーを再生する場合は、再度ライセンスを取得する必要があります。

iモーションのダウンロードが中断したときは

「Cancel」を選択してダウンロードを中断したり、通信の切断などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択すると、部分保存可能なiモーションの場合はデータ取得完了の画面が表示されます。「部分保存」を選択した場合は、「データBOX」の「iモーション」内の任意のフォルダを選択して保存します。
部分保存した残りのデータは「データBOX」から再ダウンロードできます。
- 音声電話、メールやメッセージR/Fの受信、アラーム通知があったときもダウンロードは継続されます。
- 部分保存したiモーションの再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません。また、取得操作を行う際、部分保存されていたデータを削除できます。

ムービーの取得が中断したときは

取得中のムービーのタイプや中断理由によって、それぞれ動作が異なります。

ストリーミングタイプの場合

着信やアラーム通知、通信の切断によって中断した場合、中断後は一時停止状態となります。◉（▶）を押すと、続きから再生を再開します。
CLRや⌒を押して中断した場合は、再生前の画面に戻ります。

ダウンロードタイプの場合

CLRを押した場合は、ダウンロードを中止してデータ取得完了の画面が表示されます。
⌒を押した場合は、破棄するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択すると、データ取得完了の画面が表示されます。
通信の切断などによって中断した場合、中断後にダウンロードが継続できないときはデータ取得完了の画面が表示されます。「再生」を選択すると取得したところまでの再生を行います。「部分保存」を選択すると取得したところまでのデータを保存します。（P.210「iモーション・ムービーの保存」参照）「再DL」を選択すると続きから取得を再開します。
- ダウンロードタイプの場合、音声電話、メールやメッセージR/Fの受信、アラーム通知があったときもダウンロードは継続されます。
- 接続するサイトおよびムービーによっては、◉（▶）を押したり、「再DL」を選択したりしても、続きから再開できない場合があります。その場合、ファイルの先頭から取得を再開します。

お知らせ

- ストリーミングタイプのムービーはサイズに上限がなく、パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。取得の際には再生するかどうかの確認画面が表示されます。
- 接続するサイトやｉモーション･ムービーによっては、データの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。また、ASF形式のｉモーションは取得できません。
- 再生できるｉモーションのファイル形式についてはP.328参照。
- 標準タイプのｉモーションの場合、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。ダウンロードタイプのムービーの場合、データ取得中の再生を途中で停止するとデータ取得完了の画面が表示されます。
- 「動画自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取得したあとに自動再生はされません。
- 再生できる期間が制限されているｉモーション･ムービーは、期間前や期間後(ダウンロード中に期間後になった場合も含む)には再生できません。また、長い間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーション･ムービーは再生できません。再生制限を確認するには「ｉモーション情報」、「コンテンツ情報」参照。
- 回線速度･回線状況･電波環境により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。標準タイプのｉモーションやダウンロードタイプのムービーはデータ取得完了後に繰り返し再生できますが、ストリーミングタイプのｉモーション･ムービーは再生できません。
- 電池残量が少ない状態でムービーを再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

ｉモーション･ムービーの保存

取得したｉモーション･ムービーをFOMA端末、microSDカードに保存します。

1 データ取得完了の画面▶保存▶YES ▶保存したいフォルダを選択

- ｉモーションやムービーをmicroSDカードに保存する場合の保存先についてはP.367参照。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。

お知らせ

- ｉモーション･ムービーによっては取得したデータを保存できない場合があります。
- 部分保存したｉモーションをデータBOXから再生することはできません。部分保存したムービーの場合は、取得したところまで再生できます。

動画自動再生設定

サイトから標準タイプのｉモーション、ダウンロードタイプのムービーを取得した場合に、ｉモーション･ムービーを自動的に再生するかどうかを設定します。ｉモード、フルブラウザそれぞれ設定できます。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定 ▶ｉモードブラウザ設定･フルブラウザ設定 ▶動画自動再生設定▶自動再生する･自動再生しない

お知らせ

- 「自動再生しない」に設定していても、ストリーミングタイプのｉモーション･ムービーは自動再生されますので、ご注意ください。

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、CLRを押すことで最新情報がチャネル一覧画面に表示されます。(P.211参照)
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP(情報サービス提供者)が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。
お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」共に詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはｉモード契約が必要です)。
- ｉチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

- ｉチャネル契約後、FOMA端末の電源が「OFF」または「圏外」など電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。その場合は、CLRを押して表示される未契約者用のチャネルを選択することで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。また、お買い上げ時の状態のままでは情報を受信できない場合があります。その場合は、CLRを押すことで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。
- ｉチャネルは海外では、ｉチャネル受信ごとに通信料がかかります。
- ｉチャネルサービス解約後などは、自動的にテロップが表示されなくなります。
- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合は、テロップは表示されたままになります。

ｉチャネルの表示

「テロップ表示設定」を「表示する」に設定すると、最新のものから最大10件のテロップが待受画面に繰り返し流れます。詳しい情報を知りたいときはチャネル一覧画面から取得できます。

1 CLRを押す

「テロップ表示設定」の設定に関わらず、チャネル一覧画面が表示されます。

- 情報を受信中は「⇆」が点滅します。
- チャネル一覧画面のサブメニューから「リトライ」(P.186参照)、「サウンド設定」(P.200参照)、「タブ操作」(P.186参照)、「クイック検索」(P.188参照)を選択できます。

2 項目(リンク先)を選択

お知らせ

- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。また、着信／充電ランプも光りません。
- 以下の場合は、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、CLRを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
  ・ドコモminiUIMカードを差し替えた場合
  ・「接続先設定」を変更した場合
  ・「ｉチャネル初期化」を行った場合
  ・「端末初期化」を行った場合
  ただし、「接続先設定」を変更すると、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、CLRを押してチャネル一覧画面を表示してください。
- 「接続先設定」を変更した場合は、ｉチャネルの接続先も変更されます。(通常は、設定を変更する必要はありません。)
- 利用している状況により、チャネル一覧画面を表示したタイミングで情報を受信することがあります。
- 「フォント設定」の「ｉモード」を変更しても、チャネル一覧画面の文字サイズは、すぐに変更されません。

テロップ表示設定

1 MENU▶iモード／web▶iチャネル▶以下の操作を行う

●選択している項目のショートカットを作成できます。(P.40参照)

項目	説明
iチャネル一覧	チャネル一覧画面を表示します。
テロップ表示設定	
テロップ表示設定	待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。 ●2in1の各モードごとに設定できます。また、2in1がOFFのときはAモード中の設定と共通になります。
テロップ文字サイズ設定	テロップの文字サイズを設定します。
テロップ色設定	テロップの文字色を設定します。
テロップ速度	テロップが流れる速度を設定します。
iチャネル初期化	取得したiチャネルの情報を初期化し、「テロップ表示設定」「テロップ文字サイズ設定」「テロップ色設定」「テロップ速度」をお買い上げ時の設定に戻します。

お知らせ

＜テロップ表示設定＞

●公共モード(ドライブモード)中、ダイヤルロック中は、テロップは表示されません。

＜iチャネル初期化＞

●初期化を行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、CLRを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

iコンシェル

iコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ(お住まいのエリア情報、メモ、スケジュール、トルカ、電話帳など)をお預かりし、メモやスケジュールの内容、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好に合わせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されたメモやスケジュール、ToDoに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。iコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ(待受画面上のキャラクタ)がお知らせします。

●iコンシェルの詳細については「ご利用ガイドブック(iモード＜FOMA＞編)」をご覧ください。

■ iコンシェルのご利用にあたって

●iコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはiモードの契約が必要です)

●ケータイデータお預かりサービス(P.128参照)のご契約をされていないお客様が、iコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。

●コンテンツ(インフォメーション、iスケジュールなど)によっては、iコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。

●インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。

●詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。

●国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。

●iコンシェルを海外でご利用になる場合は海外利用設定が必要となります。(P.439参照)

●iスケジュール・メモ・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。

インフォメーションの受信

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にインフォメーションが送られてきます。
インフォメーションが届くと画面の上部に「 」が表示されます。
受信したインフォメーションは、最大50件まで保存でき、古いインフォメーションから上書きされます。

1 インフォメーションを受信すると「 」が点滅し、待受画面に内容が表示される

- 一度に複数のインフォメーションを受信した場合、待受画面には最新の1件が表示されます。
- 待受画面以外を表示中は、受信した旨のメッセージが表示されます。「確認」を選択するとインフォメーションの詳細を確認できます。

2 メッセージを選択▶インフォメーションを選択

インフォメーションの詳細が表示されます。

- 待受画面で または (1秒以上)を押すか、メッセージを選んで または (1秒以上)を押すとメッセージを消去できます。

お知らせ

- 「メール設定」の「受信時動作設定」を「操作優先」に設定している場合、待受画面以外を表示中にインフォメーションを受信しても、受信した旨のメッセージは表示されません。

iコンシェルの表示

1 MENU▶iコンシェル▶インフォメーション一覧▶インフォメーションを選択

- 未読のインフォメーションには未読マークが表示されます。
- インフォメーションには、iスケジュールやスケジュールのデータ、トルカが添付されていたり、より詳細な情報や関連情報を見るためのサイトへのリンクが記載されていることがあります。内容を確認するにはインフォメーションを選択します。
- MENUを押すと、iコンシェルのメニューが選択できます。
  iコンシェルメニューの内容は、機能の追加などにより変更する場合があります。

インフォメーション表示設定

受信したインフォメーションを待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶インフォメーション表示設定▶表示する・表示しない

- 「インフォメーション表示設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

iコンシェルサービスの利用

iコンシェルの各サービスを利用します。

1 MENU▶**iコンシェル**

iコンシェルメニュー画面

クイックメモ	クイックメモを作成します。
フォトメモ	カメラを起動して、フォトメモを作成します。
メモ一覧	メモ一覧画面を表示します。
スケジューラ	スケジューラを表示します。
インフォメーション一覧	インフォメーション一覧を表示します。
今日の予定	今日の予定一覧を表示します。
コンテンツ一覧	特集ポータルサイトを表示します。
トルカ	トルカフォルダ一覧を表示します。
データ共有	各種データ共有を行います。
設定	各種設定を行います。
近くで使えるお店	現在地周辺でiコンシェルが利用できるお店を表示します。
オートGPS	各種オートGPS設定を行います。
フォトプリント	フォトプリントを行います。
便利な使い方	便利な使いかたを紹介します。

カメラ

■著作権･肖像権
お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

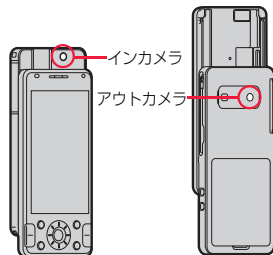
カメラをご利用になる前に

撮影時の留意事項

・撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
・撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
・撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
・レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上下または左右に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
・日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
・カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
・電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
・◉(撮影)などを押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、◉(撮影)などを押したときに画面に表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
・microSDカードへ保存中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
・ファイル保存中に電源を切った場合など、不完全なファイルが保存されることがあります。
・本体またはmicroSDカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなります。
・microSDカードをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。(P.352参照)

カメラの使用について

カメラを使って静止画や動画を撮影します。
カメラはインカメラとアウトカメラの2箇所のカメラを切り替えて使います。
撮影するときは、フォーカス機能により自動的にフォーカスを合わせることができます。(P.228参照)
また、手ブレ補正機能により、ぶれを少なくできます。(P.230参照)
撮影時の主な設定は、サブメニューからだけでなくボタンを操作することで簡単に変更できます。

●フォト・連写・ムービーモードで撮影する場合、FOMA端末を閉じた状態では横画面表示となり、FOMA端末を開閉すると縦画面と横画面が自動で切り替わります。ただし、起動中の機能によっては画面が切り替わらない場合があります。

インカメラの使用について

アウトカメラ使用中にダウンスタイルにするとインカメラで静止画や動画を撮影できます。インカメラ使用中にFOMA端末をダウンスタイル以外にするとアウトカメラに切り替わります。
●アウトカメラとインカメラを切り替えると、カメラ起動時の設定に戻る場合があります。
●インカメラで撮影する場合、以下の機能は使用できません。
・フォーカスモード　・フォーカス機能　・インテリジェントISO
・連写(デジカメモード)　・ズームモード　・暗部補正
・動画撮影中の静止画撮影

■撮影時のボタン操作

操作	デジカメモード	フォト・連写・ムービーモード	
	縦画面表示	縦画面表示	横画面表示
サブメニューを表示	[MENU]		ー
静止画撮影･保存	[●]	[●]、[O]	[●]
動画撮影開始･終了	[iα]	[●]、[O]	[●]
ボタン操作ガイド	[カメラ/TV]	ー	
アイコンメニュー操作	ー	[カメラ/TV]	[iα]
撮影モード	ー	[カメラ/TV]（1秒以上）	[iα]（1秒以上）
フォルダジャンプ※1	[メール]		[MENU]
カメラモード切替	ー	[iα]	[メール]
ズーム	[上下]		
フォーカスモード※2（アウトカメラ使用時）	[上]		
フォーカス機能（アウトカメラ使用時）	[下]	[下]、[＊]	[下]
記録画素数	[1]		ー
クオリティ	[2]		ー
露出補正※3	[3]		ー
ホワイトバランス※3	[4]		ー
撮影モード（「シーン」設定時）	[5]		ー
ガイドライン表示／アイコン表示	[6]		ー
セルフタイマー	[7]		ー
フォトライト	[8]		ー
保存先	[9]		ー
オートシャッター	[#]	ー	
カメラ終了（通常時）･フォーカスロック解除（フォーカスロック時）※4	[CLR]		
カメラ終了	[終話]		

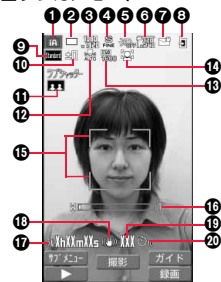
※1 ムービーモードでは操作できません。
※2 撮影モードが「インテリジェントオート」に設定されているときは、フォーカスモードを「追尾AF」に切り替えます。再度押すと、「インテリジェントオート」によるフォーカスモードに戻ります。
※3 撮影モードが「インテリジェントオート」に設定されているときは操作できません。
※4 「追尾AF」時は、追尾AFを解除

お知らせ

- カメラ起動中や撮影時･録画中はフォトライトが点滅します。ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合や、インカメラで撮影するときは、着信／充電ランプが点滅します。消灯はできません。
- 静止画撮影時や動画撮影開始時･終了時はマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音設定」や「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。
- シャッター音の音量を変更したり消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することもできません。
- 撮影画面で約1分間何も操作しないと、自動的にカメラが終了します。ただし、「オートシャッター」を設定中は終了しません。
- 暗い場所で撮影する場合は、撮影モードを「シーン」の「夜景」に設定したり、「インテリジェントISO」を変更してください。
- 撮影中にマルチタスクによりカメラ機能が終了した場合などは、未保存の静止画は削除されます。
- 撮影中にメールを受信しても撮影動作は継続されます。メールテロップや未読メールアイコンは表示されますが、メール受信の画面は表示されません。
- アイコンメニューで操作できるのは、「記録画素数」「クオリティ」「露出補正」「ホワイトバランス」「撮影モード」「フォーカスモード」です。

撮影画面の見かた

撮影画面には、さまざまな設定がアイコンやバーで表示されています。

■デジカメモード

■フォト・ムービー・連写モード

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❶撮影モード		インテリジェントオート(標準)	233
		人物	
		風景	
		夜景	
		マクロ	
		夕焼け	
		雪	
		食べ物	
		ビーチ	
		文字	
		ローライト	
		通常撮影	
		シーン	
		人物	
		スポーツ	
		料理	
		風景	
		夜景	
		逆光	
		文字	
		雪	
		夕焼け	
		ペット	
		Myオリジナル	

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❷カメラモード		デジカメモード	220
		デジカメモード（連写・連続撮影）	221
		フォトモード	223
		ムービーモード	225
	A・M・	連写モード（オート・マニュアル・オートブラケット）	223
❸記録画素数（静止画）	～	記録サイズ	229 231
❹クオリティ	STANDARD	スタンダード	229 231
	FINE	ファイン	
	S FINE	スーパーファイン	
❺フォトライト／インカメライト		ON	234
	～	インカメライトの明るさ	
	OFF	OFF	
❻記録画素数（動画）	～	記録サイズ	230 231
❼動画容量		メール用	230 231
	LONG	長時間	
	S	メール制限（小）	
	L	メール制限（大）	
❽保存先	・	本体（カメラ・自動お預かり）	230 231
	SD	microSD	

アイコン・バー名		アイコン	説明	参照先
❾	カラーモード	Standard	標準	229 231
		Sepia	セピア	
		Mono	白黒	
		Vivid	ヴィヴィッド	
		Natural	ナチュラル	
		White	美白	
		Suntan	日焼け	
	暗部補正		ON	230
		OFF	OFF	
❿露出補正		～	撮影画像の明るさ	229 231
⓫オートシャッター		・・	ラブシャッター（お友達・恋人・恋人＋笑顔）	235
			グループシャッター（5人まで）	
			笑顔シャッター	
⓬ホワイトバランス		AUTO	オート	230 231
			晴天	
			曇天	
			電球	
			蛍光灯	
⓭インテリジェントISO		ISO 200～ISO 25600	撮影時の感度	229
⓮フォーカスモード			顔認識	230 231
		AF	オート	
			マクロ	
			風景	
			追尾AF	
⓯フォーカス枠		−	フォーカスの状態を表します。	−
⓰ズームバー		W T	広角・望遠の状態	227

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
⑰記録可能時間	ー	動画の記録可能時間(目安)	ー
⑱手ブレ補正		オート	230
		OFF	
⑲ 記録可能枚数	ー	静止画の残り撮影可能枚数 ●999枚まで表示されます。	ー
使用メモリ量バー	MEMORY	ムービーモード時のメモリ使用状況(目安) ●メモリがいっぱいのときは赤色で表示されます。	ー
⑳セルフタイマー		10秒	234
		2秒	
		ON	
㉑撮影状態	●REC	動画撮影中	225
㉒撮影種別設定		映像のみ録画	232
㉓ボタンガイダンス	ー	ボタン操作を表示します。	ー
㉔天地アイコン	TOP	撮影時の上下方向を示します。	ー
㉕連写撮影枚数	01/04	連写モードのマニュアル時の撮影枚数	232

お知らせ

- カメラのモードによっては、設定できる機能が異なったり、アイコンのデザインや機能名などが異なったりする場合があります。
- カメラモードによっては、表示されないアイコンや利用できない設定があります。

デジカメモード

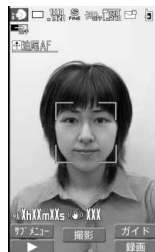
デジカメモードを利用して静止画や動画を撮影します。

●保存した静止画や動画を再生するには、P.229参照。

デジカメモードでの静止画撮影

アウトカメラでは正方形(小)(480×480)〜13M(3120×4160)、インカメラでは正方形(小)(480×480)〜1.3M(960×1280)のサイズの静止画を撮影します。

1 **MENU▶カメラ/TV/MUSIC▶カメラ▶デジカメモード**

●「デジカメモード」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

撮影画面

2 **●(撮影)を押す**

静止画を撮影します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

●アウトカメラ使用時、「フォーカスモード」を「顔認識」「オート」「追尾AF」に設定しているときに●(撮影)を押すと、フォーカス動作後に撮影されます。
●フォーカス機能についてはP.228参照。
●インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示(鏡像)されますが、再生時は正常に表示されます。
●「自動保存」を「OFF」以外に設定している場合は、自動的に保存されます。

3 **●(保存)を押す**

撮影した静止画が「保存先」で設定した保存先に保存されます。

●CLRを押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

「自動保存」が「OFF」でポストビュー画面を表示したときは

●(保存)を押して保存する代わりに以下のボタンを押すと、静止画を保存したあとそれぞれの機能に進みます。

MENU(貼付):待受画面に貼り付けます。

TV( ):iモードメールに添付します。

✉(ﾌﾞﾛｸﾞ投稿):「ブログ･メールグループ」で「 」に設定した投稿先を宛先にしてiモードメールを作成します。

- 静止画を保存して待受画面に貼り付ける場合、「保存先」を「microSD」に設定していても、microSDカードと本体両方に保存されます。

保存しているデータがいっぱいのときは

●を押して撮影または保存する際に、データがいっぱいである旨の警告画面が表示されます。「OK」を選ぶと「保存先」を変更できる場合があります。

デジカメモードでの連写撮影

「連写」では、待受(480×854)～3M(1536×2048)のサイズの静止画を8枚撮影できます。
「連続撮影」では、正方形(小)(480×480)～13M(3120×4160)のサイズの静止画を●(撮影)を押している間撮影できます。

- インカメラでは連写撮影できません。

1 **デジカメモードの撮影画面▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶連写▶連写･連続撮影**

- TV(説明)を押して項目を選択すると、各項目の説明が表示されます。

2 「連写」の場合

●(撮影)を押す

フォーカス動作後に連写撮影を開始します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- 「フォーカスモード」を「マクロ」または「風景」に設定している場合は、フォーカス動作を行いません。
- フォーカス機能についてはP.228参照。
- 撮影を途中で中止する場合はTV(中止)またはCLRを押します。撮影済みの静止画のポストビュー画面が表示されます。

「連続撮影」の場合

●(撮影)を押し続ける

フォーカス動作後に連続撮影を開始します。●(撮影)を押している間撮影し、●(撮影)を離すと撮影を終了します。
撮影した静止画は「保存先」で設定した保存先に自動的に保存されます。
「自動保存」の設定に関わらず、ポストビュー画面は表示されません。(手順3の操作は不要です。)

- 「フォーカスモード」を「マクロ」または「風景」に設定している場合は、フォーカス動作を行いません。
- フォーカス機能についてはP.228参照。
- 連続撮影中に保存先の容量がいっぱいになった場合は、撮影を終了します。

3 1枚ずつ選択して保存する場合

保存したい静止画を選んで●(保存)を押す

- 静止画を選んで(拡大表示)を押すと、拡大表示されます。拡大表示中にを押すと、前または次の静止画を表示します。

すべての静止画を保存する場合

TV(全保存)を押す

撮影した静止画が「保存先」で設定した保存先に保存されます。

- ポストビュー画面でCLRを押すと、撮影した静止画を取り消して連写での撮影画面に戻ります。

デジカメモードでの動画撮影

QCIF(176×144)〜VGA(640×480)のサイズの動画を撮影します。

●撮影した動画をmicroSDカードに保存した場合は、ピクチャアルバムでのみ再生できます。
●VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)で撮影する際は、FOMA端末を左に90度傾けて撮影してください。

1 デジカメモードの撮影画面▶ i α (録画)

録画を開始します。

●アウトカメラ使用時、「フォーカスモード」を「顔認識」「オート」「追尾AF」に設定しているときに i α (録画)を押すと、フォーカス動作後に撮影が始まります。
●インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示(鏡像)されますが、再生時は正常に表示されます。

2 i α (録画終了)を押す

録画を終了します。撮影した動画は「保存先」で設定した保存先に自動的に保存されます。

●録画中に電話がかかってきた場合、電池切れアラームが鳴った場合、アウトカメラとインカメラを切り替えた場合は、自動的に録画が終了します。

録画中に静止画を撮影するときは

アウトカメラで動画を撮影中に ● (撮影)を押すと、録画を続けながら静止画を撮影できます。静止画を撮影すると画面の右下にポストビュー画面が約3秒間表示され、撮影中の動画と同じ保存先に保存されます。

●静止画撮影時はシャッター音は鳴りません。
●静止画を撮影する場合は、フォーカス動作を行いません。
●1回の録画で撮影できる静止画は30枚までです。
●撮影される静止画の記録画素数は、録画中の動画の記録画素数と同じです。

撮影中に録画が終了したり画質が悪くなったときは

データの保存や削除を繰り返しているmicroSDカードを使用していると、データの書き込み速度が遅くなり、途中で録画が終了したり画質が悪くなったりすることがあります。
以下の操作を行うと改善される場合があります。

1.microSDカード内のすべてのデータを、そのままパソコンにコピーする。

●パソコンの設定で、隠しフォルダや隠しファイルが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
●パソコン上にコピーしたデータのフォルダ名やファイル名は変更しないでください。

2.パソコンでmicroSDカード内のすべてのデータを削除する。

●フォーマットしないでください。データが再生できなくなる場合があります。

3.手順1でコピーしておいたデータを、microSDカードにコピーして戻す。

●必ず同じmicroSDカードにコピーして戻してください。他のmicroSDカードに保存しても、著作権のあるデータは再生できません。

お知らせ

●録画中･録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

フォトモード･連写モード

フォトモード、連写モードを利用して静止画を撮影します。

●保存した静止画を表示するには、P.320、P.335参照。

フォトモードでの静止画撮影

アウトカメラではSub-QCIF(96×128)～3M(1536×2048)、インカメラではSub-QCIF(96×128)～VGA(480×640)のサイズの静止画を撮影します。

1 MENU▶**カメラ／TV／MUSIC**▶**カメラ**▶**フォトモード**

●「フォトモード」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

撮影画面

2 ●(撮影)または O を押す

静止画を撮影します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

●アウトカメラ使用時、「フォーカスモード」を「顔認識」「オート」「追尾AF」に設定しているときに●(撮影)または O を押すと、フォーカス動作後に撮影されます。

●フォーカス機能についてはP.228参照。

●インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示(鏡像)されますが、再生時は正常に表示されます。

●「自動保存」を「ON」に設定している場合は、自動的に保存されます。

3 ●(保存)または O を押す

撮影した静止画が「保存先」で設定した保存先に保存されます。

●インカメラで撮影した場合は、MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「鏡像保存」を選択すると、鏡像(左右反転)で保存できます。

●CLRを押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

ポストビュー画面

連写モードでの静止画撮影

Sub-QCIF(96×128)～VGA(480×640)のサイズの静止画を連写撮影します。撮影枚数やオート撮影時の撮影間隔を設定できます。(P.232参照)

1 **フォトモード･ムービーモードの撮影画面**▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶**カメラモード切替**▶**連写モード**

●「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動したモードで起動します。連写モードを変更するにはP.232参照。

撮影画面

2 ●(撮影)または○を押す

連写撮影を開始します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。
- アウトカメラ使用時、「フォーカスモード」を「顔認識」「オート」「追尾AF」に設定しているときに●(撮影)または○を押すと、フォーカス動作後に撮影されます。
- フォーカス機能についてはP.228参照。
- 撮影を途中で中止する場合はCLRを押します。「連写モード設定」を「オート」または「オートブラケット」モードで撮影している場合は、📷(中止)を押しても撮影を中止できます。また、FOMA端末を閉じても撮影を中止します。撮影済みの静止画のポストビュー画面が表示されます。
- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示(鏡像)されますが、再生時は正常に表示されます。
- 「自動保存」を「ON」に設定している場合は、自動的に保存されます。

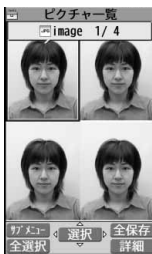
3

1枚ずつ選択して保存する場合

静止画を選んでiα(詳細)▶●(保存)または○

- 詳細表示画面で○を押すと、前または次の静止画を表示します。
- インカメラで撮影した場合は、詳細表示画面でMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「鏡像保存」を選択すると、鏡像(左右反転)で保存できます。

ポストビュー画面

iα →

詳細表示画面

複数の静止画を選択して保存する場合

保存したい静止画を選んで●(選択)または○▶📷(保存)▶保存・鏡像保存

- 選択した静止画には「☑」が付きます。

すべての静止画を保存する場合

📷(全保存)▶保存・鏡像保存

撮影した静止画が「保存先」で設定した保存先に保存されます。
- ポストビュー画面でCLRを押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

フォトモードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面のサブメニュー

保存		保存します。
鏡像保存		鏡像(左右反転)で保存します。
メール添付／ブログ		
	iモードメール添付	撮影した静止画を保存し、iモードメールに添付します。 ●「保存先」を「microSD」に設定していても、本体の「カメラ」フォルダ、または「自動お預かり」フォルダに保存されます。 ●📷(MAIL)を押してもiモードメールを作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
	ブログ投稿	撮影した静止画を保存し、「ブログ・メールグループ」で「📰」に設定した投稿先を宛先にしてiモードメールを作成します。 ●「保存先」を「microSD」に設定していても、本体の「カメラ」フォルダ、または「自動お預かり」フォルダに保存されます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
メモ作成		撮影した静止画を保存し、静止画を添付したフォトメモを作成します。 ●「保存先」を「microSD」に設定していても、本体の「カメラ」フォルダ、または「自動お預かり」フォルダに保存されます。
位置情報付加		P.313参照

ピクチャ貼付	撮影した静止画を保存し、待受画面などに貼り付けて表示します。 ●「保存先」を「microSD」に設定していても、本体の「カメラ」フォルダ、または「自動お預かり」フォルダに保存されます。
フレーム取替え	フレームを合成して撮影した静止画のフレームを取り替えます。 ●フレームの解除はできません。
保存先	P.231参照
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像(左右反転)表示を切り替えます。
表示サイズ設定	P.232参照
ファイル制限	P.231参照
アイコン表示	P.232参照
取消	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

＜メモ作成＞

●画像サイズがVGA(480×640)を超えるJPEG画像の場合は、画像サイズを変更するかどうかの確認画面が表示されます。「そのまま添付」を選択するとそのままの画像サイズで添付します。「サイズ中(VGA)」を選択するとVGA(480×640)以下に縮小して添付します。

●連写モードの詳細表示画面の場合、保存していない静止画を取り消すかどうかの確認画面が表示されます。

連写モードのポストビュー画面のサブメニュー

保存	保存します。
全保存＆自作アニメ	撮影した全静止画を保存し、自作アニメとして登録します。
保存先	P.231参照
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像(左右反転)表示を切り替えます。
ファイル制限	P.231参照
取消	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

＜全保存＆自作アニメ＞

●「保存先」を「microSD」に設定しているときは、この機能は使用できません。

●1枚だけ撮影した場合は、この機能は使用できません。

ムービーモード

ムービーモードを利用して、Sub-QCIF(128×96)〜VGA(640×480)のサイズの動画を撮影します。

●保存した動画を再生するには、P.327、P.335参照。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶カメラ▶ムービーモード

●「ムービーモード」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

撮影画面

2 ●(撮影)または○を押す

録画を開始します。

●アウトカメラ使用時、「フォーカスモード」を「顔認識」「オート」に設定しているときに●(撮影)または○を押すと、フォーカス動作後に撮影が始まります。

●インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示(鏡像)されますが、再生時は正常に表示されます。

●フォーカス機能についてはP.228参照。

3 ●(終了)または○を押す

録画を終了します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- 録画中に電話がかかってきた場合、電池切れアラームが鳴った場合、FOMA端末を閉じた場合は、自動的に録画が終了します。
- 「自動保存」を「ON」に設定している場合や「動画容量」を「長時間」に設定している場合は、自動的に保存されます。

4 ●(保存)または○を押す

撮影した動画が「保存先」で設定した保存先に保存されます。

- CLRを押すと撮影した動画を取り消して撮影画面に戻ります。

ポストビュー画面

お知らせ

- 録画中·録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

ムービーモードのポストビュー画面のサブメニュー

再生		撮影した動画を再生して確認できます。 ●再生時の操作についてはP.327参照。 ●✉(再生)を押しても動画を再生できます。
保存		保存します。
メール添付／ブログ		
	iモードメール添付	撮影した動画を保存し、iモードメールに添付します。 ●「保存先」を「microSD」に設定していても、本体の「カメラ」フォルダに保存されます。 ●📷(✉MAIL)を押してもiモードメールを作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
	ブログ投稿	撮影した動画を保存し、「ブログ·メールグループ」で「 」に設定した投稿先を宛先にしてiモードメールを作成します。 ●「保存先」を「microSD」に設定していても、本体の「カメラ」フォルダに保存されます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
待受画面設定		撮影した動画を保存し、待受画面に設定します。
保存先		P.231参照
表示サイズ設定		P.232参照
ファイル制限		P.231参照
アイコン表示		P.232参照
取消		撮影した動画を保存しません。

お知らせ

<待受画面設定>

- 動画によっては、正しく表示されない場合があります。
- 待受画面に設定した動画の再生についてはP.102参照。

撮影時の設定変更

ズーム

カメラ起動時	広角

カメラで写している映像を広角(WIDE)・望遠(TELE)で表示します。
また、デジカメモードではサイズによっては画質劣化の少ない超解像技術を用いたデジタルズームが利用できます。
各サイズにおける最大倍率は、以下のとおりです。

■アウトカメラ

撮影種別	サイズ	ズーム段階	最大倍率
デジカメ(静止画・連続撮影)	13M(3120×4160)	21段階	約2.0倍
	正方形(大)(3120×3120)	21段階	約2.0倍
	9.7Mワイド(2336×4160)	21段階	約2.0倍
	8M(2448×3264)	21段階	約3.0倍
	5M(1944×2592)	21段階	約3.0倍
	3M(1536×2048)	21段階(36段階)※1	約6.0倍(約10.0倍)※1
	2Mワイド(1080×1920)	21段階(36段階)※1	約6.0倍(約10.0倍)※1
	2M(1200×1600)	21段階(36段階)※1	約6.0倍(約10.0倍)※1
	待受(480×854)	21段階(36段階)※1	約6.0倍(約10.0倍)※1
	VGA(480×640)	21段階(36段階)※1	約6.0倍(約10.0倍)※1
	正方形(小)(480×480)	21段階(36段階)※1	約6.0倍(約10.0倍)※1
デジカメ(連写)	3M(1536×2048)	21段階	約3.0倍
	2Mワイド(1080×1920)	21段階	約3.0倍
	2M(1200×1600)	21段階	約3.0倍
	待受(480×854)	21段階	約3.0倍

撮影種別	サイズ	ズーム段階	最大倍率
デジカメ(動画)	VGA(640×480)	21段階	約1.5倍
	HVGAワイド(640×352)	21段階	約1.5倍
	QVGA(320×240)	21段階	約2.2倍
	QCIF(176×144)	21段階	約4.0倍
フォト	3M(1536×2048)	21段階	約3.0倍
	2Mワイド(1080×1920)	21段階	約3.0倍
	2M(1200×1600)	21段階	約3.0倍
	待受(480×854)	21段階	約3.0倍
	VGA(480×640)	21段階	約3.0倍
	QVGA(240×320)	21段階	約6.0倍
	QCIF(144×176)	21段階	約10.7倍
	Sub-QCIF(96×128)	21段階	約16.2倍
連写	VGA(480×640)	21段階	約3.2倍
	QVGA(240×320)	21段階	約6.5倍
	QCIF(144×176)	21段階	約10.7倍
	Sub-QCIF(96×128)	21段階	約16.2倍
ムービー	VGA(640×480)	21段階	約1.5倍
	HVGAワイド(640×352)	21段階	約1.6倍
	QVGA(320×240)	21段階	約2.3倍(約3.1倍)※2
	QCIF(176×144)	21段階	約4.2倍(約5.1倍)※2
	Sub-QCIF(128×96)	21段階	約5.8倍(約7.7倍)※2

●「ISOMAX1600」以上に設定している場合は、最大倍率が異なります。
※1 インテリジェントオート設定時での最大倍率
※2 FOMA端末を閉じた状態での最大倍率

■インカメラ

撮影種別	サイズ	ズーム段階	最大倍率
デジカメ（静止画）	待受（480×854）	11段階	約1.4倍
	VGA（480×640）	11段階	約1.9倍
	正方形（小）（480×480）	11段階	約2.1倍
デジカメ（動画）	QVGA（320×240）	11段階	約1.4倍
	QCIF（176×144）	11段階	約2.5倍
フォト	VGA（480×640）	11段階	約1.9倍
	QVGA（240×320）	11段階	約3.9倍
	QCIF（144×176）	11段階	約7.0倍
	Sub-QCIF（96×128）	11段階	約9.8倍
連写	VGA（480×640）	11段階	約1.9倍
	QVGA（240×320）	11段階	約3.9倍
	QCIF（144×176）	11段階	約7.0倍
	Sub-QCIF（96×128）	11段階	約9.8倍
ムービー	QVGA（320×240）	11段階	約1.4倍
	QCIF（176×144）	11段階	約2.5倍
	Sub-QCIF（128×96）	11段階	約3.5倍

1 撮影画面▶ でズーム倍率を調節

ズームバーが表示され、広角／望遠されます。

お知らせ

- デジカメモードでは、「ズームモード」が「OFF」の場合のみ操作できます。「ズームモード」についてはP.236参照。
- デジカメモードでズーム中に動画撮影を開始すると、ズームは解除されます。
- 広角･望遠にすると画質は多少変化することがあります。
- ズーム中に設定を変更すると、ズームが解除されることがあります。

フォーカス機能

アウトカメラで撮影時にフォーカスを合わせます。

- フォーカス機能は約10cm以上の距離でフォーカスが合います。

1 撮影画面▶

フォーカスが合うとロック音が鳴ってフォーカス枠が緑色になり、フォーカスがロックされます。

フォーカスが合わなかった場合はフォーカス枠が赤色になります。

- フォト･連写･ムービーモードでは を押してもフォーカスをロックできます。
- や を押してロックしたフォーカスを解除する場合は CLR を押します。

お知らせ

- フォーカス動作中はカメラ部から動作音が発生します。
  以下の場合はフォーカスを自動的に合わせるため、フォーカス動作音が断続的に発生します。
  ･「フォーカスモード」を「追尾AF」に設定している場合
  ･「撮影モード」を「インテリジェントオート」に設定している場合

「フォーカスモード」を「顔認識」に設定しているときは

はじめに人物の顔を検出します。顔を検出すると黄色のフォーカス枠が表示されます。最大5人までの顔を検出し、顔の大きさや位置に合わせて自動的にその中の1人にフォーカスを合わせて撮影します。複数の人物の顔がある場合は、フォーカスを合わせる顔のフォーカス枠が黄色になります。検出に失敗した場合は、「オート」でフォーカスを合わせます。

お知らせ

- 以下の場合は顔を検出できないことがあります。
  ･顔が横や斜めを向いている場合　･顔が傾いている場合
  ･眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている場合
  ･顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い場合
  ･顔が画面の端にある場合　･被写体やFOMA端末の動きが速い場合
- 顔を検出できる距離は約2m以内です。

「フォーカスモード」を「追尾AF」に設定しているときは

フォーカス枠が撮影画面の中央に表示されます。被写体にフォーカス枠を合わせてOを押します。被写体を検出するとフォーカス枠が黄色になり、被写体の動きを追いかけてフォーカスを合わせ続ける追尾状態になります。
追尾状態で●(撮影)を押すと、被写体の位置にフォーカスをロックして撮影します。
- 追尾状態でOを押すと追尾状態が解除されます。
- フォトモードではOを押しても撮影できます。

お知らせ

- 被写体が撮影画面の外に出たときなど、被写体を追尾できなくなった場合は、追尾状態が解除されます。
- 以下の場合は被写体を追尾できなかったり、他の被写体を追尾することがあります。
  - ・被写体が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い場合
  - ・ズームを使っている場合
  - ・類似した色の被写体や背景がある場合
  - ・被写体やFOMA端末の動きが速い場合
  - ・手ブレが大きい場合

フォルダジャンプ

「保存先」で設定している保存先の静止画または動画をピクチャアルバムで表示します。デジカメモード、フォトモード、連写モードで操作できます。

1 撮影画面▶✉(▶)

撮影した最新の静止画または動画が表示されます。
以降の操作についてはP.335参照。

カメラ設定

デジカメモードの撮影画面のサブメニュー

サブメニューの画面でMENU(<Tab)、📷(Tab>)を押してタブを切り替えてそれぞれのメニューを表示します。✉(▲ページ)、i（▼ページ)を押すと、ページごとに切り替えます。

カメラ

項目	説明
撮影モード	P.233参照
フォトライト／インカメライト	P.234参照
連写	P.221参照
記録画素数	静止画、連写撮影時の画像サイズを設定します。アウトカメラとインカメラでそれぞれ個別に設定できます。
クオリティ	画質を設定します。
セルフタイマー	P.234参照
カラーモード カメラ起動時 標準	色調を切り替えます。 ●「撮影モード」を「通常撮影」に設定しているときのみ設定を変更できます。
インテリジェントISO カメラ起動時 ISOMAX400または ISOMAX1600	アウトカメラ撮影時のカメラの感度を設定します。 ●「撮影モード」を「通常撮影」に設定しているときのみ設定を変更できます。
露出補正 カメラ起動時 ±0	−3(暗い)～+3(明るい)で調節します。

ホワイトバランス カメラ起動時 オート	カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 ●「撮影モード」を「通常撮影」に設定しているときのみ設定を変更できます。
フォーカスモード カメラ起動時 顔認識	アウトカメラのフォーカスを設定します。
暗部補正	アウトカメラで撮影時に背景と被写体の明暗差が大きい場合など、暗い部分を明るく補正できます。 ●「撮影モード」を「インテリジェントオート」に設定しているときのみ有効です。
オートシャッター	P.235参照
手ブレ補正	撮影するときの手ブレを補正します。アウトカメラとインカメラでそれぞれ個別に設定できます。
ズームモード	P.236参照
動画	
記録画素数	動画撮影時の画像サイズを設定します。アウトカメラとインカメラでそれぞれ個別に設定できます。
動画容量	保存容量を設定します。 ●「メール用」に設定していると、2Mバイトまで録画できます。「長時間」に設定していると、「保存先」が「本体」の場合は50Mバイトまで、「microSD」の場合は2Gバイトまで録画できます。
設定	
保存先	静止画や動画の保存先を設定します。 ●「本体」に設定していると、「カメラ」フォルダに保存されます。「microSD」に設定していると、「保存先フォルダ選択」で選択したフォルダに保存されます。
ガイドライン	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。
自動保存	1枚撮影後にポストビュー画面を表示する際の時間を設定します。 ●「オートレビューなし」に設定していると、ポストビュー画面を表示しません。「OFF」に設定していると、◉(保存)を押して保存するまでポストビュー画面を表示し続けます。
シャッター音設定	シャッター音を設定します。
チラツキ補正	撮影時の撮影画面のちらつきを抑制します。
設定初期化	デジカメモードの設定をすべてお買い上げ時の設定に戻します。

お知らせ

<インテリジェントISO>

●「ISOMAX1600」以上の場合に、「記録画素数」を「5M(1944×2592)」以上にすると、「ISOMAX400」に変更されます。「記録画素数」が「5M(1944×2592)」以上の場合に、「ISOMAX1600」以上にすると、「記録画素数」が「3M(1536×2048)」に変更されます。

<暗部補正>

●「ON」の場合に、「記録画素数」を「5M(1944×2592)」以上にすると、「OFF」に変更されます。「記録画素数」が「5M(1944×2592)」以上の場合に、「ON」にすると、「記録画素数」が「3M(1536×2048)」に変更されます。

<手ブレ補正>

●手ブレ補正機能はあくまでも手ブレを軽減するものであり、効果は被写体や条件によって異なります。

●以下のような場合は、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
・手ブレが大きい場合　　・ズームを使っている場合
・動きのある被写体を撮影している場合

●被写体が動いていて、被写体の動いている箇所に残像が残る場合や、全体にノイズ感が出る場合があります。このような場合は、「OFF」に設定してください。

●手ブレ補正の処理に周辺の画素が使用されますので、「オート」「OFF」の設定によって撮影範囲が異なります。

<チラツキ補正>

●「自動」に設定した場合、自動調整に時間がかかることがあります。その場合、撮影場所の電源周波数に合わせてモード1・モード2に切り替えてください。

フォト・連写・ムービーモードの撮影画面のサブメニュー

項目	説明
カメラモード切替	カメラモードを切り替えます。
フォルダジャンプ [フォト・連写モード]	P.229参照
撮影モード	P.233参照
記録画素数	画像サイズを設定します。
動画容量 [ムービーモードのみ]	保存容量を設定します。 ●「メール制限(小)」に設定していると、500Kバイトまで録画できます。「メール制限(大)」に設定していると、2Mバイトまで録画できます。「長時間」に設定していると、microSDカードに長時間録画できます。
クオリティ	画質を設定します。
撮影設定	
露出補正 カメラ起動時 ±0	−3(暗い)〜+3(明るい)で調節します。
ホワイトバランス カメラ起動時 オート	カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いになるように撮影時の周囲の状況を設定します。
カラーモード カメラ起動時 標準	色調を切り替えます。
フォーカスモード カメラ起動時 フォト・ムービーモード:顔認識 連写モード:オート	アウトカメラのフォーカスを設定します。 ●「追尾AF」に設定していると、被写体を自動で追尾しフォーカスを合わせます。(P.229参照)
手ブレ補正 [フォト・ムービーモード]	P.230参照
フレーム撮影 カメラ起動時 OFF [フォトモードのみ]	フレームを合成して撮影します。
シャッター音選択	シャッター音を設定します。フォトモード時(連写モード時)とムービーモード時それぞれ個別のシャッター音が設定できます。
ちらつき補正設定	撮影時の撮影画面のちらつきを抑制します。
保存設定	
保存先	静止画や動画の保存先を設定します。 ●「本体」に設定していると、フォトモード・連写モードの場合は「カメラ」または「自動お預かり」フォルダ、ムービーモードの場合は「カメラ」フォルダに保存されます。「microSD」に設定していると、「保存先フォルダ選択」で選択したフォルダに保存されます。
自動保存	撮影後、自動的に保存するかどうかを設定します。「保存先」で設定した保存先に保存されます。
ファイル制限	撮影中の静止画や動画を保存したときのファイル制限を設定します。一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。 ●連写モードのポストビュー画面の場合、チェックを入れた画像に対してファイル制限の設定を変更できます。
フォトライト／インカメライト	P.234参照
セルフタイマー	P.234参照
連写設定	

	連写モード設定 [連写モードのみ]	連写モードを設定します。 ●「オート」に設定していると、「撮影間隔」、「撮影枚数」で設定した間隔、枚数を自動で撮影します。「マニュアル」に設定していると、「撮影枚数」で設定した枚数を1枚ずつ手動で撮影します。「オートブラケット」に設定していると、約0.3秒間隔で9枚の静止画を1枚ずつ明るさや色調を変えて自動で撮影します。
	撮影間隔 [連写モードのみ]	撮影間隔を設定します。 ●連写モードのオート時のみ設定できます。
	撮影枚数 [連写モードのみ]	撮影枚数を設定します。 ●「記録画素数」が「VGA(480×640)」に設定されている場合、「撮影枚数」は変更できません。 ●連写モードのオート・マニュアル時のみ設定できます。
撮影種別設定 カメラ起動時 通常 [ムービーモードのみ]		動画撮影時に映像と音声の両方、またはどちらか一方のみを記録するように設定します。
表示サイズ設定		撮影画面で静止画・動画を本来のサイズで表示(等倍表示)するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。
共通再生モード [ムービーモードのみ]		ｉモードメールの添付に適した撮影サイズに設定します。 ●「記録画素数」が「QCIF(176×144)」、「動画容量」が「メール制限(小)」、「クオリティ」が「スタンダード」に設定されます。
アイコン表示		アイコンを表示するかどうかを設定します。
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。

お知らせ

<記録画素数>

●フォトモード時にアウトカメラで「待受(480×854)」以上に設定すると、インカメラに切り替えた場合は「VGA(480×640)」に設定されます。

お知らせ

<動画容量>

●「長時間」に設定した場合、「保存先」が「microSD」に設定されます。その後、カメラを終了せずに「動画容量」を「長時間」以外に切り替えると、「保存先」は「本体」に戻ります。

<フォーカスモード>

●「顔認識」はフォトモード時・ムービーモード時に設定できます。
●「追尾AF」はフォトモード時に設定できます。
●「追尾AF」設定中に「記録画素数」を「QCIF(144×176)」または「Sub-QCIF(96×128)」に設定した場合は、「フォーカスモード」は「顔認識」に設定されます。
●「記録画素数」を「QCIF(144×176)」または「Sub-QCIF(96×128)」に設定している場合は、「追尾AF」には設定できません。

<フレーム撮影>

●「記録画素数」を「2M(1200×1600)」以上に設定している場合はフレームを合成できません。
●インカメラでフレーム付きの静止画を撮影して保存すると、自動的に正像表示に変換されるのに伴い、フレームも反転します。
●フレームを合成して撮影した静止画は、鏡像で保存できません。

<ちらつき補正設定>

●「自動」に設定した場合、自動調整に時間がかかることがあります。その場合、撮影場所の電源周波数に合わせてモード1・モード2に切り替えてください。

<保存設定>

●「動画容量」を「長時間」に設定した場合は、「保存先」は「microSD」に設定され、「保存設定」は操作できません。
●「自動保存」が「ON」の場合、「保存先フォルダ選択」が設定されていない場合や設定されたフォルダが削除された場合は、最新のフォルダに保存されます。

<ファイル制限>

●「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。
●保存後もP.322「ファイル制限」で設定を変更できます。
●ムービーモード時に「動画容量」を「長時間」に設定した場合は、「ファイル制限」は「なし」になります。

お知らせ

<連写モード設定>
- インカメラでは「オートブラケット」に設定できません。アウトカメラで「オートブラケット」に設定中にインカメラに切り替えた場合は、「オート」に設定されます。

<撮影枚数>
- 画像サイズによって設定できる枚数は異なります。

<表示サイズ設定>
- 「記録画素数」を「VGA(480×640)」以上に設定している場合は、常に「画面サイズで表示」になります。
- 「記録画素数」を「QCIF(144×176)」、「Sub-QCIF(96×128)」に設定している場合、「等倍表示」では縦横2倍のサイズで表示されます。
- 「記録画素数」の設定によっては、画像が粗くなることがあります。
- 撮影画面での設定はポストビュー画面にも反映されますが、ポストビュー画面での設定は撮影画面には反映されません。

<共通再生モード>
- 「動画容量」を「長時間」に設定している場合は操作できません。

撮影モード

撮影する際に、場面に適した撮影モードを設定します。お好みの撮影時の設定を「Myオリジナル」に登録しておいて、設定を呼び出して撮影することもできます。

- アウトカメラとインカメラでそれぞれ個別に設定できます。
- 撮影モードを変更すると、「カラーモード」「インテリジェントISO」「露出補正」「ホワイトバランス」「フォーカスモード」の設定が選択したモードに合わせて変更されます。

1 撮影画面▶MENU(サブメニュー)▶撮影モード▶撮影モードを選択

インテリジェントオート
. . . . .撮影する際に、被写体や撮影状況に合わせて撮影モードを自動で判別し、切り替えます。撮影モードが切り替わると、アイコンがアニメーション表示されてお知らせします。

通常撮影 . . . .通常のモードで撮影します。

シーン . . . . . .撮影する場面に合わせて撮影モードを選択します。

Myオリジナル/Myオリジナル設定
. . . . .Myオリジナルとして登録した設定で撮影します。撮影したい設定を選択して「この設定で撮影」を選択します。

バーコードリーダー
. . . . .バーコードリーダーを起動します。(P.237参照)

- デジカメモードの場合は📷(説明)を押して撮影モードを選択すると、各モードの説明が表示されます。
- 「インテリジェントオート」に設定すると、「カラーモード」「インテリジェントISO」「露出補正」「ホワイトバランス」「フォーカスモード」は手動では変更できません。
- 「通常撮影」に設定すると、「カラーモード」「インテリジェントISO」「露出補正」「ホワイトバランス」「フォーカスモード」はカメラ起動時の設定に戻ります。

お知らせ

- 「インテリジェントオート」に設定していても、フォーカスをロックしたあとは撮影モードは切り替わりません。撮影モードを判別し直すには、フォーカスのロックを解除してください。
- 「夜景」設定時は露光が長くなり画像がぶれやすくなるので、ご注意ください。

お知らせ

- 意図した場面に合わせて撮影する場合は、目的にあった撮影モードで撮影してください。

「Myオリジナル」に登録するには

デジカメモードの場合は、設定したい登録先を選択して「現在の設定を保存」を選択します。

フォトモード、連写モードの場合は、登録先を選んで✉(保存)を押して、名前を入力します。

- フォトモード、連写モードの場合は、登録したMyオリジナル設定を選んで、MENU(編集)を押すと名前を編集できます。📷TV(詳細)を押すと、選んでいるMyオリジナル設定の詳細を確認できます。iα(削除)を押すと、選んでいるMyオリジナル設定を削除できます。
- Myオリジナル設定は、アウトカメラ／インカメラの各モードでそれぞれ3件ずつ登録できます。
- ズーム倍率と「フレーム撮影」、「チラツキ補正」、「ちらつき補正設定」はMyオリジナル設定に登録されません。

フォトライト／インカメライト

カメラ起動時	OFF

フォトライト／インカメライトの動作を設定します。

1 **撮影画面▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶フォトライト・インカメライト**

2 フォトライトの場合

ONまたはOFFを選択する

インカメライトの場合

インカメライトのレベルを選択する

お知らせ

- 電池残量が少ないときは「OFF」に設定されます。
- 「OFF」に設定していても、アウトカメラ起動中や撮影時はフォトライトが点灯／点滅します。
- 近くで撮影すると、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

セルフタイマー

カメラ起動時	OFF

1 **撮影画面▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶セルフタイマー▶10秒・2秒・OFF**

セルフタイマーで撮影するときは

「セルフタイマー」を「OFF」以外に設定すると、撮影画面に「⏲10」、「⏲2」、「⏲」のいずれかのアイコンが表示されます。
◉(撮影)を押すと確認音が鳴り、アイコンが点滅します。設定している作動時間の経過後に撮影されます。「フォトライト」を「OFF」に設定している場合は、撮影の約5秒前までは約1秒ごとにフォトライトが点滅します。撮影の約5秒前からは約0.5秒ごとにフォトライトが点滅し、約1秒ごとに確認音が鳴ります。インカメラで撮影している場合はフォトライトの代わりに着信／充電ランプが点滅します。

- 撮影を中止する場合は、📷(中止)またはCLRを押します。撮影を中止しても「セルフタイマー」は「ON」のままです。
- セルフタイマー作動中に◉(撮影)を押すとすぐに撮影できます。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず確認音が鳴ります。確認音の音量は変更できません。
- フォトモード･連写モード･ムービーモードではOを押しても撮影できます。

お知らせ

- 連写モードのマニュアル時はセルフタイマーで撮影できません。
- 撮影が終了するとセルフタイマーは「OFF」になります。

オートシャッター

カメラ起動時	OFF

デジカメモード時に「フォーカスモード」の「顔認識」により、検出した顔の数や顔と顔との距離を判別して自動で撮影するように設定します。

1 撮影画面▶MENU(サブメニュー)▶オートシャッター▶以下の操作を行う

- 📷(説明)を押すと、各機能の説明が表示されます。

OFF	オートシャッターを使用せず、通常の撮影をします。
ラブシャッター	検出された顔の距離や状態によって自動で撮影されるように設定します。 ●「お友達」に設定していると、顔の距離がある程度の距離まで近づいたときに撮影されます。「恋人」に設定していると、顔の距離が「お友達」よりもさらに近い距離まで近づいたときに撮影されます。「恋人+笑顔」に設定していると、顔の距離が恋人レベルまで近づいた状態で、2人が笑顔になると撮影されます。
グループシャッター	設定した人数の顔を検出すると自動でセルフタイマーが作動し、約3秒後に撮影されます。
笑顔シャッター	検出した顔が笑顔になったときに撮影します。複数の顔が検出されている場合、黄色のフォーカス枠で表示されている人の顔が笑顔になったときに撮影されます。

お知らせ

- 「オートシャッター」を「OFF」以外に設定すると、「ズームモード」は使用できません。
- 「オートシャッター」を設定していても、◉(撮影)を押すと撮影できます。
- 撮影が終了すると「オートシャッター」は「OFF」になります。
- 「フォーカスモード」が「顔認識」以外に設定されている場合は、「オートシャッター」は使用できません。
- 「オートシャッター」を設定中に「撮影モード」「セルフタイマー」「フォーカスモード」を変更した場合は、「オートシャッター」は「OFF」になります。

ズームモード

デジカメモード時にズームモードを変更すると、アウトカメラで撮影する際に広角で撮影した静止画と、被写体をズームした静止画を同時に撮影できます。

1 撮影画面▶MENU(サブメニュー)▶ズームモード▶項目を選択

OFF . . .ズームモードを利用しません。

オートサイズズーム

. . . . ◎を押してフォーカスをロックする際に、検出している顔や追尾している被写体をズームします。フォーカスロックを解除すると元に戻ります。

お知らせ

- 「ズームモード」を「オートサイズズーム」に設定していても、「連写」「連続撮影」で撮影する際は、オートサイズズームは利用できません。

バーコードリーダー

アウトカメラを使ってJANコードやQRコードを読み取り、データとして登録できます。

データを使って電話をかけたり、iモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

- できるだけコードがガイド枠内に大きく写るようにします。
- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。

コード読取画面

■JANコードとは

幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。

読み取れるのは8桁(JAN8)または13桁(JAN13)のJANコードです。

4 942857 112597

- FOMA端末で読み取ると「4942857112597」と表示されます。

■QRコードとは

縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。

読み取ると、漢字・カナ・英数字・絵文字が表示されます。画像やメロディ情報を持つQRコードもあります。

- FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コード読み取り

バーコードリーダー起動時	フォトライト：消灯 明るさ：±0 ズーム：拡大

読み取ったデータは5件まで登録できます。
最大で16個まで分割されたQRコードを読み取れます。

1 MENU▶**便利ツール**▶**バーコードリーダー**▶**コード読み取り**

2 **読み取りたいコードをガイド枠に合わせて○を押す**

フォーカスが合うとロック音が鳴り、十字マークが緑色になります。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」に設定中は音が鳴りません。

- ⓘαを押すごとにフォトライトの点灯／消灯を切り替えます。
- サブメニューから「明るさ調節」を選択すると、明るさを－3(暗い)～＋3(明るい)で調節できます。
- ○を押すと縮小表示され、○を押すと拡大表示に戻ります。

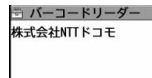
3 **●(開始)を押す**

コードが読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)

- 読み取りを中止する場合はCLRまたは●(中止)を押します。
- 読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが光ります。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」に設定中は音が鳴りません。
- メロディのデータは「♩」や「♪」、対応していないデータや破損しているデータは「♬」や「♬」で表示されます。
- メール本文入力画面以外の文字入力(編集)画面の場合はコード読取結果画面は表示されず、読み取ったコードの文字データ確認画面が表示されます。読み取った文字を入力する場合は●(確定)を押します。破棄する場合は📷(取消)またはCLRを押します。メール本文入力画面の場合は読み取ったコードの文字が直接入力されます。表示できない文字は半角スペースに置き換えて表示されます。また、文字データのないコードを読み取った場合、正しく表示されません。
- 読み取り中に一定の時間が経過しても読み取れない場合は、読み取りが中断されます。「OK」を選択すると、コード読取画面に戻ります。
- 読み取ったコードが分割されたQRコードの一部の場合、「OK」を選択して手順2～手順3を繰り返して残りのデータを読み取ります。

4 MENU(サブメニュー)▶**認識結果保存**

読み取ったデータが登録されます。

バーコードリーダー
株式会社NTTドコモ

コード読取結果画面

お知らせ

- JANコード、QRコード以外のバーコード･二次元コードは読み取れません。
- 読み取りに時間がかかる場合があります。読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 傷、汚れ、破損、印刷物の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては、正しく読み取りできない場合があります。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。

コード読取結果画面のサブメニュー

認識結果保存	P.237参照

一覧表示	登録データが1件以上ある場合に、バーコードリーダー一覧画面を表示します。
Internet	選択中のURLにｉモードまたはフルブラウザで接続します。 ●URLを選択しても接続できます。
ｉモードメール作成	選択中のメールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。 ●メールアドレスを選択してもｉモードメールを作成できます。 ●コード読取結果画面で「メール作成」を選択すると、新規メールの宛先、題名、本文にコード読取結果画面のデータが入力されます。
電話発信	選択中の電話番号に電話をかけます。
電話帳登録	電話帳に登録します。
Bookmark登録	サイト名とURLをBookmarkに登録します。 ●「タイトル」を選択するとタイトルを編集できます。
画像保存	読み取った画像データを保存して、待受画面などに設定します。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。
メロディ保存	読み取ったメロディデータを保存して、着信音などに設定します。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。
トルカ保存	読み取ったトルカデータを保存します。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。
ｉアプリ起動	読み取ったデータからｉアプリを起動します。
コピー	文字をコピーします。 ●全角5000文字/半角10000文字までコピーできます。 ●コピーした文字を貼り付けるにはP.411参照。

お知らせ

<Internet>
●URLは半角512文字まで表示されます。

お知らせ

<ｉモードメール作成>
●入力できない文字が含まれていた場合、宛先は入力されません。また、本文は文字がスペースになることがあります。

<Bookmark登録>
●URLは半角512文字まで表示され、先頭から256文字のみ登録できます。

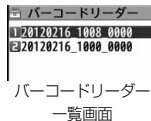
<画像保存>
●保存された画像のファイル名、タイトル名は「imageXXXX」(XXXXは数字)となります。

<メロディ保存>
●保存されたメロディのファイル名は「melodyXXXX」(XXXXは数字)となります。
●タイトルが付けられていないメロディはファイル名がタイトルになります。
●メロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定した音量で再生されます。

保存データ一覧の表示

1 MENU▶**便利ツール**▶**バーコードリーダー**▶**保存データ一覧**

登録済みのデータのタイトルが登録時の新しいものから順に表示されます。
●タイトルを選択すると、コード読取結果画面が表示されます。

バーコードリーダー
1 20120216_1008_0000
2 20120216_1000_0000

バーコードリーダー一覧画面

お知らせ

●読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
(例)2012年2月16日10時00分に保存した場合
タイトル名:20120216_1000_0000
・同じ日時で複数保存した場合は下4桁の数字が「9999」まで順に増えます。

バーコードリーダー一覧画面のサブメニュー

タイトル編集	タイトルを編集します。
結果表示	登録されているデータのコード読取結果画面が表示されます。
削除	削除します。

ワンセグ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、ｉモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記のホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
パソコン：http://www.dpa.or.jp/
ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

■ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は、映像・音声と共に放送波で表示される「データ放送」と、データ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイト（ｉモードサイトなどを含む）に接続し表示する「データ放送サイト」の2種類があります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードのご契約が必要です。
  また、サイトを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- ワンセグの視聴中に自動的にトルカを保存する場合があります。保存したトルカから詳細情報を取得する場合は、パケット通信料がかかります。

■放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
・放送波が送信される電波塔から離れている場所
・山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
・トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

- アナログ停波に伴い、チャンネル再編成が行われる場所があります。そのため、お客様自身により自動スキャンによるチャンネルの再設定（P.242参照）が必要になる場合があります。また、チャンネルの再設定後はチャンネルリストへの登録を必ず行ってください。
  地デジチャンネルリパックの詳細については、下記のホームページなどでご確認ください。
  総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）チャンネル変更コールセンター
  電話番号：0120-922-303
  パソコン：http://www.digisuppo.jp/index.php/repack/
  ｉモード：http://digisuppo.jp/m/index.php

■電池残量について

電池残量が少ないときにワンセグを利用しようとすると、電池残量警告音が鳴り、起動するかどうかの確認画面が表示されます。確認画面で約1分間何も操作しないと、自動的にワンセグが終了します。

- 「電池少量時録画設定」を「録画を継続する」に設定しておくと、録画中は電池残量警告音が鳴らず確認画面は表示されません。（P.255参照）
- 録画中に電池残量が少なくなり録画が終了した場合、それまで録画したビデオは自動的に保存されます。
- マルチタスク中は、電池残量警告音は鳴りますが、確認画面は表示されません。視聴画面に切り替えて操作してください。

■初めてワンセグを利用する場合の画面表示
お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
◉(OK)を押したあとに表示される確認画面で「NO」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。
- 別のドコモminiUIMカードに差し替えたときやドコモminiUIMカードを取り外したときも免責事項の確認画面が表示されます。

■放送用保存領域とは
放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者(放送局)の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者(放送局)へ送信される場合があります。
- 放送用保存領域の情報を消去するにはP.255参照。
  別のドコモminiUIMカードに差し替えた場合やドコモminiUIMカード未挿入の場合は、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「NO」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■放送用保存領域の読み出し時の画面表示
番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。
「YES」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

ワンセグをご利用になる前に

ワンセグの視聴手順

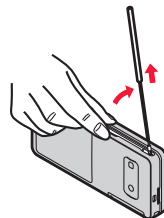
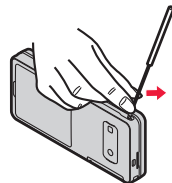
＜例＞はじめてワンセグを視聴するとき

ステップ 1 チャンネル設定

ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを登録します。(P.242参照)

ステップ 2 ワンセグの起動

ワンセグアンテナを伸ばし、ワンセグを起動します。(P.244参照)

■ワンセグアンテナについて
ワンセグを視聴するときは、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。
- ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。
- ワンセグアンテナを収納するときは、無理に収納しないでください。破損の原因となります。止まるところまでまっすぐ押し込み、ワンセグアンテナの向きを合わせてから倒して収納してください。
- ワンセグを視聴しないときは、ワンセグアンテナを収納してください。また、通話するときは、ワンセグアンテナを収納してから通話してください。

ワンセグアンテナに指先をかけて引き出し、止まるまで伸ばす

無理に力を加えずに矢印の方向へ動かす

■視聴中や録画中に着信などがあったときは
視聴中や録画中に以下の動作が発生した場合は、映像と音声は中断し、各機能が動作します。録画は中断されません。
各機能終了後は視聴を再開できます。
- 音声電話、テレビ電話の着信
  (着信時に録画を開始するには「視聴中着信録画設定」参照。)
- アラーム、スケジュール、視聴予約の通知
  (「アラーム通知設定」が「通知優先」のとき)
- 録画予約の通知
  (開始日時になったときは「録画動作設定」の設定に従って動作します。)

お知らせ
- 「USBモード」を「microSDモード」または「MTPモード」に設定してパソコンと接続しているときは、ワンセグを利用できない場合があります。

お知らせ

- 通話終了後など、自動的にワンセグ視聴を開始する場合があります。その際、ワンセグ用の音量でワンセグの音声が鳴りますので耳元でご使用の際はご注意ください。
- 充電しながらワンセグの視聴を長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

■お願い
FOMA端末の故障･修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失･変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、端末内に保存した情報(静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など)は移し替えできません。

チャンネル設定

ワンセグを視聴するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを選択しておく必要があります。チャンネルリストは10件まで登録できます。

- 受信できる放送局は地域によって異なります。旅行先や出張先などの地域別にチャンネルリストを登録しておくと、チャンネルリストを選択するだけでその地域の放送局を視聴できます。
- 各放送局には、選局のときに利用するリモコン番号があらかじめ設定されています。
- ワンセグの録画中はチャンネル設定できません。

自動チャンネル設定

現在その地域で受信できる放送局を自動で検索し、チャンネルリストに登録します。

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で、ワンセグアンテナを伸ばして設定してください。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶チャンネル設定▶自動チャンネル設定▶YES

検索を開始します。
- チャンネルリスト一覧画面ではサブメニューから「チャンネル設定」→「自動チャンネル設定」を選択します。
  視聴画面ではサブメニューから「チャンネル表示／操作」→「チャンネル設定」→「自動チャンネル設定」を選択します。

2 YES▶タイトルを入力

- タイトルを入力せずに●(確定)を押した場合、タイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分)
- 検索を途中で中止する場合は📷(中止)またはCLRを押します。検索された放送局は、チャンネルリストに登録できます。

お知らせ

- リモコン番号が同じ放送局が複数見つかったときは、リモコン番号が重複した旨のメッセージが表示されます。「OK」を選択し、地域の選択画面でお使いの地域を選択してください。選択した地域の放送局がリモコン番号1～12に優先的に割り当てられ、選択しなかった地域の放送局はリモコン番号13以降に割り当てられます。
- チャンネルの検索には約30～50秒かかります。ただし、放送局の数や放送電波の状態によってかかる時間は異なり、100秒を超える場合もあります。

地域選択

都道府県ごとに設定されている放送局をチャンネルリストに登録します。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶チャンネル設定▶地域選択▶地域を選択▶都道府県を選択▶YES

- チャンネルリスト一覧画面ではサブメニューから「チャンネル設定」→「地域選択」を選択します。
  視聴画面ではサブメニューから「チャンネル表示／操作」→「チャンネル設定」→「地域選択」を選択します。

お知らせ

- 放送局の周波数が変更された場合や、地域によっては「地域選択」では放送局を正しく登録できないことがあります。その場合は、「自動チャンネル設定」で放送局を検索してください。

チャンネルリスト選択

チャンネルリストを選択して、受信する放送局を設定します。また、登録済みのチャンネルリストを編集できます。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶チャンネルリスト選択▶チャンネルリストを選択

受信するチャンネルリストが設定され、詳細画面が表示されます。

- 放送局を選択するとワンセグを視聴できます。
- 視聴画面のサブメニューから「チャンネル表示／操作」→「チャンネルリスト選択」を選択した場合、チャンネルリストを選択すると視聴画面に戻ります。

チャンネルリスト選択
1東京都
2大阪府
3未登録
4未登録
5未登録
6未登録

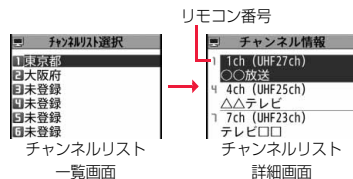
チャンネルリスト一覧画面

→

リモコン番号

チャンネル情報
1 1ch (UHF27ch) ○○放送
4 4ch (UHF25ch) △△テレビ
7 7ch (UHF23ch) テレビ□□

チャンネルリスト詳細画面

- チャンネルリスト一覧画面で📷(詳細)を押し、放送局を選択してもワンセグを視聴できます。

チャンネルリスト一覧画面のサブメニュー

チャンネル設定	P.242参照
タイトル編集	タイトルを編集します。
削除	削除します。 ●現在設定しているチャンネルリストは削除できません。

チャンネルリスト詳細画面のサブメニュー

リモコン番号設定	リモコン番号に設定されている放送局を変更します。 ●設定先のリモコン番号に放送局が登録されていた場合は放送局が入れ替わります。操作を繰り返してリモコン番号に放送局を設定します。

削除	削除します。 ●チャンネルリスト内の放送局をすべて削除した場合は、チャンネルリストも削除されます。 ●現在設定しているチャンネルリスト内の放送局は削除できません。

ワンセグ視聴

●初めてワンセグを利用する場合は免責事項の確認画面が表示されます。(P.241参照)

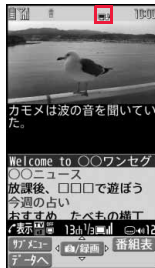
●番組表ｉアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報(リンク)を使ってワンセグを起動することもできます。(P.199「Media To 機能」参照)

●ステレオイヤホンマイク(別売)を接続してステレオサウンドでワンセグの音声を再生できます。

1 TVを1秒以上押す

前回視聴していたチャンネルでワンセグが起動します。

視聴中は「」が表示されます。

●視聴を終了するときはを押して「ワンセグ終了」を選択します。「BGMへ遷移」を選択するとバックグラウンド再生になります。

視聴画面

■視聴画面について

❶映像
　横画面で視聴中に番組と連動したデータ放送がある場合、右上に「」が表示されます。

❷字幕
　横画面での表示位置は「横画面字幕表示設定」で設定できます。

❸データ放送

❹操作モード
　映像モード:
　　映像や音声の画面を操作します。(P.244参照)
　データ放送モード:
　　データ放送の画面を操作します。(P.247参照)

❺ワンセグ無操作自動オフ設定／オフタイマー
　:ワンセグ無操作自動オフ設定中
　(自動終了の約1分前になると点滅します。)
　:オフタイマー設定中

❻ワンセグecoモード
　ワンセグecoモード中は「」が表示されます。

❼チャンネル(リモコン番号)
　●同じ放送局で複数のサービス(番組)が放送されている場合、「視聴サービス番号／全サービス数」も表示されます。
　●チャンネルサーチなどで選局したときは、チャンネル(リモコン番号)が表示されない場合があります。

❽放送電波の受信レベル(目安)

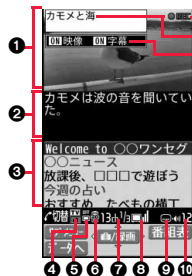
　強 ⟷ 弱

　放送圏外の場合は「」が表示されます。

❾字幕受信
　字幕情報を受信しているときは「」が表示されます。

❿音量

⓫ビデオ録画
　ビデオ録画中は「●REC」が、録画予約による録画中は「REC」が表示されます。録画一時停止中は「PAUSE」が表示されます。

ワンセグ

⓬番組名
横画面表示ではチャンネル･開始時間･終了時間も表示されます。
⓭縦画面表示では映像／字幕設定値
映像：映像表示のON／OFF／拡大
字幕：字幕のON／OFF
横画面表示ではアイコン／字幕設定値
アイコン：アイコン表示のON／OFF
字幕：字幕の表示位置（ ：下部に表示、 ：上部に表示）、OFF
●⓬、⓭はボタン操作を行ったときに表示されます。

■チャンネルの切り替え操作（映像モードのみ）

操作	ボタン操作
チャンネル切替	
チャンネルサーチ	（1秒以上） ●押すごとに受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替え ●中止するには（中止）またはCLR
ダイレクト選局	1～9ch：1～9　10ch：＊　11ch：0　12ch：#

■視聴時の操作

操作	ボタン操作
音量調節	※1
消音／消音解除	CLR※1
番組表ｉアプリ起動	（番組表）※2
番組情報表示	（1秒以上）
静止画録画	（/録画）※1
ビデオ録画	（/録画）（1秒以上）※1 ●終了するには（停止）※1
映像／データ放送切替	※3 ●押すごとに映像モードとデータ放送モードを切り替え
表示方向切替／全画面切替	 ●映像モードでは押すごとに表示方向を切り替え ●データ放送モードでは押すごとに半画面表示／全画面表示を切り替え
番組名表示	
映像／字幕表示切替	番組名表示中に ●横画面表示では、押すごとにアイコン表示のON／OFFと「横画面字幕表示設定」の設定を切り替え

※1 データ放送モードでは操作できません。
※2 横画面表示中は操作できません。
※3 横画面表示中は番組名表示の操作になります。

お知らせ

●チャンネルリストを登録していない場合は、ワンセグを起動したときに確認画面が表示されます。「OK」を選択し、チャンネル設定を行います。（P.242参照）
●縦画面でワンセグを起動したときにチャンネルを検出できなかった場合は、エリア変更するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとチャンネルリスト一覧画面が表示されます。
●視聴中にマルチタスクで画面を切り替えた場合でも、ワンセグの音声は流れます。（バックグラウンド再生）ただし、機能や番組によっては音声が流れない場合もあります。
●放送電波の状態などにより、以下のようになることがあります。
･音声がとぎれる　･データ放送が操作できない
･映像にブロック状のノイズが入る、または停止する
･映像やデータ放送が表示されない（黒い画面が表示される）
●番組によっては字幕が表示されない場合があります。
●横画面ではデータ放送を表示できません。
●場所を移動すると、山やビルの影響で受信できる放送電波や放送局が異なる場合があります。移動して映りが悪くなった場合、自動チャンネル設定を行うと違った放送電波により映りがよくなったり、異なった放送局にて視聴できる場合があります。

お知らせ

- 場所を移動したときなどにチャンネルサーチで選局を行うと、自動チャンネル設定で登録できなかった放送局が見つかる場合があります。見つかった放送局を「チャンネル追加登録」で登録すると、次回から視聴できます。
- ワンセグ起動時やチャンネルを切り替えたときは、視聴できるまでに少し時間がかかります。

視聴画面のサブメニュー

項目	説明
番組情報表示	視聴している番組の情報を表示します。
番組表表示	P.247参照
チャンネル表示／操作	
チャンネル情報	選択しているチャンネルリストの詳細画面を表示します。放送局を選択すると選択した放送局に切り替わります。
チャンネルリスト選択	チャンネルリストを選択します。
チャンネル設定	P.242参照
チャンネル追加登録	現在視聴中の放送局をチャンネルリストに追加登録します。 ●リモコン番号13以降で空いているリモコン番号の中で、最も小さいリモコン番号に登録されます。
サービス選局	同じ放送局で複数のサービス（番組）が放送されているときに、どのサービスを視聴するかを選択します。
データ放送操作	
データ放送へ戻る	データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送に戻ります。
コンテンツ再読み込み	表示中のデータ放送サイトを再読み込みします。 ●サイトによっては、入力したデータを再度送信するかどうかの確認画面が表示されます。
証明書表示	P.187参照
画像表示設定	P.199参照
サウンド設定	P.255参照
ワンセグからトルカ取得	P.299「放送トルカ取得設定」参照
確認表示設定リセット	P.255参照
テレビリンクリスト	テレビリンク一覧画面を表示します。
メール作成	
新規メール作成	新しくｉモードメールを作成します。
お勧めメール作成	視聴中のチャンネル情報が本文に入力されたｉモードメールを作成します。 ●「Media To 機能」に対応したFOMA端末へｉモードメールを送信した場合、受信側では「Media To 機能」を利用してワンセグを起動できます。
各種設定	
表示／操作設定	
映像／字幕表示	P.254参照
映像／データ放送切替 ワンセグ起動時 映像モード	縦画面で視聴中に、映像モードとデータ放送モードを切り替えます。
アイコン常時表示設定	P.254参照
横画面字幕表示	P.254参照
映像設定	
明るさ設定	ディスプレイの明るさを自動調整するかどうかを設定します。また、明るさをレベル1（暗い）～レベル6（明るい）で調節します。 ●「自動調整ON」に設定すると、光センサーで感知した周囲の明るさに合わせて自動調整されます。 ●ここでの設定は視聴を終了するまで有効です。ワンセグ起動時の設定はP.104「照明設定」の「明るさ」の設定に従います。

項目	説明
モバイルWスピード	P.254参照
画質モード設定	P.254参照
液晶AI	P.107参照
音声設定	
サウンド効果	
自動音量設定	P.255参照
リ.マスター設定	P.255参照
リスニング設定	P.255参照
イコライザー設定	P.255参照
主／副音声設定 ワンセグ起動時 主音声	主音声と副音声を切り替えます。
音声切替	音声を切り替えます。 ●切り替えできる音声があるときのみ操作できます。
省エネ設定	
ワンセグecoモード	P.255参照
無操作自動オフ設定	P.255「ワンセグ無操作自動オフ設定」参照
オフタイマー ワンセグ起動時 OFF	設定した時間が経過すると、視聴や録画(予約録画を除く)を終了するかどうかの確認画面を表示します。
ボタン操作ガイド	ワンセグ視聴中のボタン操作のガイドを表示します。

番組表ｉアプリ

番組表ｉアプリを利用して、番組表から番組を選択してワンセグを起動したり、視聴予約・録画予約を行ったりできます。

●「Gガイド番組表リモコン」についてはP.281参照。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶番組表

●Gガイド番組表リモコンの画面でiα(ワンセグ)を押すと、選択しているチャンネルで現在放送している番組を視聴できます。

●詳しくは「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

●番組表ｉアプリは「ソフト設定」の「番組表ボタン設定」で設定できます。

データ放送

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。番組と連動したサイトなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

●データ放送、データ放送サイトについてはP.240参照。

1 視聴画面(映像モード)▶✉(データへ)

データ放送モードに切り替わり、「TVd」が表示されます。

●データ放送モード中もワンセグの音声は流れます。

●データ放送モードでiα(全画面)を押すと、データ放送のみを表示できます。iα(半画面)を押すと元の表示に戻ります。

2 項目(リンク先)を選択

- データ放送、データ放送サイトによっては、iモード接続するかどうかの確認画面が表示されます。
- データ放送、データ放送サイト表示中に◎を押すと、画面のスクロール、反転表示の移動ができます。
- データ放送サイト表示中に◎を押すと、前後のページに戻る／進むことができます。

お知らせ

- ✉を押すたびに映像モードとデータ放送モードが切り替わります。
- 横画面ではデータ放送を表示できません。
- データ放送、データ放送サイトでの文字入力時は、絵文字は入力できません。
- 番組によってはiモードサイトの表示中にワンセグの音声が再生されることがあります。ただし、ワンセグの映像は表示されません。
- 番組によってはデータ放送、データ放送サイト表示時に音が鳴ることがあります。その場合、ワンセグの映像の音声が一時的に停止し、データ放送の音が優先して再生されます。
- データ放送、データ放送サイトを表示中に、サイトで入力した内容を送信したり、携帯電話情報の取得を許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- データ放送の確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択している場合は、自動的にデータ放送の情報が更新され、ワンセグ視聴中やビデオ再生中にパケット通信料がかかることがあります。(P.255参照)
- 視聴中に放送電波が不安定な場所で移動すると、映像およびデータ放送･データ放送サイトが自動的に更新される場合があります。その場合、データ放送のトップページが表示され、データ放送･データ放送サイトへ接続して入力した情報はクリアされます。データ放送･データ放送サイトを利用するときは、放送電波が安定した場所で視聴してください。

反転した情報の操作

データ放送サイトで反転表示された情報を利用して簡単な操作で電話発信、メール送信などの機能が利用できます。
項目(リンク先)を選択することで、Phone To／AV Phone To、Mail To 機能などを利用できます。(P.198参照)

お知らせ

- データ放送、データ放送サイトによっては、自動的にiモードメール作成や電話帳登録などの機能を利用する場合があります。それぞれの機能を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

テレビリンク

データ放送には、番組の詳細や関連情報サイトに導くテレビリンクが用意されている場合があります。
テレビリンクを利用するとサイトのアドレス情報などがテレビリンクリストに登録でき、あとで簡単に呼び出して閲覧できます。

テレビリンク登録

テレビリンク登録可能な項目(リンク先)を選択すると、テレビリンクに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

1 データ放送モードで、テレビリンク登録可能な項目(リンク先)を選択

- テレビリンクを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。
- 同じURLやメモ情報を登録しようとした場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
- すでにテレビリンクが最大保存件数まで登録されている場合は、削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- リンク先によっては有効期限が設定されているものもあります。
- 1件あたりのURLが半角60文字を超える場合は登録できません。

テレビリンク

登録したテレビリンクを表示します。

1 MENU▶**カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶テレビリンク▶表示したいテレビリンクを選択**

テレビリンク
1 ○○○○
2 △△△△
3 □□□□
4 △△□□

テレビリンク一覧画面

- ｉモード接続するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
- 有効期限が切れたテレビリンクの場合は、削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■テレビリンク一覧画面のアイコンについて

アイコン	種別	説明
	メモ情報	メモ情報を表示
	リンク通信コンテンツ	データ放送サイトに接続 （映像･字幕は表示されません。）
	ｉモードコンテンツ	ｉモードサイトに接続
	フルブラウザコンテンツ	フルブラウザで接続

テレビリンク一覧画面のサブメニュー

詳細表示	テレビリンクのタイトル、URL、概要、コンテンツ種別、有効期限を表示します。
登録件数確認	登録されているテレビリンクの件数を表示します。
削除	削除します。

視聴中のワンセグ録画

視聴中の番組をビデオまたは静止画として保存します。

- ワンセグには、コピー制御信号（「録画不可（コピーネバー）」、「1回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」を制御する信号）が加えられています。コピー制御信号は、個々の放送局が設定します。
- コピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」の番組は録画できません。また、録画中にコピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」に変化した場合、録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

ビデオ録画

録画したビデオはmicroSDカード（「データBOX」→「ワンセグ」→「ビデオ」）に保存されます。

- 録画したビデオを再生するにはP.340参照。
- FOMA端末には保存できません。

1 視聴画面（映像モード）▶●（ 📷/録画 ）（1秒以上）

確認音が鳴り、「 」「●REC」が表示され、録画が開始されます。

- 放送電波の受信レベルが「 」のときは録画できません。また、「 」のときでも放送電波の状況によっては録画できないことがあります。
- 録画中はチャンネルを変えられません。

2 ●（ 停止 ）を押す

確認音が鳴り、ビデオが保存されます。

- ファイルサイズが2Gバイトを超えたときや、保存領域がいっぱいになったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

■録画時間と保存件数の目安

カードの容量	最大録画時間（合計）	最大保存件数
2Gバイト	約640分	99件
4Gバイト	約1280分	
8Gバイト	約2560分	
16Gバイト	約5120分	
32Gバイト	約10240分	

●最大録画時間は、映像:224kbps、音声:48kbps、データ(字幕含む):52kbpsの場合の目安であり、放送局、番組によって録画時間は異なります。
●SD-VIDEO規格では、連続録画最大ファイルサイズは2Gバイトまでです。
●データ量により保存件数は少なくなります。

お知らせ

●放送電波の状況によっては、保存したデータの再生時間が録画した時間より短くなる場合があります。
●録画中にマルチタスクで画面を切り替えた場合や着信があった場合でも、録画は中断されません。
●録画中に放送電波の状況が「」になったときは、録画は一時停止状態になり、「」「」が表示されます。その間の映像･音声は保存されません。
●録画中はカメラを起動できない場合があります。
●録画中に電池パックやmicroSDカードを外した場合は、それまでに録画したデータが再生できないファイルとしてmicroSDカード内に保存されます。
●放送局、番組によっては、録画開始操作から数秒程度の誤差が生じて、映像･音声が保存される場合があります。
●ビデオの保存領域がいっぱいの場合は録画できません。また、保存領域の残りが少ない場合、録画できない場合があります。不要なビデオを削除してから再度操作してください。
●番組によっては保存領域をすべて使用できない場合があります。
●保存されたビデオのファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
ファイル名:PRGXXX
タイトル名:YYYY/MM/DD hh:mm
(X:英数字、Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)
●録画したビデオは待受画面や着信音、着信画面などには設定できません。また、メールへの添付や赤外線送信･iC送信もできません。

静止画録画

録画した静止画はFOMA端末(「データBOX」→「ワンセグ」→「イメージ」)に保存されます。

●録画した静止画を表示するにはP.320参照。
●microSDカードには保存できません。

1 視聴画面(映像モード)▶◉(/録画)

確認音が鳴り、静止画が保存されます。
●放送電波の受信レベルが「」のときは録画できません。

お知らせ

●保存された静止画のファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
ファイル名:YYYYMMDDhhmmXXX
タイトル名:YYYY/MM/DD hh:mm
(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分、X:数字)
●録画した静止画は待受画面や着信画面などには設定できません。また、メールへの添付やFOMA端末外への出力もできません。
●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。
●字幕やデータ放送は静止画録画できません。

視聴予約/録画予約

ワンセグの視聴予約･録画予約を行います。設定した日時にアラームで番組の開始をお知らせします。

●番組表ｉアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報(リンク)を使って視聴予約･録画予約を登録することもできます。
(P.199「Media To 機能」参照)

視聴予約リスト

日時、チャンネル、番組名などを設定して視聴予約を登録します。「連携起動設定」を利用して、設定した時刻に自動的にワンセグ視聴を開始できます。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶視聴予約リスト▶TV(新規)

●登録済みの視聴予約を選択すると登録内容を確認できます。登録内容の確認画面でTV(編集)を押すと編集できます。

2 以下の操作を行う▶TV(完了)

チャンネル	チャンネルを選択します。
番組名	番組名を入力します。
開始日時	視聴を開始する日付、時刻を直接入力するか、カレンダーから日付を選択して時刻を入力します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。 ●繰り返す設定にしても、件数は1件としてカウントされます。
アラーム通知	アラームの通知方法を設定します。 ●「事前通知する」に設定していると、設定した事前通知時刻にのみ通知します。 ●「自動電源ON」を「ON」に設定した場合、事前通知時間に「15秒前」「30秒前」「45秒前」は設定できません。
アラーム音	アラーム音を設定します。
アラーム音量	音量設定します。 ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
連携起動設定	予約アラーム通知の画面を表示後、自動的にワンセグを起動するかどうかを設定します。 ●「連携しない」に設定すると、予約アラーム通知のみ行います。予約アラーム通知の画面からはワンセグを起動できません。
自動電源ON	電源を切っているときに予約アラーム通知時刻になった場合、自動的に電源をONにして予約アラーム通知するかどうかを設定します。
ワンセグ音量	「連携起動設定」によりワンセグが自動的に起動したときの音量を設定します。
オフタイマー	「連携起動設定」によりワンセグが自動的に起動したあと、設定した時間が経過するとワンセグ視聴を終了するように設定できます。
アラーム音優先設定	マナーモード中の予約アラーム音を鳴らさないようにするか、本機能で設定した音量で鳴るようにするかを設定します。

録画予約リスト

日時、チャンネル、番組名などを設定して録画予約を登録します。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶録画予約リスト▶TV(新規)

●登録済みの録画予約を選択すると登録内容を確認できます。登録内容の確認画面でTV(編集)を押すと編集できます。

2 以下の操作を行う▶TV(完了)

●録画予約を登録するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

チャンネル	チャンネルを選択します。
番組名	番組名を入力します。

開始日時 **終了日時**	録画を開始・終了する日付、時刻を直接入力するか、カレンダーから日付を選択して時刻を入力します。開始日時の約1分前になると、予約アラーム通知します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。 ●繰り返す設定にしても、件数は1件としてカウントされます。
アラーム音設定	予約アラーム通知時にアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。
アラーム音量	音量を設定します。 ●「ステップ」には設定できません。
録画動作設定	同時に起動できない機能を操作中に開始日時になった場合、操作中の機能を中断、終了して録画を開始するかを設定します。 ●同時起動が可能な場合は、マルチタスク機能により録画を開始します。 ●通話中（発着信中を含む）に開始日時になったときは、通話を終了すると録画が開始されます。通話中に他の機能を使用していた場合は、通話と他の機能を終了すると録画が開始されます。
上書き録画設定	録画予約を繰り返す設定にし、「上書き録画する」に設定すると、前回録画したビデオを自動的に削除して上書き録画します。

お知らせ

- 番組表ｉアプリや、サイトやメールなどの中に表示されている番組などの情報を使って視聴予約・録画予約を登録することもできます。その場合、開始日時、終了日時、チャンネル、番組名があらかじめ入力された状態で登録画面が表示される場合があります。
- 同じ日時に予約アラーム通知を行う視聴予約を複数登録した場合は、開始日時の早い視聴予約の通知が優先されます。開始日時も同じ場合は、あとから登録した視聴予約の通知が優先されます。
- 録画時間が重複する複数の録画予約は登録できません。なお、録画終了時間と録画開始時間が同時刻となる2つの録画予約を登録した場合は、前の番組の録画が約1分間早く終了します。

お知らせ

- 繰り返す設定にした予約を除き、開始日時や予約アラーム通知日時（録画予約の場合は開始日時の約1分前）を過ぎた視聴予約・録画予約は登録できません。
- 予約アラーム通知日時を過ぎた視聴予約・録画予約は自動的に削除されます。ただし、繰り返す設定にした予約や、「アラーム通知」を「通知しない」に設定した視聴予約は削除されません。また、通知日時に視聴予約・録画予約機能を操作していた場合も削除されません。
- チャンネルリストが設定されていない場合、視聴予約・録画予約はできません。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。
- 「録画動作設定」を「操作優先」に設定した場合、確認画面表示中は録画開始時間を過ぎても録画されず、「YES」を選択した時点から録画されます。ただし、録画終了時間を過ぎていたときは録画されません。
- 「上書き録画する」に設定した録画予約の場合、前回録画したビデオを削除してから録画を開始します。前回分のビデオの視聴済み／未視聴や予約録画の成功／失敗に関わらず、前回録画したビデオは削除されます。また、録画開始時刻までに前回分の削除ができなかった場合など、録画開始が遅れる場合があります。
- 「上書き録画する」に設定した録画の場合、録画（視聴）環境や番組によってファイルサイズが変動するため、録画したビデオのファイルサイズが前回録画したビデオのファイルサイズを上回る場合があります。保存先の空き容量が少ない場合、正しく録画できないことがありますのでご注意ください。
- 録画したビデオのタイトルは、録画予約で登録した番組名になります。
- 録画予約による録画中は、「 」「 」が表示されます。
- 録画予約による録画中はワンセグの音声は流れません。ただし、CLRを押すか音量調節を行うと音声が流れます。

視聴予約リスト・録画予約リスト表示中のサブメニュー

新規登録	新規登録します。
編集	編集します。
ソート	表示される順番を変更します。

削除	削除します。
保存容量確認 ［録画予約リストのみ］	保存容量（目安）を表示します。 ●録画予約編集中に[i]（保存容量）を押しても表示できます。

視聴予約・録画予約のアラームを設定したときは

デスクトップにアイコンが表示されます。

「 」．．．当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合に表示されます。

「 」．．．明日以降の設定のみの場合に表示されます。

●視聴予約の「アラーム通知」を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

視聴予約・録画予約で設定した時刻になったときは

＜視聴予約＞

「アラーム通知」を「通知する」に設定し、「連携起動設定」を「自動連携する」以外に設定している場合、アラーム音が約5分間鳴り、着信／充電ランプが光ります。また、「バイブレータ設定」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、設定した開始日時、チャンネル、番組名とアニメーションが表示されます。

「アラーム通知」を「通知する」に設定し、「連携起動設定」を「自動連携する」に設定している場合は、設定した時刻になるとアラームが数秒間鳴ったあと自動的にワンセグが起動します。

視聴を終了するには[終話]を押して「ワンセグ終了」を選択します。

「オフタイマー」を設定している場合、設定した時間が経過すると、視聴を継続するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択するか、約15秒間何も操作しないとワンセグが終了します。

＜録画予約＞

開始日時の約1分前にアラーム音が約2秒間鳴り、着信／充電ランプが光ります。また、「バイブレータ設定」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、設定した開始日時、終了日時、チャンネル、番組名とアニメーションが表示されたあと、視聴画面が表示されます。録画開始から約1分間何も操作しないと、待受画面が表示されます。[ワンセグ]を押し、「ワンセグ視聴」を選択すると視聴画面を表示できます。

録画予約による録画を中止してビデオを保存するには、映像モードで[●]（停止）を押します。

●通話中は
受話口からアラームが鳴ります。

●操作中は
＜視聴予約＞
「アラーム通知設定」の設定に従って動作します。（P.389参照）
＜録画予約＞
「録画動作設定」の設定に従って動作します。（P.252参照）ただし、microSDカードの読み書きを行っているときや、お預かりセンターに接続中は、録画されないことがあります。

●予約アラーム通知の設定を「アラーム」、「スケジュール」と同じ時刻にしたときは
「アラーム」→「録画予約」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。ただし、「アラーム」と「視聴予約」の両方が同じ時刻に「自動電源ON」で自動的に電源をONにしてアラーム通知を行う場合は、「視聴予約」の予約アラーム通知は行われず、デスクトップにアイコンは表示されません。

●電源OFFのときは
「自動電源ON」を設定した視聴予約を除き、予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に電源がONになっていないと録画されません。
電源をONにしたあともデスクトップにアイコンは表示されません。

●マナーモード中は
アラーム音量とバイブレータについてはマナーモードの設定に従って動作します。（P.100参照）

●ダイヤルロック中、おまかせロック中は予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に各ロックが解除されていないと録画されません。

●赤外線通信中、iC通信中、ソフトウェア更新中は
予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に各機能が終了していないと録画されません。

お知らせ

●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合の視聴予約や録画予約では、発着信中に予約アラーム時刻になったときは、通話を開始したあとにお知らせします。

お知らせ

- 「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定し、「自動電源ON」で自動的に電源をONにして視聴予約の予約アラーム通知を行う場合、自動的に電源がONになったあと、PIN1コードの入力画面が表示されます。予約アラーム通知はPIN1コードを入力するまで行われません。
- ｉモーション／着うたフル®によっては視聴予約のアラーム音に設定できない場合があります。
- 視聴予約のアラーム音に設定したｉモーションによっては予約アラーム通知時に音声のみが再生される場合があります。
- 着うたフル®を視聴予約のアラーム音に設定した場合は、アラーム通知時に音声のみが再生されます。また、アラーム音選択時のデモ再生時とアラーム通知時のイルミネーションは異なります。

視聴予約でアラーム音／予約アラームメッセージ・アニメーション／ｉモーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーション／ｉモーションは静止画になり、予約アラームメッセージは表示されたまま残ります。「連携起動設定」が「連携しない」の場合、もう一度いずれかのボタンを押すと消せます。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。

視聴予約で「連携起動設定」を「手動連携する」に設定しているときは

予約アラーム通知画面で●(起動)を押すとワンセグが起動し、視聴予約した番組を視聴できます。録画中の場合はそれまでに録画したビデオが保存されます。

「予約アラーム通知」がされなかったときや録画が完了したときは

デスクトップにアイコンが表示されることがあります。そのアイコンから通知できなかった予約アラームの内容(予約情報)や録画結果を確認できます。
予約情報や録画結果は通知できなかった最新のものを表示します。

- 「連携起動設定」が「連携しない」以外に設定されていた場合は、予約情報の画面で●(起動)を押すとワンセグを起動できます。
- 録画したビデオが保存されている場合は、録画結果の画面で●(再生)を押してもビデオを再生できます。

予約録画結果

録画結果を最新のものから最大20件まで表示します。

1 **MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶予約録画結果▶録画結果を選択**

- 録画結果をすべて削除するには📷(全削除)を押します。

ユーザ設定

1 **MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶ユーザ設定▶以下の操作を行う**

項目		説明
表示設定		
	映像／字幕表示設定	画面の表示内容を切り替えます。 ●「データ放送」は視聴画面やビデオプレーヤーのサブメニューから操作した場合に選択できます。「データ放送」に設定して視聴や再生を終了した場合、次回起動時は「映像＋字幕＋データ放送」として起動します。
	横画面字幕表示設定	横画面表示中に字幕を表示するかどうかを設定します。
	アイコン常時表示設定	横画面表示中にアイコンを表示するかどうかを設定します。 ●「表示しない」に設定していても、通信中は「⇆」が表示されます。
映像設定		
	モバイルWスピード	映像の描画を自動的に補って、ワンセグ視聴中の映像をスムーズに表示します。
	画質モード設定	番組に適した画質に変更します。
照明設定		視聴中にディスプレイが点灯する時間を設定します。

ワンセグ

サウンド効果		
	自動音量設定	小さな音を大きくして聞き取りやすくするかどうかを設定します。
	リ.マスター設定	イヤホンからの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。
	リスニング設定	イヤホンからの音にリスニングの効果を設定します。 ●「サラウンド」に設定していると、自然で立体感のある音にします。「ナチュア1･2」に設定していると、イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。
	イコライザー設定	イヤホンからの音質を変更します。 ●「H.BASS1･2」に設定していると、低音を強調します。「ボイス」に設定していると、会話を聞き取りやすくします。「トレイン」に設定していると、音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
録画設定		
	電池少量時録画設定	録画中に電池残量が少なくなったときに、録画を継続するかどうかを設定します。
	視聴中着信録画設定	ワンセグ視聴中に電話がかかってきたときに、自動的に録画を開始するかどうかを設定します。
データ放送設定		
	画像表示設定	データ放送サイトの画像を表示するかどうかを設定します。(P.199参照)
	サウンド設定	データ放送、データ放送サイトの効果音を鳴らすかどうかを設定します。
	確認表示設定リセット	ワンセグ視聴中、ビデオ再生中のデータ放送の確認画面では「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面はワンセグ視聴中、ビデオ再生中ともに表示されなくなります。確認表示設定リセットを行うと、それらの確認画面が再度表示されるようになります。
省エネ設定		
	ワンセグecoモード	ワンセグ視聴時に電池の消費を抑えます。 ●操作するごとにONと解除が切り替わります。
	ワンセグ無操作自動オフ設定	ワンセグ視聴中に何も操作しないで設定した時間が経過するとワンセグを終了するように設定できます。 ●設定した時間が経過すると、ワンセグを終了するかどうかの確認画面が表示されます。「YES(ワンセグ終了)」を選択するか、約1分間何も操作しないとワンセグが自動的に終了します。確認画面で何も操作せずにワンセグが自動的に終了した場合、デスクトップに「 」が表示されます。
チャンネル設定初期化		チャンネルリストをすべて削除します。
放送用保存領域消去		放送用保存領域に作成された系列放送局の情報を削除します。
TV設定リセット		「ユーザ設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。 リセットされる項目についてはP.450「機能一覧表」を参照してください。
TV設定確認		「ユーザ設定」の各設定内容を確認します。

お知らせ

<映像／字幕表示設定>

●「映像拡大＋データ放送」に設定すると、縦画面表示の映像を拡大します。ただし、番組によっては映像の左右が切り取られて表示される場合があります。

●「データ放送」に設定するとデータ放送を全画面表示し、操作モードが自動的にデータ放送モードに切り替わります。全画面表示を解除すると、直前に設定していた操作モードに戻ります。

●「データ放送」に設定しても音声は流れます。

●「データ放送」に設定しても横画面表示では映像が表示されます。字幕は表示されません。

<アイコン常時表示設定>

●「すべて表示」以外に設定していても、ボタン操作を行ったときはアイコンが表示されます。また、放送電波の状態が悪くなったときにも表示される場合があります。

お知らせ

<モバイルWスピード>

- 「ON」に設定すると、「画質モード設定」の効果が十分に得られない場合があります。
- 放送状況によってはモバイルWスピードの効果が得られない場合があります。
- 録画中、予約録画中に「ON」に設定していても、録画したビデオの再生時にはモバイルWスピードは無効です。

<視聴中着信録画設定>

- 以下の場合は着信があっても録画を開始できません。
  ・バックグラウンド再生中　・録画中　・予約録画中　・予約録画準備中

<画像表示設定>

- 本機能の設定を変更した場合は、「ｉモード／web設定」の「ｉモードブラウザ設定」内の「画像表示設定」も変更されます。ただし、ｉモードでサイト接続中は「ユーザ設定」での「画像表示設定」は変更できません。

<確認表示設定リセット>

- ワンセグ起動時の確認画面（P.241参照）や録画予約時の確認画面（P.251参照）はリセットされません。

<ワンセグecoモード>

- ワンセグecoモードを設定すると、以下の設定内容になり、変更できません。ただし、ワンセグecoモードを解除すると、設定内容は元に戻ります。
  モバイルWスピード：OFF　画質モード設定：スタンダード
  リ.マスター設定：OFF　リスニング設定：OFF
  イコライザー設定：ノーマル　液晶AI：専用の設定値
- 「ecoモード設定」で「ワンセグ省電力」にチェックを付けている場合、ecoモード中に本操作を行うと、ecoモードとワンセグecoモードの両方が解除されます。

Music

Music&Videoチャネル

ミュージックプレーヤー

■音楽データの取り扱いについて
microSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご使用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分にご配慮ください。

Music&Videoチャネル

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大2時間程度の音声番組が自動配信されるサービスです。また、最大1時間程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービスのご契約が必要です。)
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にドコモminiUIMカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます(バックグラウンド再生)。
- Music&Videoチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

番組設定

利用したい番組を事前に設定すると、夜間に番組データが自動的に取得されます。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶Music&Videoチャネル

2 番組設定▶画面に従って番組の設定操作を行う

詳しくは「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

- 保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。

番組を設定したときは

番組取得を開始する12時間前に、待受画面に「」が表示されます。ただし、設定したときと異なるドコモminiUIMカードを挿入している場合は表示されません。

番組取得は夜間に自動的に行われます。このとき番組取得中の画面は表示されません。成功するとデスクトップに「更新」が表示されます。●を押し、「更新」を選択すると、Music&Videoチャネル画面が表示されます。
取得に失敗した場合は「失敗」が表示されます。

お知らせ

- 番組取得開始時に圏外だった場合や、番組取得中に通信が途切れた場合は、約3分間隔で5回まで自動的に再取得を行います。ただし、取得中の画面を表示している場合は、再取得するかどうかの確認画面が表示されます。
- 番組取得の開始や完了をお知らせするための着信音･バイブレータの鳴動機能はありません。「イルミネーション設定」の「Music&Video Chイルミネーション」を「ON」に設定した場合、番組の取得が完了すると着信／充電ランプが光ります。(P.110参照)
- 新しく番組を取得すると、保存されている番組は上書きされるため、再生できなくなりますのでご注意ください。上書きされないようにするためには、「番組移動」を行って「保存番組」フォルダまたはmicroSDカードに番組を移動してください。
- 取得した番組はコピーできません。

Music

お知らせ

- 番組を設定するには、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要なものもあります。(P.179参照)
- Music&Videoチャネルをご契約されていない場合は、「サービスのご案内」を選択するとMusic&Videoチャネルの紹介ページが表示されます。
- 番組取得開始時に「電源が入っていない」ため番組の取得ができなかった場合は、翌日の夜間に再度番組の取得を行います。電池残量が少ない場合は、取得に失敗します。
- 番組の取得には時間がかかる場合がありますので、十分に充電をして電波状況の良い環境で使用してください。
- Music&Videoチャネル画面で選んでいる番組や利用中の番組は、番組の設定操作および自動取得ができません。
- Music&Videoチャネルの解約を行った場合、「番組移動」で移動した番組以外は削除されます。
- 番組を設定したときと異なるドコモminiUIMカードを挿入した場合は、番組を自動で取得できなくなります。Music&Videoチャネル画面から、再度番組を設定してください。
- Music&Videoチャネルのサービスメニューを選択したときに「番組設定情報を確認しますか?」と表示された場合、「YES」を選択すると配信済みの番組は削除される場合があります。ただし、配信停止設定中は削除されません。
- すでに番組を設定しているFOMA端末のドコモminiUIMカードを別のMusic&Videoチャネル対応のFOMA端末に差し替えた場合、番組は自動で取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度「番組設定」を選択すると、FOMA端末の番組設定が自動的に更新され、番組を自動で取得することができます。

番組設定の確認/解除

1 Music&Videoチャネル画面▶番組設定▶画面に従って操作する

設定中の番組の確認や、設定の解除を行うことができます。詳しくは「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

- 番組の設定を解除してもマイメニューは削除されません。

番組の手動取得

番組の自動取得に失敗した場合や番組配信日を過ぎても更新されなかった場合(未更新)は、デスクトップに「 」が表示されます。自動取得に失敗した番組は、手動で取得できます。

1 Music&Videoチャネル画面▶番組を選択▶はい

- 部分取得した番組の場合、「途中まで再生」を選択すると再生できます。
- 未更新の番組の場合、「そのまま再生」を選択すると更新前の番組を再生できます。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。

お知らせ

- 番組の取得が中断された場合は、中断されるまでの部分的に取得した番組は保存されます。続きを取得するときは、一部の時間帯を除いて手動で取得できます。番組が更新されていたり、別の番組に変更されていたりしたときは、続きからではなく最初から取得を開始します。
- 再生制限が切れた番組は、再取得できません。次回配信日まで更新ができません。
- ご利用になる時間帯によっては、手動で番組取得ができない場合があります。

番組の再生／操作

●ステレオイヤホンマイク(別売)を接続してステレオサウンドで番組を楽しめます。

1 **MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶Music&Videoチャネル▶番組を選択**

Music&Videoチャネル起動中は「 」、バックグラウンド再生中に一時停止状態になった場合は「 」が表示されます。

●番組を選んでいると、番組名の下に次回の番組配信日が表示されます。番組が配信停止になったときは表示されません。また、自動取得に失敗したときも表示されない場合があります。

●前回再生した番組の情報がある場合は、情報に従った再生位置やモードで再生されます。

Music&Videoチャネル画面

●番組を選んで📷(チャプター)を押すとチャプター一覧が表示されます。

●番組を選んで✉(サイト接続)を押すと番組のURL情報のURLに接続します。

●iα(データBOX)を押すと番組フォルダ一覧画面が表示されます。

●プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。

番組取得中

再生不可

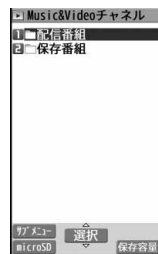
音声のみの番組

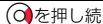
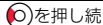
データBOXからの番組操作

データBOXからも番組を再生できます。データBOXでは、現在配信されている番組の他に、過去に配信されていた番組で「保存番組」フォルダやmicroSDカードに移動した番組も再生できます。

1 **MENU▶データBOX▶Music&Videoチャネル▶フォルダを選択▶番組を選択**

●番組フォルダ一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。

●番組一覧画面でiα(切替)を押すごとに表示方法を変更します。

番組フォルダ一覧画面

番組一覧画面

■Music&Videoチャネル再生時の画面について

❶…番組画像または番組の映像
（画像が登録されていない場合は、アニメーションが表示されます。）

❷…チャプター番号／チャプター数

❸…チャプター名／アーティスト名

❹…番組名

❺…再生状態

❻…再生時間／総演奏時間

❼…再生モード
（「ノーマル」の場合は、何も表示されません。）
🔁：リピート

❽…イコライザー設定
NORMAL：ノーマル　H.BASS1：H.BASS1
H.BASS2：H.BASS2　TRAIN：トレイン

❾…ステレオ／モノラル種別
STEREO：ステレオ　MONO：モノラル

⑩…リスニング設定(「OFF」の場合は、何も表示されません。)
SURROUND:サラウンド　NATUR1:ナチュア1　NATUR2:ナチュア2
⑪…リ.マスター設定(「OFF」の場合は、何も表示されません。)
REMASTER:ON
⑫…音量

■Music&Videoチャネル再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	(TV)(■)
一時停止	●(❚❚) ●再生するには●(▶)
音量調節	◎
次のチャプターに切り替え	◎
前のチャプターに切り替え	◎ ●再生時間が3秒以上の場合、前のチャプターがない場合は頭出し
サーチ(早送り)※	◎を押し続ける
サーチ(早戻し)※	◎を押し続ける
サイトに接続	✉(サイト接続)
縦画面／横画面切替	(横画面) ●押すごとに縦画面で再生→画面サイズに合わせて横画面で再生→拡大して全画面での再生を切り替え
次の画像を表示	3
前の画像を表示	1
リ.マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	7 ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「トレイン」の順に切り替え

※ 一時停止中は操作できません。

Music&Videoチャネル再生時の画面でイヤホンマイク(別売)のスイッチを使って下記の操作ができます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す。
次のチャプターに切り替え	連続2回押す
前のチャプターに切り替え	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合、前のチャプターがない場合は頭出し

■Music&Videoチャネル画面・番組一覧画面のアイコンについて

表示されているアイコンで、番組の取得状況などを確認できます。

アイコン	説明
	取得に成功した番組
	壊れている番組
✖	部分的に取得した番組や、取得に失敗した番組

●新しく取得した番組には「NEW」が付きます。
●番組によっては、再生できる回数・期限・期間が制限されているものがあります。再生制限のある番組のアイコンには、「◴」、再生制限切れの番組のアイコンには「●」が付きます。「番組情報」で番組の再生制限を確認できます。
●番組によっては操作が制限されているものがあります。操作制限のある番組のアイコンには「⊘」が付きます。
●番組によっては、再生できる時間帯が決まっているものがあります。時間帯制限のある番組のアイコンには「◷」が付きます。時間は、自動時刻時差補正された時刻情報に従います。
●定期的に更新された番組を取得開始できなかった場合は、未更新の番組として「⟲」が表示されます。「⟲」は番組を取得開始できた時点で消えます。
●Music&Videoチャネルの番組はすべてファイル制限ありのファイルになります。ファイル制限についてはP.322参照。

お知らせ

- 以下の操作を行うと、前回再生した番組の情報は消去されます。
  ･番組を更新した場合
  ･前回再生した番組を削除したり、移動した場合
  ･FOMA端末の電源をOFF／ONした場合
- 電池残量が少ない状態で番組を再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中(バックグラウンド再生中も含む)に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- 以下の場合は、再生が一時停止され、操作終了後に再生を再開します。
  ･音声電話、テレビ電話の発着信があった場合
  ･「受信時動作設定」を「通知優先」に設定しているとき、または待受画面を表示しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信した場合
  ･「アラーム」「スケジュール」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合
  また、発生した機能によってはMusic&Videoチャネルを終了するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- 時間帯制限のある番組で、再生終了後に黒画面を表示した場合は、次回の再生時間帯に再生が開始されます。
- 海外で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。
- 音声のみの音楽番組やQCIF(176×144)以下の動画番組の場合は全画面で再生できません。

Music&Videoチャネル画面・番組フォルダ一覧画面・番組一覧画面のサブメニュー

チャプター一覧		番組に設定されているチャプターの一覧を表示します。チャプターを選択することによって、選択したチャプター以降から再生します。 ●サブメニューから「チャプター情報」を選択すると、チャプターのタイトルや再生時間などの情報が表示されます。
再生モード変更		再生モードを変更します。
番組情報		番組のタイトルや配信元、再生制限などを表示します。
番組移動		現在配信中の番組は、次の配信日に新しい番組に更新されます。配信番組が更新される前に、番組を「保存番組」フォルダやmicroSDカードに移動することで保存できます。保存できる空き容量は「保存容量確認」で確認できます。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。
microSDへ移動		microSDカードへ移動します。
本体へ移動		FOMA端末へ移動します。
編集		
	タイトル編集	番組の表示名を編集します。
	タイトル初期化	表示名を編集前の表示名に戻します。
サイト接続		番組やチャプターにURL情報がある場合に、そのURLに接続します。
画像表示		番組に登録されている番組画像を表示します。 ●CLRを押すと一覧画面に戻ります。
保存容量確認		保存容量(目安)を表示します。 ●番組フォルダ一覧画面でi α(保存容量)を押しても表示できます。
ショートカット作成		ショートカットを作成します。
番組削除・1件削除		削除します。 ●番組を削除しても、番組設定は解除されません。
削除		

お知らせ

<再生モード変更>
- 時間帯制限がある番組の場合、再生モードの設定は無効になります。
- 時間帯制限がない番組で再生回数制限がある場合、「リピート」に設定しても繰り返し再生はされません。

<番組移動>
- 取得が完了していない番組や移動制限、時間帯制限が設定されている番組は移動できません。
- 番組によってはmicroSDカードに移動できない場合があります。

お知らせ

＜タイトル編集＞

●編集した表示名は、次回の番組が配信されると新しい表示名に上書きされます。

再生中・一時停止中のサブメニュー

チャプター一覧		P.262参照
再生モード変更		再生モードを変更します。
サウンド効果		
	リ．マスター設定	イヤホンからの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。
	リスニング設定	イヤホンからの音にリスニングの効果を設定します。 ●「サラウンド」に設定していると、自然で立体感のある音にします。「ナチュアル1･2」に設定していると、イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。
	イコライザー設定	イヤホンからの音質を変更します。 ●「H.BASS1･2」に設定していると、低音を強調します。「トレイン」に設定していると、音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
番組情報		P.262参照
チャプター情報		現在再生中のチャプターのタイトルや再生時間などを表示します。
サイト接続		P.262参照
前画像表示		前の画像を表示します。
次画像表示		次の画像を表示します。

お知らせ

＜サウンド効果＞

●イヤホンと接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。

お知らせ

＜前画像表示＞＜次画像表示＞

●1チャプターあたり最大3枚まで表示できますが、番組によっては表示できない場合があります。

音楽データの保存

着うたフル®のダウンロード

サイトから着うたフル®をダウンロードします。

1 着うたフル®のダウンロードが可能なサイトを表示▶着うたフル®を選択▶保存▶YES

●「再生」を選択すると着うたフル®が再生されます。着うたフル®再生中の操作についてはP.268参照。

●「情報表示」を選択すると着うたフル®の情報が表示されます。(P.271「ミュージック情報」参照)

●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。

2 保存したいフォルダを選択

●第2階層目以降にフォルダがある場合は、[カメラ/TV]([フォルダ])を押すと表示できます。上の階層に戻すには[CLR]を押します。

着うたフル®のダウンロードが中断したときは

「Cancel」を選択してダウンロードを中断したり、通信の切断などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択するとデータ取得完了の画面が表示されます。「部分保存」を選択した場合は、「データBOX」の「ミュージック」内の「ｉモード」フォルダ内のフォルダを選択して保存します。

部分保存した残りのデータは「データBOX」から再ダウンロードできます。

●音声電話、メールやメッセージR/Fの受信、アラーム通知があったときもダウンロードは継続されます。

●部分保存した着うたフル®のタイトルは、ダウンロードした日時となります。

●部分保存した着うたフル®の再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません。また、再取得したデータを保存する際、部分保存されていたデータは削除されます。

うた・ホーダイについて

お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な着うたフル®です。再生期限は、音楽データと共にダウンロードされるライセンス情報により指定されます。
再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。

- ミュージックプレーヤー起動時に再生期限切れの音楽データ(会員制サービスでダウンロードした着うたフル®)が存在すると、再生期限を更新するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、データを更新します。(パケット通信料有料)「NO」を選択すると、音楽データファイルを利用することができません。ミュージックプレーヤーの起動についてはP.266参照。
- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎたあとでも数日間の再生猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても再生ができます。再生猶予期間を過ぎると、ファイルの再生ができません。また、再生期限の更新を行っていない状態で楽曲ダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。
- 登録できるミュージック(会員制)サービスの上限を超えていると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードしたミュージックは再生できなくなります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料は、iモードパケット定額サービスの適用対象外です。

お知らせ

- 1件あたり5Mバイトまでの着うたフル®を保存できます。
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生期限切れのため更新が必要になった場合は、着信時やアラーム鳴動時にお買い上げ時の音が鳴ります。
- 長い間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている着うたフル®は再生できません。再生制限を確認するにはP.271「ミュージック情報」参照。
- 部分保存した着うたフル®はデータBOXから再生できません。

WMAファイルの保存

パソコン内のWindows Media Audio(WMA)ファイルをmicroSDカードへ保存するには、Windows Media Player 10/11/12を使用します。

- 楽曲データのほか、プレイリスト・ジャケット画像・ライセンスキーが保存されます。

ステップ

1 WMAファイルを保存するために必要なものを準備する

はじめにWMAファイルを保存するために必要なものを準備します。

- P-03D本体
- microSDカード
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)
- Windows Media Player 10(10.00.00.3802以降)/11/12がインストール済みのパソコン
  Windows XPではWindows Media Player 10/11をご利用ください。
  Windows VistaではWindows Media Player 11をご利用ください。
  Windows 7ではWindows Media Player 12をご利用ください。
- パソコンとFOMA端末を接続する前に、Windows Media Playerのバージョンを必ず確認してください。

ステップ

2 FOMA端末をリーダーライターとして使う

「USBモード」を「MTPモード」に設定します。(P.363参照)

ステップ

3 microSDカードに音楽を保存する

Windows Media Player 10/11/12を起動してWMAファイルをmicroSDカードに保存します。

- WMAファイルはFOMA端末には保存できません。
- Windows Media Player 10/11/12の操作方法についてはWindows Media Player 10/11/12のヘルプをご覧ください。
- 保存が完了したら、FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外します。
  FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外すときは、ご使用のソフトウェアを終了させてから取り外してください。

お知らせ

- データを保存中にmicroSDカードを抜かないでください。データが失われることがあります。
- 楽曲データおよびジャケット画像は、microSDカードの/PRIVATE/DOCOMO/MMFILE/WM/へ保存されます。
- 他のFOMA端末でmicroSDカードに保存したWMAデータは、P-03Dで認識されない場合があります。また、「USBモード」を「MTPモード」に設定してパソコンと接続しても認識されない場合があります。
  この場合は、パソコンなどでmicroSDカード内の「WM」フォルダと「WM_SYSTEM」フォルダを削除するか、microSDカードをフォーマット（P.362参照）してください。なお、microSDカードをフォーマットすると、音楽データ以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。
- microSDカード内の空き容量が300Kバイトより少なくなると、パソコンで認識しなくなる場合があります。microSDカード内の空き容量を確認し、300Kバイト以下であれば不要なファイルを削除したあと、再度「USBモード」を「MTPモード」に設定し、パソコンと接続してください。

SDオーディオファイルの保存

SD-Jukebox（市販品）を利用すると、音楽CDの曲をAAC形式のデータとしてmicroSDカードに保存できます。

- microSDカードアダプタ（別売）を使って、パソコンから直接microSDカードに保存することもできます。

※以下のステップは、FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使用し、音楽を保存する場合の一例です。

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは次のホームページより購入できます。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

- 動作環境詳細は次のホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

ステップ1 音楽を保存するために必要なものを準備する

はじめに音楽を保存するために必要なものを準備します。

- P-03D本体
- microSDカード
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）
- パソコン（Windows XP、Windows Vista、Windows 7）
- SD-Jukebox（市販品）
- 保存したい音楽CD

ステップ2 SD-Jukeboxをインストールする

パソコンにSD-Jukeboxをインストールします。

ステップ3 FOMA端末をリーダーライターとして使う

「USBモード」を「microSDモード」に設定します。（P.363参照）

ステップ4 microSDカードに音楽を保存する

SD-Jukeboxを起動してパソコンに音楽CDを入れます。
SD-Jukeboxを使用してmicroSDカードに音楽を保存します。

- SD-Jukeboxの操作方法についてはSD-Jukeboxのヘルプをご覧ください。
- 保存が完了したら、FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外します。

ミュージックプレーヤー

サイトから取得した着うたフル®やmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。
音楽を再生するには、メインメニューの「カメラ／TV／MUSIC」から「ミュージックプレーヤー」を選択します。
フォルダや、データなどの管理を行うには、メインメニューの「データBOX」から「ミュージック」を選択します。

- ミュージックプレーヤーを使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- ステレオイヤホンマイク(別売)を接続してステレオサウンドで音楽を楽しめます。
- 保存している曲数が多くなると、起動に時間がかかる場合があります。
- ミュージックプレーヤーで音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます(バックグラウンド再生)。
- ミュージックプレーヤーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Music

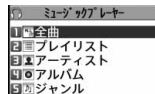
音楽データの再生

1 **MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ミュージックプレーヤー**

ミュージックプレーヤー
1 全曲
2 プレイリスト
3 アーティスト
4 アルバム
5 ジャンル

プレーヤーメニュー画面

プレーヤーメニュー画面が表示されます。

- 前回再生した曲の情報がある場合は、情報に従った再生位置やモードで再生されます。
- プレーヤーメニュー画面でCLRを押すと、ミュージックプレーヤーを終了するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **項目を選択**

全曲 . . . . FOMA端末、microSDカードに保存している音楽データのすべてを表示します。

プレイリスト . . . FOMA端末、パソコンで作成されたすべてのプレイリストを表示します。
プレイリストの再生についてはP.274参照。

アーティスト . . . 全アーティスト名を表示します。
聴きたいアーティストを選択すると、選択したアーティストの全アルバム名を表示します。
(アルバムへ進みます)

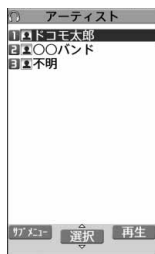
アルバム . . . . . . 全アルバム名を表示します。
聴きたいアルバム名を選択します。「アーティスト」を選んでいた場合、アルバム名の一覧で「全曲」を選択すると、選んだアーティストのすべての曲が表示された曲一覧画面が表示されます。

ジャンル . . . . . . 全ジャンルを表示します。
聴きたいジャンルを選択します。

●現在再生中のプレイリストや前回再生したプレイリストには「★」マークが付いています。
●「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」を選択したときは、種別一覧画面で📷（再生）を押すと、選択している項目に登録している音楽がすべて再生されます。
●曲一覧画面でiα（切替）を押すごとに表示方法を変更します。

種別一覧画面（アーティストの場合）

曲一覧画面

●プレーヤーメニュー画面・種別一覧画面・曲一覧画面で「プレーヤー」が表示されているときは、✉（プレーヤー）を押すと、前回再生した曲または再生中の曲の再生画面が表示されます。
●保存している曲のサイズによってはすべての曲を表示できない場合があります。
●プレビュー画像が表示できないときは、右の画像が表示されます。

ダウンロード未完了

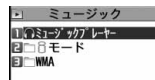
表示不可

画像がない場合など

3 曲を選択

種別一覧やプレイリスト内の曲が、選択した曲から順に再生されます。ミュージックプレーヤー起動中は「 」、バックグラウンド再生中に一時停止状態になった場合は「 」が表示されます。
●現在再生中の曲や前回再生した曲には「★」マークが付いています。
●再生中に✉（曲リスト）またはCLRを押すと、曲一覧画面が表示されます。

フォルダ・音楽データの管理

1 MENU▶データBOX▶ミュージック

ミュージックフォルダ一覧画面

2 項目を選択

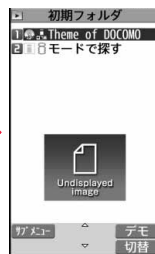
ミュージックプレーヤー. . . . ミュージックプレーヤーが起動します。（P.266参照）
ｉモード . . . . ｉモード（着うたフル®）フォルダ一覧画面が表示されます。フォルダを選択します。
WMA. . . . . .WMA一覧画面が表示されます。

●ｉモード（着うたフル®）フォルダ一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
●着うたフル®一覧画面、WMA一覧画面でiα（切替）を押すごとに表示方法を変更します。
●プレビュー画像が表示できないときなどはP.267参照。

ｉモード（着うたフル®）フォルダ一覧画面

→

着うたフル®一覧画面

●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.196参照。
●WMAファイルには再生できるライセンス（回数・期間・期限）の付いているものがあります。

WMA一覧画面

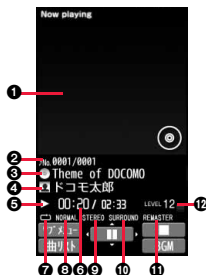
3 着うたフル®またはWMAファイルを選んで[TV](デモ)を押す

選択した曲のみをデモ再生します。

- 他の機能で着うたフル®を選択中に[TV](デモ)を押したり、サブメニューから「再生」を選択して着うたフル®を再生できる場合があります。

■ミュージックプレーヤー使用中の再生画面について

❶…音楽に登録されているジャケット画像
（画像が登録されていない場合は、アニメーションが表示されます。）
❷…曲番号／総曲数
❸…曲名
❹…アーティスト名
❺…再生状態
❻…再生時間／総演奏時間
❼…再生モード
（「ノーマル」の場合は、何も表示されません。）
[→]：1曲終了　[1曲リピート]：1曲リピート
[全曲リピート]：全曲リピート　[ランダム]：ランダム
[ランダムリピート]：ランダムリピート
DEMO：デモ（デモ再生時のみ表示されます。）
❽…イコライザー設定
NORMAL：ノーマル　H.BASS1：H.BASS1　H.BASS2：H.BASS2
TRAIN：トレイン
❾…ステレオ／モノラル種別
STEREO：ステレオ　MONO：モノラル
❿…リスニング設定（「OFF」の場合は、何も表示されません。）
SURROUND：サラウンド　NATUR1：ナチュア1　NATUR2：ナチュア2
⓫…リ．マスター設定（「OFF」の場合は、何も表示されません。）
REMASTER：ON
⓬…音量

Now playing
No.0001/0001
Theme of DOCOMO
ドコモ太郎
00:20/02:33
LEVEL 12
NORMAL STEREO SURROUND REMASTER
サブメニュー
曲リスト
BGM

■ミュージックプレーヤー使用中の操作

操作	ボタン操作
停止	[TV]（■） ●再生するには●（▶）
一時停止	●（❚❚） ●再生するには●（▶）
音量調節	[上下]
次の曲を再生	[右]
前の曲を再生	[左] ●再生時間が3秒以上の場合、前の曲がない場合は頭出し
サーチ（早送り）※	[右]を押し続ける
サーチ（早戻し）※	[左]を押し続ける
一覧画面を表示	[メール]（曲リスト）
バックグラウンド再生	[iα]（BGM）
画像表示・歌詞表示・プレーヤー	2 ●押すごとに「再生画面（ジャケット画像）」→「全画面歌詞画像」→「全画面ジャケット画像」の順に切り替え
次の画像を表示	3
前の画像を表示	1
リ．マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	7 ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「トレイン」の順に切り替え

※ 停止中・一時停止中は操作できません。

- デモ再生時は操作できないものもあります。

ミュージックプレーヤー使用中の再生画面でイヤホンマイク(別売)のスイッチを使って下記の操作ができます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す
次の曲を再生	連続2回押す
前の曲を再生	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合、前の曲がない場合は頭出し

■着うたフル®再生の仕様について

ファイル形式	MP4
コーデック	MPEG-4 AAC
	MPEG-4 AAC+(HE-AAC)
	Enhanced aacPlus
ビットレート	AAC:8～320kbps HE-AAC:8～128kbps
拡張子	3gp

■SDオーディオファイル再生の仕様と保存曲数について

ファイル形式	MPEG-2 AAC、MPEG-2 AAC+SBR
ビットレート	AAC:32～256kbps AAC+SBR:32～128kbps
最大保存可能曲数	999曲
最大プレイリスト数	99件(1件のプレイリストには最大99曲まで登録可能)※

※「全曲リスト」を除く。

■WMAファイル再生の仕様と保存曲数について

ファイル形式	WMA(Windows Media Audio 9 Standard)
ビットレート	32～192kbps
最大保存可能曲数	最大1000曲
最大プレイリスト数	100件(1件のプレイリストには最大250曲まで登録可能)

■曲一覧表示中のアイコンについて

「カメラ／TV／MUSIC→ミュージックプレーヤー」から曲を選択する場合は、以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	FOMA端末に保存
	microSDカードに保存
	SDオーディオファイル形式
	着うたフル®ファイル形式
	WMAファイル形式
	再生制限あり着うたフル®
	再生制限切れ着うたフル®
	再生可能なうた・ホーダイ
	再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイ
	再生不可のうた・ホーダイ
	ファイル制限あり

■着うたフル®一覧表示中のアイコンについて

「データBOX→ミュージック」から着うたフル®を選択する場合は、以下のアイコンが表示されます。

アイコン	音声の形式	種別
	AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus	MP4ファイル
	−	部分保存されている着うたフル®

●着うたフル®、うた・ホーダイによっては、再生できる回数・期限・期間が制限されているものがあり、以下のアイコンが付きます。
・再生制限のあるファイル……………………「 」
・再生制限切れファイル ……………………「 」
・再生可能なうた・ホーダイ…………………「 」
・再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイ…「 」
・NGの着うたフル®、うた・ホーダイ………………「×」
「ミュージック情報」で着うたフル®の再生制限を確認できます。

●着うたフル®はすべてファイル制限ありのファイルになります。ファイル制限についてはP.322参照。

アイコン	取得元
※	サイト

※ 著作権のあるファイルでmicroSDカードに移動可の場合は「 」が表示されます。

お知らせ

●保存している曲数に関わらず、ミュージックプレーヤーで認識できる曲数は、全曲リストの表示順で最大1500曲です。ただし、曲の情報量によっては認識できる曲数は少なくなります。

●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

お知らせ

●以下の操作を行うと、前回再生した音楽の情報は消去されます。
・microSDカードを取り外し／取り付けした場合
・FOMA端末の電源をOFF／ONした場合
・「設定リセット」や「端末初期化」を行った場合
・前回再生した曲を削除した場合
・前回再生したプレイリストを削除した場合
・前回再生した曲がmicroSDカード内の曲で、microSDカードが挿入されていない場合
・「USBモード」を「microSDモード」「MTPモード」に設定してパソコンを接続した場合
・前回再生した曲がプレイリスト以外から再生していた場合で、「ミュージック情報編集」「ミュージック情報初期化」を行った場合、着うたフル®を新たにダウンロード・保存または削除した場合、FOMA端末とmicroSDカード間で移動した場合
・前回再生した曲が再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイの場合
・前回再生した曲がWMAファイルで、WMAライセンスが無効になった場合

●部分保存した着うたフル®はミュージックプレーヤーから操作した場合、表示されません。

●電池残量が少ない状態で音楽を再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中(バックグラウンド再生中も含む)に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

●早送りなどを頻繁に行うと電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。

●以下の場合は、再生が一時停止され、操作終了後に再生を再開します。
・音声電話、テレビ電話の発着信があった場合
・「受信時動作設定」を「通知優先」に設定しているとき、または待受画面を表示しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信した場合
・「アラーム」「スケジュール」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合
また、発生した機能によってはミュージックプレーヤーを終了するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

●前後の曲に切り替わる際、再生期限、再生期間の切れた曲やWMAライセンスが無効になったWMAファイルはスキップされます。また、再生回数が制限されている着うたフル®の場合は、残りの再生回数に関わらず再生するかどうかの確認画面が表示されます。再生回数が終了した曲はスキップされます。

お知らせ

- microSDカード内の空き容量が300Kバイトより少なくなると、WMAファイルが再生できなくなります。WMAファイルを再生するには、microSDカード内の空き容量を確認し、300Kバイト以下であれば不要なファイルを削除してください。

ミュージックフォルダ一覧画面・iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面・プレーヤーメニュー画面のサブメニュー

再生モード変更	再生モードを変更します。
フォルダ追加	フォルダを追加します。 ●FOMA端末内では第2階層まで、合わせて25件まで作成できます。microSDカード内では第7階層までフォルダを作成できます。
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。
フォルダ削除	削除します。
保存先フォルダ選択	着うたフル®をmicroSDカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。7階層までのフォルダに対して設定できます。
保存容量確認	保存容量(目安)/件数を表示します。 ●iα(保存容量)を押しても表示できます。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。

お知らせ

<フォルダ追加>
- 「WMA」フォルダにはユーザフォルダを作成できません。

<フォルダ削除>
- フォルダ内のファイルもすべて削除されます。
- 他の機能に設定していた着うたフル®を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

お知らせ

<保存先フォルダ選択>
- 保存先に設定されたフォルダには「」が表示されます。
- microSDカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

着うたフル®一覧画面・種別一覧画面・曲一覧画面・WMA一覧画面のサブメニュー

プレーヤーメニュー		種別一覧画面または曲一覧画面からプレーヤーメニュー画面を表示します。
再生モード変更		再生モードを変更します。
着信音設定		
	まるごと着信音設定	着うたフル®を1曲そのまま着信音に設定します。
	オススメ着信音設定	着うたフル®の一部分を指定して着信音に設定します。
ミュージック情報		曲名やアーティスト名、再生時間などを表示します。 ●着うたフル®一覧画面でミュージック情報を表示した場合は、サブメニューから「ミュージック情報編集」を選択すると情報内容を編集できます。編集したい情報を選択します。「ミュージック情報初期化」を選択すると、編集した情報を編集前の情報に戻せます。戻したい情報を選択します。
プレイリストへ登録		プレイリストへ登録します。 ●曲は表示されている順に登録されます。 ●新しくプレイリストを作成して登録する場合は、「新規プレイリスト」を選択し、プレイリスト名を入力します。すでにプレイリストが30件登録されている場合は、削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。
フォルダ移動		フォルダ内の着うたフル®を別のフォルダに移動します。

microSDへ移動	microSDカードへ移動します。
本体へ移動	FOMA端末へ移動します。
フォルダ追加	P.271参照
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。
フォルダ削除	削除します。
サイト接続	着うたフル®にURL情報がある場合に、そのURLに接続します。
画像表示	曲に登録されているジャケット画像を表示します。 ●複数のジャケット画像が登録されている場合は、を押すと前または次のジャケット画像を表示できます。 ●画像が保存可能な場合は(保存)を押して保存できます。
保存先フォルダ選択	P.271参照
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
アーティスト削除・アルバム削除・ジャンル削除	削除します。
削除	

お知らせ

＜着信音設定＞

●着信音に設定したうた・ホーダイが再生不可の場合や再生期限切れのため更新が必要になったり、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定された場合は、お買い上げ時の着信音に戻ります。

●着信音に設定できるかどうかを確認するにはP.271「ミュージック情報」参照。

＜プレイリストへ登録＞

●パソコンで作成したプレイリストには曲を追加できません。

＜画像表示＞

●画像によっては正しく表示されない場合があります。

お知らせ

＜アーティスト削除・アルバム削除・ジャンル削除＞＜削除＞

●他の機能に設定していた着うたフル®を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

●WMAプレイリストに登録したWMAファイルを削除すると、WMAプレイリストから解除されます。

●最後のWMAファイルを削除するときや、すべてのWMAファイルを削除するときは、ライセンスファイルもあわせて削除されます。

再生中・一時停止中・停止中のサブメニュー

プレーヤーメニュー		ミュージックプレーヤー使用中の再生画面からプレーヤーメニュー画面を表示します。 ●プレーヤーメニュー画面を表示しても再生状態は継続されます。
再生モード変更		再生モードを変更します。
サウンド効果		
	リ.マスター設定	イヤホンからの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。
	リスニング設定	イヤホンからの音にリスニングの効果を設定します。 ●「サラウンド」に設定していると、自然で立体感のある音にします。「ナチュア1・2」に設定していると、イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。
	イコライザー設定	イヤホンからの音質を変更します。 ●「H.BASS1・2」に設定していると、低音を強調します。「トレイン」に設定していると、音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
ミュージック情報		P.271参照
サイト接続		P.272参照
画像表示・歌詞表示・プレーヤー		再生画面の表示を変更します。
前画像表示・前歌詞表示		前のジャケット画像・歌詞画像を表示します。

次画像表示・次歌詞表示	次のジャケット画像・歌詞画像を表示します。

お知らせ

<サウンド効果>
- イヤホンと接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。

<画像表示・歌詞表示・プレーヤー><前画像表示・前歌詞表示>
<次画像表示・次歌詞表示>
- 着うたフル®はジャケット画像を最大3枚まで、歌詞画像を最大7枚まで表示できます。
  SD-Jukeboxで保存したSDオーディオファイルは、ジャケット画像を最大20枚まで、WMAファイルはファイルに埋め込まれた画像を最大2枚まで表示できます。

プレイリスト

聴きたい曲のリストを作成し、好きな順に音楽を再生します。FOMA端末やWindows Media Playerで作成したプレイリスト、SD-Jukeboxで作成したSDオーディオプレイリストを利用して再生できます。

- 作成可能な最大プレイリスト数とプレイリスト1件あたりに登録可能な曲数は以下のとおりです。

作成元	プレイリスト件数	1件あたりの登録可能曲数
FOMA端末で作成したプレイリスト	最大30（全曲リストを除く）	100
Windows Media Playerで作成したプレイリスト	最大100	250
SD-Jukeboxで作成したSDオーディオプレイリスト	最大99（全曲リストを除く）	99

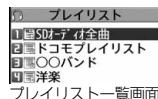
- FOMA端末でプレイリストを作成する場合、FOMA端末、microSDカードに保存した着うたフル®とWindows Media Playerで保存したWMAファイルやSD-Jukeboxで保存したSDオーディオファイルを同じプレイリストに登録できます。

■プレイリスト一覧表示中のアイコンについて

アイコン	種類
[ALL]	SDオーディオ全曲リスト
	FOMAプレイリスト
	SDオーディオプレイリスト
[WMA]	WMAプレイリスト

プレイリスト作成

1 **プレーヤーメニュー画面▶プレイリスト**

プレイリスト
1 SDｵｰﾃﾞｨｵ全曲
2 ドコモプレイリスト
3 ○○バンド
4 洋楽

プレイリスト一覧画面

2 **MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶プレイリスト新規作成▶種別を選択して曲一覧画面を表示▶登録したい曲にチェック▶TV(完了)**

- 曲は表示されている順に登録されます。

3 **プレイリスト名を入力**

お知らせ

- 部分保存した着うたフル®や再生制限切れのファイルはプレイリストに登録できません。

プレイリスト再生

1 プレイリスト一覧画面▶プレイリストを選択▶曲を選択

- プレイリスト一覧画面で[TV](再生)を押すと、選択しているプレイリストの先頭の曲から再生されます。
- プレイリスト一覧画面で「プレーヤー」が表示されているときは、[メール](プレーヤー)を押すと、前回再生した曲または再生中の曲の再生画面が表示されます。
- データBOXの「ミュージック」からフォルダを選択した場合は、プレイリストを再生できません。

プレイリスト曲一覧画面

プレイリスト一覧画面のサブメニュー

プレーヤーメニュー	プレーヤーメニュー画面を表示します。
再生モード変更	再生モードを変更します。
プレイリスト新規作成	P.273参照
プレイリストコピー	プレイリスト名を入力して、コピーします。 ●SDオーディオプレイリストまたはWMAプレイリストをコピーした場合、FOMA端末内にFOMAプレイリストとしてコピーされます。
プレイリスト名編集	FOMAプレイリストの名前を編集します。
追加登録	FOMAプレイリストに曲を追加します。 ●曲は表示されている順で一覧の末尾に登録されます。
プレイリスト削除	FOMAプレイリストを削除します。

お知らせ

<プレイリストコピー>
- 曲が登録されていないWMAプレイリストはコピーできません。

プレイリスト曲一覧画面のサブメニュー

プレーヤーメニュー	プレーヤーメニュー画面を表示します。 ●プレーヤーメニュー画面を表示しても、再生状態は継続されます。
再生モード変更	再生モードを変更します。
ミュージック情報	P.271参照
追加登録	P.274参照
プレイリストから解除	FOMAプレイリストから曲を解除します。
曲順変更	FOMAプレイリストの曲順を変更します。
プレイリストへ登録	P.271参照
画像表示	P.272参照

お知らせ

<プレイリストから解除>
- パソコンで作成したプレイリストからは曲を解除できません。

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリ

ｉアプリとは、ｉモード対応端末用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。
さらに、リアルタイム通信やｉアプリコール(P.284参照)を用いた、多人数でのオンライン通信が可能なｉアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。
また、ｉアプリにはｉウィジェット(P.287参照)対応のものがあります。

- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。(P.434参照)
- ｉアプリの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

ｉアプリのダウンロード

サイトからソフトをFOMA端末にダウンロードします。

1 ｉアプリのダウンロードが可能なサイトを表示▶ソフトを選択

2 ダウンロードが完了したら「OK」を選択

- 保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。
- ダウンロード完了後にソフト設定(待受画面設定、通信設定、位置情報利用、番組表ボタン設定、ｉアプリコール、オートGPS許可)の画面が表示されることがあります。各設定は、ソフト一覧からも設定できます。

3 YES・NO

YES . . . ｉアプリが起動します。
NO . . . . サイト画面に戻ります。

ダウンロードが中断したときは

100Kバイト以上のｉアプリをダウンロード中にCLRや[終話]を押してダウンロードを中断したり、電波状況などによりダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択すると途中までダウンロードしたデータを保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択した場合は部分保存できます。
部分保存した残りのデータはソフト一覧画面やサイトから再ダウンロードできます。

メール連動型ｉアプリをダウンロードしたときは

送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが自動的に作成され、メール連動型ｉアプリのタイトルがフォルダ名になります。

- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリがすでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- 「BOXロック」または「フォルダロック」設定中はメール連動型ｉアプリをダウンロードできない場合があります。
- メール連動型ｉアプリが最大保存件数まで保存されている場合は、削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。また、メール連動型ｉアプリは最大保存件数未満でも、送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが5つある場合、既存のｉアプリメール用フォルダを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリメール用フォルダのみが残っているメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、既存のｉアプリメール用フォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、既存のフォルダを利用します。利用しない場合は「NO」を選択すると、既存のフォルダを削除し、フォルダを新規作成するかどうかの確認画面が表示されます。フォルダを新規作成せずにメール連動型ｉアプリをダウンロードすることはできません。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
  ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

お知らせ

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- ｉアプリのソフトによっては、ダウンロードしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するには、あらかじめ「ソフト設定」の「通信設定」での設定が必要です。
- SSL/TLS対応のページからソフトの情報やソフトをダウンロード中のときは、画面の上に「SSL」が表示されます。
- ダウンロード時に、「携帯電話／ドコモminiUIMカード(FOMAカード)の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／ドコモminiUIMカード(FOMAカード)の製造番号」はインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。
- 異なるドコモminiUIMカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。おサイフケータイ対応ｉアプリの場合、ICカード内のデータも削除する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。ダウンロード終了後、異なるドコモminiUIMカードでダウンロードしたソフトとICカード内のデータは削除されます。
- ソフトによっては、ICカード機能動作中やICカードロック中はダウンロードできない場合があります。
- ダウンロード完了後すぐに起動するソフトによっては、保存できないソフトもあります。
- ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。(ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります。)
  ソフトによってはお客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- 「ｉアプリメール」とは、メール連動型ｉアプリで送信･保存、メール連動型ｉアプリ用として受信したメールのことです。ｉアプリメールは、ｉアプリメール用フォルダに自動的に保存されます。

ソフト情報表示設定

ソフトのダウンロード時にソフト情報を表示できます。

1 **MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ソフト情報表示設定▶表示する･表示しない**

- 「ソフト情報表示設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

ｉアプリの起動･実行

1 **iα(1秒以上)▶起動したいソフトを選択**

- ソフト一覧画面では、ｉアプリの種類や対応している機能がアイコンで表示されます。
  - :GPS対応ｉアプリ
  - :おサイフケータイ対応ｉアプリ
  - :iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータ
  - :microSDカード対応ｉアプリ
  - :縦全画面表示対応ｉアプリ
  - :横表示対応ｉアプリ(全画面非対応)
  - :横全画面表示対応ｉアプリ
  - :オートGPS対応ｉアプリ
  - :ｉアプリDX
  - :メール連動型ｉアプリ
  - :部分保存しているｉアプリ
  - :自動起動に設定中
  - :ｉアプリ待受画面に設定中
  - :自動起動とｉアプリ待受画面の両方に設定中
  - :ｉアプリ待受画面に設定可能
  - :SSL/TLSページからダウンロード済み
  - :ICアプリが未設定のｉアプリ
  - :ダウンロードする必要のあるｉアプリ
  - :異なるドコモminiUIMカードでダウンロード／バージョンアップされているｉアプリ

ソフト一覧画面

●microSDカード内のソフト一覧画面を表示するには、「MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ(microSD)▶ソフト一覧(microSD)」の操作を行います。
●FOMA端末内のソフト一覧画面で(表示切替)を押すごとに表示方法を変更します。
●ｉアプリDXの起動時や実行中に、FOMA端末内の情報や機能を利用する旨の確認画面が表示される場合があります。
●おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動した際は、ドコモminiUIMカードとICカードの対応付けを行うかどうかの確認画面が表示されます。対応付けを行ったドコモminiUIMカード情報は、ICオーナー情報としてICカードに登録されます。
●「DL」が表示されているｉアプリは、初めて利用するときのみダウンロードする必要があります。ダウンロードには、別途パケット通信料がかかるものもあります。ダウンロードする前に、表示される説明内容をよくお読みください。
●ｉアプリ実行中は「」や「」が表示されます。
●ｉアプリを終了するにはCLRを1秒以上または を押します。
●最後に起動したソフトが最上段に表示されます。ソフトの並び順は手動で変更できません。
●「ICカード一覧へ」を選択すると、おサイフケータイ対応ｉアプリの一覧が表示されます。元に戻すには「ソフト一覧へ」を選択します。
●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.196参照。

お知らせ

●ソフトから他のソフトを起動できるときは確認画面が表示されます。起動するソフトが指定されていない場合はソフトを選択します。
●ｉアプリDXを起動するには、あらかじめ「メイン時計設定」で日付･時刻を設定しておいてください。
●ソフトを実行中に、通信設定が必要な場合があります。
●ｉアプリ実行中に一定時間内の通信回数が極端に多い場合は、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
●ソフトによっては、2in1のモードがBモードまたはデュアルモードのときに利用できないことがあります。
●ソフトによっては、ｉアプリからWeb To 機能やPhone To／AV Phone To 機能なども利用できます。ただし、機能によってはｉアプリ待受画面として実行している場合利用できません。
●ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は通常の画像と一緒には保存されず、ｉアプリの一部として保存、利用されます。

お知らせ

●ｉアプリからカメラを起動した場合、ｉアプリによっては、フレームの設定や画質などを設定できることがあります。
●ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
※ｉアプリで利用する画像とは
･カメラ連携(連動)アプリからカメラを起動して撮影した画像
･ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像
･サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像
･ｉアプリがデータBOXから取得した画像
●メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。
●ｉアプリによっては、ｉアプリ上で使用している各種情報をｉアプリ終了時に保存することがありますが、ｉアプリ実行中に電池切れアラームが鳴ったり、電池パックを外した場合は、各種情報が保存されないことがあります。電池残量が少ないときは、 を押すか各ソフトの操作に従ってｉアプリを終了してください。
●ソフトによっては、データBOXにデータを保存するものがあります。ソフトが保存したデータの容量は「ソフト情報」で確認できます。ソフトを削除すると、そのソフトが保存したデータBOXのデータも削除されます。
●ソフトによっては、microSDカードにデータを保存できるものもありますが、他の機種では利用できないことがあります。microSDカードを利用するソフトは「ｉアプリ使用データ」で確認できます。
●ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなります。削除やソフト情報の表示などは可能です。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP(情報サービス提供者)にお問い合わせください。
●ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
●IP(情報サービス提供者)がソフトに対し、停止･再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、「」が表示されます。この際、通信料はかかりません。
●ソフトによっては、ｉアプリ上でマイメニューの登録や削除ができるものがあります。

お知らせ

- ソフトによっては、iアプリから着うたフル®をダウンロードすることができるものがあります。取得した着うたフル®は、通常の着うたフル®と同じ場所に保存できます。
- iアプリ作成者の方へ
  ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報表示が参考になる場合があります。
  トレース情報の確認方法は、P.279「トレース情報」をご覧ください。

バーコードリーダーを利用する

ソフトによってはカメラを利用してJANコード、QRコードを読み取れます。
iアプリ起動中にバーコードリーダーを起動させる操作を行うと、カメラ(バーコードリーダー)が起動します。読み取りたいバーコードをガイド枠に合わせて撮影します。

- 読み取ったデータはiアプリで利用･保存されます。

トレース情報

ソフトに異常があった場合に、その内容を確認できます。

1 **MENU▶iアプリ▶iアプリ実行情報▶トレース情報**

- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- トレース情報の画面で「サブメニュー」が表示されているときは、サブメニューから「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択すると情報を削除します。「microSDへ保存」を選択すると情報をmicroSDカードへ保存します。

セキュリティエラー履歴

セキュリティエラーによりiアプリが終了した場合に、その内容を確認できます。

1 **MENU▶iアプリ▶iアプリ実行情報▶セキュリティエラー履歴**

- セキュリティエラー履歴の画面で「サブメニュー」が表示されているときは、サブメニューから「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択すると情報を削除します。
- iアプリ待受画面実行中にセキュリティエラー履歴が作成された場合、デスクトップに「アプリ」が表示されます。「アプリ」を選択してもセキュリティエラー履歴が表示されます。

ソフト一覧画面のサブメニュー

iアプリ To 設定	サイトやメールの中のリンクからiアプリの起動を許可するかどうかを設定します。また、ICカード機能対応読み取り機にFOMA端末をかざしたときなどについても設定できます。ソフトごとに設定できます。
自動起動時刻設定	P.283参照
ソフト設定	
待受画面設定	P.285参照
通信設定	iアプリ実行中に通信するかどうかを設定します。
待受画面通信	P.286参照
アイコン情報	iアプリがiモードメール、SMS、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内／圏外アイコンの情報を利用するかどうかを設定します。
着信音／画像変更	iアプリが着信音･待受画面などの設定を変更するかどうかを設定します。iアプリDXにのみ設定できます。 ●「変更ごとに確認」を選択した場合は、iアプリから着信音･待受画面などの設定を変更しようとするたびに確認画面が表示されます。

	電話帳／履歴参照	ｉアプリが電話帳･リダイヤル･着信履歴の参照をするかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。
	トルカ参照	ｉアプリがトルカの参照をするかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。
	位置情報利用	ｉアプリが位置情報を利用するかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。
	番組表ボタン設定	ワンセグから起動する番組表ｉアプリに設定します。ワンセグと連携機能があるｉアプリDXにのみ設定できます。
	地図設定	GPS機能で使用するｉアプリに設定します。GPS対応のｉアプリDXにのみ設定できます。
	ｉアプリコール	P.285参照
	オートGPS許可	ｉアプリごとにオートGPS機能を利用することを許可するかどうかを設定します。GPS対応のｉアプリDXにのみ設定できます。
ソフト情報		ｉアプリのソフト名、バージョンなどを表示します。
バージョンアップ		バージョンをアップします。
ショートカット作成		ショートカットを作成します。
microSDへ移動		microSDカードへ移動します。
削除		削除します。
本体へ移動		FOMA端末へ移動します。

お知らせ

<アイコン情報>

- ｉアプリ待受画面の「アイコン情報」を「利用する」に設定すると、未読のメール･メッセージ、電池残量、マナーモード、電波受信レベル、圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話／ドコモminiUIMカード(FOMAカード)の製造番号と同様にインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- アイコン情報が必要なソフトの場合、「利用しない」に設定すると動作しない場合があります。

お知らせ

<バージョンアップ>

- ソフトによっては、起動時にバージョンアップできるものもあります。
- バージョンアップ時に、「携帯電話／ドコモminiUIMカード(FOMAカード)の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとバージョンアップが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／ドコモminiUIMカード(FOMAカード)の製造番号」はインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。
- 以下の場合は、メール連動型ｉアプリをバージョンアップできません。
  - ･対応するｉアプリメール用フォルダの詳細を表示中
  - ･BOXロック設定中
  - ･対応するｉアプリメール用フォルダにフォルダロックが設定されているとき

メール連動型ｉアプリを削除するときは

ｉアプリメール用フォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。

フォルダを残した場合、送信／受信メール一覧からメール本文を確認できます。

YES . . . . . ソフト･ｉアプリメール用フォルダとも削除します。

NO . . . . . . ソフトのみ削除して、ｉアプリメール用フォルダは残します。

Cancel . . . ソフト･ｉアプリメール用フォルダとも削除せず元の画面に戻ります。

- 以下の場合は、「YES」を選択してもソフト、ｉアプリメール用フォルダともに削除できません。
  - ･BOXロック設定中
  - ･フォルダにフォルダロックが設定されているとき
  - ･フォルダの詳細を表示中
  - ･フォルダに保護メールが含まれているとき

microSDカード内にデータがあるｉアプリを削除するときは

microSDカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されます。

YES . . . . . ソフト･microSDカード内のデータとも削除します。

NO . . . . . . ソフトのみ削除して、microSDカード内のデータは残します。

Cancel . . . ソフト･microSDカード内のデータとも削除せず元の画面に戻ります。

おサイフケータイ対応ｉアプリを削除するときは

ICカード内のデータも削除する旨の確認画面が表示されます。
●「iD 設定アプリ」は削除できません。
●ICカード機能動作中やICカードロック中は削除できない場合があります。
●おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、お客様がソフトを起動してICカード内のデータを削除しないと、ソフトを削除できないものがあります。

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

お買い上げ時には以下のｉアプリが登録されています。

●お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除できます。削除したｉアプリは「P-SQUARE」のサイト(P.276参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるドコモminiUIMカードを使用中は、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。
●再ダウンロードサービス期限
・「リバーシ」：2015年9月末日
・「ハイパー四川省」：2015年9月末日
・「モバイルGoogleマップ」：2014年10月末日
●再ダウンロードサービスは、期限内であっても予告なく休止または終了する場合があります。

アプリ名	課金			
	初回起動時	通常利用時	体験版→有料版へのアップデート	海外利用時
リバーシ	－	－	－	－
ハイパー四川省	－	－	－	－
モバイルGoogleマップ	－	○※1	－	－
ミスタードリラー 体験版	－	－	○※2	－
太鼓の達人 体験版	－	－※3	○※2	－
MUSICアプリ	○※4	○※1	－	－
DCMXクレジットアプリ	－	○※1	－	○※5
iD 設定アプリ	－	○※1	－	○※5
ドコモwebメール	－	○※1	－	○※5
E★エブリスタアプリ	○※4	○※1	－	－
Gガイド番組表リモコン	○※4	○※1	－	○※5
iCタグリーダー	○※4	○※1	－	－
モバイルSuica登録用ｉアプリ	－	○※1	－	－
iC通信アプリ	○※4	○※1	－	－
おサイフケータイWebプラグイン	－	○※1	－	－
地図アプリ	○※4	○※1	－	○※5
マクドナルド トクするアプリ	○※4	○※1	－	－
楽オク☆アプリ	○※4	○※1	－	－
ｉアプリバンキング	○※4	○※1	－	－
今の為替と株価	○※4	○※1	－	－
Twitter	○※4	○※1	－	－
ｉBodymo	－	○※1※6	－	○※5
お天気アプリ	○※4	○※1	○※2	－
ドコモ料金案内	－	－	－	○※5
いつもNAVI[海外]	○※4※7	○※1※8	－	－
FOMA通信環境確認アプリ	－	－	－	○※5
電子マネー「nanaco」	○※7	○※1	－	－

アプリ名	課金			
	初回起動時	通常利用時	体験版→有料版へのアップデート	海外利用時
ゴールドポイントカード	○※7	○※1	－	－
ビックポイント機能付きケータイ	○※7	○※1	－	－
ANAモバイルAMCアプリ	○※7	○※1	－	－

※1 ご利用時には別途パケット通信料がかかります。海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
※2 有料版のダウンロード時には、別途パケット通信料がかかります。海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
有料版のご利用時にはマイメニュー登録が必要です。
※3 メニューによってはパケット通信料がかかります。海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
※4 初回起動時にはパケット通信料がかかります。
※5 海外でのご利用は有料となります。
※6 お申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはｉモードの契約が必要です)。
※7 初めてご利用される際にはｉアプリをダウンロードする必要があります。
ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
※8 有料会員登録いただくと、アプリの詳細機能をご利用いただけます。

ｉアプリ設定

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶以下の操作を行う

●選択している項目のショートカットを作成できます。(P.40参照)

自動起動設定	P.283参照
ソフト情報表示設定	P.277参照
ｉウィジェット海外利用設定	P.288参照
ｉウィジェット効果音設定	P.289参照
オートGPS優先設定	ｉアプリ起動中もオートGPSを動作させるかどうかを設定します。
ｉアプリコール機能設定	
ｉアプリコールダウンロード設定	P.285参照
ｉアプリコール音設定	P.285参照
ｉアプリ音量設定	ｉアプリ起動中の音量を設定します。
ｉアプリ音優先設定	ミュージック再生中やワンセグ起動中にｉアプリを起動した際に、音声の出力をミュージック／ワンセグ優先にするかｉアプリ優先にするかを設定します。
α照明設定	ｉアプリ起動中のディスプレイの点灯のしかたを設定します。 ●「システム依存」に設定していると、「照明設定」に従います。
αバイブレータ	ｉアプリ起動中のバイブレータの振動のしかたを設定します。 ●「システム依存」に設定していると、「バイブレータ設定」の設定に関わらず動作しません。ソフトによっては動作する場合があります。

ｉアプリ設定確認	「ｉアプリ設定」の各設定内容を確認します。

お知らせ

＜α照明設定＞＜αバイブレータ＞
- ソフトによってはディスプレイの明るさ、バイブレータの設定が「OFF」になっているものがあります。「ソフト依存」で実行するとそれらは動作しないので、動作させたいときは、「システム依存」に設定してください。

ｉアプリの自動起動

設定した日時に自動的にｉアプリを起動します。自動起動時刻設定で起動する日時を設定します。

自動起動設定

ｉアプリの自動起動を許可するかどうかを設定します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶自動起動設定▶許可する・許可しない
- 「自動起動設定」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

自動起動時刻設定

自動起動する日時を設定します。3件まで設定できます。

1 ソフト一覧画面▶MENU（サブメニュー）▶自動起動時刻設定

2 設定したい項目にチェック▶TV（完了）

時間間隔設定. . . ソフトに設定された間隔で起動します。設定が終了します。

起動時刻設定. . . 設定した時刻に自動的に起動します。

3 起動時刻を選択▶設定する日付・時刻を入力

4 繰り返しなし▶繰り返しの種類を選択
- 「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けてTV（完了）を押します。

5 TV（完了）を押す

自動起動情報

ソフトが正しく自動起動したかどうかを確認します。また、ICカードからの起動に失敗した場合の情報も確認できます。自動起動情報は3件まで、ｉアプリから設定された自動起動は1件、ICカードからの起動に失敗した場合の情報は1件記憶されます。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶自動起動情報

起動○ . . . 正常に自動起動しました。

起動× . . . 自動起動しませんでした。「起動」が表示されている場合は、●（起動）を押してソフトを起動できます。

未起動 . . . まだ自動起動していません。
- 自動起動ができなかった場合、デスクトップに「ソフト」が表示されます。「ソフト」を選択しても、自動起動情報が表示されます。

お知らせ

- 次の場合、ソフトは自動起動しません。
  - ・FOMA端末の電源がOFFの場合
  - ・日付・時刻が設定されていない場合
  - ・他の機能が起動中の場合
  - ・ダイヤルロック中
  - ・「オリジナルロック」で「ｉアプリ」をロック中
  - ・アニメーション、Flash画像再生中
  - ・「ソフトウェア更新」の予約時刻、「アラーム」「スケジュール」「視聴予約」「録画予約」のアラームの設定時刻と同じ時刻の場合
  - ・同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分以内の起動時刻が設定されていた場合

ｉアプリコール

ｉアプリコールとは離れた場所にいる友達をｉアプリ上で呼び出し、ネットワーク対戦や情報を共有したりできる機能です。

- ｉアプリコールは友達から直接呼び出される場合と、IP（情報サービス提供者）から呼び出される場合の2通りあります。
- ｉアプリコールの受信を一括拒否することもできます。
  詳細は「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA編>）」をご覧ください。

ｉアプリコール送信

1 ｉアプリコール対応ｉアプリを起動中▶ｉアプリコールの操作を行う▶YES

- ｉアプリによって操作は異なります。

ｉアプリコール受信

ｉアプリコールを受信すると、ｉアプリコール受信音が鳴り、ｉアプリコールに応答するかどうかの確認画面が表示されます。

1 ｉアプリコールの確認画面が表示される▶項目を選択

応答 . . . ｉアプリコールに応答します。対象のｉアプリが起動します。
拒否 . . . ｉアプリコールに応答しません。
保留 . . . ｉアプリコールを一旦保留します。画面上部に「」が表示され、デスクトップに「」が表示されます。◉を押し、「」を選択すると、ｉアプリコール履歴が表示されます。

- ｉアプリコールによっては確認画面を表示せずに直接ｉアプリを起動させるものもあります。
- ｉアプリコールに応答するとパケット通信料がかかる場合があります。
- 待受画面以外を表示中は、「」でのみお知らせします。
- すでに呼び出し対象のｉアプリを起動中の場合の操作は、ｉアプリによって異なります。

対象となるｉアプリがFOMA端末になかったときは

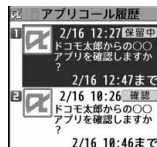
対象となるｉアプリをダウンロードするかどうかの確認画面やサイトに接続するかどうかの確認画面が表示される場合があります。ダウンロードしたり、サイトに接続したりするときは「YES」を選択します。「NO」を選択すると待受画面に戻りますが、この場合、ｉアプリコール履歴は「確認」になります。

ｉアプリコール履歴

ｉアプリコールを受信すると、ｉアプリコール履歴に30件まで記憶され、相手への返信状況を確認できます。

- 30件を超えると古い履歴から自動的に削除されますが、保留中のｉアプリコールの履歴は削除されません。（30件すべてが保留中の場合は削除されます。）

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリコール履歴

：ｉアプリのダウンロードが可能なｉアプリコール

- 履歴を選択すると対象のｉアプリを起動したり、保留中のｉアプリコールに応答したりできます。ただし、期限切れの履歴からはｉアプリを起動できません。
- サブメニューからｉアプリコール履歴を削除できます。

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリコール設定

ソフト設定（ｉアプリコール）

ｉアプリごとに、ｉアプリコールからの起動を許可するかどうかを設定します。ｉアプリコール対応のｉアプリDXにのみ設定できます。「設定しない」に設定すると、設定したｉアプリに対するｉアプリコールは受信できません。

1 ソフト一覧画面▶MENU（サブメニュー）▶ソフト設定▶ｉアプリコール▶項目を選択▶TV（完了）

設定する．．．．．ｉアプリコールからの起動を許可します。
設定しない．．．ｉアプリコールからの起動ができません。
●「設定しない」に設定しても、ｉアプリによっては有効にならない場合があります。

ｉアプリコールダウンロード設定

ｉアプリコールの対象となるｉアプリがない場合のｉアプリのダウンロード通知を拒否するかどうかを設定します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ｉアプリコール機能設定▶ｉアプリコールダウンロード設定▶拒否する・拒否しない

ｉアプリコール音設定

ｉアプリコールを受信したときの動作について設定します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ｉアプリコール機能設定▶ｉアプリコール音設定▶以下の操作を行う

着信鳴動音選択	受信音を設定します。
鳴動時間設定	受信音の鳴動時間を設定します。
バイブレータ選択	バイブレータを設定します。 ●「メロディ連動」を選択するとメロディに合わせて振動します。
イルミネーション選択	イルミネーションを設定します。

ｉアプリ待受画面

ソフト設定（待受画面設定）

ｉアプリを待受画面に設定します。一度設定すると、待受画面を表示するたびに自動的にｉアプリ待受画面が表示されます。

1 ソフト一覧画面▶MENU（サブメニュー）▶ソフト設定▶待受画面設定▶設定する・設定しない▶TV（完了）

待受画面に設定すると「□」が表示されます。
ｉアプリ待受画面実行中は「□」や「□」が表示されます。

ｉアプリ待受画面実行中に通常のｉアプリとして操作するには

ｉアプリ待受画面でCLRを押します。
「□」や「□」が「□」や「□」の点滅に変わり、通常のｉアプリとして操作できます。
●ｉアプリ待受画面に戻る場合は、CLRを1秒以上押すか、☎を押して「終了する」を選択します。「解除する」を選択するとｉアプリ待受画面が解除されます。

お知らせ

●ｉアプリ待受画面を実行した状態でFOMA端末の電源を切った場合、次回電源を入れたときにｉアプリを起動するかどうかの確認画面が表示されます。
●ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1つのみです。
●ｉアプリによっては、待受画面に設定できないものがあります。
●ソフトによっては、ｉアプリ待受画面設定中にボタン操作により通常のｉアプリの状態からｉアプリ待受画面の状態に戻せるものもあります。ただし、他のメニュー機能が起動中はｉアプリ待受画面の状態に戻せません。

お知らせ

- 「ソフト設定」の「待受画面通信」を「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- ｉアプリ待受画面からはWeb To 機能やPhone To／AV Phone To 機能などは利用できません。
- ネットワークに接続するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- メニュー機能の起動中に待受画面を表示したときには、ｉアプリ待受画面を設定していても「待受画面設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面を実行中にｉアプリの通信回数が一定時間内で極端に多い場合は、確認を行う旨の画面が表示されます。CLRを押すと、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面表示中にダイヤルロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了し、「待受画面設定」の「待受画面」で設定した画像が表示されます。ロックを解除すると、ｉアプリ待受画面が再表示されます。

ソフト設定(待受画面通信)

ｉアプリ待受画面実行中の通信を許可するかどうかを設定します。

1 ソフト一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶ソフト設定▶待受画面通信▶通信する・通信しない▶TV(完了)

待受画面終了

実行中のｉアプリ待受画面を一時的に終了します。また、ｉアプリ待受画面を解除します。

1 MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶待受画面設定▶待受画面▶ｉアプリ待受画面終了▶終了・設定解除

- 「設定解除」を選択した場合は「YES」を選択します。

待受画面終了情報

ｉアプリ待受画面が正しく終了しなかった場合に、その日時と理由を確認します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶待受画面終了情報

- 待受画面終了情報の画面で「サブメニュー」が表示されているときは、サブメニューから「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択すると情報を削除します。

ｉアプリ使用データ

ｉアプリによってはmicroSDカード内にデータを保存できるものがあります。
microSDカード内に保存されているｉアプリ使用データを表示します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ(microSD)▶ｉアプリ使用データ

ｉアプリ使用データ表示中のサブメニュー

フォルダ情報	選択したフォルダを利用するソフトやフォルダの利用可／不可、利用不可の場合の原因を表示します。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のデータを削除します。

ｉウィジェット

ｉウィジェットとは電卓・時計や、メモ帳、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）に簡単にアクセスすることができる便利な機能です。
ｉウィジェット画面には複数のウィジェットアプリ（最大8個）を貼り付けることができ、ｉウィジェット画面を表示するだけで、複数のアプリを一度に楽しむことができます。
さらに使いたいウィジェットアプリを選択すれば、より詳細な情報を取得することもできます。
ウィジェットアプリはサイトからダウンロードすることにより、追加することが可能です。

- ●ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- ●詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかります。
- ●ｉウィジェットの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。
- ●海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。（P.434参照）

■ウィジェットアプリ一覧

地図アプリ	P.281参照
マクドナルド トクするアプリ	P.281参照
楽オク☆アプリ	P.281参照
ｉアプリバンキング	P.281参照
今の為替と株価	P.281参照

ｉウィジェットの利用

ｉウィジェットの起動

ｉウィジェットを起動すると、複数のウィジェットアプリを同時に起動できます。複数起動したウィジェットアプリは、ｉウィジェット画面上で同時に表示できます。

1 を1秒以上押す

ｉウィジェットが起動します。
すでにウィジェットアプリを起動している場合は、ｉウィジェット画面が表示されます。ウィジェットアプリを1件も起動していない場合は、ウィジェットアプリ一覧画面が表示されます。

- ●ソフト一覧画面でウィジェットアプリを選択しても、ｉウィジェットが起動します。

お知らせ

- ●ｉウィジェットで同時に起動、表示できるウィジェットアプリは最大8件までです。ウィジェットアプリを8件起動した状態で、表示するウィジェットアプリを変更したい場合は、使用しないウィジェットアプリを終了してから、ウィジェットアプリ一覧画面から起動してください。ウィジェットアプリの終了についてはP.289参照。
- ●ウィジェットアプリ一覧画面・ｉウィジェット画面で約3分間何も操作しなかった場合は、自動的に待受画面に戻ります。ウィジェットアプリ操作画面では、自動的に待受画面に戻りません。
- ●お買い上げ時に登録されているウィジェットアプリを起動中にｉウィジェットを終了して、ドコモminiUIMカードを差し替えたり、端末初期化を行ったりしても、ウィジェットアプリは終了せずに、ｉウィジェット上で起動した状態のままとなります。

ｉウィジェットの表示と操作

ウィジェットアプリ一覧画面　ｉウィジェット画面　ウィジェットアプリ操作画面

❶ウィジェットアプリ表示部
ウィジェットアプリ一覧画面ではすべてのウィジェットアプリが表示され、起動中のウィジェットアプリには「ACTIVE」と表示されます。
ｉウィジェット画面･ウィジェットアプリ操作画面では、それぞれのアプリが起動した状態で表示されます。

- α：ウィジェットアプリ
- dx：ｉアプリDXに対応したウィジェットアプリ
- ⇄：通信を行うウィジェットアプリ
- GPS：GPS対応のウィジェットアプリ
- iC：おサイフケータイ対応ウィジェットアプリ
- 鍵：SSL/TLSページからダウンロード済み

❷ナビゲーション表示部
ボタン操作に対応したナビゲーションが表示されます。

ｉウィジェットのシャッフル

ｉウィジェット画面でのウィジェットアプリの表示位置を変更します。自動で変更されるため、任意で位置を決めることはできません。

1 **ｉウィジェット画面▶📷(シャッフル)**

ｉウィジェットの終了

ｉウィジェットを終了し、待受画面に戻ります。

1 **ウィジェットアプリ一覧画面･ｉウィジェット画面･ウィジェットアプリ操作画面▶**

- ｉウィジェット画面でCLRまたは✉(戻る)を押しても待受画面に戻ります。
- ウィジェットアプリ操作画面の場合、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

ｉウィジェット設定

ｉウィジェット海外利用設定

海外での利用時に、ｉウィジェットによる通信を行うかどうかを設定します。

1 **MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ｉウィジェット海外利用設定▶通信する･通信しない**

- 「ｉウィジェット海外利用設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

ｉウィジェット効果音設定

ｉウィジェット起動時に効果音を鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ｉウィジェット効果音設定▶ON･OFF

●「ｉウィジェット効果音設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

● ｉウィジェット起動時の効果音は、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「ステップ」に設定しているときはレベル2で鳴ります。

ウィジェットアプリの起動

1 ウィジェットアプリ一覧画面▶起動したいウィジェットアプリを選択

ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。

●ソフト一覧画面でウィジェットアプリを選択しても起動できます。

●すでに起動中のウィジェットアプリを選択しても、ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。

●ウィジェットアプリ操作画面でCLRまたは✉(戻る)を押すと、ｉウィジェット画面が表示されます。

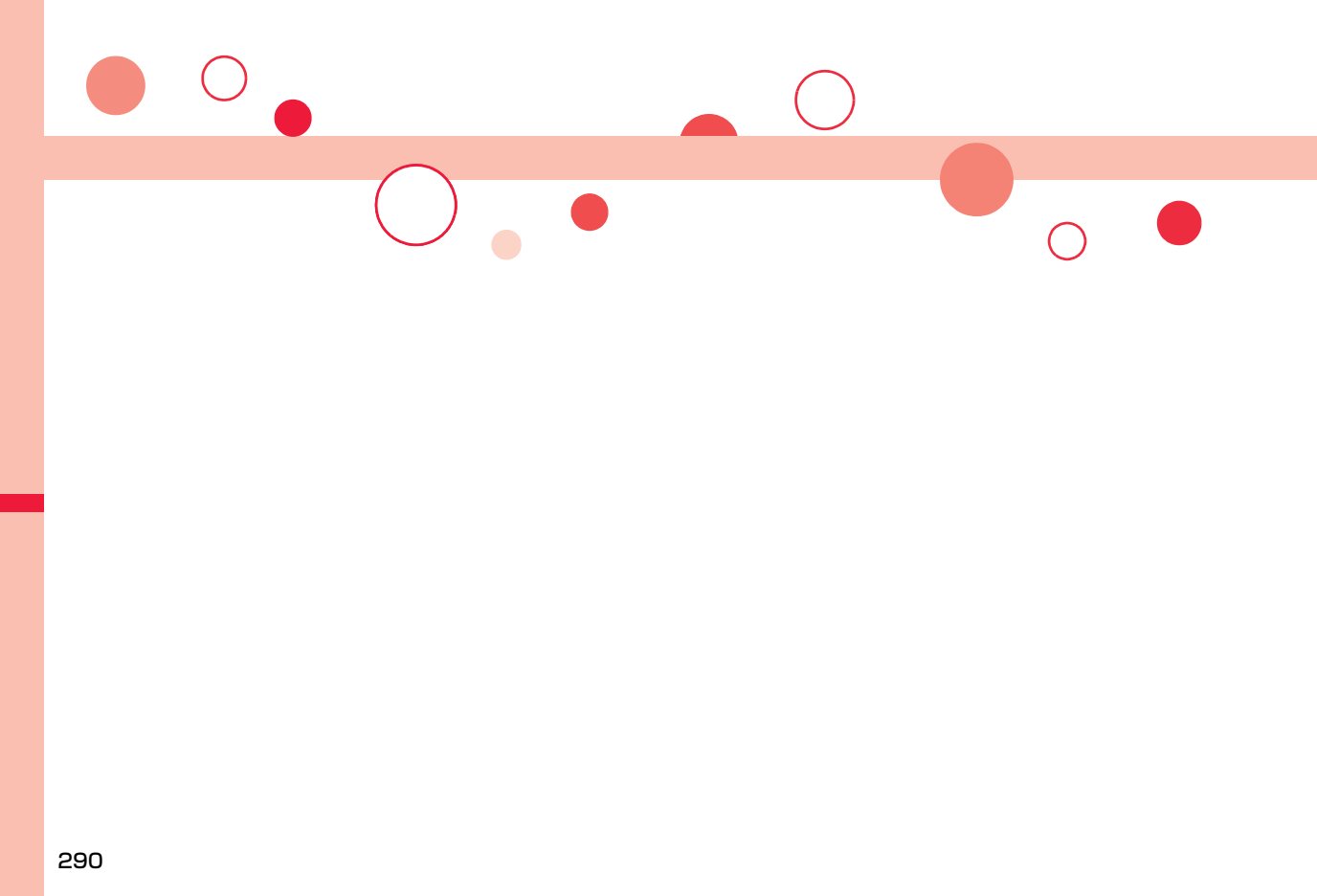
ウィジェットアプリの終了

1 ｉウィジェット画面･ウィジェットアプリ操作画面▶終了したいウィジェットアプリを選んでｉα(アプリ終了)▶YES

ウィジェットアプリ終了情報

ウィジェットアプリが正しく終了しなかった場合に、その日時と理由を確認できます。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶ウィジェットアプリ終了情報

●ウィジェットアプリ終了情報の画面で「ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ」が表示されているときは、サブメニューから「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択すると情報を削除します。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ※1も充実しています。
おサイフケータイの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※2よりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードして設定を行う場合と、おサイフケータイ対応サイト※2上で設定を行う場合があります。
  ※1 おまかせロック、ICカードロックをご利用いただけます。（P.117、P.294参照）
  ※2 ｉMenu→メニューリスト→【生活情報】おサイフケータイ
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。
ICカード内データを移し替えたあとは、引き続きおサイフケータイ対応サービスがご利用になれます※。iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

※チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を確認したりする際は、おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードが必要になる場合があります。

おサイフケータイの利用

おサイフケータイ対応サイトまたはおサイフケータイ対応ｉアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーをチャージ（入金）したり、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動する際やダウンロードする際は、「UIM（FOMA）カード情報とICカードの対応付けを行いますか？」と表示されます。「YES」を選択すると、それ以降は対応付けされたドコモminiUIMカードを挿入していないとICカード機能を利用することはできません。
  なお、別のドコモminiUIMカードに差し替えてご利用になる場合は、「ICオーナー変更」でICカード内の情報をすべて削除し、「iD 設定アプリ」以外のおサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとICカード機能を利用することはできません。
- 「おサイフケータイ Webプラグイン」に対応したおサイフケータイ対応サービスは、ｉモードサイトからチャージや利用履歴の確認などのサービスを利用することができます。

1 おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする

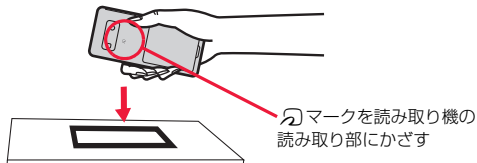
- サイトからｉアプリをダウンロードするには、P.276参照。
- 「おサイフケータイ Webプラグイン」に対応したサイトの場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードは不要です。

2 おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してサービスの初期設定を行う

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードして設定を行う場合と、おサイフケータイ対応サイト上で設定を行う場合があります。画面の指示に従って設定後、チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を携帯電話で確認したりできます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリをICカード一覧から起動するには、「MENU▶おサイフケータイ▶ICカード一覧」の操作を行います。
- 「おサイフケータイ Webプラグイン」を利用して登録したおサイフケータイ対応サービスはICカード一覧の「オンラインサービス一覧」に表示されます。
- ソフト一覧から起動するには、P.277参照。

3 マークを読み取り機にかざす

- FOMA端末の マークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。
- 通話中やｉモード接続中でも、 マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけます。

お知らせ

- おサイフケータイご利用時は、電池パックを装着してください。また、電源が入っていないときや電池が消耗してからも マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけますが、おサイフケータイ対応ｉアプリは起動できません。ただし、電池パックを長期間利用しなかったり、電池切れアラームが鳴ったあとで充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。
- FOMA端末の マークを読み取り機にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 読み取り機にかざすと、おサイフケータイ対応ｉアプリが起動する場合があります。
- 「おサイフケータイ Webプラグイン」に対応したサイトのチャージやクーポン書き込みページをBookmark登録しても、Bookmarkからアクセスするとご利用いただけない場合があります。
- 以下の場合は、ソフトからICカード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  - ・ｉアプリ起動中に電話がかかってきた場合
  - ・電池が切れた場合

ICカード利用状況

ICカードに書き込まれたおサイフケータイ対応サービスの一覧と、サービスごとのメモリ使用容量、および全体メモリ容量を確認できます。

1 MENU▶おサイフケータイ▶ICカード利用状況

- ICカードのメモリがいっぱいになり、新規のサービス利用ができなくなった場合は、各サービスの使用容量を確認し不要なサービスを削除してください。
- 「その他のサービスを見る」を選択すると、利用したいサービスの使用メモリの容量を確認できます。

ICオーナー確認

ICカードを利用する際に求められるICオーナー情報が、現在挿入されているドコモminiUIMカードの情報と一致しているかどうかを確認します。

1 MENU▶おサイフケータイ▶ICオーナー確認

- 登録されているドコモminiUIMカードとは異なるドコモminiUIMカードの場合は、●(変更)を押してICカード内のデータを初期化すると、新たにドコモminiUIMカード情報を登録できます。

ICオーナー変更

ICカード内のデータを削除してICオーナー情報を初期化します。初期化すると、現在挿入しているドコモminiUIMカードで新たに登録し直せます。

- ICオーナー情報を初期化する際は、「オンラインサービス一覧」と「iD 設定アプリ」以外のおサイフケータイ対応ｉアプリを削除します。ただし、使用状況によっては削除されないことがあるため、個別に削除する必要があります。

1 MENU▶おサイフケータイ▶ICオーナー変更▶初期化▶YES▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

ICカードロック

他人に無断でICカード機能を使用されるのを防ぐために、おサイフケータイやトルカ取得、iC通信などを使用できないようにします。

- ICカードロックを設定しているときに電池が切れた場合、ICカードロックは保持されます。

1 ③を1秒以上押す

「IC」が表示され、ICカードロックが設定されます。

- ICカードロックを解除するには、同様の操作を行い、端末暗証番号を入力します。「開きロック解除設定」を有効にしている場合は、FOMA端末を開いてもICカードロック解除の画面が表示されます。

電源OFF時ICロック設定

電源を切っているときにICカードロックをかけるかどうかを設定します。

1 MENU▶おサイフケータイ▶ICカードロック設定

- 「MENU▶本体設定▶ロック･セキュリティ▶ICカードロック設定」の操作を行っても「電源OFF時ICロック設定」を設定できます。

2 端末暗証番号を入力▶電源OFF時ICロック設定▶項目を選択

直前の状態を保持. . . . . 電源を切る直前のICカードロックの設定に従います。

ICカードロックON . . . ICカードロックを設定します。

ICカード通知設定

ICカード利用時にイルミネーションやバイブレータの動作で知らせるかどうかを設定します。

1 MENU▶おサイフケータイ▶設定▶ICカード通知設定▶以下の操作を行う

- 「ICカード通知設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

イルミネーション	ICカード利用時に着信／充電ランプが光るように設定します。
バイブレータ	ICカード利用時に振動するように設定します。

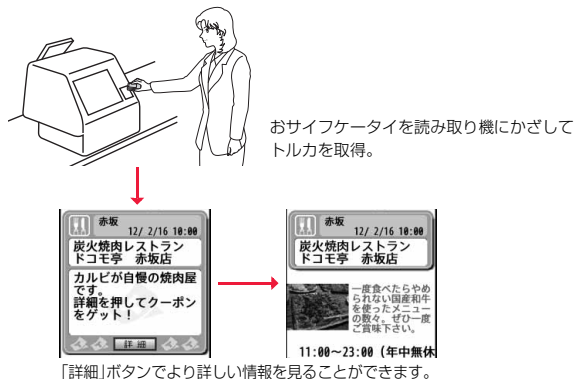
トルカ

トルカとは、FOMA端末で取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り機やサイト、データ放送などから取得が可能で、メールや赤外線通信、iC通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは「おサイフケータイ」の「トルカ」内に保存されます。

- トルカの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

■ トルカ利用の流れ

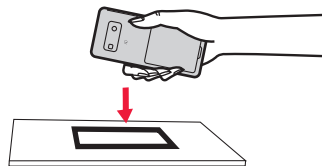
おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得。

「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

トルカ取得

読み取り機から取得

ICカード機能を利用して、読み取り機からトルカを取得します。詳細を取得する前のトルカの場合は詳細情報を取得することにより、より詳しい情報を持ったトルカ（詳細）になります。

- トルカが詳細を取得する前のトルカの場合は1件あたり1Kバイトまで、トルカ（詳細）の場合は1件あたり100Kバイトまでダウンロードできます。

1 FOMA端末の マークを読み取り機にかざす

トルカを取得したときは

トルカ取得音が鳴り、「ICカード通知設定」の設定に従ってFOMA端末が振動したり着信／充電ランプが光ります。

- 詳細を取得する前のトルカの場合は、詳細をダウンロードするためサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると詳細を取得したトルカ（詳細）を表示します。「NO」を選択すると詳細を取得する前のトルカを表示します。
- 何も操作しないで約15秒経過した場合は、デスクトップに「 」が表示されます。を押し、「 」を選択すると、トルカ一覧画面が表示されます。

トルカの自動読み取り機能について

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際に、「自動読取設定」を「ON」に設定していると、利用可能なトルカが自動的に認識されます。利用したトルカは「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。「利用済みトルカ」フォルダ内には20件まで保存され、20件を超えると取得日時の古いものから順に削除されます。

- 「自動読取設定」を「OFF」に設定していても、読み取り機にかざすと、「自動読取設定」を利用するかどうかの確認画面が表示される場合があります。トルカを利用する場合は「YES」を選択して、「自動読取設定」を「ON」にしてください。

お知らせ

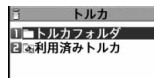
- トルカの取得に失敗した場合は、トルカ取得失敗音が鳴り、着信／充電ランプが光ります。
- トルカ取得音や取得失敗音は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で鳴ります。「ステップ」に設定したときはレベル4で鳴ります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線などで送付できないことがあります。

トルカ表示

ICカード機能を利用して取得したり、サイトやメールなどから取得したトルカを表示します。

1 MENU ▶おサイフケータイ▶トルカ▶フォルダを選択

- トルカフォルダ一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。

トルカ
1 トルカフォルダ
2 利用済みトルカ

トルカフォルダ一覧画面

2 トルカを選択

トルカから詳細情報を取得するときは

詳細を取得する前のトルカはそのままでは詳細な情報は表示されません。トルカに表示されている「詳細」を選択すると、サイトに接続して詳しい情報を取得できます。
トルカは詳細を取得すると上書き保存されます。

お知らせ

- 取得の際は通常のパケット料金がかかります。

トルカフォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。
自動振分け設定	トルカを取得した際に、フォルダに設定した条件に合うトルカを自動で振り分けて保存するように設定します。 ●すでに振り分け条件が設定されているフォルダの場合は振り分け条件が表示されます。サブメニューから「設定変更」または「解除」を選択すると、再度振り分け条件を設定または解除できます。

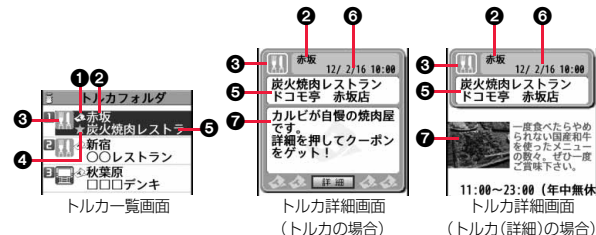
☆マーク一覧	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)からお気に入り(☆マーク)に登録したトルカの一覧画面を表示します。 ● iα (★一覧)を押してもお気に入りに登録したトルカを表示できます。
全検索	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)から検索条件を指定して検索します。
全フィルタ	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)からフィルタ条件を指定して表示します。
全表示	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)を表示します。
iC全送信	iC通信で全件送信します。
赤外線全送信	赤外線通信で全件送信します。
フォルダ削除	削除します。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
保存件数確認	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)の件数を表示します。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
お預かりセンターに接続	P.128参照
トルカ全削除	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカを削除します。

お知らせ

<自動振分け設定>

● 複数の条件にあてはまる場合の優先順位は、「ジャンル」→「タイトル」→「インデックス」の順で、さらにトルカフォルダ一覧画面で並び順が上のフォルダに振り分けられます。

トルカ一覧画面・詳細画面の見かた

トルカ一覧画面　トルカ詳細画面（トルカの場合）　トルカ詳細画面（トルカ(詳細)の場合）

❶**トルカの状態を表示します。**

※	未読のトルカ
	既読のトルカ

※サイトからダウンロードしたトルカは、未読にはなりません。

● 有効期限切れのトルカには「●」が付きます。

● FOMA端末外への出力が禁止されているトルカには「」が付きます。

❷**インデックスデータを表示します。**

トルカの情報を発行している発行元の場所データが表示されます。

❸**カテゴリを表示します。**

トルカの内容に応じたカテゴリアイコンが表示されます。

❹**お気に入りに登録すると表示します。**

❺**タイトルを表示します。**

❻**取得した時刻や日付を表示します。**

❼**トルカの情報を表示します。**

トルカの場合は簡単な説明文と詳細ボタンが、トルカ(詳細)の場合は発行元の情報が表示されます。

トルカ一覧画面のサブメニュー

フォルダ移動	フォルダ内のトルカを別のフォルダに移動します。

コピー	表示または選択中のトルカを別のフォルダにコピーします。
☆マーク一覧	フォルダ内のトルカからお気に入り(☆マーク)に登録したトルカを表示します。 ●iα(★一覧)を押してもお気に入りに登録したトルカを表示できます。
☆マーク／解除	トルカをお気に入りに登録します。お気に入りのトルカには「☆」が付きます。 ●TV(★マーク)を押してもお気に入りに登録できます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
検索	フォルダ内のトルカから検索条件を指定して検索します。
フォルダ内全表示／全表示	検索やソート、フィルタ機能を解除し、フォルダ内のすべてのトルカを表示します。「全表示」の場合は、FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)を表示します。
ソート	表示される順番を変更します。
フィルタ	フォルダ内のトルカからフィルタ条件を指定して表示します。
メール作成	トルカを添付し、i モードメールを作成します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
iC送信	iC通信で送信します。
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
本体へコピー	FOMA端末へコピーします。
保存件数確認	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)の件数を表示します。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
トルカ情報	タイトル名や有効期限などを表示します。
削除	削除します。

お知らせ

<フォルダ移動>
●「利用済みトルカ」フォルダには移動できません。

<コピー>
●「利用済みトルカ」フォルダにはコピーできません。
●FOMA端末外への出力が禁止されているトルカの場合は、コピーできません。

トルカ詳細画面のサブメニュー

フォルダ移動	P.297参照
コピー	P.298参照
メール作成	P.298参照
iC送信	iC通信で送信します。
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
本体へコピー	FOMA端末へコピーします。
更新	トルカの情報を再取得します。再取得したトルカ(詳細)は自動で上書き保存されます。 ●トルカによってはトルカ更新できない場合があります。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。
画像保存	トルカ内の画像を保存します。
電話帳登録	電話帳に登録します。
リプレイ	トルカ内のアニメーション画像やFlash画像を最初から再生します。 ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。
削除	削除します。

トルカ設定

1 MENU ▶**おサイフケータイ**▶**設定**▶**以下の操作を行う**

●選択している項目のショートカットを作成できます。(P.40参照)

トルカ設定		
	ICカードから取得	ICカード機能を利用して読み取り機からトルカを取得したり、他のFOMA端末からiC送信でトルカを取得するかどうかを設定します。許容する場合、すでに同じトルカが取得済みかを確認するかどうかを設定します。 ●重複チェックを「行う」に設定していると、確認を行い、取得済みの場合は再取得しません。(他のFOMA端末からiC送信で取得した場合は再取得します。)「行わない」に設定していると、確認を行わず、同じトルカでも再度取得します。
	自動読取設定	読み取り機にFOMA端末をかざした際に、利用可能なトルカを自動的に認識させるかどうかを設定します。
	スクロール設定	トルカ詳細画面で◎を押したときにスクロールする行数を設定します。
放送トルカ取得設定		ワンセグ視聴中にデータ放送からトルカを自動的に取得するかどうかを設定します。 ●ワンセグ視聴中のサブメニューで「ワンセグからトルカ取得」を操作した場合は、「許容する」または「許容しない」を選択します。
ICカード通知設定		P.294参照

お知らせ

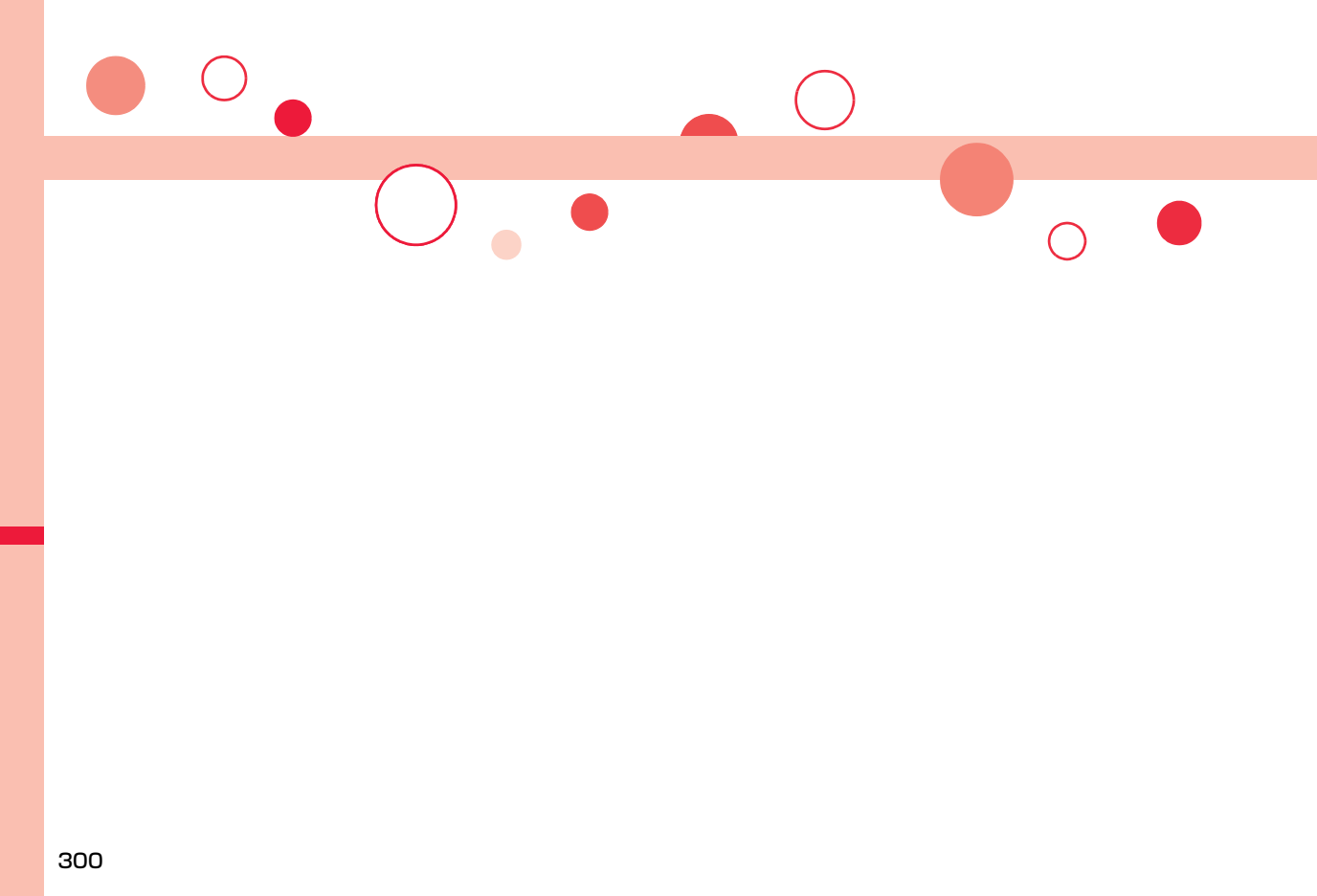
<ICカードから取得>

●同じトルカが取得済みかを確認する場合、「利用済みトルカ」フォルダに保存されているトルカや有効期限切れのトルカはチェック対象に含まれません。

<自動読取設定>

●「自動読取設定」を「OFF」に設定していると、トルカを利用できない場合があります。

<放送トルカ取得設定>

●取得済みのトルカは再取得しません。

地図・GPS機能

地図・GPS機能のご利用について

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信してFOMA端末の位置情報を取得する機能です。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - ・密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - ・建物の中や直下
  - ・地下やトンネル、地中、水中
  - ・高圧線の近く
  - ・自動車や電車などの室内
  - ・大雨や雪などの悪天候
  - ・かばんや箱の中
  - ・FOMA端末の周囲に障害物(人や物)がある
  - ・FOMA端末の画面、ボタン、マイクやスピーカー周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- 圏外では現在地確認以外のGPS機能をご利用いただけません。
- 以下の場合は位置提供以外のGPS機能をご利用いただけません。
  - ・ダイヤルロック中　・キーロック中　・おまかせロック中

海外での地図・GPS機能利用

- 海外では位置提供、現在地通知、オートGPS機能は利用できません。
- 海外の3Gネットワーク圏内で現在地確認ができます。
- 海外で現在地確認をするには、iモード海外利用設定が必要です。海外でのiモード利用についてはP.439参照。
- 日付・時刻を正しく設定しておいてください。日付時刻設定についてはP.49参照。
- 海外で位置提供設定のサービス利用設定サイトに接続した場合、エラー画面が表示され、利用できません。その場合でもパケット通信料がかかります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■地図を見る

- 操作方法についてはP.304参照。
- 地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「iモードサイト」または「iアプリ」を選択すると地図が表示されます。ただし、場所によっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。

■現在地確認

- 操作方法についてはP.303参照。
- 現在地確認の通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。
- 海外では測位途中の位置情報を利用できません。
- 測位に失敗した場合、表示される画面から近隣の都市(地域、国、都市の順)を選択することで測位できる場合があります。
- 測位後の位置情報利用メニューで「地図を見る」を選択すると、地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「iモードサイト」または「iアプリ」を選択すると地図が表示されます。ただし、場所によっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。(P.304参照)

■GPSボタン設定

- 操作方法についてはP.309参照。
- 「地図を見る」を設定した場合、現在地確認を行うと地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「iモードサイト」または「iアプリ」を選択して地図を表示します。

■GPS対応ｉアプリ
- 操作方法についてはP.304参照。
- 利用するアプリによっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。
- 「地図アプリ」は海外では利用できません。

■位置履歴／オートGPS履歴
- 操作方法についてはP.306参照。
- 海外で現在地確認を行うと位置履歴には「 」が表示されます。
- 位置履歴、オートGPS履歴からの位置情報利用メニューで「地図を見る」を選択すると、地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「ｉモードサイト」または「ｉアプリ」を選択して地図を表示します。

地図

「地図選択」（P.309参照）で設定したGPS対応ｉアプリを起動して地図を利用できます。
お買い上げ時は「地図アプリ」が設定されており、現在地や指定した場所の地図を見たりできます。

1 MENU▶**地図**／**海外**▶**地図**

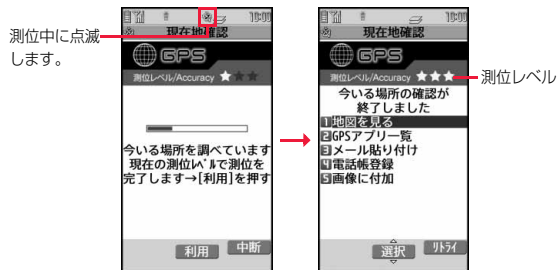
ナビ

「地図選択」（P.309参照）で設定したGPS対応ｉアプリを起動してナビゲーションの機能を利用できます。
お買い上げ時は「地図アプリ」が起動するように設定されています。
- 起動するGPS対応ｉアプリは、「地図」や位置情報から地図を表示するときに起動するGPS対応ｉアプリと同じです。
- GPS対応ｉアプリによっては、ナビゲーションの機能を利用できない場合があります。

1 MENU▶**地図**／**海外**▶**ナビ**

現在地確認

現在地を測位します。測位した位置情報を利用して地図を表示したり、位置情報をｉモードメールで送信したりできます。
- 現在地確認をしたときのパケット通信料は無料です。ただし位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1 MENU▶**地図**／**海外**▶**現在地確認**／**通知**▶**現在地確認**

測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
☆☆☆：ほぼ正確な位置情報です。（誤差がおおむね50m未満）
☆☆★：比較的正確な位置情報です。（誤差がおおむね300m未満）
☆★★：おおよその位置情報です。（誤差がおおむね300m以上）

- 📷（ﾘﾄﾗｲ）を押すと、「品質重視モード」（P.309「測位モード設定」参照）で再度測位されます。
- 測位中に画面下に「利用」が表示された場合、●（利用）を押すと、測位途中の情報で各機能を利用できます。
- 待受画面で1を1秒以上押しても現在地を測位できます。測位後はP.309「GPSボタン設定」の設定に従って、手順2の項目が実行されます。
- 「現在地確認」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

2 以下の操作を行う

地図を見る	「地図選択」で設定したGPS対応ｉアプリを起動して地図を表示します。
GPSアプリ一覧	位置情報をGPS対応ｉアプリで利用します。 ●機能によっては「地図･GPSアプリ」と表示される場合があります。 ●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.196参照。
メール貼り付け	位置情報をURL化し、本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。 ●送付する位置情報のURLは、ｉモード対応端末でのみ表示されます。
電話帳登録	電話帳に登録します。
画像に付加	位置情報を画像に登録します。 ●保存の確認画面で「YES」を選択すると、上書きして保存します。「NO」を選択すると、別データとして保存します。

お知らせ

●FOMA端末が圏外でも「現在地確認」を利用できる場合がありますが、時間がかかったり、周囲の状況によっては測位できないことがあります。

地図･GPS対応ｉアプリ

GPS対応ｉアプリの起動

GPS対応ｉアプリの一覧からｉアプリを選択して起動します。

1 MENU▶地図／海外▶GPSアプリ一覧▶ｉアプリを選択

●ソフト一覧画面についてはP.277参照。

お知らせ

●GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。

●GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、「ソフト設定」の「位置情報利用」を「利用する」に設定してください。

位置提供

現在地を知らせるように要求があった場合に、現在地を相手に通知できます。利用するサービスによっては、あらかじめ、GPSサービス利用設定を設定する必要があります。(P.309参照)また、「位置提供設定」で位置提供を許可する設定にしておく必要もあります。

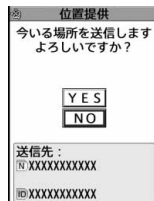
<サービスごとの利用設定が「毎回確認」の場合>

1 位置提供要求を受信▶YES･NO

YES. . . 現在地を測位して位置情報を送信します。

NO. . . . 位置情報の提供を拒否します。

●約20秒間何も操作しないと、現在地を提供せず元の画面に戻ります。

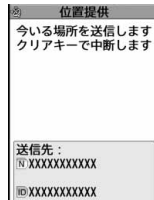
位置提供
今いる場所を送信します
よろしいですか？
YES
NO
送信先：
XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX

<サービスごとの利用設定が「許可」の場合>

1 位置提供要求を受信▶●(OK)

●●(OK)を押すか、約5秒経過すると、現在地の提供を開始します。

●送信先の情報が表示されないこともあります。

●CLRを押すと提供を中止できます。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。

位置提供
今いる場所を送信します
クリアキーで中断します
送信先：
XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX

お知らせ

●「イマドコサーチ」を利用した相手に位置情報を提供するには、ｉMenu→「お客様サポート」→「各種設定(確認･変更･利用)」→「その他サービス設定･確認」→「位置情報利用設定」(イマドコサーチ設定)の設定が必要です。

●「位置提供設定」を「位置提供OFF」以外に設定している場合は、FOMA端末を操作しなくても位置情報が送信され、検索者に通知されることがあります。

●位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者には届いていないことがあります。

お知らせ

- 以下の場合は、画面表示されずに要求を拒否します。
  - ･「位置提供設定」を「位置提供OFF」に設定している場合
  - ･「位置提供設定」を「電話帳登録外拒否」に設定しているときに電話帳に登録されていない相手から位置提供の要求を受けた場合
  - ･「位置提供設定」で設定した許可期間外に位置提供の要求を受けた場合
- GPSサービス利用設定で、位置提供を毎回確認に設定した場合、公共モード（ドライブモード）中は位置提供の要求に対して、位置情報は提供されません。
- GPSサービス利用設定で、位置提供を許可に設定した場合、公共モード（ドライブモード）中は鳴動音･バイブレータ･イルミネーションは動作せず、画面表示のみされ、位置情報が提供されます。
- 「イマドコかんたんサーチ」を利用した相手から位置情報の提供を要求されたとき、要求があるたびに今いる場所を送信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。「YES」を選択したあと、GPS測位画面が表示され、GPS測位後に精度の高い測位結果が通知されます。GPS測位中に位置提供を中止しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。
- 位置提供機能の機能利用料は無料です。
- 位置提供を利用するには、位置提供に対応したサービス提供者への申し込みが必要となる場合があります。また、位置提供に対応したサービスの利用は有料となる場合があります。
- 利用にあたっては、サービス提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。

地図･GPSサービス

ドコモが提供する位置情報サービスのサイトに接続します。
「イマドコサーチ」は、事前に登録した相手の位置情報を地図で確認することができます。
「イマドコかんたんサーチ」は、探したい相手の電話番号を入力して、相手の位置情報を地図で確認することができます。
「ｉエリア－周辺情報－」を利用すると、自分のいる場所の地図や周辺情報を確認することができます。
各サービスの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

- 「イマドコサーチ」はお申し込みが必要な有料サービスです。

イマドコかんたんサーチ･イマドコサーチの場合

1 **MENU▶地図／海外▶イマドコサーチ▶イマドコかんたんサーチ･イマドコサーチ▶YES**

画面に従って操作を行います。

- 「イマドコかんたんサーチ」「イマドコサーチ」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

ｉエリア－周辺情報－の場合

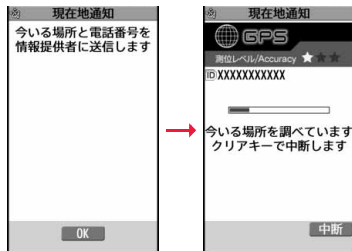
1 **MENU▶地図／海外▶ｉエリア－周辺情報－▶YES**

画面に従って操作を行います。

現在地通知

現在地をサービス提供者に通知します。

1 MENU▶**地図／海外**▶**現在地確認／通知**▶**現在地通知**▶**直接入力**▶**通知先を入力**▶◉(OK)

- あらかじめ「現在地通知先登録」で通知先を登録しておくと、通知先を選択できます。
- 📷(中断)を押すと測位を中止できますが、タイミングによっては通知される場合があります。
- 「現在地通知」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- 位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者には届いていないことがあります。
- 現在地通知機能の機能利用料は有料です。
- 現在地通知を利用するには、現在地通知に対応したサービス提供者への申し込みが必要となる場合があります。また、現在地通知に対応したサービスの利用は有料となる場合があります。

位置履歴

現在地確認・現在地通知・位置提供の履歴(通常測位履歴)とオートGPSで測位した履歴(オートGPS履歴)を表示します。通常測位履歴は50件、オートGPS履歴は800件まで記憶されます。

1 MENU▶**地図／海外**▶**地図・GPS設定／履歴**▶**位置履歴**

iαを押すごとに通常測位履歴とオートGPS履歴が切り替わります。

確認：現在地確認
通知：現在地通知
提供：位置提供
オートGPS：オートGPS

- 「位置履歴」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

位置履歴	
通常測位	オートGPS
1 提供	2/16 10:00:00
2 通知	2/16 9:30:00
3 確認	2/16 8:00:00
4 提供	2/16 7:30:00
5 提供	2/15 16:10:00
6 提供	2/15 16:00:00
7 提供	2/15 15:00:00
8 提供	2/15 13:50:00
9 確認	2/15 13:00:00
0 確認	2/15 12:30:00

2 **位置履歴を選択**

❶測位日時
❷測位機能名
❸位置情報(緯度、経度)
❹wgs84(世界測地系)
- 地球上の位置を緯度・経度で表すための基準です。

❺測位レベル
❻位置提供先名／現在地通知先名
❼位置提供先ID／現在地通知先ID
❽位置提供の検索者名
❾位置提供の検索者ID
❿オートGPS通知先
- オートGPS履歴には、測位結果の他に通知先情報として、通知を行ったサービス名と通知日時を最大6件まで表示します。

位置履歴 1/12
2012/ 2/16 10:00:00
位置提供
N XX° XX'XX.XXX"
EXXX° XX'XX.XXX"
測地系:wgs84
測位レベル:★★★
○○○○○○○○○○○○○○○○○
XXXXXXXXXXX
△△△△△△△△△△△△△△△
XXXXXXXXXXX

お知らせ

- 履歴が最大記憶件数を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

お知らせ

- 位置履歴に記録されている位置情報、測位レベルは、電波状況などにより位置提供先、現在地通知先、サービス提供者に送信された位置情報、測位レベルとは異なる場合があります。
- 現在地確認を途中で中止したときや測位に失敗したとき、「位置提供設定」の設定により位置提供の要求を拒否したときは履歴に記憶されません。
- 位置提供、現在地通知の履歴が記憶されていても、サービス提供者には届いていないことがあります。
- 位置提供や現在地通知の際に測位に失敗した履歴は「検索者に発信」、「検索者にメール作成」、「削除」以外操作できません。

位置履歴表示中のサブメニュー

地図を見る	P.304参照
GPSアプリ一覧	P.304参照
メール貼り付け	P.304参照
検索者に発信	位置提供検索者へ電話をかけます。
検索者にメール作成	位置提供検索者へｉモードメールを作成します。
電話帳登録	電話帳に登録します。
画像に付加	P.304参照
削除	削除します。

オートGPS機能

現在地を自動で測位し、位置情報を定期的にGPSサービス提供者に送信することで、お客様の居場所に合わせて、天気情報や店舗情報などの周辺情報や観光情報をお知らせするサービスなど、様々なサービスをご利用いただけます。

- オートGPS機能に対応しているサービスを利用するには、各サービスのオートGPS機能対応ｉアプリからオートGPSサービス情報を設定してください。ドコモが提供するサービスでオートGPS機能を利用するには、ドコモ提供サービス設定を「利用する」に設定してください。ｉアプリからオートGPSサービス情報は5件まで設定できます。
- オートGPS機能を利用すると、お客様の移動状況に基づき自動的に現在地を測位して、サービス提供者に位置情報や歩数計情報を送信します（お客様の移動状況に応じて、おおむね5分に1回測位します）。

■オートGPS機能利用時のご注意

- 以下の場合はオートGPSは動作しません。
  - ・ダイヤルロック中
  - ・おまかせロック中
  - ・セルフモード設定中
  - ・国際ローミング中
  - ・ｉモード未契約時
  - ・時計未設定時
  - ・ドコモminiUIMカード未挿入時
  - ・電源OFF時
  - ・「ｉモード／web設定」の「接続先設定」が「ｉモード」以外に設定中
  - ・「オリジナルロック」で「GPS」をロック中

オートGPS動作設定

オートGPS機能を利用するかどうかを設定します。（お買い上げ時は「ON」に設定されています。）
オートGPSでは、お客様の移動状況を判定する際に歩幅を利用するため、歩幅も設定します。

1 MENU▶**地図／海外**▶**地図・GPS設定／履歴**▶**オートGPS**▶**オートGPS動作設定**▶**ON・OFF**▶**歩幅（cm）を入力**

お知らせ

- 「ON」に設定しても、オートGPSサービス情報を設定していない場合は、オートGPSは動作せず、位置情報は送信されません。

お知らせ

- オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置情報の送信には、別途パケット通信料がかかる場合があります。
- お客様のご利用状況によっては、定期的な通信を行うことにより、FOMA端末の消費電力が増加しますのであらかじめご了承ください。

ドコモ提供サービス設定

ｉコンシェルまたはドコモが提供する各種サービスと連動したオートGPSのサービスを利用するかどうかを設定します。

- 「利用する」に設定すると、FOMA端末の位置情報をドコモに定期的に自動で送信します。
- ｉコンシェルや各種サービスは別途お申し込みや利用設定が必要です。

1 MENU▶**地図／海外**▶**地図・GPS設定／履歴**▶**オートGPS**▶**ドコモ提供サービス設定**▶**利用する・利用しない**

お知らせ

- ｉコンシェルやドコモのオートGPSに関する各種サービスが未契約の場合でも、本機能を設定することはできます。

設定サービス一覧

オートGPSサービス情報が設定されているアプリ名やサービス名の一覧と、それらの利用状況(動作中・停止中)を表示します。

1 MENU▶**地図／海外**▶**地図・GPS設定／履歴**▶**オートGPS**▶**設定サービス一覧**

動作中:オートGPS動作中
停止中:オートGPS停止中

設定サービス一覧のサブメニュー

対象ｉアプリを起動	対象のｉアプリを起動します。 ● 📷TV(アプリ起動)を押しても起動できます。
削除	削除します。

お知らせ

- 別のドコモminiUIMカードに差し替えると、登録されているオートGPSサービス情報はリセットされます。
- オートGPSサービス情報が設定されているｉアプリを削除したり、microSDカードに移動した場合、オートGPSサービス情報は削除されます。

低電力時動作設定

電池残量が少なくなった場合に、オートGPS機能を停止するかどうかを設定します。

- 「停止する」に設定すると、電池残量が少なくなった場合はオートGPS機能が停止します。また、オートGPSサービス情報の設定もできません。

1 MENU▶**地図／海外**▶**地図・GPS設定／履歴**▶**オートGPS**▶**低電力時動作設定**▶**停止する・停止しない**

お知らせ

- 「停止する」に設定していても充電中は停止しません。

地図・GPS設定／履歴

1 MENU▶地図／海外▶地図・GPS設定／履歴▶以下の操作を行う

●選択している項目のショートカットを作成できます。(P.40参照)

項目		説明
位置履歴		P.306参照
地図設定		
	地図選択	「地図」や位置情報から地図を表示するときに利用するGPS対応ｉアプリを選択します。 ●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.196参照。
	地図起動時動作設定	地図を表示するときに現在地を測位してからGPS対応ｉアプリを起動するかどうかを設定します。
GPSボタン設定		待受画面で1を1秒以上押して現在地を測位したあとに実行される機能を設定します。P.304手順2の項目から選択します。 ●「毎回確認」に設定すると、測位するごとに機能を選択できます。
位置提供設定		P.310参照
オートGPS		
	ドコモ提供サービス設定	P.308参照
	オートGPS動作設定	P.307参照
	設定サービス一覧	P.308参照
	低電力時動作設定	P.308参照
測位モード設定		現在地を測位する際のモードを「標準モード」または「品質重視モード」から選択します。 「品質重視モード」にすると時間をかけて測位を行います。その結果、測位の精度がよくなることがあります。 現在地確認・現在地通知・位置提供のそれぞれに測位モードを設定できます。オートGPS機能の測位モードは設定できません。
現在地通知先登録		P.311参照
サービス利用設定		GPSサービス利用設定(「サービス利用／接続先設定」で設定している接続先)に接続して、位置情報の検索許可やパスワードなど、位置提供に対応したサービスの設定を行います。 ●サイト表示中の操作についてはP.181参照。ただし、「再読み込み」と「文字コード変換」以外の機能は利用できません。 ●オートGPS機能が通信中は利用できません。
サービス利用／接続先設定		P.312参照
イルミネーション／鳴動音設定		P.312参照

お知らせ

<地図選択>

●測位した位置情報が選択したｉアプリの提供外の場合、地図が正しく表示されないことがあります。ただし、パケット通信料はかかります。

位置提供設定

現在地を知らせるように要求があったときの動作を設定します。位置提供を許可する設定にした場合、許可する期間を設定できます。

1 MENU▶地図／海外▶地図・GPS設定／履歴▶位置提供設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

位置提供ON . . . . すべての検索者からの位置提供の要求を許可し、現在地を知らせます。

位置提供OFF . . . . . . 位置提供の要求を拒否します。設定が終了します。

電話帳登録外拒否 . . . 電話帳に登録されている相手からの位置提供の要求のみ許可し、現在地を知らせます。電話帳に登録されていない相手からの位置提供の要求は自動的に拒否されます。

●「位置提供設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 許可する期間を設定する場合は「YES」を選択

3 以下の操作を行う▶📷TV(完了)

開始時間	許可する開始時刻を入力します。
終了時間	許可する終了時刻を入力します。
繰り返し設定	繰り返しの設定をします。
有効期間設定	繰り返す設定にしている場合の有効期間を設定します。

お知らせ

●「初期設定」(P.48参照)でも「位置提供設定」を設定できます。

●「位置提供設定」の設定により位置提供の要求を拒否した場合、位置履歴には履歴が記憶されません。

●有効期間として設定できるのは、2004年1月1日から2037年12月31日までです。

●起動中の機能によっては、「電話帳登録外拒否」に設定していても電話帳に登録されていない相手からの位置提供の要求を受信する場合があります。

■位置提供を許可する期間を設定したときの動作

<例>現在の日時が「2/16 12:00」のときに開始時刻を14:00、終了時刻を21:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	2/16 14:00～2/16 21:00
毎日	開始日:2/20 終了日:2/25	2/20～2/25の毎日 14:00～21:00
	開始日:2/15 終了日:2/25	2/16～2/25の毎日 14:00～21:00
	設定なし	2/16以降毎日 14:00～21:00
曜日指定	開始日:2/20 終了日:2/25	2/20～2/25の指定した曜日の 14:00～21:00
	開始日:2/15 終了日:2/25	2/16～2/25の指定した曜日の 14:00～21:00
	設定なし	2/16以降の指定した曜日の14:00～21:00

<例>現在の日時が「2/16 12:00」のときに開始時刻を10:00、終了時刻を02:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	2/16 12:00～2/17 02:00
毎日	開始日:2/20 終了日:2/25	2/20 10:00～2/26 02:00
	開始日:2/15 終了日:2/25	2/16 12:00～2/26 02:00
	設定なし	2/16 12:00～2/17 02:00と 2/17以降毎日 10:00～翌日02:00
曜日指定	開始日:2/20 終了日:2/25	2/20～2/25の指定した曜日の 10:00～翌日02:00
	開始日:2/15 終了日:2/25	2/16が指定した曜日なら、 2/16 12:00～2/17 02:00と 2/17～2/25の指定した曜日の 10:00～翌日02:00
	設定なし	2/16が指定した曜日なら、 2/16 12:00～2/17 02:00と 2/17以降の指定した曜日の 10:00～翌日02:00

現在地通知先登録

あらかじめ通知先を登録しておくと、現在地を通知する際に通知先を選択できます。また、登録した電話番号に電話をかけるときに、自動的に現在地を通知することもできます。

1 MENU▶地図／海外▶地図・GPS設定／履歴▶現在地通知先登録

通知先一覧画面が表示されます。登録済みの通知先を選択すると、通知先詳細画面が表示されます。

- 「現在地通知先登録」のショートカットを作成できます。(P.40参照)
- ショートカットを作成している通知先には「★」が付いています。

2 📷(新規)を押す

3 以下の操作を行う▶📷(完了)

通知先名	通知先名を入力します。
通知先ID	通知先IDを入力します。 ●サービス提供者から指定された通知先IDを入力します。
電話番号	電話番号を入力します。 ●26桁まで入力できます。 ●サブメニューから「電話帳参照入力」を選択すると、電話番号を電話帳から呼び出して入力できます。 ●「電話帳参照入力」から電話番号を入力すると、「通知先名」に電話帳の名前が入力されます。
発信時通知設定	登録している電話番号に音声電話やテレビ電話をかけるときに現在地を通知するかどうかを設定します。 ●電話をかけるたびに確認する場合は、「発信時確認」を選択します。

お知らせ

- 発信時通知設定を「する」や「発信時確認」に設定していても、発信者番号を通知しないで電話をかけた場合は、現在地を通知しません。

通知先一覧画面・通知先詳細画面のサブメニュー

新規登録	新規登録します。
編集	編集します。 ●通知先詳細画面で📷(編集)を押しても編集できます。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。 ●「SD現在地通知先」フォルダに保存されます。フォルダが複数ある場合は、保存先フォルダを選択します。
iC送信	iC通信で送信します。
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
iC全送信	iC通信で全件送信します。
赤外線全送信	赤外線通信で全件送信します。
電話帳登録	現在地通知先に登録されている通知先名と電話番号を電話帳に登録します。
お預かりセンターに保存	P.128参照
削除	削除します。

microSDカード内の現在地通知先を表示する

1 通知先一覧画面▶✉(microSD)

通知先フォルダ一覧画面が表示されます。

- ✉(本体)を押すと、FOMA端末内の通知先を表示します。

2 フォルダを選択

SD通知先一覧画面が表示されます。通知先を選択すると、SD通知先詳細画面が表示されます。

通知先フォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。
フォルダ削除	削除します。

SD通知先一覧画面・SD通知先詳細画面のサブメニュー

フォルダ移動	microSDカード内の通知先をmicroSDカード内の別のフォルダに移動します。
コピー	microSDカード内の通知先をmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。
本体へコピー	FOMA端末へコピーします。 ●通知先を選択する画面が表示された場合は、コピーしたい通知先にチェックを付けて[TV](完了)を押します。FOMA端末内の登録件数が5件を超える件数分はチェックできません。
microSD情報表示	保存容量(目安)を表示します。
削除	削除します。

GPSサービス利用接続先の変更

※通常は、設定を変更する必要はありません。

サービス利用設定の接続先を変更するときに設定します。

1 [MENU]▶地図／海外▶地図・GPS設定／履歴
▶サービス利用／接続先設定
▶<未登録>を選んで[TV](編集)
▶端末暗証番号を入力

●登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
●サブメニューから登録済みの接続先を削除できます。
●「サービス利用／接続先設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 以下の操作を行う▶[TV](完了)

接続先名称	接続先名称を入力します。
接続先アドレス	URLを入力します。

イルミネーション／鳴動音設定

現在地確認を行うときや位置情報の提供要求があったときなどに鳴る音を選択します。また、着信／充電ランプの色やバイブレータのパターンなども設定できます。

1 [MENU]▶地図／海外▶地図・GPS設定／履歴
▶イルミネーション／鳴動音設定▶以下の操作を行う

●「イルミネーション／鳴動音設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

音量	音量を設定します。
音選択	鳴動音を設定します。
バイブレータ	バイブレータを設定します。 ●「メロディ連動」を選択するとメロディに合わせて振動します。
通知時間設定	鳴動音の鳴動時間を設定します。
イルミネーション選択	イルミネーションを設定します。

位置情報

位置情報は電話帳や画像などに登録することができます。また、位置情報を参照して、サイトやトルカなどのリンク先を選択した際に送信したり、i モードメールの本文にURL化して貼り付けたりできます。

位置情報の登録

1 登録したいデータのサブメニュー▶位置情報付加▶項目を選択

現在地確認から付加 . . . 現在地を測位して位置情報を登録します。測位完了を確認し、●(OK)を押します。

位置履歴から付加 . . . . . 位置履歴から位置情報を選択して登録します。

電話帳から付加 . . . . 電話帳に登録されている位置情報を登録します。電話帳を選択します。

画像から付加 . . . . 画像に登録されている位置情報を登録します。フォルダを選択し、画像を選択します。

マイプロフィールから付加
. . . . プロフィールに登録している位置情報を登録します。端末暗証番号を入力し、●(確定)を押します。

- 登録済みの位置情報を確認する場合は「位置情報詳細」を、削除する場合は「位置情報削除」を選択します。
- 電話帳に位置情報を登録する場合も同様の操作を行います。

位置情報の参照

1 参照したい機能から位置情報を参照▶項目を選択

現在地確認／現在地確認から貼付
. . . . 現在地を測位して位置情報を取得し、参照します。

位置履歴より参照／位置履歴から貼付
. . . . 位置履歴から位置情報を選択して参照します。

電話帳より参照／電話帳貼付
. . . . 電話帳に登録されている位置情報を参照します。電話帳を選択します。

プロフィール貼付 . . . プロフィールに登録している位置情報を参照します。端末暗証番号を入力し、●(確定)を押します。

- メール本文入力画面ではサブメニューから「定型文／引用」→「位置情報貼り付け」を選択します。

データ管理

データBOX

データBOXには以下のような項目とフォルダがあります。種類に合わせてそれぞれのフォルダに保存されます。

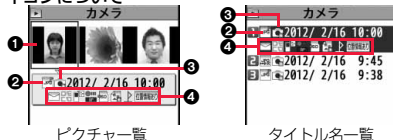
マイピクチャ		
カメラ		カメラで撮影した静止画や撮影したキャラ電ピクチャなど
iモード		ダウンロードした静止画など
	iモードで探す	データサイトに接続
デコメピクチャ		デコメール®作成で使用できる静止画
	iモードで探す	データサイトに接続
デコメ絵文字	お気に入り※1	デコメール®作成で使用できる絵文字
	顔文字※1	●お買い上げ時に保存されているデコメ絵文字®は削除できます。 「P-SQUARE」のサイト(P.196参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるドコモminiUIMカードを使用中は、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。
	表情・気持ち※1	
	装飾※1	
	ハート・キラキラ※1	
	天気・季節※1	
	移動・生活※1	
	食べ物※1	
	キャラクター※1	
	文字※1	
	iモードで探す	データサイトに接続
プリインストール		お買い上げ時に登録されている静止画
自動お預かり※2		お預かりセンターに自動バックアップしたい静止画
ピクチャアルバム		ピクチャアルバムを起動
ユーザフォルダ※3		ユーザフォルダ内の静止画
自作アニメ		静止画連続再生機能
フレーム/スタンプ		フレーム、マーカースタンプに使用できる静止画
iモードで探す		データサイトに接続
microSD	ピクチャ	カメラで撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたDCF規格に準ずるJPEG形式、GIF形式の画像
	イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーション画像やDCF規格外のJPEG形式の画像
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある静止画
	デコメ絵文字	FOMA端末からコピーしたデコメール®用の絵文字
ミュージック		
ミュージックプレーヤー		ミュージックプレーヤーを起動
iモード	初期フォルダ	サイトから取得した着うたフル®などの音楽データ
	ユーザフォルダ※3	ユーザフォルダ内の着うたフル®などの音楽データ
	iモードで探す	データサイトに接続
	microSD	ダウンロードしたり、FOMA端末から移動した著作権のある着うたフル®などの音楽データ
WMA		パソコンから取り込んだWMAファイル
Music&Videoチャネル		
配信番組		Music&Videoチャネルでダウンロードした番組
保存番組		FOMA端末に保存した番組
microSD		FOMA端末から移動した番組
iモーション・ムービー		
カメラ		カメラで録画したiモーションや撮影したキャラ電の動画など
iモード		サイトから取得したiモーションなど
	iモードで探す	データサイトに接続
プリインストール		お買い上げ時に登録されているiモーション
ピクチャアルバム		ピクチャアルバムを起動
ボイスレコーダー		ボイスレコーダーで録音した音声
ユーザフォルダ※3		ユーザフォルダ内のiモーション
BD/DVDレコーダー		ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画
プレイリスト		プレイリスト再生
しおり		しおり再生
ムービー	フォルダ一覧	FOMA端末内のムービーのフォルダ一覧
	しおり	しおり再生
	再生履歴	ムービーの再生履歴
iモードで探す		データサイトに接続
microSD	SDビデオ	カメラで撮影した動画やFOMA端末からコピーしたiモーション
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるiモーション
	その他コンテンツ	カメラ機能を使って記録した音声のみのiモーション※4、FOMA端末からコピーした音声のみのiモーション※4、FOMA端末からコピーした映像が再生不可能なiモーション※4
	SDムービー	ダウンロードしたり、FOMA端末から移動したムービー

メロディ		
ｉモード		ダウンロードした着信音に設定できるメロディなど
	ｉモードで探す	データサイトに接続
プリインストール		お買い上げ時に登録されている着信音に設定できるメロディ
ユーザフォルダ※3		ユーザフォルダ内の着信音に設定できるメロディ
おしゃべり		「おしゃべり機能」で録音したデータ
プログラム		プログラム再生
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD	メロディ	FOMA端末からコピーしたメロディ
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるメロディ
コンテンツパッケージ		
ｉモード		ダウンロードしたコンテンツパッケージ
プリインストール		お買い上げ時に登録されているコンテンツパッケージ
ユーザフォルダ※3		ユーザフォルダ内のコンテンツパッケージ
マイドキュメント		
ｉモード		お買い上げ時に登録されているPDFデータやダウンロードしたPDFデータ
ユーザフォルダ※3		ユーザフォルダ内のPDFデータ
microSD		ダウンロードしたPDFデータやFOMA端末からコピーしたPDFデータ
きせかえツール		
ｉモード		ダウンロードしたきせかえツールなど
	ｉモードで探す	データサイトに接続
プリインストール		お買い上げ時に登録されているきせかえツール
ユーザフォルダ※3		ユーザフォルダ内のきせかえツール
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD		ダウンロードしたきせかえツールやFOMA端末から移動したきせかえツール
マチキャラ		
ｉモード		お買い上げ時に登録されているマチキャラやダウンロードしたマチキャラ
	ｉモードで探す	データサイトに接続
ユーザフォルダ※3		ユーザフォルダ内のマチキャラ
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD		ダウンロードしたマチキャラやFOMA端末から移動したマチキャラ
キャラ電		
お買い上げ時に登録されているキャラ電やダウンロードしたキャラ電		
ワンセグ		
イメージ		ワンセグで録画した静止画
ビデオ		ワンセグで録画したビデオや、他のAV機器で作成したワンセグ対応の著作権保護対応動画
しおり		しおり再生
ドキュメントビューア		
メール（添付ファイル）から保存したドキュメントファイル		
フォント		
ｉモード		ダウンロードしたフォント
プリインストール		お買い上げ時に登録されているフォント
SDその他ファイル		
SDその他		メール（添付ファイル）から保存した非対応のファイルやダウンロードしたBMP形式とPNG形式のファイル
全検索履歴		
新規検索		データBOX内のファイルを検索

※1「フォルダ名編集」を行うと、フォルダ名が変更されます。また、デコメ絵文字®はフォルダに直接保存され、フォルダにはデコメ絵文字®以外は保存できません。
※2 初めて「自動お預かり」フォルダを選択した場合、フォルダの説明とケータイデータお預かりサービスについての確認画面が表示されます。
※3「フォルダ追加」で入力したフォルダ名が表示されます。
※4 AAC形式の音楽データを含みます。

■ファイル一覧表示中のアイコンについて

ピクチャ一覧

タイトル名一覧

❶プレビュー画像

●プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

画像	説明
Not available	表示／再生不可
SWF	Flash画像
	GIF画像
No preview data	プレビュー画像なし
Expired file	再生制限期限切れなど

画像	説明
Incomplete data	部分保存ファイル
PDF	プレビュー非対応（完全なPDFデータ／部分的なPDFデータ）
PDF	プレビュー非対応（不完全なPDFデータ）
Updata	アップデート未完了

❷ファイル種別

アイコン	種別	ファイル形式
JPG	静止画	JPEG
JPG	位置情報付き静止画	JPEG
GIF	静止画／アニメーション画像	GIF
	フレーム	GIF
	マーカースタンプ	GIF
	Flash	SWF
	ｉモーション	MP4（AMR）
（青色）	ｉモーション	MP4（AAC）
	ｉモーション	MP4（AAC+［HE-AAC］）
	ｉモーション	MP4（Enhanced aacPlus）
（赤色）	ｉモーション	ASF
	ムービー	WMV、ASF
	インターネット上のムービー	WVX、ASX
	ムービー	WMA
	インターネット上のムービー	WAX
	視聴済み「BD／DVDレコーダー」フォルダ内動画	MP4
NEW	未視聴「BD／DVDレコーダー」フォルダ内動画	MP4
	ビデオ	MPEG2-TS
	他の機器でプロテクトがかけられたビデオ	MPEG2-TS
	部分保存されているｉモーション	―
	メロディ	SMF
	メロディ	MFi
	コンテンツパッケージ	―
PDF	完全なPDFデータ	PDF
PDF	部分的なPDFデータ	PDF
PDF	不完全なPDFデータ	PDF
PDF	壊れているPDFデータ	PDF
	きせかえツール	―
	部分保存されているきせかえツール	―
	マチキャラ	―
	部分保存されているマチキャラ	―
	アップデート未完了のマチキャラ	―
	キャラ電	―

アイコン	種別	ファイル形式
	Wordファイル	WORD
	Excelファイル	EXCEL
	PowerPointファイル	POWERPOINT
	TEXTファイル	TEXT
	フォント	—
	非対応ファイル	—

- ファイル制限が設定されているファイルの場合、アイコンに「 」が付きます。
- ファイルによっては、再生できる回数･期限･期間が制限されているものがあります。再生制限のあるファイルのアイコンには「 」、再生制限切れのファイルのアイコンには「 」が付きます。

❸取得元

アイコン	説明
※1	サイトやｉモードメール添付などから取得
	FOMA端末で撮影、ボイスレコーダーで録音
	赤外線通信やiC通信、microSDカードなどから取得
	キャラ電撮影
	ワンセグで静止画録画
※2	ワンセグでビデオ録画
※3	ｉモードで再生したインターネット上のムービー
※3	フルブラウザで再生したインターネット上のムービー
※3	FOMA端末に保存したムービー
※3	microSDカードに保存したムービー

※1 著作権のあるファイルでmicroSDカードに移動可の場合は「 」が表示されます。
※2 未視聴の場合は「 」が表示されます。
※3「ムービー」フォルダの「しおり」内と「再生履歴」内でのみ表示されます。

❹ファイルの状態

アイコン	説明
	ｉモードメール添付が可能
	デコメール®に画像挿入や、デコメアニメ®作成が可能
	ピクチャ貼付が可能
	赤外線送信やiC送信が可能
	microSDカードへコピー可能
	アップロードが可能
位置情報あり	位置情報を利用可能
(グレー)※	お預かりセンターへの自動バックアップが未完了
(青色)※	お預かりセンターへの自動バックアップが完了
(赤色)※	お預かりセンターへの自動バックアップ対象外

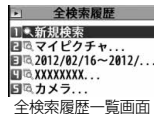
※「マイピクチャ」内の「自動お預かり」フォルダ内でのみ表示されます。

全検索履歴

検索条件を指定してデータBOX内のすべてのファイルから検索します。
指定した検索条件は全検索履歴として20件まで記憶されます。

1 MENU▶**データBOX**▶**全検索履歴**

全検索履歴一覧画面が表示されます。

全検索履歴
1 新規検索
2 マイピクチャ...
3 2012/02/16～2012/...
4 XXXXXXXX...
5 カメラ...

全検索履歴一覧画面

2 新規検索▶以下の操作を行う

- [iα]を押すごとに「AND条件」と「OR条件」を切り替えます。
「AND条件」では、指定したすべての条件にあてはまるファイルが検索結果として表示されます。「OR条件」では、指定したいずれかの条件にあてはまるファイルが検索結果として表示されます。
- 全検索履歴一覧画面で全検索履歴を選択すると、履歴と同じ条件で検索します。全検索履歴を選んで[✉]（再検索）を押すと、検索条件を編集できます。

タイトル	ファイルのタイトルを入力して検索条件に指定します。
ファイル種別	ファイル種別を選択して検索条件に指定します。
取得元	ファイルの取得元を選択して検索条件に指定します。
保存日時	ファイルを保存した日時を検索条件に指定します。 ●「日時指定」を選んで[📷TV]（編集）を押すと、開始日時と終了日時を入力して指定できます。
記憶メディア	ファイルの保存先を検索条件に指定します。 ●「OR条件」で検索する場合も、「AND条件」として検索されます。

3 [📷TV]（実行）

検索を開始します。
条件に合うファイルが検索結果として表示されます。ファイルを選択して表示／再生できます。

- 検索結果を表示中にサブメニューから「ソート」を選択して、表示される順番を変更できます。
- [📷TV]（JUMP）を押すと選んでいるファイル種別の一覧画面を表示します。
- [✉]（再検索）を押すと検索条件を指定し直して検索できます。

お知らせ

- 検索結果は1000件まで表示されます。

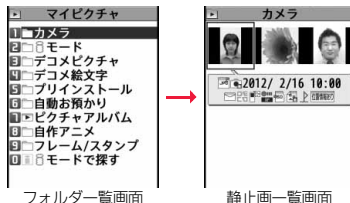
ピクチャビューア

FOMA端末内またはmicroSDカード内に保存した画像を表示します。

1 [MENU]▶データBOX▶マイピクチャ▶フォルダを選択▶ファイルを選択

フォルダ一覧画面

静止画一覧画面

- フォルダ一覧画面で[✉]を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- フォルダ一覧画面のサブメニューはP.366参照。
- 静止画一覧画面で[iα]（切替）を押すごとに表示方法を変更します。
- 他の機能でフォルダや静止画を選択するときは、機能によって表示されないフォルダや静止画があります。また、静止画を選択中に[📷TV]（デモ）を押して静止画を確認できる場合があります。
- 「iモードで探す」を選択した場合はP.196参照。

ワンセグで録画した静止画を表示する場合

1 [MENU]▶データBOX▶ワンセグ▶イメージ▶ファイルを選択

データ管理

■静止画表示時の操作

操作	ボタン操作
次のファイルを表示※1	◎
前のファイルを表示※1	◎
ズーム（拡大／縮小）※2※3	◉（ズーム）※4 ●ズーム中に📷（＋）／MENU（－）で拡大／縮小 ●拡大中に◎でスクロール ●元に戻すには◉（戻る）
表示方向切替※2	✉（回転） ●押すごとに静止画を時計回りに90度ずつ回転

※1 静止画一覧画面の並び順で表示します。
※2 画像サイズやファイル形式によっては操作できない場合があります。
※3 400%まで拡大できます。ただし、拡大できる倍率は画像サイズにより異なります。
※4 Flash画像再生中は、一時停止／再生の操作になります。

■静止画表示の仕様について

ファイル形式	JPEG※1、GIF、Flash
拡張子	jpg、gif、swf、ifm
画素数	13M（3120×4160）以下のファイル※2
ファイルサイズ	8Mバイト以下の静止画

※1 表示できるJPEGファイルの種類は、Exif／CIFF／JFIF形式のBaselineとProgressiveです。
※2 Progressive形式のファイルの場合はVGA（480×640）以下、GIFファイルの場合は5M（1944×2592）以下のファイルまで表示できます。
●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。
●Flash画像は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で音が鳴ります。

静止画一覧画面のサブメニュー

メニュー		説明
メール添付／ブログ		
	iモードメール添付	静止画を添付し、iモードメールを作成します。 ●📷（✉MAIL）を押してもiモードメールを作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
	デコメ作成	「デコメピクチャ」フォルダ、「デコメ絵文字」フォルダからデコメール®を作成します。 ●デコメール®についてはP.137参照。
	ブログ投稿	「ブログ・メールグループ」で「📰」に設定した投稿先を宛先にしてiモードメールを作成します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
ピクチャ貼付		画像を待受画面などに貼り付けて表示します。 ●貼付された項目には「★」マークが付きます。 ●「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目を選択した場合、状態に応じたメッセージを静止画の中央に貼り付けます。
ピクチャ情報		静止画のファイル名などを表示します。 ●自作アニメのピクチャ情報では、ピクチャ貼付の項目のみ表示されます。
ピクチャ検索		選んでいる静止画の日付、位置情報または表示サイズをもとにフォルダ内の静止画を検索します。 ●「日付で検索」「位置情報で検索」を選択した場合は、選んでいる静止画と近い日付、位置情報の静止画を検索結果として表示します。 ●「表示サイズで検索」を選択した場合は、選んでいる静止画と同じ画像サイズの静止画を検索結果として表示します。
赤外線送信		赤外線通信で送信します。
IrSS		
iC送信		iC通信で送信します。
メモ作成		静止画を添付したフォトメモを作成します。

ショートカット作成		ショートカットを作成します。
microSDへコピー		microSDカードへコピーします。
本体へコピー		FOMA端末へコピーします。
お預かりセンターに保存		P.128参照
編集		
	ピクチャ編集	P.324参照
	タイトル編集	タイトルを編集します。
	ファイル名編集	ファイル名を編集します。 ●記号は「.」、「-」、「_」のみ入力できます。
	ファイル制限	ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。
	お預かり済アイコンクリア	お預かりセンターへの自動バックアップが完了した静止画を一括で自動バックアップ未完了に変更します。
microSDへ移動		microSDカードへ移動します。
本体へ移動		FOMA端末へ移動します。
位置情報		
	位置情報付加	P.313参照
	位置情報削除	画像に登録済みの位置情報を削除します。
	位置情報詳細	位置情報の詳細を確認できます。 ●詳細を表示中にサブメニューから位置情報を利用した操作を実行することができます。(P.304参照)
フォルダ移動		静止画を別のフォルダに移動します。
DPOF設定		P.379参照
スライドショー		フォルダ内の静止画を選択している静止画から順にすべて表示していきます。静止画が切り替わる速度を選択できます。 ●(停止)を押すとスライドショーが停止します。再度●(再開)を押すとスライドショーが再開します。
コピー		microSDカード内の静止画をmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート		表示される順番を変更します。 ●microSDカード内のファイルはソートできません。
削除		削除します。

お知らせ

<デコメ作成>

●画像サイズがSub-QCIF(96×128)より大きいときは、画像サイズの変更方法を選択する画面が表示されます。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。
「そのまま添付」を選択すると画像サイズは変更しません。
「Sub-QCIF縮小添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(96×128)以下に縮小します。
「Sub-QCIF切出し添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(96×128)以下に縮小･切り出しします。
ファイルサイズがデコメール®作成可能サイズを超える場合は、デコメール®作成可能サイズ以下に変換します。

●Sub-QCIF(96×128)に縮小または切り出しした場合、(取消)を押すかサブメニューから「取消」を選択すると再度縮小･切り出しを設定できます。また、●(確定)を押すか、サブメニューから「確定」を選択するとメール作成画面が表示されます。

●画像によってはデコメール®作成できない場合があります。

<ピクチャ貼付>

●Flash画像は待受画面、ウェイクアップ表示、音声電話／テレビ電話の発着信画面、メールの送受信画面、問い合わせ、メール／メッセージ着信結果以外には貼り付けできません。

●アニメーションGIF形式の画像はテレビ電話の発着信画面以外のテレビ電話関連項目には貼り付けできません。

●画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと違う場合があります。

●ファイルによってはピクチャ貼付できない場合があります。

お知らせ

<タイトル編集>
- ファイルによってはタイトル編集できない場合があります。
- microSDカードの「デコメ絵文字」フォルダ、「移行可能コンテンツ」フォルダでは、「編集」は表示されずに「タイトル編集」を選択する操作となります。

<ファイル名編集>
- ファイルによってはファイル名編集できない場合があります。
- ファイル名に半角スペースは使用できません。

<ファイル制限>
- ファイルによってはファイル制限を設定できない場合があります。
- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。

<スライドショー>
- Flash画像は表示されません。
- 画像によっては表示される間隔が異なる場合があります。

静止画表示中のサブメニュー

ピクチャ編集		P.324参照
高度な編集		ピクチャアルバムを起動します。
ピクチャ貼付		P.321参照
ピクチャ情報		P.321参照
位置情報		
	位置情報付加	P.313参照
	位置情報削除	P.322参照
	位置情報詳細	P.322参照
メール添付／ブログ		
	iモードメール添付	P.321参照
	デコメ作成	P.321参照
	ブログ投稿	P.321参照
メモ作成		静止画を添付したフォトメモを作成します。
赤外線送信		赤外線通信で送信します。
IrSS		
iC送信		iC通信で送信します。
表示サイズ設定		静止画を本来のサイズ（等倍）で表示するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。
ショートカット作成		ショートカットを作成します。
microSDへコピー		microSDカードへコピーします。
本体へコピー		FOMA端末へコピーします。
お預かりセンターに保存		P.128参照
DPOF設定		P.379参照
削除		削除します。
リトライ		アニメーション、Flash画像を最初から再生します。

お知らせ

<表示サイズ設定>
- 「画面サイズで表示」に設定中にアニメーションGIFを表示した場合、「標準」での表示時よりアニメーションの動作が遅くなる場合があります。
- 「標準」に設定しても、画面サイズを超える静止画は画面サイズに縮小されます。また、QCIF（144×176）以下の静止画は、縦横2倍のサイズで表示されます。

ピクチャ表示設定

静止画一覧画面の表示方法を変更します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**ピクチャ表示設定**▶**ピクチャ一覧・タイトル名一覧**

- 「ピクチャ表示設定」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

ピクチャ編集

1 **静止画一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶編集▶ピクチャ編集**
または
静止画表示中▶MENU(サブメニュー)▶ピクチャ編集
- 待受(480×854)より大きい静止画の場合、待受(480×854)以下に縮小されます。

ピクチャ編集画面

2 **MENU(サブメニュー)▶静止画を編集**
操作方法についてはP.324～P.325をご覧ください。

3 **●(保存)▶YES・NO**
YES . . . . .上書きして保存します。
NO . . . . .新しい静止画として保存します。
- microSDカード内の静止画を編集した場合は上書き保存できません。●(保存)を押すと変更元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。microSDカード内のデータがいっぱいの場合など、microSDカードに保存できないときは「ｉモード」フォルダに保存されます。
- 編集した静止画を保存しない場合は、CLRまたは⌒を押します。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。

お知らせ
- カメラで撮影した静止画やデータ通信で取得した静止画、ダウンロードもしくはｉモードメールから取得した静止画で「ファイル制限」がなしのJPEGファイルのみピクチャ編集できます。
- 表示方向を切り替えた静止画を表示中に「ピクチャ編集」を選択すると、元の表示方向に戻ります。

お知らせ
- 静止画によってはピクチャ編集できなかったり、編集の効果が現れにくいものがあります。
- 画像編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなることがあります。
- 静止画によってはサイズ変更をするとピクチャ編集ができなくなる場合があります。
- 新規保存された静止画のファイル名、タイトル、保存先、取得元については以下のとおりです。
  - ・ファイル名：YYYYMMDDhhmmnnnn
    タイトル：YYYY/MM/DD hh:mm
    （Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分、n：番号）
  - ・保存先：変更元のファイルが保存されているフォルダ
  - ・取得元：変更元と同じ

ピクチャ編集画面のサブメニュー

マーカースタンプ	「フレーム／スタンプ」フォルダのマーカースタンプを合成します。 **▶マーカースタンプを選択** ●編集中の静止画より小さいサイズのマーカースタンプのみ合成できます。 ●サブメニューから「右90度／左90度／180度」を選択すると、マーカースタンプを回転できます。「拡大／縮小」を選択すると、マーカースタンプを拡大・縮小できます。 ●📷(取消)を押すとマーカースタンプを取り消します。 **▶○で位置を決めて●(配置)** ●📷(追加)を押すとマーカースタンプを追加できます。 **▶●(確定)**

フレーム合成	編集中の静止画と同じサイズのフレームを合成します。 ●サブメニューから「180度回転」を選択すると、フレームを回転できます。 ●TV(取消)を押すとフレームを選択し直せます。
文字スタンプ	文字を合成します。 ▶文字を入力 ●サブメニューから「文字色」を選択し、色を選択すると、文字の色を変更できます。iα(切替)を押して16色·256色を切り替えることができます。「文字サイズ」を選択すると、文字を拡大·縮小できます。「文字入力」を選択すると、入力した文字を編集できます。 ▶で位置を決めて●(配置)▶●(確定) ●TV(取消)を押すと配置する位置を選択し直せます。
待受サイズ変換	画像サイズを待受(480×854)に変換します。 ●TV(取消)を押すと変換を中止します。
サイズ変更	画像サイズを変更します。 ●元の静止画と縦横比が異なるサイズを選択した場合は、元の静止画の縦横比を保ったまま、選択したサイズを超えない大きさに拡大/縮小します。 ●TV(取消)を押すとサイズを選択し直せます。
トリミング	一定の大きさに切り出します。 ▶切り出したい画像サイズを選択 ●編集中の静止画より大きいサイズは選択できません。 ●トリミングする静止画が、待受(480×854)より大きい場合は、編集中の静止画やトリミングする枠が縮小して表示されます。 ▶でトリミングする部分を決めて●(確定) ●TV(取消)を押すとトリミングするサイズを選択し直せます。 ▶●(確定) ●TV(取消)を押すとトリミングする部分を選択し直せます。
フォトレタッチ	静止画の質感や色合いなどを設定します。 ●TV(取消)を押すと効果を選択し直せます。
回転	画像を回転させます。 ●TV(取消)を押すと角度を選択し直せます。
明るさ	−3(暗い)から+3(明るい)で調節します。
メール添付/ブログ	
iモードメール添付	編集した静止画を保存し、iモードメールを作成します。 ●TV(MAIL)を押してもiモードメールを作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
ブログ投稿	編集した静止画を保存し、「ブログ·メールグループ」で「」に設定した投稿先を宛先にしてiモードメールを作成します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
メモ作成	静止画を添付したフォトメモを作成します。
保存	P.324参照

お知らせ

<マーカースタンプ>

●編集する静止画より大きく拡大できません。

<文字スタンプ>

●24×24ドットより小さい静止画は編集できません。

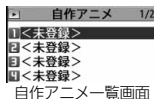
●編集する画像によっては文字色との合成ができない色があります。その場合には別の色を選択してください。

自作アニメ

「カメラ」フォルダ、「ｉモード」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ内の待受(480×854)以下のJPEGファイルを最大20件(20コマ)選択し、アニメ再生できます。自作アニメは20件登録できます。

1 **MENU▶データBOX▶マイピクチャ▶自作アニメ▶＜未登録＞**

- 設定済みの自作アニメを変更する場合は、サブメニューから「自作アニメ設定」を選択します。

自作アニメ 1/2
1 ＜未登録＞
2 ＜未登録＞
3 ＜未登録＞
4 ＜未登録＞

自作アニメ一覧画面

2 **コマ順＜1コマ目＞～＜20コマ目＞を選択▶フォルダを選択▶静止画を選択**

- 登録済みの静止画を解除する場合は「イメージ解除」を選択します。

3 **手順2を繰り返す▶MENU(完了)**

自作アニメ一覧画面のサブメニュー

タイトル編集	タイトルを編集します。
自作アニメ設定	設定済みの自作アニメを変更します。
ピクチャ表示	自作アニメを再生します。 ●設定済みの自作アニメを選択しても再生できます。
ピクチャ貼付	P.321参照
ピクチャ情報	P.321参照
自作アニメ解除	解除します。

自作アニメ再生中のサブメニュー

ピクチャ貼付	P.321参照
表示サイズ設定	P.323参照
リトライ	自作アニメを最初から再生します。

お知らせ

- 自作アニメに設定している静止画を削除すると、その静止画を含む自作アニメは解除されます。

iモーションプレーヤー・ムービープレーヤー

FOMA端末内またはmicroSDカード内に保存したｉモーションや、インターネット上で公開されているパソコン向けの動画（ムービー）を再生します。

●ステレオイヤホンマイク（別売）を接続してステレオサウンドでｉモーション、ムービーの音声を再生できます。

1 **MENU▶データBOX▶ｉモーション・ムービー▶フォルダを選択▶ファイルを選択**

●フォルダー一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。

●フォルダー一覧画面のサブメニューはP.366参照。

●前回再生した情報があるｉモーションを選択した場合は、「続きから再生」または「始めから再生」を選択します。

フォルダー一覧画面

ｉモーション一覧画面

●ｉモーション一覧画面、ムービー一覧画面で iα（切替）を押すごとに表示方法を変更します。

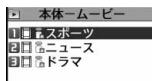
●他の機能でフォルダやｉモーションを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやｉモーションがあります。また、ｉモーションを選択中に📷（デモ）を押してｉモーションを確認できる場合があります。

本体−ムービー
スポーツ
ニュース
ドラマ

ムービー一覧画面

●ｉモーションによっては、設定されているチャプターを選択して再生できる場合があります。（P.330参照）

●「BD／DVDレコーダー」フォルダについてはP.332参照。

●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.196参照。

■ ｉモーション・ムービー再生時の操作

●サブメニューから操作する場合はP.330参照。

操作	ボタン操作
早見再生 ［ｉモーションのみ］	MENU ●押すごとに「通常再生」→「1.25倍速」→「2倍速」の順に切り替え
早送り ［ムービーのみ］	MENU（▶▶） ●再生するにはMENU（▶）
一時停止	●（❚❚） ●再生するには●（▶）
コマ送り再生 ［ｉモーションのみ］	一時停止中に📷（コマ送） ●押すごとにコマ送り
消音／消音解除	📷
音量調節	◎（上下）
次のファイルまたはチャプターを表示※1	◎（右）
前のファイルまたはチャプターを表示※1	◎（左） ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し（チャプターがある場合はチャプターの頭出し）
サーチ（早送り） ［ｉモーションのみ］	◎（右）を押し続ける
サーチ（早戻し） ［ｉモーションのみ］	◎（左）を押し続ける
再生位置選択※2 ［ムービーのみ］	◎（左右）を押し続ける
縦画面／横画面／全画面切替	iα（横画面） ●押すごとに表示方法を切り替え
リ.マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え

データ管理

操作	ボタン操作
リスニング設定	⑧ ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	⑦ ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「トレイン」の順に切り替え

※1 チャプターがないｉモーションや、ムービーをｉモーション一覧画面･ムービー一覧画面の並び順で切り替えます。一覧画面から再生した場合のみ操作できます。ただし、ファイル形式がWVX、ASX、WAXのムービーはスキップされます。また、チャプターがあるｉモーションはチャプターの登録されている順でチャプターを切り替えます。

※2 早戻し中は操作できません。

- 状況によっては実行できない操作もあります。
- ムービーの横画面再生中に着信やアラーム通知があった場合、再生画面に戻ると画面表示が暗くなる場合がありますが、再生を再開してしばらくすると映像が表示されます。

ムービー再生時、一時停止時にイヤホンマイク(別売)のスイッチを使って下記の操作ができます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す
次のファイルを再生	連続2回押す
前のファイルを再生	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し

■ｉモーション再生の仕様について

ファイル形式	MP4、ASF	
符号化方式	MP4ファイル	映像：MPEG4、H.263、H.264 音声：AMR、AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus
	ASFファイル	映像：MPEG4 音声：G.726
画素数	MPEG4：VGA(640×480)以下のファイル	
	H.263：QCIF(176×144)以下のファイル	
	H.264：QVGA(320×240)以下のファイル	
拡張子	sdv、3gp、mp4、asf	

- 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

■ムービー再生の仕様について

ファイル形式	WMV、WMA、WVX、WAX、ASF、ASX		
拡張子	wmv、wma、wvx、wax、asf、asx		
コーデック	ビデオ	Windows Media Video 8～9※	
	オーディオ	Windows Media Audio 2～9	
ビットレート	映像	WMV8	768kbps
		WMV9	2Mbps
	音声		384kbps
ビデオサイズ	WMV8	CIF(352×288)以下のファイル	
	WMV9	ワイドVGA(800×480)以下のファイル	
フレームレート	30fps		

※ Windows Media Video 9の複合プロファイル(complex profile)には対応していません。

- 上記を超えるビットレートでも再生できる場合があります。
- 対応しているファイル形式であっても、ファイルによってはデータの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。
- 映像と音声どちらか一方が対応していないファイル形式であった場合、対応しているもう一方のみで再生を行う場合があります。

フォルダ一覧画面で「ｉモーション」または「ムービー」の「しおり」を選択したときは

しおりの選択画面が表示されます。iモーションの場合は「復旧しおり」または「指定しおり1・2」を選択できます。ムービーの場合は「復旧しおり」または「しおり1～9」を選択できます。しおりを選択すると、登録していた箇所からiモーション・ムービーが再生されます。

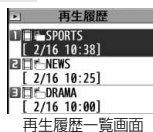
復旧しおり	iモーション・ムービー再生中に着信や各種アラーム動作があったとき、電池がなくなるとき、再生中にムービープレーヤーを終了したときなどに自動的に記憶されるしおりです。
指定しおり・しおり	あらかじめiモーション・ムービーの任意の場面に登録しておくもので、iモーションの場合は2つまで、ムービーの場合は9つまで作成できます。(P.330、P.331参照)

●「しおり」の情報を表示するにはサブメニューから「しおり情報」を選択します。
●サブメニューから「指定しおり」「しおり」を削除できます。「復旧しおり」は削除できません。
●「指定しおり」「しおり」を登録したiモーション・ムービーを削除していた場合や他のフォルダに移動した場合、ムービーのファイル名を変更していた場合は再生できません。
●しおりから再生した場合でも、ムービーによっては、冒頭からの再生となる場合があります。

フォルダ一覧画面で「再生履歴」を選択したときは

ムービーを再生すると、ファイルのURLまたは保存場所が履歴として記憶されます。30件まで記憶され、これを超えると一番古い履歴に上書きされます。再生履歴を選択すると記憶された履歴情報に基づきムービーが再生されます。

再生履歴一覧画面

●再生履歴に記憶されたムービーを削除していた場合や他のフォルダに移動した場合は再生できません。
●取得したムービーを未保存状態のままデータ取得完了の画面から再生した場合は、再生履歴に記憶されません。

お知らせ

●サーチ(早送り・早戻し)やコマ送り再生中は無音となります。サーチ(早送り・早戻し)は、iモーションを一時停止・再生中(スロー再生・早見再生も含む)に実行できます。
●iモーションの再生中にメールやメッセージR/Fなどを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。
●wvx、wax、asxの拡張子を持つファイルは、インターネット上のムービーのURLが指定されているファイルです。これらのファイルを選択した場合、指定されたURLからストリーミングもしくはダウンロード再生を行います。

iモーション一覧画面・ムービー一覧画面・再生履歴一覧画面のサブメニュー

メール添付／ブログ		
	iモードメール添付	ファイルを添付してiモーションメールを作成します。 ●📷(MAIL)を押してもiモードメールを作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
	ブログ投稿	「ブログ・メールグループ」で「 」に設定した投稿先を宛先にしてiモードメールを作成します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
iモーション貼付		
	着信音	iモーションを着信音に設定します。 ●設定された項目には「★」マークが付きます。
	待受画面	iモーションを待受画面に設定します。
iモーション情報		iモーションのタイトル、ファイル名などを表示します。
コンテンツ情報		ムービーのタイトル、ファイル名などを表示します。
赤外線送信		赤外線通信で送信します。
iC送信		iC通信で送信します。
microSDへコピー		microSDカードへコピーします。
本体へコピー		FOMA端末へコピーします。

microSDへ移動	microSDカードへ移動します。
本体へ移動	FOMA端末へ移動します。
コピー	ｉモーション･ムービーをmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。
フォルダ移動	ｉモーション･ムービーを別のフォルダに移動します。
お預かりセンターに保存	P.128参照
編集	
ｉモーション編集	P.333参照
タイトル編集	タイトルを編集します。
ファイル名編集	ファイル名を編集します。
ファイル制限	P.322参照
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
履歴情報	再生履歴の情報が表示されます。
しおり登録	再生履歴に記憶されているムービーのURL情報をしおりに登録します。しおりから再生する際は先頭から再生されます。 ●「復旧しおり」は選択できません。
説明表示	ムービーの説明を表示します。
プログラム情報	「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画のタイトルなどを表示します。
保存容量確認	保存容量（目安）／件数を表示します。
ソート	表示される順番を変更します。 ●microSDカード内のファイルはソートできません。
削除	削除します。
一覧表示切替	ムービー一覧画面の表示方法を変更します。

お知らせ

<ｉモーション貼付>
- 待受画面に設定した場合、VGA（640×480）以外のｉモーションはVGA（640×480）に拡大、または縮小されます。
- 取得元が「EX」のｉモーションは着信音や着信画面に設定できません。
- 着信音や着信画面に設定可能なｉモーションかどうかを確認するには「ｉモーション情報」参照。

<削除>
- お買い上げ時に登録されているｉモーションは削除できません。

一時停止中･再生終了時のサブメニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
チャプター一覧	ｉモーションに登録されているチャプターの一覧を表示します。チャプターを選択することによって、選択したチャプター以降から再生します。
スロー再生	ｉモーションを通常の約1/2の速度で無音で再生します。 ●スロー再生中にMENU（▶）を押すと通常再生に戻ります。
早見再生（1.25倍速）	ｉモーションを通常の約1.25倍の速度で再生します。
早見再生（2倍速）	ｉモーションを通常の約2倍の速度で再生します。
早送り	ムービーを早送り再生します。 ●早送り再生中にMENU（▶）を押すと通常再生に戻ります。
早戻し	ムービーを逆方向に早戻し再生します。 ●早戻し再生中にMENU（▶）を押すと通常再生に戻ります。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	ｉモーション･ムービーの再生を開始する位置を設定します。 ●中止する場合はCLRを押します。
画質モード設定	「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画を再生する際の画質を変更します。

サウンド効果		
	リ.マスター設定	イヤホンからの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。
	リスニング設定	イヤホンからの音にリスニングの効果を設定します。 ●「サラウンド」に設定していると、自然で立体感のある音にします。「ナチュア1･2」に設定していると、イヤホン特有の閉塞感を補完し自然な音で再生します。
	イコライザー設定	イヤホンからの音質を変更します。 ●「H.BASS1･2」に設定していると、低音を強調します。「ボイス」に設定していると、会話を聞き取りやすくします。「トレイン」に設定していると、音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
コンテンツ情報		P.329参照
しおり登録		ｉモーション･ムービーにしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。 ●「復旧しおり」は選択できません。
ｉモーション編集		P.333参照
メール添付／ブログ		
	ｉモードメール添付	P.329参照
	ブログ投稿	P.329参照
ｉモーション貼付		P.329参照
ｉモーション情報		P.329参照
赤外線送信		赤外線通信で送信します。
iC送信		iC通信で送信します。
本体へコピー		FOMA端末へコピーします。
ショートカット作成		ショートカットを作成します。
説明		ムービーの歌詞や説明を表示します。
URLコピー		インターネット上で公開されているムービーを再生中に、ムービーのURLをコピーします。 ●URLは半角512文字までコピーできます。
表示サイズ設定		ｉモーション･ムービーを本来のサイズで表示(等倍表示)するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。
全画面モード切替		ｉモーションの表示方法を切り替えます。項目を選択するごとに、縦画面での再生→画面サイズに合わせて横画面での再生→拡大して全画面での再生に切り替えられます。

お知らせ

<チャプター一覧>

- チャプター送り／戻し制限がかかっている場合、現在再生している地点より後／前のチャプターは選択できません。

<スロー再生>

- 以下のｉモーションはスロー再生できません。
  - ･ストリーミングタイプのｉモーション
  - ･データを取得しながら再生中のｉモーション
  - ･待受画面から再生したｉモーション

<早見再生>

- ｉモーションによっては、早見再生されない場合があります。
- 早見再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

<再生位置選択>

- ｉモーション･ムービーによっては、再生位置を選択できない場合があります。

<サウンド効果>

- イヤホンと接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。
- 音声形式がAMRやG.726のｉモーションの場合、サウンド効果が無効になる場合があります。

<しおり登録>

- ｉモーション･ムービーによっては、しおりを登録できない場合があります。
- ムービーによっては、一時停止した位置に関わらず、先頭が再生開始位置として登録される場合があります。

<表示サイズ設定>

- 「等倍表示」に設定しても、画面サイズを超えるｉモーション･ムービーは画面サイズに縮小されます。また、QCIF(176×144)以下のｉモーション･ムービーは、縦横2倍のサイズで表示されます。

お知らせ

＜全画面モード切替＞

●QCIF（176×144）以下のｉモーションは全画面では再生されません。

ブルーレイディスクレコーダー連携

FOMA端末とブルーレイディスクレコーダーをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続することで、ブルーレイディスクレコーダーに保存されている動画をmicroSDカードに保存して、FOMA端末で再生することができます。

●FOMA端末とブルーレイディスクレコーダーを接続する場合は、「USBモード」を「microSDモード」に設定してください。（P.363参照）
動画を転送する方法についての詳細は、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

●対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。

●ステレオイヤホンマイク（別売）を接続してステレオサウンドで動画の音声を再生できます。

1 **MENU▶データBOX▶ｉモーション・ムービー▶BD／DVDレコーダー▶ファイルを選択**

●前回再生した情報がある場合は、前回停止した箇所から再生します。TV（先頭再生）を押すと先頭から再生されます。

●ファイルの一覧画面表示中のサブメニューについては、P.329参照。

■再生時の操作

●サブメニューから操作する場合はP.330参照。

操作	ボタン操作
消音／消音解除	TV
一時停止	●（Ⅱ） ●再生するには●（▶）
音量調節	○
次のチャプターを表示	○
前のチャプターを表示	○ ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し（チャプターがある場合はチャプターの頭出し）
スキップ（送り）	再生中、一時停止中に○（1秒以上） ●約30秒後方にスキップ
スキップ（戻し）	再生中、一時停止中に○（1秒以上） ●約10秒前方にスキップ
早戻し※1	1 ●再生するには●（▶）
早送り※2	3 ●再生するには●（▶）
縦画面／横画面／全画面切替	iα（横画面） ●押すごとに表示方法を切り替え
リ．マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え

操作	ボタン操作
イコライザー設定	⑦ ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「ボイス」→「トレイン」の順に切り替え

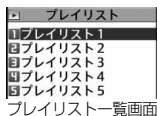
※1 10倍速で早送り中は通常再生、30倍速で早送り中は10倍速で早送りの操作になります。
※2 10倍速で早戻し中は通常再生、30倍速で早戻し中は10倍速で早戻しの操作になります。

プレイリスト

ｉモーションをプレイリストに登録して、好きな順に連続で再生できます。プレイリストは5件まで作成でき、1件あたり30件のｉモーションを登録できます。

プレイリスト登録

1 MENU▶データBOX ▶ｉモーション・ムービー ▶プレイリスト ▶プレイリスト1～5を選択

プレイリスト
1プレイリスト1
2プレイリスト2
3プレイリスト3
4プレイリスト4
5プレイリスト5

プレイリスト一覧画面

2 <1番目>～<30番目>を選択▶フォルダを選択 ▶ｉモーションを選択

3 手順2を繰り返す▶TV(完了)

●サブメニューから登録したｉモーションを解除できます。
●登録したｉモーションの順番を変更するには、サブメニューから「曲順変更」を選択し、順番を変更したいｉモーションを選択します。つづいて変更先を選択します。

お知らせ
●部分保存したｉモーションはプレイリストに登録できません。

プレイリスト再生

1 プレイリスト一覧画面 ▶プレイリストを選んでTV(再生)

●前回再生した情報がある場合は、「続きから再生」または「始めから再生」を選択します。

プレイリスト一覧画面のサブメニュー

再生	再生します。
プレイリスト編集	プレイリストを編集します。
プレイリスト解除	プレイリストに登録されているｉモーションをすべて解除します。
プレイリスト名編集	プレイリスト名を編集します。

ｉモーション編集

ｉモーションを編集します。編集したｉモーションは、編集元のｉモーションがあるフォルダに保存されます。

1 ｉモーション一覧画面▶MENU(サブメニュー) ▶編集▶ｉモーション編集
または
ｉモーション一時停止中・再生終了時 ▶MENU(サブメニュー)▶ｉモーション編集

●Ⓞで音量を調節できます。

ｉモーション編集画面

2 MENU(サブメニュー)▶ｉモーションを編集
操作方法についてはP.334をご覧ください。

データ管理

3 ●(保存)を押す

●編集したｉモーションを保存しない場合は、CLRまたは終話を押します。

4 YES

●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。

■ｉモーション編集中･デモ再生中の操作

操作	ボタン操作
早見再生	MENU ●押すごとに「通常再生」→「1.25倍速」→「2倍速」の順に切り替え
一時停止	●(❚❚) ●再生するには●(▶)
早送り	○を押し続ける
早戻し	○を押し続ける
コマ送り	一時停止中に○またはTV(コマ送)
コマ戻し	一時停止中に○
音量調節	○

●状況によっては実行できない操作もあります。

お知らせ

●以下のｉモーションは編集できません。
･サイトもしくはｉモードメールから取得した「ファイル制限」、「再生制限」がありのファイル
･VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)、QVGA(320×240)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)以外のファイル
･microSDカードに保存されているファイル
●ｉモーションによっては編集できない場合があります。
●ｉモーション編集により、画質が劣化したりファイルサイズが増減することがあります。
●編集中に電話がかかってきた場合や電池がなくなった場合は、編集内容を保存するかどうかの確認画面が表示されることがあります。

ｉモーション編集画面のサブメニュー

ｉモーション切り出し	ｉモーションから任意の範囲を切り出します。 ▶○で開始フレームを表示▶TV(始点) 開始フレームが設定され、ｉモーションが再生されます。 ▶切り出したいところまで再生したら●(❚❚) ｉモーションの再生が一時停止します。 ▶○で終了フレームを表示▶TV(終点) 切り出した範囲が再生されます。 ●ファイルサイズが約10Mバイトになると自動的に終了フレームが設定されます。 ▶●(確定) ●TV(デモ)を押すとデモ再生され、編集したｉモーションを確認できます。
ピクチャ切り出し	静止画を切り出して保存します。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。
メールサイズ切り出し	ｉモーションをｉモードメールに添付可能なサイズに切り出します。 ●「メールサイズ(小)」を選択すると、約500Kバイト以下のサイズに切り出します。「メールサイズ」を選択すると、約2048Kバイト以下のサイズに切り出します。 ▶○で開始フレームを表示▶TV(始点) ｉモーションが再生されます。 約500Kバイトまたは2048Kバイトのサイズ、または再生終了時点になると、自動的に再生が停止します。 ▶●(確定) ●TV(デモ)を押すとデモ再生され、編集したｉモーションを確認できます。
メール添付／ブログ	
ｉモードメール添付	P.329参照
ブログ投稿	P.329参照

データ管理

ファイル制限	P.322参照

お知らせ

<ｉモーション切り出し>

- ｉモーション切り出しを行うと、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

ｉモーション編集中のサブメニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で無音で再生します。
早見再生(1.25倍速)	通常の約1.25倍の速度で再生します。
早見再生(2倍速)	通常の約2倍の速度で再生します。
始点	ｉモーション切り出し、メールサイズ切り出しの開始フレームを設定します。
終点	ｉモーション切り出しの終了フレームを設定します。
確定	ピクチャ切り出しのフレームを設定します。
停止	停止します。

ピクチャアルバム

FOMA端末内またはmicroSDカード内に保存したJPEG形式の静止画やMP4形式の動画を表示できます。表示中の静止画から人物の顔を検出して拡大したり、検出した顔に補正効果をかけることもできます。また、エフェクト機能を利用して表現力豊かなスライドショーを再生できます。

- 動画では一部利用できない機能があります。

1 **MENU▶データBOX▶マイピクチャ▶ピクチャアルバム**
または
MENU▶データBOX▶ｉモーション・ムービー▶ピクチャアルバム

ピクチャアルバムが起動して、フォルダの一覧画面が表示されます。

- カメラメニューで「ピクチャアルバム」を選択した場合などは、「カメラ」フォルダ内の静止画と動画が混在したファイルの一覧画面が表示されます。

2 **フォルダを選択▶ファイルを選択**

- 動画には「🎞」が付いています。ファイルを選択して●(再生)を押すと、動画を再生できます。
- ファイルの一覧画面で📷(日付別表示)を押すと、ファイルの撮影日時の情報をもとに、1ヶ月単位で日付ごとに分けて表示します。日付を選択すると、選択した日付に撮影されたファイルの一覧が表示されます。
- ファイル表示中に◎を押すと、一覧画面の並び順でファイルを切り替えます。
- ファイル表示中にiαを押すごとに、アイコンの表示／非表示を切り替えます。
- カメラ機能からピクチャアルバムを起動した場合、✉(📷)を押すとピクチャアルバムを終了してカメラ機能に戻ります。
- ピクチャアルバムを起動して、はじめにファイルの一覧画面を表示したときに、静止画のアップロードに関する注意の画面が表示された場合は「OK」を選択します。「以後確認しない」にチェックを付けると、以後同様の画面は表示されません。

■ピクチャアルバムでの静止画表示の仕様について

ファイル形式	JPEG※1、MPO※2
拡張子	jpg、mpo
画素数	13M(3120×4160)以下のファイル※3
ファイルサイズ	8Mバイト以下の静止画

※1 表示できるJPEGファイルの種類は、Exif／CIFF／JFIF形式のBaselineとProgressiveです。
※2 2Dの静止画として表示されます。
※3 上記を超える画素数でも表示できる場合があります。
●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

■ピクチャアルバムでの動画再生の仕様について

ファイル形式	MP4
符号化方式	映像：MPEG4、H.263、H.264 音声：AMR、AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus
画素数	MPEG4：VGA(640×480)以下のファイル H.263：QCIF(176×144)以下のファイル H.264 本体：QVGA(320×240)以下のファイル microSDカード：VGA(640×480)以下のファイル
ファイルサイズ	本体：50Mバイト以下の動画 microSDカード：2Gバイト以下の動画

●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

お知らせ

●ピクチャアルバムでは、以下のフォルダ内のファイルを表示できます。
静止画：「カメラ」フォルダ、「ｉモード」フォルダ、「プリインストール」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ、「DCIM」フォルダ(microSD)
動画　：「カメラ」フォルダ、「ｉモード」フォルダ、「プリインストール」フォルダ、ユーザフォルダ、「DCIM」フォルダ(microSD)
●静止画によっては、顔を検出できない場合や顔ではない場所を検出する場合があります。また、顔ズーム機能とビューティプラスでは検出する顔が異なる場合があります。

ピクチャアルバム起動中のサブメニュー

●ファイルの一覧画面、ファイル表示中のサブメニューでは、MENU(＜Tab)、📷(Tab＞)を押してタブを切り替えることができます。フォルダの一覧画面ではタブは表示されません。✉(▲ページ)、iα(▼ページ)を押すと、ページごとにメニューを切り替えます。

ファイル操作

ピクチャ編集

超解像

等倍補正	画像サイズがQCIF(144×176)から3M(1536×2048)までの静止画を、画像サイズはそのままでより高画質になるように補正します。 編集した静止画は元の静止画とは別の静止画として保存します。 ●●(比較)を押すと、元の静止画を表示できます。●(戻る)またはCLRを押すと戻ります。
待受拡大	画像サイズがQCIF(144×176)以上VGA(480×640)未満の静止画を、画質を落とさずに縦横比を保ったまま画像サイズを待受(480×854)を超えない大きさにまで拡大します。 編集した静止画は元の静止画とは別の静止画として保存します。
プリント拡大	画像サイズがVGA(480×640)以上2M(1200×1600)未満の静止画を、高画質でプリントできるように画質を落とさずに縦横比を保ったまま画像サイズを1200×1920ドットを超えない大きさにまで拡大します。 編集した静止画は元の静止画とは別の静止画として保存します。

データ管理

項目	説明
暗部補正	暗く写った静止画を、より明るく鮮明な静止画になるように補正します。画像サイズがQCIF(144×176)から13M(3120×4160)までの静止画を編集できますが、3M(1536×2048)より大きい静止画は3M(1536×2048)以下に縮小されます。 編集した静止画は元の静止画とは別の静止画として保存します。
ビューティプラス	表示中の静止画で人物の顔が検出できる場合、検出した顔の目を大きくしたり、美肌や美白などの補正を行います。画像サイズが13M(3120×4160)までの静止画を編集できますが、待受(480×854)より大きい静止画は待受(480×854)以下に縮小されます。 ●補正後は、元の静止画とは別の静止画として保存されます。 ●複数の顔を検出している場合は、MENU(次の顔)を押すと次に補正する顔を選択できます。 ●●(比較)を押すと、元の静止画を表示できます。●(戻る)またはCLRを押すと戻ります。
お気入登録／お気入解除	お気に入りに登録、または、お気に入りから解除します。お気に入りに登録すると「★」が付きます。
ピクチャ貼付	P.321参照
ラベル・メモ	ファイルにラベルを設定します。ラベルを設定すると、「ピクチャ分類」によりファイルを分類して表示したり、ファイル表示中に表示させるメモを入力したりできます。ラベルを設定すると、ファイル表示中に「 」が付きます。ラベルを設定し、メモを入力すると「 」が付きます。 ●1つのファイルに複数のラベルを設定できます。 ●iα(全解除)を押すとラベルの設定を解除します。
コピー	ファイルをコピーします。
移動	ファイルを移動します。
ズーム	200%に拡大して表示します。 ●ファイル表示中に●(ズーム)を押しても200%に拡大して表示します。 ●*、#を押したり、スピードセレクターを回転させると、ズーム倍率を調節できます。 ●拡大した静止画をスクロールするにはOを押します。 ●ズーム中に●(戻る)またはCLRを押すと、ズームを解除します。
顔ズーム	再生中のファイルで人物の顔を検出できる場合、検出した顔をズーム表示します。複数の顔を検出した場合は、「顔ズーム」を選択するごとに別の顔をズーム表示します。
回転	ファイルを時計回りに90度回転します。
削除	削除します。
ネット連携	
メール添付	ファイルを添付し、i モードメールを作成します。 ●📷(✉)を押してもｉモードメールを作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
ブログ投稿	「ブログ･メールグループ」で「 」に設定した投稿先を宛先にしてｉモードメールを作成します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
フォトパネル	「ブログ･メールグループ」で「 」に設定したデジタルフォトフレームの送信先を宛先にしてｉモードメールを作成します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
表示／設定	
スライドショー	P.339参照

お気に入り	お気に入り登録しているファイルの一覧を表示します。 ●(戻る)を押すとすべてのファイルを表示します。
ピクチャ分類	カメラのデジカメモードで撮影したファイルを、ファイルの情報をもとに分類表示します。 ●メモ情報以外の情報は撮影した際に付与され、変更できません。また、情報がないファイルは表示されません。 ●「シーン」の場合、静止画の内容によっては複数のシーンで表示される場合があります。 ●動画は「動画」以外の分類では表示されません。 ●(分類解除)を押すと分類状態を解除して、すべてのファイルを表示します。
フォルダ変更	microSDカード内の別のフォルダを表示します。 ●画面に「フォルダ変更」が表示されているときは、(フォルダ変更)を押しても切り替えることができます。
microSD	microSDカード内のファイルの一覧画面に切り替えます。 ●画面に「microSD」が表示されているときは、(microSD)を押しても切り替えることができます。
本体	FOMA端末内のファイルの一覧画面に切り替えます。 ●画面に「本体」が表示されているときは、(本体)を押しても切り替えることができます。
ガイド	操作ガイドを表示します。 ●画面に「ガイド」が表示されているときは、(ガイド)を押すと操作ガイドを表示します。
表示設定	ファイル表示中に「ラベル･メモ」で入力したメモを表示させるかどうかを設定します。 ●「ON」に設定していても、アイコンを非表示にするとメモも非表示になります。
エフェクト	ファイル表示中にファイルを切り替えたときの画面表示を設定します。

お知らせ

<ピクチャ編集>

●表示方向を切り替えた静止画を表示中に「ピクチャ編集」を行うと、元の表示方向に戻ります。
ただし、表示方向を切り替えていた場合のほうが、大きく表示できる場合はそのままの表示方向で表示されます。表示方向を切り替えたまま編集し、保存した場合でも、静止画の縦横情報は変更されません。

●静止画によってはピクチャ編集できなかったり、編集の効果が現れにくいものがあります。

<コピー>

●FOMA端末内のファイルをFOMA端末内のフォルダへコピーすることはできません。

<移動>

●FOMA端末内のファイルをmicroSDカードへ移動したり、microSDカード内のファイルをFOMA端末へ移動したりすることはできません。

<ズーム>

●100%未満に縮小して表示することはできません。

<ピクチャ分類>

●保存されているファイルの数によっては、分類に時間がかかる場合があります。また、分類した結果、すべてのファイルが分類されないこともあります。

●分類後にピクチャ編集を行う場合は、分類を解除するかどうかの確認画面が表示されます。また、ピクチャ編集を行った静止画は、分類できないことがあります。

●分類の結果は、実際に撮影したファイルの内容とは異なる場合があります。

スライドショー

スライドショーを再生します。動画データの場合は、プレビュー画像が表示されます。待受画面表示中に充電を開始したときに、スライドショーを再生することもできます。

複数のフォルダ内のファイルを表示する場合

1 フォルダの一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶スライドショー

「再生フォルダ」(P.339参照)で選択されているフォルダ内のファイルのスライドショーが再生されます。

- 「充電連動」を「ON」に設定しているときは、待受画面で充電を開始しても、複数のフォルダ内のファイルを表示できます。
- フォルダ内に再生可能なファイルがないときやフォルダセキュリティが設定されているときは、設定をやり直すかどうかの確認画面が表示される場合があります。設定をやり直す場合は「再生フォルダ選択」または「表示設定」(P.339参照)を選択します。

1つのフォルダ内のファイルを表示する場合

1 ファイルの一覧画面・ファイル表示中▶MENU(サブメニュー)▶表示/設定▶スライドショー

- ●(II)を押すとスライドショーが一時停止します。再生を再開するには●(再生)を押します。
- 再生中や一時停止中に◎を押すと静止画を切り替えます。

お知らせ

- 電池残量が少ない状態でスライドショーを再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、再生するかどうかの確認画面が表示されます。

スライドショー一時停止中のサブメニュー

◀II		前のファイルを表示します。 ●「ランダム」が「ON」の場合は、並べ替えられた順番で表示します。 ●前のファイルが表示中のファイルと違うフォルダ内のファイルの場合は、前のファイルを表示できません。
▶		スライドショーを再開します。
II▶		次のファイルを表示します。 ●「ランダム」が「ON」の場合は、並べ替えられた順番で表示します。
ピクチャ分類		P.338参照
メール添付		P.337参照
ブログ投稿		P.337参照
設定		
	再生フォルダ	複数のフォルダ内のファイルを表示する場合に表示するフォルダを選択します。 ●静止画と動画それぞれ12件まで選択できます。1件も選択しない場合は、すべてのフォルダ内のファイルを表示します。
	表示設定	スライドショーで表示するファイルの種別を設定します。
	再生時間	スライドショー再生中にファイルが切り替わる時間を設定します。
	エフェクト	ファイルが切り替わるときの画面表示を設定します。 ●本機能の設定に関わらず、別のフォルダ内のファイルを表示するときや、「リピート」でスライドショーを再開するときは、「Normal」のエフェクトになります。
	顔ズーム	スライドショー再生中のファイルに顔を検出したときに、顔にズームするかどうかを設定します。
	ランダム	スライドショーの再生順をランダムにするかどうかを設定します。

	リピート	スライドショーが終了後に再びスライドショーを開始するかどうかを設定します。
	アイコン表示	スライドショー再生中のアイコンの表示方法を設定します。 ●スライドショー再生中は[iα]（アイコン）を押すごとに「アイコン」→「時計」→「OFF」の順に切り替わります。
	時計位置	スライドショー再生中の時計の表示位置を設定します。 ●中央に設定した場合は、西暦、月、日、曜日も表示されます。
	レジューム設定	複数のフォルダ内のファイルを表示する場合に、前回再生時に終了したときのファイルからスライドショーを再生するかどうかを設定します。 ●1つのフォルダ内のファイルを表示する場合は、本設定は無効です。
	充電連動	待受画面で充電を開始したときに、スライドショーを開始するかどうかを設定します。
終了		スライドショーを終了します。

ビデオプレーヤー

microSDカード内に保存したビデオを再生します。

●ステレオイヤホンマイク（別売）を接続してステレオサウンドでビデオの音声を再生できます。

1 [MENU]▶データBOX▶ワンセグ▶ビデオ▶ファイルを選択

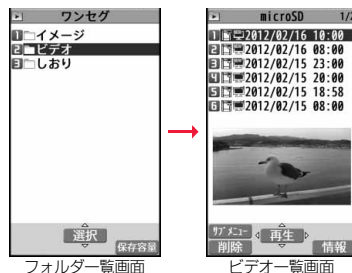
●前回再生した情報がある場合は、前回停止した箇所から再生します。[TV]（先頭再生）を押すと先頭から再生されます。

●ビデオ一覧画面で分割ファイルを含むビデオを選択した場合、分割録画ビデオの一覧から再生するビデオを選択します。

●再生時は番組名やタイムバー（目安）などが表示されます。

フォルダ一覧画面

→

ビデオ一覧画面

■ビデオ再生時の操作

●サブメニューから操作する場合はP.342参照。

操作	ボタン操作
早見再生※1	[MENU] ●押すごとに「通常再生」→「1.25倍速」→「2倍速」→「あらすじ再生」の順に切り替え
消音／消音解除	[TV]
一時停止※1	[●]（[II]） ●再生するには[●]（[▶]）
コマ送り再生※1	一時停止中に[TV]（コマ送） ●押すごとにコマ送り

データ管理

操作	ボタン操作
音量調節※1	(ボタン)
早送り※1	(ボタン) ●再生するには(ボタン)(▶)
早戻し※1	(ボタン) ●再生するには(ボタン)(▶)
スキップ(送り)※1	再生中、一時停止中に(ボタン)(1秒以上)または(#) ●約30秒後方にスキップ
スキップ(戻し)※1	再生中、一時停止中に(ボタン)(1秒以上)または(＊) ●約10秒前方にスキップ
番組名表示※2	(ボタン) ●タイムバーなども表示 ●ボタン操作を行ったときにも表示
映像／字幕表示切替	番組名表示中に(ボタン) ●横画面表示では押すごとにアイコン表示のON／OFFと「横画面字幕表示設定」の設定を切り替え ●横画面表示では字幕の有無に関わらず、タイムバーの表示位置も切り替え
表示方向切替／全画面切替	(ボタン) ●映像モードでは押すごとに表示方向を切り替え ●データ放送モードでは押すごとに半画面表示／全画面表示を切り替え
映像／データ放送切替	(ボタン)※3 ●押すごとに映像モードとデータ放送モードを切り替え

※1 データ放送モードでは操作できません。
※2 スキップ、早送り、早戻し、再生位置選択の直後に操作した場合、「ビデオ情報」に保存されている番組名が表示される場合があります。
※3 横画面表示中は番組名表示の操作になります。

ビデオのフォルダ一覧画面で「しおり」を選択したときは

しおりの選択画面が表示されます。「復旧しおり」または「指定しおり1･2」を選択すると、登録していた箇所からビデオが再生されます。

復旧しおり	ビデオ再生中に着信や各種アラーム動作があったとき、電池がなくなるときなどに自動的に記憶されるしおりです。
指定しおり	あらかじめビデオの任意の場面に登録しておくもので、2つまで作成できます。(P.342参照)

●「指定しおり」を削除するにはサブメニューから「削除」を選択します。「復旧しおり」は削除できません。
●しおりを登録したビデオを削除していた場合は再生できません。

お知らせ

●コマ送り再生中／スキップ中は無音です。また、字幕は表示されません。
●一時停止中、コマ送り再生中、スロー再生中、早見再生中は「サウンド設定」を「ON」にしていても効果音は鳴りません。
●ワンセグ視聴中やビデオ再生中にデータ放送の確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択している場合は、自動的にデータ放送の情報が更新され、パケット通信料がかかることがあります。(P.255参照)
●一時停止中、再生終了時はデータ放送のリンクなどを選択しても操作できない場合があります。
●横画面ではデータ放送を表示できません。
●電波状態が悪いため正しく録画できなかった部分は表示されず、正しく再生できる位置までスキップされます。その際、数秒間映像が表示されなかったり、乱れたりする場合があります。また、タイムバーが正しく表示されない場合があります。
●電池残量が少ない状態で、ビデオを再生しようとした場合は、電池残量警告音が鳴り、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、電池残量警告音が鳴り、終了するかどうかの確認画面が表示されます。電池残量警告音は、「ボタン確認音」の設定に関わらず鳴ります。
●編集機能が搭載された携帯電話やパソコンなどを利用してビデオを編集(分割)した場合、FOMA端末では正しく再生できないことがあります。

ビデオ一覧画面のサブメニュー

タイトル編集	タイトルを編集します。

ビデオ情報	ビデオの番組名、チャンネル名などを表示します。 ●[i α]（[情報]）を押してもビデオの番組名、チャンネル名などを表示できます。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。
削除	削除します。 ●[✉]（[削除]）を押しても削除できます。
保存容量確認	保存容量（目安）を表示します。
一覧表示切替	ビデオ一覧画面の表示方法を変更します。

お知らせ

＜削除＞

- 録画時間の長いビデオは、削除に時間がかかることがあります。その場合、電池残量が十分にあることを確認してから行ってください。
- 他の機器でプロテクトがかけられたビデオは「1件削除」でのみ削除できます。
- FOMA端末に対応していないデータが含まれているビデオは削除できないことがあります。

＜一覧表示切替＞

- 電波状態が悪いため正しく録画できなかったビデオは、画像が表示されない場合があります。

一時停止中・再生終了時のサブメニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で無音で再生します。 ●スロー再生中に[MENU]（[▶]）を押すと通常再生に戻ります。
早見再生	早い速度で再生します。
早送り	早送り再生します。 ●早送り再生中に[●]（[▶]）を押すと通常再生に戻ります。
早戻し	逆方向に早戻し再生します。 ●早戻し再生中に[●]（[▶]）を押すと通常再生に戻ります。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	再生を開始する位置を設定します。 ●中止する場合は[CLR]を押します。
しおり登録	ビデオにしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。
ビデオ情報	P.342参照
映像／字幕表示	P.254参照
映像／データ放送切替 プレーヤー起動時 映像モード	縦画面で再生中に、映像モードとデータ放送モードを切り替えます。
アイコン常時表示設定	P.254参照
画質モード設定	P.254参照
音声設定	
サウンド効果	
自動音量設定	P.255参照
リ.マスター設定	P.255参照
リスニング設定	P.255参照
イコライザー設定	P.255参照
主／副音声設定 プレーヤー起動時 主音声	主音声と副音声を切り替えます。
データ放送操作	
コンテンツ再読み込み	表示中のデータ放送サイトを再読み込みします。 ●サイトによっては、入力したデータを再度送信するかどうかの確認画面が表示されます。

	証明書表示	P.187参照
	画像表示設定	P.199参照
	サウンド設定	P.255参照
	確認表示設定リセット	P.255参照
データ放送へ戻る		データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送に戻ります。
横画面字幕表示		P.254参照

お知らせ

<早見再生>
- ビデオによっては、早見再生されない場合があります。
- 早見再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

<再生位置選択>
- ビデオによっては、再生位置を選択できない場合があります。
- 電波状態が悪いため正しく録画できなかった位置を選択した場合は、正しく再生できる位置まで移動します。

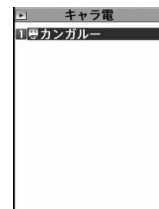
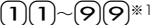
キャラ電

キャラ電とは、テレビ電話画像として相手に送れるお客様の分身キャラクタのことです。
キャラ電プレーヤーで再生、撮影することもできます。

- お買い上げ時に登録されているキャラ電は削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.196参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるドコモminiUIMカードを使用中は、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。
- キャラ電によっては、送話口に向かって話した音声に合わせて自動で動くものもあります。

キャラ電プレーヤー

登録されているキャラ電を表示します。
ボタン操作によりキャラ電にアクションを付けることができます。

1 MENU▶データBOX▶キャラ電▶キャラ電を選択

キャラ電一覧画面　キャラ電表示画面

■キャラ電操作のボタン割当

「アクション一覧」で操作できるアクションを確認できます。

●操作できるアクション数はキャラ電により異なります。

ボタン操作	内容
1～9 #1～#9※1※2 （全体アクションモード時）	全体アクション：身体全体でアクションを表現します。
11～99※1 （パーツアクションモード時）	パーツアクション：身体の一部でアクションを表現します。
0	実行中のアクションを中断します。
*	「アクション一覧」を表示します。
TV	全体アクションモードとパーツアクションモードを切り替えます。

※1 お買い上げ時に登録されているキャラ電では利用できません。

※2 1桁目の#を取り消すにはもう一度#を押します。

キャラ電一覧画面のサブメニュー

キャラ電発信	P.74参照
代替画像設定	P.74参照
キャラ電撮影	P.345参照
タイトル編集	タイトルを編集します。
キャラ電情報	キャラ電のタイトル、ファイル名などを表示します。
保存容量確認	保存容量（目安）を表示します。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
画像表示設定	キャラ電を等倍で表示するか画面サイズで表示するかを設定します。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。
削除	削除します。

お知らせ

<キャラ電情報>

●「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影により作成された静止画・動画のメールへの添付、microSDカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

<削除>

●代替画像に設定している「カンガルー」以外のキャラ電を削除した場合、代替画像は「カンガルー」に設定されます。「カンガルー」を削除した場合、「内蔵」の代替画像を送信します。

キャラ電表示画面のサブメニュー

キャラ電発信	P.74参照
代替画像設定	P.74参照
キャラ電撮影	P.345参照
キャラ電切替	キャラ電を切り替えます。 キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●アクションを選択するとアクションを実行でき、TV（詳細）を押すとアクションの詳細を確認できます。
アクション切替 キャラ電表示時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード（ ）またはパーツアクションモード（ ）に切り替えます。 ●TVを押しても切り替えることができます。
キャラ電情報	P.344参照
画像表示設定	P.344参照

キャラ電撮影

キャラ電を静止画や動画として撮影します。

1 キャラ電一覧画面・キャラ電表示画面▶MENU(サブメニュー)▶キャラ電撮影

キャラ電撮影画面

静止画撮影

●保存した静止画を表示するには、P.320参照。

1 キャラ電撮影画面で「📷」を表示して●(撮影)を押す

表示中のキャラ電の静止画を撮影します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。
●「🎞」が表示されているときはサブメニューから「フォトモード」を選択します。

2 ●(保存)を押す

撮影した静止画を「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダに保存します。

動画撮影

●保存した動画を再生するには、P.327参照。

1 キャラ電撮影画面で「🎞」を表示して●(撮影)を押す

表示中のキャラ電の録画を開始します。
●「📷」が表示されているときはサブメニューから「ムービーモード」を選択します。
●「撮影種別設定」が「映像＋音声」に設定されている場合は「🎞」が表示され、音声も録音されます。

2 ●(終了)を押す

録画を終了します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

3 ●(保存)を押す

撮影した動画を「ｉモーション・ムービー」の「カメラ」フォルダに保存します。

お知らせ

●動画撮影では、画像サイズはQCIF(176×144)に固定されます。
●マナーモード中や「着信音量」の「電話」が「消去」に設定されている場合は、シャッター音は鳴りません。

キャラ電撮影画面のサブメニュー

キャラ電切替	P.344参照
代替画像設定	P.74参照
アクション一覧	P.344参照
アクション切替	P.344参照
画像表示設定	P.344参照
ムービーモード・フォトモード	撮影モードを切り替えます。
画像サイズ選択	キャラ電の静止画を撮影、保存する際の画像サイズを設定します。フォトモード時のみ設定できます。

撮影種別設定	キャラ電の動画を撮影、保存する際の映像･音声の有無を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。
動画保存設定	キャラ電の動画を撮影、保存する際の画質を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ●「時間優先」に設定していると、標準よりも長時間の動画を保存します。「動き優先」に設定していると、スムーズな動きで保存します。 ●「画質優先」や「動き優先」に設定していると、「標準」に設定しているときより撮影時間が短くなります。
画像保存設定	キャラ電の静止画を撮影、保存する際の画質を設定します。フォトモード時のみ設定できます。
ファイルサイズ設定	キャラ電の動画を撮影、保存する際のファイルサイズを設定します。ムービーモード時のみ設定できます。

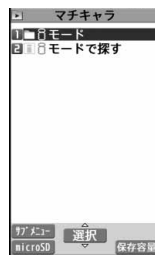
キャラ電撮影のポストビュー画面のサブメニュー

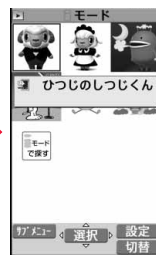
メール作成	撮影したキャラ電を添付または挿入し、iモードメール･デコメール®を作成します。 ●フォトモードのポストビュー画面から操作した場合は、「画像添付」でiモードメールを作成するか、「画像挿入」でデコメール®を作成するかを選択します。 「画像サイズ選択」を「QCIF(176×144)」に設定して撮影した静止画を「画像挿入」する場合、「そのまま挿入」または「SubQCIF縮小挿入」を選択します。 ●[カメラ/TV]([MAIL])を押してもメール作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
再生確認	撮影した動画を確認します。

マチキャラ

●お買い上げ時に登録されているマチキャラは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.196参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるドコモminiUIMカードを使用中は、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。
●マチキャラは自動または手動でアップデートできます。
自動アップデートについては、P.109参照。
●iコンシェル未契約でもマチキャラのアップデートはできます。ただし、一部のマチキャラ(ひつじのしつじくん)はiコンシェル契約が必要です。

1 **[MENU]▶データBOX▶マチキャラ▶フォルダを選択▶マチキャラを選択**

●フォルダ一覧画面で[メール]を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
●フォルダ一覧画面のサブメニューはP.366参照。
●マチキャラ一覧画面で[iα]([切替])を押すごとに表示方法を変更します。
●「iモードで探す」を選択した場合はP.196参照。

フォルダ一覧画面

→

マチキャラ一覧画面

「ひつじのしつじくん®」
「メイドのメイちゃん®」
「セイリアン」

マチキャラ一覧画面のサブメニュー

編集		
	タイトル編集	タイトルを編集します。
	タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。
マチキャラ設定		マチキャラを設定します。(P.109「表示設定」参照) ●📷(設定)を押してもマチキャラ設定できます。 ●microSDカード内のマチキャラはマチキャラ設定できません。
マチキャラ解除		設定中のマチキャラを解除します。
マチキャラ情報		マチキャラのタイトル、ファイル名などを表示します。
手動アップデート		手動でマチキャラをアップデートします。
一括情報リセット		マチキャラに含まれる情報をリセットします。(P.109参照)
microSDへ移動		microSDカードへ移動します。
本体へ移動		FOMA端末へ移動します。
フォルダ移動		マチキャラを別のフォルダに移動します。
保存容量確認		保存容量(目安)/件数を表示します。
ソート		表示される順番を変更します。 ●microSDカード内のファイルはソートできません。
削除		削除します。

お知らせ

<タイトル編集>

●microSDカード内では、「編集」は表示されずに「タイトル編集」を選択する操作となります。

お知らせ

<マチキャラ設定>

●プリインストールマチキャラの「まめはかせ」に設定している場合は、以下の期間のみ違うバージョンで表示されます。

・2011年/2012年の11月20日~12月25日(サンタバージョン)

●プリインストールマチキャラの「スヌーピー Musicians」に設定している場合は、以下の期間のみ違うバージョンで表示されます。

・お買い上げ時~2011年の12月25日と、2012年の11月20日~12月25日(クリスマスバージョン)

・2012年/2013年の1月15日~2月14日(バレンタインバージョン)

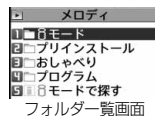
メロディプレーヤー

1 MENU▶データBOX▶メロディ

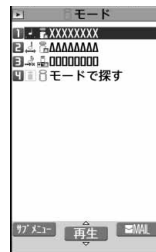
●フォルダ一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。

●フォルダ一覧画面のサブメニューはP.366参照。

メロディ
1 iモード
2 プリインストール
3 おしゃべり
4 プログラム
5 iモードで探す

フォルダ一覧画面

2 フォルダを選択▶メロディを選択

●他の機能でフォルダやメロディを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやメロディがあります。また、メロディ選択中は確認のためにメロディが再生される場合や、📷(デモ)を押してメロディを再生できる場合があります。

●「iモードで探す」を選択した場合はP.196参照。

メロディ一覧画面

→

メロディ再生画面

データ管理

プログラム再生

プログラム編集で選択したメロディを繰り返し再生します。

1 MENU▶データBOX▶メロディ▶プログラム

■メロディ再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	●(停止)、発信、0～9、＊、＃、カメラ※1、メール、iαppli
音量調節	上下
次のファイルを再生※2	右
前のファイルを再生※2	左

※1 メールに添付できないメロディの場合のみ、停止します。
※2 メロディ一覧画面から再生した場合に有効です。

お知らせ

- メロディは「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定されていると、「レベル2」で再生されます。ただし、メロディ選択中に再生されるメロディの場合は鳴りません。
- 再生中に音量を変更しても、メロディプレーヤーを終了すると「着信音量」の「電話」で設定されている音量に戻ります。

メロディ一覧画面のサブメニュー

メロディ再生		再生します。
ｉモードメール添付		メロディを添付し、ｉモードメールを作成します。 ●カメラ(MAIL)を押してもｉモードメールを作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
着信音設定		着信音を設定します。 ●設定された項目には「★」マークが付きます。
メロディ情報		メロディのタイトル、ファイル名などを表示します。
移動／コピー		
	フォルダ移動	メロディを別のフォルダに移動します。
	microSDへ移動	microSDカードへ移動します。
	microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
	お預かりセンターに保存	P.128参照
本体へコピー		FOMA端末へコピーします。
コピー		microSDカード内のメロディをmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。
本体へ移動		FOMA端末へ移動します。
編集		
	タイトル編集	タイトルを編集します。
	ファイル名編集	ファイル名を編集します。 ●記号は「.」、「-」、「_」のみ入力できます。
	ファイル制限	選択したメロディのファイル制限を設定します。ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。
	タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。
ソート		表示される順番を変更します。 ●microSDカード内のファイルはソートできません。
ショートカット作成		ショートカットを作成します。
赤外線／iC送信		
	赤外線送信	赤外線通信で送信します。
	iC送信	iC通信で送信します。
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。
削除		削除します。

お知らせ

<メロディ情報>
- メロディ情報のファイル制限が「なし」でも、iモードメールに添付できないことがあります。

<フォルダ移動>
- microSDカード内では、「移動／コピー」は表示されずに「フォルダ移動」を選択する操作となります。

<タイトル編集>
- microSDカードの「移行可能コンテンツ」フォルダでは「編集」は表示されずに「タイトル編集」を選択する操作となります。

<ファイル名編集>
- 取得元アイコンが「 」や「 」で、「 」や「 」のアイコンが表示されているメロディはファイル名を変更できません。
- 一部の文字や記号はファイル名に使用できません。

<ファイル制限>
- 取得元アイコンが「 」のメロディにのみファイル制限を設定できます。
- ファイル制限を設定することによって100Kバイトを超える場合、ファイル制限を設定できません。
- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。

<削除>
- 他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。(「スケジュール」「視聴予約」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。)
- お買い上げ時に登録されているメロディは削除できません。

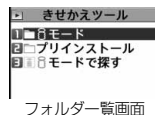
メロディ再生画面のサブメニュー

iモードメール添付	P.348参照
着信音設定	P.348参照
メロディ情報	P.348参照
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
本体へコピー	FOMA端末へコピーします。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
ポイント再生・フルコーラス再生	メロディの再生開始位置を一時的に切り替えます。

きせかえツール

- お買い上げ時に登録されているきせかえツールは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.196参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるドコモminiUIMカードを使用中は、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。

1 MENU▶(きせかえ)
- フォルダ一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- フォルダ一覧画面のサブメニューはP.366参照。

フォルダ一覧画面

2 **フォルダを選択▶きせかえツールを選択**

きせかえツール詳細画面で項目を反転／選択すると、それぞれの設定内容がデモ再生されます。
- きせかえツール一覧画面で i α(切替)を押すごとに表示方法を変更します。
- 「iモードで探す」を選択した場合はP.196参照。

きせかえツール一覧画面　きせかえツール詳細画面

お知らせ
- 時計表示はデモ再生できません。

きせかえツール一覧画面・詳細画面のサブメニュー

一括設定	きせかえツールを一括で設定します。(P.108参照) ●📷(一括設定)を押しても一括設定できます。 ●microSDカード内のきせかえツールは一括設定できません。
ファイル情報	きせかえツールのタイトル、ファイル名などを表示します。
編集	
タイトル編集	タイトルを編集します。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。
microSDへ移動	microSDカードへ移動します。
本体へ移動	FOMA端末へ移動します。
フォルダ移動	きせかえツールを別のフォルダに移動します。
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート	表示される順番を変更します。 ●microSDカード内のファイルはソートできません。
削除	削除します。

お知らせ

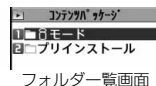
<タイトル編集>
- microSDカード内では、「編集」は表示されずに「タイトル編集」を選択する操作となります。

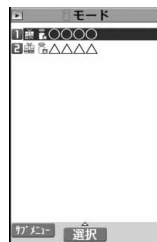
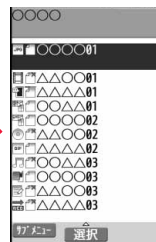
コンテンツパッケージ

コンテンツパッケージ内の静止画や動画などのコンテンツを表示／再生します。
保存していないコンテンツを保存することもできます。

- お買い上げ時に登録されているコンテンツパッケージは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.196参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるドコモminiUIMカードを使用中は、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。

1 **MENU▶データBOX▶コンテンツパッケージ**

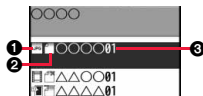
- フォルダ一覧画面のサブメニューはP.366参照。

フォルダ一覧画面

2 **フォルダを選択▶コンテンツパッケージを選択**

コンテンツパッケージ一覧画面

コンテンツパッケージ利用画面

3 **コンテンツを選択**

選択したコンテンツを表示／再生します。「WEB」を選択した場合は、iモードでサイトに接続します。

コンテンツパッケージ利用画面の見かた

コンテンツパッケージ利用画面では、コンテンツパッケージに含まれる各コンテンツのファイル名や取得状態を確認できます。

❶コンテンツの種別

アイコン	種別	「フォルダを確認」の参照先
	デコメール®テンプレート	デコメール®テンプレート一覧画面
	デコメアニメ®テンプレート	デコメアニメ®テンプレート一覧画面
	着うたフル®	ミュージックフォルダ一覧画面
	iアプリ	ソフト一覧画面
	トルカ	トルカフォルダ一覧画面
JPG	JPEG形式の静止画	フォルダ一覧画面(ピクチャ)
GIF	GIF形式の静止画	
	Flash画像	
	フレーム、マーカースタンプ	
	iモーション	フォルダ一覧画面(iモーション･ムービー)
	マチキャラ	フォルダ一覧画面(マチキャラ)
	メロディ	フォルダ一覧画面(メロディ)
	きせかえツール	フォルダ一覧画面(きせかえツール)
	iスケジュール/メモ	iスケジュール一覧画面/メモ一覧画面

❷コンテンツの状態

アイコン	状態
	コンテンツを表示/再生できます。
	コンテンツが部分保存されています。表示/再生はできません。
	コンテンツを表示/再生できません。

- 「 」のコンテンツを選択すると、サイトに接続して残りのデータをダウンロードできます。
- 「 」のコンテンツを選択して「再ダウンロード」を選択すると、サイトに接続してダウンロードできます。「フォルダを確認」を選択すると、選択したコンテンツのそれぞれのフォルダの一覧画面が表示されます。(「コンテンツの種別」参照)

❸コンテンツのタイトル･接続先サイト名

お知らせ

- コンテンツをFOMA端末内の他のフォルダに移動した場合でも、コンテンツパッケージ利用画面から選択して表示/再生できます。
- コンテンツをmicroSDカードに移動した場合は、コンテンツパッケージ利用画面からは表示/再生できません。また、microSDカードに移動したコンテンツをFOMA端末に再度移動させても、コンテンツパッケージ利用画面からは表示/再生できません。
- 再生回数の制限があるファイルは、コンテンツパッケージ利用画面から再生しても回数としてカウントされます。
- 複数のコンテンツパッケージに同じiスケジュールが含まれている場合、最後にダウンロードしたコンテンツパッケージからのみコンテンツを選択してスケジュールを表示できます。
- 部分保存ファイルの残りのデータをダウンロードするときにダウンロードに失敗した場合、部分保存ファイルが削除されることがあります。

コンテンツパッケージ一覧画面･コンテンツパッケージ利用画面のサブメニュー

編集

タイトル編集	タイトルを編集します。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。

ファイル情報	コンテンツパッケージのタイトル、ファイル名などを表示します。
フォルダ移動	コンテンツパッケージを別のフォルダへ移動します。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
ソート	表示される順番を変更します。
削除	削除します。

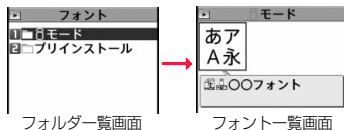
お知らせ

<削除>
- コンテンツパッケージを削除しても、各コンテンツのデータは削除されません。

フォント

1 MENU▶データBOX▶フォント▶フォルダを選択

- フォント一覧画面で iα(切替)を押すごとに表示方法を変更します。
- フォルダ一覧画面のサブメニューはP.366参照。

フォルダ一覧画面　フォント一覧画面

フォント一覧画面のサブメニュー

フォント設定	文字のフォントを変更します。(P.111「フォント選択」参照) ● 📷TV(設定)を押してもフォント設定できます。
フォント情報	フォントのファイル種別、タイトルなどを表示します。
タイトル編集	タイトルを編集します。
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート	表示される順番を変更します。
削除	削除します。 ● お買い上げ時に登録されているフォントは削除できません。

microSDカードの利用

microSDカードをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。

- P-03Dでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。(2011年10月現在)
  microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
  ・iモードから
  P-SQUARE(2011年10月現在)
  iMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
  ・パソコンから
  http://panasonic.jp/mobile/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カード処理を行っているときは「 」が表示されます。カード処理を行っているときは絶対にmicroSDカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。カード処理を行っていないことを確認してからFOMA端末の電源を切って、microSDカードを抜いてください。
- 本体・microSDカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。
- microSDカードに保存可能な件数・時間についてはP.366参照。
- microSDカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなかったり、使用できなくなることがあります。
- FOMA端末では、画面メモや、ダウンロードしたファイル制限のある静止画、iモーション、ムービー、メロディ、きせかえツール、マチキャラ、Music&Videoチャネルの番組、着うたフル®、iアプリをmicroSDカードに保存できます。IP(サービス提供者)が許可していない場合は、保存できません。

お知らせ

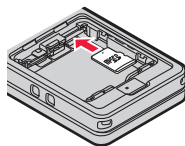
- パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは使用できないことがあります。必ずP-03DでフォーマットしたmicroSDカードをご使用ください。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- 本FOMA端末以外の機器でmicroSDカードの読み書きを行うと、ご利用の機器や操作方法によってはmicroSDカードが使用できなくなる場合があります。
- パソコンなど他機器で使用しているmicroSDカードをP-03Dで使用すると、P-03Dで使用するための新しいファイルやフォルダが作成されます。

microSDカードの取り付け／取り外し

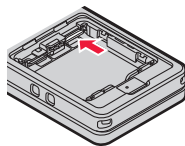
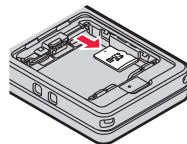
microSDカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り付けます。(P.43参照)

取り付けかた

1 金属端子面を下にし、切り込みの部分が右側になっていることを確認して差し込む

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

取り外しかた

1 microSDカードをいったん奥まで押し込む

- 奥まで押し込むとmicroSDカードが出ます。

2 microSDカードを抜き取る

■画面表示について

microSDカードを取り付けると以下のアイコンが表示されます。

[SD]：データを保存したり読み出したりできます。

[SD]：microSDカードにライトプロテクトがかかっています。データの保存、「microSDチェックディスク」、「microSDフォーマット」はできません。

[SD]：microSDカードを使用できません。microSDカードを取り外して、再度取り付けてください。
それでも「[SD]」が表示される場合は、「microSDチェックディスク」または「microSDフォーマット」を行ってください。

お知らせ

- microSDカードを取り付けたり取り外したりするときは、飛び出すことがありますのでご注意ください。
- microSDカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください。斜めに差し込むとmicroSDカードが破損する恐れがあります。
- microSDカードを取り付けたあと、最初の読み込みまたは書き込みができるまで時間がかかることがあります。

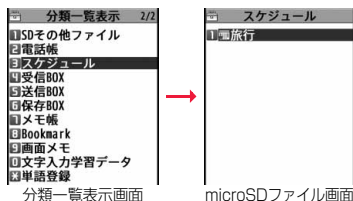
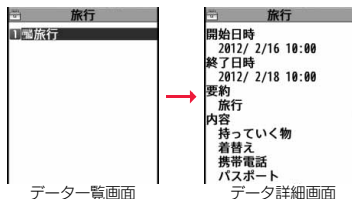
microSDカード内データのプレビュー

microSDカード内のデータを表示します。

スケジュールの場合

1 MENU▶**便利ツール▶microSD▶microSDデータ参照▶分類を選択**

●「スケジュール」を選択すると、メモも表示されます。

分類一覧表示画面　microSDファイル画面

2 **ファイルを選択▶データを選択**

データ一覧画面　データ詳細画面

お知らせ

●分類一覧表示画面で下記を選択した場合は、それぞれのフォルダ一覧画面、または、ファイル一覧画面が表示されます。
・マイピクチャ　・ミュージック　・Music&Videoチャネル
・ｉモーション／ムービー　・メロディ　・マイドキュメント
・ワンセグ　・ドキュメントビューア　・デコメアニメ
・ｉアプリ　・トルカ　・現在地通知先
・SDその他ファイル　・画面メモ

分類一覧表示画面・microSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面のサブメニュー

タイトル編集	タイトルを編集します。
本体へ追加コピー	FOMA端末へ追加コピーします。
本体へ上書コピー	FOMA端末へ上書きコピーします。
本体へ1件追加コピー	FOMA端末へ追加コピーします。
本体へ全件追加コピー	
本体へ全件上書コピー	FOMA端末へ全件上書きコピーします。
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
microSD情報表示	P.363参照
削除	削除します。
microSDフォーマット	P.362参照
microSDチェックディスク	P.362参照

お知らせ

●電話帳、メールのデータ詳細画面では、FOMA端末内のデータを表示した場合と同様の操作ができます。

FOMA端末からmicroSDカードへのデータのコピー

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、メール、メモ、Bookmark、文字入力学習データ、単語登録をmicroSDカードにコピーします。

microSDへ1件または複数件コピー

FOMA端末内のデータをmicroSDカードに1件ずつコピーします。コピーしたデータは、1件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 コピーしたいデータのサブメニュー ▶microSDへコピー・1件コピー・選択コピー▶YES

- 「選択コピー」の場合は、コピーしたいファイルを選択して[TV](完了)を押します。

microSDへ全件コピー

FOMA端末内のデータをmicroSDカードに全件コピーします。
分類一覧表示画面やmicroSDファイル画面から各分類のデータをmicroSDカードに全件コピーすることもできます。
コピーしたデータは、全件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 コピーしたいデータのサブメニュー ▶microSDへ全コピー・全コピー ▶端末暗証番号を入力▶YES

または

分類一覧表示画面・microSDファイル画面 ▶[MENU](ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶microSDへコピー ▶端末暗証番号を入力▶YES

- 分類一覧表示画面、microSDファイル画面でBookmarkをコピーするときは、「iモードブラウザ」・「フルブラウザ」・「すべて」（iモードとフルブラウザ）のいずれかを選択します。
- 電話帳の場合は、「プロフィール」の内容もコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- シークレットで登録されているデータを1件コピーした場合、通常のデータとしてコピーされます。
- データを全件コピーした場合、シークレットで登録されているデータもコピーされます。
- スケジュールを全件コピーしても、iコンシェルでダウンロードしたiスケジュールはコピーされません。iコンシェルでダウンロードしたiスケジュールを1件コピーした場合は、通常のスケジュールとしてコピーされます。
- メールのコピーを行った場合、メールに添付されているファイルは種類によっては削除されることがあります。
- iアプリを起動させるリンクのあるメールをコピーした場合、そのメール内のiアプリ起動に関する情報は削除されます。

microSDカードからFOMA端末へのデータのコピー

microSDカードに保存している電話帳、スケジュール、メール、メモ、Bookmark、文字入力学習データ、単語登録をFOMA端末にコピーします。

- microSDカードに保存できる件数についてはP.366参照。

本体へ1件追加コピー

データ一覧画面で選択しているデータや、データ詳細画面で表示しているデータをFOMA端末にコピーします。

1 データ一覧画面・データ詳細画面▶[MENU](ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) ▶本体へ1件追加コピー・本体へコピー▶YES

本体へ全ファイル追加コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 分類一覧表示画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ全件追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES
または
microSDファイル画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ追加コピー▶全コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

本体へ1ファイルまたは複数ファイル追加コピー

microSDファイル画面で選択している1件または複数件のファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 microSDファイル画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ追加コピー▶1件コピー･選択コピー▶端末暗証番号を入力▶YES
または
データ一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ全件追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

- microSDファイル画面のサブメニューで「本体へ追加コピー」の「選択コピー」を選択した場合は、コピーしたいファイルを選択して📷(完了)を押します。

本体へ全ファイル上書コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 分類一覧表示画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ全件上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES
または
microSDファイル画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ上書コピー▶全コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

本体へ1ファイルまたは複数ファイル上書コピー

microSDファイル画面で選択している1件または複数件のファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 microSDファイル画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ上書コピー▶1件コピー･選択コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES
または
データ一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ全件上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

- microSDファイル画面のサブメニューで「本体へ上書コピー」の「選択コピー」を選択した場合は、コピーしたいファイルを選択して📷(完了)を押します。
- 電話帳の場合は、先頭のデータをプロフィールに設定するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- コピー中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でコピーが中断されます。コピー済みのデータは登録されます。
- 電話帳を追加コピー時、microSDファイルに登録されているグループ番号･グループ名がFOMA端末に登録されているグループ番号･グループ名と異なる場合、グループは設定されません。
- 受信メールを1件コピーしたときに最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い受信メールから順に削除されます。ただし、未読または保護している受信メールは削除されません。
- 送信メールを1件コピーしたときに最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- 他の機種で保存したファイルをコピーすると、フォルダ分けの設定などが反映されない場合があります。
- 「本体へ全件追加コピー」した場合、同じURLのBookmarkはコピーされません。
- 文字入力学習データを「本体へ上書コピー」した場合、FOMA端末内の単語登録も上書きされます。
- microSDカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。

静止画や動画などのコピー

FOMA端末からmicroSDカードへのファイルのコピー

コピー先とファイル名は以下のとおりです。

静止画(DCF規格)	「ピクチャ」内の保存先フォルダ DCIMXXXX(Xは数字)
静止画(DCF規格外)	「イメージボックス」内の保存先フォルダ STILXXXX(Xは数字)
静止画(デコメ絵文字®)	「デコメ絵文字」内の保存先フォルダ DIMGXXXX(Xは数字)
ｉモーション(映像あり)	「SDビデオ」内の保存先フォルダ MOLXXX(Xは英数字)
ｉモーション(映像なし)	「その他コンテンツ」内の保存先フォルダ MMFXXXX(Xは数字)
メロディ	保存先フォルダ RINGXXXX(Xは数字)
PDF	保存先フォルダ FOMA端末内のファイル名と同じ
デコメアニメ®テンプレート	選択したフォルダ DEATXXXX(Xは数字)
トルカ	選択したフォルダ TORUCXXX(Xは数字)

- FOMA端末、microSDカード間でコピー、移動すると、ファイル形式が変換される場合があります。

1 コピーしたいデータのサブメニュー ▶microSDへコピー･1件コピー･選択コピー･全コピー

- 静止画、ｉモーションを「1件コピー」する場合は、保存したいフォルダを選択します。
- トルカ一覧画面･トルカ詳細画面のサブメニューで「microSDへコピー」を選択した場合は、コピーしたいフォルダを選択します。
- 「選択コピー」の場合は、コピーしたいファイルを選択して[TV](完了)を押します。
- 「全コピー」の場合は、端末暗証番号を入力します。

お知らせ

- 保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されて保存されます。静止画、デコメアニメ®テンプレート以外の場合は、コピーが完了すると「保存先フォルダXXXXXXXに変更しました」(XXXXXXXはフォルダ名)と表示されます。
- 以下のファイルはコピーできません。
  - ・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したファイル
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ・再生制限付きファイル
  - ・部分保存したｉモーションまたは着うたフル®
  - ・ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータ
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータまたはドコモminiUIMカードセキュリティ機能が設定されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとしてコピーされます。
- トルカのサイズによっては、コピーできない場合があります。
- microSDカードへコピーすると、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

microSDカードからFOMA端末へのファイルのコピー

microSDカード内にあるファイルを、本体内の「ｉモード」フォルダにコピーします。(デコメ絵文字®の場合は「デコメ絵文字」フォルダの「お気に入り」フォルダに、デコメアニメ®テンプレートの場合は「デコメアニメ」フォルダに、トルカの場合は「トルカフォルダ」にコピーされます。)

1 **コピーしたいデータのサブメニュー▶本体へコピー・1件コピー・選択コピー・全コピー**

- 静止画、ｉモーションを「1件コピー」する場合は、保存したいフォルダを選択します。
- 「選択コピー」の場合は、コピーしたいファイルを選択して📷(完了)を押します。
- 「全コピー」の場合は、端末暗証番号を入力します。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。

お知らせ

- コピー処理中はmicroSDカードを抜かないでください。
- JPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイル、ASFファイル、MFiファイル、SMFファイル、PDFデータ、デコメアニメ®テンプレート、トルカ、現在地通知先をコピーできます。ただし、100Kバイトを超えるメロディ、500Kバイトを超えるSWFファイルはコピーできません。
- 50Mバイトを超えるｉモーションをコピーした場合は、切り出しが可能な最大のサイズである約10Mバイトまでを自動的に切り出してコピーします。
- ASF形式のｉモーション、VGA(640×480)のｉモーション、50Mバイトを超えるｉモーションは、複数コピーできません。
- ｉモーションコピー時はｉモーションを切り出し･変換･縮小を行うため、ファイルサイズが増減することがあります。ただし、映像コーデックがH.264のｉモーションは変換、縮小を行わずコピーします。
- 10Mバイトを超えるVGA(640×480)のｉモーションをコピーする場合、QVGA(320×240)に変換します。また、10Mバイトを超えるVGA(640×480)のｉモーションやASFファイルをコピーすると、時間がかかる場合があります。
- 50Mバイトを超えるｉモーションやASFファイルで以下の場合はコピーできません。
  - ・映像コーデックがH.264のとき
  - ・音声コーデックがAAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlusのとき
  - ・動画像ビットレートが制限を超えるとき
  - ・サーチ(早送り･早戻し)ができないとき
  - ・VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)、QVGA(320×240)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)以外のファイルのとき

  上記の条件以外でもｉモーションによってはコピーできない場合があります。
- ASFファイルをコピーすると、再生時間が長くなる場合があります。
- トルカのサイズによっては、コピーできない場合があります。
- コピー後のファイルのタイトルはmicroSDカード内で設定したタイトルになります。ただし、microSDカード内でタイトルを設定していない場合や初期タイトルが不明な場合はファイル名になります。

著作権のあるファイルの移動

FOMA端末からmicroSDカードへのファイルの移動

サイトから取得した著作権のあるファイルを暗号化してmicroSDカードに移動します。移動したファイルは「移行可能コンテンツ」フォルダ内の保存先フォルダに保存されます。ただし、マチキャラ、きせかえツール、着うたフル®の場合は保存先に設定されているフォルダに、画面メモは画面メモフォルダに保存されます。
microSDカードに移動したファイルには、移動したときと同じドコモminiUIMカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じドコモminiUIMカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

- 移動できるファイルは以下のファイルです。

･静止画	･ｉモーション	･ムービー
･マチキャラ	･メロディ	･きせかえツール
･画面メモ	･着うたフル®	･Music&Videoチャネルの番組

1 移動したいデータのサブメニュー▶microSDへ移動・microSD・1件移動・選択移動・全移動

- 静止画、ｉモーション、ムービーを「1件移動」する場合は、移動したいフォルダを選択します。
- 「選択移動」の場合は、移動したいファイルを選択して📷(完了)を押します。
- ムービーの「選択移動」「全移動」の場合は、SDムービー内の保存先フォルダに保存されます。

お知らせ

- 静止画、ｉモーション、マチキャラ、メロディ、きせかえツール、着うたフル®の場合、取得元アイコンが「」のファイルのみmicroSDカードへ移動できます。
- 部分保存したデータはmicroSDカードへ移動できません。
- 他の機能で設定しているファイルを移動すると、設定が解除されます。

microSDカードからFOMA端末へのファイルの移動

microSDカード内の著作権のあるファイルをFOMA端末に移動します。

1 移動したいデータのサブメニュー▶本体へ移動・1件移動・選択移動・全移動

- 静止画、ｉモーション、ムービーを「1件移動」する場合は、移動したいフォルダを選択します。
- 「選択移動」の場合は、移動したいファイルを選択して📷(完了)を押します。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。

お知らせ

- 画面メモによってはmicroSDカードに移動できない場合があります。画面メモ以外のファイルは、著作権のあるファイル（ファイル制限あり）で本体へ移動「可」または「可（同一機種間）」のファイルのみFOMA端末へ移動できます。また、「可（同一機種間）」のファイルはP-03D以外のFOMA端末には移動できません。本体へ移動「可」「不可」「可（同一機種間）」を確認するには「ピクチャ情報」「ｉモーション情報」「コンテンツ情報」「マチキャラ情報」「メロディ情報」「ファイル情報」「ミュージック情報」「番組情報」参照。
- 移動したファイルは「ｉモード」フォルダに保存されます。ただし、着うたフル®は「ｉモード」フォルダの「初期フォルダ」に、Music&Videoチャネルの番組は「保存番組」フォルダに、画面メモはｉモードブラウザ、フルブラウザそれぞれの「画面メモ」フォルダに保存されます。

FOMA端末からmicroSDカードへのｉアプリの移動

ｉアプリによってはmicroSDカードに移動して保存しておけるものがあります。
microSDカードに移動したｉアプリは起動することはできません。再度、FOMA端末に移動すると起動できます。ただし、移動したときと同じドコモminiUIMカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じドコモminiUIMカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

1 **ソフト一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶microSDへ移動▶YES**

microSDカードからFOMA端末へのｉアプリの移動

microSDカード内のｉアプリをFOMA端末に移動します。

1 **ソフト一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ移動▶YES**

データの一括バックアップ

FOMA端末内に登録している電話帳、スケジュール、メール、メモ、Bookmark、FOMA端末の設定内容・情報を一括してmicroSDカードにバックアップします。バックアップデータはそれぞれの分類ごとに1ファイルとして保存されます。復元する場合も、それらのデータを一括してFOMA端末に復元します。

- 「microSDへバックアップ」を行うごとにバックアップデータは削除され、新しいバックアップデータが作成されます。
- バックアップは分類のデータを一括して行うため、データが1件も登録されていない分類のデータもバックアップデータが作成されます。そのようなバックアップデータを復元した場合、バックアップ時にデータが1件も登録されていない分類のデータも上書きされます。
- 以下の機能の設定内容や情報がバックアップ／復元されます。ただし、復元後に一部の設定内容や情報が、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。

・リダイヤル
・着信履歴
・伝言メモ設定
・フォント設定の「メール」
・個別発着信動作選択の「指定着信拒否」「指定着信許可」
・着信拒否設定
・メール選択受信設定
・送信アドレス一覧
・受信アドレス一覧
・自動振分け設定
・ブログ・メールグループ
・メール／メッセージ問合せ設定
・受信時動作設定
・添付ファイル優先受信設定
・添付ファイル自動再生設定
・署名
・メッセージ自動表示設定
・緊急速報「エリアメール」設定の「受信設定」「ブザー鳴動時間」「マナー／公共モード時設定」
・アラーム
・単語登録
・学習履歴

microSDカードへのバックアップ

1 MENU▶便利ツール▶microSD▶バックアップ／復元▶microSDへバックアップ

2 端末暗証番号を入力▶YES

- 「Cancel」を選択してバックアップを中止した場合、それまでに作成されたバックアップデータは削除されます。
- バックアップが完了すると、バックアップデータの保存日時が更新されます。

お知らせ

- バックアップ中に電池がなくなった場合などは、バックアップが中断され、それまでに作成されたバックアップデータがバックアップ中断データとして保存されます。ただし、続きからバックアップを再開することはできませんので、バックアップを完了させるには、最初からやり直してください。
- バックアップ中にmicroSDカードの容量がいっぱいになった場合は、それまでに作成されたバックアップデータを削除してから、バックアップを中断します。この場合、microSDカード内の不要なデータを削除するなどしてから、再度バックアップを行ってください。
- すでにバックアップデータやバックアップ中断データがmicroSDカード内にある場合は、バックアップに時間がかかることがあります。

FOMA端末への復元

1 MENU▶便利ツール▶microSD▶バックアップ／復元▶本体へ復元

- microSDカード内にバックアップデータがない場合や、バックアップ中断データしかない場合は復元できません。

2 端末暗証番号を入力▶YES

復元が終了すると、復元された設定内容･情報が表示されます。
◉(OK)またはCLR、⌒を押すと学習履歴を作成するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「Cancel」を選択して復元を中止した場合、すでに復元済みのデータはFOMA端末内に登録された状態となりますが、続きからは復元できません。すべてのデータを復元するには、再度「本体へ復元」を行ってください。
- 送信メールが1件もないバックアップデータを復元した場合は、学習履歴を作成するかどうかの確認画面は表示されません。

お知らせ

- FOMA端末の容量よりバックアップデータの容量が大きい場合は、バックアップデータの一部は復元されません。
- 本FOMA端末に未対応のデータがバックアップデータに含まれる場合は、未対応のデータは復元されません。
- P-03D以外のFOMA端末に復元した場合、すべてのバックアップデータ、設定内容･情報が復元されないことがあります。

バックアップデータの削除

microSDカード内のバックアップデータ、またはバックアップ中断データを削除します。

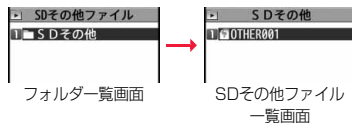
1 MENU▶便利ツール▶microSD▶バックアップ／復元▶バックアップデータ削除▶端末暗証番号を入力▶YES

SDその他ファイル

FOMA端末では対応していないさまざまなファイルやサイトからダウンロードしたBMP形式とPNG形式のファイルをmicroSDカードに保存できます。(P.151、P.194参照)
保存したファイルはｉモードメールに添付して送信したり、パソコンなどで確認できます。

1 MENU▶データBOX▶SDその他ファイル▶フォルダを選択

●フォルダ一覧画面のサブメニューはP.366参照。
●FOMA端末でファイルの内容は表示できません。

SDその他ファイル / 1 SDその他
フォルダ一覧画面
→
SDその他 / 1 OTHER001
SDその他ファイル一覧画面

SDその他ファイル一覧画面のサブメニュー

タイトル編集	タイトルを編集します。
ファイル情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。
ｉモードメール添付	SDその他ファイルを添付し、ｉモードメールを作成します。 ●📷(MAIL)を押してもｉモードメールを作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
コピー	microSDカード内のSDその他ファイルをmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。
フォルダ移動	SDその他ファイルを別のフォルダに移動します。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
削除	削除します。

microSDフォーマット

microSDカードを初めて利用するときには、フォーマット(初期化)する必要があります。フォーマットは必ずP-03Dで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは正常に使用できない場合があります。
フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 MENU▶便利ツール▶microSD▶microSDデータ参照▶MENU(サブメニュー)▶microSDフォーマット▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

●フォーマット中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
●microSDフォーマット中に📷(中止)や⏎を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合はフォーマットは中止されます。再度フォーマットしてください。
●フォーマットを中止したmicroSDカードに保存したデータは不確定となります。
●未対応のメモリーカードはフォーマットできません。
●フォーマット後にmicroSDカードにデータを保存するときは、必要なフォルダが自動的に作成されます。

microSDチェックディスク

microSDカードのチェックを行い、修復します。

1 MENU▶便利ツール▶microSD▶microSDデータ参照▶MENU(サブメニュー)▶microSDチェックディスク▶YES

お知らせ

- チェックディスク中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
- フォーマットされていないmicroSDカードや、未対応のメモリーカードはチェックディスクできません。
- microSDカードのチェックディスクを行った場合、microSDカードの状態により正常に修復できなかったり、チェックディスク前に存在したデータが削除されたり、カード全体が初期化されることがあります。
- microSDチェックディスク中に[カメラ/TV]（[中止]）や[終話]を押した場合、チェックディスクは中止されます。
- microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDカード内のデータにより、時間がかかる場合があります。

microSD情報表示

microSDカード全体の容量と保存容量（目安）を表示します。

1 **[MENU]▶便利ツール▶microSD▶microSDデータ参照▶[MENU]（[ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ]）▶microSD情報表示**

お知らせ

- microSDカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されているため、データを保存していなくても保存容量はmicroSDカードに表示された容量より少なくなります。

USBモード

FOMA端末をパソコンと接続して、microSDリーダーライターとして利用する場合や、データ通信を行う場合などに設定します。

1 **[MENU]▶本体設定▶外部接続▶USBモード▶項目を選択**

通信モード……パケット通信、64Kデータ通信、データ送受信（OBEX™通信）やUSBハンズフリー対応機器での通話で使用するときに設定します。

microSDモード…FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして、microSDカード内のデータを読み込み／書き込みするときに設定します。パソコンと接続するとmicroSDカードを認識します。

MTPモード……パソコン内のWMAファイルをFOMA端末内のmicroSDカードに保存するときに設定します。

- 「USBモード」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

お知らせ

- 「microSDモード」でFOMA端末とパソコンを接続するときは以下の機器が必要です。
  - ･接続ケーブル：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）
  - ･パソコン：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1／2.0準拠）が使用可能なパソコン
  - ･対応OS：Windows XP、Windows Vista、Windows 7（各日本語版）
- 「microSDモード」「MTPモード」に設定している場合、データの読み込み／書き込み中は着信／充電ランプが光ります。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていない場合や、FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

お知らせ

- データの読み込み／書き込み中は本機能を設定できません。また、読み込み／書き込み中に「設定リセット」、「端末初期化」は行わないでください。microSDカードの故障の原因となります。
- 「通信モード」に設定し、パソコンに接続して通信中は「USBモード」を変更できません。
- FOMA端末から読み込み／書き込み中はパソコンからは読み込み／書き込みできません。また、パソコンからの読み込み／書き込み中はFOMA端末からは読み込み／書き込みできません。
- ドコモケータイdatalinkを使用する場合は、「通信モード」にしてください。

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末はmicroSDカード内に次のようなフォルダを作成し、ファイルをそのフォルダ内に保存します。パソコンなどからmicroSDカードにファイルを書き込んで使用する場合は、指定のフォルダ構成、ファイル名で書き込む必要があります。

- 他のFOMA端末でmicroSDカードにファイルを保存した場合、ファイルによってはフォルダ構成が異なるため、本FOMA端末では表示できないことがあります。表示させるにはパソコンなどで指定のフォルダの構成に変更、移動してください。

aaa　　：100～999の3桁の半角数字
bbb　　：001～999の3桁の半角数字
ccc　　：001～FFFの3文字の半角英数字（16進数※）
ddddd　：00001～65535の5桁の半角数字
eeee、ffff：0001～FFFFの4文字の半角英数字（16進数※）
gggg　：0001～9999の4桁の半角数字
###　　：拡張子

※ 10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数えかたです。0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いて表します。

- PDFファイル、SDその他ファイル、ムービーファイル、Word、Excel、PowerPointファイルの場合、パソコンでファイル名を64バイト（拡張子を含む）までの自由な文字で書き込むこともできます。ただし、以下の文字は使用できません。
「¥」、「/」、「:」、「*」、「?」、「“」、「<」、「>」、「|」

DCIM（DCF規格フォルダ）
└ aaa_DCIM
　└ DCIMgggg.###（拡張子はJPG、GIF、3GP、MP4、MPO）

MISC（DPOF用フォルダ〔P.379「DPOF設定」を設定するときに自動作成されるフォルダです。〕）

SD_VIDEO（動画用フォルダ）
├ PRLccc（ｉモーション用フォルダ）
│└ MOLccc.###（拡張子は3GP、SDV、ASF、MP4）
├ MGR_INFO（ビデオ管理情報フォルダ）
└ PRGccc（ビデオ・ブルーレイディスクレコーダー動画用フォルダ）

DEVPROF（ブルーレイディスクレコーダー管理ファイル用フォルダ）

- PRIVATE
  - DOCOMO
    - STILL(DCF規格外静止画フォルダ)
      - SUDbbb
        - STILgggg.###(拡張子はJPG、GIF、SWF)
    - DOCUMENT(PDF用フォルダ)
      - PUDbbb
        - PDFDCbbb.PDF
    - RINGER(メロディ用フォルダ)
      - RUDbbb
        - RINGgggg.###(拡張子はMLD、SMF)
    - TORUCA(トルカ用フォルダ)
      - TRCbbb
        - TORUCbbb.TRC
    - MMFILE(SD-VIDEO規格外動画用フォルダ〔AAC形式の音楽データ含む〕)
      - MUDbbb
        - MMFgggg.###(拡張子は3GP、SDV、ASF、MP4)
      - WM_SYSTEM
      - WM
    - DECOIMG(デコメ絵文字®用フォルダ)
      - DUDbbb
        - DIMGgggg.###(拡張子はJPG、GIF)
    - OTHER(SDその他ファイル用フォルダ)
      - OUDbbb
        - OTHERbbb.###(拡張子はFOMA端末が認識できない3桁までの半角英字)
    - MOVIE(ムービー用フォルダ)
      - MVUDbbb
        - MOVIEbbb.###(拡張子はWMV、WMA、WVX、WAX、ASF、ASX)
    - DECO_A_T(デコメアニメ®テンプレート用フォルダ)
      - DTUDbbb
        - DEATgggg.VGT
    - LCSCLIENT(現在地通知先用フォルダ)
      - LSCbbb
        - LSCDCbbb.LSC
    - DICT(単語登録用フォルダ)
      - DICTbbb.SVD
    - IM_DATA(文字入力学習データ用フォルダ)
      - IPMbbb.IPM
    - BACKUP(一括バックアップ用フォルダ)
      - SD_PIM
        - ADDRESS(電話帳一括バックアップ用フォルダ)
          - ADDRESS.VCF
        - SCHEDULE(スケジュール、メモ一括バックアップ用フォルダ)
          - SCHEDULE.VCS
        - MAIL
          - INBOX(受信メール一括バックアップ用フォルダ)
            - INBOX.VMG
          - SENTBOX(送信メール一括バックアップ用フォルダ)
            - SENTBOX.VMG
          - OUTBOX(未送信メール一括バックアップ用フォルダ)
            - OUTBOX.VMG
        - BOOKMARK(Bookmark一括バックアップ用フォルダ)
          - BOOKMARK.VBM
      - SETTING(設定情報一括バックアップ用フォルダ)
        - SETTING.VNT
    - TABLE(付加情報フォルダ)
  - DCMOPPL
    - DOCUMENT(Word、Excel、PowerPoint、TEXT用フォルダ)
      - DOCbbb
        - DOCDCbbb.###(拡張子はXLS、XLSX、DOC、DOCX、PPT、PPTX、TXT)
    - TABLE
      - DOCUMENT
  - ADOBE(フルブラウザでFlash画像からダウンロードしたデータ(静止画、動画、メロディ、PDF、ドキュメントファイルなど)の保存用フォルダ)

- SD_PIM(電話帳、スケジュール、メール、メモ、Bookmark用フォルダ)
  - PIMddddd.###(拡張子は電話帳:VCF、スケジュール、メモ:VCS、メール:VMG、Bookmark:VBM)

- SD_AUDIO(SDオーディオ用フォルダ)

- SD_BIND(ｉアプリ、MyFACEコンテンツ、移行可能コンテンツ用フォルダ)
  - SVCddddd
    - eeeeffff

■microSDカードに保存可能な件数･時間

ファイル	フォルダ	保存可能数･時間
静止画(DCF規格)	DCIM	P.502参照
動画(DCF規格)	DCIM	P.504参照
動画(ｉモーション)	SD_VIDEO	P.504参照
動画(ビデオ)	SD_VIDEO	P.249参照
SDオーディオ	SD_AUDIO	P.269参照
静止画(DCF規格外)	STILL	約65500件
動画(SD-VIDEO規格外)	MMFILE	
ムービー	MOVIE	
メロディ	RINGER	
PDFデータ	DOCUMENT	
Word、Excel、PowerPoint、TEXTファイル	DCMOPPL	
トルカ	TORUCA	
デコメ絵文字®	DECOIMG	
デコメアニメ®テンプレート	DECO_A_T	
SDその他ファイル	OTHER	
現在地通知先	LCSCLIENT	
単語登録	DICT	
文字入力学習データ	IM_DATA	
電話帳、スケジュール、メール、メモ、Bookmark	SD_PIM	
ｉアプリ、MyFACEコンテンツ、移行可能コンテンツ	SD_BIND	

- 使用するmicroSDカードの容量によって、保存件数･時間は変わります。フォルダを追加して保存場所を変えると、より多くのファイルを保存できます。
- ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。
- microSDカードの空き容量と保存容量は「microSD情報表示」で確認できます。

お知らせ

- お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。

お知らせ

- パソコンの設定で拡張子や隠しフォルダなどが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- microSDカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。P-03DでmicroSDカードを読めなくなることがあります。
- 「SD_AUDIO」･「SD_BIND」･「PRGccc」フォルダ内のファイルは暗号化されているため、パソコンで見ることはできません。
- パソコンで「PRGccc」フォルダ内にデータを保存すると、FOMA端末でビデオを削除できなくなる場合があります。
- パソコンでファイルの削除や上書き、書き込みを行う場合は、一度使用したファイル名は使用しないでください。たとえ、そのファイルを削除していたとしても、別のファイル名を使用してください。
- 「BACKUP」フォルダ内のフォルダとファイルは「microSDへバックアップ」を行うたびにすべて削除され、新しいバックアップデータが作成されます。また、「バックアップデータ削除」を行った場合も、「BACKUP」フォルダ内のフォルダとファイルはすべて削除されます。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示･再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示･再生できない場合があります。
- microSDリーダーライターおよびPCカードリーダーアダプタについては、microSDカードの動作を各メーカにご確認の上お買い求めください。

フォルダの管理

データBOX内のデータによっては、それぞれフォルダでデータを管理できるものがあります。

- ミュージックのフォルダ操作についてはP.271参照。
- 「移行可能コンテンツ」フォルダの場合は、フォルダ内のデータ一覧画面でも、フォルダ一覧画面のサブメニュー項目が表示されます。

フォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。

フォルダ名編集	ユーザフォルダやFOMA端末の「デコメ絵文字」フォルダ内のフォルダ名を編集します。
フォルダ削除	削除します。
プログラム編集 [メロディのみ]	メロディなどを10曲まで選択して、好きな順にプログラム編集します。「プログラム」を選択中に表示されます。 **▶プログラム順＜1曲目＞～＜10曲目＞を選択** **▶フォルダを選択▶メロディを選択** ●登録済みのメロディを解除する場合は「メロディ解除」を選択します。 **▶操作を繰り返してプログラム編集を完了させる** **▶**[カメラ/TV]（完了）
プログラム解除 [メロディのみ]	編集したプログラムをすべて解除します。「プログラム」を選択中に表示されます。
フォルダセキュリティ [マイピクチャ・iモーション・ムービー]	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 フォルダセキュリティを設定するとフォルダが「[フォルダ鍵アイコン]」に変わります。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
赤外線全件送信 [マイピクチャ・iモーション・ムービー・メロディ・マイドキュメント]	赤外線通信で全件送信します。
フォルダ内全削除 [マイピクチャのみ]	フォルダに保存されているすべてのファイルを削除します。
保存先フォルダ選択	microSDカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。
保存容量確認	保存容量（目安）／件数を表示します。 ●[iα]（保存容量）を押しても表示できます。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。

お知らせ

＜フォルダ追加＞
- microSDカード内で以下の場合はフォルダ追加できません。
  - ・「ピクチャ」内フォルダ数が900件のとき
  - ・「SDビデオ」内フォルダ数が4095件のとき
  - ・「イメージボックス」・「デコメ絵文字」・「SDムービー」・「メロディ」・「その他コンテンツ」・「マイドキュメント」・「ドキュメントビューア」・「SDその他ファイル」内フォルダ数が999件のとき

＜フォルダ名編集＞
- フォルダセキュリティが設定されたフォルダは、フォルダ名編集できません。

＜フォルダ削除＞
- フォルダ内のファイルもすべて削除されます。

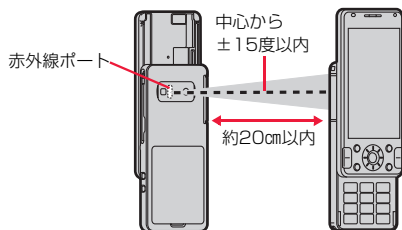
＜プログラム編集＞
- プログラムに登録したメロディのファイル名、タイトルや内容を変更したり削除したりすると、プログラムは全解除されます。

＜フォルダセキュリティ＞
- 「カメラ」「iモード」「自動お預かり」「ユーザフォルダ」「ボイスレコーダー」にのみ設定できます。
- フォルダセキュリティを設定したフォルダを選択すると、端末暗証番号の入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると、一時的にフォルダセキュリティが解除されます。

＜保存先フォルダ選択＞
- 保存先に設定されたフォルダには以下のアイコンが表示されます。
  - 「[アイコン]」. . . 「ピクチャ」フォルダ・「SDビデオ」フォルダ内のフォルダ
  - 「[アイコン]」. . . 「ドキュメントビューア」・「SDその他ファイル」内のフォルダ「イメージボックス」フォルダ・「デコメ絵文字」フォルダ・「SDムービー」フォルダ・「メロディ」フォルダ・「マイドキュメント」フォルダ内のフォルダ
  - 「[アイコン]」. . . 「きせかえツール」・「マチキャラ」内のフォルダ「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダ
  - 「[アイコン]」. . . 「その他コンテンツ」フォルダ内のフォルダ
- microSDカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

赤外線通信の利用

FOMA端末はIrMC™バージョン1.1規格に準拠しています。
赤外線通信機能を持つ機器との間でデータを送受信できます。ただし、相手機器によっては送受信できないデータがあります。

- 赤外線の通信距離は、約20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- FOMA端末を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下・赤外線装置の近くではその影響により、正常に通信できない場合があります。
- 受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。
- 通信中は、圏外と同じ状態になるため、音声電話、テレビ電話、iモード・メールなどのパケット通信、データ通信などは利用できません。

- 転送できるデータは以下のデータです。

・電話帳※1　・スケジュール※2　・受信メール※3
・送信メール※3　・保存メール※3　・エリアメール
・デコメアニメ®テンプレート　・メモ　・メロディ※4
・静止画※5※6　・iモーション※7　・PDFデータ※4※8
・トルカ※3※4　・Bookmark※3　・現在地通知先
・単語登録　・定型文※9

※1　プロフィールも含みます。
※2　休日は送受信できません。
※3　フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
※4　ファイルによっては送受信できません。
※5　Flash画像も含みます。
※6　自作アニメやワンセグで録画した静止画は送受信できません。
※7　ASFファイルやワンセグで録画したビデオは送受信できません。
※8　iモードしおりが消去される場合があります。
※9　「セキュリティフォルダ」内の定型文は送受信できません。

■受信したデータの保存場所や保存順

データ		保存場所／保存順
電話帳	1件受信	電話帳のメモリ番号「010」～「999」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「999」がすべて登録されているときは、「000」～「009」（ツータッチダイヤル）の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
	全件受信	送信元と同じメモリ番号で登録されます。
スケジュール	1件受信	スケジュールの開始日時に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時に登録されます。
受信メール	1件受信	受信フォルダ一覧の「メール」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
送信メール	1件受信	送信フォルダ一覧の「送信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。

データ		保存場所／保存順
保存メール	1件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
デコメアニメ®テンプレート	1件受信	「メール」内の「デコメテンプレート」内の「デコメアニメ」フォルダに登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で登録されます。
メモ	1件受信	メモの1番目に登録されます。ただし、「優先表示設定」の設定によっては登録順が異なります。
	全件受信	送信元に登録されているメモの更新日情報の新しいものが1番目に登録されます。(更新日情報がないメモは、受信時の日時が更新日となります。)ただし、「優先表示設定」の設定によっては登録順が異なります。
メロディ	1件受信	「データBOX」内の「メロディ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
静止画	1件受信	「データBOX」内の「マイピクチャ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
ｉモーション	1件受信	「データBOX」内の「ｉモーション･ムービー」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
PDFデータ	1件受信	「データBOX」内の「マイドキュメント」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
トルカ	1件受信	「トルカフォルダ」の1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
Bookmark	1件受信	「Bookmark」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
現在地通知先	1件受信	「現在地通知先登録」に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。
単語登録	1件受信	単語登録の1番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。
定型文	1件受信	送信元と同じフォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。

お知らせ

- 以下のデータは送信できません。
  - ･FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ･部分保存ファイル
  - ･ドコモminiUIMカード内の電話帳やSMS
- お買い上げ時に登録されているデータBOX内のデータは全件送信では送信できません。
- microSDカード内のデータは送信できません。FOMA端末にコピーまたは移動してから送信してください。
- スケジュールを全件送信しても、ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールは送信されません。ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールを1件送信した場合は、通常のスケジュールとして送信されます。
- 静止画、ｉモーション、PDFデータのタイトルは、全角9文字/半角18文字、メロディのタイトルは、全角25文字/半角50文字まで送受信されます。
- メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルも送信されます。ただし、種類によっては送信されないことがあります。
- 受信側の端末によってはメールの題名をすべて受信できない場合があります。
- 未取得の添付ファイルがあるメールや、ｉアプリを起動させるリンク情報があるメールはそれらが削除されて送信されます。
- 受信メールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い受信メールから順に削除されます。ただし、未読または保護している受信メールは削除されません。

お知らせ

- 送信メールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているファイルを含むデコメアニメ®テンプレートの場合、それらのファイルまたは本文データを削除して送信します。
- 赤外線通信でトルカ（詳細）の送信を行った場合は、詳細も含めて転送するかどうかの確認画面が表示されます。その場合、「YES」を選択すると詳細も含めて送信され、「NO」を選択すると詳細を取得する前のトルカとして送信されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ（詳細）の場合は、詳細を取得する前のトルカとして送信されます。
- 指定発信制限を設定中に、電話帳は受信できません。送信の際には、指定発信制限を設定した電話帳データ、プロフィールデータを送信できます。
- データの大きさによっては、転送に長い時間がかかることがあります。また、受信できないことがあります。
- 静止画やｉモーションは10Mバイト、メロディは100Kバイト、PDFデータは2Mバイト、デコメアニメ®テンプレートは100Kバイト、トルカは1Kバイト、トルカ（詳細）は100Kバイトをそれぞれ超えたデータの場合、登録できません。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）が接続されている場合、赤外線通信ができないことがあります。
- 受信側の端末が対応していないデータは、送信できません。

1件送受信

赤外線でデータを1件ずつ送受信します。

■送受信時のご注意

- シークレットモード時はシークレットデータも送信できます。ただし、シークレット専用モード時はシークレットデータのみ送信できます。
- シークレット登録した電話帳を、シークレットモード／シークレット専用モード中に受信した場合、通常の電話帳として登録されます。
- 電話帳データを1件送信する場合、登録したシークレットコードは送信されません。

1件送信

- JPEG形式の静止画を送信するときは、高速赤外線通信（IrSS™送信）で送信できます。

1 **送信したいデータのサブメニュー▶赤外線送信・IrSS**

2 **YES**

1件受信

1 **MENU▶便利ツール▶赤外線受信**

2 **受信▶YES**

- 「受信」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

お知らせ

- ソフトを起動する指示を受信した場合、対応するソフトがダウンロード済みであればそのソフトが起動します。ただし、ｉアプリ To 設定で「赤外線からｉアプリ To」にチェックを付けていない場合は起動しません。

全件送受信

赤外線でデータを全件送受信できます。
全件送信するには、認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

■全件送受信時のご注意

- 全件受信を行うと、登録していたデータはシークレットデータや保護データも含めすべて削除され、受信したデータで上書きされます。「シークレットモード」で登録していたデータも削除されます。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
  ただし、デコメアニメ®テンプレート、データBOX内のデータ、トルカの場合、元のデータは削除されずに追加登録されます。
- 電話帳を全件送信するとプロフィールのデータも一緒に送信されます。受信側の「プロフィール」は、自局番号以外はすべて書き替わります。メールアドレスも送信側のアドレスに書き替わりますので、受信側のメールアドレスに変更してください。
- シークレットモード時に限らずシークレットデータとして登録されている電話帳も送信されます。送信したシークレットデータは受信側でもシークレットデータとして登録されます。
- 受信した電話帳のグループ名も登録されますので、「グループ設定」のデータも上書きされます。
- 保護されている受信メール、送信メールも送受信されます。
- 対応していないデータが含まれていた場合、受信が中断することがあります。

全件送信

1 **送信したいデータのサブメニュー ▶赤外線全送信・赤外線全件送信▶端末暗証番号を入力 ▶認証パスワードを入力▶YES**

- データBOX内のデータを送信する場合は、送信できないデータが含まれている旨の確認画面が表示されます。
- 認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

全件受信

1 **MENU▶便利ツール▶赤外線受信**

2 **全件受信▶端末暗証番号を入力 ▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力 ▶YES▶YES**

- 「全件受信」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

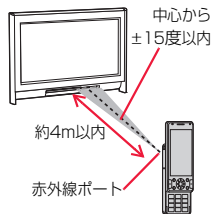
- 静止画が登録された電話帳やファイルが添付されたメールを受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

赤外線リモコン機能

iアプリを起動してFOMA端末をテレビのリモコンとして使用できます。

- リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。(お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は赤外線リモコン機能に対応しています。)また、リモコンのボタン操作はソフトにより異なります。
- リモコンのボタン操作時は「 」が表示されます。ただし、ソフトによっては表示されない場合があります。
- 機器によっては操作できないものもあります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。

リモコン操作について

- 機器の正面にFOMA端末の赤外線ポートを向けて操作してください。操作ができる範囲は正面で約4m以内です。
- 赤外線放射角度は中心から±15度以内です。

電話帳画像転送

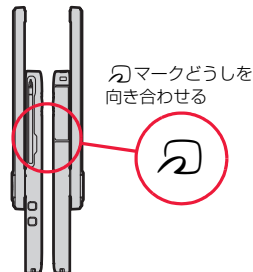
赤外線、iC通信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkで電話帳を転送したときに、登録されている静止画もあわせて転送するかどうかを設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**電話帳**▶**電話帳画像転送**▶**する・しない**

iC通信機能の利用

iC通信とは、FeliCa リーダー／ライター機能を利用して他のFOMA端末とデータを送受信できる機能です。iC通信機能対応の他のFOMA端末と、マークどうしを向き合わせることでデータを送受信します。ただし、相手のFOMA端末によっては送受信できないデータがあります。

- 転送できるデータの種類と転送条件などは赤外線通信と同様です。(P.368参照)ただし、デコメアニメ®テンプレートとデータBOX内のデータの全件送信はできません。
- 「ICカードロック」を設定中はiC通信はできません。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- 通信中は、圏外と同じ状態になるため、音声電話、テレビ電話、iモード・メールなどのパケット通信、データ通信などは利用できません。

データ管理

1件送受信

iC通信でデータを1件ずつ送受信します。

●P.370「■送受信時のご注意」もご覧ください。

1件送信

●充電中はご利用できません。

1 送信したいデータのサブメニュー▶iC送信・送信▶YES

1件受信

●マルチタスク中はご利用できません。

1 待受画面を表示した受信側端末の マークと送信側端末の マークを向き合わせる▶YES

全件送受信

iC通信で電話帳、スケジュール、メモ、Bookmark、メール、現在地通知先、単語登録、定型文のデータを全件送受信できます。
全件送信するには、認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

●P.371「■全件送受信時のご注意」もご覧ください。

全件送信

●充電中はご利用できません。

1 送信したいデータのサブメニュー▶iC全送信・全送信▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶YES

●認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

全件受信

●マルチタスク中はご利用できません。

1 待受画面を表示した受信側端末の マークと送信側端末の マークを向き合わせる

2 端末暗証番号を入力▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力▶YES

お知らせ

●静止画が登録された電話帳を受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

ボイスレコーダー

音声を録音する機能です。会議中の音声などをメモ代わりに録音できます。

- ムービーモードで「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定した場合と同様の機能です。
- 保存した音声は「データBOX」の「ｉモーション・ムービー」から再生します。再生方法や再生中の操作についてはP.327参照。
- 録音時間の目安についてはP.503参照。

1
MENU▶**便利ツール**▶**ボイスレコーダー**

ボイスレコーダー録音画面

2 **●(録音)または○を押す**

録音を開始します。

3 **●(終了)または○を押す**

録音を終了します。ボイスレコーダー保存確認画面が表示されます。

4 **●(保存)または○を押す**

お知らせ

- 録音開始時・終了時にはマナーモードなどの設定に関わらず録音開始音・終了音が鳴ります。録音開始音・終了音の音量は変更できません。

ボイスレコーダー録音画面のサブメニュー

項目		説明
容量設定		録音できる容量を設定します。 ●「メール制限(小)」に設定していると、500Kバイトまで録音できます。「メール制限(大)」に設定していると、2Mバイトまで録音できます。「長時間」に設定していると、microSDカードに長時間録音できます。
保存設定		
	保存先	録音した音声の保存先を設定します。 「本体」のときは「ｉモーション・ムービー」内の「ボイスレコーダー」フォルダに、「microSD」のときは「その他コンテンツ」の「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダ内に保存されます。 ●9を押しても保存先を設定できます。
	自動保存	録音終了後、自動的に保存するかどうかを設定します。
	ファイル制限	P.231参照
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。

ボイスレコーダー保存確認画面のサブメニュー

項目		説明
再生		録音した音声を再生して確認できます。 ●再生時の操作についてはP.327参照。 ●✉(再生)を押しても音声を再生できます。
保存		保存します。
メール添付／ブログ		
	ｉモードメール添付	録音した音声を保存し、ｉモードメールに添付します。 ●📷(✉MAIL)を押してもｉモードメールを作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
	ブログ投稿	録音した音声を保存し、「ブログ・メールグループ」で「▤」に設定した投稿先を宛先にしてｉモードメールを作成します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。

保存先	P.374参照
ファイル制限	P.231参照
取消	録音した音声を保存しません。

PDF対応ビューア

登録されているPDFデータを表示します。iモード、フルブラウザでサイト上のPDFデータを表示することもできます。

1 MENU▶データBOX▶マイドキュメント▶フォルダを選択▶PDFデータを選択

- フォルダ一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- PDFデータ一覧画面で iα（切替）を押すごとに表示方法を変更します。

フォルダ一覧画面　→　PDFデータ一覧画面

- フォルダ一覧画面のサブメニューはP.366参照。
- すべてのページをダウンロードしないと表示されないPDFデータの場合、すべてダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。
- PDFデータによっては表示する際にパスワードの入力画面が表示される場合があります。パスワードを入力して「OK」を選択します。
- PDFデータ表示中は画面にポインタが表示されます。ポインタについてはP.184参照。

■PDFデータ表示中の操作

- サブメニューから操作する場合はP.376参照。

操作	ボタン操作
ポインタの移動／画面のスクロール	◎
前のページ	✉、4
次のページ	iα、6

操作	ボタン操作
ズームアウト	1
ズームイン	3
全体表示	2

お知らせ

- 本体·microSDカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。また、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
- データによっては、正しく表示されないことがあります。
- 部分的にダウンロードしたPDFデータを表示中に、ダウンロードしていないページを表示しようとすると、そのページをダウンロードします。
- 複数のタブでPDFデータを表示することはできません。

PDFデータ一覧画面のサブメニュー

タイトル編集	タイトルを編集します。
ドキュメント情報	PDFデータのタイトル、保存日時などを表示します。
iモードメール添付	PDFを添付し、iモードメールを作成します。 ●📷（✉MAIL）を押してもiモードメールを作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
iC送信	iC通信で送信します。
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
本体へコピー	FOMA端末へコピーします。
コピー	microSDカード内のPDFデータをmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。
フォルダ移動	PDFデータを別のフォルダに移動します。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
保存容量確認	保存容量（目安）／件数を表示します。
ソート	表示される順番を変更します。 ●microSDカード内のファイルはソートできません。
削除	削除します。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているPDFデータ「GPL/LGPLライセンス説明」は、削除したり別のフォルダに移動したりできません。

PDFデータ表示中のサブメニュー

項目	説明
表示	
ズームイン	PDFデータ表示サイズを拡大します。 1000%まで拡大できます。
ズームアウト	PDFデータ表示サイズを縮小します。 8%まで縮小できます。
倍率指定	PDFデータの表示倍率を指定します。
全画面表示	PDFデータを全画面表示します。 ●全画面表示を解除するにはCLRを押します。
全体表示	PDFデータを全体表示します。
実際の大きさ	PDFデータを倍率100%で表示します。
幅にあわせる	PDFデータの表示倍率をページの幅に合わせて自動的に設定します。
表示を回転	表示を回転させます。
ページレイアウト ビューア起動時 単一ページ	PDFデータの表示レイアウトを変更します。
リンク表示	PDFデータ内に設定されているリンクを表示します。リンクの種類には内部リンク(表示中のPDFデータ内に設定されているリンク)、Web To、Mail To、Phone To／AV Phone Toがあります。
表示情報設定 ビューア起動時 表示する	PDFデータを表示する際に、表示倍率、ページ番号、スクロールバーを表示するかどうかを設定します。
残り全てを取得	ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータや、通信が途中で切断されダウンロードに失敗したPDFデータなどの、ダウンロードしていない部分をすべてダウンロードします。
ページ移動	PDFデータ内の他のページに移動します。
検索	指定した文字列でPDFデータ内を検索します。 指定した文字列と一致した箇所は黄緑色にマーキングされます。 ●✉(前検索)やi α(次検索)を押すと、同じ条件で続けて検索できます。 ●📷(編集)を押すと検索文字列や条件を編集できます。
保存	未保存のPDFデータを保存します。部分的なPDFデータの新たなページをダウンロードした場合も保存できます。 ●サーバ側の変更により最初のページから再度ダウンロードしたPDFデータの場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。
画面切り出し	画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存します。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.196参照。
しおり	
しおり表示	
しおり	PDFデータに設定されているしおりを一覧表示します。しおりを選択すると設定されているページを表示できます。 ●あらかじめ設定されているしおりには階層が分かれているものがあります。📷(次へ)を押すと、下階層のしおりを表示できます。

	ｉモードしおり	PDFデータに追加で設定したｉモードしおりを一覧表示します。しおりを選択すると設定されているページを表示できます。 ●サブメニューからタイトルを編集したり、ｉモードしおりを削除することができます。
	ｉモードしおり追加	現在表示しているページにｉモードしおりを設定します。10件まで設定できます。
マーク		
	マーク表示	PDFデータに登録されているマークのページと位置を一覧表示します。マークを選択すると登録されているマークのページを表示できます。 ●サブメニューからマークを削除できます。
	マークの追加	現在表示しているページ番号とページ内の位置をマークとして登録します。10件まで設定できます。
プロパティ表示		PDFデータのタイトルや作成者などを表示します。
ファイル情報表示		P.375「ドキュメント情報」参照
コピー		PDFデータの文字を選択してコピーします。 ●全角5000文字/半角10000文字までコピーできます。 ●コピーした文字を貼り付けるにはP.411参照。
操作ガイド		ボタン操作のガイドを表示します。
タブ操作		
	新しいタブで開く	P.183参照
	タブを閉じる	複数のタブを開いているときにタブを閉じます。
	タブ切替	複数のタブを開いているときに、表示するタブを切り替えます。
メール作成		PDFを添付し、ｉモードメールを作成します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。

お知らせ

＜表示＞
- 表示方法を変更して保存すると、次に起動したときは保存したときの倍率やレイアウトで表示されます。
- 部分的なPDFデータの場合はページレイアウトの変更はできません。

＜検索＞
- 各検索条件の動作は次のとおりです。
  完全一致：単語単位で完全に一致した文字列を検索します。
  大文字小文字区別：大文字、小文字を区別して検索します。
  ページ内検索：現在表示中のページ内でのみ検索します。

＜画面切り出し＞
- PDFデータによっては、画面の切り出しができない場合があります。

＜ｉモードしおり追加＞＜マークの追加＞
- 保存済みのPDFデータにｉモードしおり･マークを追加した場合は、自動的に上書き保存されます。
- すでにｉモードしおり･マークが10件設定されているPDFデータにｉモードしおり･マークを追加する場合は、不要なｉモードしおり･マークを削除してから追加します。

＜コピー＞
- PDFデータによっては、コピーできない場合があります。

ドキュメントビューア

メールに添付されたドキュメントファイルや、microSDカードに保存したドキュメントファイルを表示します。(P.364参照)

■表示できるドキュメントファイルの種類

ドキュメントファイルの種類	拡張子
Excel	XLS、XLSX
Word	DOC、DOCX
PowerPoint	PPT、PPTX
Text	TXT

1 MENU▶データBOX▶ドキュメントビューア▶フォルダを選択▶ファイルを選択

- フォルダー一覧画面のサブメニューはP.366参照。
- ドキュメントファイル表示中は画面にポインタが表示されます。ポインタについてはP.184参照。

フォルダー一覧画面

ドキュメント一覧画面

■ドキュメントファイル表示中の操作

- サブメニューから操作する場合はP.378参照。

操作	ボタン操作
ポインタの移動／画面のスクロール	(方向キー)
操作ガイド	0
ズームアウト	1
全体表示	2
ズームイン	3
前のページ	(メール)、4
次のページ	(iα)、6
右90度回転	5
幅にあわせる	8
スクロール設定	#

お知らせ

- データによっては、正しく表示されないことがあります。
- ドキュメントビューアではポインタのドラッグモードによる操作はできません。

ドキュメント一覧画面のサブメニュー

タイトル編集	タイトルを編集します。
ファイル情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。
iモードメール添付	ドキュメントファイルを添付し、iモードメールを作成します。 ●(TV)(MAIL)を押してもiモードメールを作成できます。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
コピー	microSDカード内のドキュメントファイルをmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。
フォルダ移動	ドキュメントファイルを別のフォルダに移動します。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
削除	削除します。

ドキュメントファイル表示中のサブメニュー

表示	ファイルの表示方法を変更します。
ページ移動	ファイル内の他のページに移動します。
検索	指定した文字列でファイル内を検索します。 指定した文字列と一致した箇所は反転表示されます。 ●(メール)(前検索)や(iα)(次検索)を押すと、同じ条件で続けて検索できます。 ●(TV)(編集)を押すと検索文字列や条件を編集できます。
保存	表示中のファイルをmicroSDカードに保存します。

スライドショー	Microsoft PowerPointファイルのスライドショーを実行します。 ●スライドショー実行中は◎で次のスライドを、◎で前のスライドを表示できます。
操作ガイド	ボタン操作のガイドを表示します。
表示設定	
ステータスバー設定	表示倍率、ページ番号、スクロール設定の設定を表示するステータスバーを表示するかどうかを設定します。
スクロールバー設定	スクロールバーを表示するかどうかを設定します。
マップ設定	現在の表示範囲を示す縮小画像(マップ)を表示するかどうかを設定します。
スクロール設定	Microsoft Wordファイル、Textファイルのスクロール方法を設定します。 ●「2way」に設定していると、上下の2方向でスクロールします。ステータスバーに「2Way」が表示されます。「4way」に設定していると、上下左右の4方向でスクロールします。
メール作成	ドキュメントファイルを添付し、iモードメールを作成します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
ファイル情報表示	ファイル名やファイル種別などを表示します。

お知らせ

<検索>

●各検索条件の動作は次のとおりです。
完全一致:単語単位で完全に一致した文字列を検索します。
大文字小文字を区別:大文字、小文字を区別して検索します。
行方向に検索(Excelファイルのみ):
列方向に検索(チェックなし)するか、行方向に検索(チェックあり)するかを設定します。

DPOF設定

DPOFとは、デジタルカメラで撮影された静止画用のプリント情報を記録するための指定方式です。microSDカード内の静止画にプリントするかどうかの情報とその枚数を設定します。プリントサービスショップに持ち込んだり、DPOFに対応したプリンタで設定どおりに印刷できます。

1 静止画一覧画面・静止画表示中▶MENU(サブメニュー)▶DPOF設定▶プリント指定▶プリント枚数を入力

●静止画一覧画面のサブメニューから操作した場合は、「1件DPOF設定」または「選択DPOF設定」を選択します。「選択DPOF設定」を選択した場合は、設定したい静止画にチェックを付けて📷(完了)を押します。
●プリント指定を解除するには「プリント指定解除」または「プリント指定全解除」を選択します。

お知らせ

●DPOF設定した画像は種別アイコンが「JPG」になります。
●999件までの画像にDPOF設定を設定できます。
●8Mバイトを超える画像や13M(3120×4160)を超える画像には設定できません。
●microSDカードの空き容量が少ない場合、DPOFが設定されないことがあります。(アイコン表示とピクチャ情報は設定済みとなります。)
●P-03Dで撮影した静止画はPRINT Image Matching Ⅲにも対応しています。

便利な機能

しゃべって検索

知りたいキーワードを発声して、iモードで検索します。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

1 MENU▶便利ツール▶しゃべって検索

- クイック検索画面で「」、iモード検索結果画面で「」を選択しても操作できます。
- 利用するかどうかの確認画面が表示された場合は、「利用する」を選択します。「利用する（以後非表示）」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。
- (終了)を押すとしゃべって検索が終了します。

2 バイブレータが振動したら発声する

バイブレータが振動してから10秒以内に発声してください。

- MENU(ガイド)を押すとガイド画面が表示されます。
- 中止する場合は(中止)またはCLRを押します。
- (終了)を押すとしゃべって検索が終了します。

3 (確定)を押す

バイブレータが振動し、iモード検索結果画面が表示されます。

- 約3秒間操作しなかった場合もiモード検索結果画面が表示されます。
- 音声を認識できなかった場合は認識失敗画面が表示されます。(決定)を押して手順2へ進みます。

話しかたの例

「(出発駅)から(到着駅)」と発声すると、出発駅から到着駅までの経路を検索できます。「(出発駅)から(到着駅) 終電」と発声すると、終電時刻の検索もできます。また、「天気」と発声すると、天気予報などの検索結果が表示されます。

お知らせ

- 発声するときの送話口と口の距離は、10cm程度にしてください。送話口から離れた状態ではうまく音声が認識できない場合があります。
- なるべくはっきりと、自然な会話の速度で発声してください。

お知らせ

- 発声の前後に、咳払い、「エー」、舌打ち音、息の音、その他雑音など、発声とは無関係の音を出さないでください。
- 周囲の雑音の少ない、なるべく静かな場所で発声してください。
- 発声するときに送話口の穴を指でふさがないでください。また、ボタンを押したり、こすったりしないでください。
- ご利用になる環境や話しかたによって認識結果が異なる場合があります。

音声クイック起動

待受画面から音声で機能を呼び出して実行することができます。利用したい機能がメニューのどこにあるのかわからないときや、利用したい機能をすばやく起動させたいときに便利です。

- 初めて利用するときは、利用案内の画面で「利用する」を選択するか、(開始)を押します。

1 を1秒以上押す

音声受付中画面

- 「マチキャラおしゃべり設定」の設定により、音声が流れます。ただし、表示しているマチキャラによっては音声が流れない場合があります。
- を押すごとに音声のON･OFFを切り替えられます。「ON」にした場合、で音量の調整ができます。
  - ON:音声ON(スピーカー)
  - ON:音声ON(受話口)
  - OFF:音声OFF
- (ガイド)を押すと、ガイド画面が表示されます。
- お買い上げ時にショートカットに設定されている音声クイック起動のアイコン「」を選択するか、「MENU→便利ツール→音声クイック起動」の操作を行っても音声クイック起動の画面を表示させることができます。

2 「それではどうぞ　★★音声受付中★★」と表示されたら、10秒以内で送話口に機能を発声する

音声が認識されると、対応した機能が表示され起動します。

- 音声が認識できなかった場合や対応した機能が複数ある場合は、再度音声受付中画面が表示されます。

話しかたの例

- 利用したい機能の機能名を発声する
  電卓……………電卓が起動します。
  ワンセグ………ワンセグが起動します。
- 利用したい機能のキーワードを発声する
  計算……………電卓が起動します。
  テレビ…………ワンセグが起動します。
  アドレス交換…赤外線通信機能が起動し、プロフィールの送受信が行えます。
- 利用したい機能のキーワードを複数発声する
  「写真　見る」……………マイピクチャが起動します。
  「メール　問合せ」…………「メール／メッセージ問合せ」が起動します。
  「スケジュール　2月16日」…その年の2月16日のスケジュールが表示されます。
  「○○さんにメール」※………○○さん宛のメール作成画面が表示されます。
  ※電話帳に登録している名前（フリガナ）を発声してください。同じ名前を複数登録している場合は電話帳の一覧が表示されます。

お知らせ

- 「マチキャラ設定」の「表示設定」が「OFF」に設定されている場合や、マチキャラが1件も保存されていない場合でも音声が流れます。
- 起動する機能が特定できない場合は、使いかたガイドで候補を検索します。
- 発声するときの送話口と口の距離は、10cm程度にしてください。送話口から離れた状態ではうまく音声が認識できない場合があります。
- なるべくはっきりと、自然な会話の速度で発声してください。
- 発声の前後に、咳払い、「エー」、舌打ち音、息の音、その他雑音など、発声とは無関係の音を出さないでください。
- 周囲の雑音の少ない、なるべく静かな場所で発声してください。
- 発声するときに送話口の穴を指でふさがないでください。また、ボタンを押したり、こすったりしないでください。
- ご利用になる環境や話しかたによって認識結果が異なる場合があります。
- マチキャラおしゃべり設定についてはP.383参照。

マチキャラおしゃべり設定

マチキャラの音声を流すかどうかを設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**マチキャラおしゃべり設定**▶**以下の操作を行う**

- 「マチキャラおしゃべり設定」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

おしゃべり	マチキャラの音声を流すかどうかを設定します。また、スピーカーまたは受話口から流すように設定します。 ●「ON」に設定していても、マチキャラによっては音声が流れない場合があります。
音量	音量を設定します。

歩数計

FOMA端末を持ち歩いている間の歩数を計測し、計測結果に基づいて歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量を表示します。

■歩数計利用時のご注意

- メイン時計設定を行っていない場合は、利用できません。
- キャリングケースL 01／キャリングケース 02(別売)に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。
- かばんなどに入れるときは、固定できるポケットや仕切りの中に入れてください。

■計測について

- 一定のペースで歩行していただくと、より正確に歩数を計測できます。毎分100〜120歩程度で歩くことをおすすめします。
- 歩きかたや計測できない状況などで歩数に誤差が生じる場合があります。また、歩行距離、消費カロリー、脂肪燃焼量は歩数と入力した体重、歩幅をもとに算出されます。あくまで目安としてご活用ください。
- 誤カウントを防ぐため、歩き始めや歩くペースを変えた直後は数値が変わりません。目安として10歩以上歩くとそこまでの歩数が一度に加算されます。
- 電源が入っていないときやソフトウェア更新中は計測されません。
- 以下の場合は歩数が正確に計測されないことがあります。
  - ･FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たっていたり、FOMA端末を腰やかばんからぶら下げたりして不規則に動くとき
  - ･すり足のような歩きかたをしたり極端にゆっくり歩いたとき
  - ･歩行以外のスポーツやジョギングをしたとき

計測履歴

歩数を計測するには、「歩数計設定」を「ON」に設定します。(お買い上げ時は「ON」に設定されています。)歩数の計測は「歩数計設定」を「OFF」に設定するまでは、常に計測されます。

1 MENU▶**便利ツール**▶**歩数計**

- ◉を押すごとに1日ごとの表示→1週間ごとの表示→1ヶ月ごとの表示→総数の表示に変更できます。
- ◐を押すと前後の日、週、月の計測履歴を表示します。
- 📷を押すごとに計測データの項目を変更できます。
- 1週間ごとの表示や1ヶ月ごとの表示の際に、✉を押すごとにテキスト表示→リスト表示→グラフ表示を変更できます。

歩数計測履歴画面

お知らせ

- 計測履歴は、「MENU▶便利ツール▶歩数計」の操作を行うごとに最新の状態に更新されます。待受画面に歩数などを表示するFlash画像を設定している場合は、Flash画像が再生されたときにも更新されます。歩数計測履歴画面を表示中や、待受画面のFlash画像が停止中は更新されません。
- 表示されるデータの項目とその1日当たりの最大値は以下のとおりです。
  - ･歩数 999999歩
  - ･歩行距離 1000000m
  - ･消費カロリー. . . . 7000.0kcal
  - ･脂肪燃焼量 900.0g
  - ･それぞれの目標　･目標までの残り　･達成度
- 目標歩数の値に従ってそれぞれの項目の目標が算出されます。また、目標歩数の達成度に応じて画面の表示が変化します。
- 0:00〜23:59までを1日分の計測履歴として保存します。計測履歴は1ヶ月ごとに最大3ヶ月分(92日)まで保存されます。
- 計測履歴は約15分ごとに保存されます。ただし、電池パックを外した場合、最後に保存された計測履歴から電池パックが外されるまでの歩数は計測履歴には保存されません。

歩数計測履歴画面のサブメニュー

歩数計設定	歩数の計測を開始／停止します。 ●「OFF」に設定しても計測履歴はリセットされません。再度「ON」に設定すると続きとして計測を再開します。
ユーザ情報設定	体重と歩幅を設定します。ユーザ情報は歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量の算出に使用します。
目標歩数	目標とする1日分の歩数を設定します。
履歴全削除	計測履歴をすべて削除します。

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話・パケット通信・SMSの3回線を同時に使用できる機能です。
画面を切り替えるときは㊂を押してタスクメニューから切り替えます。**（P.386参照）**
マルチアクセスの組み合わせパターンについての詳細は、**P.478参照。**

音声電話	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

お知らせ

●マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。

ｉモード中・パケット通信中の音声電話発信

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話をかけることができます。

1 **ｉモード中・パケット通信中▶㊂▶待受画面**

2 **電話をかける**

● ｉモード中にテレビ電話をかけると、ｉモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。
テレビ電話を終了すると、ｉモードの画面に戻ります。

ｉモード中・パケット通信中の音声電話着信

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話を受けることができます。

1 **電話がかかってくると電話着信画面が表示される▶㊁で電話に出る**

●電話に出ないでｉモードやパケット通信の画面に戻るには㊂を押してタスクメニューを表示し、機能を切り替えます。もう一度㊂を押すとタスクメニューから電話着信画面に戻れます。
相手にはメッセージは流れず、呼び出し中になります。

音声電話中の通信

音声電話を終了せずにｉモードやメールの送受信などができます。

1 **音声電話中▶㊂▶MENUを開く**

アイコンを選択して各機能の操作を行います。

お知らせ

●通話中にメールやメッセージR/Fを受信した場合、「受信時動作設定」の設定に関わらず、着信音は鳴らず、着信イルミネーションも光りません。

お知らせ

- パソコンをつないだパケット通信を利用する場合は、音声電話中にパソコンから発信操作を行います。

マルチタスク

FOMA端末は、複数の機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。メニュー機能(P.32参照)はグループに分けられていて、各グループの中から1つずつ、最大3つの機能を同時に使えます。

- 機能の組み合わせや操作によっては、異なるグループの機能でも同時に使用できない場合があります。

グループ	主な機能
メールグループ	メール
iモードグループ	iモード／web トルカ
iアプリグループ	iアプリ
ツールグループ	電話帳 発着信履歴 カメラ データBOX 便利ツール 地図･GPS機能
設定グループ	各種設定機能
iコンシェルグループ	iコンシェル
ワンセグ／ミュージックグループ	ワンセグ ミュージックプレーヤー Music&Videoチャネル
グループに属さない機能	音声電話 テレビ電話 64Kデータ通信

新しい機能の実行

1 各種機能を実行中▶(マルチ)▶MENUを開く▶新しい機能を実行

使用している機能が1つのときは「 」のアイコンが表示されます。複数の機能を使用中は「 」のアイコンが表示されます。

- すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されているときは、機能を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると元のメニュー機能は終了し、新しいメニュー機能が呼び出されます。

お知らせ

- 通話中に他の機能を同時に使っている間でも、通話料金は加算されます。
- 他の機能が起動中に着信があった場合、正しく着信動作しないことがあります。その場合、「伝言メモ」や転送でんわサービスなどが設定した呼出時間よりも短い時間で動作することがあります。
- 処理負荷の高い機能を実行中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、表示などの動作に遅れが発生することがあります。

画面の切り替え

(マルチ)を押すと、タスクメニューが表示されます。タスクメニューから機能を選択して切り替えることができます。

- 「MENUを開く」を選択するか(MENU)(MENU)を押すと、メインメニューが表示されます。
- (メール)(MAIL)を押すと、メールメニューが表示されます。
- 「待受画面」を選択するか(iα)(待受画面)を押すと、待受画面が表示されます。

タスクメニュー

お知らせ

- 複数のメニュー機能が起動しているときは、(マルチ)を1秒以上押して、タスクメニューを表示せずに画面を切り替えることができます。
- (マルチ)で画面を切り替えても、起動中のメニュー機能が終了したり、電話が切れたりすることはありません。また、文字入力(編集)画面から他のメニューに切り替え、そのメニューで文字編集などを行っても、タスクを切り替えれば、元の文字編集を続けることができます。

機能の終了

各機能の画面が表示されている状態でを押すと、その機能が終了します。

- タスクメニューで機能を選んでを押すと選んだ機能が終了します。
  (END ALL)を押すと起動中の機能がすべて終了し、待受画面に戻ります。
- バックグラウンド再生中の待受画面でを押すと、バックグラウンド再生中の機能を終了するかどうかの確認画面が表示されます。

自動電源ON・自動電源OFF

1 MENU▶本体設定▶時計▶自動電源ON・自動電源OFF▶ON・OFF▶時刻を入力▶項目を選択

繰り返しなし. . . .設定した時刻に1回のみ電源をON／OFFします。
毎日繰り返し. . . .設定した時刻に毎日電源をON／OFFします。

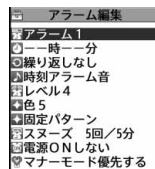
お知らせ

- アラームやスケジュールアラームなどと同時刻に「自動電源OFF」を設定すると、アラームやスケジュールアラームなどが優先されます。
- 「自動電源OFF」を設定しても、待受画面以外を表示中に指定した時刻になった場合は電源は切れません。起動中のそれぞれの機能を終了したあと、電源が切れます。なお、待受画面にFlash画像を設定すると、Flash画像が動いている間は電源が切れないことがあります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

アラーム

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーション、イルミネーションでお知らせします。

1 MENU▶便利ツール▶アラーム▶アラームを選んで(編集)

アラーム編集
アラーム1
ーー時ーー分
繰り返しなし
時刻アラーム音
レベル4
色5
固定パターン
スヌーズ　5回／5分
電源ONしない
マナーモード優先する

2 以下の操作を行う▶(完了)

- 設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
  D：毎日繰り返し
  W：曜日指定繰り返し
  WD：平日繰り返し
  H：休日･祝日繰り返し

タイトル	タイトルを入力します。
時刻	アラームを鳴らす時刻を入力します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。
アラーム音	アラーム音を設定します。
アラーム音量	音量を設定します。 ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
イルミネーション	イルミネーションを設定します。
パターン	イルミネーションのパターンを設定します。 ●「メロディ連動」を選択すると、メロディに合わせて着信／充電ランプが光ります。

スヌーズ通知	スヌーズ通知の設定をします。 ●スヌーズ通知する場合は鳴動回数(回)と鳴動間隔(分)を入力します。スヌーズ通知しない場合は鳴動時間(分)を入力します。 ●スヌーズ通知の動作についてはP.388参照。
自動電源ON	電源を切っているときにアラーム時刻になった場合、自動的に電源をONにしてアラーム通知するかどうかを設定します。
アラーム音優先	マナーモード中のアラーム音を鳴らさないようにするか、本機能で設定した音量で鳴るようにするかを設定します。 ●オリジナルマナー設定時はP.101「アラーム音量」の設定に従って鳴ります。

アラーム表示中のサブメニュー

編集	編集します。
詳細表示	登録内容を表示します。 ●◉(選択)を押しても表示できます。
完了(1件ON)	登録済みのアラームをONにします。 ●(ON/OFF)を押してもON/OFFできます。
1件OFF	登録済みのアラームをOFFにします。 ●(ON/OFF)を押してもON/OFFできます。
全件OFF	登録済みのアラームをすべてOFFにします。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。

お知らせ

●通話中にアラームが鳴ったときはいずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。ただし、「スヌーズ通知」の設定に関わらずスヌーズ通知されません。通話中の相手が電話を切った場合はアラームが終了します。

●通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。

お知らせ

●スヌーズ中に以下の動作が発生した場合、スヌーズは解除されます。
- ・音声電話、テレビ電話の着信があった場合
- ・「位置提供設定」やサービスごとの利用設定で位置提供を許可する設定にしているときに、位置提供の要求を受信した場合
- ・「スケジュール」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合

●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

「アラーム」、「スケジュール」のアラームを設定したときは

待受画面にアイコンが表示されます。

「 」. . . . 当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合に表示されます。

「 」. . . . 明日以降の設定のみの場合に表示されます。

「アラーム」、「スケジュール」のアラームで設定した時刻になったときは

アラーム音が約5分間(「アラーム」は設定した時間)鳴り、着信/充電ランプが光ります。また、「バイブレータ設定」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、アラームメッセージと選択したアイコンに連動したアニメーションまたはｉモーションが表示されます。

●アラームの「スヌーズ通知」を「スヌーズ通知する」に設定したときは
を押してスヌーズを解除するまで「スヌーズ通知」の設定に従って動作します。1回に付き約1分間アラーム音が鳴ります。

●通話中は
受話口から専用のアラームが3回繰り返し鳴ります。

●操作中は
「アラーム通知設定」の設定に従って動作します。(P.389参照)

●アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときは
「アラーム」→「録画予約」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。

●電源OFFのときは
<アラーム>
自動電源の設定を「電源ONする」に設定している場合は、自動的に電源をONにしてアラーム通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源はOFFのままでアラーム通知しません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
<スケジュール>
アラーム通知はしません。
電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
●マナーモード中は
アラーム音量とバイブレータについてはマナーモードの設定に従って動作します。（P.100参照）
●ダイヤルロック中、オリジナルロックで「アラーム」「スケジュール／メモ」をロック中、おまかせロック中は
アラーム通知はしません。
●赤外線通信中、iC通信中、ソフトウェア更新中はアラーム通知はしません。

お知らせ

●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。
●ｉモーション／着うたフル®によってはアラーム音に設定できない場合があります。
●アラーム音に設定したｉモーションによってはアラーム通知時に音声のみが再生される場合があります。
●着うたフル®をアラーム音に設定した場合は、アラーム通知時に音声のみが再生されます。
また、アラーム音選択時のデモ再生時とアラーム通知時のイルミネーションが異なる場合があります。

アラーム音／アラームメッセージ・アニメーション／ｉモーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーション／ｉモーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたまま残ります。もう一度いずれかのボタン（アラームの「スヌーズ通知」を「スヌーズ通知する」に設定した場合は[終話]）を押すと消せます。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。
●スケジュールのアラームメッセージが複数あるときは、アラーム音を停止したあとに[Ｏ]を押して表示を切り替えることができます。

「アラーム通知」がされなかったときは

デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されることがあります。そのアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認できます。
未通知アラーム情報は通知できなかった最新のものを表示します。

アラーム通知設定

他の機能が起動中でも「アラーム」「スケジュール」「視聴予約」のアラーム通知をするかどうかを設定します。

1 **[MENU]▶本体設定▶その他設定▶アラーム通知設定▶操作優先・通知優先**

操作優先 . . . . 他の機能が起動中はアラーム通知を行いません。
通知優先 . . . . FOMA端末を操作しているときや通話中もアラーム通知を行います。

●「アラーム通知設定」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

お知らせ

●アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。

スケジュール

1ヶ月単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。
2000年1月1日から2037年12月31日まで表示･登録できます。

●アラーム通知の動作についてはP.388参照。

スケジュール登録

指定した日付･時刻になるとアラーム音やイルミネーションなどでお知らせします。

1 MENU▶便利ツール▶スケジュール▶MENU(サブメニュー)▶新規登録

2 以下の操作を行う▶📷(完了)

●iαを押すごとにヒントの表示／非表示が切り替わります。

▦	カテゴリアイコンを選択します。
件名	件名を入力します。
詳細	詳細を入力します。
シール	絵文字を貼り付けます。
ラベルカラー	ラベルカラーを選択します。
文字カラー	文字カラーを選択します。
ToDo	期限、状態、完了日、優先順位などの各項目を設定します。
いつ？	開始／終了日時や繰り返しなどを設定します。
どこで？	場所を入力します。
だれと？	作成したメモをだれと共有するかを設定します。
共有設定	ニックネームやメールアドレスを入力して登録したメンバーとメモを共有することができます。 ●ｉコンシェルのご契約が必要です。
添付	画像やメールを付加できます。
アラーム･リマインド設定	設定した日時に、登録した予定やメモをアラームでお知らせします。 ●「いつ？」で繰り返しを設定している場合は、繰り返しの日時に対しても同様にアラームでお知らせします。 ●ｉコンシェルご契約者は予定やメモをｉコンシェルで通知したり、メールや場所の情報を利用することもできます。場所の情報を利用するには、オートGPS動作設定を「ON」に設定しておく必要があります。

お知らせ

●「開始日時」に29日以降の日付を入力し、「繰り返し」を「毎月」または「毎年」に設定した場合、該当の日がない月では月末の日にスケジュールが設定されます。
●シークレット登録したスケジュールの場合、通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)では、アラーム通知時にアラームメッセージは表示されません。シークレットのアニメーションが表示されます。
●待受中のアラーム音は、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量で鳴ります。

休日登録

休日を登録します。
同じ日に複数の休日を登録することはできません。

1 MENU▶便利ツール▶スケジュール▶MENU(サブメニュー)▶休日設定▶新規登録

●「休日リセット」を選択すると、休日をリセットできます。

2 以下の操作を行う▶📷(完了)

年月日設定	年月日を入力します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。 ●繰り返す設定にしても、件数は1件としてカウントされます。
休日編集	休日の内容を入力します。

スケジュールの確認

スケジュール、休日を確認します。電話帳に登録した誕生日も確認できます。

1 MENU▶便利ツール▶スケジュール

- ●(前月)、●(翌月)を押すと前後の月のカレンダーが表示されます。週タイムライン表示では●(前週)、●(翌週)で操作します。
- ｉコンシェルで週間天気予報やｉスケジュールを受信した場合は、それらの情報も表示されます。
- メモやスケジュールに設定されているシールも表示されます。

月表示画面

2 日付を選択

選択した日付のスケジュール、休日、誕生日の一覧が表示されます。

- ●(新規)を押すと、スケジュールの新規登録ができます。
- ●(編集)を押すと、スケジュールや休日の編集ができます。

日表示画面

3 項目を選択

- 画面に電話番号、メールアドレス、URLが表示されている場合は、Phone To／AV Phone To、Mail To、Web To 機能が利用できます。
- ●(編集)を押すと、スケジュールの編集ができます。

スケジュール詳細画面

お知らせ

- お買い上げ時に登録されている祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成17年法律第43号までのもの)」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。(2011年10月現在)
- 電話帳に登録した誕生日は、スケジュールでは編集／削除できません。編集／削除する場合は、電話帳から行ってください。(P.90参照)

月表示画面・週タイムライン表示画面・日表示画面・日タイムライン表示画面・スケジュール詳細画面のサブメニュー

新規登録	新規登録をします。
シールを貼る	シールを貼ります。
編集	編集します。
コピー	コピーします。
メモ一覧表示	メモ一覧画面を表示します。
ｉコンシェルメニュー表示	ｉコンシェルメニュー画面を表示します。
お預かりセンターに接続	お預かりセンターに接続してスケジュールとｉスケジュールを最新の状態にします。
クイック検索	P.188参照
ｉスケジュール一覧	ｉスケジュールリストを表示します。 ●(iｽｹｼﾞｭｰﾙ)を押しても表示できます。
シールを選ぶ	シールを選択します。
シール表示設定	シールを表示するかどうかを設定します。
基本表示設定	表示する画面を設定します。次回スケジュール起動時には選択した画面が表示されます。 ●「週タイムライン」に設定すると1週間の予定が時間単位で表示され、「日タイムライン」に設定すると1日の予定が時間単位で表示されます。
表示切替	表示している画面を切り替えます。

画像保存	画像を保存します。
表示条件設定	条件に合うスケジュールのみを表示します。
表示条件解除	表示条件を解除して、すべてのスケジュールを表示します。
登録件数確認	スケジュール（ｉスケジュールを含む）、休日の件数を表示します。シークレットモード／シークレット専用モード中は、シークレット登録されているスケジュールの件数も表示します。 ●電話帳に登録した誕生日の件数は表示されません。
シークレット解除	シークレット登録されたスケジュールをシークレット解除します。
メール作成	スケジュールの日付と詳細が本文に入力されたｉモードメールを作成します。
メール添付	スケジュールをｉモードメールに添付して送信します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
iC送信	iC通信で送信します。
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
iC全送信	iC通信で全件送信します。
赤外線全送信	赤外線通信で全件送信します。
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
休日設定	P.390参照
削除	削除します。
1件削除	

ｉスケジュール

ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールの内容を確認します。

- ｉスケジュールはケータイデータお預かりサービスと連動して、情報が自動更新されます。（P.128参照）また、ｉスケジュールが添付されたインフォメーションを受信した場合も情報が自動更新されます。ただし、保存しているデータがいっぱいのときは自動更新されません。P.196の操作を行います。

1 月表示画面・週タイムライン表示画面・日表示画面・日タイムライン表示画面▶MENU（サブメニュー）▶ｉスケジュール一覧

ｉスケジュール一覧画面が表示されます。

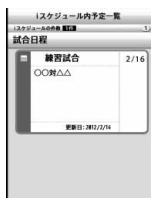
- 「ｉスケジュールリストへ」を選択した場合はP.196「ｉモードで探す」参照。

ｉスケジュール一覧画面

2 ｉスケジュール概要を選択

- 画面に電話番号、メールアドレス、URLが表示されている場合は、Phone To／AV Phone To、Mail To、Web To 機能が利用できます。

ｉスケジュール概要画面

3 項目を選択

iスケジュール内
予定一覧画面

4 iスケジュールを選択

iスケジュール内
詳細画面

iスケジュール一覧画面・iスケジュール概要画面のサブメニュー

クイック検索	P.188参照
削除	削除します。

iスケジュール内予定一覧画面・iスケジュール内詳細画面のサブメニュー

新規登録	新規登録をします。
シールを貼る	シールを貼ります。
編集	編集します。
コピー	コピーします。
メモ一覧表示	メモ一覧画面を表示します。
iコンシェルメニュー表示	iコンシェルメニュー画面を表示します。
お預かりセンターに接続	お預かりセンターに接続してスケジュールとiスケジュールを最新の状態にします。
クイック検索	P.188参照
シール表示設定	シールを表示するかどうかを設定します。
画像保存	画像を保存します。
シークレット解除	シークレット登録されたスケジュールをシークレット解除します。
メール作成	スケジュールの日付と詳細が本文に入力されたiモードメールを作成します。
メール添付	スケジュールをiモードメールに添付して送信します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
iC送信	iC通信で送信します。
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
iC全送信	iC通信で全件送信します。
赤外線全送信	赤外線通信で全件送信します。
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
削除	削除します。
1件削除	

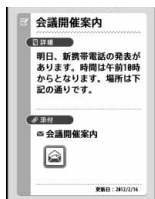
メモ

メモを作成、表示することができます。メモを作成する際にはメモの件名や詳細以外にも、カテゴリアイコンの設定やメモをデコレーションするシールの登録、画像の添付などをすることもできます。作成したメモはメールへの添付やスケジュールへの表示、相手を設定してメモを共有するなど、様々な用途に使うことができます。

1 MENU▶**便利ツール**▶**メモ**

作成したメモが一覧で表示されます。

●メモがない場合は、サンプル画面が表示されます。

メモ一覧画面

2 **メモを選択**

メモ詳細画面

メモ一覧画面・メモ詳細画面のサブメニュー

新規登録	新規登録します。P.390「スケジュール登録」参照。 ●📷(新規)を押しても新規登録できます。
編集	編集します。P.390「スケジュール登録」参照。 ●iα(編集)または📷(編集)を押しても編集できます。
コピー	コピーします。
スケジュール	スケジュールを起動します。
iコンシェルメニュー表示	iコンシェルメニュー画面を表示します。
お預かりセンターに接続	P.128参照
クイック検索	P.188参照
シール表示設定	メモに設定されているシールを表示するかどうかを設定します。
画像保存	画像を保存します。
優先表示設定	選択しているメモをメモ一覧画面の上部に表示するかどうかを設定します。
検索	検索条件を入力または選択して条件に合うメモを検索します。
表示条件選択	表示条件を選択して条件に合うメモを表示します。 ●メモ一覧画面でプルダウンメニューを選択しても同様の操作ができます。
表示条件解除	全件表示します。
シークレット解除	シークレット登録されたメモをシークレット解除します。
メール作成	メモをiモードメールの本文に貼り付けて作成します。
メール添付	メモを添付し、iモードメールを作成します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
ショートカット作成	ショートカットを作成します。
iC送信	iC通信で送信します。
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
iC全送信	iC通信で全件送信します。
赤外線全送信	赤外線通信で全件送信します。
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。

削除	削除します。
1件削除	●iα（削除）を押しても削除できます。

お知らせ

●日時を設定したメモは「スケジュール」にも表示されます。

カメラボタン設定

待受画面表示中に📷TVを押して呼び出す機能を設定できます。

1 **MENU▶本体設定▶その他設定▶カメラボタン設定▶項目を選択▶YES**

●お買い上げ時の状態に戻すには、サブメニューから「カメラボタン初期化」を選択します。

●「カメラボタン設定」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

プロフィール

契約の電話番号（自局番号）や機種名の他にお客様の個人データとして名前とフリガナ、電話番号（3件）、メールアドレス（3件）、住所、位置情報、誕生日、メモ、静止画を登録できます。
メールアドレスを変更またはシークレットコードを登録したときは、本機能のメールアドレスも変更してください。

1 **MENU▶プロフィール▶📷TV（編集）▶端末暗証番号を入力**

P.83手順2の操作を行って個人データを登録します。

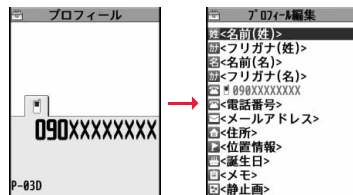
プロフィール画面

●自局番号は変更、削除できません。

●名前、フリガナは姓と名に分けて入力します。

●1番目のメールアドレスを登録する場合、「自動取得」で自動的に入力するか、「直接入力」で入力するかを選択できます。「自動取得」を選択すると、iモード接続が行われ、ご契約のメールアドレスが自動的に入力されます。

●住所は都道府県、市町村など、項目ごとに入力欄を選択して入力します。

●「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

2 **📷TV（完了）を押す**

お知らせ

●自局番号以外の項目はFOMA端末に登録されるため、他のドコモminiUIMカードをセットしても表示されます。

●本機能で変更するメールアドレスは、プロフィールで表示するメールアドレスだけです。実際のメールアドレスは変更されません。

プロフィール画面のサブメニュー

プロフィール編集	編集します。
全データ表示	登録した内容をすべて表示します。
名前コピー	名前をコピーします。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・位置情報コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ●プロフィール画面で◎を押してコピーする項目を選びます。選んだ項目によって表示されるサブメニュー項目は異なります。
メール添付	プロフィールを添付し、i モードメールを作成します。 ●添付ファイルについてはP.145参照。
GPSアプリ一覧	P.304参照
地図を見る	P.304参照
メール貼り付け	P.304参照
画像に付加	P.304参照
iC送信	iC通信で送信します。
赤外線送信	赤外線通信で送信します。 ●i α(赤外線)を押しても赤外線送信できます。
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
拡大表示・標準表示	電話帳・プロフィールの文字サイズを切り替えます。
2in1	2in1契約の問い合わせを行い、契約済みの場合はBナンバーを保存します。
プロフィール初期化	自局番号以外の電話番号やメールアドレスなど、登録したすべての個人データを初期化(削除)して、お買い上げ時の状態に戻します。
電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・位置情報削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除	各項目を削除します。 ●プロフィール画面で◎を押して削除する項目を選びます。選んだ項目によって表示されるサブメニュー項目は異なります。

通話中音声メモ・音声メモ録音

音声メモには、通話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ」と、待受中に自分の声を録音する「音声メモ録音」の2つがあります。
録音できる件数は、「通話中音声メモ」または「音声メモ録音」のどちらか一方で1件、録音時間は約20秒間です。

●「通話中音声メモ」「音声メモ録音」の再生/消去についてはP.73参照。

通話中音声メモ

1 通話中▶i α(メモ)

「ピッ」と鳴って録音が始まります。

●録音を途中で止めるときは●(停止)またはCLRを押します。テレビ電話中の場合は、●(停止)を押します。
●録音中に⌒を押すと、録音が停止し、通話が終了します。
●録音時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

●「通話中音声メモ」「音声メモ録音」のどちらかがすでに保存されているときに録音をした場合は、再生・未再生に関わらず上書きされます。
●サブメニューの各項目の操作中などは録音できません。

音声メモ録音

1 MENU▶**電話機能**▶**伝言メモ／音声メモ**▶**音声メモ録音**▶**YES**

「ピッ」と鳴って録音が始まります。送話口に向かってお話しください。

- 録音を途中で止めるときは●(停止)、CLRまたは⌒を押します。
- 録音時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音が中断されます。

自動音声メモ

音声電話中の通話の終わり部分約60秒間の相手の声を自動的に録音するように設定します。2件まで録音でき、古いものから順に自動的に上書きされます。

- 「自動音声メモ」の再生／消去についてはP.73参照。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**自動音声メモ**▶**ON・OFF**

- 自動音声メモ設定中は「 」〜「 」が表示されます。

お知らせ

- 以下の場合は、それまでの録音内容は破棄され、音声通話を再開した時点で新たに録音を開始します。
  - ・音声電話からテレビ電話に切り替えたとき
  - ・通話を保留にしたとき
  - ・通話中に着信があったとき(通話の相手を切り替えた場合は、最後の通話が録音されます。)
  - ・通話中に着信履歴、リダイヤル、電話帳検索画面を表示したとき
  - ・マルチタスクで機能を切り替えたとき

通話時間・料金

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間・料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 通話時間は、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内(104)などに通話した場合は、「￥0」もしくは「￥＊＊」が表示されます。
- 通話料金はドコモminiUIMカードに蓄積されるため、ドコモminiUIMカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金(2004年12月から積算)が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。

1 MENU▶**電話機能**▶**通話時間・料金**▶**通話時間・料金**

- 「通話時間・料金」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

通話時間

直前の通話の通話時間を表示します。

通話料金

音声通話：直前の音声電話の通話料金を表示します。
デジタル呼(AV呼)：直前のテレビ電話の通話料金を表示します。
デジタル呼(非制限デジタル)：直前の64Kデータ通信の通話料金を表示します。

積算時間

音声通話：積算時間リセット時から現在までの音声電話の通話時間を表示します。
デジタル呼(AV呼)：積算時間リセット時から現在までのテレビ電話の通話時間を表示します。
デジタル呼(非制限デジタル)：積算時間リセット時から現在までの64Kデータ通信の通話時間を表示します。

積算通話料金

積算料金リセット時から現在までの通話料金を表示します。

前回積算時間リセット日時
前回積算時間リセットを行った日付時刻を表示します。
前回積算料金リセット日時
前回積算料金リセットを行った日付時刻を表示します。

お知らせ

- 通話時間、積算時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、通話時間には音声電話とテレビ電話の合計が表示され、通話料金には音声電話とテレビ電話の料金が個別に表示されます。「切替中」(P.55参照)が表示されている間は料金は課金されません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間･通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモード契約時にお渡しする「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 着信を受けたり電源を入れ直したりすると、通話料金の表示は「￥＊＊」になります。また、電源を入れ直すと通話時間の表示は「0秒」になります。
- 2in1をご契約いただいている場合、積算時間と積算通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

積算リセット

1 MENU▶電話機能▶通話時間･料金▶積算リセット▶端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う

- 「積算リセット」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

積算時間リセット	通話時間および積算時間を「0秒」に戻します。
積算料金リセット	通話料金および積算通話料金を「￥0」に戻します。 ● PIN2コードの入力が必要になります。(P.115参照)

積算料金自動リセット

毎月1日の0時に積算通話料金を自動的にリセットするように設定します。

1 MENU▶電話機能▶通話時間･料金▶積算料金自動リセット▶端末暗証番号を入力▶自動リセット設定▶ON･OFF▶PIN2コードを入力

- PIN2コードについてはP.115参照。
- 「積算料金自動リセット」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- 本機能を「ON」に設定している場合、「メイン時計設定」で月を変更しても積算通話料金はリセットされます。
- 次の場合、積算料金自動リセットは「OFF」に設定されます。
  - ・ドコモminiUIMカードを未挿入のまま、電源ONにした場合
  - ・PIN2コードの入力画面でCLRを押した場合
  - ・PIN2コードがロックされている場合
  - ・ドコモminiUIMカードに異常がある場合

通話料金通知

積算通話料金の上限値を設定し、金額が上限料金を超えたときにお知らせします。

1 MENU▶電話機能▶通話時間･料金▶通話料金通知▶端末暗証番号を入力

- 「通話料金通知」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 以下の操作を行う▶TV(完了)

￥料金上限値	上限料金を設定します。 ● 10円から100000円まで、10円単位で設定できます。

便利な機能

上限値通知	設定した上限料金を超えたときに、アラーム通知するかどうかを設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
アラーム音量	音量を設定します。

積算通話料金が上限料金を超えると

「上限値通知」を「通知する」に設定している場合は、通話を終了して約3秒後にアラーム音が約5分間鳴ります。画面には、上限料金を超えた旨のアラームメッセージが表示されます。いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止します。CLRまたは⌒を押すとアラームメッセージが消え、デスクトップに「¥上限」が表示されます。

- 「アラーム音」を「OFF」に設定している場合、アラーム通知はしません。「¥上限」でのみお知らせします。
- 「¥上限」を選択すると通話料金の情報が表示されます。

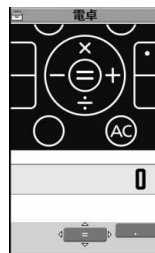
お知らせ

- 設定リセット、端末初期化を行うと、「¥上限」は消去されます。
- 上限料金を超えた場合、設定した上限値で再度通知させたいときは、積算通話料金をリセットしてください。

電卓

電卓を表示して四則演算(＋、－、×、÷)を行います。10桁まで表示できます。

1 MENU▶便利ツール▶電卓▶以下の操作で計算を行う

キー	操作	キー	操作
◎(右)	＋	◎(上)	×
◎(左)	－	◎(下)	÷
●	＝	📷TV	小数点
CLR	C(クリア):直前に入力した数字を取り消します。		
	AC(オールクリア):入力した計算をすべて取り消します。		

お知らせ

- 計算の途中に負数は入力できません。
- 計算結果が10桁を超えた場合や0で割り算をするなど誤った計算を行った場合は、「.E」を表示します。

便利な機能

クイックミラー

ダウンスタイルでインカメラを利用して手鏡のように使用できます。

1 MENU▶**便利ツール**▶**クイックミラー**

ダウンスタイルにするとクイックミラーが起動します。

- iα(ON/OFF)を押すごとにインカメライトの点灯／消灯を切り替えます。
- ◎を押すと縮小表示され、◎を押すと拡大表示されます。
- クイックミラー起動中に●(カメラ)を押すと、デジカメモードでインカメラを起動できます。(P.220参照)
- クイックミラーを起動したときに、ダウンスライド設定に関する注意の画面が表示された場合は「OK」を選択します。「以後確認しない」にチェックを付けると、以後同様の画面は表示されません。

お知らせ

- クイックミラーを起動している状態で約2分間何も操作しないと、自動的にクイックミラーは終了します。

クイックミラー起動中のサブメニュー

インカメライト クイックミラー起動時 OFF	インカメライトの動作を設定します。
チラツキ補正	ちらつきを抑制します。

お知らせ

<インカメライト>

- 電池残量が少ないときは「OFF」に設定されます。

<チラツキ補正>

- 自動に設定した場合、自動調整に時間がかかることがあります。その場合、使用している場所の電源周波数に合わせてモード1･モード2に切り替えてください。

辞典

英和／和英／国語辞典を利用できます。

1 MENU▶**便利ツール**▶**辞典**

2 **以下の操作を行う**▶**辞典を選択**▶**検索結果を選択**

- 「再検索」が表示されているときは、📷(再検索)を押すと再度「直接入力」または「検索履歴」を選択できます。
- 「終了」が表示されているときは、📷(終了)を押すと辞典を終了します。
- 選択している項目のショートカットを作成できます。(P.40参照)

直接入力	検索語を入力して検索します。
範囲選択	検索する始点と終点を選択します。 ●送信メール詳細画面や文字入力(編集)画面のサブメニューから「辞典検索」を選択した場合に表示されます。
検索履歴	検索履歴から検索します。 ●検索履歴は10件まで記憶されます。 ●サブメニューから検索履歴を削除できます。

辞典表示中のサブメニュー

コピー	検索結果をコピーします。
結果詳細から検索	表示されている文字を選択し、辞典で検索します。
別の辞典で検索	別の辞典で検索します。

お知らせ

- 文字入力(編集)画面のサブメニューから操作したときは、辞典表示中のサブメニューから「参照編集」を選択することで、検索結果を表示しながら文字を入力できる場合があります。

UIM(FOMA)カード操作

FOMA端末(本体)とドコモminiUIMカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末(本体)やドコモminiUIMカードに保存している電話帳やSMSのデータを削除します。

データのコピー／削除

1 MENU▶**電話機能**▶**電話帳**▶**UIM(FOMA)カード操作**▶**端末暗証番号を入力**

端末暗証番号を入力すると「圏外」が表示され、電話やメールの機能は使えません。

- 端末暗証番号入力前に着信があった場合は、「UIM(FOMA)カード操作」が終了します。

2 **コピー・削除**▶**コピー先や削除元を選択**▶**電話帳・SMS**

電話帳. . . . . . .電話帳を検索し、一覧画面を表示します。
SMS. . . . . . . .フォルダを選択し、一覧画面を表示します。

3 **コピー・削除したいデータにチェック**▶📷(完了)▶**YES**

電話帳またはSMS一覧表示中のサブメニュー

コピー開始・削除開始	コピー・削除を開始します。
1件選択	選択します。
全選択	
1件解除	選択を解除します。
全解除	
詳細表示	詳細画面を表示します。

電話帳のサブメニューからのコピー

1 **電話帳詳細画面**▶MENU(サブメニュー)▶**UIM(FOMA)カードコピー・本体へコピー**▶**YES**

メールのサブメニューからの移動／コピー

1 **送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面**▶MENU(サブメニュー)▶**移動／コピー**▶**UIMカード操作**▶**移動またはコピーする方法を選択**▶**YES**

「SMS」はFOMA端末内のSMSを表します。
「▣」はドコモminiUIMカード内のSMSを表します。

お知らせ

- FOMA端末(本体)とドコモminiUIMカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2つ目以降の電話番号／メールアドレスはドコモminiUIMカードへコピーできません。また、住所などドコモminiUIMカードに登録できないデータもコピーできません。
- FOMA端末(本体)からドコモminiUIMカードへ電話帳をコピーする場合、名前は全角10文字/半角21文字まで、フリガナは半角12文字までのデータが全角カタカナに変換されてコピーされ、残りのデータはコピーされません。
- シークレット登録された電話帳は、シークレットモード／シークレット専用モード中もドコモminiUIMカードへコピーできません。
- FOMA端末(本体)とドコモminiUIMカードに同じグループ名を設定している場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末(本体)とドコモminiUIMカードに同じグループ名を設定していない場合は、グループは設定されません。
- SMS送達通知の移動・コピーはできません。
- ドコモminiUIMカードへ移動・コピーしたSMSは保護できません。保護しているSMSをドコモminiUIMカードへ移動・コピーした場合、ドコモminiUIMカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。

お知らせ

- FOMA端末からドコモminiUIMカードへSMSを移動･コピーした場合は、「メール」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
- ドコモminiUIMカードからFOMA端末へSMSを移動･コピーした場合は、「メール」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへ移動･コピーされます。

スイッチ付イヤホンマイク

ステレオイヤホンマイク 01(別売)を使って電話をかけたり、受けたりします。

- 平型ステレオイヤホンセット P01(別売)と外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01(別売)を利用しても同様の操作で使用できます。

スイッチ付イヤホンマイクの接続

外部接続端子のカバーを開けて、ステレオイヤホンマイク 01の接続プラグを差し込んでください。**(P.20参照)**

イヤホンマイク

ステレオイヤホンマイク 01(別売)を接続しているときに使うマイクを、FOMA端末(本体)側のマイクにするか、ステレオイヤホンマイク 01側のマイクにするかを設定します。

1 **MENU▶本体設定▶外部接続▶イヤホンマイク▶本体マイク･イヤホンマイク**

- 「イヤホンマイク」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- マイクのないイヤホンを接続する場合は、「本体マイク」に設定してください。
- 「本体マイク」に設定しているときにステレオイヤホンマイク 01を接続すると、FOMA端末(本体)側のマイクの感度が高くなります。

イヤホンスイッチ発信

1 **電話番号を入力**
または
電話帳･発着信一覧･リダイヤル･発信履歴･着信履歴を表示

2 **ステレオイヤホンマイク 01のスイッチを1秒以上押す▶相手が出たら話す**

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。

- FOMA端末の操作でも、電話をかけることができます。
- ステレオイヤホンマイク 01のスイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。

3 **お話が終わったら、ステレオイヤホンマイク 01のスイッチを1秒以上押して通話を終了する**

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

イヤホンスイッチ応答

1 **着信中▶ステレオイヤホンマイク 01のスイッチを押す**

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
テレビ電話の場合、相手には代替画像が送信されます。ダウンスタイルにしていると、カメラ映像が送信されます。代替画像とカメラ映像の切り替えについてはP.75参照。

- FOMA端末の操作でも、電話を受けることができます。
- 「オート着信設定」を「オート着信あり」に設定していると、呼出時間経過後に自動的に応答します。

2 **お話が終わったら、ステレオイヤホンマイク 01のスイッチを1秒以上押して通話を終了する**

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

お知らせ

- 「ボタン確認音」の設定に関係なく、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴ってからステレオイヤホンマイク 01を接続するときに、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- 応答保留中、通話保留中にステレオイヤホンマイク 01のスイッチを押すと、保留を解除できます。(テレビ電話の応答保留を解除した場合は、代替画像が送信されます)
- ステレオイヤホンマイク 01のスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
- キャッチホンを契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合は、ステレオイヤホンマイク 01のスイッチを1秒以上押して通話する相手を切り替えることができます。ただし、スイッチでは終了できません。

イヤホンスイッチ発信設定

「イヤホンスイッチ発信設定」を「音声発信」に設定しておくと、待受画面でステレオイヤホンマイク 01(別売)のスイッチを1秒押すだけで音声電話の発信ができます。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**イヤホン機能設定**▶**イヤホンスイッチ発信設定**▶**音声発信・OFF**

2 **電話帳を検索**▶**電話帳を選択**

お知らせ

- FOMA端末(本体)の電話帳のみ設定できます。

オート着信設定

ステレオイヤホンマイク 01(別売)を接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答します。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**着信詳細設定**▶**オート着信設定**▶**音声着信・テレビ電話**▶**オート着信あり・オート着信なし**▶**呼出時間(秒)を入力**

- オート着信設定、伝言メモ設定の呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

お知らせ

- テレビ電話をオート着信した場合、相手には代替画像が送信されます。代替画像とカメラ映像の切り替えについてはP.75参照。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスとオート着信設定を同時に設定する場合、オート着信設定を優先させるには、オート着信設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- ステレオイヤホンマイク 01を着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。
- 64Kデータ通信中は、オート着信は行われません。

フェムトセル

「フェムトセル利用設定」を「ON」にすることにより、ドコモが提供する「マイエリア」を利用できます。
「マイエリア」は、ご自宅にフェムトセル小型基地局を設置し、ご自宅専用FOMAエリアを作ることで、安定した通話と通信がご利用いただけるサービスです。

- 「マイエリア」はお申し込みが必要な有料サービスです。
- 「マイエリア」の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 6(1秒以上)▶以下の操作を行う

フェムトセル利用設定	フェムトセルを利用するかどうかを設定します。また、通常の通信とフェムトセルを使った通信の両方が可能な場合、フェムトセルを優先的に使うかどうかも設定します。
フェムトセルサーチ	フェムトセルのネットワークに接続します。

文字入力

「区点コード一覧」については、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」をご覧ください。

文字入力

FOMA端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

文字入力（編集）画面

文字入力（編集）画面には、入力方式や入力モードなどの情報が表示されます。

❶入力方式
2：2タッチ方式
●かな方式のときは表示されません。

❷入力モード
漢：漢字ひらがな入力モード
ｶﾅ：カタカナ入力モード
英：英字入力モード
数：数字入力モード
●区点入力時は「区」と表示されます。

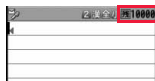
❸全角／半角
全：全角入力モード
半：半角入力モード

❹大文字／小文字
小：小文字入力モード
●大文字入力モードのときは表示されません。

入力可能な文字数について

文字入力（編集）画面では、入力可能な残り文字数（バイト数）が表示されます。

●機能によっては「入力済み文字数」が表示される場合があります。

●文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
●半角文字の濁点「゛」半濁点「゜」は、1文字分としてカウントされます。

入力方式の選択

入力方式には、次の2種類の方式があります。

かな方式 P.406参照
　1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すごとに文字が変わります。

2タッチ方式 . . . P.413参照
　2つの数字の組み合わせで文字を入力します。

1 MENU▶**本体設定**▶**文字表示／入力**▶**文字入力機能**▶**入力方式**▶**かな方式・2タッチ方式**

文字入力（編集）画面で入力方式を切り替えるには

✉（文字切替）を1秒以上押すか、サブメニューから「文字入力設定」→「入力方式切替」を選択します。

かな方式

文字入力（編集）画面で✉（文字切替）を押して入力モードを選択します。
入力する機能によっては選択できない入力モードがあります。

文字の入力

少ない文字を入力するだけで予測される文字の変換候補を表示する予測変換候補や、文節間の関係から次の文節の変換候補を表示する関係候補を利用して文字を入力できます。

●文字を学習することにより予測変換候補や関係候補が増えます。

＜例＞ｉモードメールの本文に「タダの菓子」を入力する

1 ✉▶✉（New）▶**本文欄を選択**

「予測機能（学習辞書）」を「ON」に設定している場合は予測変換モードで、「OFF」に設定している場合は通常変換モードで文字入力（編集）画面が表示されます。

2 ひらがなを入力

た→4を1回、○を1回
だ→4を1回、＊を1回
の→5を5回
か→2を1回
し→3を2回

- 一度に20文字まで入力できます。
- 同じボタンで入力する文字が続く場合は、○を押して次の文字を入力します。
  「自動カーソル移動」を設定すると、カーソルを移動する操作が省略できます。
- 文字を入力したあとに＊を押すと、大文字･小文字の切り替えや、濁点･半濁点の入力ができます。
- ○を押すと、押すごとに逆順に文字が表示されます。
- 「予測機能（学習辞書）」を「ON」に設定している場合、MENUを押すごとに通常変換モードと予測変換モードが切り替わります。
- TV（英数カナ）を押すと英数字、カタカナの候補リストが表示されます。入力した文字によっては、日付／時刻の候補も表示されます。
- ｉモードメールの本文を編集中に「絵D」が表示されている場合は、iα（絵D）を押すと入力した文字に対応するデコメ絵文字®の候補リストが表示されます。
- 変換せずにそのまま確定する場合は●（確定）を押します。
- 予測変換候補や関係候補から選択する場合は、○を押して候補リストにカーソルを移動したあと候補を選択します。

3 ○で「の」の右側までカーソルを移動

4 ○で候補リストにカーソルを移動 ▶○で「タダの」を選んで●（選択）

- 候補を選択中にCLRを押すと文字入力（編集）画面に戻ります。

5 ○で候補リストにカーソルを移動 ▶○で「菓子」を選んで●（選択）

選択した文字が確定します。

お知らせ

- 数字入力モードで0を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。
- 学習機能により、最大1000単語分まで記憶され、変換率の高い文字は表示順位が上がります。
- 候補の文字列は、通常の変換を行った文字やダウンロードした辞書から表示されます。
  ･お買い上げ時は、少数の文字列しか登録されていないため候補を表示しない場合があります。通常の変換を行うことにより、それが候補に加えられます。
  ･辞書をサイトからダウンロードして候補に加えることもできます。ただし、ダウンロードした辞書を削除すると、候補からも削除されます。（P.195、P.412参照）
- デコメ絵文字®の候補リストには、お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字®のみが表示され、ダウンロードしたデコメ絵文字®は表示されません。お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字®を削除して、再びダウンロードした場合でも、候補リストには表示されません。
- 変換できる漢字には限りがあるため、変換できない漢字もあります。変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。入力できるのは、JIS第一水準漢字、第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は一部を変形もしくは省略しています。

その他の入力機能

項目	操作･補足
記号入力／顔文字入力／URL入力	TV（記号/顔）を押す ● MENU（◀）またはTV（▶）を押すと、表示内容が切り替わります。

項目	操作・補足
絵文字入力／ デコメ絵文字®入力／ デコメ®ピクチャ入力	i α（絵/ピクチャ）を押す ●MENU（ ）または📷（ ）を押すと、表示内容が切り替わります。 ●デコメ絵文字®入力の画面で✓を押すと、一覧からカテゴリを選択できます。

お知らせ

<記号入力>

- 文字入力（編集）画面によっては、入力できない記号があります。
- 入力した記号の履歴がある場合は、先頭に履歴が表示されます。

<顔文字入力>

- 入力した顔文字の履歴がある場合は、先頭に履歴が表示されます。

<絵文字入力><デコメ絵文字®入力><デコメ®ピクチャ入力>

- 文字入力（編集）画面によっては絵文字を入力できない場合があります。
- 入力した絵文字の履歴がある場合は、先頭に履歴が表示されます。また、デコメ絵文字®はｉモードメールの本文を編集中に表示されます。
- デコメ絵文字®・デコメ®ピクチャは合わせて20件まで入力できますが、他に画像を挿入する場合は、挿入した画像の数だけ入力できる件数が少なくなります。

文字の修正

1 カーソルを修正したい文字の左側へ移動▶CLR

カーソルの右側の文字が削除されます。

CLRを1秒以上押すとカーソル以降の文字がすべて削除されます。

- カーソルの右側に文字がない場合は、カーソルの左側の文字が削除されます。CLRを1秒以上押すとすべての文字が削除されます。

2 正しい文字を入力

カーソルの位置に文字が挿入されます。

編集中データについて

電池切れアラームが鳴ったときは

編集中データが自動的に確定して保存されます。充電するか、充電済みの電池パックと交換したあとにもう一度編集できます。ただし、変換中の確定していない文字は保存されません。

⌒を押したときは

編集中データを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

マルチタスク機能が働くため編集中データはそのままで応対できます。

⊜を押してタスクメニューを表示し、編集中の機能を選択するとデータの編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、データの編集画面に戻ります。

予測機能

候補リストに予測変換候補、関係候補を表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶本体設定▶文字表示／入力▶文字入力機能▶予測機能（学習辞書）▶ON・OFF

- 文字入力（編集）画面のサブメニューから操作した場合、設定は入力中の文字入力（編集）画面にのみ有効です。

予測変換候補について

少ない文字を入力するだけで候補リストに予測変換候補が表示されます。

- 文字を入力したあとにⓄを押すとカーソルが右に進みます。さらにⓄを押すと、押した回数分「＊」が表示され、表示されている文字数以上の候補が表示されます。MENU（字数切替）を押すと、表示されている文字数ちょうどの候補のみの表示に切り替わります。
- 「＊」が表示されているときに文字を入力すると、「＊」はすべて消去されます。
- ｉモードメールの本文を入力するときは、書き始めに適した候補が表示されます。ただし、冒頭文や署名が貼り付いているときは表示されません。
- メール本文入力画面では、「メール設定」の「本文入力時予測」の設定に従って候補が表示されます。
- ｉモードメールやSMSの返信時は、受信メールの題名・本文にある単語が変換候補に表示されます。
- 2タッチ方式でも予測変換候補は表示されます。

関係候補について

文字を確定後、関係候補となる文字列がある場合は、候補リストに関係候補が表示されます。
●2タッチ方式でも関係候補は表示されます。

文字入力(編集)画面のサブメニュー

デコレーション [メール本文入力画面のみ]	P.138参照
範囲選択 [メール本文入力画面のみ]	入力済みの文字を選択してデコレーションを設定·変更したり、選択した文字をコピー·切り取りしたりできます。 ●(＊)を1秒以上押しても始点選択の画面を表示できます。 ●(カメラ)(全選択)を押すと全文を選択できます。
デコメール読込み [メール本文入力画面のみ]	P.136参照
カメラ起動 [メール本文入力画面のみ]	カメラを起動して撮影した画像をメール本文に挿入します。 ●画像に位置情報が付いている場合は、本文に位置情報のURLを貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。
コピー	P.411参照
切り取り	P.411参照
貼り付け	P.411参照
元に戻す	確定、削除、貼り付けなどをした文字を5回まで元に戻します。 ●(通話)を1秒以上押しても戻せます。 ●メール本文入力画面では「かんたんデコメ」によるデコレーションを除き、デコレーションも戻せます。
クイック検索 [メール本文入力画面のみ]	P.188参照
音声で文字入力	P.413参照
改行入力	改行します。 ●文末にカーソルがあり、文字が確定されているときは、(○)を押しても改行できます。また、数字入力モード以外で(＊)を押しても改行できます。
スペース入力	半角スペースを入力します。 ●文末にカーソルがあり、文字が確定されているときは、(○)を押してもスペースを入力できます。
デコメ絵文字編集 [メール本文入力画面のみ]	P.414参照
定型文／引用	
定型文入力	定型文を入力します。
区点入力	区点コード一覧にある文字·数字·記号を入力します。 ●入力した区点コードに対応する文字がないときは、スペースが入力されます。
電話帳引用	電話帳を呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 ＜FOMA端末内＞ 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、位置情報、誕生日、メモ ｉコンシェルで取得した住所、URL、メモ ＜ドコモminiUIMカード内＞ 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス
プロフィール引用	お客様の個人データを呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、位置情報、誕生日、メモ

位置情報貼り付け [メール本文入力画面のみ]	位置情報を参照してURL化し、i モードメール本文に貼り付けます。(P.313参照)
バーコードリーダー	バーコードリーダーを起動します。
文字入力設定	
入力方式切替	P.406参照
予測機能OFF・予測機能ON	P.408参照
自動カーソル移動	かな方式で文字入力中に、入力した文字を自動的に確定するかどうかを設定します。また、確定するまでの時間を選択できます。
辞典検索	P.400参照
JUMP	カーソルを文頭または文末に移動します。
プロパティ [メール本文入力画面のみ]	メール本文に挿入している画像のファイル情報を表示します。
プレビュー [メール本文入力画面のみ]	送信する前に本文の内容を確認します。

お知らせ

<元に戻す>
- 「元に戻す」で元に戻したあと、「元に戻す」の取り消しはできません。
- 文字入力(編集)画面を終了すると、「元に戻す」で元には戻せません。

<改行入力>
- 改行は、全角1文字分としてカウントされます。
- 文字入力(編集)画面によっては改行できない場合があります。

<定型文入力>
- 文字入力(編集)画面によっては定型文を入力できない場合があります。
- FOMA端末にあらかじめ登録された定型文は入力モードによって呼び出される内容が異なります。

<電話帳引用><プロフィール引用>
- 住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

お知らせ

<位置情報貼り付け>
- 半角512文字まで貼り付けでき、貼り付けたURLはメール本文の文字数としてカウントされます。
- 貼り付けたURLの前には「 」が挿入されます。ただし、編集時に削除できます。

<自動カーソル移動>
- 自動カーソル移動の設定とボタン操作の速さによっては、うまく入力できない場合があります。

定型文

FOMA端末にあらかじめ登録された定型文や自作の定型文を文字入力(編集)画面から呼び出して入力できます。
定型文は6つのフォルダに分かれていて、各フォルダに10件ずつ登録できます。登録されている定型文を編集し、自作の定型文として保存できます。

定型文の表示

1 MENU▶便利ツール▶定型文/単語登録

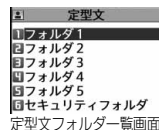
- 「✉▶メール設定▶定型文/単語登録」の操作を行っても定型文を表示できます。

2 定型文▶フォルダを選択

- 「セキュリティフォルダ」を選択した場合は、端末暗証番号を入力します。
- 「定型文」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

定型文フォルダ一覧画面

3 定型文を選択

定型文一覧画面　定型文画面

お知らせ

- メールの作成時に使用する自作の定型文には、半角カタカナと絵文字は使わないでください。正しく表示されない場合があります。（ｉモードメールどうしでは絵文字を使用できます。）
- FOMA端末にあらかじめ登録されている定型文は、漢字ひらがな入力モードでは漢字ひらがな表現、それ以外の入力モードでは半角カタカナ表現で呼び出されます。

定型文フォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。
フォルダ名初期化	フォルダ名をお買い上げ時のフォルダ名に戻します。
iC全送信	iC通信で全件送信します。
赤外線全送信	赤外線通信で全件送信します。

お知らせ

＜フォルダ名編集＞
- フォルダ名に入力した文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時のフォルダ名に戻ります。
- 「セキュリティフォルダ」のフォルダ名は編集できません。

定型文一覧画面・定型文画面のサブメニュー

編集	編集します。 ●[TV]（編集）を押すか＜未登録＞を選択しても編集できます。 ●「セキュリティフォルダ」の定型文を編集した場合は、定型文一覧画面に表示されるタイトルを入力します。
iC送信	iC通信で送信します。
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
1件削除	削除します。
全削除	

お知らせ

＜編集＞
- あらかじめ登録されている定型文の文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時の定型文に戻ります。

＜1件削除＞＜全削除＞
- あらかじめ登録されている定型文を削除した場合は、お買い上げ時の定型文に戻ります。

文字の切り取り・コピーと貼り付け

切り取り・コピー

文字を最大全角5000文字/半角10000文字まで切り取り・コピーできます。

1 文字入力（編集）画面▶MENU（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）▶切り取り・コピー▶始点を選択▶終点を選択

- [＊]を1秒以上押して範囲を選択しても、文字を切り取り・コピーできます。

お知らせ

- デコメール®本文入力中に切り取り・コピーして貼り付けた場合、デコレーションの情報も貼り付けられます。（デコレーションによっては、通常の文字で貼り付けられる場合があります。）
- デコメール®の本文などでは、データの容量によってメモリが不足するため、切り取り・コピーできない場合があります。

貼り付け

切り取り・コピーした文字を貼り付けます。

1 文字入力（編集）画面▶カーソルを貼り付け開始位置へ移動▶MENU（）▶貼り付け

- [＃]を1秒以上押しても文字を貼り付けることができます。

単語登録

よく使う単語に好きな読み(ひらがな)を付けて100件まで登録できます。

1 MENU▶**便利ツール**▶**定型文／単語登録**

●「✉▶メール設定▶定型文／単語登録」の操作を行っても単語を登録できます。

2 **単語登録**▶**<新規登録>**▶**単語を入力**

●登録済みの単語を選択すると、登録内容を確認できます。
●改行は入力できません。
●「単語登録」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

3 **読みを入力**

●「長音(ー)」以外の記号は登録できません。
●スペースを入力しても、自動的につめて登録されます。

単語登録表示中のサブメニュー

編集	編集します。 ●📷(編集)を押しても編集できます。
iC送信	iC通信で送信します。
赤外線送信	赤外線通信で送信します。
iC全送信	iC通信で全件送信します。
赤外線全送信	赤外線通信で全件送信します。
microSDへコピー	microSDカードへコピーします。
削除	削除します。

学習履歴クリア

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする学習履歴をお買い上げ時の初期状態に戻します。

1 MENU▶**本体設定**▶**文字表示／入力**▶**文字入力機能**▶**学習履歴クリア**▶**端末暗証番号を入力**

学習履歴を1件削除するには

候補リストに表示されている予測変換候補や関係候補を選んでCLRを1秒以上押します。

ダウンロード辞書

サイトからダウンロードした辞書(P.195参照)を有効にします。

1 MENU▶**便利ツール**▶**ダウンロード辞書**▶**ダウンロード辞書を選択**

選択したダウンロード辞書が有効になり、「★」マークが付きます。
●ダウンロード辞書を無効にするには、同様の操作を行います。
●お買い上げ時に登録されている辞書は削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.196参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるドコモminiUIMカードを使用中は、ドコモminiUIMカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。

ダウンロード辞書表示中のサブメニュー

タイトル編集	タイトルを編集します。
辞書ファイル設定	辞書を有効／無効にします。操作するごとに有効／無効が切り替わります。
辞書情報	辞書のタイトル、バージョンなどを表示します。
1件削除	削除します。
全削除	

お知らせ

<タイトル編集>

●タイトルに入力した文字をすべて削除した場合は、元のタイトルに戻ります。

2タッチ方式

2桁の数字をダイヤルボタンで押すと、それに対応した文字(記号)が入力されます。

●ダイヤルボタンの文字割り当て(2タッチ方式)についてはP.473参照。

●「2タッチ方式」への切り替えについてはP.406参照。

入力モード切替

文字入力(編集)画面で[✉]([文字切替])を押して全角入力モード/半角入力モードを切り替えます。入力する機能によっては切り替えできない場合があります。

文字入力

<例>iモードメールの本文欄に「タダの菓子」を入力する

1 [✉]▶[✉]([New])▶本文欄を選択

文字入力(編集)画面が表示されます。

2 ひらがなを入力

た→[4][1]

だ→[4][1]、[*]

の→[5][5]

か→[2][1]

し→[3][2]

●文字を入力したあとに[*]を押すと、大文字・小文字の切り替えや、濁点・半濁点の入力ができます。

●[8][0]と押すと、大文字/小文字入力モードが切り替わります。

ひらがなを入力後、P.407手順3へ進みます。

音声入力

音声を文字に変換してメール作成を行います。

1 文字入力(編集)画面▶[MENU]([ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ])▶音声で文字入力

●通信するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES(以後非表示)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

●[✉]([ガイド])を押すと音声入力時の注意事項を確認できます。

●[📷TV]([終了])を押すと音声入力が終了します。

2 [●]([開始])▶バイブレータが振動したら発声する

バイブレータが振動してから30秒以内に発声してください。

●中止する場合は[📷TV]([中止])または[CLR]を押します。

3 [●]([確定])を押す

バイブレータが振動し、認識結果が表示されます。

●約3秒間何も発声しなかった場合も認識結果が表示されます。

4 [◎]で候補リストにカーソルを移動▶候補を選択

●[◎]で変換する文節を選べます。文節を選んで[CLR]を押すと文節を削除できます。

●音声入力し直す場合は[📷TV]([再入力])を押します。

●変換範囲は変更できません。

5 [iα]([全確定])を押す

すべての文節が確定します。

●[✉]([✉編集]/[編集])を押すとすべての文節が確定し、音声入力が終了します。

お知らせ

●発声するときの送話口と口の距離は、10cm程度にしてください。送話口から離れた状態ではうまく音声が認識できない場合があります。

●なるべくはっきりと発声してください。

●発声の前後に、咳払い、「エー」、舌打ち音、息の音、その他雑音など、発声とは無関係の音を出さないでください。

お知らせ

●周囲の雑音の少ない、なるべく静かな場所で発声してください。

●発声するときに送話口の穴を指でふさがないでください。また、ボタンを押したり、こすったりしないでください。

デコメ絵文字®編集

データBOXに保存されているデコメ絵文字®の読みを登録／編集できます。読みを登録しているデコメ絵文字®は、予測変換候補や関係候補に表示されます。

●デコメ絵文字®によっては、読みを登録できないものがあります。

1 文字入力(編集)画面▶MENU(サブメニュー)▶デコメ絵文字編集

デコメ絵文字®編集画面が表示されます。

●デコメ絵文字®入力の画面で(ペン)を1秒以上押しても、デコメ絵文字®編集画面が表示されます。

2 デコメ絵文字®を選択▶TV(読み)

3 読みを登録

お知らせ

●同じ読みは60件まで登録できます。

●読みを登録しても、iα(絵D)を押して表示されるデコメ絵文字®の候補リストは変更されません。

デコメ絵文字®編集画面のサブメニュー

読み入力	読みを登録します。
一括読み	一括で読みを登録します。
全削除	「ゴミ箱」フォルダ内のデコメ絵文字®をすべて削除します。 ●TV(全削除)を押しても削除できます。
元に戻す	「ゴミ箱」フォルダ内のデコメ絵文字®を元のフォルダに戻します。
フォルダ一覧	デコメ絵文字®編集画面に表示するフォルダを選択します。 ●(ペン)を押してもフォルダの一覧画面が表示されます。 ●「検索1～3」フォルダを選択した場合、「検索条件設定」で設定した各フォルダの検索条件に合うデコメ絵文字®を表示します。
フォルダ移動	デコメ絵文字®を別のフォルダに移動します。
複数選択	デコメ絵文字®を複数選択します。 ●同じフォルダのデコメ絵文字®のみ複数選択できます。 ●複数選択したデコメ絵文字®に一括で読みを登録する場合はTV(一括読み)を押します。 ●「ゴミ箱」フォルダ内のデコメ絵文字®を複数選択した場合、TV(削除)を押すかサブメニューから「削除」を選択すると選択中のデコメ絵文字®を削除します。
選択全解除	選択を解除します。
検索条件設定	「検索1～3」フォルダに表示するデコメ絵文字®の検索条件を設定します。
削除	デコメ絵文字®を「ゴミ箱」フォルダに移動します。

お知らせ

<フォルダ移動>

●「検索1～3」フォルダには移動できません。

<削除>

●「ゴミ箱」フォルダにデコメ絵文字®があるときに「デコメ絵文字編集」を終了する場合、削除するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、「ゴミ箱」フォルダ内のデコメ絵文字®は削除されます。

ネットワークサービス

■利用できるネットワークサービス
FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
着信通知サービス	不要	無料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス(P.50参照)	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料

サービス名称	お申し込み	月額使用料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
2in1	必要	有料
公共モード(ドライブモード)(P.70参照)	不要	無料
公共モード(電源OFF)(P.71参照)	不要	無料
OFFICEED	必要	有料
メロディコール(P.97参照)	必要	有料
声の宅配便(P.59参照)	不要	無料

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 「サービス停止」とは留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- 「OFFICEED」の詳細については、ドコモの法人向けサイト(http://www.docomo.biz/html/service/officeed/)をご確認ください。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

メッセージ問合せ

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っているかどうかを確認します。

1 MENU▶**電話機能**▶**留守番電話サービス**▶**メッセージ問合せ**

- 「メッセージ問合せ」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

問い合わせ結果について

- 伝言メッセージがあるときは「留守番電話あり」のアイコン( )と留守番電話アイコン(など)を表示してお知らせします。
- 伝言メッセージがあることを示す留守番電話アイコン(など)は、留守番電話サービスセンターに電話をかけて伝言メッセージの保存または消去の操作をするか、「表示消去」の操作を行うと消去されます。
- 留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージの件数によって、 、 、 … (10件以上)と表示が変わります。表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- 「件数増加鳴動設定」を設定すると、伝言メッセージが増加したときに着信音が鳴ります。
- 伝言メッセージの再生のしかたについてはP.417参照。

「圏外」が表示されているときは

伝言メッセージの問い合わせができません。「圏外」が消える場所で利用してください。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話/テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり最長3分間、音声電話とテレビ電話それぞれ20件まで録音/録画でき、72時間保存されます。
- 伝言メモ(P.71参照)を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記録され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 留守番電話サービスは音声電話、テレビ電話に有効です。
- キャラ電で留守番電話サービスセンターに接続された場合、DTMF操作が行えません。サブメニューからDTMF送信モードに切り替えてください。(P.76参照)
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音(「着信音選択」で設定した着信音)が鳴ります。(着信音が鳴る時間は変更可能です。P.417参照)その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続します。
- かかってきた電話をボタン操作だけで留守番電話サービスセンターに接続できます。また、通話中にかかってきた電話も接続できます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1:サービスを開始に設定する
ステップ2:電話をかけてきた方が伝言を録音/録画する※
ステップ3:伝言メッセージを再生する

※急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。

留守番電話サービスの利用

1 MENU▶**電話機能**▶**留守番電話サービス**▶**以下の操作を行う**

●選択している項目のショートカットを作成できます。(P.40参照)

留守番メッセージ再生	留守番電話に録音された伝言メッセージを再生します。
留守番サービス開始	開始します。
留守番サービス停止	停止します。
留守番呼出時間設定	留守番電話サービスセンターに接続するまでの呼出時間を設定します。
留守番設定確認	設定内容を確認します。
留守番サービス設定	設定内容を変更します。
メッセージ問合せ	P.416参照
件数増加鳴動設定	伝言メッセージが増えたときに確認音を5秒間鳴らすように設定します。
表示消去	待受画面にある留守番電話アイコン(1など)を消去します。
留守番テレビ電話設定	かかってきた電話がテレビ電話でも留守番電話サービスを利用するかどうかを設定します。 ●「テレビ電話対応ON」に設定しても、留守番電話サービスを「開始」に設定していないと利用できません。

お知らせ

<留守番メッセージ再生><留守番サービス設定>

●通話中は操作できません。

●音声ガイダンスに従ってボタン操作(0〜9、*、#)を行った場合、(終話)を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は(終話)をもう一度押してください。

<留守番呼出時間設定>

●0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

お知らせ

<表示消去>

●留守番電話アイコンを消去しても、留守番電話サービスセンターに保存されているメッセージは消去されません。

着信中の留守番電話サービス

かかってきた電話を簡単なボタン操作で留守番電話サービスセンターに接続できます。留守番電話サービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って留守番電話を利用できます。

1 **着信中**▶MENU(サブメニュー)▶**留守番電話**

●着信中にMENU(サブメニュー)を押し、#を押してもかかってきた電話が留守番電話サービスセンターに接続されます。

指定留守番電話

電話帳に登録されている電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定に関わらず、留守番電話サービスセンターへ自動的に接続できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
番号通知お願いサービスもあわせて設定することをおすすめします。

1 **電話帳詳細画面**▶MENU(サブメニュー)▶**個別発着信動作選択**▶**端末暗証番号を入力**▶**指定留守番電話**

●指定留守番電話を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

●本機能を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから留守番電話サービスセンターに接続します。このとき電話がかかってきたことをデスクトップアイコン(P.29、P.71参照)と「着信履歴」でお知らせします。

●本機能を設定していても、留守番電話サービス停止中に「オリジナルロック」で「電話帳／直デン」をロックすると、すべての電話が留守番電話サービスセンターに接続されなくなります。

着信通知サービス

電源が入っていないときや圏外にいたとき、通話中に着信があった場合、着信の情報をSMSでお知らせします。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**着信通知**▶**以下の操作を行う**

開始	開始します。また、すべての着信についてお知らせするか相手の電話番号が通知された着信についてのみお知らせするかを設定します。
停止	停止します。
設定確認	設定内容を確認します。

お知らせ

- SMS拒否設定を設定している場合でも着信履歴は通知されます。

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」(P.423参照)を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。

キャッチホンサービスの利用

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**キャッチホン**▶**以下の操作を行う**

開始	開始します。
停止	停止します。
設定確認	設定内容を確認します。

通話中の着信応答

1 **通話中着信**▶(通話キー)**または**(●)(通話)

最初の方との通話は自動的に保留になり、あとからかかってきた電話を受けることができます。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- (通話キー)を押すか、サブメニューから「保留呼切替」を選択するたびに通話する相手が切り替わります。

お知らせ

- 通話中に着信があった場合、着信時の画像に設定されたｉモーションは表示されず、バイブレータは動作しません。
- 117にかけているときに音声電話がかかってきた場合、通話中着信音は鳴りますが電話に出ることはできません。着信履歴には不在着信として残ります。

通話終了後の着信応答

1 **通話中着信**▶(終話キー)

最初の方との通話が終了し、着信音が鳴ります。かかってきた電話に応答できます。

お知らせ

- キャッチホンを利用できない通話や着信の場合、着信画面で応答操作を行うと、通話中の電話を終了してかかってきた電話に応答します。

通話の継続

1 通話中着信▶MENU(サブメニュー)▶以下の操作を行う

着信拒否	着信を拒否し、元の通話に戻ります。
転送でんわ	かかってきた電話を転送先に転送し、元の通話に戻ります。
留守番電話	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続し、元の通話に戻ります。

お知らせ

- テレビ電話接続中、応答保留中、伝言メモ動作中の着信は拒否されます。元の通話を終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴が残ります。(留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスの契約および設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。)

通話中の発信

1 通話中に別の相手の電話番号を入力▶発信

新しくかけた相手とお話しができます。
最初の方との通話は自動的に保留になります。
- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- 発信を押すか、サブメニューから「保留呼切替」を選択するたびに通話する相手が切り替わります。

通話終了後の保留呼応答

1 マルチ接続中▶終話

通話が終了し、着信音が鳴ります。

2 発信または●(通話)を押す

- 通話中の相手が通話を終了したときは、発信または●(通話)を押して保留中の相手と通話します。

保留呼切断

1 マルチ接続中▶MENU(サブメニュー)▶保留呼切断

お知らせ

- マルチ接続中に別の電話がかかってきた場合、着信画面が表示されます。サブメニューから「保留呼切断」を選択すると保留中の電話が終了します。終話を押すとお話し中の電話が終了します。

転送でんわサービス

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話/テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ(P.71参照)を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、「伝言メモ設定」の呼出時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音(「着信音選択」で設定した着信音)が鳴ります。(着信音が鳴る時間は変更可能です。P.420参照)その間に応答すれば、そのまま通話できます。
- かかってきた電話をボタン操作だけで転送できます。また、通話中にかかってきた電話も転送できます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1:転送先の電話番号を登録する
ステップ2:転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3:お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4:電話に出ないと指定した転送先へ自動的に転送される

転送でんわサービスの利用

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**転送でんわ**▶**以下の操作を行う**

転送サービス開始	転送先の電話番号と呼出時間を設定して転送でんわサービスを開始します。 ●電話番号の入力画面で◎を押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。(P.86参照)
転送サービス停止	停止します。
転送先変更	転送先の電話番号を変更します。 ●電話番号の入力画面で◎を押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。(P.86参照)
転送先通話中時設定	転送先が通話中のときは留守番電話に録音するように設定します。
転送サービス設定確認	転送先の電話番号や呼出時間などを確認します。

お知らせ

- 電波の届かない場合や、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスの契約者の負担となります。
- 転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

転送ガイダンスの設定

1 1429▶(発信)▶**音声ガイダンスに従って操作**

着信中の転送でんわサービス

かかってきた電話を簡単なボタン操作で「転送先」に設定した電話番号に転送できます。転送でんわサービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って転送できます。

1 **着信中**▶MENU(サブメニュー)▶**転送でんわ**

指定転送でんわ

指定した電話帳に登録されている電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定に関わらず、着信音を約1秒間鳴らしてから自動的に転送できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
番号通知お願いサービスもあわせて設定することをおすすめします。

1 **電話帳詳細画面**▶MENU(サブメニュー)▶**個別発着信動作選択**▶**端末暗証番号を入力**▶**指定転送でんわ**

●指定転送でんわを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 本機能を設定していても、転送でんわサービス停止中に「オリジナルロック」で「電話帳／直デン」をロックすると、すべての着信が転送されなくなります。
- 転送先が未設定の場合、転送でんわサービス未契約の場合は、不在着信となります。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。また、迷惑電話ストップサービス設定サイトに接続し、着信拒否する電話番号の登録・確認・削除を行うこともできます。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。
- 迷惑電話ストップサービス設定サイトは、iモード契約の有無に関わらず利用できます。

■迷惑電話ストップサービスに設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	着信拒否登録した方からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 (メッセージはお預かりしません)
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 (転送先には転送されません)
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード(ドライブモード)	着信拒否ガイダンスが流れます。 (公共モード(ドライブモード)のガイダンスは流れません)

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**迷惑電話ストップ**▶**以下の操作を行う**

着信番号拒否登録	最後に着信応答した相手の電話番号を着信できないように拒否登録します。
番号指定拒否登録	指定した電話番号を着信できないように拒否登録します。 ●電話番号の入力画面でⓄを押すと電話帳検索画面、Ⓞを押すとリダイヤル、Ⓞを押すと着信履歴から電話番号を選択できます。
全登録番号削除	拒否登録した電話番号をすべて削除します。
最終登録番号削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。
登録件数確認	拒否登録している件数を確認します。
詳細設定	迷惑電話ストップサービス設定サイトに接続します。

番号通知お願いサービス

電話番号が通知されない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。ガイダンス応答後は自動的に電話を終了します。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった場合、「着信履歴」として記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

■番号通知お願いサービスが「開始」中の着信と各サービスとの関係

サービス名	発信者番号を通知しない方からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。 (メッセージはお預かりしません)
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。 (転送先には転送されません)
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード(ドライブモード)	番号通知お願いガイダンスが流れます。 (公共モード(ドライブモード)のガイダンスは流れません)

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**番号通知お願いサービス**▶**以下の操作を行う**

開始	開始します。
停止	停止します。

設定確認	設定内容を確認します。

お知らせ

- FOMA端末の「着信拒否設定」を「拒否」に設定しているときに本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。
- 本機能の設定･確認はお客様ご自身のドコモminiUIMカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

デュアルネットワークサービス

お使いになっている携帯電話番号でmova端末を利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

1 MENU▶電話機能▶その他ネットワークサービス▶デュアルネットワーク▶以下の操作を行う

デュアルネットワーク切替	FOMA端末を利用できるように切り替えます。FOMA端末がFOMAエリア内にあるときに操作してください。 ●ネットワーク暗証番号の入力が必要になります。 （P.114参照）
デュアルネットワーク状態確認	設定内容を確認します。

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

■**発信時**（お客様ご自身へのガイダンス）

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
英語	英語でガイダンスします。

■**着信時**（お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンス）

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
日本語＋英語	日本語でガイダンスしたあとに英語でガイダンスします。
英語＋日本語	英語でガイダンスしたあとに日本語でガイダンスします。

1 MENU▶電話機能▶その他ネットワークサービス▶英語ガイダンス▶以下の操作を行う

ガイダンス設定	発信時と着信時のガイダンスを設定します。
ガイダンス設定確認	設定内容を確認します。

お知らせ

- 発信者側･着信者側ともに本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。
- 本機能の設定･確認はお客様ご自身のドコモminiUIMカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

ドコモへのお問い合わせ

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

●お使いのドコモminiUIMカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU▶**便利ツール**▶**ドコモへのお問合せ**▶**問い合わせ先を選択**▶◉(発信)

ドコモ故障問合せ……故障お問い合わせ先に電話をかけます。
ドコモ総合案内・受付……総合お問い合わせ先に電話をかけます。
海外紛失・盗難等……海外から紛失、盗難などの問い合わせ先に電話をかけます。
海外故障……海外から故障問い合わせ先に電話をかけます。

通話中の着信動作選択

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンを契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話、および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

●留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンが未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
●通話中の着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。なお、キャッチホンを「開始」に設定している場合は、通話中着信設定を「開始」にする必要はございません。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中の着信動作**▶**通話中の着信動作選択**▶**以下の操作を行う**

留守番電話	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
転送でんわ	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。
通常着信	音声通話中に音声電話がかかってきた場合、キャッチホンが「開始」に設定されているときはキャッチホンの利用が可能です。音声通話中(キャッチホンが「停止」に設定されているとき)、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。 ●通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。 ●通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、サブメニューから手動で操作できます。 ●留守番電話サービスや転送でんわサービスが「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

通話中の着信動作選択で選択した機能の使用を開始／停止したり、設定内容を確認できます。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中の着信動作**▶**通話中着信設定**▶**以下の操作を行う**

開始	開始します。
停止	停止します。
設定確認	設定内容を確認します。

お知らせ

●本機能の設定・確認はお客様ご自身のドコモminiUIMカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

遠隔操作設定

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外でネットワークサービスを利用する場合は、あらかじめ「遠隔操作設定」を「開始」に設定してください。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**遠隔操作設定**▶**以下の操作を行う**

開始	開始します。
停止	停止します。
設定確認	設定内容を確認します。

お知らせ

- 本機能の設定・確認はお客様ご自身のドコモminiUIMカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

マルチナンバー

お使いになっている携帯電話番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加して利用いただけます。

- ドコモminiUIMカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定(名称、電話番号など)が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー(基本契約番号／付加番号1／付加番号2)に対応した名称が表示されます。
- 発着信一覧、リダイヤル、発信履歴、着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーの名称が表示され、この番号で発信されます。

電話番号設定

電話番号や登録名を設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**マルチナンバー**▶**電話番号設定**▶**電話番号を選択**

- 📷TV(編集)を押すか、サブメニューから「編集」を選択しても設定できます。
- 設定済みの付加番号を選択すると、登録名と電話番号を確認できます。
- サブメニューから設定済みの付加番号を削除できます。

2 **登録名を入力**▶**電話番号を入力**

- 「基本契約番号」の電話番号は設定できません。

通常発信番号設定

通常発信番号設定を切り替えることにより、すべての発信先に設定した番号で電話をかけることができます。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**マルチナンバー**▶**通常発信番号設定**▶**電話番号を選択**

基本契約番号 . . . . 契約の電話番号で発信します。
付加番号1･2 . . . . 付加番号で発信します。

- 登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

2 **YES**

電話をかけるときの発信番号設定

電話をかける前に、サブメニューから相手に通知する番号を選択して発信します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 MENU(サブメニュー)
▶**マルチナンバー・2in1/マルチナンバー**
▶**電話番号を選択**

- 電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「2in1/マルチナンバー」を選択します。
- 付加した電話番号を消去する場合は、「設定消去」を選択します。

通常発信番号設定確認

通常発信番号を確認します。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**マルチナンバー**▶**通常発信番号設定確認**

着信音設定

付加番号に着信した場合の着信音を設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**マルチナンバー**▶**着信音設定**▶**付加番号を選択**
P.94手順2へ進みます。
「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」または「テレビ電話」で設定した着信音になります。

2in1

1つの携帯電話で、2つの電話番号・2つのメールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるように利用いただけるサービスです。
2in1には次の3種類のモードがあります。

Aモード
お客様電話番号(Aナンバー)での発信とｉモードメールアドレス(Aアドレス)での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。

Bモード
2in1電話番号(Bナンバー)での発信とｉモードメールアドレス(Bアドレス)での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。

デュアルモード
Aモード・Bモード両方の機能を備えたモードです。

- ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- 2in1利用中にドコモminiUIMカードの差し替えを行う場合、正しいBナンバーを取得するには「2in1機能OFF」(P.426参照)を行ってから再度2in1をONにするか、プロフィール画面のサブメニューから「2in1」(P.396参照)を選択してください。
- 2in1の詳細は「ご利用ガイドブック(2in1編)」をご覧ください。
- 2in1とマルチナンバーはどちらか一方のみの契約となります。
- 各モードごとの動作についてはP.428をご覧ください。

1 MENU▶**電話機能**▶**2in1**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
2in1がONに設定されます。
- 待受画面で2を1秒以上押しても2in1をONにできます。

2 **以下の操作を行う**

モード切替	利用するモードに切り替えます。 ●2in1がONのときは、待受画面で2を1秒以上押してもモードを切り替えることができます。 ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合は、着信回避設定も変更されます。
電話帳2in1設定	

項目	内容
電話帳2in1設定	FOMA端末(本体)に登録した電話帳の電話帳2in1設定を変更します。 ●電話帳を選択するごとに A (A設定)→ B (B設定)→ AB (共通設定)の順に切り替わります。 ●サブメニューから「詳細表示」を選択すると、電話帳詳細画面が表示されます。
グループ2in1設定	グループ内のすべての電話帳の電話帳2in1設定を変更します。 ●グループを選択するごとに「設定なし」→ AB (共通設定)→ A (A設定)→ B (B設定)の順に切り替わります。 ●サブメニューから「メンバー表示」を選択すると、グループ内の電話帳の一覧が表示されます。
モード別待受画面設定	待受画面をモードごとに設定します。 ●待受画面の設定方法についてはP.101参照。 ●📷(解除)を押すと、お買い上げ時の状態に戻ります。
番号別発着信設定	
発着信番号表示設定	発着信中などの文字の色をAナンバー(Aアドレス)、Bナンバー(Bアドレス)それぞれに設定します。 ●文字色の設定方法についてはP.111参照。
着信設定	着信があったときの動作をAナンバー(Aアドレス)、Bナンバー(Bアドレス)それぞれに設定します。 ●着信音の設定方法についてはP.94参照。 ●着信画面の設定方法についてはP.103参照。 ●イルミネーションの設定方法についてはP.110参照。 ●バイブレーションの設定方法についてはP.96参照。 ●応答メッセージの設定方法についてはP.71参照。 ●📷(解除)を押すと、お買い上げ時の状態に戻ります。
2in1機能OFF	2in1をOFFにします。
着信回避設定	
着信回避設定変更	Aナンバー、Bナンバーそれぞれに着信を受けるか受けないかを手動で設定します。 ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、「停止」に切り替える必要がある旨の確認画面が表示されます。
着信回避設定確認	着信回避設定を確認します。
モード切替連動設定	モード切替連動設定の開始/停止を切り替えます。「開始」に設定すると、2in1のモード切替に連動して着信回避設定が自動的に変更され、AモードのときはAナンバーへの着信のみ、BモードのときはBナンバーへの着信のみ、デュアルモードのときはAナンバー･Bナンバー両方への着信を受けることができます。
着信回避設定(海外)	海外から着信回避設定を操作します。 ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、「停止」に切り替える必要がある旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

<モード別待受画面設定>

●各モードで参照先の操作を行うと、それぞれのモードごとの設定が行われます。ただし、「ｉアプリ待受画面」、「ランダム待受画面」はAモード中のみ選択できます。

●データBOXから設定した場合や、サイトからデータをダウンロードしたあとに設定した場合は、それぞれのモードでの待受画面が設定されます。

<番号別発着信設定>

●各モードで参照先の操作を行うと、AモードではAナンバー(Aアドレス)の設定、BモードではBナンバー(Bアドレス)の設定が行われます。デュアルモードではどちらの設定を行うかを選択します。

●データBOXから設定した場合や、サイトからデータをダウンロードしたあとに設定した場合は、2in1のモードに関わらず、Aナンバー(Aアドレス)の着信音や着信画面に設定されます。

●相手が発信者番号を通知せずにBナンバーに電話がかかってきたときは、「着信拒否設定」で設定している着信音や着信画面が動作します。

<モード切替連動設定>

●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、圏外では2in1のモードを切り替えることができません。

デュアルモード中の発信

デュアルモード中は、A設定／共通設定の電話帳またはAナンバーの発着信履歴から電話をかける場合はAナンバー発信、B設定の電話帳またはBナンバーの発着信履歴から電話をかける場合はBナンバー発信が初期状態になります。また、以下の操作で電話をかける前に相手に通知する番号を選択できます。

電話番号を入力してかける場合

1 電話番号を入力▶
- ●(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

2 Aナンバー・Bナンバー
- ●中止する場合は「キャンセル」を選択します。

電話帳や履歴画面から発信番号を選択する場合

1 電話帳・発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示▶MENU(サブメニュー)▶2in1／マルチナンバー▶Aナンバー・Bナンバー
- ●電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「2in1／マルチナンバー」を選択します。
- ●中止する場合は「設定消去」を選択します。

デュアルモード中のｉモードメール送信

デュアルモード中にｉモードメールを作成する場合、送信者アドレスを「Aアドレス」「Bアドレス」から選択できます。

- ●以下の場合は、電話帳の2in1設定、発着信した電話番号、送受信したメールアドレスに従って、初期状態の送信者アドレスが自動的に設定されます。
  - ･電話帳に登録されているメールアドレスを宛先に設定した場合（共通設定の電話帳の場合はAアドレスが初期状態になります。複数の宛先がある場合は最後の宛先メールアドレスの2in1設定に従います。）
  - ･発着信一覧、リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧からのｉモードメール作成
  - ･ｉモードメールの返信、引用返信、転送、再編集

1 メール作成画面・デコメアニメ®作成画面▶MENU(サブメニュー)▶送信アドレス切替A/B▶Aアドレス・Bアドレス

ｉモードメール作成の場合はP.134手順2へ進みます。
デコメアニメ®作成の場合はP.140手順2へ進みます。
- ●送信者アドレスが設定されていない場合は「AB」が、送信者アドレスがBアドレスに設定されている場合は「B」が表示されます。

お知らせ
- ●送信者アドレスが設定されていないｉモードメールを送信、保存する場合は、送信者アドレスを選択する画面が表示されます。
- ●宛先の電話帳2in1設定と送信者アドレスが異なるｉモードメールを送信する場合は、そのまま送信するかどうかの確認画面が表示されます。

■モードごとに利用できるサービスについて

●モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています。(Aモードと共通の動きをするものは除いています)

項目		Aモード	Bモード	デュアルモード
音声電話 テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
	着信	すべて可※2		
電話帳※3	表示	A設定／共通設定の電話帳	B設定／共通設定の電話帳	すべての電話帳
	名前変換※4	A設定／共通設定の電話帳	B設定／共通設定の電話帳	すべての電話帳
	新規登録時の2in1設定	A設定の電話帳	B設定の電話帳	登録時に選択可
	赤外線／iC／microSDカードからの全件受信	送信元の2in1設定をコピー※5		
	赤外線／iCでの1件受信	A設定の電話帳	B設定の電話帳	登録時に選択可
	microSDカードからの1件コピー	A設定の電話帳	B設定の電話帳	A設定の電話帳
	「UIM(FOMA)カードコピー」	「UIM(FOMA)カードコピー」時には、2in1設定は共通設定		
	ドコモminiUIMカードから「本体へコピー」	A設定の電話帳	B設定の電話帳	A設定の電話帳
発着信一覧 リダイヤル 発信履歴 着信履歴 送信アドレス一覧 受信アドレス一覧	表示	Aナンバー／Aアドレスの履歴	Bナンバー／Bアドレスの履歴	すべての履歴
伝言メモ 通話中音声メモ 自動音声メモ	再生	Aナンバーのメモ	Bナンバーのメモ	すべてのメモ

項目		Aモード	Bモード	デュアルモード
ｉモードメール	表示※6	Aアドレスで送受信したｉモードメール	Bアドレスで送受信したｉモードメール	すべてのｉモードメール
	送信※7	Aアドレスからのｉモードメール	Bアドレスからのｉモードメール	Aアドレス／Bアドレスからのｉモードメール※8
	受信	Aアドレス宛のｉモードメール（鳴動あり） Bアドレス宛のｉモードメール（鳴動なし）	Aアドレス宛のｉモードメール（鳴動なし） Bアドレス宛のｉモードメール（鳴動あり）	すべてのｉモードメール（鳴動あり）
	冒頭文／署名	Aアドレスの冒頭文／署名	Bアドレスの冒頭文／署名	設定時に選択可※9
	赤外線／iC／microSDカードからの全件受信	送信元の状態をコピー※5		
	赤外線／iC／microSDカードからの1件受信	Aアドレスのｉモードメール		
SMS	表示※6	Aナンバーで送受信したSMS	Bナンバーで受信したSMS	すべてのSMS
	送信	AナンバーからのSMS	利用不可	AナンバーからのSMS
	受信	Aナンバー宛のSMS（鳴動あり） Bナンバー宛のSMS（鳴動なし）	Aナンバー宛のSMS（鳴動なし） Bナンバー宛のSMS（鳴動あり）	すべてのSMS（鳴動あり）
	赤外線／iC／microSDカードからの全件受信	送信元の状態をコピー※5		
	赤外線／iC／microSDカードからの1件受信	AナンバーのSMS		
	「UIMカードへコピー」	AナンバーのSMS		
	「UIMカードからコピー」	AナンバーのSMS	表示不可	AナンバーのSMS
ｉアプリ		すべて利用可	利用可※10	利用可※10
GPS	位置提供	Aナンバー※11		
	現在地通知	Aナンバー		
プロフィール		Aナンバー／Aアドレス	Bナンバー／Bアドレス	Aナンバー／Aアドレス Bナンバー／Bアドレス※12
留守番電話	伝言メッセージの録音	すべて可※13		
	サービスへの接続番号※14	Aナンバー	Bナンバー※15	発信時に選択可
転送でんわ	転送先への転送	すべて可		
	サービスへの接続番号※14	Aナンバー	Bナンバー※16	発信時に選択可

※1　電話帳2in1設定がA設定／共通設定の電話帳の場合はAナンバー発信、B設定の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。
※2　「指定着信許可」「指定着信拒否」「登録外着信拒否」を設定しているときは、利用しているモードと電話帳2in1設定に関わらず、着信を許可／拒否します。
※3　電話帳にシークレット登録をしている場合、シークレットモードが優先されます。

※4　発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳との照合により、各番号･各アドレスが登録されている電話帳の名前に変換して表示する機能です。
※5　送信元が2in1非対応機種の場合、すべてA設定になります。
※6　microSDカード内のメール･SMSは、Bモード中はBモード属性情報が無いものは表示されません。
※7　送信予約メールは現在のモードに関わらず送信されます。
※8　A設定／共通設定の電話帳からｉモードメールを作成した場合はAアドレスからの送信、B設定の電話帳からｉモードメールを作成した場合はBアドレスからの送信が初期状態になります。受信したｉモードメールを返信／転送する場合や、発着信一覧／リダイヤル／発信履歴／着信履歴、送信アドレス一覧／受信アドレス一覧からｉモードメールを作成する場合は、元のｉモードメールや履歴のアドレス／ナンバーに従って送信者アドレスが設定されます。
※9　送信者アドレスが設定されている場合は、対応した冒頭文／署名が貼り付けられます。ただし、一度貼り付けられた冒頭文／署名は、送信者アドレスを切り替えても自動的には切り替わりません。また、「自動貼付設定」でチェックを付けていても、送信者アドレスが設定されていない場合は貼り付けられません。
※10　ｉアプリ待受画面は除きます。
※11　相手からBナンバーで検索された場合は、位置提供は行われず、検索者には検索失敗が通知されます。
※12　プロフィールを引用･添付すると、どちらのプロフィールを引用･添付するかの確認画面が表示されます。
※13　AナンバーとBナンバーへの伝言メッセージをそれぞれ40件(音声電話20件＋テレビ電話20件)まで録音できます。
Aナンバーへの伝言メッセージがある場合に「」などが表示され、Bナンバーへの伝言メッセージがある場合に「」などが表示されます。
※14　AナンバーとBナンバーそれぞれにおいてサービスの開始／停止などが設定できます。
※15　「留守番設定確認」を実行すると、AナンバーとBナンバーどちらの番号で発信するかの確認画面が表示されます。
※16　「転送サービス設定確認」を実行すると、AナンバーとBナンバーどちらの番号で発信するかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- Aモード中にB設定の電話帳(Bモード中の場合はA設定の電話帳)に設定されている画像やメロディデータを削除またはmicroSDカードに移動する場合や、設定中の2in1のモード以外で待受画面に設定されている画像を削除またはmicroSDカードに移動する場合、機能設定中である旨のメッセージは表示されません。
- Bモード中は以下のメール機能を利用できません。
  ･SMS作成　･SMSの転送　･SMSの返信
  ･iモードメール本文からのiアプリ To機能
- デュアルモード中はBナンバー発信のリダイヤル／発信履歴、Bナンバー着信の着信履歴からはSMS作成を利用できません。
- デュアルモード中はBナンバー宛のSMSから「返信」はできません。また、「転送」はできますがAナンバーからのSMSになります。
- 現在のモードに関わらず、緊急通報110番／119番／118番への発信時は、Aナンバーを通知します。
- パソコンなどの外部機器から発信した場合、Aモード、デュアルモード中はAナンバー、Bモード中はBナンバーでの発信になります。
- 現在のモードに関わらず、発着信一覧／リダイヤル／発信履歴／着信履歴／送信アドレス一覧／受信アドレス一覧の最大記憶件数は、Aナンバー(Aアドレス)の履歴、Bナンバー(Bアドレス)の履歴それぞれの件数となります。
- 現在のモードに関わらず、受信BOX／送信BOX／保存BOXの最大保存件数は、すべてのiモードメール･SMSを合わせた件数となります。
- Bナンバー宛のSMSは返信不可となりますが、「返信不可振分け」に設定したフォルダには保存されません。
- 現在のモードに関わらず、メールの「フォルダ削除」「受信メール全削除」「送信メール全削除」「フォルダ内メール全削除」はすべてのiモードメール･SMSが対象となります。
- 現在のモードに関わらず、電話帳の「全削除」はすべての電話帳が対象となります。
- 現在のモードに関わらず、GPSの「位置提供設定」を「電話帳登録外拒否」に設定すると、すべての電話帳に登録されている相手からの位置提供の要求を許可します。
- 現在のモードに関わらず、プロフィールを登録する際のメールアドレスの「自動取得」は両方のメールアドレスが対象となります。

OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS(屋内基地局設備)で提供されるグループ内定額サービスです。
詳細はドコモの法人向けサイト(http://www.docomo.biz/html/service/officeed/)をご確認ください。

OFFICEED圏外転送機能

OFFICEED圏外転送機能を利用して、OFFICEED着信をOFFICEEDエリア外へ転送することができます。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**OFFICEED**▶**以下の操作を行う**

エリア表示設定	OFFICEEDエリア内にいるとき、「OFFICEED」を表示するかどうかを設定します。
圏外転送開始	開始します。
圏外転送停止	停止します。
圏外転送設定確認	設定内容を確認します。

追加サービス

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

サービスの登録

1 **MENU▶電話機能▶その他ネットワークサービス▶追加サービス▶追加サービス▶＜未登録＞を選んでMENU(サブメニュー)▶設定追加**

- 登録済みのサービスを変更する場合は「設定変更」を選択します。
- サブメニューから登録済みのサービスを削除できます。
- 12件まで登録できます。

2 **サービス名を入力▶特番･USSD**

追加するサービス内容によって「特番」または「USSD」を選択します。

3 **特番またはサービスコード(USSD)を入力▶YES**

お知らせ

- サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード(USSD)」はサービスセンターに通知するためのコード番号です。

登録サービスの利用

1 **MENU▶電話機能▶その他ネットワークサービス▶追加サービス▶追加サービス▶サービスを選択▶TV(送信)**

サービスセンターに発信します。

応答メッセージの登録

追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード(USSD)に対応した応答メッセージを12件まで登録できます。登録したコマンドが応答として返ってきたときに応答メッセージ名が表示されます。

1 **MENU▶電話機能▶その他ネットワークサービス▶追加サービス▶応答メッセージ設定▶＜未登録＞を選んでMENU(サブメニュー)▶設定追加**

- 登録済みの応答メッセージを選択すると、設定を確認できます。
- 登録済みの応答メッセージを変更する場合は「設定変更」を選択します。
- サブメニューから登録済みの応答メッセージを削除できます。

2 **コマンドを入力**

- ドコモから通知されたコード(USSD)を入力します。

3 **応答メッセージ名を入力▶YES**

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、ｉモードメールは設定の変更なくご利用になれます。

- 対応エリアについて
  本FOMA端末は3Gネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  ・「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」
  ・ドコモの「国際サービスホームページ」
  ・「MENU▶地図／海外▶海外ご利用ガイド」またはデータBOXの「マイドキュメント」にプリインストールされている「海外ご利用ガイド」

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

主な通信サービス	3G
音声電話※1	○
テレビ電話※1	○
SMS※2	○
ｉモード※3	○
ｉモードメール	○
ｉチャネル※3※4	○
ｉコンシェル※5	○
ｉウィジェット※6	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○
GPSの現在地確認※7	○

○:利用できます。

※1 2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。
※2 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
※3 ｉモード海外利用設定が必要となります。(P.439参照)
※4 ｉチャネル海外利用設定が必要となります。(P.439参照)ベーシックチャネルの情報の自動更新にもパケット通信料がかかります(日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます)。
※5 ｉコンシェルの海外利用設定が必要となります。(P.439参照)インフォメーションの受信ごとにパケット通信料がかかります。
※6 ｉウィジェットの海外利用設定が必要となります。(P.288参照)ｉウィジェット画面を表示すると複数のウィジェットアプリが通信する場合があり、この場合1通信ごとにパケット通信料がかかります。
※7 GPS測位(現在地確認)は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の準備

出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売の「FOMA海外兼用ACアダプタ01」または「FOMA ACアダプタ 02」をご利用ください。

■料金について

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は日本国内とは異なります。

事前設定

■ｉモードについて

ｉモード海外利用設定を「利用する」に設定する必要があります。(P.439参照)

■ｉモードメールについて

ｉモードメールについては受信方法が選べます。(P.439参照)

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス･転送でんわサービス･番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。日本国内からの操作についてはP.424参照。海外からの操作についてはP.440参照。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■接続について

「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。

「ネットワークサーチ設定」を「マニュアル」に設定している場合は、定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはｉモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

■ディスプレイの表示について

- 画面の上部には利用中のネットワークの種類が表示されます。
  - 3G⇆☎：通話とパケット通信が可能な3Gネットワーク
  - 3G☎：通話が可能な3Gネットワーク
  - 3G⇆：パケット通信が可能な3Gネットワーク
- 「オペレータ名表示設定」を「表示あり」に設定しているときは、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。(P.438参照)

■時計設定について

「メイン時計設定」の「自動時刻時差補正」や時差の補正方法を「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻･時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。

- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- メイン時計設定についてはP.49参照。

■お問い合わせについて

- FOMA端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失･盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご覧ください。なお、紛失･盗難されたあとに発生した通話･通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。(P.437参照)

滞在国での発信

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。0を1秒以上押して「+」を入力し、国際電話をかけます。

- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

滞在国から日本への発信

1 0(1秒以上)▶81→市外局番→相手先電話番号の順に入力▶

- 市外局番が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。
- (TV)(ﾃﾚﾋﾞ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

電話帳を利用した国際電話発信

1 電話帳詳細画面▶▶発信

電話番号の先頭の「0」が「+81」に置き換わって発信されます。

- (TV)(ﾃﾚﾋﾞ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。
- 「元の番号で発信」を選択した場合は、電話帳に登録されている電話番号のままの発信になります。

お知らせ

- 電話番号が「0」で始まる場合のみ有効です。また、あらかじめP.64「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能」を「ON」および「日本(81)」に設定しておく必要があります。(お買い上げ時の設定)
- 発着信一覧・リダイヤル・発信履歴などからも、また直接ダイヤル入力しても同様の操作で国際電話をかけることができます。

滞在国から他国(日本以外)への発信

1 0(1秒以上)▶国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- (TV)(ﾃﾚﾋﾞ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

サブメニューによる国際電話発信

1 電話番号を入力

または

電話帳・発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶国際電話発信▶国名称を選択▶

- 電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「国際電話発信」を選択します。
- 電話帳・発着信一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面では(発信)を押しても発信できます。
- (TV)(ﾃﾚﾋﾞ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

お知らせ

- あらかじめP.64「国番号」で国番号を登録しておく必要があります。
- 通信事業者によっては発信者番号が通知されなかったり、正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

滞在国内への発信

日本国内で電話をかけるように、相手の電話番号を入力して音声電話やテレビ電話をかけます。

1 電話番号を入力▶

- ●(TV)(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。
- ●電話帳を利用して滞在国内に電話をかける場合は、P.436「電話帳を利用した国際電話発信」の手順で「元の番号で発信」を選択してください。

海外にいるWORLD WING利用者への発信

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

滞在国での着信

日本国内での操作と同じ操作で海外でも音声電話やテレビ電話を受けることができます。(P.66参照)

■日本から電話をかけてもらうときは

日本国内で通常と同じように、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらうだけで、海外で日本からかかってきた電話を受けることができます。

「090(または080)−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

■日本以外の国から電話をかけてもらうときは

滞在国に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本への国際電話と同じように「発信国の国際電話アクセス番号」と「81」(日本の国番号)を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

「発信国の国際電話アクセス番号−81−90(または80)−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

お知らせ

- ●相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。

お知らせ

- ●海外での利用時には、「着信拒否設定」、「個別発着信動作選択(指定発信制限は除く)」が動作しない可能性があります。また、「通話中の着信動作選択」の設定に関わらず、「通常着信」として動作する可能性があります。
- ●国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本からの国際転送になります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には着信料がかかります。

ネットワークサーチ設定

利用中のネットワークが圏外になった場合に、自動的にネットワークを検索して他の通信事業者に接続し直すかどうかを設定します。

1 MENU▶地図／海外▶海外ネットワークサーチ▶ネットワークサーチ設定▶項目を選択

オート	自動的に他の通信事業者に接続し直します。設定が終了します。
マニュアル	一覧で表示される通信事業者に手動で接続します。 利用できない通信事業者には「⊗」が表示されます。
ネットワーク再検索	「オート」に設定しているときは、自動的に接続先が切り替わり、設定が終了します。 「マニュアル」に設定しているときは、通信事業者の一覧が表示されます。

- ●「ネットワークサーチ設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 通信事業者を選択

- ●(TV)(更新)を押すと再度通信事業者の一覧が表示されます。

お知らせ

- ●ドコモminiUIMカードが挿入されていないときは設定できません。
- ●渡航先でネットワークを「マニュアル」に設定して接続した場合は、帰国後に設定を「オート」に設定してください。

再検索アイコン表示設定

「ネットワークサーチ設定」を「マニュアル」に設定しているときに圏外になった場合、デスクトップに「再検索」を表示するかどうかを設定します。

- 「再検索」を選択するとネットワーク再検索を行い、通信事業者の一覧が表示されます。

1 MENU▶**地図/海外**▶**海外ネットワークサーチ**▶**再検索アイコン表示設定**▶**表示する・表示しない**

優先ネットワーク設定

「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定しているときに接続する通信事業者の優先順位を設定します。通信事業者は20件まで登録できます。

1 MENU▶**地図/海外**▶**海外ネットワークサーチ**▶**優先ネットワーク設定**

- 登録済みの通信事業者を選択すると、登録内容を確認できます。
- 「優先ネットワーク設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

2 MENU(サブメニュー)▶**リストから登録**

- 国名で通信事業者を検索する場合は、TV(検索)を押して国名を選択します。国選択リストで再度TV(検索)を押し、国名を入力して検索することもできます。

3 **通信事業者を選択**▶●(確定)▶**YES**▶TV(完了)▶**YES**

優先ネットワーク設定表示中のサブメニュー

マニュアル登録	国番号(オペレータコード(MCC))とネットワーク番号(オペレータコード(MNC))を入力して通信事業者を登録します。リストにない通信事業者も登録できます。
リストから登録	P.438「優先ネットワーク設定」参照
在圏ネットワーク登録	現在接続している通信事業者を登録します。
優先順位変更	通信事業者の優先順位を変更します。
削除	削除します。

お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、「DOCOMO」のネットワークが利用可能な場合は、優先的に接続されます。
- 本機能の設定はドコモminiUIMカードに保存されます。
- ドコモminiUIMカードが挿入されていないときは設定できません。

オペレータ名表示設定

現在接続している通信事業者名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶**地図/海外**▶**海外ネットワークサーチ**▶**オペレータ名表示設定**▶**表示あり・表示なし**

- 「オペレータ名表示設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- 「表示あり」に設定しても、「DOCOMO」のネットワークを利用している場合は表示されません。

在圏状態表示

現在接続している通信事業者で通話やパケット通信が利用できるかどうかを表示します。

1 MENU▶**地図/海外**▶**海外ネットワークサーチ**▶**在圏状態表示**

- 「在圏状態表示」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

ｉモードサービス利用設定

海外でのｉモードなどの利用に関する設定を行います。

1 MENU▶**地図／海外**▶**海外設定**▶**ｉモードサービス利用設定**▶**以下の操作を行う**

●「ｉモードサービス利用設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

ｉモード海外利用設定	サービスごとに利用設定を行います。 ●日本国内では無料で設定できます。海外での設定にはパケット通信料がかかります。
お預かりサービス／ｉコンシェル	
ｉチャネル海外利用設定	
ｉウィジェット海外利用設定	P.288参照
MyFACE自動更新設定	国際ローミング中にMyFACEコンテンツを自動で更新するかどうかを設定します。「個別設定に従う」を選択した場合は、各MyFACEコンテンツの「自動更新設定」に従って動作します。

メール／メッセージ利用設定

海外でのｉモードメールやメッセージRの利用に関する設定を行います。

1 MENU▶**地図／海外**▶**海外設定**▶**メール／メッセージ利用設定**▶**以下の操作を行う**

●「メール／メッセージ利用設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

メール選択受信	P.148「メール選択受信設定」参照
メッセージR海外利用設定	メッセージRの利用設定を行います。 ●日本国内では無料で設定できます。海外での設定にはパケット通信料がかかります。

ローミングガイダンス

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

●ローミングガイダンスを設定した場合でも、海外通信事業者により、外国語のガイダンスが流れる場合があります。
●ガイダンスの設定を行わない場合でも、海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。
●日本国内で設定してください。(滞在国でローミングガイダンスの操作をするにはP.441参照。)

1 MENU▶**地図／海外**▶**海外設定**▶**ローミングガイダンス**▶**以下の操作を行う**

●「ローミングガイダンス」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

開始	開始します。
停止	停止します。
設定確認	設定内容を確認します。

ローミング着信通知

国際ローミング中に、電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報（着信日時や発信者番号）をSMSにてお知らせします。
●SMSの受信料は無料です。

1 MENU▶**地図／海外**▶**海外設定**▶**ローミング着信通知**▶**以下の操作を行う**

●「ローミング着信通知」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

通知開始	開始します。
通知停止	停止します。
通知設定確認	設定内容を確認します。

ローミング時着信規制

国際ローミング中に着信を受け付けないように設定します。
●海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。

1 MENU▶**地図／海外**▶**海外設定**▶**ローミング時着信規制**▶**以下の操作を行う**

●「ローミング時着信規制」のショートカットを作成できます。（P.40参照）

規制開始	開始します。 ●「全着信規制」では、音声、SMS、メール自動受信を含むすべての着信が、「テレビ電話／データ呼規制」ではテレビ電話の着信のみが規制されます。 ●ネットワーク暗証番号の入力が必要になります。（P.114参照）
規制停止	停止します。 ●ネットワーク暗証番号の入力が必要になります。（P.114参照）
規制確認	設定内容を確認します。

お知らせ

● i モードサイト表示とメール送信は可能です。
●「全着信規制」に設定しても、発信、i モード接続・i チャネルの自動更新、留守番電話・転送でんわは規制されません。また、パケット通信を行うと、メールなどを受信する場合があります。

ローミング中のネットワークサービス利用

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスの一部を利用します。
また、ローミング着信通知やローミングガイダンスの設定も行うことができます。
●2in1の「着信回避設定」についてはP.426参照。
●海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。

海外遠隔操作設定（有料）

1 MENU▶**地図／海外**▶**海外設定**▶**ネットワークサービス**▶**遠隔操作（有料）**▶**YES**▶**音声ガイダンスに従って操作**

海外番号通知お願いサービス（有料）

1 MENU▶**地図／海外**▶**海外設定**▶**ネットワークサービス**▶**番号通知お願い（有料）**▶**YES**▶**音声ガイダンスに従って操作**

海外ローミング着信通知（有料）

1 MENU▶**地図／海外**▶**海外設定**▶**ネットワークサービス**▶**ローミング着信通知（有料）**▶**YES**▶**音声ガイダンスに従って操作**

海外ローミングガイダンス(有料)

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ネットワークサービス▶ローミングガイダンス(有料)▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

海外留守番電話サービス(有料)

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ネットワークサービス▶留守番電話(有料)▶項目を選択▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

- 「再生」または「設定」を選択した場合は、音声電話／テレビ電話どちらの操作を行うかを選択します。

海外転送でんわサービス(有料)

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ネットワークサービス▶転送でんわ(有料)▶項目を選択▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

お知らせ

- 海外から操作した場合は、利用した国の日本向け通話料がかかります。
- あらかじめ「遠隔操作設定」を「開始」にする必要があります。(P.424参照)

お問合せ(海外)

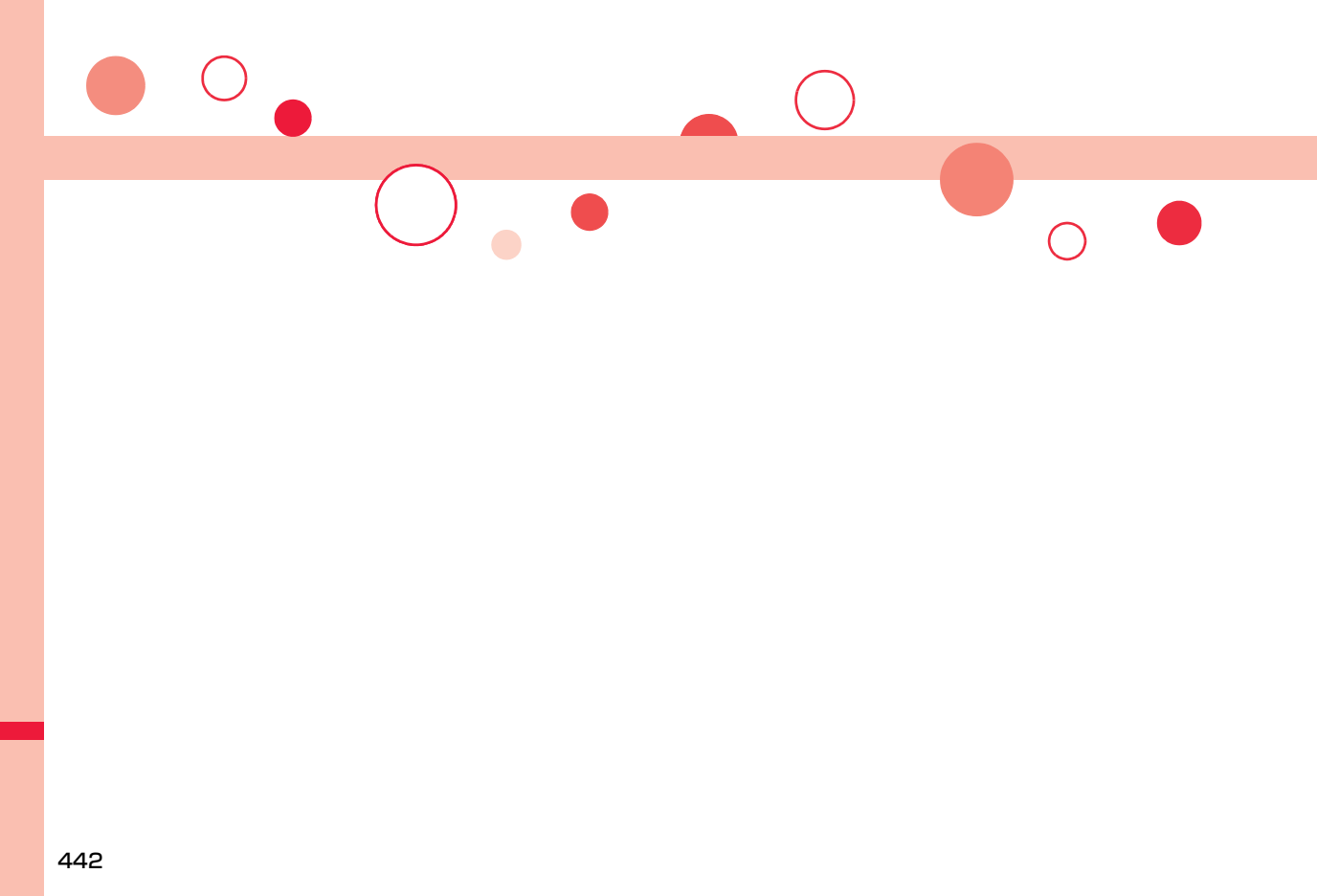
海外からドコモの問い合わせ先に電話をかけることができます。

- お使いのドコモminiUIMカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶お問合せ(海外)▶問い合わせ先を選択▶●(発信)

海外紛失･盗難 .... 海外から紛失、盗難などの問い合わせ先に電話をかけます。

海外故障 .... 海外から故障問い合わせ先に電話をかけます。

- 「お問合せ(海外)」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

パソコン接続

データ通信の詳細については、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

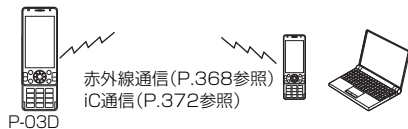
FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、データ転送(OBEX™通信)とパケット通信・64Kデータ通信に分類されます。FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- データ通信中に他の機能を起動したり操作したりできないことがあります。詳しくはP.478「マルチアクセスの組み合わせ」をご覧ください。
- 海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください。(PPP接続ではパケット通信できません。)

データ転送(OBEX™通信)

画像やメロディ、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- 転送方法により送受信できるデータが異なります。詳細は各転送方法をご確認ください。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02
microSDカード(P.352参照)
ドコモケータイdatalink(P.447参照)

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。(受信最大7.2Mbps、送信最大2.0Mbpsのベストエフォート方式)※ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。

パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。

※技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなる場合があります。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信方式です。FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続し、通信を行います。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先を利用します。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

お知らせ

- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」に接続してデータ通信を行うことができます。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- DoPaの接続先には接続できません。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でFOMA端末による通信を行うには、以下の条件が必要になります。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)が利用できるパソコンであること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

■パソコン本体
PC/AT互換機
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)を使用する場合：
　USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠)
ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。

■OS
Windows XP 32ビット版（日本語版）
Windows Vista 32ビット版/64ビット版（日本語版）
Windows 7 32ビット版/64ビット版（日本語版）

■必要メモリ
Windows XP：128Mバイト以上
Windows Vista：512Mバイト以上
Windows 7 32ビット版：1Gバイト以上
Windows 7 64ビット版：2Gバイト以上

■ハードディスク容量
5Mバイト以上の空き容量
- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。
- OSのアップグレードや追加･変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)
- 「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)※

※ドコモのホームページからダウンロードしてください。

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」または、「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送(OBEX™通信)の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)をご利用になる場合には、「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールしてください。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールする
- ドコモのホームページから「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロードし、インストールします。

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールする
- ドコモのホームページから「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロードし、インストールします。

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続する

インストール後の確認をする

ドコモのホームページから「ドコモ コネクションマネージャ」をダウンロードしてインストールする

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに手動で通信の設定をする

接続する

お知らせ

- USB接続でデータ通信を行うには「USBモード」を「通信モード」に設定してください。(P.363参照)

ドコモ コネクションマネージャの紹介

「ドコモ コネクションマネージャ」は、ドコモのデータ通信を行うのに便利なソフトウェアです。
お客さまのご契約状況に応じた、パソコン設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- 「ドコモケータイdatalink」をご利用になるには、あらかじめ「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールしておく必要があります。また、別途USB接続ケーブル(別売)が必要となります。
- ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。

付録／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

機能一覧表

P.131「端末初期化」を行うと、各種機能の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。　　の項目はP.130「設定リセット」、※1の項目はP.167「メール設定リセット」、※2の項目はP.202「ｉモード設定リセット」、※3の項目はP.255「TV設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。

●端末初期化を行っても、削除したプリインストールｉアプリは元に戻りません。

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
メール	受信BOX		プリインストールデータのみ（ドコモminiUIMカード内は除く） ユーザ作成フォルダ：なし	152
	送信BOX		メールなし（ドコモminiUIMカード内は除く） ユーザ作成フォルダ：なし	153
	保存BOX		メールなし	153
	送受信BOX		メールなし アドレス登録：未登録	154
	新規メール作成		－	134
	新規デコメアニメ作成		－	140
	デコメテンプレート	デコメール	プリインストールデータのみ	142
		デコメアニメ	プリインストールデータのみ	143
	新規SMS作成		－	172
	メール／メッセージ問合せ		－	149
	SMS問合せ		－	174
	メール選択受信		－	148
	メール設定	受信設定※1	メール選択受信設定：OFF	148
			添付ファイル優先受信設定：すべてチェックあり	166
			添付ファイル自動再生設定：自動再生する	166
		表示設定※1	メモ検索ボタン表示設定：ON	166
			受信時動作設定：通知優先	166
			メッセージ自動表示設定：メッセージR優先	169
			スクロール設定：1行スクロール	166
			文字サイズ設定：中	111
			メール一覧表示設定 表示行数：1行+本文表示　　表示内容：名前表示	166
			メッセージ一覧表示設定：2行表示	166
			メール本文表示設定：通常表示	166
		本文入力時予測※1	時季参照予測：ON	166
			文章入力表現：標準	166

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
メール	メール設定	冒頭文／署名設定※1	冒頭文編集：未入力	167
			署名編集：未入力	167
			引用符編集：〉	167
			自動貼付設定：すべてチェックあり	167
		定型文／単語登録	「便利ツール」→「定型文／単語登録」と同じ	460
		BOXロック※1	すべてチェックなし	125
		メール／メッセージ問合せ設定※1	すべてチェックあり	166
		ブログ・メールグループ	未登録	166
		アドレス・迷惑メール設定	－	166
		編集時自動保存設定※1	ON	167
		SMS設定※1	送達通知設定：要求しない	175
			有効期間設定：3日	175
			本文入力設定：日本語入力（70文字）	175
			センター設定：ドコモ	175
		緊急速報「エリアメール」設定※1	受信設定：利用する	172
			ブザー鳴動時間：10秒	172
			マナー／公共モード時設定：マナー／公共モード時でも鳴動	172
			その他 受信登録：緊急地震速報、災害・避難情報	172
		かんたんデコメ設定※1	絵文字挿入量：標準	167
			文字色更新：OFF	167
			文字サイズ更新：OFF	167
			背景色更新：ON	167
		メール設定確認	－	167
		メール設定リセット	－	167
iモード／web	iMenu・検索		－	178
	Bookmark		未登録	190
	画面メモ		未登録	191
	サイト閲覧履歴		履歴なし	189
	URL入力	URL入力	－	189
		URL入力履歴	履歴なし	189

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
iモード／web	iチャネル	iチャネル一覧	データなし	211
		テロップ表示設定	テロップ表示設定:表示する	212
			テロップ文字サイズ設定:中	212
			テロップ色設定:パターン1	212
			テロップ速度:標準	212
		iチャネル初期化	−	212
	iモード／web設定	iモードブラウザ設定※2	画像表示設定※3:表示する	199
			サウンド設定:ON(レベル3)	200
			動画自動再生設定:自動再生する	210
			ページ内データ取得設定:毎回確認	200
			Script動作設定:有効	200
			端末情報利用設定:利用する	200
			文字サイズ設定:中	111
			Cookie設定:有効	203
			Referer設定:有効	203
			タブ自動起動設定:自動起動する	200
			ポインタ表示設定:表示しない	200
		フルブラウザ設定※2	画像表示設定:表示する	199
			サウンド設定:ON(レベル3)	200
			動画自動再生設定:自動再生する	210
			ページ内データ取得設定:毎回確認	200
			Script動作設定:有効	200
			端末情報利用設定:利用する	200
			文字サイズ設定:中	111
			Cookie設定:有効	203
			Referer設定:有効	203
			タブ自動起動設定:自動起動する	200
			ポインタ表示設定:表示する	200
			フルブラウザホーム設定:http://www.google.co.jp	201
			表示モード設定:PCレイアウトモード	181
			フルブラウザ確認表示:毎回表示	201
			自動通信サイズ設定:毎回確認	201
			フルブラウザ利用設定:利用しない	201
			拡大縮小表示:100%	201

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
ｉモード／web	ｉモード／web設定	フルブラウザ設定※2	ショートカット 1:ズームアウト　5:PagePilot　9:次のページへ進む 2:上ページスクロール　6:右ページスクロール　0:Bookmark一覧 3:ズームイン　7:前のページへ戻る　＊:左タブに切替 4:左ページスクロール　8:下ページスクロール　#:右タブに切替	201
		共通設定※2	証明書設定:すべて有効	204
			接続先設定:ｉモード	202
			セキュア通信サービス設定 センター接続先設定:ドコモ	206
			ｉモードボタン設定:ｉMenu･検索接続	201
			スクロール設定:1行スクロール	201
			PagePilot表示設定:移動中に表示する	201
			ポインタ移動距離設定:普通	202
			ポインタ加速度設定:普通	202
			Bookmark表示設定:サムネイル	202
		ｉモード設定確認	－	202
		ｉモード設定リセット	－	202
	フルブラウザホーム		－	180
ｉアプリ	ソフト一覧(本体)		プリインストールｉアプリのみ	277
			画面表示:グラフィック表示	278
			サブメニュー 自動起動時刻設定:すべてチェックなし	283
	ｉアプリ(microSD)	ソフト一覧(microSD)	－	278
		ｉアプリ使用データ	－	286
	ｉアプリコール履歴		履歴なし	284
	ｉアプリ実行情報	待受画面終了情報	情報なし	286
		ウィジェットアプリ終了情報	情報なし	289
		セキュリティエラー履歴	履歴なし	279
		自動起動情報	情報なし	283
		トレース情報	情報なし	279

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
ｉアプリ	ｉアプリ設定	自動起動設定	許可しない	283
		ソフト情報表示設定	表示しない	277
		ｉウィジェット海外利用設定	通信しない	288
		ｉウィジェット効果音設定	ON	289
		オートGPS優先設定	OFF	282
		ｉアプリコール機能設定	ｉアプリコールダウンロード設定：拒否しない	285
			ｉアプリコール音設定 着信鳴動音選択：着信音3　鳴動時間設定：5秒 バイブレータ選択：OFF　イルミネーション選択：色2	285
		ｉアプリ音量設定	レベル4	282
		ｉアプリ音優先設定	ミュージック／ワンセグ優先	282
		α照明設定	システム依存	282
		αバイブレータ	システム依存	282
		ｉアプリ設定確認	－	283
カメラ／TV／MUSIC	カメラ	デジカメモード	アイコン表示：アイコン表示ON	217
			サブメニュー（カメラ）撮影モード：インテリジェントオート Myオリジナル：未登録	233
			サブメニュー（カメラ）連写：OFF	221
			サブメニュー（カメラ）記録画素数：2Mワイド（1080×1920）［アウトカメラ］ 待受（480×854）［インカメラ］	229
			サブメニュー（カメラ）クオリティ：スーパーファイン	229
			サブメニュー（カメラ）暗部補正：OFF	230
			サブメニュー（カメラ）手ブレ補正：オート	230
			サブメニュー（カメラ）ズームモード：OFF	236
			サブメニュー（動画）記録画素数：QVGA（320×240）［アウトカメラ］ VGA（640×480）［インカメラ］	230
			サブメニュー（動画）動画容量：メール用	230
			サブメニュー（設定）保存先：本体（カメラ）	230
			サブメニュー（設定）ガイドライン：ガイドライン1	230
			サブメニュー（設定）自動保存：OFF	230
			サブメニュー（設定）シャッター音設定：シャッター音1	230
			サブメニュー（設定）チラツキ補正：自動	230

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
カメラ／ TV／ MUSIC	カメラ	フォトモード・ ムービーモード	サブメニュー撮影モード:インテリジェントオート(フォトモード) 通常撮影(連写モード･ムービーモード) Myオリジナル設定:未登録	233
			サブメニュー記録画素数:待受(480×854)(フォトモード[アウトカメラ]) VGA(480×640)(フォトモード[インカメラ]･連写モード) QVGA(320×240)(ムービーモード)	231
			サブメニュー動画容量:メール制限(大)	231
			サブメニュークオリティ:スーパーファイン	231
			サブメニュー撮影設定 手ブレ補正:オート　シャッター音選択:シャッター音1 ちらつき補正設定:自動	231
			サブメニュー保存設定 保存先:本体(カメラ)　自動保存:OFF　ファイル制限:なし	231
			サブメニュー連写設定 連写モード設定:オート　撮影間隔:0.5秒 撮影枚数 VGA(480×640):4枚(固定) QVGA(240×320)･QCIF(144×176)･Sub-QCIF(96×128):5枚	232
			サブメニュー表示サイズ設定:等倍表示	232
			サブメニューアイコン表示:ON	232
		ピクチャアルバム	「データBOX」→「マイピクチャ」→「ピクチャアルバム」と同じ	457
	ワンセグ	ワンセグ視聴	起動時の確認表示※3:免責事項の確認画面を表示する	241
			データ放送の確認表示※3:データ放送の確認画面を表示する	255
			放送用保存領域:未登録	241
			音量調節:レベル12	245
		番組表	－	247
		視聴予約リスト	未登録	251
		録画予約リスト	未登録	251
			録画予約時の確認表示※3:免責事項の確認画面を表示する	251
		予約録画結果	未登録	254
		テレビリンク	未登録	248
		チャンネルリスト選択	未登録	243
		チャンネル設定	－	242

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
カメラ／TV／MUSIC	ワンセグ	ユーザ設定※3	表示設定 映像／字幕表示設定:映像+字幕+データ放送 横画面字幕表示設定:下部に表示 アイコン常時表示設定:すべて表示	254
			映像設定 モバイルWスピード:OFF　画質モード設定:ダイナミック	254
			照明設定:常時点灯	254
			サウンド効果 自動音量設定:ON　リ.マスター設定:OFF リスニング設定:OFF　イコライザー設定:ノーマル	255
			録画設定 電池少量時録画設定:録画を継続する　視聴中着信録画設定:OFF	255
			データ放送設定 画像表示設定※2:表示する　サウンド設定:ON	255
			省エネ設定 ワンセグecoモード:解除　ワンセグ無操作自動オフ設定:60分	255
	ミュージックプレーヤー		データなし	266
			プレイリスト:未登録	273
			前回再生した曲の情報:なし	266
			音量調節:レベル12	268
			サブメニュー 再生モード変更:ノーマル	271
			サブメニュー サウンド効果 リ.マスター設定:OFF　リスニング設定:OFF　イコライザー設定:ノーマル	272
	Music&Videoチャネル		データなし	260
			画面表示:縦画面で再生	261
			音量調節:レベル12	261
			サブメニュー 再生モード変更:ノーマル	262
			サブメニュー サウンド効果 リ.マスター設定:OFF　リスニング設定:OFF　イコライザー設定:ノーマル	263

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
データBOX	マイピクチャ		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	320
			ピクチャアルバム アイコン表示:アイコン表示ON サブメニュー(表示/設定)エフェクト:Slide	335
			ピクチャアルバムのスライドショー サブメニュー設定 再生フォルダ:すべてチェックなし 表示設定:静止画+動画 再生時間:2秒 エフェクト:Random 顔ズーム:ON ランダム:ON リピート:ON アイコン表示:アイコン 時計位置:中央 レジューム設定:ON 充電連動:OFF	339
			自作アニメ:未登録	326
			画面表示:画像	320
			サブメニューフォルダセキュリティ:すべて解除	367
			サブメニューピクチャ編集 文字スタンプ 文字色:16色、黒色 文字サイズ:通常サイズ	325
			サブメニューソート:新しい順	322
			サブメニュー表示サイズ設定:標準	323
	ミュージック		データなし ユーザ作成フォルダ:なし	267
			画面表示:タイトル+画像	267
			音量調節:レベル12	268
	Music&Videoチャネル		データなし	260
	iモーション・ムービー		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	327
			プレイリスト:未登録	333
			しおり:未登録	329
			再生履歴:履歴なし	329
			画面表示:タイトル+画像	327
			前回再生したiモーションの情報:なし	327
			音量調節:レベル12	327
			サブメニューフォルダセキュリティ:すべて解除	367
			サブメニューiモーション貼付:すべて解除	329
			サブメニューソート:新しい順	330
			サブメニューサウンド効果 リ.マスター設定:OFF リスニング設定:OFF イコライザー設定:ノーマル	331

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
データBOX	iモーション・ムービー		サブメニュー表示サイズ設定:画面サイズで表示	331
			サブメニュー全画面モード切替:縦画面再生	331
	メロディ		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	347
			プログラム:未登録	367
			サブメニュー着信音設定:すべて解除	348
			サブメニューソート:新しい順	348
	コンテンツパッケージ		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	350
			サブメニューソート:新しい順	352
	マイドキュメント		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	375
			画面表示:画像	375
			サブメニューソート:新しい順	375
	きせかえツール		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	349
			画面表示:画像	349
			サブメニューソート:新しい順	350
	マチキャラ		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	346
			画面表示:画像	346
			サブメニューソート:新しい順	347
	キャラ電		プリインストールデータのみ	343
			サブメニュー代替画像設定:カンガルー	74
			サブメニューキャラ電撮影 カメラモード:フォトモード　画像サイズ選択:QCIF(176×144) 撮影種別設定:映像+音声　動画保存設定:標準 画像保存設定:ファイン　ファイルサイズ設定:2MB以下	345
			サブメニュー画像表示設定:画面サイズで表示	344
	ワンセグ	イメージ	データなし	320
			画面表示:画像	320
			サブメニューソート:新しい順	322
			サブメニュー表示サイズ設定:標準	323
		ビデオ	音量調節:レベル12	341
			サブメニュー一覧表示切替:タイトル+画像	342
		しおり	未登録	341

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
データBOX	ドキュメントビューア		−	378
	フォント		プリインストールデータのみ	352
			サブメニュー ソート:新しい順	352
	SDその他ファイル		−	362
	全検索履歴		履歴なし	319
便利ツール	バーコードリーダー	コード読み取り	−	237
		保存データ一覧	未登録	238
	電卓		−	399
	アラーム		未登録	387
			設定:すべてOFF	387
	赤外線受信	受信	−	370
		全件受信	−	371
	スケジュール		未登録	390
	メモ		未登録	394
	クイックミラー		サブメニュー チラツキ補正:自動	400
	歩数計		サブメニュー 歩数計設定:ON	385
			計測履歴:履歴なし	384
			サブメニュー ユーザ情報設定 体重:60kg　歩幅:60cm	385
			サブメニュー 目標歩数:10000歩	385
	ケータイデータお預かりサービス	データ確認/ダウンロード	−	129
		電話帳を更新	−	129
		スケジュール等を更新	−	129
		画像を更新	−	129

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
便利ツール	ケータイデータお預かりサービス	設定情報を更新	－	129
		詳細設定／通信履歴	電話帳画像送信設定：OFF	129
			メモ添付画像送信設定：ON	129
			通信履歴確認：履歴なし	129
	microSD	microSDデータ参照	－	354
		バックアップ／復元	－	360
	使いかたガイド		検索履歴：履歴なし	40
	ボイスレコーダー		サブメニュー 容量設定：メール制限（大）	374
			サブメニュー 保存設定 保存先：本体　自動保存：OFF　ファイル制限：なし	374
	おしゃべり機能		未登録	96
	辞典	直接入力	－	400
		検索履歴	履歴なし	400
	定型文／単語登録	定型文	フォルダ1･2：初期状態 フォルダ3～5：未登録 セキュリティフォルダ：未登録	410
		単語登録	未登録	412
	ダウンロード辞書		プリインストールデータのみ	412
	音声クイック起動		－	382
	しゃべって検索		－	382
	ドコモへのお問合せ		－	423
電話機能	電話帳	電話帳検索	サブメニュー 個別着信音／画像：すべて解除	90
			サブメニュー 個別発着信動作選択：すべて解除	125
		電話帳登録	未登録	83
		UIM（FOMA）カード操作	－	401
		電話帳設定･確認	ブログ･メールグループ：未登録	144
			グループ設定 グループ名：グループ01～19（ドコモminiUIMカード内は除く） サブメニュー グループ着信音／画像：すべて解除 サブメニュー グループ並び替え：初期状態	85
		電話帳画像転送	する	372
	伝言メモ／音声メモ	メモの再生／消去	未登録	73
		テレビ電話メモの再生／消去	未登録	73
		音声メモ録音	－	397

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
電話機能	伝言メモ/音声メモ	伝言メモ設定	OFF 応答メッセージ:すべて標準(ON設定時)　呼出時間:すべて13秒(ON設定時)	71
	発着信履歴	発信履歴	履歴なし	58
		着信履歴	履歴なし	58
		リダイヤル	履歴なし	58
	発着信・通話設定	迷惑電話ストップ	―	421
		番号通知お願いサービス	―	421
		発信者番号通知	―	50
		通話中の着信動作	通話中の着信動作選択:通常着信	423
		発信詳細設定	ポーズダイヤル:未登録	61
			サブアドレス設定:ON	65
			プレフィックス設定:WORLD CALL(009130010)	65
		着信詳細設定	着信アンサー設定:エニーキーアンサー	68
			オート着信設定:すべてオート着信なし 呼出時間:すべて6秒(オート着信あり設定時)	403
			呼出時間表示設定 無音時間設定:OFF 無音時間:1秒(ON設定時) 時間内不在着信表示:表示する	127
			電話帳画像着信設定:ON	103
			発着信番号表示設定 Aモード 本体色「Black」:白色　本体色「Pink Gold」:黒色　本体色「Pink」:紫色 Bモード 本体色「Black」「Pink Gold」:橙色　本体色「Pink」:黄緑色	111
		通話中詳細設定	受話音量:レベル4	69
			自動音声メモ:OFF	397
			しっかりトーク:ON	65
			ノイズキャンセラ:ON	66
			通話品質アラーム:アラームなし	97
			再接続機能:アラームなし	65
			保留音設定 応答保留音:応答保留音1　通話中保留音:通話中保留音	70
		イヤホン機能設定	イヤホンスイッチ発信設定:OFF	403
			イヤホン切替設定:イヤホンとスピーカー	98

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
電話機能	発着信・通話設定	着信拒否設定	「本体設定」→「ロック・セキュリティ」→「着信拒否設定」と同じ	466
		着信通知	－	418
	テレビ電話設定	受信画質設定	標準	77
		画像選択	応答保留選択:内蔵　通話保留選択:内蔵　代替画像選択:キャラ電(カンガルー) 伝言メモ選択:内蔵　伝言メモ準備選択:内蔵　音声メモ選択:内蔵	77
		音声自動再発信	OFF	78
		テレビ電話切替機能通知	－	78
		ハンズフリー切替	ON	77
		パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	78
	通話時間・料金	通話時間・料金	通話時間・積算時間:0秒　通話料金:￥＊＊ 前回積算時間リセット日時・前回積算料金リセット日時:--/--　--:--	397
		通話料金通知	未登録	398
		積算リセット	－	398
		積算料金自動リセット	OFF	398
	災害用音声お届けサービス		－	－
	声の宅配便	メッセージ確認・設定(サイト)	－	60
		メッセージ確認(音声)	－	60
		設定(音声)	－	60
	2in1		OFF	425
			モード切替:デュアルモード	425
	メロディコール		－	97
	留守番電話サービス	留守番メッセージ再生	－	417
		留守番サービス開始	－	417
		留守番サービス停止	－	417
		留守番呼出時間設定	－	417
		留守番設定確認	－	417
		留守番サービス設定	－	417
		メッセージ問合せ	－	416
		件数増加鳴動設定	YES	417
		表示消去	－	417
		留守番テレビ電話設定	－	417

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
電話機能	その他ネットワークサービス	転送でんわ	―	419
		キャッチホン	―	418
		英語ガイダンス	―	422
		遠隔操作設定	―	424
		マルチナンバー	電話番号設定:未登録	424
			着信音設定:すべて通常着信音と同じ	425
		デュアルネットワーク	―	422
		追加サービス	追加サービス:未登録	432
			応答メッセージ設定:未登録	432
		OFFICEED	エリア表示設定:OFF	431
	直デン		未登録	91
本体設定	画面・ディスプレイ	きせかえツール設定	「データBOX」→「きせかえツール」と同じ	458
		待受画面設定	待受画面・Aモード待受画面 本体色「Black」:滴　本体色「Pink Gold」:エレガント 本体色「Pink」:スヌーピー Spotlight	101
			Bモード待受画面 本体色「Black」:テーブル　本体色「Pink Gold」:ダリア 本体色「Pink」:スヌーピー コンサート	101
			デュアルモード待受画面 本体色「Black」:ビルディング　本体色「Pink Gold」:バンガロー 本体色「Pink」:スヌーピー ズームアップ	101
			アイコンパターン 電池アイコン・アンテナアイコン 本体色「Black」:パターン3　本体色「Pink Gold」:パターン2 本体色「Pink」:パターン1	102
			ショートカット ｉコンシェル、dマーケット、地図アプリ、使いかたガイド、音声クイック起動、しゃべって検索、Gガイド番組表リモコン、マクドナルド トクするアプリ、電卓、アラーム、バーコードリーダー、赤外線受信、ピクチャアルバム、P-SQUARE、歩数計	39
		MyFACE設定	MyFACE利用設定:利用する	103
			更新通知表示設定:表示する	103
			ローミング時自動更新設定:自動更新しない	103
			低電力時動作設定:自動更新する	103
			MyFACEビューア設定 サウンド設定:ON　ページ内データ取得設定:毎回確認 Script動作設定:有効　端末情報利用設定:利用する 文字サイズ設定:中　Cookie設定:有効 通信継続確認設定:毎回確認	103

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
本体設定	画面・ディスプレイ	カラーテーマ設定	本体色「Black」:Black　本体色「Pink Gold」:Gold 本体色「Pink」:Pink	107
		各種画面設定	ウェイクアップ表示:Wake up	102
			電話発信・電話着信・テレビ電話発信・テレビ電話着信・メール送信・メール受信・問合せ・メール受信結果 本体色「Black」:パターン3　本体色「Pink Gold」:パターン2 本体色「Pink」:パターン1	103
		マチキャラ設定	表示設定:ON 本体色「Black」「Pink Gold」:ひつじのしつじくん 本体色「Pink」:スヌーピー Musicians	109
			自動アップデート設定:ON	109
			アップデート通知設定:OFF	109
		ソフトキー	本体色「Black」:Black　本体色「Pink Gold」:Gold 本体色「Pink」:Pink	107
		メニューテーマ	メニュー	107
		ピクチャ表示設定	ピクチャ一覧	323
		表示アイコン説明	−	31
		表示アイコン設定	ON	29
		ビューブラインド	OFF	105
		表示画質モード設定	ダイナミック	107
		液晶AI	ON	107
		メールテロップ表示設定	送信元のみ表示	168
		インフォメーション表示設定	表示する	213
	音／バイブ／マナー	着信音量	すべてレベル4	95
		着信音選択	電話・テレビ電話 Aモード:着信音1　Bモード:着信音2	94
			メール Aモード:着信音2　Bモード:キラキラ	94
			メッセージR・メッセージF・ｉコンシェル:着信音3	94
		その他音設定	ボタン確認音:ON	97
			スピードセレクター音:パターン1	97
			充電確認音:ON	97
			メール／メッセージ鳴動:すべてON 鳴動時間:すべて5秒	98
		バイブレータ設定	すべてOFF	96

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
本体設定	音／バイブ／マナー	マナーモード設定	マナーモード選択：マナーモード オリジナルマナー設定時 伝言メモ：OFF　バイブレータ：ON　電話着信音量：消去 メール着信音量：消去　アラーム音量：消去　ｉアプリ音量：消去 メモ確認音：ON　ボタン確認音：OFF　スピードセレクター音：OFF 通話中マイク感度：アップ　低電圧アラーム：OFF	100
			マナー起動時間設定・マナー解除時間設定：すべてOFF	99
		マチキャラおしゃべり設定	おしゃべり：ON おしゃべり出力先：スピーカー	383
			音量：レベル4	383
	照明・イルミネーション	照明設定	通常時：ON 点灯時間：10秒間　省電力移行時間：15秒	104
			充電時：通常時と同じ	104
			スライドクローズ動作時：5秒	104
			範囲：液晶＋ボタン	104
			明るさ：自動調整ON（レベル6）	104
		イルミネーション設定	着信イルミネーション 着信イルミネーション選択 本体色「Black」 電話・テレビ電話：D-Signal メール・メッセージR・メッセージF・ｉコンシェル：D-Rhythm 本体色「Pink Gold」「Pink」 電話・テレビ電話：B-Signal メール・メッセージR・メッセージF・ｉコンシェル：B-Rhythm パターン設定：固定パターン	110
			通話中イルミネーション：OFF	110
			不在未読イルミネーション 不在イルミネーション選択：Color 1　未読イルミネーション選択：Color 10 お知らせ設定：24時間後に消灯	110
			Music&Video Chイルミネーション：OFF	110
			スライドイルミネーション スライドオープン 本体色「Black」：Slide-04 本体色「Pink Gold」「Pink」：Slide-02 スライドクローズ 本体色「Black」：Slide-08 本体色「Pink Gold」「Pink」：Slide-06	110

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
本体設定	照明・イルミネーション	イルミネーション設定	時報イルミネーション:OFF	110
			ミュージックイルミネーション:ON	110
			スピードセレクターイルミネーション 本体色「Black」:Rotation-10 本体色「Pink Gold」「Pink」:Rotation-04	110
	文字表示/入力	フォント設定	フォント選択:フォント1	111
			太さ:太字	111
			文字サイズ:中	111
		文字入力機能	入力方式:かな方式	406
			予測機能(学習辞書):ON	408
		Select language	日本語	112
	時計	メイン時計設定	自動時刻時差補正:すべて自動	49
			サマータイム:OFF	49
		サブ時計設定	表示方法:自動(ローミング時自動表示)	49
			サマータイム:OFF	49
		待受時計表示	表示方法:日本語 表示サイズ 本体色「Black」「Pink Gold」:大きく表示 本体色「Pink」:上に小さく表示 文字色 本体色「Black」「Pink」:ホワイト 本体色「Pink Gold」:ブラック	112
		自動電源ON	OFF	387
		自動電源OFF	OFF	387
	ロック・セキュリティ	ロック	OFF	117 119
			オリジナルロック(高)・オリジナルロック(中)・オリジナルロック(低):初期状態	120
		キーロック	自動キーロック クローズロック設定:ON 無操作ロック設定:OFF	123
			端末暗証番号入力設定:OFF	124
		シークレットモード	解除	124
		シークレット専用モード	解除	124
		着信拒否設定	登録外着信拒否:許可 非通知設定・公衆電話・通知不可能:許可 着信音:通常着信音と同じ　　着信画面:通常着信画面と同じ	126
		端末暗証番号変更	0000	116

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
本体設定	ロック・セキュリティ	UIM(FOMA)カード設定	－	116
		スキャン機能	スキャン機能設定:すべてON	498
		閉じタイマーロック設定	ロック項目設定:すべてOFF	122
			開きロック解除設定:すべてOFF	123
		ICカードロック設定	「おサイフケータイ」→「ICカードロック設定」と同じ	469
	電池	ecoモード	OFF	105
		ecoモード設定	確認音・照明設定(液晶)・明るさ・イルミネーション:チェックあり	105
		ecoモード自動起動設定	ON 電池残量:40%　設定アシスト機能:OFF　お知らせアイコン:ON	106
		使用履歴	履歴なし	106
		電池残量	－	47
	外部接続	USBモード	通信モード	363
		イヤホンマイク	イヤホンマイク	402
		フェムトセル	フェムトセル利用設定:OFF	404
	その他設定	ダウンスライド設定	クイックミラー	22
		スピードセレクター設定	スピードセレクター:ON	25
			待受起動設定:すべてキーガイダンス表示	25
		モーションコントロール設定	すべてON	23
		カメラボタン設定	デジカメモード	395
		アラーム通知設定	通知優先	389
		セルフモード	解除	118
		設定リセット	－	130
		端末初期化	－	131
		ソフトウェア更新	自動更新設定:自動で更新 曜日:指定なし　時刻: 03:00	493
		端末エラー情報送信設定	ON	491
		クイック検索接続先設定	Google検索、Google画像検索、Googleニュース検索	188

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
地図／海外	地図		－	303
	ナビ		－	303
	イマドコサーチ	イマドコかんたんサーチ	－	305
		イマドコサーチ	－	305
	ｉエリア－周辺情報－		－	305
	GPSアプリ一覧		プリインストールｉアプリのみ	304
	現在地確認／通知	現在地確認	－	303
		現在地通知	－	306
	地図･GPS設定／履歴	位置履歴	履歴なし	306
		地図設定	地図起動時動作設定：測位して起動	309
		GPSボタン設定	地図を見る	309
		位置提供設定	位置提供OFF	310
		オートGPS	ドコモ提供サービス設定：利用しない	308
			オートGPS動作設定：ON 歩幅登録：60cm	307
			低電力時動作設定：停止する	308
		測位モード設定	すべて標準モード	309
		現在地通知先登録	未登録	311
		サービス利用設定	－	309
		サービス利用／接続先設定	契約時接続先	312
		イルミネーション／鳴動音設定	音量：すべてレベル4	312
			音選択：すべてキラキラ	312
			バイブレータ：すべてパターン1	312
			通知時間設定 現在地確認：OFF　現在地通知：ON（鳴動時間：5秒） 位置提供／許可･位置提供／毎回確認：ON（鳴動時間：20秒）	312
			イルミネーション選択 現在地確認：OFF　現在地通知･位置提供／許可･位置提供／毎回確認：色5	312
	海外ネットワークサーチ	ネットワークサーチ設定	オート	437
		優先ネットワーク設定	－	438
		オペレータ名表示設定	表示あり	438
		在圏状態表示	－	438
		再検索アイコン表示設定	表示する	438

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
地図／海外	海外設定	お問合せ(海外)	−	441
		サブ時計設定	「本体設定」→「時計」→「サブ時計設定」と同じ	466
		ローミング時着信規制	−	440
		ローミング着信通知	−	440
		ローミングガイダンス	−	439
		国際ダイヤルアシスト	自動変換機能:ON	64
			国番号:日本(81)	64
			国際プレフィックス:WORLD CALL(009130010)	64
		iモードサービス利用設定	MyFACE自動更新設定:自動更新しない	439
		メール／メッセージ利用設定	メール選択受信:OFF	439
		ネットワークサービス	−	440
	海外ご利用ガイド		−	434
iコンシェル			−	214
プロフィール			未登録(自局番号は除く)	395
おサイフケータイ	ICカード一覧		プリインストールiアプリのみ	292
	DCMX		−	281
	トルカ		データなし ユーザ作成フォルダ:なし	296
	ICカードロック設定	ICカードロック	OFF	294
		電源OFF時ICロック設定	直前の状態を保持	294
	設定	トルカ設定	ICカードから取得:許容する 重複チェック:行う	299
			自動読取設定:ON	299
			スクロール設定:1行スクロール	299
		放送トルカ取得設定	取得する	299
		ICカード通知設定	イルミネーション:ON	294
			バイブレータ:OFF	294
	ICカード利用状況		−	293
	ICオーナー確認		−	294
	ICオーナー変更		−	294
	iモードで探す		−	196
その他	文字入力		サブメニュー文字入力設定 自動カーソル移動:OFF	410
			学習履歴:履歴なし	412

シンプルメニュー機能一覧表

きせかえツールで「シンプルメニュー」に設定すると、メインメニューやメニュー画面に以下の機能が表示されます。

大項目	中項目／小項目		参照先
電話	電話帳検索		86
	電話帳登録		83
	伝言メモ／音声メモ	メモの再生／消去	73
		テレビ電話メモの再生／消去	73
		音声メモ録音	397
		伝言メモ設定	71
	発着信履歴	発信履歴	58
		着信履歴	58
	通話時間・料金		397
	声の宅配便	メッセージ確認・設定(サイト)	60
		メッセージ確認(音声)	60
		設定(音声)	60
	留守番電話サービス	留守番メッセージ再生	417
		留守番サービス開始	417
		留守番サービス停止	417
		留守番呼出時間設定	417
		留守番設定確認	417
		留守番サービス設定	417
		メッセージ問合せ	416
		件数増加鳴動設定	417
		表示消去	417
		留守番テレビ電話設定	417
	電話番号表示		50
メール	受信BOX		152
	送信BOX		153
	保存BOX		153
	新規メール作成		134
	メール／メッセージ問合せ		149
iモード	iメニュー		178
	Bookmark		190
	画面メモ		192
	サイト閲覧履歴		189

大項目	中項目／小項目		参照先
iモード	URL入力	URL入力	189
		URL入力履歴	189
	フルブラウザホーム		180
カメラ	写真をとる		220
	動画をとる		225
	写真を見る		335
	動画を見る		335
ワンセグ	ワンセグ視聴		244
	録画予約		251
	チャンネル設定		242
データBOX	写真・静止画		320
	動画		327
	音楽・メロディ	ミュージック	267
		メロディ	347
	ワンセグ	イメージ	320
		ビデオ	340
		しおり	341
	Music&Videoチャネル		260
	きせかえツール		349
	マチキャラ		346
	その他データ	コンテンツパッケージ	350
		マイドキュメント	375
		ドキュメントビューア	378
		キャラ電	343
		フォント	352
		SDその他ファイル	362
		全検索履歴	319

大項目	中項目／小項目		参照先
便利ツール	バーコードリーダー	コード読み取り	237
		保存データ一覧	238
	電卓		399
	アラーム		387
	赤外線受信	受信	370
		全件受信	371
	スケジュール		390
	メモ		394
	使いかたガイド		40
	クイックミラー		400
設定	画面	きせかえツール設定	108
		待受画面設定	101 112
		MyFACE設定	103
		カラーテーマ設定	107
		各種画面設定	102
		マチキャラ設定	109
		ソフトキー	107
		メニューテーマ	107
		ピクチャ表示設定	323
		表示アイコン説明	31
		表示アイコン設定	29
		ビューブラインド	105
		表示画質モード設定	107
		液晶AI	107
		メールテロップ表示設定	168
		インフォメーション表示設定	213
	着信音設定	着信音量(電話)	95
		着信音量(メール)	95
		着信音(電話)	94
		着信音(メール)	94

大項目	中項目／小項目		参照先
設定	セキュリティ	ロック	117 119
		キーロック	123
		シークレットモード	124
		シークレット専用モード	124
		着信拒否設定	126
		端末暗証番号変更	116
		UIM(FOMA)カード設定	116
		スキャン機能	497
		閉じタイマーロック設定	122
		ICカードロック設定	294
	日付時刻	メイン時計設定	49
		サブ時計設定	49
		待受時計表示	112
		自動電源ON	387
		自動電源OFF	387

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧(かな方式)

ボタン＼表示	漢	カナ	英	数
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ１	. / @ - : ~※1 ～※2 _ 1	1
2	かきくけこ	カキクケコ２	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ	サシスセソ３	d e f D E F 3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ４	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ５	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ６	m n o M N O 6	6
7	まみむめも	マミムメモ７	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ８	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ９	w x y z W X Y Z 9	9
0	わをんゎー	ワヲンヮ※2ー０	0	0
*	改行※3	改行※3	改行※3	*
#	、。？！・□(スペース)	、。？！・□(スペース)	, . ? ! ' - & ( ) ¥□(スペース)	#

※1 半角で文字を入力しているときに表示
※2 全角で文字を入力しているときに表示
※3 文字を入力したあとに*を押すと、大文字･小文字の切り替えや、濁点･半濁点の入力ができます。

- 文字を入力後、(通話キー)を押すと押すごとに逆順に文字が変わります。
- 数字入力モードで0を1秒以上押すと、「+」を入力できます。
- 英字入力モードで大文字を入力したあとに続けて入力すると、大文字→小文字の順で表示されます。また、機能によっては大文字→小文字の順で表示されます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（2タッチ方式）

全角入力モード

＜大文字入力モード＞

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ
2	か	き	く	け	こ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ
3	さ	し	す	せ	そ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
4	た	ち	つ	て	と	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ
5	な	に	ぬ	ね	の	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Ｚ	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃		♥	
9	ら	り	る	れ	ろ	１	２	３	４	５
0	わ	を	ん	゛	゜	６	７	８	９	０

＜小文字入力モード＞

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
2						ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ
3						ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
4			っ			ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ
5						ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
6						ｚ				
7										
8	ゃ		ゅ		ょ					
9										
0	ゎ			、	。					

半角入力モード

＜大文字入力モード＞

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		♥	
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

＜小文字入力モード＞

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ｬ		ｭ		ｮ					
9	@	/	-	_	:	.ne.jp	.co.jp	.ac.jp	@docomo.ne.jp	
0	~	'		,	.	www.	.com	.html	http://	https://

：大文字入力モード／小文字入力モードの切り替え

お知らせ

- 文字割り当てのない空白部分の入力操作をするとスペースが入力されます。
- 文字を入力したあとに(＊)を押すと、大文字･小文字の切り替えや、濁点･半濁点の入力ができます。

記号一覧表

文字入力(編集)画面で「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示されます。以下の読みを入力して変換しても記号を入力できます。

読み	記号
あっと あっとまーく	@
あんど	&
いこーる	＝
えん	￥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	()〔〕{}‘’“”「」『』【】〘〙＜＞≪≫
から	～
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	▲△▼▽
しかく	■□◆◇
しめ	〆
しゃせん	／＼
たす	＋
てん	・…
どう	〃ヽヾゝゞ々
ぱーせんと	％
はてな	？
ひく	－
ひしがた	◆◇
びっくり	！
ぷらす	＋
ぷらすまいなす	±
ほし	☆★
まいなす	－
まる	○◎●
むげん	∞
めす	♀
やじるし	↑→↓←
ゆうびん	〒
るーと	√
るん	♪
わる	÷

絵文字一覧表

以下の読みを入力して変換しても絵文字を入力できます。

絵文字	読み
	かお、わらう、わーい、うれしい、にこ
	かお、おこる、ちっ、いかり
	かお、こまる、がく、かなしい、らくたん、がくー、なき
	かお、こまる、もうやだ、かなしい、やだ、なき
	かお、しょっく、ふらふら、びっくり、なき
	かお、かんがえる、うーん、うーむ
	かお、ほっ
	かお、ひやあせ、あせ、にがわらい
	かお、ひやあせ、あせ
	かお、おこる、ぷっくっく、ふくれる、いかり、ぷー、むかつく、むか、むかっ
	かお、ぽけー、ぼー、ぼけー
	かお、はーと
	かお、あっかんべー、べー、あかんべー、あかんべ
	かお、うぃんく、ういんく
	かお、うれしい、わーい、きゃー、にこ、きゃあ
	かお、がまん、なき
	かお、ねこ、どうぶつ、にゃん、にゃんこ、にゃんにゃん
	かお、なく、なきがお、えーん、かなしい、なみだ、なき
	かお、なく、なみだ、かなしい、なき
	かお、おいしい、うまい、たべる
	かお、わらう、うっしっし、いひひ、うれしい、にやり、わらい、わら、にこ

絵文字	読み
	かお、さけび、げっそり、がーん、むんく、しょっく
	はーと、すき
	はーと、どきどき
	はーと、しょっく、しつれん
	はーと、すき
	やじるし、ぐっど、や、うえ、あげ
	やじるし、ばっど、おちこむ、だうん、や、した
!	えくすくらめーしょん、びっくり、おどろき
!?	えくすくらめーしょん、びっくり、おどろき
!!	えくすくらめーしょん、びっくり、おどろき
	おんぷ、るんるん
	おんぷ、わーい、むーど、るんるん
	きらきら、ぴかぴか、あたらしい、きら、ぴか、ほし
	ひらめき、でんきゅう、きら、ぴか
	て、じゃんけん、ぐー、からだ
	て、じゃんけん、ちょき、からだ、ぴーす
	て、じゃんけん、ぱー、じゃあね、ばいばい、からだ
	て、おーけー、おっけー、ぐー、ぐっど、らじゃー、からだ、おっけ
	て、ぱんち、ぐー、いかり、からだ
	いかり、おこる、むかっ、むか、おこり、むかつく
	しょうげき、どんっ、すいみん
	あせ、あせる、あせあせ、とびちる
	あせ、あせる、たらーっ、たらー、たらーん
	いそぐ、だっしゅ、にげろ、はしる、はしりだす、いそぐ

絵文字	読み
	のばす、ー、ぼうせん、なみ、ぼう、せん
	のばす、ー、ぼうせん、ぼう、せん
OK	おーけー、けってい、おっけー、おっけ
NG	えぬじー、だめ、ちぇっかー
	ばくだん、ばくはつ、いかり
zzz	おやすみ、ねる、ねむい、すいみん、ぐー
	め、みる、みて、からだ
	みみ、きく、からだ
	あし、あしあと、からだ
	てんき、はれ、たいよう、いいきぶん
	てんき、くもり、くも、もやもや
	てんき、あめ、かさ、ゆううつ
	てんき、ゆき、ゆきだるま
	てんき、かみなり、ぴか、むかつく
	てんき、たいふう、うずまき、まる、ぐるぐる、くるくる、ぐる、くる
	てんき、きり
	てんき、こさめ、かさ、あめ
	どうぶつ、いぬ、わん、わんわん、わんこ
	どうぶつ、ねこ、にゃんこ、にゃん、にゃんにゃん
	かたつむり、どうぶつ、でんでんむし
	どうぶつ、ひよこ、ぴよぴよ、ぴよ
	どうぶつ、ぺんぎん
	さかな、どうぶつ、たべもの
	どうぶつ、うま、けいば
	どうぶつ、ぶた、ぶー
	はしる、にげる、はしるひと、だっしゅ、ひと、いそぐ
	のりもの、じてんしゃ、ちゃり、すぽーつ
	のりもの、でんしゃ、いどう、ちかてつ
	のりもの、ちかてつ、めとろ
	のりもの、しんかんせん
	のりもの、くるま、せだん、いどう

絵文字	読み
	のりもの、くるま、あーるぶい、いどう
	のりもの、ばす、いどう
	のりもの、ふね、ぼーっ
	のりもの、ひこうき
	のりもの、よっと、りぞーと、ふね
	くりすます、つりー、き
	いえ、うち、たてもの
	びる、かいしゃ、たてもの
	ゆうびんきょく、ゆうびん
	びょういん
BK	ぎんこう、ばんく
ATM	えーてぃーえむ、ぎんこう、ばんく
H	ほてる
CVS	こんびに、こんびにえんす
GS	がそりんすたんど、がすすたんど、がす、じーえす、がそりん
	ちゅうしゃじょう、ぱーきんぐ、ぴー
	がっこう
	なみ、うみ、うぇーぶ
	ふじさん、やま
	しんごう、しんごうき
	おんせん、いいきぶん
	といれ、べんじょ
	しょくじ、ごはん、れすとらん、めし、たべる
	こーひー、のみもの、きっさてん、おちゃ、かっぷ、しょくじ、さてん、かふぇ
	かくてる、おさけ、ばー、ぐらす、かんぱい、しょくじ、さけ、のみもの
	びーる、おさけ、のみかい、じょっき、しょくじ、さけ、かんぱい、のみもの
	とっくり、にほんしゅ、おさけ、かんぱい、さけ、おちょこ、のみもの

絵文字	読み
	わいんぐらす、おさけ、ぐらす、かんぱい、さけ、わいん、のみもの
	おにぎり、たべもの、おむすび、ごはん
	ぱん、しょくぱん、たべもの、しょくじ、ごはん
	はんばーがー、ふぁーすとふーど、たべもの、ばーがー、しょくじ
	どんぶり、ごはん、たべもの、らーめん、しょくじ
	ゆのみ、おちゃ、まったり、ちゃ、のみもの
	けーき、しょーとけーき、たべもの、すいーつ
	ぷれぜんと、たんじょうび、おめでとう
	きゃんどる、たんじょうび、ばーすでー、ろうそく、おめでとう
	かばん、ばっぐ、おでかけ、かいもの、ばっく
	りぼん、ちょうねくたい、おしゃれ
	くだもの、さくらんぼ、ちぇりー、はな、ふるーつ
	くだもの、ばなな、たべもの、ふるーつ
	くだもの、りんご、あっぷる、たべもの、ふるーつ
	はな、ちゅーりっぷ
	わかば、め、は、はっぱ
	くろーばー、よつば、はな
	もみじ、は
	はな、さくら
	はな、かわいい
	きす、くちびる、きすまーく、ちゅっ、ちゅう、ちゅー
	はいひーる、ぶてぃっく、くつ、ふく、おしゃれ
	びよういん、とこや、はさみ、さろん

絵文字	読み
	からおけ、まいく、うた
	えいが、むーびー、びでお
	かちんこ、さつえい、かっと、かんとく
	うま、ゆうえんち、もくば
	おんがく、へっどほん、きく、へっどふぉん
	え、あーと、ぱれっと、かいが
	えんげき、しばい
	いべんと
	ちけっと、きっぷ
	すぽーつ、ゆにふぉーむ、しゃつ、らんにんぐ、ふく、えぷろん
	すぽーつ、やきゅう、ぼーる
	すぽーつ、ごるふ、くらぶ
	すぽーつ、てにす、らけっと
	すぽーつ、さっかー、ぼーる
	すぽーつ、すきー、そり
	すぽーつ、ばすけっとぼーる、ばすけ、ばすけっと、かれし
	すぽーつ、えふわん、もーたーすぽーつ、ごーる、はた、ふらっぐ、しゅうごう
	すぽーつ、すのーぼーど、すのぼ、さーふぃん
	たばこ、きつえん
	たばこ、きんえん
	かめら、でじかめ、いちがんれふ、しゃしん
	てれび
	ぱそこん、ぴーしー
	げーむ、こんとろーら、こんとろーらー
	しーでぃー、でぃーぶいでぃー
	れんち、すぱな、せってい、しゅうり、こうぐ
	えんぴつ、めも、ぺん

絵文字	読み
	ほん
	くりっぷ、てんぷ
	べる、ちゃぺる、けっこん、かね
	おうかん、かんむり、おう
	ゆびわ、あくせさりー、りんぐ、おしゃれ
	すなどけい、とけい、じかん
	うでどけい、とけい、じかん
	さいふ、おかね、がまぐち、かね
	どる、おかね、どるぶくろ、かね
	けしょう、くちべに、おしゃれ、るーじゅ、こすめ
	めがね
	しゃつ、てぃーしゃつ、ふく
	じーぱん、じーんず、ふく、ずぼん
	くつ、しゅーず、すにーかー、ふく
	どあ、とびら
	いす、すわる
	くるまいす
	おひつじざ、せいざ
	おうしざ、せいざ
	ふたござ、せいざ
	かにざ、せいざ
	ししざ、せいざ、がっかり
	おとめざ、せいざ
	てんびんざ、せいざ
	さそりざ、せいざ
	いてざ、せいざ
	やぎざ、せいざ
	みずがめざ、せいざ
	うおざ、せいざ
	でんわ
	けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ

絵文字	読み
✉	めーる、てがみ、あどれす、めーるする
	てがみ、めーる、らぶれたー、らぶめーる
	めも
	でんわ、ちゃくしん、はっしん、けいたいでんわ、でんわばんごう、でんわする、けいたい
	めーる、あどれす、めーるする
FAX	ふぁっくす
	ぽけべる、ぽけっとべる、べる
	じかん、とけい
	よる、しんや、つき、おやすみ
●	つき、しんげつ、まる、よる
	つき、ややかけつき、よる、にっしょく
	つき、はんげつ、はんつき、よる
	つき、みかづき、よる
○	つき、まんげつ、まる
	ふくろ、つぼ
	ぺん、めも
	ひとかげ、すたんぷ
	あいもーど、あい
	あいもーど、あい
	あいあぷり、あぷり
	あいあぷり、あぷり
	でぃー、どこもていきょう、どこも
	どこもぽいんと、ぽいんと、でぃー、どこも
↔	やじるし、さゆう、や
↕	やじるし、じょうげ、や
↗	やじるし、みぎうえ、みぎななめうえ、うえ、や、ななめ
↘	やじるし、みぎした、みぎななめした、した、ななめ、や
↖	やじるし、ひだりうえ、ひだりななめうえ、うえ、ななめ、や
↙	やじるし、ひだりした、ひだりななめした、した、ななめ、や
♥	とらんぷ、はーと
♠	とらんぷ、すぺーど
◆	とらんぷ、だいや
♣	とらんぷ、くらぶ
¥	ねだん、りょうきん、ゆうりょう、えん、かね、おかね
FREE	ふりー、むりょう、ただ
ID	あいでぃー
	かぎ、ぱすわーど、ろっく
↵	かいぎょう、つぎ、りたーん、じこうあり
CL	さくじょ、くりあ
NEW	にゅー、にゅう、あたらしい
秘	ひみつ、まるひ、ひ
禁	きんし、げんきん、きん
空	くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、くう
合	ごうかく、ごう
満	まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まん
	さがす、しらべる、さーち、むしめがね
	はた、いちじょうほう、いち、ふらっぐ
	りさいくる、くりかえし、りぴーす、りたーん
⚠	けいこく、きけん、びっくり、ちゅうい
	ふりーだいやる、ふりーだいある
#	しゃーぷ、しゃーぷだいやる
	もばきゅー、もばきゅう
©	こぴーらいと、こぴー、しー
®	れじすたーどとれーどまーく、あーる、とうろくしょうひょう、れじすとれっど
™	とれーどまーく
1	ばんごう、いち、すうじ、かず
2	ばんごう、に、すうじ、かず
3	ばんごう、さん、すうじ、かず
4	ばんごう、よん、し、すうじ、かず
5	ばんごう、ご、すうじ、かず
6	ばんごう、ろく、すうじ、かず
7	ばんごう、しち、なな、すうじ、かず
8	ばんごう、はち、すうじ、かず
9	ばんごう、きゅう、く、すうじ、かず
0	ばんごう、ぜろ、れい、すうじ、かず
SOON	すーん、すぐ、はやく
ON!	おん
end	おわり、えんど

お知らせ

- 絵文字はすべて全角文字でカウントされます。
- 絵文字は、i モード対応端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されません。また、i モード対応端末であっても、機種によっては正しく表示されないことがあります。

マルチアクセスの組み合わせ

同時に通信可能／不可能な機能の主な組み合わせは下記のとおりです。

新たに実行・発生した通信／現在の通信状態	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール		SMS※1		データ通信（パケット通信）		データ通信（64Kデータ通信）	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信	送信	受信	送信	受信	送信	受信
音声電話中	△※2	△※3	×	×※4	○	○	△※5	○	△※5	○	△※5	×	×※4
テレビ電話中	×	×※4	×	×※4	×	×	×	×	△※5	×	×	×	×※4
iモード中※6	○	○	△※7	△※8	△	○	○	○	○	×	×	×	×
データ通信中（パケット通信）	○	○	×	×※9	×	×	×	○	○	×	×	×	×
データ通信中（64Kデータ通信）	×	×※4	×	×※4	×	×	×	○	○	×	×	×	×※4

○：同時に通信できます。
△：条件により同時に通信できます。
×：同時に通信または実行できません。現在の通信状態を継続します。（新たに発生した通信は拒否されます。）
※1 iコンシェルのインフォメーション、iアプリコールを含みます。
※2 キャッチホンを契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信できます。
※3 最大音声回線数＋1の状態のとき、留守番電話、キャッチホン、転送でんわを起動できます。（P.416、P.418、P.419参照）
※4 キャッチホン、留守番電話サービス、転送でんわサービスを契約されている場合、通話／通信を終了したあと、着信に応答できます。（P.423参照）
※5 画面に「 」「 」「 」などを表示して受信をお知らせします。
※6 フルブラウザ、iチャネル、iコンシェル、データ放送サイトなどでの通信を含みます。
※7 iモード接続を切断し、発信します。
※8 「パケット通信中着信設定」に従って動作します。
※9 不在着信として着信履歴に残ります。

オプション・関連機器

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック P23
・リアカバー P55
・卓上ホルダ P49
・FOMA ACアダプタ 01/02※1
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1
・FOMA DCアダプタ 01/02
・FOMA 補助充電アダプタ 01/02/03
・FOMA乾電池アダプタ 01
・FOMA ecoソーラーパネル 01
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※2
・FOMA USB接続ケーブル※2
・FOMA室内用補助アンテナ※3
・FOMA室内用補助アンテナ(スタンドタイプ)※3
・キャリングケースL 01
・キャリングケース 02
・車内ホルダ 01※4
・イヤホンマイク 01
・ステレオイヤホンマイク 01
・スイッチ付イヤホンマイク P001/P002※5
・平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02※6
・平型ステレオイヤホンセット P01※6
・イヤホンジャック変換アダプタ P001※6
・外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
・イヤホン変換アダプタ 01
・平型コネクタ・ステレオミニジャック変換アダプタ P01※6
・骨伝導レシーバマイク 01※6
・車載ハンズフリーキット 01※7
・FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01

※1 ACアダプタでの充電方法についてはP.44、P.45、P.46参照。
※2 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※3 日本国内で使用してください。
※4 FOMA端末の外部接続端子などが車内ホルダにあたる場合は、FOMA端末か車内ホルダの向きを変えて取り付けてください。
※5 イヤホンジャック変換アダプタ P001と外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※6 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※7 P-03Dを利用／充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。

動画再生ソフトのご紹介

Apple Inc.のQuickTimePlayer(無料)ver.6.4以上(またはver.6.3+3GPP)を使用すると、パソコンで動画(MP4形式のファイル)を再生できます。
QuickTimeは下記のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

お知らせ

● ダウンロードするにはインターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては、別途通信料がかかります。
● 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページを参照してください。

AV機器とのリンク

他の機器からmicroSDカードに保存したASF形式の動画をFOMA端末で再生できる場合があります。FOMA端末で録画した動画を他の機器で再生できる場合もあります。対応AV機器とのリンクに関する情報はこちらをご覧ください。
http://panasonic.jp/mobile/

対応AV機器とのリンクに関するお問い合わせ先

■パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社　お客様ご相談センター
一般電話からは 0120-15-8729
携帯電話・PHSからは　045-938-4023
受付時間　午前9:00～午後5:00(土・日・祝日・所定の休日は除く)
● 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障かな？と思ったら

- **まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。ソフトウェア更新についてはP.492参照。**
- **気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。**

電源

FOMA端末の電源が入らない

…電池パックが正しく取り付けられていますか。(P.43参照)
…電池切れになっていませんか。(P.44参照)

充電

充電ができない
(着信／充電ランプが点灯しない、または点滅する)

…電池パックが正しく取り付けられていますか。(P.43参照)
…アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
…アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。(P.46参照)
…ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。(P.45、P.46参照)
…卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れているときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
…充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して着信／充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(P.44参照)

端末操作

操作中・充電中に熱くなる

…操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

電池の使用時間が短い

…圏外の状態で長時間放置するようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態になるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。(P.47参照)
…電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。(P.44参照)
…電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。(P.44参照)

電源断・再起動が起きる

…電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れているときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

ボタンを押しても動作しない

…ダイヤルロックを設定していませんか。(P.117参照)
…キーロックを設定していませんか。(P.123参照)

ボタンを押したときの画面の反応が遅い

…FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

ドコモminiUIMカードが認識されない

…ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。(P.41参照)

時計がずれる

…長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。メイン時計設定の「自動時刻時差補正」や時差の補正方法が「自動」に設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。(P.49参照)

通話

ダイヤルボタンを押しても発信できない

…指定発信制限を設定していませんか。(P.126参照)
…オリジナルロックで「ダイヤル発信」をロックしていませんか。(P.119参照)
…ダイヤルロックを設定していませんか。(P.117参照)
…セルフモードを設定していませんか。(P.118参照)

着信音が鳴らない

…着信音量を「消去」にしていませんか。(P.95参照)
…公共モード、マナーモード、セルフモードを設定していませんか。(P.70、P.98、P.118参照)
…指定着信拒否、指定着信許可、着信拒否設定、呼出時間表示設定を設定していませんか。(P.126、P.127参照)
…留守番電話サービス、転送でんわサービス、伝言メモ設定のいずれかの呼出時間を0秒にしていませんか。(P.71、P.417、P.420参照)

通話ができない
（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）
…電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを入れ直してください。（P.41、P.43、P.47参照）
…電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は「 」を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
…指定着信拒否、指定着信許可など着信制限を設定していませんか。（P.126参照）
…電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

画面

ディスプレイが暗い
…照明設定の明るさを変更していませんか。「自動調整ON」に設定している場合は周囲の明るさによって変わります。（P.104参照）
…省電力モードになっていませんか。（P.104参照）
…ecoモードまたはecoモード自動起動設定を設定していませんか。（P.105参照）
…ワンセグecoモードを設定していませんか。（P.255参照）
…ビューブラインドが「ON」になっていませんか。（P.105参照）

音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
…受話音量を変更していませんか。（P.69参照）
…しっかりトーク、ゆったりトークの設定を変更すると、相手の声が聞き取りやすくなります。（P.65、P.66参照）

メール

メールを自動で受信しない
…メール設定のメール選択受信設定を「ON」に設定していませんか。（P.148参照）

添付ファイルが削除されて画像を見ることができない
…添付ファイル優先受信設定を確認してください。（P.166参照）
…メールサイズ制限の設定を確認してください。詳しくは「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

ｉモード

ｉモード、ｉモードメール、ｉアプリ、ｉチャネル、ｉコンシェルに接続できない
…接続先設定を「ｉモード」以外に設定していませんか。（P.202参照）
…ｉモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。（P.47参照）

ｉモードマークが点滅したまま消えない
…メール／メッセージ問合せ・メール送受信などのあとや途中でｉモード接続が途切れたときは、ｉモードマークは点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、 を押せばすぐに終了できます。

カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
…近くの被写体を撮影するときは、フォーカスモードを「マクロ」に設定してください。（P.230、P.231参照）
…人物を撮影するときは、フォーカスモードを「顔認識」に設定してください。（P.230、P.231参照）
…手ブレ補正を「オート」に設定して撮影してください。（P.230参照）
…カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。（P.216参照）

ワンセグ

ワンセグの視聴ができない
…地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。（P.240参照）
…チャンネル設定をしていますか。（P.242参照）

おサイフケータイ

おサイフケータイ対応ｉアプリが削除できない
…ICカード内データを削除しないと、削除できないｉアプリがあります。ICカード内データを削除してからｉアプリを削除してください。削除できない場合、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。なお、「iD 設定アプリ」は削除できません。

おサイフケータイが使えない
…電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。（P.43、P.117参照）
…ICカードロックを起動していませんか。（P.294参照）
…FOMA端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。（P.293参照）

海外利用

海外でFOMA端末が使えない

■アンテナマークが表示されている場合

…WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

■「圏外」が表示されている場合

…国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。

…ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。ネットワークサーチ設定を「オート」に設定してください。(P.437参照)

…FOMA端末の電源を「OFF」にしたあと、再び「ON」にすることで回復することがあります。(P.47参照)

海外で利用中に、突然FOMA端末が使えなくなった

…利用停止目安額を超えていませんか。
「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を清算してください。

海外で電話がかかってこない

…ローミング時着信規制を「開始」に設定していませんか。(P.440参照)

…パケット通信中着信設定を「テレビ電話優先」以外に設定していませんか。(P.78参照)

相手の電話番号が通知されない

相手の電話番号とは違う番号が通知される

電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

…相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。

データ管理

データ転送が行われない

…USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない

…microSDチェックディスクを行ってください。(P.362参照)

データ表示

各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する

…画像やメロディなどの取得時に挿入していたドコモminiUIMカードが挿入されていますか。(P.42参照)

画像表示しようとすると「×」が表示される、またはデモやプレビューで「×」が表示される

…画像データが壊れている場合は「×」が表示される場合があります。

地図・GPS機能

オートGPSサービス情報が設定できない

…電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。
「低電力時動作設定」により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。(P.44、P.308参照)

…オートGPS動作設定が「OFF」になっていませんか。(P.307参照)

…オートGPS機能が動作しない状態になっていませんか。(P.307参照)

こんな表示が出たら

- エラーメッセージの中の「(数字)」は、i モードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

ア

一部移動できませんでした
…選択したファイルに移動できないファイルが含まれていたため、一部移動できませんでした。

一部コピーできませんでした
…選択したファイルにコピーできないファイルが含まれていたため、一部コピーできませんでした。

一部保存できませんでした
…選択したファイルにFOMA端末またはmicroSDカードにコピーできないファイルが含まれていたため、一部保存できませんでした。

移動しようとしたページは未取得のため移動できません
…PDFデータにリンクが設定されていて、そのリンク先がダウンロードされていないため表示できませんでした。

今いる場所の確認に失敗しました
…現在地の確認または位置提供に失敗しました。電波の強い場所で再度操作してください。

応答がありませんでした(408)
…サイトやインターネットホームページからの応答がないため接続できませんでした。再度操作してください。

オリジナルロック設定中です
…オリジナルロックが設定されています。オリジナルロックを解除してから再度操作してください。(P.119参照)

オリジナルロック中です
内蔵代替画像を送信します
…オリジナルロックが設定されているときは「内蔵」の代替画像が送信されます。

カ

書換え失敗しました
Rewrite failed
…ソフトウェア更新に失敗しました。ドコモ指定の故障取扱窓口にお問い合わせください。

画像が登録できなかった電話帳があります
…画像がいっぱいになったため一部の電話帳の画像が登録できませんでした。

画像表示設定が表示しないになっています
…画像表示設定が「表示しない」に設定されているため画像を取得できません。設定を「表示する」にしてから再度操作してください。(P.199参照)

圏外です
…電波が届いていません。電波の強い場所で再度操作してください。

現在お使いのUIM(FOMA)カードがICオーナーではないため移動できません

現在お使いのUIM(FOMA)カードがICオーナーではないため起動できません

現在お使いのUIM(FOMA)カードがICオーナーではないため削除できません

現在お使いのUIM(FOMA)カードがICオーナーではないためダウンロードできません

現在お使いのUIM(FOMA)カードがICオーナーではないためバージョンアップできません
…ICカードに対応付けしたドコモminiUIMカードとは異なるドコモminiUIMカードが挿入されているため移動、起動、削除またはダウンロード、バージョンアップできません。ICカードに対応付けしたドコモminiUIMカードを挿入してから再度操作してください。(P.42参照)

限定視聴のため視聴できません
…限定受信放送のため視聴できません。

このカードでは無効な機能です
…挿入されているSIMカードでは操作できない機能です。

このカードは使用できません
…ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていないか、使用できないカードが挿入されています。なお、本FOMA端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。(P.42参照)
…P-03Dでは使用できないメモリーカードです。P-03Dに対応したmicroSDカードをご利用ください。(P.352参照)

このカードは認識できません
再起動します
…ドコモminiUIMカードを正しく認識できなかったため再起動します。

この画像は保存できません
…正常に表示できなかった画像のため保存できません。また、正常に表示された場合でも、ファイルの形式によっては保存できない場合があります。

この機能は利用できません
…挿入されているSIMカードでは操作できない機能です。
…機能が対応していないか、現在の設定では操作できない機能です。

このサイトとのSSL/TLS通信は無効です
…改ざんされたSSL/TLS証明書を受信したため接続できませんでした。

このソフトは現在利用できません
…使用期限が過ぎたかサーバ側から使用停止状態に設定されているため起動できません。

このソフトは最新です
…目的のソフトが更新されていないため実行できません。

このデータはダウンロードできません
…データが不正なためダウンロードできません。
…すでに最大保存件数まで保存しているか、メモリの空きが不足しているため番組をダウンロードできません。

このメールは再送信できません
再編集して送信してください
…宛先が不正であったり、メール本文が入力可能なサイズを超えているため再送信できません。再編集してから送信してください。(P.159参照)

これ以上機能を起動できません
…マルチタスクで使用できる最大数の機能が起動しています。使っていない機能を終了してから再度操作してください。(P.387参照)

サ

再生可能日前です
再生できません
…再生可能日前のためファイルを再生できません。

最大サイズを超えたので中断しました
…データ量が最大サイズを超えたので正常にダウンロードできませんでした。

最大サイズを超えています
受信できません(452)
…最大サイズを超えるデータを受信しようとしたため、受信できませんでした。

最大サイズを超えているためダウンロードできません
…最大サイズを超えるPDFデータをダウンロードしようとしたため、ダウンロードできませんでした。

サイトに接続できませんでした(403)
…サイトやインターネットホームページに接続できません。

削除される挿入画像があります
…FOMA端末外への出力が禁止されている画像がメール本文に貼り付けられているため削除されました。

削除される添付ファイルがあります
…FOMA端末外への出力が禁止されているファイルがメールに添付されているため削除されました。

作成可能サイズを超えるため一部削除されます
…宛先･題名･本文のいずれか(または複数)が入力可能文字数を超えていたため、一部削除されました。

シークレットデータのため呼び出せません
…シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えていないため呼び出せません。シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えてから操作してください。(P.124参照)

システムを再起動しました
System is restarted
…エラーが発生したため再起動しました。

システムを再起動しました
System is restarted
電源ON時の電池の抜き差しや電池の金属部分の汚れは再起動の原因となります
金属部分は定期的な清掃をお勧めします
…電源を入れたままでの電池パックの付け直しや、電池パックの金属部分の汚れにより、接触が悪くなったため再起動しました。電池パックの金属部分が汚れているときは、乾いた綿棒などで拭いてください。

システムを再起動しました
System is restarted
ドコモUIMカード(FOMAカード)の金属部分の汚れは再起動の原因となります
金属部分は定期的な清掃をお勧めします
…ドコモminiUIMカードの金属部分の汚れにより、接触が悪くなったため再起動しました。ドコモminiUIMカードの金属部分を乾いた綿棒などで拭いてください。

指定サイトがみつかりません(404)
…サイトやインターネットホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLを確認してから再度操作してください。(P.189参照)

指定したサイトへは接続できませんでした(504)
…サーバからの応答がなかったため接続できません。

自動時刻時差補正情報を受信していないため再生できません

…自動時刻時差補正情報を受信していないため、再生期間･再生期限付きのファイルを再生できませんでした。

**自動変換機能設定中
削除できません**

**自動変換機能設定中
全削除できません**

…自動変換機能で設定されている国番号や国際電話アクセス番号は削除できません。設定を変更／解除してから再度操作してください。(P.64参照)

しばらくお待ちください

…音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

**しばらくお待ちください
(パケット)**

…パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

しばらくたってから操作してください

…現在、起動できない状態になっています。しばらくしてから再度操作してください。

受信可能なチャンネルがサーチできませんでした

…現在その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。

**すでに他の機能が起動中です
起動できません**

**すでに他の機能が起動中です
設定できません**

…マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。(P.387参照)

すべて保護のため削除できません

…すべて保護されているため削除できません。保護を解除してから再度操作してください。(P.159、P.170参照)

赤外線送信できませんでした

…エラーが発生したため赤外線送信ができませんでした。

セキュリティエラーのため終了しました

セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました

…ｉアプリDXが強制終了しました。(P.279参照)

接続先が対応していません

…接続先設定で設定した接続先アドレスが対応していないため操作できません。設定を確認してから再度操作してください。(P.202参照)

…ユーザ証明書を操作中のため接続できません。ユーザ証明書の操作を終了してから再度操作してください。

接続できませんでした

…ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。

接続できませんでした(562)

…ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。

設定値が範囲外です

…通話料金通知の上限料金は10～100000円の間で設定してください。(P.398参照)

**前回のソフトウェア更新は正しく終了されませんでした
ソフトウェア更新を最初から実行してください**

…ソフトウェア更新中にFOMA端末の電源が切られました。再度ソフトウェア更新を行ってください。(P.492参照)

選局情報がありません

…チャンネル情報が取得できないためお勧めメールを作成できません。

選択できません

…「ｉモーション切り出し」で終点を選択する際に、始点より前または始点と同位置を選択したため選択できませんでした。もう一度始点から選択し直してください。(P.334参照)

操作内容をご確認ください

…エラーが発生したため操作できませんでした。

送信できない宛先があります

送信できなかった宛先があります(561)

…いくつかの宛先が正しくありません。宛先を正しく入力してから送信してください。(P.134参照)

送信できませんでした

送信できませんでした(552)

送信できませんでした(XXX)

…メールが正しく送信できませんでした。XXXには3桁の数字が表示されます。

**送信できませんでした
宛先を確認してください(451)**

…メールが正しく送信できませんでした。宛先を確認してから再度操作してください。(P.134参照)

送信に失敗しました

…現在地通知中に圏外になるなどで、現在地の通知に失敗しました。電波の強い場所で再度操作してください。

送信不可のファイルが添付されているため再送信できません
…メールにFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているため、再送信できませんでした。

挿入画像が削除されます
…FOMA端末外への出力が禁止されている画像がメール本文に貼り付けられているため削除されました。

ソフトに誤りがあります

ソフトに誤りがあるためダウンロードできません
…ソフトのデータが不正なためダウンロードやバージョンアップができません。

ソフトを起動しICカード内データを削除後ソフトを削除してください
…ICカード内にデータが残っているためおサイフケータイ対応ｉアプリを削除できません。おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して登録データを削除してから再度操作してください。

タ

対応機種ではありません
…ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトがFOMA端末に対応していません。

対応ソフトがあるため削除できません
…対応するメール連動型ｉアプリがあるため削除できません。

対応ソフトが削除されています
フォルダ内表示を参照してください
…対応するメール連動型ｉアプリが削除されています。

タイトル変更できません
…タイトルを編集することによって保存可能サイズを超えてしまったため変更できませんでした。

ダウンロードできませんでした

ダウンロードできませんでした
更新を中止します
…他の機能が起動中、またはエラーが発生したためダウンロードができませんでした。

ただいまｉモードメールが混みあっています
しばらくお待ち下さい(553)
…回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

チャンネルは見つかりませんでした
…現在その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。

データが不足しているため起動できません
…起動しようとしたｉアプリが部分データしか保存されていないため起動できませんでした。ｉアプリをすべてダウンロードしてから再度操作してください。(P.276参照)

添付ファイルが削除されます
…FOMA端末外への出力が禁止されているファイルがメールに添付されているため削除されました。

電話帳がいっぱいです
…FOMA端末内の電話帳がいっぱいになったため受信できませんでした。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。(P.90参照)

登録外着信拒否設定中です
…着信拒否設定の「登録外着信拒否」が「拒否」に設定されています。設定を「許可」にしてから再度操作してください。(P.126参照)

ナ

入力形式が正しくありません
…入力したUSSDが間違っています。正しいUSSDを入力してください。(P.432参照)

入力データまたはURLが長すぎます
…入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから再度送信してください。(P.185参照)

入力データをご確認ください(205)
…入力内容が間違っています。入力内容を確認してから再度操作してください。

認証タイプに未対応です(401)
…対応していない認証タイプのため接続できません。

認証できませんでした
…認証エラーが発生しました。

ネットワークを見つけられません
…指定したネットワークに接続できません。ただし、その後アンテナマークが表示されればネットワークに接続できています。

残りのデータを取得できません
データを削除しました
…部分的に保存したファイルの残りのデータをダウンロードする際に、エラーが発生してダウンロードできないため、データが削除されました。

ハ

バージョンアップできません

バージョンアップできませんでした
…エラーが発生したためバージョンアップができませんでした。

発信／着信機能オリジナルロック設定中です
…オリジナルロックで「ダイヤル発信」がロックされています。ロックを解除してから再度操作してください。(P.119参照)

発信できません
…エラーが発生したため発信できませんでした。

番組更新中です
…Music&Videoチャネルの番組更新中のため、ダウンロードまたは再生ができません。しばらくたってから再度操作してください。

ファイル名変更できません
…ファイル名が入力されていないため変更できません。ファイル名を入力してから再度操作してください。(P.322参照)

フォーマットエラーです
正しいフォーマットのカードを挿入してください
…P-03D未対応フォーマットのmicroSDカードです。P-03Dでフォーマットしてください。(P.362参照)

振分け条件がいっぱいのため登録できません
…すでに最大件数設定されています。不要な設定を解除してから再度操作してください。(P.165参照)

ページ番号が不正です
…入力されたページ番号は無効です。正しいページ番号を入力して再度操作してください。(P.376参照)

編集中のため削除できません
…他の機能で使用しているため削除できません。他の機能を終了してから再度操作してください。(P.387参照)

他の機能が起動中のため起動できません
…マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。(P.387参照)

保護のため削除できません
…保護されているデータのため削除できませんでした。保護を解除してから再度操作してください。(P.159、P.170参照)

保存可能サイズを超えているため設定できません
…「ファイル制限」を設定することによって保存可能サイズを超えてしまったため設定できませんでした。

保存期限が過ぎたためファイルを受信できません(492)
…未取得の添付ファイルがｉモードセンターの保存期間を過ぎているため取得できませんでした。

マ

無効なデータです
…ムービーを再生する際にデータが以下のような場合、再生できません。
- Windows Media以外のデータ、またはファイルの中身が不正なデータの場合
- 画像サイズが800ドット×480ドットより大きい、または画像ビットレートが2Mbpsより大きい、または音声ビットレートが384kbpsより大きいデータの場合
- 保存可能なデータをダウンロードする際にサーバから不明な応答があった場合
- 対応していないストリーミングサーバであった場合(FOMA端末で対応するストリーミングサーバはWindows Media Services 4.1、Windows Media Services 9のみ)

無効なデータを受信しました

無効なデータを受信しました(XXX)
…受信したデータにエラーがあるため表示または保存できません。受信したデータは破棄されます。
XXXには3桁の数字が表示されます。

メールフォルダ利用中のため起動できません

メールフォルダ利用中のため削除できません

メールフォルダ利用中のためダウンロードできません
…対応するソフトが使用中です。ソフトを終了してから再度操作してください。(P.278参照)

メール／メッセージ問合せがすべて無効に設定されています
…メール／メッセージ問合せ設定の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。(P.166参照)

メモがいっぱいです
…FOMA端末内のメモがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なメモを削除してから再度操作してください。(P.395参照)

メモリ機能動作中
設定できません
…microSDカードが使用中のため設定できません。

メモリ番号:XXX
書き換えできません
…シークレット登録した電話帳のメモリ番号と同じメモリ番号のため登録できません。違うメモリ番号に登録してください。
XXXには3桁の数字が表示されます。(P.84参照)

メモリ不足です
更新を中止します
…ソフトウェア更新に失敗しました。ドコモ指定の故障取扱窓口にお問い合わせください。

メモリ不足です
チャンネルのトップページに戻ります

メモリ不足です
フォルダ一覧に戻ります

メモリ不足です
ページを表示できません
…メモリが不足したため処理の継続ができませんでした。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。(P.47参照)

メモリ不足のため表示できません
…メモリが不足したため処理の継続ができませんでした。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。(P.47参照)

メロディが設定されていません
…プログラム編集がされていない状態でプログラムを再生しようとしたときに表示します。プログラムを編集後、プログラム再生してください。(P.367参照)

ヤ

容量不足です
…保存容量がいっぱいのため操作できません。

読み込みできませんでした
…microSDカードの情報読み込み中にエラーが発生しました。

予約起動できませんでした
…ソフトウェア更新が正常に完了していない可能性がありますので、ドコモ指定の故障取扱窓口にお問い合わせください。

ラ

ライセンス取得できませんでした
…ムービーのライセンス情報の取得ができなかったため再生できません。

利用可能なピクチャがありません
…サイズに合ったフレームがありません。

録画準備中です
録画できません
…録画終了直後は録画できません。しばらくしてから再度操作してください。

英数字

ACMmax規制中です
発信できません
…積算通話料金が上限を超えました。積算通話料金をリセットしてください。(P.398参照)

BOXロック設定中のためダウンロードできません
…BOXロック設定中のためダウンロードできません。BOXロックを解除してから再度操作してください。(P.125参照)

ｉアプリ To 設定されていません
…「ｉアプリ To 設定」でチェックが付いていないためｉアプリを起動できません。チェックを付けてから再度操作してください。(P.279参照)

ｉモードセンターが混み合っています
しばらくお待ちください(555)
…回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

ICカード機能停止中のためダウンロードできません
…ICカードロック中のためダウンロードやバージョンアップができませんでした。ICカードロックを解除してから再度操作してください。(P.294参照)

ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません
いずれかのサービスを削除しますか？
…おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ICカード内データの容量が足りない場合に表示されます。
「YES」を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイのサービス名が表示されますので、サービスを選択し、削除してください。

ICカードロック設定中です
…ICカードロックが設定されています。ICカードロックを解除してから再度操作してください。(P.294参照)

microSDに書き込み保護がかけられています
…microSDカードがライトプロテクトされているため書き込みできません。外部機器などでmicroSDカードのライトプロテクトを解除してから再度操作してください。

microSDの交換またはチェックディスクをおすすめします
…microSDカードのフォーマットが異常です。microSDカードをチェックディスクしてください。(P.362参照)

PIN1がロックされました
PINロック解除コードを入力してください
…PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。(P.116参照)

PIN1コードが違います
…入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを入力してください。(P.115参照)

PIN1コードが認識できませんでした

PIN1コードがロックされています
…PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。(P.116参照)

PINロック解除コードが認識できませんでした

PINロック解除コードがロックされています

PINロック解除コードがロックされました
…PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

SMSセンターを設定してください
…センター設定でSMSセンターが正しく設定されていません。センター設定を設定してから再度操作してください。(P.175参照)

SSL/TLS通信が切断されました

…改ざんされたSSL/TLS証明書を受信したか、SSL/TLSエラーが発生したため接続できませんでした。

SSL/TLS通信が無効です

…サーバの認証エラーのため接続できません。

SSL/TLS通信が無効に設定されています

…証明書設定でそのサーバのSSL/TLS証明書が無効に設定されています。有効に設定してから再度操作してください。(P.204参照)

Toの宛先を設定してください

…「To」に宛先が入力されていません。「To」に宛先を入力してから再度操作してください。(P.134、P.135参照)

UIM(FOMA)カードが異なるため起動できませんでした

…ドコモminiUIMカードセキュリティ機能によりｉアプリを起動できません。ｉアプリのダウンロード時に挿入していたドコモminiUIMカードを挿入してから再度操作してください。(P.42参照)

UIM(FOMA)カードが異なるためご利用できません

…ドコモminiUIMカードセキュリティ機能により操作できません。データやファイルの取得時に挿入していたドコモminiUIMカードを挿入してから再度操作してください。(P.42参照)

UIM(FOMA)カードが異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

…ドコモminiUIMカードセキュリティ機能によりｉアプリを起動できません。データやファイルの取得時に挿入していたドコモminiUIMカードを挿入してから再度操作してください。(P.42参照)

UIM(FOMA)カードもしくは楽曲データのライセンス情報が異なるため再生できません

…ドコモminiUIMカードセキュリティ機能により再生できません。着うたフル®の取得時に挿入していたドコモminiUIMカードを挿入してから再度操作してください。ドコモminiUIMカードが着うたフル®の取得時に挿入していたドコモminiUIMカードである場合、FOMA端末内の楽曲ライセンス情報が不正なため再生できません。端末初期化を行ってから再度操作してください。(P.131参照)

UIM(FOMA)カードを挿入／再確認してください

…ドコモminiUIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。(P.41参照)

URLが不正です

…URLが不正なためサイトやインターネットに接続できません。

＋の位置が不正です

…「＋」の位置が間違っています。電話番号の先頭に入力してください。(P.63参照)

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※本FOMA端末は、電話帳やiモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
  ※本FOMA端末はケータイデータお預かりサービス(お申し込みが必要な有料サービス)をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。
  ※パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(P.447参照)とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)またはFOMA USB接続ケーブル(別売)をご利用になることにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

◎**調子が悪い場合**

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

◎**お問い合わせの結果、修理が必要な場合**

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良(液晶・コネクタなどの破損)による故障・損傷などは有料修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

・故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合(例:水濡れシールが反応している場合)
・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子(イヤホンマイク端子)・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)
※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

◎お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  ･火災･けが･故障の原因となります。
  ･改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
  以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  ･液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  ･接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  ･外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  ･改造が原因による故障･損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障･修理やその他お取り扱いによって、クリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所:スピーカー、受話口部
- 本FOMA端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

◎**メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて**

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化･消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像･着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います。(一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります。)

※FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

端末エラー情報送信設定

FOMA端末にエラーが発生した場合、「ON」に設定していると自動的にエラー情報が作成され、ドコモに送信されます。

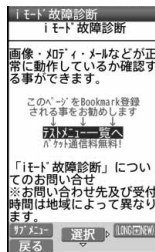
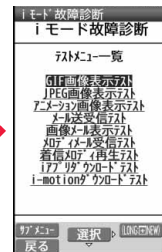
1 MENU▶**本体設定**▶**その他設定**▶**端末エラー情報送信設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**ON･OFF**

- 「端末エラー情報送信設定」のショートカットを作成できます。(P.40参照)

お知らせ

- エラーが発生しても、エラーの種別によっては記録されない場合があります。
- 記録された情報は夜間にドコモに送信されます。
- エラー情報が送信される際のパケット通信料は無料です。
- 送信された情報に個人を特定する情報は含まれません。

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

TOP画面　テストメニュー一覧画面

- 「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
  ｉモードサイト：
  ｉMenu→お知らせ→サポート情報→お問い合わせ→故障･電波状況お問い合わせ先→ｉモード故障診断

サイト接続用QRコード

- 海外でのご利用は有料となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作を確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
FOMA端末を操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内させていただきます。
更新方法には、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3種類があります。

【自動更新】：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
【即時更新】：更新したいときすぐに更新を行います。
【予約更新】：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

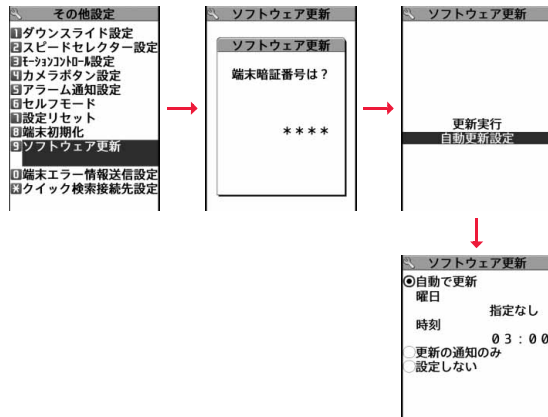
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

■ご利用にあたって
- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新ができます。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  ･電源が入っていないとき　･日付時刻を設定していないとき　･通話中
  ･圏外にいるとき　･PIN1コードロック中
  ･おまかせロック中　･セルフモード設定中
  ･他の機能が起動中のとき　･ドコモminiUIMカードを挿入していないとき
  ･パソコンなどの外部機器と接続中のとき
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書き換え)には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。(ダウンロード中は音声着信が可能です。)
- ソフトウェア更新の際にはサーバ(当社のサイト)へSSL/TLS通信を行います。証明書設定を有効にしておいてください。(お買い上げ時:有効　設定方法についてはP.204参照。)
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバ(当社が管理するソフトウェア更新用サーバ)に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

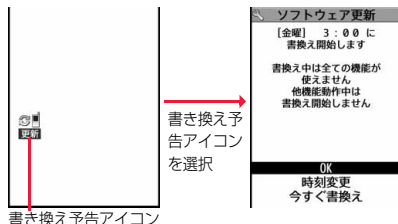
ソフトウェア更新の自動更新設定

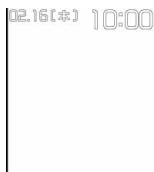
新しいソフトを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
お買い上げ時は、「自動更新設定」が「自動で更新」、曜日が「指定なし」、時刻が「03:00」に設定されています。
書き換え可能な状態になると、「書き換え予告アイコン」が表示され、書き換え時刻の確認を行い、書き換え時刻の変更や今すぐ書き換えをするかを選択できます。
「書き換え予告アイコン」が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、「書き換え予告アイコン」は消去されます。

自動更新日時の設定

1 MENU▶**本体設定**▶**その他設定**▶**ソフトウェア更新**▶**端末暗証番号を入力**▶**自動更新設定**

更新が必要な場合

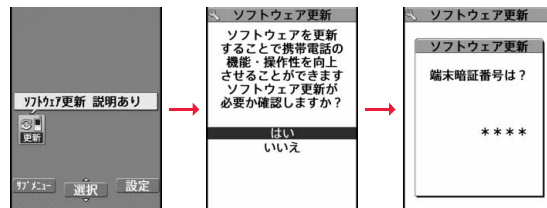
1 待受画面で「書き換え予告アイコン」を選択し、書き換え時刻の確認、書き換え時刻の変更、今すぐ書き換えのいずれかを選択します。

- 書き換え予告アイコンは、設定時刻に書き換えを開始することを通知します。

2 「OK」を選択します。

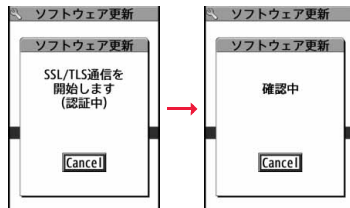
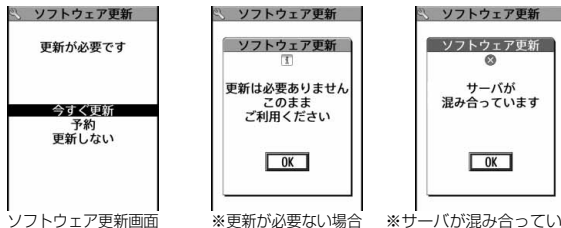
- 選択後は一度待受画面に戻り、設定時刻に書き換えを開始します。
- 「時刻変更」を選択した場合は、書き換えを行う曜日と時刻を設定します。
- 「今すぐ書換え」を選択した場合の操作についてはP.495「ソフトウェアの即時更新」参照。
- 書き換え予告アイコンは、一度確認すると消えます。

ソフトウェア更新の起動

「自動更新設定」で「更新の通知のみ」を選択した場合、ソフトウェア更新が必要になると「更新お知らせアイコン」でお知らせします。
ソフトウェア更新を起動するには「更新お知らせアイコン」を選択して行う方法とメニュー画面から行う方法があります。

「更新お知らせアイコン」からの起動

1 待受画面で「更新お知らせアイコン」を選択します。

- 「いいえ」を選択すると、お知らせアイコンを消去するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「更新お知らせアイコン」は以下の場合に表示されます。
  - ・ドコモから通知があった場合
  - ・手順3で「更新が必要です」と表示された場合
  - ・予約起動でソフトウェア更新実行時に電源を切っていたり、更新処理が失敗した場合
  - ・ソフトウェア更新の予約を取り消した場合

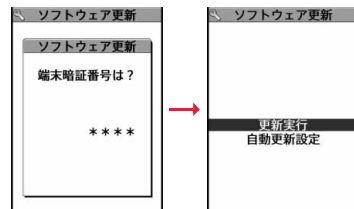
2 ソフトウェア更新が必要かチェックします。

- チェック中は音声電話を受けることができます。

3 ソフトウェア更新が不要の際は「更新は必要ありません」と表示されますので、そのままご利用ください。更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示されます。このとき、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択できます。

ソフトウェア更新画面

※更新が必要ない場合の画面

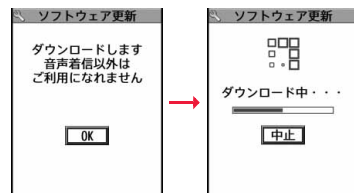
※サーバが混み合っていて、ソフトウェア更新ができない場合の画面（しばらく待ってから再度ソフトウェア更新を起動してください。）

メニューからの起動

1 MENU ▶本体設定▶その他設定▶ソフトウェア更新▶端末暗証番号を入力▶更新実行

2 P.495「「更新お知らせアイコン」からの起動」手順2へ進みます。

ソフトウェアの即時更新

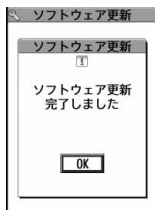
1 「今すぐ更新」を選択すると「ダウンロードします」と表示され、しばらくするとダウンロードを開始します。（「OK」を選択するとすぐにダウンロードを開始します。）

- ダウンロード中は音声電話を受けることができます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても更新処理が実行されます。

2 ダウンロードが終わると、ソフトウェアを書き換えます。（「OK」を選択すると、すぐに書き換えを開始します。）書き換えが終わると、自動的に再起動します。

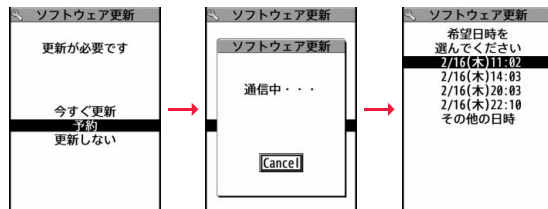
- 書き換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 書き換え中は電話を受けることもできません。

※ソフトウェア書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
また、ACアダプタ（別売）などを接続していても、一時的に充電を停止します。

3 更新の完了を確認したら「OK」を選択して終了です。

- 更新完了時に「OK」を選択しなかった場合、待受画面に更新が完了したことを表す「書き換え完了アイコン」が表示されます。
「書き換え完了アイコン」は、一度確認すると消去されます。

ソフトウェアの予約更新

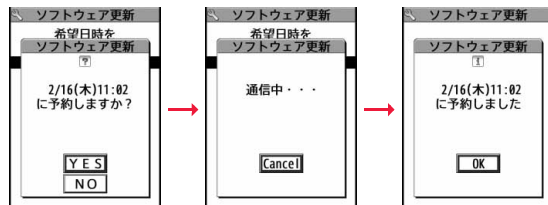
ダウンロードに時間がかかる場合、サーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する時刻をサーバと通信して設定しておけます。

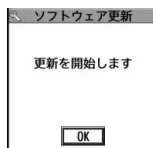
1 ソフトウェア更新画面で「予約」を選択します。

予約可能な日時が表示されます。

- ソフトウェア更新の予約では、サーバの時刻が表示されます。

「その他の日時」を選択した場合

サーバと通信をしたあと、希望日と時間帯を選べます。時間帯を選択する画面には各時間帯の予約空き状況が
○：空きあり、△：空きわずか、×：空きなし
のように表示されます。希望する時間帯を1つ選択すると、再びサーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

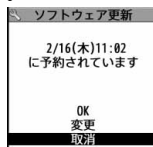
2 選択した日時の確認を行います。「YES」を選択します。再度サーバと通信を行い、予約は完了です。

予約した時刻になったときは

右の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します。
予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。

お知らせ

- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- アラームなどが起動している場合には、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。
- 予約が完了したあとにP.131「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。
再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約した日時の確認・変更・取り消し

設定メニューから「ソフトウェア更新」を選択し、端末暗証番号を入力して「更新実行」を選択すると、予約時刻を確認できます。

予約を確認した画面から予約日時の変更や予約を取り消せます。変更する場合には「変更」を選択します。取り消す場合には「取消」を選択します。

ソフトウェア更新の終了

各画面で「Cancel」を選択した場合は、操作終了の画面が表示されます。

「YES」を選択すると、ソフトウェア更新を終了して待受画面に戻ります。「NO」を選択すると前の画面に戻ります。

お知らせ

- 操作中に電池残量が少なくなった場合、ソフトウェアの書き換えは行われず、操作が終了します。

スキャン機能

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。(P.497参照)
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防げませんのであらかじめご了承ください。

パターンデータ更新

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

1 **MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶スキャン機能▶パターンデータ更新▶YES▶YES**

- ｉモード接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。
- パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバ(当社が管理するスキャン機能用サーバ)に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 以下の場合はパターンデータを更新できません。
  - ·日付時刻を設定していないとき
  - ·通話中
  - ·圏外にいるとき
  - ·ドコモminiUIMカードを挿入していないとき
  - ·ダイヤルロック中
  - ·他の機能が起動中のとき
  - ·パソコンなどの外部機器と接続中のとき
  - ·セルフモード設定中

お知らせ

- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

自動更新設定

パターンデータが新しくなったときに、FOMA端末内のパターンデータを自動的に更新するかどうかを設定します。

1 **MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶スキャン機能▶自動更新設定▶有効・無効▶YES**

- 「有効」を選択した場合は、自動更新時に携帯電話情報を送信する旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

- 自動更新設定および自動更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 自動更新が終了すると、デスクトップに「更新」（パターンデータ更新完了）が表示されます。更新できなかった場合には「更新」（パターンデータ更新 説明あり）が表示されます。「更新」を選択すると、更新結果の内容が表示されます。

スキャン機能設定

スキャン機能を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックできます。SMSにスキャン機能を実行するかどうかを設定することもできます。

1 **MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶スキャン機能▶スキャン機能設定▶項目を選択**

スキャン機能 . . . . スキャン機能を実行するかどうかを設定します。
メッセージスキャン . . . SMSにスキャン機能を実行するかどうかを設定します。

- 「スキャン機能」を「OFF」に設定しているときは、「メッセージスキャン」は設定できません。

2 **ON・OFF**

- 設定を変更する場合は確認画面が表示されます。
- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。（P.499参照）

お知らせ

- 着信通知機能などのSMSはスキャン対象外となります。

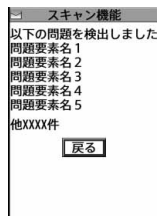
スキャン結果の表示

■スキャンされた問題要素の表示について

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は警告画面が表示されます。警告画面でα（詳細）を押すと問題要素の名前が表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。
- 検出した問題要素によっては、「詳細」が表示されない場合があります。

スキャン機能
以下の問題を検出しました
問題要素名１
問題要素名２
問題要素名３
問題要素名４
問題要素名５
他XXXX件
戻る

付録／困ったときには

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2
スキャン機能 正常に動作できない場合があります	スキャン機能 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？	スキャン機能 正常に動作できない場合があるため 終了します
●(OK)を押すと、動作を継続します。	●(YES)を押すと、動作を中止して終了します。 TV(NO)を押すと、動作を継続します。	●(OK)を押すと、動作を中止して終了します。

警告レベル3	警告レベル4
スキャン機能 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？	スキャン機能 正常に動作できないため データを削除します
TV(YES)を押すと、データを削除して終了します。 ●(NO)を押すと、動作を中止して終了します。	●(OK)を押すと、データを削除して終了します。

- 上記以外の警告画面が表示される場合もあります。

パターンデータのバージョン表示

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**スキャン機能**▶**バージョン表示**

主な仕様

■本体

品名		P-03D
サイズ(閉じたとき)		高さ :約113mm 幅　 :約51mm 厚さ :約16.1mm
質量(電池パック装着時)		約121g
連続待受時間(FOMA/3G)		静止時:約580時間
連続通話時間(FOMA/3G)		音声電話時　:約200分 テレビ電話時:約100分
ワンセグ視聴時間		約260分
充電時間		ACアダプタ:約120分 DCアダプタ:約120分
ディスプレイ	方式	TFT　262,144色
	サイズ	約3.4inch
	画素数	409,920画素(480ドット×854ドット)
撮像素子	種類	インカメラ:CMOS　アウトカメラ:CMOS
	サイズ	インカメラ:1/6.0inch アウトカメラ:1/3.0inch
カメラ部	有効画素数	インカメラ:約130万画素 アウトカメラ:約1320万画素
	記録画素数(最大時)	インカメラ:約120万画素 アウトカメラ:約1300万画素
記録部	静止画記録枚数※1	最大約1200枚(お買い上げ時)
	静止画連写撮影	デジカメモード連写設定時 3M:8枚　2Mワイド:8枚 2M:8枚　待受:8枚 連写モード時 VGA:4枚　QVGA:5、10枚 QCIF:5、10、15、20枚 Sub-QCIF:5、10、15、20枚
音楽再生	連続再生時間※2	SDオーディオ(バックグラウンド再生対応):約6500分※3 着うたフル®(バックグラウンド再生対応):約6000分※3 ｉモーション(着うた®を含む):約380分※3 WMAデータ(バックグラウンド再生対応):約4600分 Music&Videoチャネル(バックグラウンド再生対応) 音声:約6000分 動画:約270分
保存容量	着うた®	約158Mバイト(お買い上げ時)※4
	着うたフル®	

※1 記録画素数:QVGA(320×240)、クオリティ:スタンダード、ファイルサイズ:25Kバイト

※2 連続再生時間とは、FOMA端末を閉じた状態で、ステレオイヤホンマイク01(別売)を使用して再生できる時間の目安です。

※3 ファイル形式:AAC形式

※4 静止画、ｉモーション、メロディ、PDFデータ、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、コンテンツパッケージ、フォント、画面メモ、トルカ、ｉアプリと共有

■電池パック

品名	電池パック P23
使用電池	Li-ion(リチウムイオン)電池
電圧	3.7V
容量	800mAh

静止画撮影の仕様

ファイル形式	JPEG
圧縮方式	Baseline方式
拡張子	jpg
タイトル／ファイル名	保存日時と枚数により自動設定(2012年2月16日10時00分1枚目に撮影した場合) タイトル 「2012/ 2/16 10:00」 ファイル名 「20120216100000000」(保存先:本体) 「DCIM0001」(保存先:microSD)
最大ファイルサイズ	約8Mバイト
メール添付･出力	メール添付やmicroSDカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約158Mバイト(本体)

保存できる静止画枚数の目安

保存できる枚数は撮影環境により異なります。
※本体･microSDカードには保存可能なファイル数に上限があります。

■P-03Dに保存可能な枚数

記録画素数＼クオリティ	スーパーファイン	ファイン	スタンダード
13M(3120×4160)	約20枚	約41枚	約82枚
正方形(大)(3120×3120)	約27枚	約55枚	約92枚
9.7Mワイド(2336×4160)	約27枚	約55枚	約92枚
8M(2448×3264)	約59枚	約82枚	約100枚
5M(1944×2592)	約92枚	約120枚	約160枚
3M(1536×2048)	約160枚	約200枚	約230枚
2Mワイド(1080×1920)	約230枚	約320枚	約400枚
2M(1200×1600)	約230枚	約320枚	約400枚
1.3M(960×1280)	約320枚	約460枚	約610枚
待受(480×854)	約1000枚	約1200枚	約1200枚
VGA(480×640)	約1200枚	約1200枚	約1200枚
正方形(小)(480×480)	約1200枚	約1200枚	約1200枚
QVGA(240×320)	約1200枚	約1200枚	約1200枚
QCIF(144×176)	約1200枚	約1200枚	約1200枚
Sub-QCIF(96×128)	約1200枚	約1200枚	約1200枚

●お買い上げ時の保存可能枚数です。

■microSDカード(2Gバイト)に保存可能な枚数

記録画素数＼クオリティ	スーパーファイン	ファイン	スタンダード
13M(3120×4160)	約250枚	約499枚	約991枚
正方形(大)(3120×3120)	約334枚	約668枚	約1117枚
9.7Mワイド(2336×4160)	約334枚	約668枚	約1117枚
8M(2448×3264)	約714枚	約991枚	約1254枚
5M(1944×2592)	約1117枚	約1536枚	約1982枚
3M(1536×2048)	約1982枚	約2458枚	約2793枚
2Mワイド(1080×1920)	約2793枚	約3841枚	約4728枚
2M(1200×1600)	約2793枚	約3841枚	約4728枚
1.3M(960×1280)	約3841枚	約5587枚	約6829枚
待受(480×854)	約12293枚	約15366枚	約20488枚
VGA(480×640)	約15366枚	約20488枚	約20488枚
正方形(小)(480×480)	約15366枚	約20488枚	約20488枚
QVGA(240×320)	約30733枚	約30733枚	約61466枚
QCIF(144×176)	約61466枚	約61466枚	約61466枚
Sub-QCIF(96×128)	約61466枚	約61466枚	約61466枚

動画撮影の仕様

ファイル形式	デジカメモード:MP4 ムービーモード:MP4、ASF(動画容量「長時間」の場合)
符号化方式	デジカメモード 映像:MPEG4　音声:AMR ムービーモード 映像:MPEG4 音声:AMR、G.726(動画容量「長時間」の場合)
拡張子	デジカメモード:3gp ムービーモード:3gp、asf(動画容量「長時間」の場合)
タイトル/ファイル名	撮影日時により自動設定(2012年2月16日10時00分に撮影した場合) タイトル 「2012/ 2/16 10:00」 ファイル名 「201202161000」(保存先:本体) 「DCIM0001」(保存先:microSD、デジカメモード) 「MOL001」(保存先:microSD、ムービーモード)
最大ファイルサイズ	50Mバイト(保存先:本体)
メール添付・出力	メール添付やmicroSDカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約158Mバイト(本体)

録画時間の目安

撮影できる時間は撮影環境により異なります。撮影画面に表示される記録可能時間･容量も参考にしてください。

■ムービーモードでP-03Dに録画可能な時間(ボイスレコーダーの録音時間は「音声のみ」をご覧ください)

記録画素数	動画容量	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間			総録画可能時間		
			クオリティ			クオリティ		
			スーパーファイン	ファイン	スタンダード	スーパーファイン	ファイン	スタンダード
VGA (640×480)	メール制限(小)	通常	約2秒	約4秒	約8秒	約595秒	約19分	約38分
		映像のみ	約2秒	約4秒	約8秒	約599秒	約19分	約39分
		音声のみ	約305秒			約1634分		
	メール制限(大)	通常	約8秒	約16秒	約30秒	約598秒	約19分	約38分
		映像のみ	約8秒	約16秒	約30秒	約10分	約20分	約39分
		音声のみ	約20分			約1644分		
HVGAワイド (640×352)	メール制限(小)	通常	約3秒	約5秒	約10秒	約13分	約25分	約51分
		映像のみ	約3秒	約5秒	約10秒	約13分	約26分	約52分
		音声のみ	約305秒			約1634分		
	メール制限(大)	通常	約11秒	約20秒	約40秒	約13分	約25分	約51分
		映像のみ	約11秒	約20秒	約40秒	約13分	約26分	約52分
		音声のみ	約20分			約1644分		
QVGA (320×240)	メール制限(小)	通常	約4秒	約5秒	約15秒	約19分	約25分	約76分
		映像のみ	約4秒	約5秒	約15秒	約19分	約26分	約78分
		音声のみ	約305秒			約1634分		
	メール制限(大)	通常	約16秒	約20秒	約59秒	約19分	約25分	約76分
		映像のみ	約16秒	約20秒	約60秒	約20分	約26分	約78分
		音声のみ	約20分			約1644分		
QCIF (176×144)	メール制限(小)	通常	約10秒	約35秒	約69秒	約50分	約184分	約365分
		映像のみ	約10秒	約39秒	約78秒	約52分	約208分	約416分
		音声のみ	約305秒			約1634分		
	メール制限(大)	通常	約39秒	約141秒	約279秒	約50分	約185分	約366分
		映像のみ	約40秒	約159秒	約318秒	約52分	約209分	約418分
		音声のみ	約20分			約1644分		
Sub-QCIF (128×96)	メール制限(小)	通常	約19秒	約62秒	約122秒	約97分	約332分	約651分
		映像のみ	約20秒	約78秒	約156秒	約104分	約416分	約833分
		音声のみ	約305秒			約1634分		
	メール制限(大)	通常	約75秒	約254秒	約497秒	約98分	約333分	約653分
		映像のみ	約80秒	約318秒	約10分	約104分	約418分	約836分
		音声のみ	約20分			約1644分		

●お買い上げ時の録画可能時間です。

■ムービーモードでmicroSDカード(2Gバイト)に録画可能な時間(ボイスレコーダーの録音時間は「音声のみ」をご覧ください)

記録画素数	動画容量	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間			総録画可能時間		
			クオリティ			クオリティ		
			スーパーファイン	ファイン	スタンダード	スーパーファイン	ファイン	スタンダード
VGA(640×480)	長時間	通常	約120分	約180分	約180分	約120分	約236分	約448分
		映像のみ	約122分	約180分	約180分	約122分	約244分	約476分
		音声のみ	約180分			約20464分		
HVGAワイド(640×352)		通常	約159分	約180分	約180分	約159分	約305分	約586分
		映像のみ	約162分	約180分	約180分	約162分	約317分	約635分
		音声のみ	約180分			約20464分		
QVGA(320×240)		通常	約180分	約180分	約180分	約236分	約305分	約847分
		映像のみ	約180分	約180分	約180分	約244分	約317分	約953分
		音声のみ	約180分			約20464分		
QCIF(176×144)		通常	約180分	約180分	約180分	約586分	約1907分	約3051分
		映像のみ	約180分	約180分	約180分	約635分	約2543分	約5086分
		音声のみ	約180分			約20464分		
Sub-QCIF(128×96)		通常	約180分	約180分	約180分	約1089分	約3051分	約4359分
		映像のみ	約180分	約180分	約180分	約1271分	約5086分	約10172分
		音声のみ	約180分			約20464分		

●「メール制限(小)」「メール制限(大)」に設定したときの1回あたりの録画可能時間は、P-03Dに録画可能な時間と同じになります。(P.503参照)
●「メール制限(小)」「メール制限(大)」に設定すると、総録画可能時間は増減する場合があります。

■デジカメモードで録画可能な時間

記録画素数	P-03Dに録画可能な時間			microSDカード(2Gバイト)に録画可能な時間	
	1回あたりの録画可能時間		総録画可能時間	1回あたりの録画可能時間	総録画可能時間
	メール用	長時間	長時間	長時間	長時間
VGA(640×480)	約8秒	約190秒	約574秒	約121分	約121分
HVGAワイド(640×352)	約11秒	約253秒	約13分	約161分	約161分
QVGA(320×240)	約16秒	約377秒	約19分	約180分	約241分
QCIF(176×144)	約39秒	約16分	約50分	約180分	約616分

●「メール用」に設定してmicroSDカードに録画したときの1回あたりの録画可能時間は、P-03Dに録画可能な時間と同じになります。
●「メール用」に設定すると、総録画可能時間は増減する場合があります。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

機能		保存・登録件数 ＜保護件数＞	参照先
電話帳		1000※1	83
ワンセグ	テレビリンク	50	248
	視聴予約	100	251
	録画予約	100	251
アラーム		10	387
スケジュール	スケジュール	最大2500※2※3	390
	休日	100	390
メモ		最大2500※2※3	394
メール （SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大2500※3※4※5※6 ＜最大2500※3＞	152
	シークレットメール（受信BOX）	最大100※3 ＜最大100※3＞	152
	送信メール	最大1000※3※5※6 ＜最大500※3＞	153
	シークレットメール（送信BOX）	最大100※3 ＜最大100※3＞	153
	保存メール※7	最大200※3	153
	ユーザ作成フォルダ（受信BOX）	22	158
	ユーザ作成フォルダ（送信BOX）	22	158
エリアメール		最大100※3	152
テンプレート	デコメール®	最大100※3※4	142
	デコメアニメ®	最大100※3※4	143
メッセージ	メッセージR	最大100※3 ＜最大50※3＞	169
	メッセージF	最大100※3 ＜最大50※3＞	169
Bookmark	Bookmark	600	190
	Bookmarkフォルダ	40（「Bookmark」を含む）	190
画面メモ		最大600※3※8 ＜最大600※3※8＞	191
静止画		最大3500※3※8※9	320
	ユーザ作成フォルダ	20	366
ｉモーション		最大3500※3※8※9	327
	ユーザ作成フォルダ	18	366
メロディ		最大3500※3※8※9	347
	ユーザ作成フォルダ	20	366
キャラ電		3※4	343
辞書		5※4	412
PDFデータ		最大3500※3※8※9	375
	ユーザ作成フォルダ	20	366
Music&Videoチャネル	配信番組	2	260
	保存番組	最大10※3※8	260
きせかえツール		最大3500※3※8※9	349
	ユーザ作成フォルダ	20	366
マチキャラ		最大3500※3※8※9	346
	ユーザ作成フォルダ	20	366
コンテンツパッケージ		最大3500※3※8※9	350
	ユーザ作成フォルダ	20	366
フォント		最大3500※3※8※9	352
現在地通知先		5	311
トルカ		最大495※3※8	295
	ユーザ作成フォルダ	20	296
ｉアプリ		最大100※3※8※10	276
	メール連動型ｉアプリ	5	276

※1　50件までドコモminiUIMカードに保存できます。
※2　スケジュール・ｉスケジュール・メモを合わせた件数です。
※3　データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※4　お買い上げ時に登録されているデータも含めます。
※5　ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。

※6 SMSは、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までドコモminiUIMカードに保存できます。(P.401参照)
※7 作成中の未送信メールを保存できます。
※8 静止画、iモーション、メロディ、PDFデータ、ミュージック、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、コンテンツパッケージ、フォント、画面メモ、トルカ、iアプリのファイルは保存・登録件数や容量を共有しています。
※9 お買い上げ時に登録されているデータのうち、デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャ、PDFデータ、きせかえツール、マチキャラ、コンテンツパッケージのみ保存・登録件数に含まれます。
※10 登録できるiアプリは1件あたり最大約10Mバイトまでです。

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率(SAR)

この機種P-03Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.387W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ:
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:
http://panasonic.jp/mobile/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。(平成23年10月現在)

European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.272 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

CE0168

The product "P-03D" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.net/pmc/support/index.html.

※The European RTTE approval of this product is limited to the use of the P-03D handset, Battery Pack and FOMA AC Adapter 01 for Global use (100 to 240 V AC) only. Other accessories are not part of the approval.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and
  (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. government's requirements for exposure to radio waves.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in various positions and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.499 W/kg, and when worn on the body in a holster or carry case, is 0.452 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID UCE111045A.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

Aircraft
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a ‘flight mode’ or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

Driving
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

Hospitals
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

Petrol Stations
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

Interference
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 22 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

Other Medical Devices
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

- 「FOMA」「mova」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「着モーション」「キャラ電」「トルカ」「きせかえツール」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「ｉモーションメール」「ｉエリア」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「マルチナンバー」「DoPa」「sigmarion」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「ケータイお探しサービス」「マチキャラ」「IMCS」「OFFICEED」「うた・ホーダイ」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「デコメアニメ®」「ｉコンシェル」「ｉウィジェット」「ｉアプリコール」「ｉスケジュール」「docomo STYLE series」「ドコモwebメール」「ｉBodymo」「かんたんデコメ」「spモード」「ドコモ地図ナビ」「声の宅配便」および「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「DCMX」ロゴ「iD」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2011 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。また、「AXIS」フォントはタイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- IrSimple™、IrSimpleShot™、IrSS™、OBEX™はInfrared Data Associationの商標です。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewer、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright © 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved
  本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「VIERA®」はパナソニック株式会社の登録商標です。
- Google、モバイルGoogleマップは、Google Inc.の登録商標です。
- Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
  Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。
- 「ブルーレイディスク」「ブルーレイ」はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。
  IrFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
- The IrDA® Feature Trademark is owned by the Infrared Data Association and used under license therefrom.
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite®およびAdobe Reader® Mobile テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright © 2003-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader Mobile Copyright © 1993-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、およびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
  FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアに関する詳細はメインメニュー→「データBOX」→「マイドキュメント」→「ｉモード」→「GPL/LGPLライセンス説明」をご参照ください。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
- テキストプロファイラはオムロン株式会社の商標です。
- MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ）を記録すること。
  - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, L.L.C.（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品に搭載しているWindows Media Technologyはマイクロソフト社および第三者の知的財産権により保護されています。本製品以外にマイクロソフト社およびその関連会社の許可なくその技術を使用することおよび頒布することは禁止されています。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権に係わる技術が含まれています。マイクロソフトからの適正なライセンスを得ずに、本製品以外でこの技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。

- コンテンツ権利者は、Windows Media デジタル著作権管理技術(WMDRM)によってコンテンツの著作権を含む知的財産権を保護しています。本製品は、WMDRMソフトを使用してWMDRMにより保護されたコンテンツへのアクセスをします。WMDRMソフトによるコンテンツ保護ができない場合、当該コンテンツの権利者は、マイクロソフトに対し、WMDRMを使用して保護コンテンツを再生または複製するソフトウェアの機能の無効化を申し入れることができます。この無効化は、WMDRMソフトウェアによる保護コンテンツ以外のコンテンツに影響するものではありません。保護コンテンツのライセンスをダウンロードする際には、マイクロソフトが当該ライセンスに無効化リストを含めることに合意することになります。また、コンテンツ権利者は、提供コンテンツにアクセスするためにWMDRMのアップグレードを要求する場合があります。その場合、アップグレードを行わないと、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。
- 「PRINT Image Matching」「PRINT Image MatchingⅡ」「PRINT Image MatchingⅢ」に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

- 「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

- The HMM-Based Speech Synthesis Engine in this product uses the Simplified BSD License.

The HMM-Based Speech Synthesis System (HTS)
hts_engine API developed by HTS Working Group
http://hts-engine.sourceforge.net/

Copyright ©
2001-2010 Nagoya Institute of Technology, Department of Computer Science
2001-2008 Tokyo Institute of Technology, Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the HTS working group nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

索引の引きかた

●本索引は、本書に記載されている用語や記載内容を要約した用語を50音順に収録しています。知りたい内容が見つからない場合は、別の用語で探してください。

<例:ｉアプリの「ソフト設定」でｉアプリ待受画面を設定したいとき>

ソフト設定 279
　アイコン情報 279
　位置情報利用 280
　オートGPS許可 280
　地図設定 280
　着信音／画像変更 279
　通信設定 279
　電話帳／履歴参照 280
　トルカ参照. 280
　番組表ボタン設定 280
　待受画面設定 285

待受画面設定(カメラ) 226
待受画面設定(ｉアプリ) 285
待受サイズ変換 325

ｉアプリバンキング 281
ｉアプリ待受画面 101, 285
ｉアプリメール 277

◆◇◆ ア ◆◇◆

◆◇◆ カ ◆◇◆

◆◇◆ サ ◆◇◆

◆◇◆ タ ◆◇◆

◆◇◆ ナ ◆◇◆

◆◇◆ ハ ◆◇◆

◆◇◆ マ ◆◇◆

◆◇◆　ヤ　◆◇◆

◆◇◆　ラ　◆◇◆

◆◇◆ ワ ◆◇◆

◆◇◆ 英数字 ◆◇◆

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから	i Menu ▶ お客様サポート ▶ お申込・お手続き ▶ 各種お申込・お手続き	パケット通信料無料
パソコンから	My docomo (http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種お申込・お手続き	

※ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）(P.70)
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●伝言メモ機能(P.71)
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

●バイブレータ(P.96)
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

●マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー(P.98)
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード・スーパーサイレント）。
マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナー）。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス(P.416)、転送でんわサービス(P.419)などのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先
<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

iモードサイト　iMenu ▶ お客様サポート ▶ ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて
<ドコモ インフォメーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***(無料)

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※P-03Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
<ネットワークオペレーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***(無料)

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※P-03Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

Li-ion 00

'11.11(第1.2版)
3TR100425AAA
F1011-1